
施策策定のための人口等基礎分析

令和 2 年（2020 年）3 月

江戸川区

はじめに

江戸川区はこれまで人口増加に支えられてきましたが、我が国の人口減少は今後加速度的に進むと予測され、少子高齢化も進展するなか、本区も急速な社会の変化は避けられない局面を迎えています。

本分析は、本区の人口の現状と 2100 年の将来の姿を示し、地域の魅力特性を分析することにより、さまざまな施策の方向性を検討する基礎資料とするものです。

「誰もが安心して自分らしく暮らせるまち」の実現に向けて、本分析を活用して社会状況と動向を踏まえ、未来を見据えた区政を目指してまいります。

令和 2 年 3 月

江 戸 川 区

目 次

第1部 人口動態編

I. 総人口	3
1. 総人口の推移	3
2. 年齢構成	9
II. 人口動態	13
1. 人口動態の推移と特徴	13
2. 自然動態の推移と特徴	14
(1) 死亡者数	14
(2) 出生者数	15
3. 社会動態	18
(1) 社会動態の推移と特徴	18
(2) 年齢別分析	22
(3) 昼夜間人口	24
4. 世帯の動向	27
(1) 世帯数の推移	27
(2) 世帯類型の推移	28
(3) 世帯の構成	30
5. 外国人動態	33
(1) 人口の推移	33
(2) 外国人の転出入状況	36
(3) 国籍と年齢の特徴	37
(4) 地域別分析	39
(5) 外国人世帯	41
6. 障害者分析	42
7. L G B T 等分析	43
III. 地域分析	44
1. 地域全体の動向	44
(1) 総括	44
(2) 人口	45
(3) 自然動態・社会動態	49
(4) 世帯の動向	51

2. 地域別分析	53
(1) 中央地域	53
(2) 小松川地域	58
(3) 葛西地域	63
(4) 小岩地域	68
(5) 東部地域	73
(6) 鹿骨地域	78
第2部 将来人口編	
I. 将来人口推計	85
1. 前提条件	85
(1) 出生に関する前提	85
(2) 死亡に関する前提	85
(3) 移動に関する前提	86
2. 推計結果	87
(1) 区全体	87
(2) 地域別推計	105
第3部 地域資源編	
I. 分析の目的と方法	121
1. 分析の目的	121
2. 分析の方法	121
II. 分析結果	122
1. 統計データに基づく分析	122
(1) 23区比較	122
(2) 他自治体との比較分析	123
2. 「江戸川区の魅力に関する意識調査」結果分析	126
(1) 「江戸川区の魅力に関する意識調査」概要	126
(2) 江戸川区への居住意向について	127
(3) 江戸川区のイメージについて	130
(4) 居住・来訪の推奨理由について	132
(5) 江戸川区の魅力について	134
(6) 外国人との評価差異	138
3. 地域資源分析	142
(1) 地域資源の定義	142
(2) 地域資源の状況	142

(3) 地域資源の評価	143
(4) 地域資源分析まとめ	145
4. SWOT分析.....	146
(1) SWOTの整理	146
(2) 今後の取組みの方向性	147

参考資料

江戸川区の魅力に関する意識調査	区民対象（在住外国人を除く）	151
江戸川区の魅力に関する意識調査	区民対象（在住外国人を除く直近転入者）	179
江戸川区の魅力に関する意識調査	転出者対象	212
江戸川区の魅力に関する意識調査	区民対象（在住外国人）	237
調査票.....		265

第 1 部 人口動態編

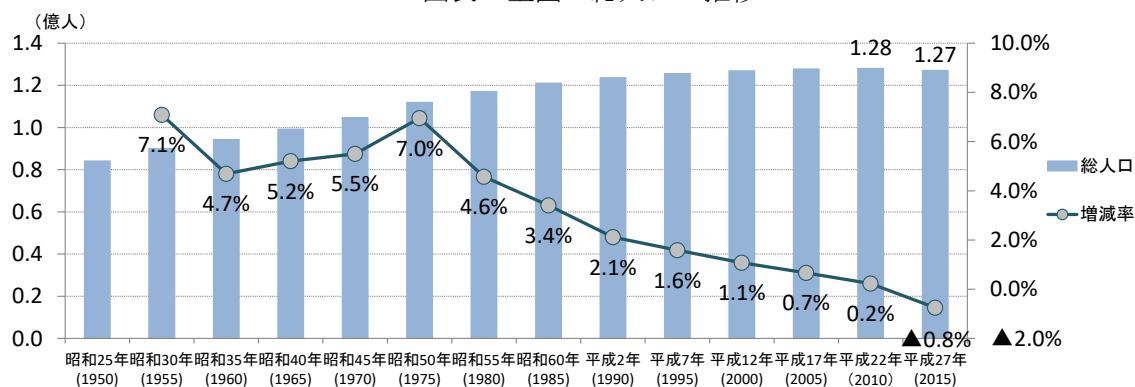
I. 総人口

1. 総人口の推移

我が国の総人口は、戦後、一貫して増加してきたが、1970年代半ばから伸び率は低下を始めた。総人口のピークは2008年であり、その後は減少局面に入った¹。国勢調査人口をみると、2010年の約1億2,800万人から、2015年には約1億2,709万人へと減少した。

人口減少は出生者数の減少と死亡者数の増加により、2008年に死亡者数が出生者数を上回る自然減の局面に転じた。人口増加基調にある東京都においても2012年にいったん自然減に推移して2017年から本格的な自然減の局面に入り、特別区部では2018年には自然減の局面に入ることとなった。

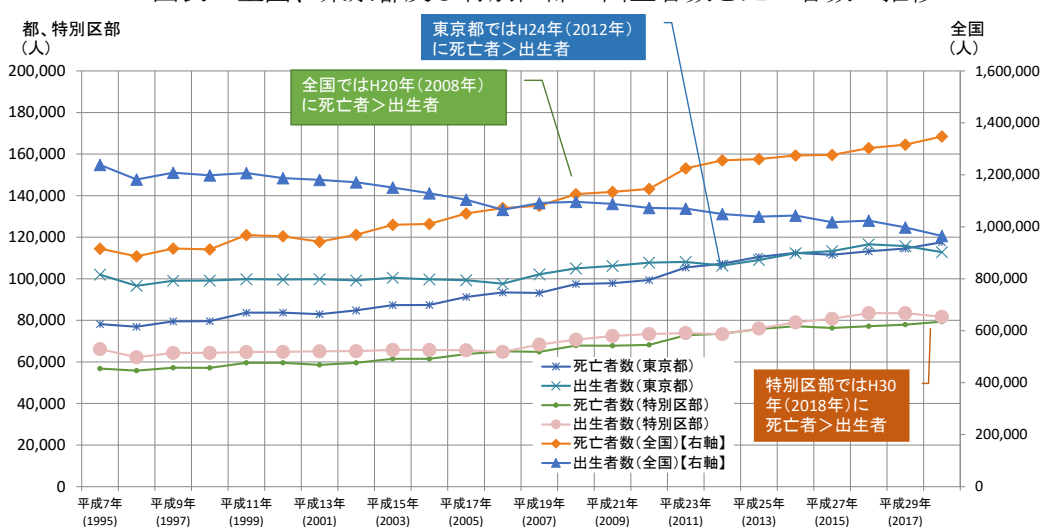
図表 全国の総人口の推移



注) 昭和20年(1945年)の人口総数および昭和25年(1950年)増減率は沖縄県を含まないため、図示を省略している。

資料) 総務省「国勢調査」

図表 全国、東京都及び特別区部の出生者数と死亡者数の推移



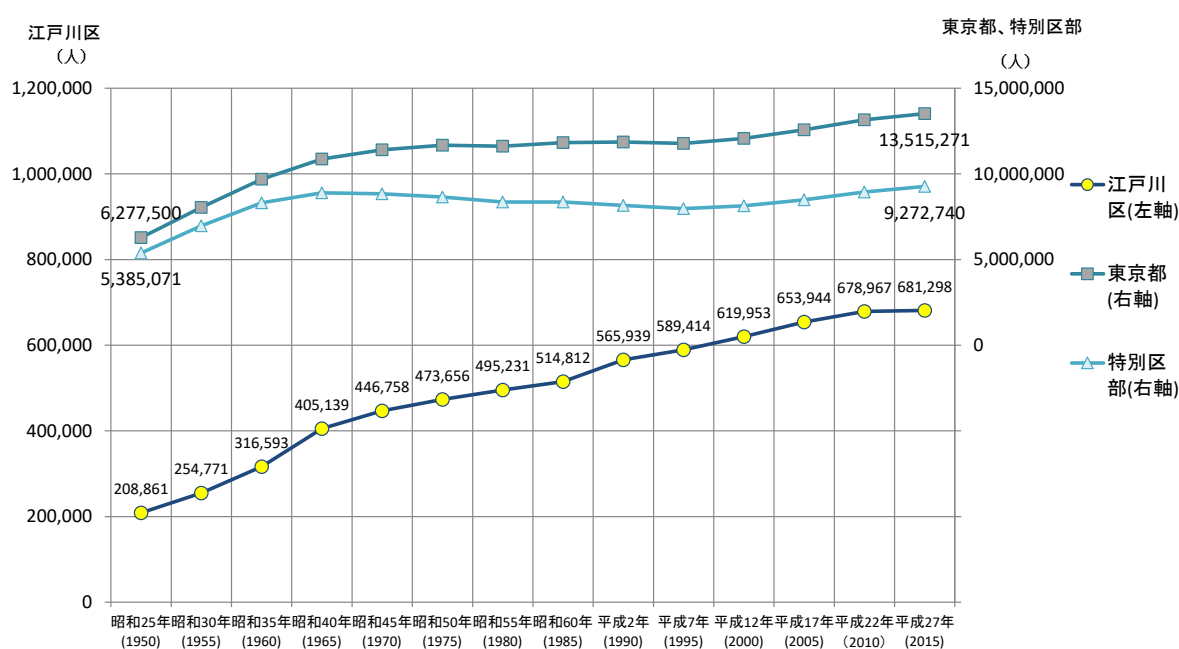
資料) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

¹ 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」（2019年12月20日閣議決定）より。なお、以下、各種統計データ等の本報告書で示される各種数値については、端数処理の都合上、内訳と合計が合わないことがある。

東京都の人口は、高度成長期にあたる 1950 年代半ばから 1970 年代半ばまで、大きく増加した。1980 年代以降になると落ち着きをみせていた人口は、2000 年代に入って再び増加しはじめたが、近年の伸びは縮減している。

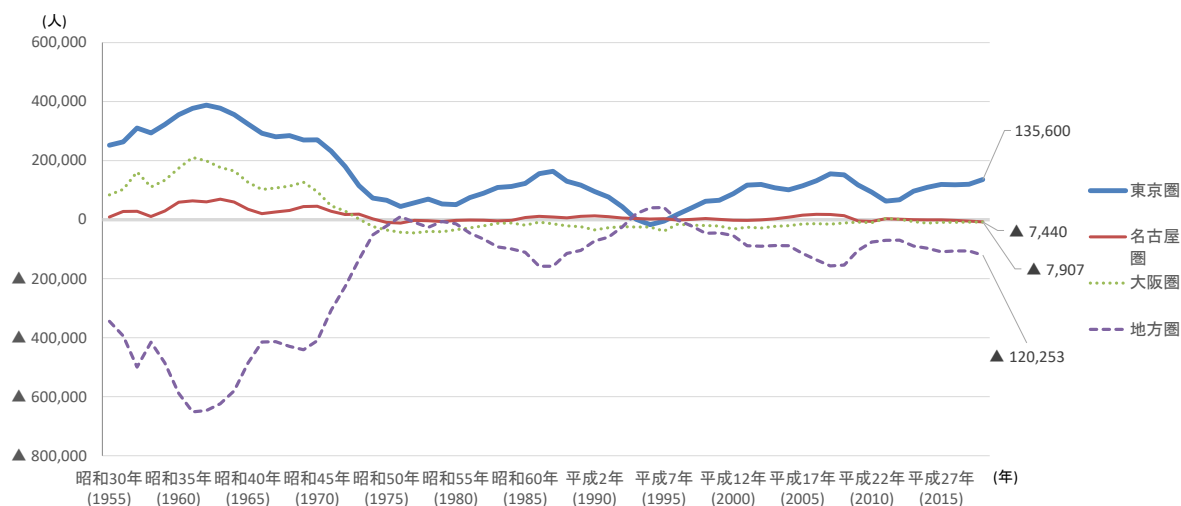
江戸川区の人口は、特に 1960 年以降、東京都全体の伸び率を上回る増加をしており、地方圏等から東京圏へ移動する人口の受け入れ都市のひとつであったことが分かる。増加基調は長期にわたって続き、2015 年以降の江戸川区人口も、年間 4,000～6,000 人で増加している。2019 年 7 月には初めて 70 万人に達し、2020 年に 70 万 79 人（1 月 1 日時点）となった。

図表 東京都、特別区部及び江戸川区の人口推移



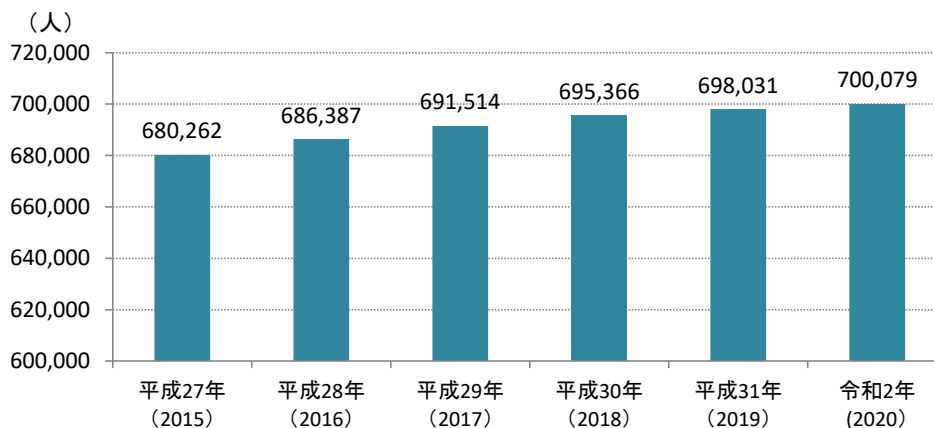
資料)総務省「国勢調査」

図表 東京圏への人口移動の推移



資料)総務省「住民基本台帳人口移動報告」

図表 江戸川区の近年の人口の推移

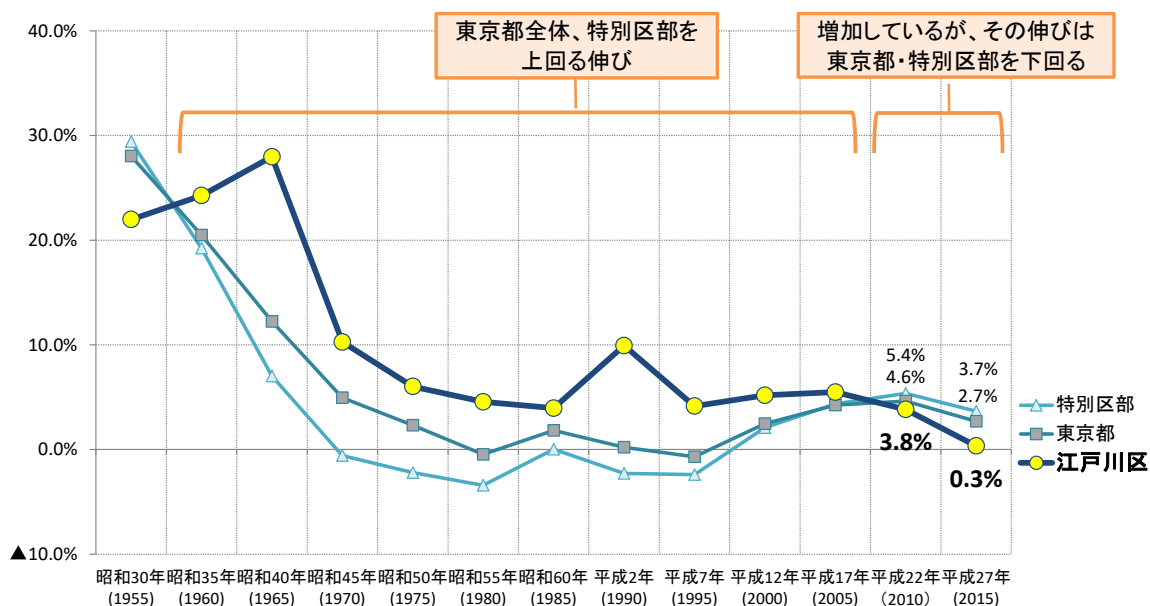


注) 1月1日時点人口
資料) 江戸川区「住民基本台帳人口」

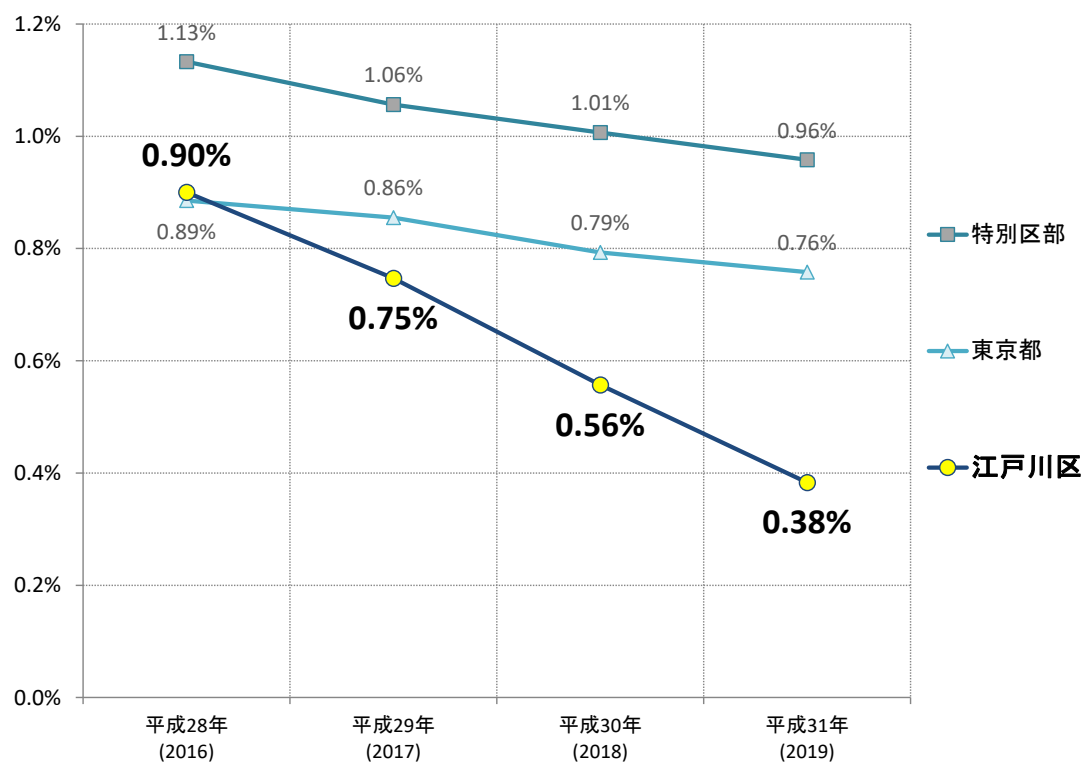
しかし、江戸川区の人口の伸び率は、従前と異なり、東京都や特別区部より下回って推移している。2016年～2019年における人口の対前年伸び率を比較すると、江戸川区の伸び率は東京都及び特別区部のそれを下回り、さらに、その縮減幅を拡大しながら推移している。

これは、東京都における地方からの転入者の減少及び都心への人口集中の影響を受けたものと考えられる。都内自治体における2005年から2010年にかけての人口伸び率と2010年から2015年にかけてのそれを比較すると、近年、人口の伸び率が著しい地域は都心部に集中していることが分かる。

図表 人口の対前期比伸び率（5年間）推移(東京都、特別区部及び江戸川区)



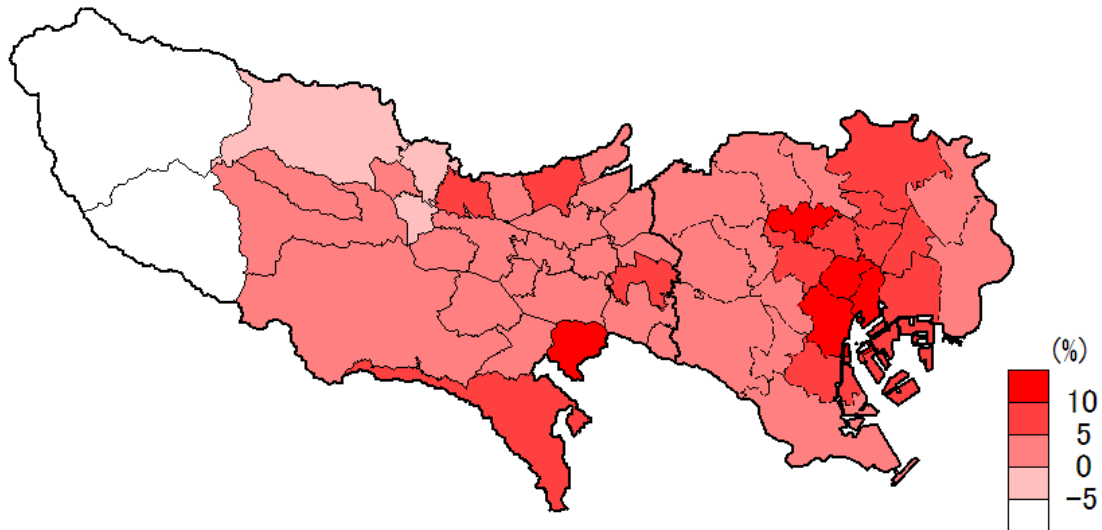
図表 住民基本台帳人口の対前年伸び率



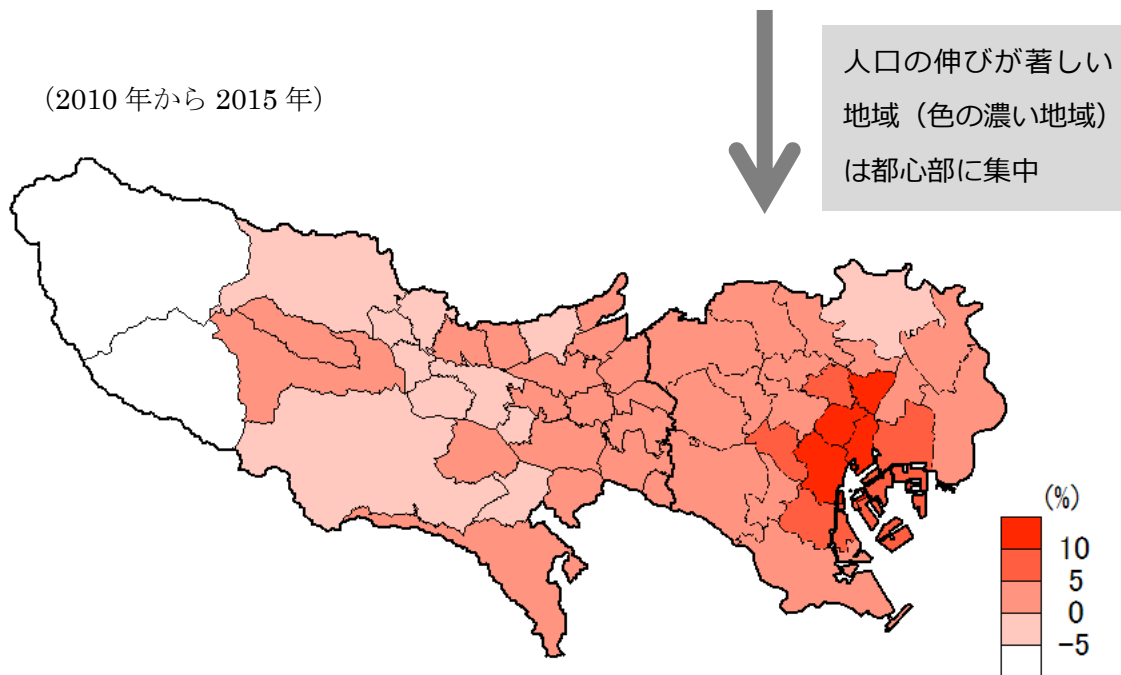
資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

図表 東京都区市町村の人口増減率

(2005 年から 2010 年)



(2010 年から 2015 年)



資料) 総務省「国勢調査」

人口増減について自然増減（出生者数－死亡者数）と社会増減（転入者数－転出者数）を概観すると、東京都、江戸川区いずれも、自然動態と社会動態の両面から人口増加が支えられてきた。しかしながら、2017年以降、東京都では自然減の局面に入り、社会増が人口増加を支えている。江戸川区も2018年に自然減の局面に入り、社会増も2011年の東日本大震災の後、2013年から大きく伸長したものの、縮減している。

江戸川区の自然動態及び社会動態についての詳細は後述する。

図表 東京都及び江戸川区の自然増減と社会増減の推移

(東京都)



資料)内閣官房「地域経済分析システム(RESAS)」

(江戸川区)

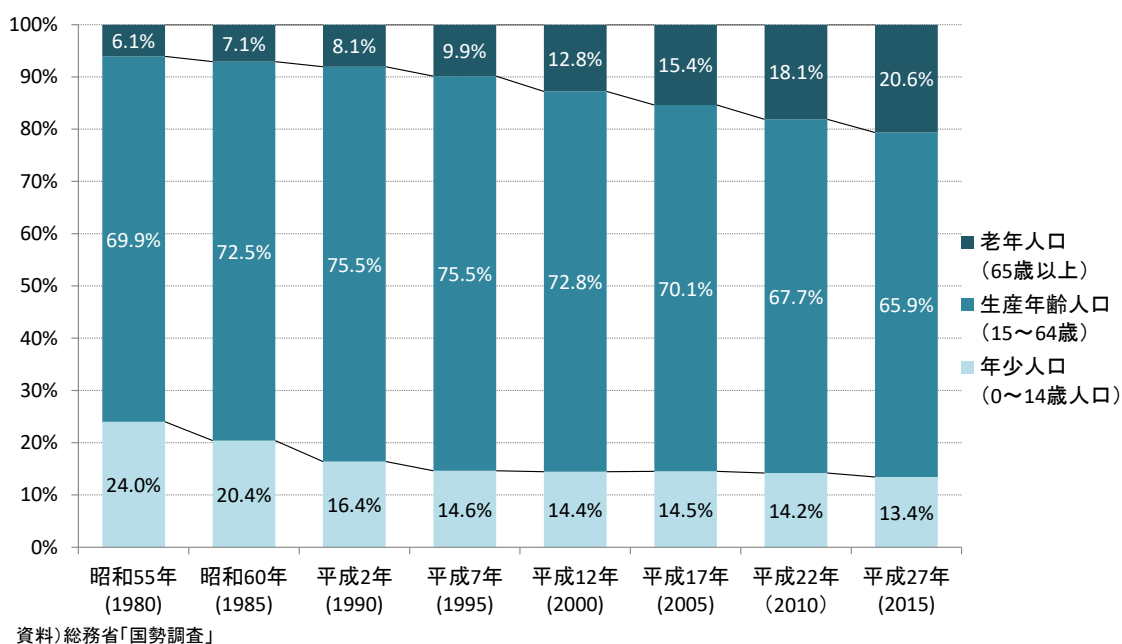


資料)内閣官房「地域経済分析システム(RESAS)」

2. 年齢構成

江戸川区の年齢3区分別人口構成比の推移をみると、老年人口（65歳以上人口）の割合は上昇が続き、2015年では2割を超えた。生産年齢人口（15～64歳人口）の割合は、2000年以降、低下を続けており、年少人口（0～14歳人口）の割合も低下の傾向にある。

図表 江戸川区の年齢3区分別人口構成比の推移

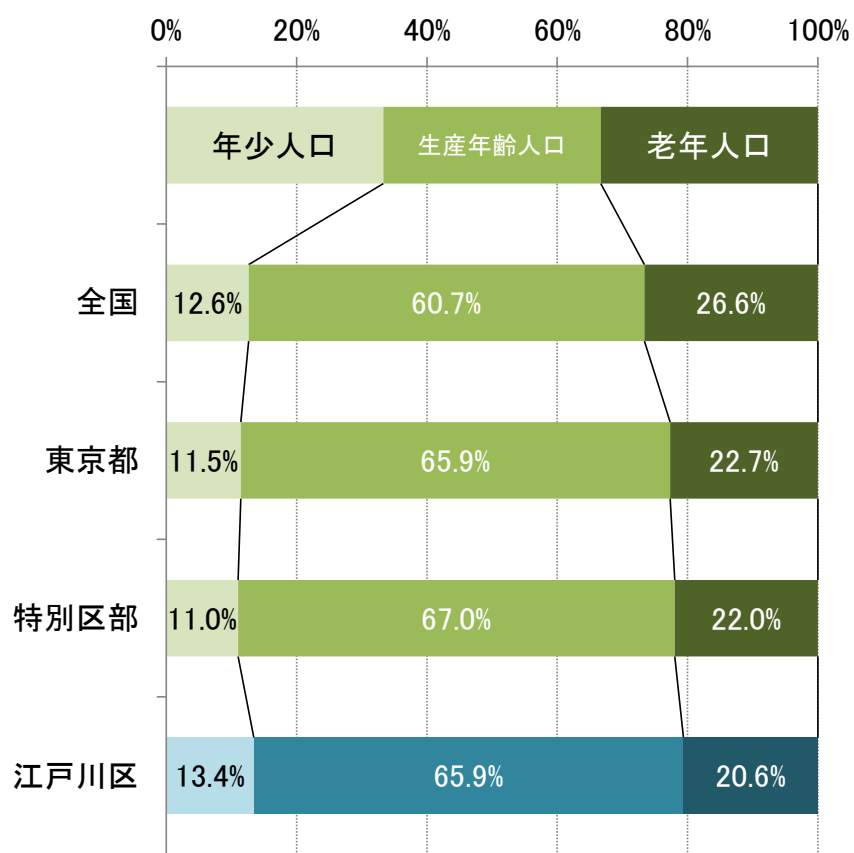


江戸川区の年齢構成比を東京都及び特別区部と比較すると、生産年齢人口の割合及び老年人口の割合は小さいものの、年少人口の割合は大きく、相対的に若い区であると言える。

また、江戸川区における老年人口の割合は2005年まで特別区において最も小さかったものの、2015年には特別区部の平均近くまで上昇している。これは、江戸川区の老年人口総数の増加がみられるなか、比較的人口の多い団塊世代（1947年～49年生まれ）が、2015年以降、老年人口層に入ったためである。

また、2025年になると団塊世代が後期高齢者層（75歳以上）に入るとともに、2040年には団塊ジュニア世代（1971年～74年生まれ）が全て老年人口となることから、高齢化が急速に高まることが予想される。

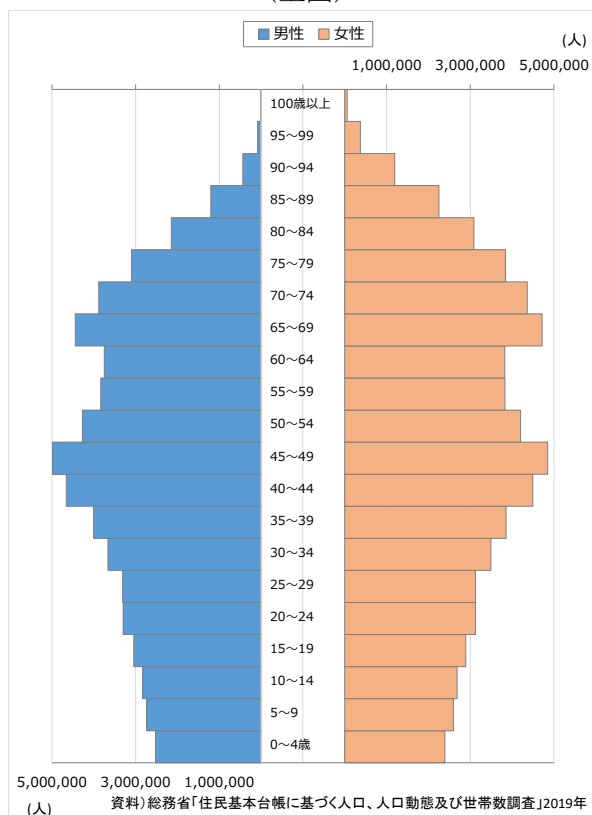
図表 年齢3区分別人口構成比の比較
(全国、東京都、特別区部及び江戸川区)



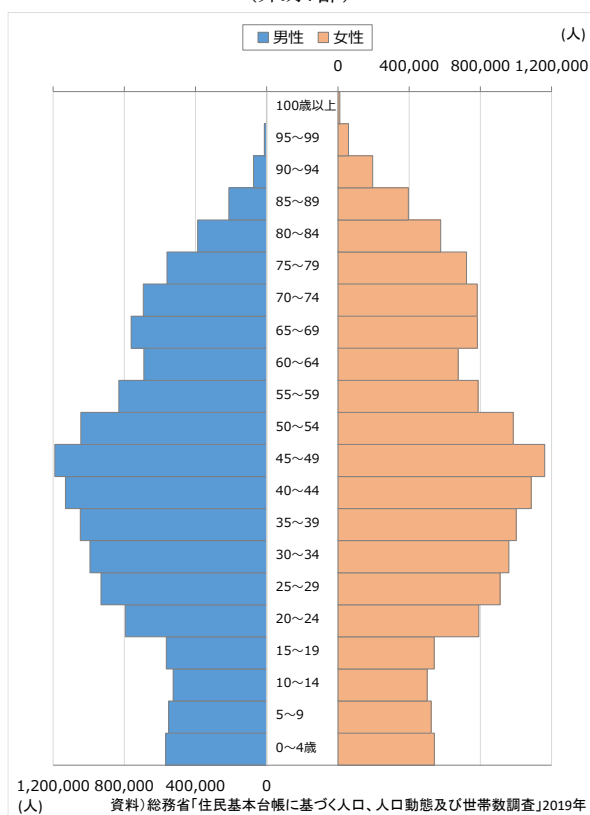
資料)総務省「国勢調査」(平成27年)

図表 全国、東京都及び江戸川区の人口ピラミッド

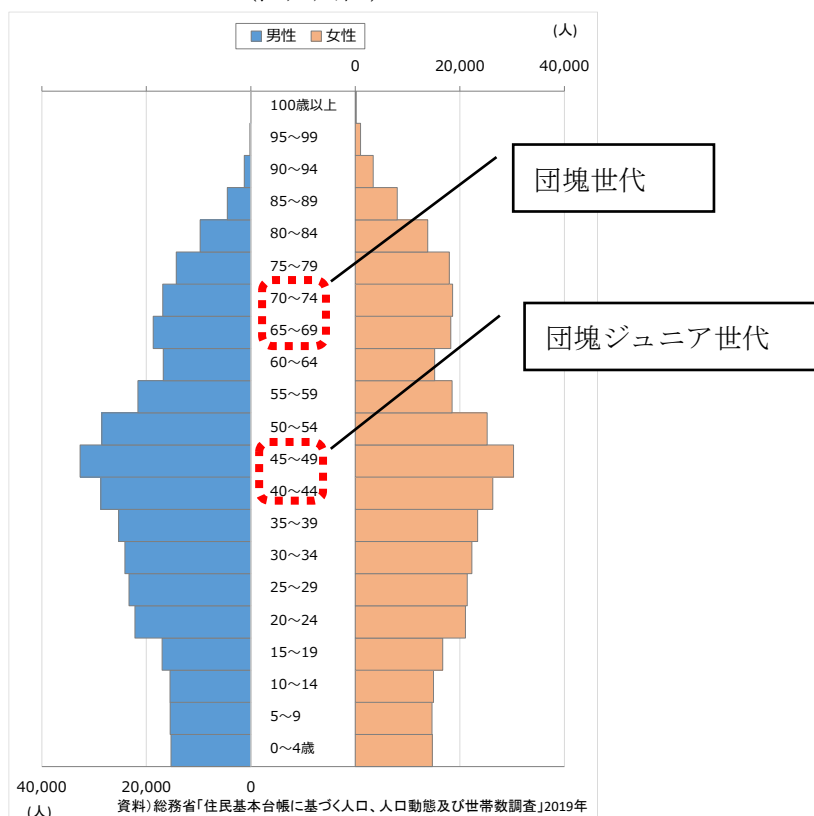
(全国)



(東京都)



(江戸川区)



注) 団塊世代、団塊ジュニア世代の年齢層には、それ以外の世代も含まれる。

図表 特別区部の高齢化率の推移（2005 年から 2015 年）

(%)

2005年 (a)		2015年 (b)		対2005年比 増減 (b-a)
台東区	22.8	北区	25.5	3.9
北区	21.6	葛飾区	24.6	4.8
荒川区	20.8	足立区	24.6	4.8
千代田区	20.2	台東区	23.5	0.7
墨田区	20.2	荒川区	23.1	2.3
葛飾区	19.8	板橋区	22.8	4.1
足立区	19.8	墨田区	22.7	2.5
豊島区	19.6	杉並区	22.1	3.5
練馬区	18.9	大田区	22.1	3.7
板橋区	18.7	練馬区	21.9	3.0
新宿区	18.6	江東区	21.1	3.8
杉並区	18.6	中野区	20.6	2.4
大田区	18.4	江戸川区	20.4	5.0
文京区	18.3	世田谷区	20.4	3.5
中野区	18.2	品川区	20.2	2.2
渋谷区	18.1	目黒区	19.9	2.3
品川区	18.0	豊島区	19.7	0.1
港区	17.7	渋谷区	19.6	1.5
目黒区	17.6	新宿区	19.6	1.0
江東区	17.3	文京区	19.1	0.8
世田谷区	16.9	千代田区	17.6	▲ 2.6
中央区	16.3	港区	17.5	▲ 0.2
江戸川区	15.4	中央区	16.1	▲ 0.2

資料) 総務省「平成 17 年・平成 27 年国勢調査」

Ⅱ. 人口動態

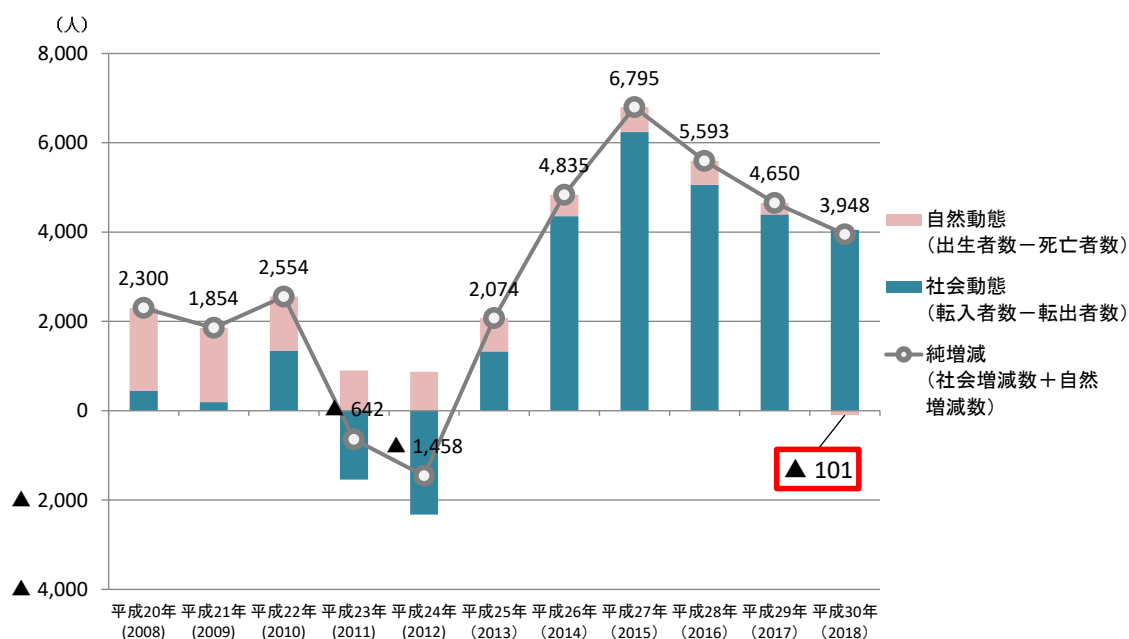
1. 人口動態の推移と特徴

先述のとおり、我が国の総人口は 1970 年代半ばから伸び率は低下を始め、2008 年には死亡者数が出生者数を上回る、自然減の局面に入ることとなった。同様に、東京都では 2017 年、特別区部でも 2018 年には自然減の局面に入ることとなった。

江戸川区の総人口は、2011 年に起きた東日本大震災の影響で同年及び翌年に転出超過となったものの、その後は社会増と自然増の両面から支えられ増加を続けてきた。

しかしながら、自然動態については 2018 年、死亡者数が出生者数を上回り、自然減の局面へ入ることとなった。

図表 江戸川区の社会増減及び自然増減・純増減の推移



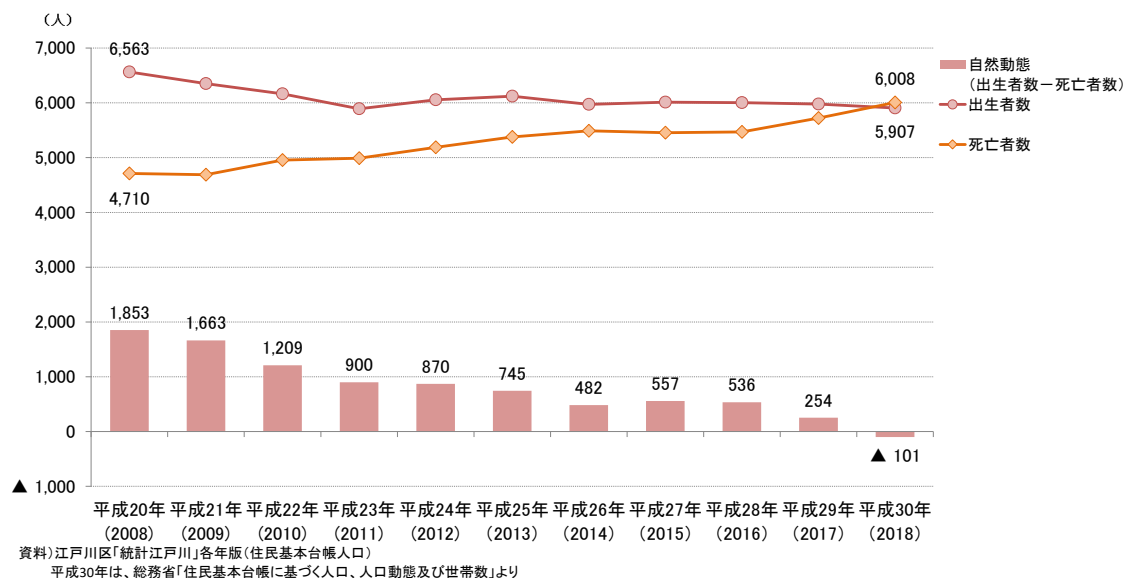
資料) 江戸川区「統計江戸川」各年版(住民基本台帳人口)

平成30年は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」より

2. 自然動態の推移と特徴

江戸川区の自然動態については、出生者数が死亡者数を上回る自然増で推移してきたが、近年は出生者数が縮減しながら推移する一方、死亡者数が増加しながら推移し、2018年には死亡者数が出生者数を上回った。

図表 江戸川区の自然動態の推移

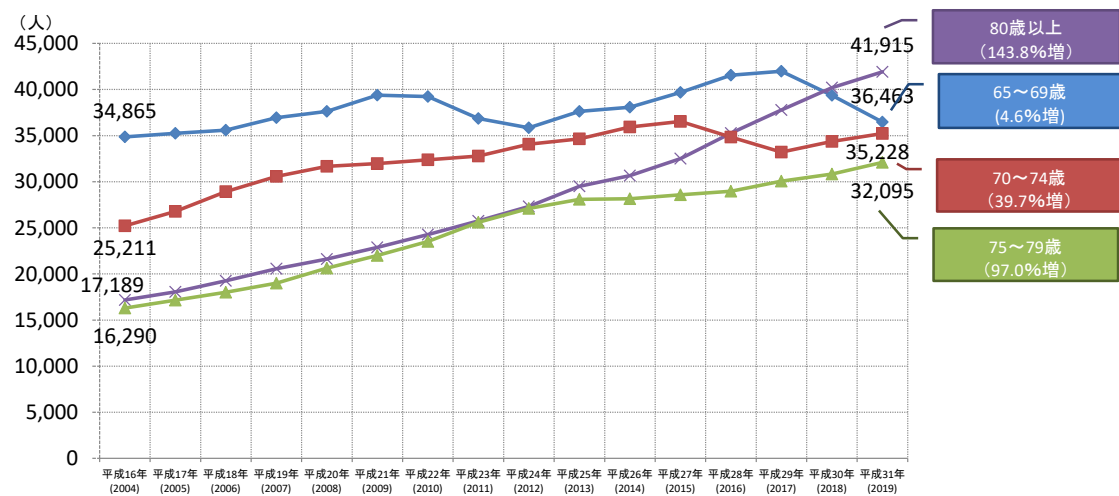


(1) 死亡者数

死亡者数が出生者数を上回った直接的な背景の一つとして、急速な高齢化の進展がある。江戸川区における高齢化率は2005年まで特別区において最も低かったものの、2015年には特別区平均近くまで上昇している。これは、老年人口の増加に加え、比較的人口が多い団塊世代が、2015年以降、老年人口層に入ったためである。最近の15年間では、75歳～79歳人口が97.0%増、80歳以上人口が143.8%増と大きく増加している。

今後も団塊世代、団塊ジュニア世代が高齢化し、老年人口の増加とともに死亡者数も増加していくとみられる。したがって、死亡者数は長期的に増加し続けると考えられる。

図表 江戸川区の老年人口(65歳以上人口)の推移



注) 3月31日時点(2014年以降は1月1日時点)の日本人住民数。図中、カッコ内は'04年/'19年伸び率。
 資料))総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」各年版

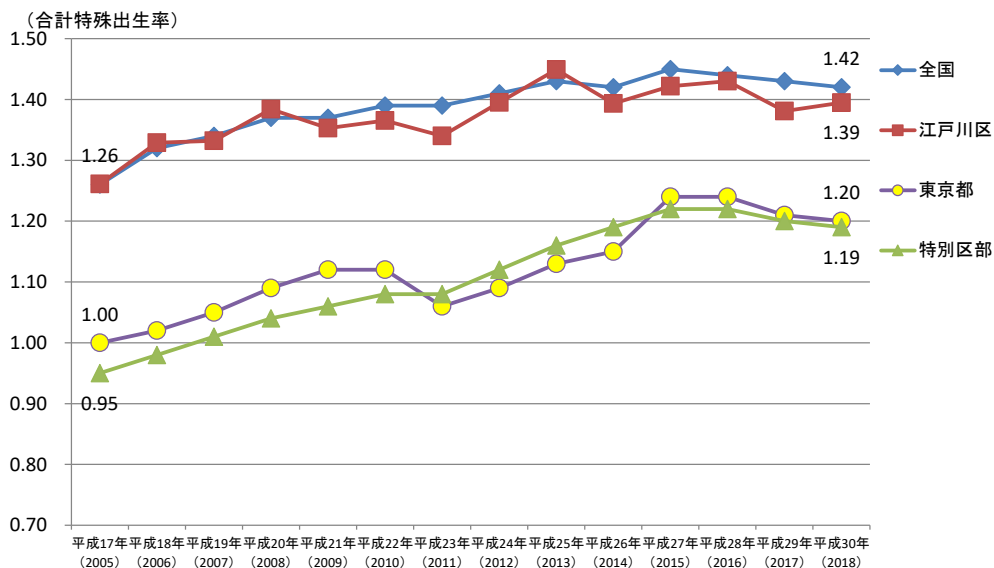
(2) 出生者数

①合計特殊出生率

2018年の江戸川区の合計特殊出生率は1.39と、全国(1.42)を下回るが、東京都(1.20)、特別区部(1.19)を上回っている。江戸川区の合計特殊出生率は全国値に近い値で推移してきており、東京都や特別区部を大きく上回る値で推移してきた。

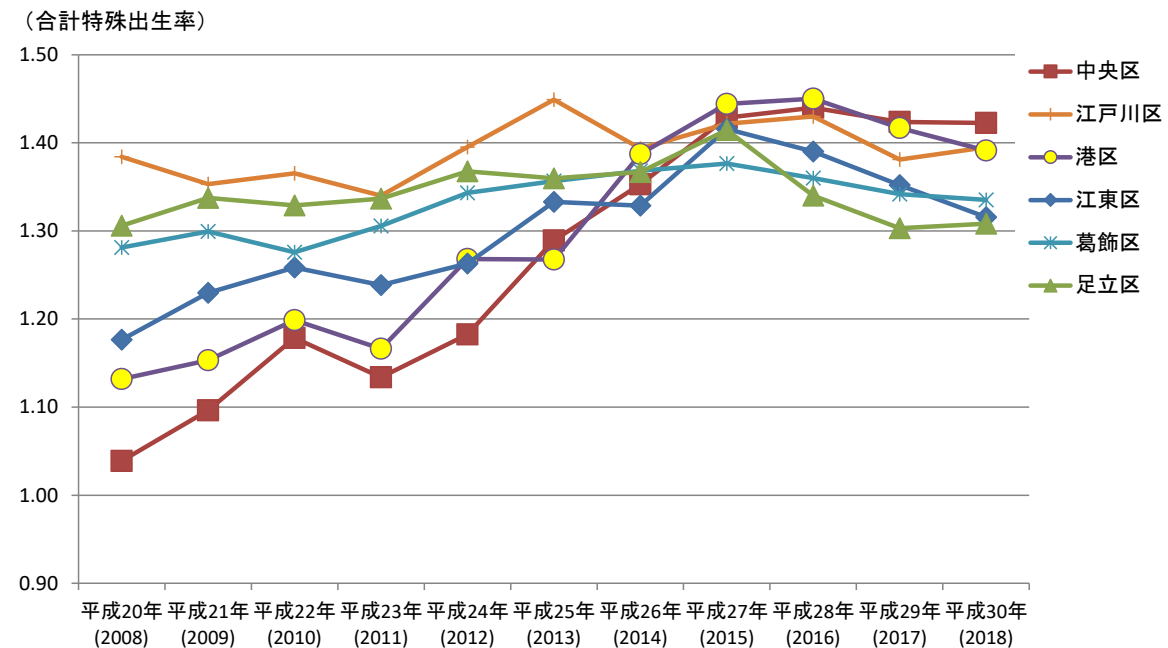
長期の推移をみると全国での合計特殊出生率は低下傾向にある。東京都全体においても同様であり、特別区部においては、一部の区で上昇がみられるものの、全体として低下の傾向にある。

図表 合計特殊出生率の推移(全国、東京都、特別区部及び江戸川区)



資料)厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」、東京都「人口動態統計」

図表 特別区部の合計特殊出生率上位 6 区の推移



資料) 東京都「人口動態統計」

図表 特別区部の合計特殊出生率の推移

	平成20年 (2008)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	2017- 2018変化
千代田区	0.94 (15)	1.00 (14)	0.96 (16)	0.94 (17)	1.15 (9)	1.09 (15)	1.34 (6)	1.30 (9)	1.35 (6)	1.41 (3)	1.20 (11)	▲0.21
中央区	1.04 (11)	1.10 (11)	1.18 (7)	1.13 (8)	1.18 (7)	1.29 (6)	1.35 (5)	1.43 (2)	1.44 (2)	1.42 (1)	1.42 (1)	0.00
港区	1.13 (7)	1.15 (6)	1.20 (6)	1.17 (6)	1.27 (4)	1.27 (7)	1.39 (2)	1.44 (1)	1.45 (1)	1.42 (2)	1.39 (3)	▲0.03
新宿区	0.85 (18)	0.93 (16)	0.92 (18)	0.89 (19)	0.96 (18)	0.96 (20)	0.97 (23)	1.02 (22)	1.07 (19)	1.08 (18)	1.03 (20)	▲0.05
文京区	0.94 (16)	0.91 (17)	0.97 (15)	1.02 (15)	1.01 (16)	1.09 (16)	1.13 (16)	1.17 (16)	1.25 (10)	1.20 (13)	1.24 (7)	0.03
台東区	1.02 (13)	1.00 (15)	1.11 (11)	1.09 (12)	1.12 (13)	1.15 (14)	1.22 (10)	1.23 (12)	1.20 (15)	1.25 (10)	1.23 (9)	▲0.02
墨田区	1.10 (9)	1.15 (7)	1.15 (9)	1.10 (11)	1.18 (8)	1.17 (11)	1.22 (9)	1.30 (8)	1.25 (10)	1.28 (9)	1.24 (8)	▲0.04
江東区	1.18 (4)	1.23 (4)	1.26 (4)	1.24 (5)	1.26 (5)	1.33 (4)	1.33 (8)	1.42 (4)	1.39 (4)	1.35 (5)	1.32 (5)	▲0.04
品川区	0.97 (14)	1.02 (13)	1.00 (14)	1.05 (13)	1.11 (14)	1.16 (13)	1.14 (15)	1.23 (11)	1.25 (10)	1.23 (11)	1.21 (10)	▲0.01
目黒区	0.80 (22)	0.83 (22)	0.89 (20)	0.88 (20)	0.92 (21)	0.94 (22)	1.05 (18)	1.04 (20)	1.04 (21)	1.07 (20)	1.06 (19)	▲0.01
大田区	1.08 (10)	1.12 (8)	1.10 (12)	1.12 (10)	1.13 (11)	1.17 (10)	1.19 (13)	1.21 (14)	1.18 (16)	1.17 (16)	1.19 (12)	0.02
世田谷区	0.90 (17)	0.90 (18)	0.95 (17)	0.96 (16)	1.00 (17)	1.05 (17)	1.10 (17)	1.12 (17)	1.12 (17)	1.07 (19)	1.08 (17)	0.01
渋谷区	0.77 (23)	0.85 (21)	0.85 (23)	0.86 (23)	0.93 (20)	0.97 (19)	1.02 (19)	1.08 (18)	1.08 (18)	1.09 (17)	1.08 (18)	▲0.02
中野区	0.83 (19)	0.88 (20)	0.89 (19)	0.86 (22)	0.90 (22)	0.93 (23)	0.99 (21)	1.03 (21)	1.06 (20)	1.04 (22)	1.00 (22)	▲0.04
杉並区	0.81 (21)	0.82 (23)	0.86 (22)	0.87 (21)	0.89 (23)	0.95 (21)	0.99 (22)	1.04 (19)	1.03 (22)	1.00 (23)	1.03 (21)	0.03
豊島区	0.82 (20)	0.88 (19)	0.88 (21)	0.91 (18)	0.93 (19)	0.99 (18)	1.00 (20)	1.00 (23)	1.02 (23)	1.04 (21)	0.99 (23)	▲0.06
北区	1.03 (12)	1.06 (12)	1.07 (13)	1.05 (14)	1.09 (15)	1.18 (9)	1.20 (12)	1.22 (13)	1.26 (9)	1.21 (12)	1.18 (14)	▲0.03
荒川区	1.17 (5)	1.16 (5)	1.23 (5)	1.25 (4)	1.20 (6)	1.30 (5)	1.34 (7)	1.33 (7)	1.33 (8)	1.33 (7)	1.19 (13)	▲0.15
板橋区	1.14 (6)	1.10 (10)	1.12 (10)	1.13 (9)	1.13 (12)	1.17 (12)	1.16 (14)	1.19 (15)	1.21 (14)	1.18 (15)	1.16 (15)	▲0.01
練馬区	1.11 (8)	1.11 (9)	1.15 (8)	1.14 (7)	1.14 (10)	1.22 (8)	1.21 (11)	1.24 (10)	1.23 (13)	1.20 (14)	1.16 (16)	▲0.04
足立区	1.31 (2)	1.34 (2)	1.33 (2)	1.34 (2)	1.37 (2)	1.36 (2)	1.37 (4)	1.41 (5)	1.34 (7)	1.30 (8)	1.31 (6)	0.01
葛飾区	1.28 (3)	1.30 (3)	1.28 (3)	1.31 (3)	1.34 (3)	1.36 (3)	1.37 (3)	1.38 (6)	1.36 (5)	1.34 (6)	1.34 (4)	▲0.01
江戸川区	1.38 (1)	1.35 (1)	1.37 (1)	1.34 (1)	1.40 (1)	1.45 (1)	1.39 (1)	1.42 (3)	1.43 (3)	1.38 (4)	1.39 (2)	0.01

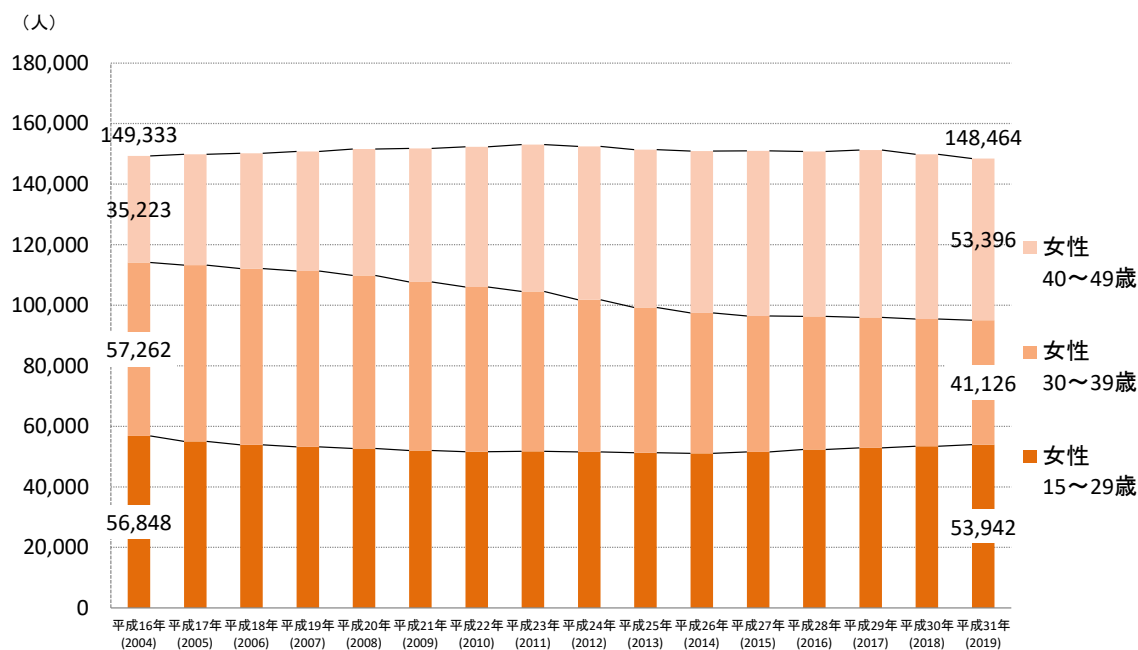
注) カッコ内は特別区部内での順位

資料) 東京都「人口動態統計」

②女性人口

出生数に影響を与える女性人口（15～49歳人口）については近年減少傾向にある。年齢構成別にみると、2004年時点に比べ、30～39歳（28.2%減）及び15～29歳（5.1%減）において減少傾向であり、40～49歳が増加傾向（51.6%増）にある。ただし、15～29歳については近年増加傾向にある。

図表 江戸川区の15歳～49歳女性人口の推移



注) 3月31日時点の日本人住民数(2014年からは1月1日時点)。

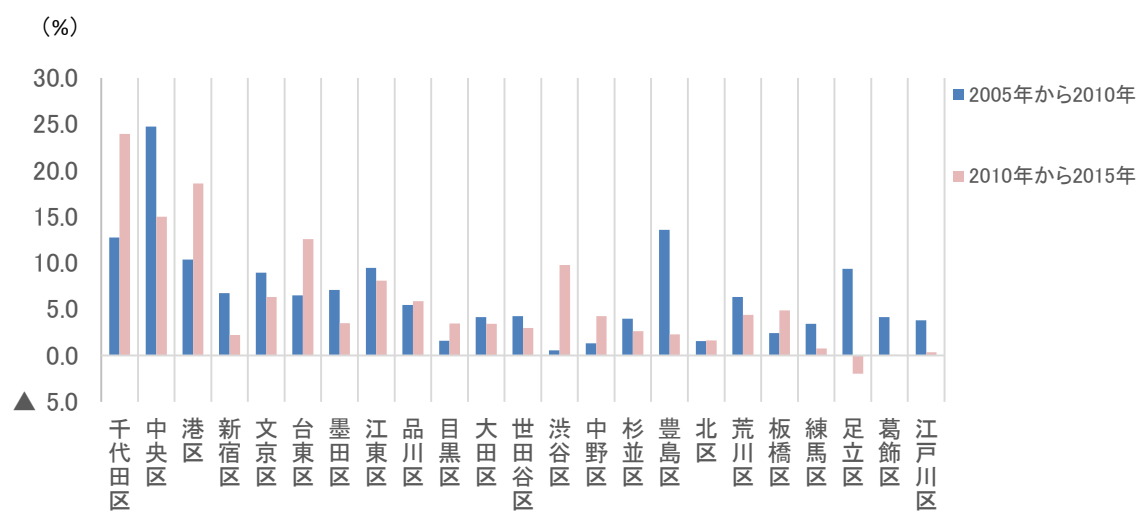
資料) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」各年版

3. 社会動態

(1) 社会動態の推移と特徴

先述のとおり、都内では都心部での人口増加が続いている。区別では千代田区、中央区、港区において高い人口の伸び率で推移している。一方、それら以外では減少に転じる区も出てきている。

図表 特別区部の人口増加率

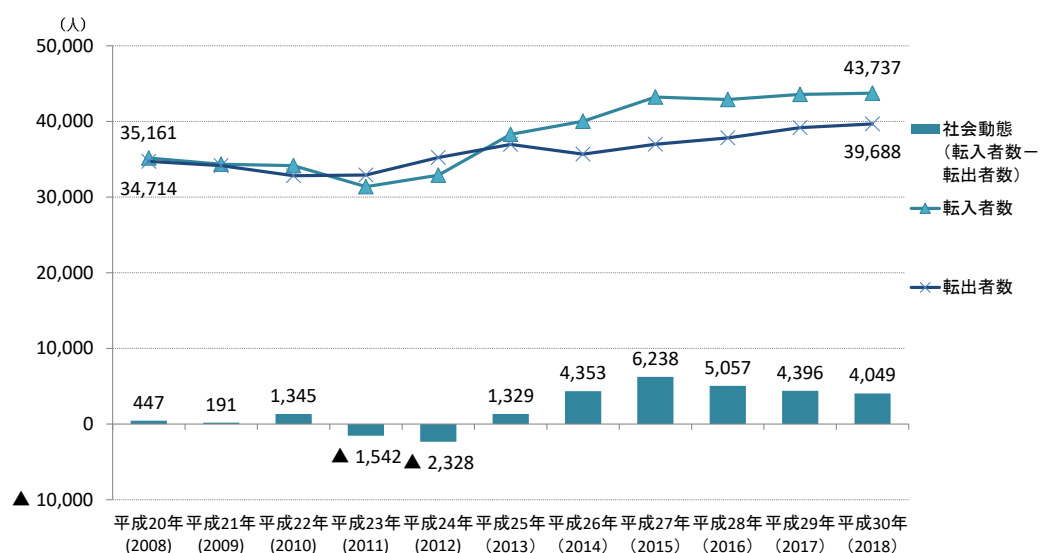


資料)総務省「国勢調査」

江戸川区の社会動態については、転入者数、転出者数とも増加傾向にあるが、その差が近年減少している。すなわち社会増の傾向は続いているものの、社会増は縮減の傾向にある。

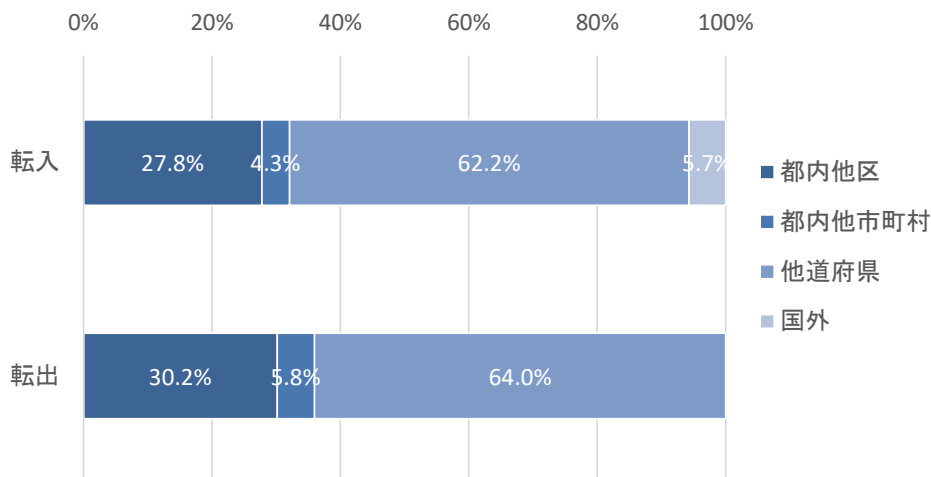
この背景として、江戸川区の転入超過者数は、他道府県からの割合が約6割を占め、大阪市、福岡市、札幌市といった自治体からの転入が多い。また、地方からの10歳代～20歳代の若者の転入者数が多い（後述）が、既に地方では人口減少が始まっており、転入者数の伸び悩みにつながっていると考えられる。また、周辺都市との社会増減の状況に目を転じると、江戸川区は転出超過にある。とりわけ、葛飾区、船橋市、江東区など近隣都市への転出が多く、今後、地方からの転入が減少するだけでなく、周辺都市部への転出超過が継続することで、将来的に社会動態も減少に転ずる可能性が高いと考えられる。

図表 江戸川区の社会動態の推移



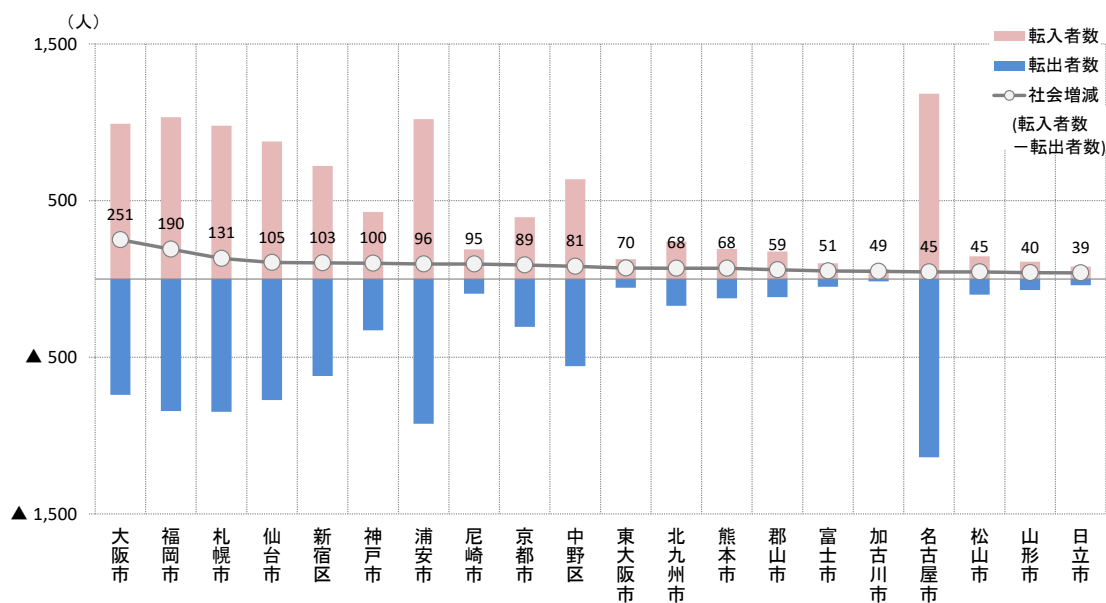
資料)江戸川区「統計江戸川」各年版(住民基本台帳人口)
平成30年は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」より

図表 江戸川区の転出先及び転入元状況



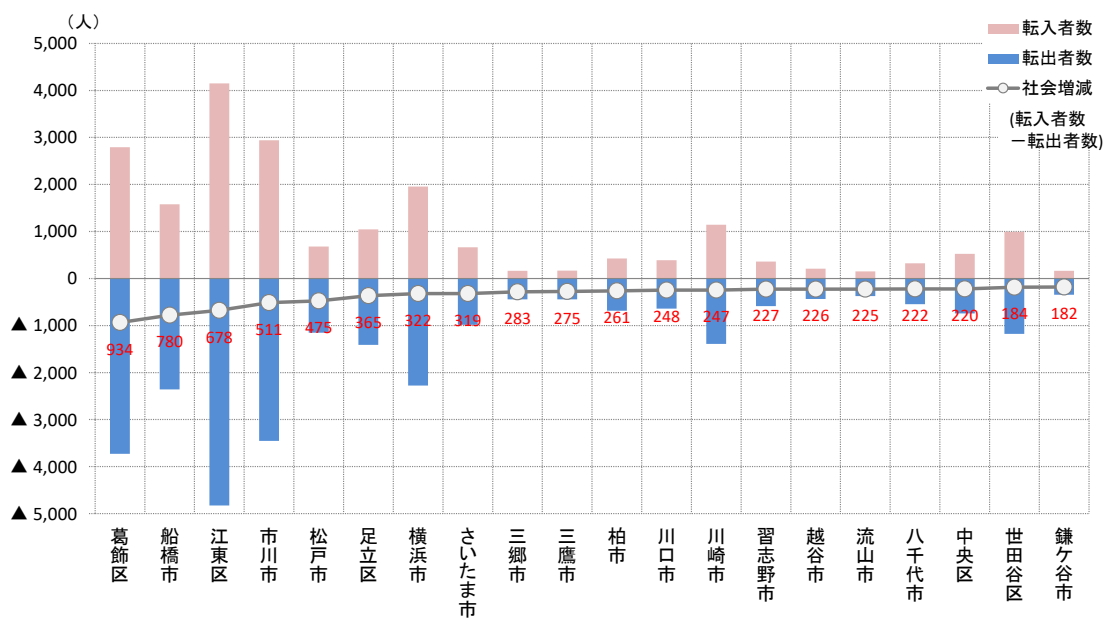
資料)総務省「平成27年国勢調査」
注) 移動状況不詳は除いている

図表 江戸川区が転入超過となっている上位 20 自治体（2010 年から 2015 年）



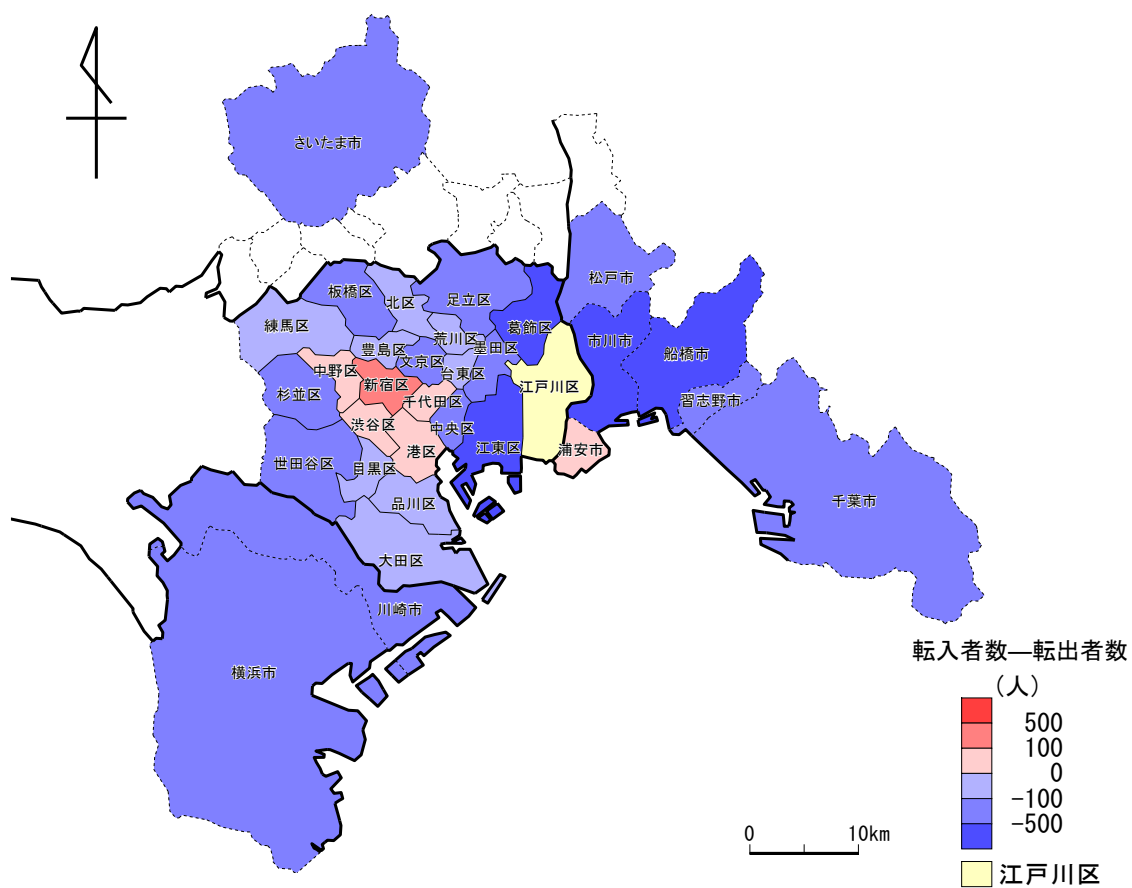
資料)総務省「平成27年国勢調査」

図表 江戸川区が転出超過となっている上位 20 自治体（2010 年から 2015 年）



資料)総務省「平成27年国勢調査」

図表 江戸川区と主な近隣自治体との社会増減の状況
(2010 年から 2015 年)



資料) 総務省「平成 27 年国勢調査」

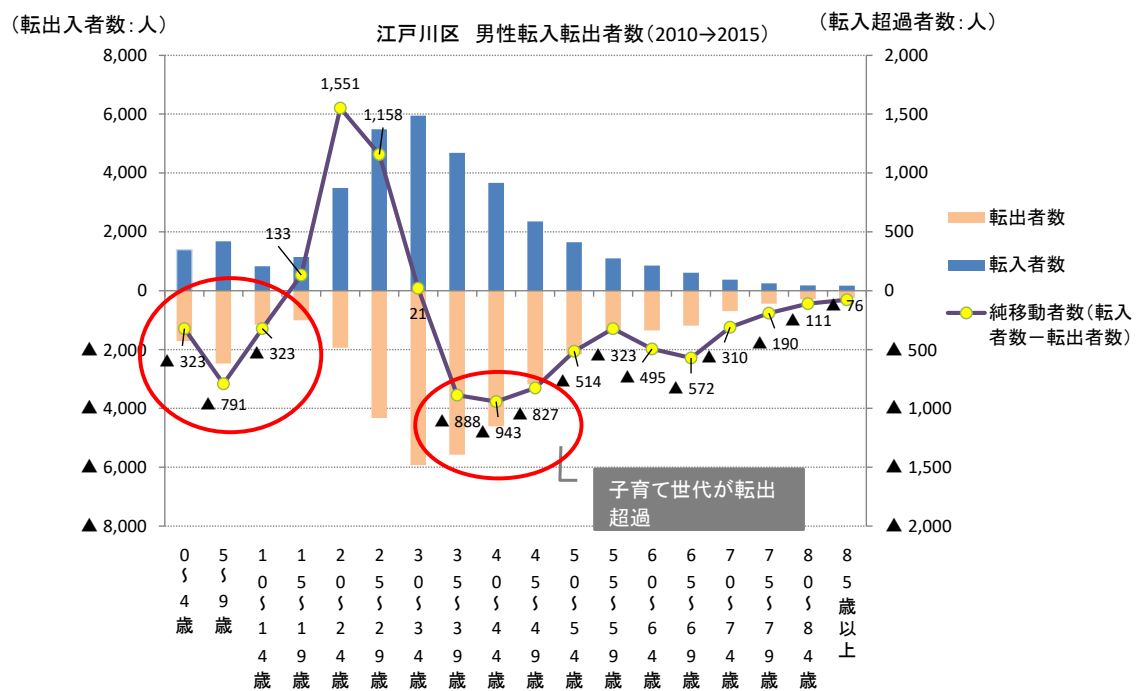
(2) 年齢別分析

年齢別の社会動態については、男性、女性ともに、10 歳代後半から 30 歳代前半にかけて転入超過となっているが、その他の年代では概して転出超過となっている。

特に、10 歳代前半までと 30 歳代後半から 40 歳代後半の転出者数が多いことから子育て世代の転出が大きいと考えられる。

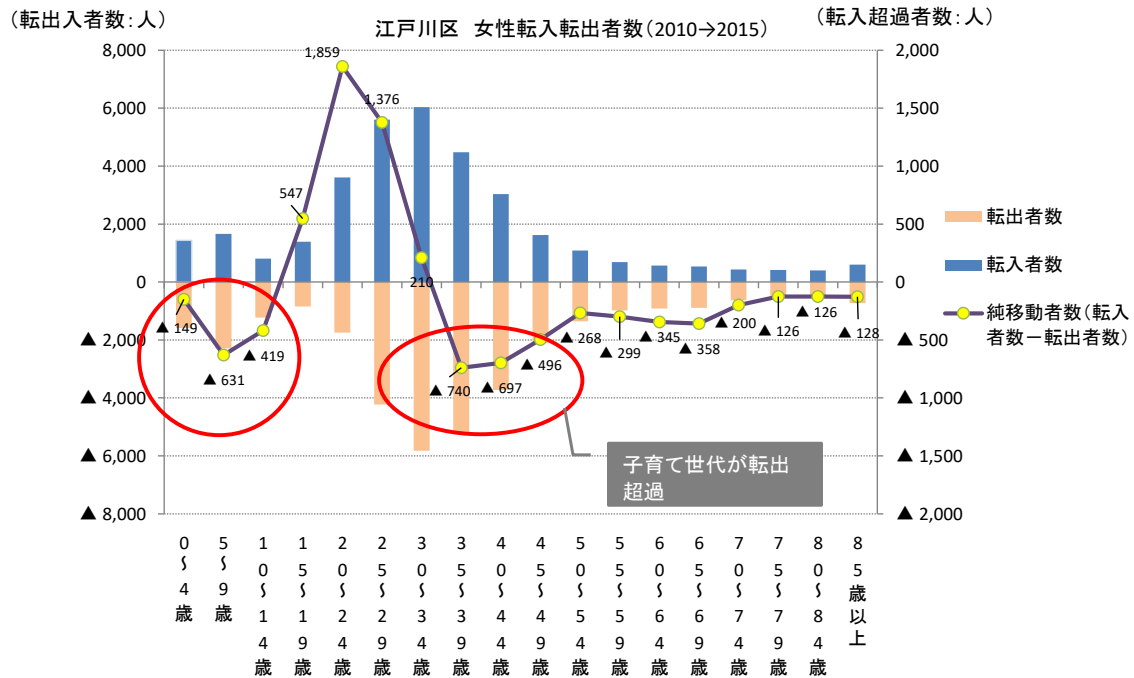
子育て世代の居住率が比較的低いことから転出傾向があると考えられる。

図表 江戸川区の男性年齢別の転出入状況（2010 年から 2015 年）

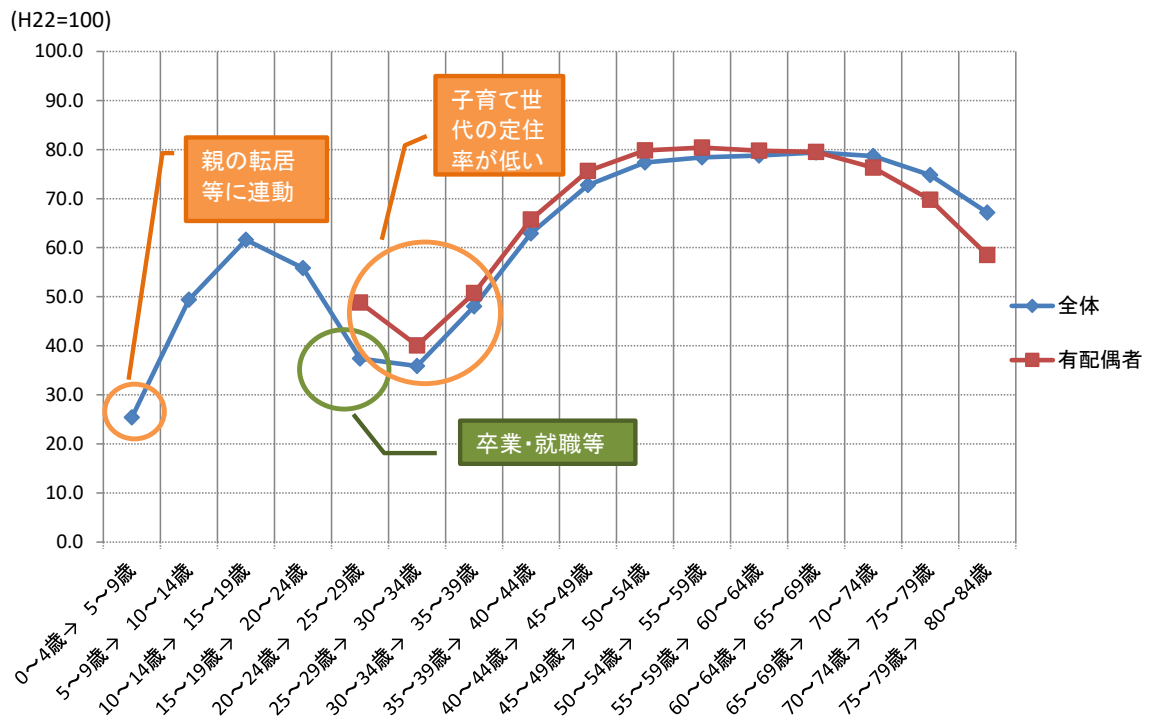


資料)総務省「平成27年国勢調査」

図表 江戸川区の女性年齢別の転出入状況（2010年から2015年）



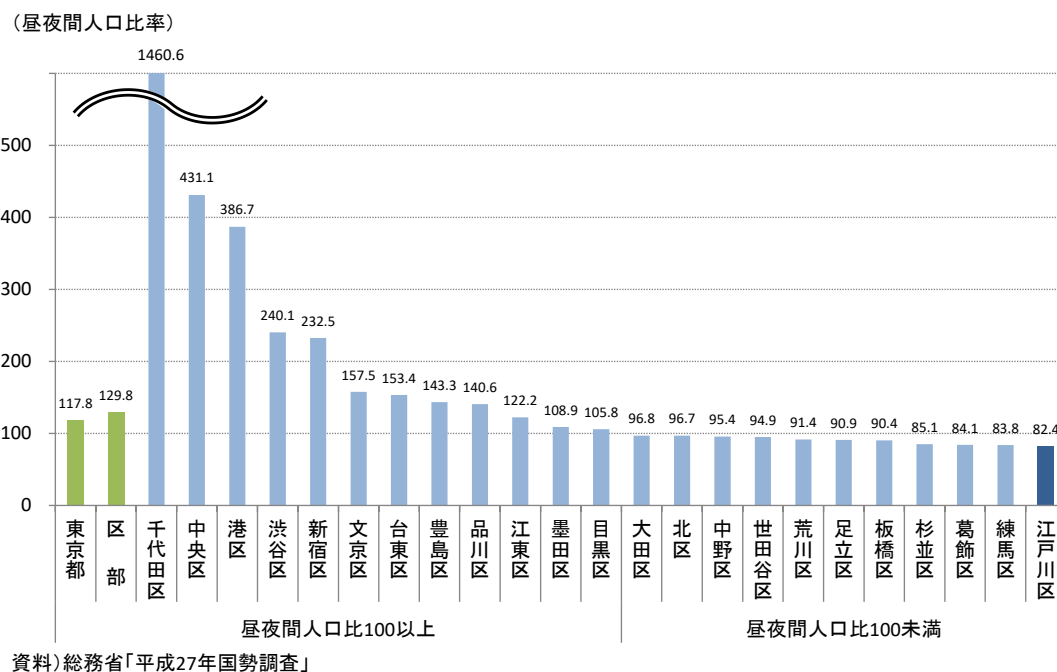
図表 江戸川区の年代別5年後の居住率



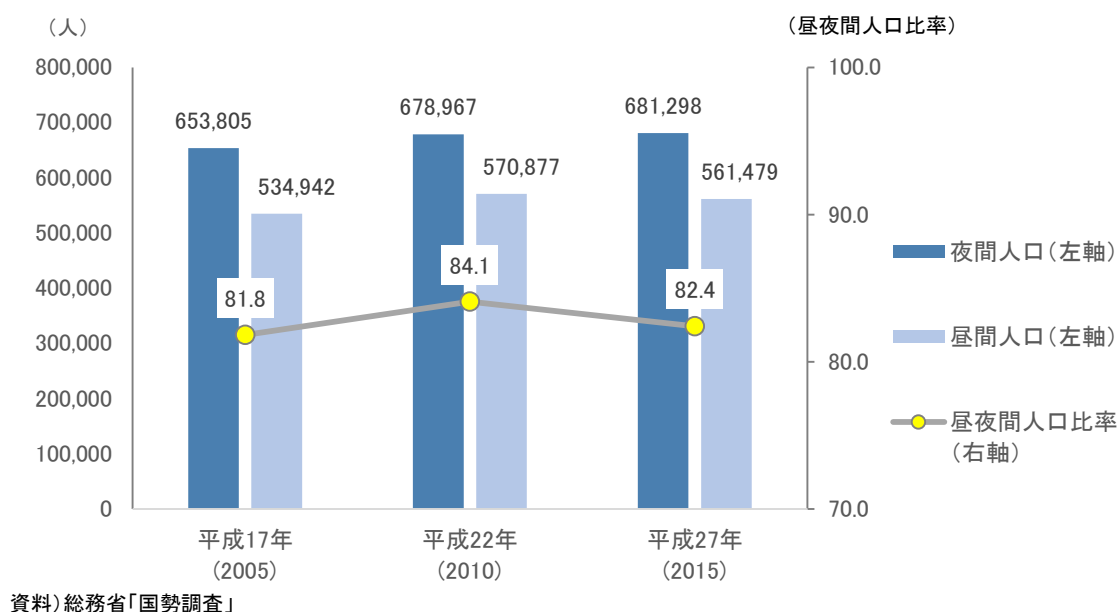
(3) 昼夜間人口

他自治体との比較では、江戸川区の昼夜間人口比率は 82.4 と特別区の中で最も低い。昼夜間人口比率が低い自治体は都心を取り巻くように分布しており、日中の昼間人口が多い都心に通勤・通学していると考えられる。

図表 東京都、特別区部及び 23 区別の昼夜間人口比率

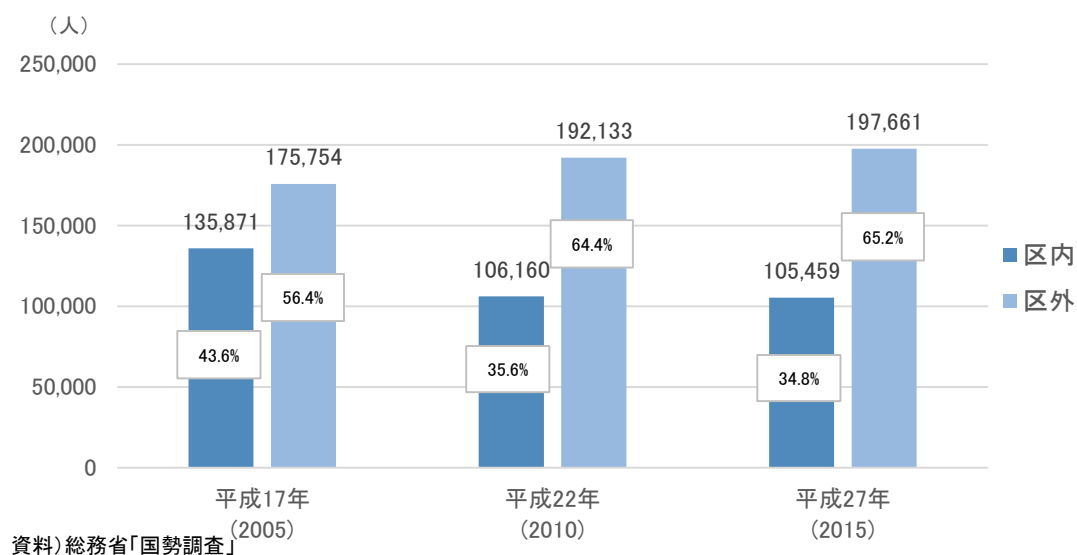


図表 江戸川区の昼夜間人口及び昼夜間人口比率の推移

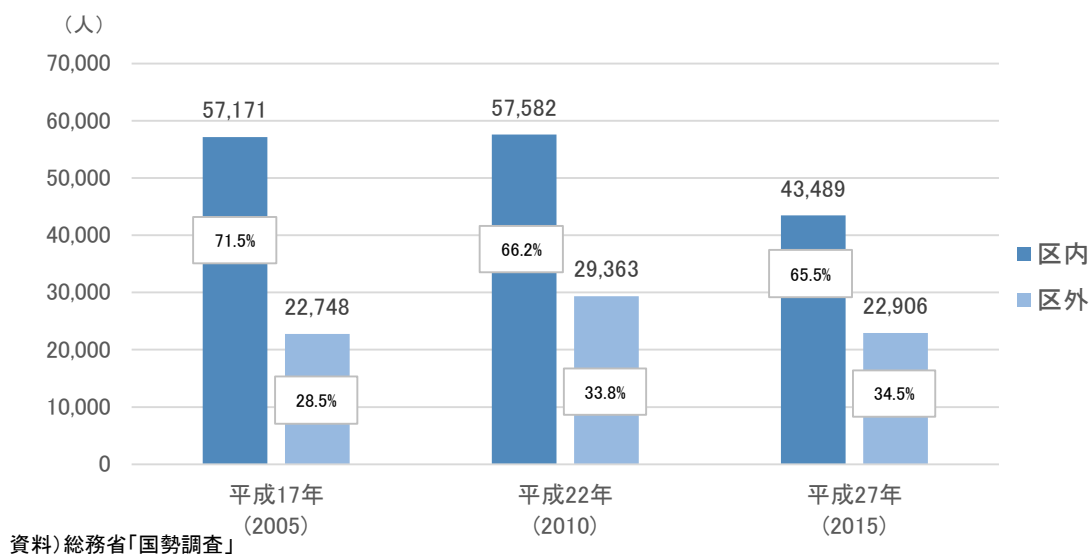


昼夜間人口に影響する区内在住の就業者（15歳以上）をみると、通勤先は区内に比べ区外が上回っており、2015年におけるその割合は65.2%となっている。また、区外への就業者数は年々増加しており、昼間人口の減少につながっていると考えられる。通勤先では江東区が最も多く、次いで千代田区や中央区、港区、新宿区等のほか、隣接自治体で就業している区民も多くいる。一方就学者（15歳未満を含む）は、小・中学生も含むため区内割合が高くなっているが、千代田区をはじめ広く都内へ通学している。また、都内への通学状況とともに、少子化の影響もあり就学者が減少しており、昼夜間人口比率に影響していると考えられる。

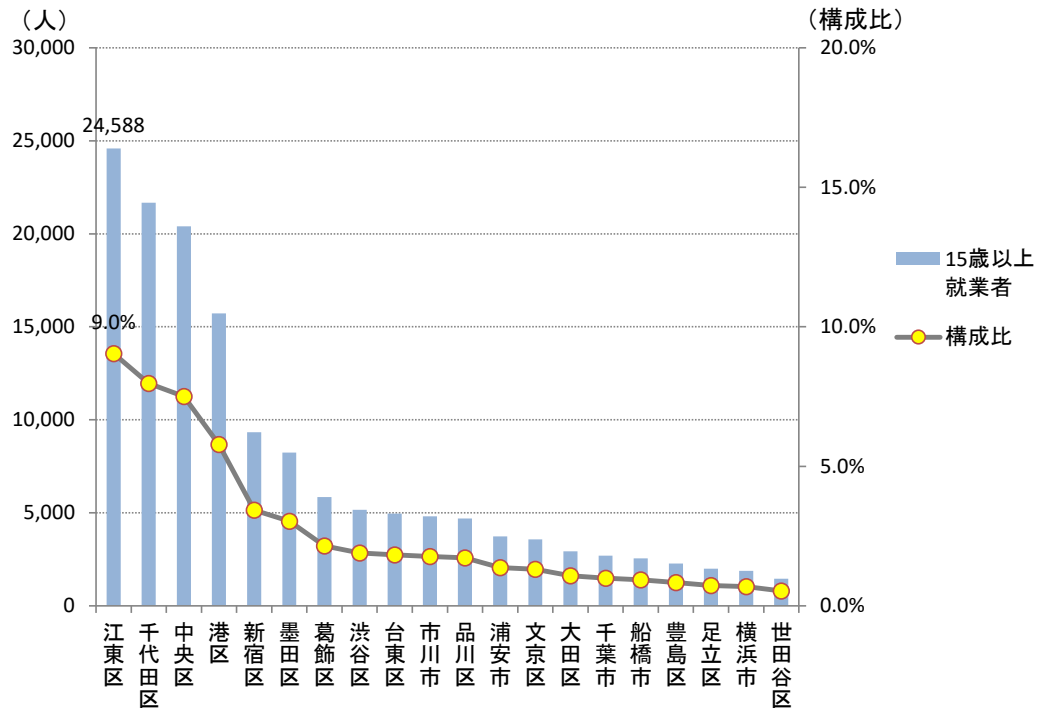
図表 江戸川区の就業者の就業先（区内・区外）別人口の推移



図表 江戸川区の就学者の通学先（区内・区外）別人口の推移



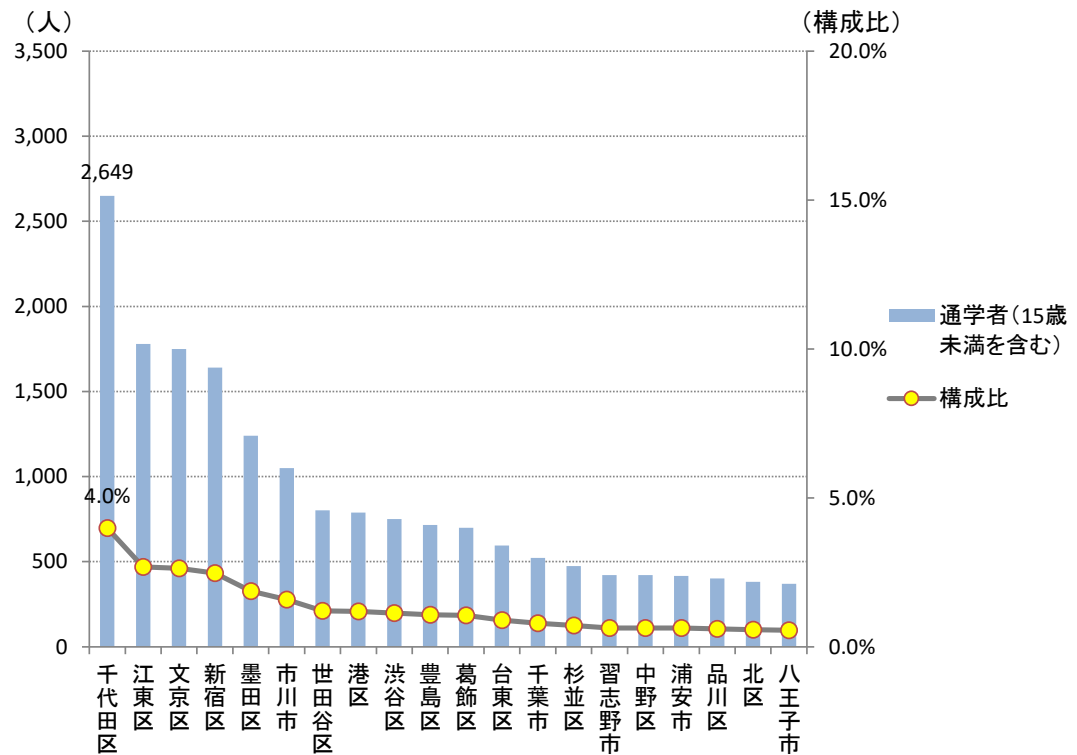
図表 江戸川区民の主な就業先自治体



注) 従業地不詳を除く

資料) 総務省「平成27年国勢調査」

図表 江戸川区民の主な通学先自治体



注) 通学地不詳を除く

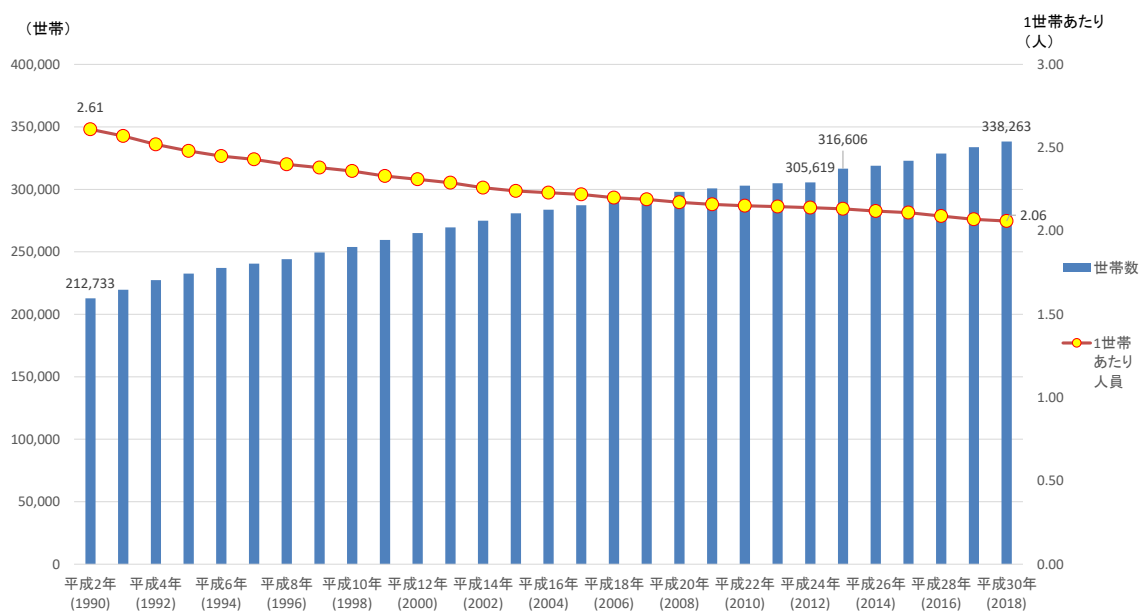
資料) 総務省「平成27年国勢調査」

4. 世帯の動向

(1) 世帯数の推移

江戸川区における 2018 年の世帯数²は 338,263 世帯となっており、この約 30 年間、一貫して増加基調となっている。背景には、人口増加に加え、1 世帯あたりの人員数の減少がある。

図表 江戸川区の世帯数の推移



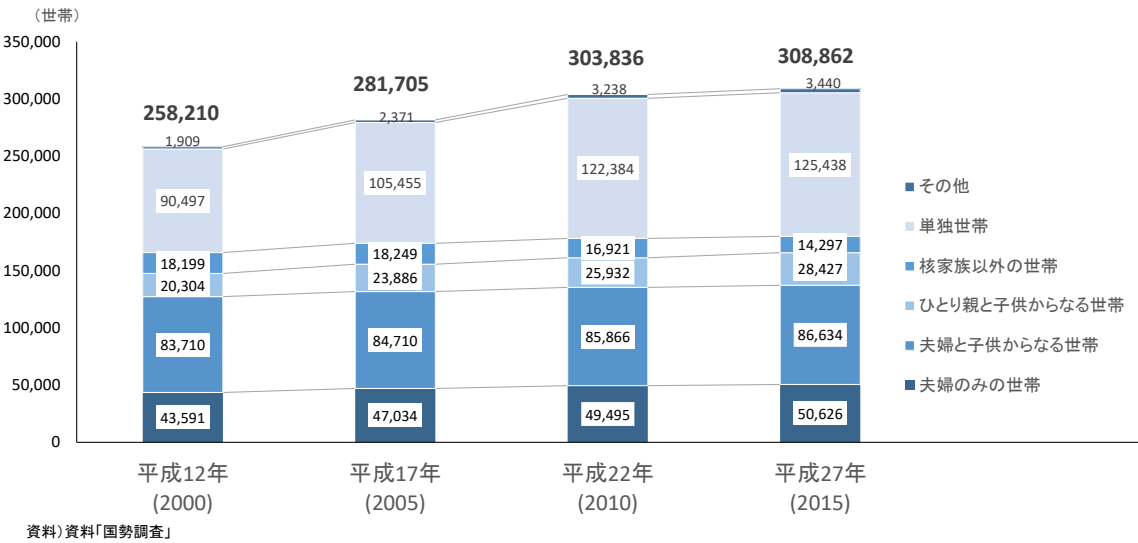
資料) 江戸川区「統計江戸川」(平成30年版)

² 平成 24 年 (2012 年) 7 月 9 日法改正により、外国人が住民基本台帳の適用対象となったため、平成 25 年 (2013 年) 以降は日本人と外国人の合計数である。

（２）世帯類型の推移

江戸川区の主要な世帯は単独世帯であり、2015年時点で全世帯の40.6%を占め、次いで核家族世帯の「夫婦と子供からなる世帯」（28.0%）と「夫婦のみの世帯」（16.4%）の順となっている。また「核家族以外の世帯」を除いた各世帯類型で2000年以降、世帯数が増加し、特に単独世帯の増加が目立つ。

図表 江戸川区の類型別世帯数の推移



(本分析と国勢調査の一般世帯の類型)

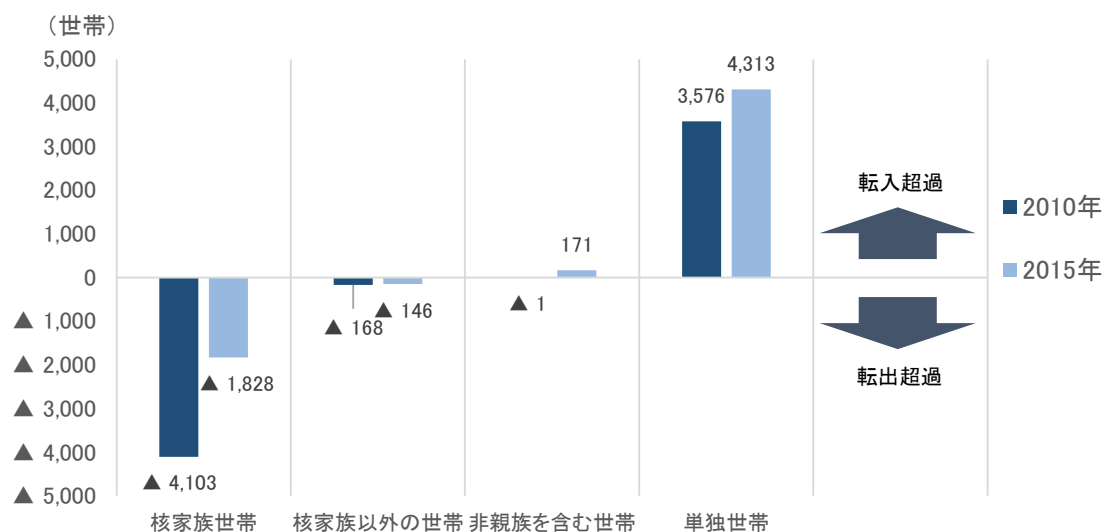
本分析の類型		国勢調査の類型	
	単独世帯		単独世帯
核家族世帯	夫婦のみの世帯	核家族世帯	夫婦のみの世帯
	夫婦と子供からなる世帯	核家族世帯	夫婦と子供から成る世帯
	ひとり親と子供から成る世帯	核家族世帯	男親と子供から成る世帯 女親と子供から成る世帯
その他の一般世帯		核家族以外の世帯	夫婦と両親から成る世帯 夫婦とひとり親から成る世帯 他に夫婦、子供とひとり親から成る世帯、夫婦と他の親族
			非親族を含む世帯

注) 「子ども」及び「子供」の表記については出典に合わせるものとする。

江戸川区における特徴の一つとして、先述のとおり子育て世代の転出が大きいですが、世帯類型別の転出入においても同様の傾向がみられる。一方で、単独世帯は転入超過にあり、区内における単独世帯の増加につながっている。

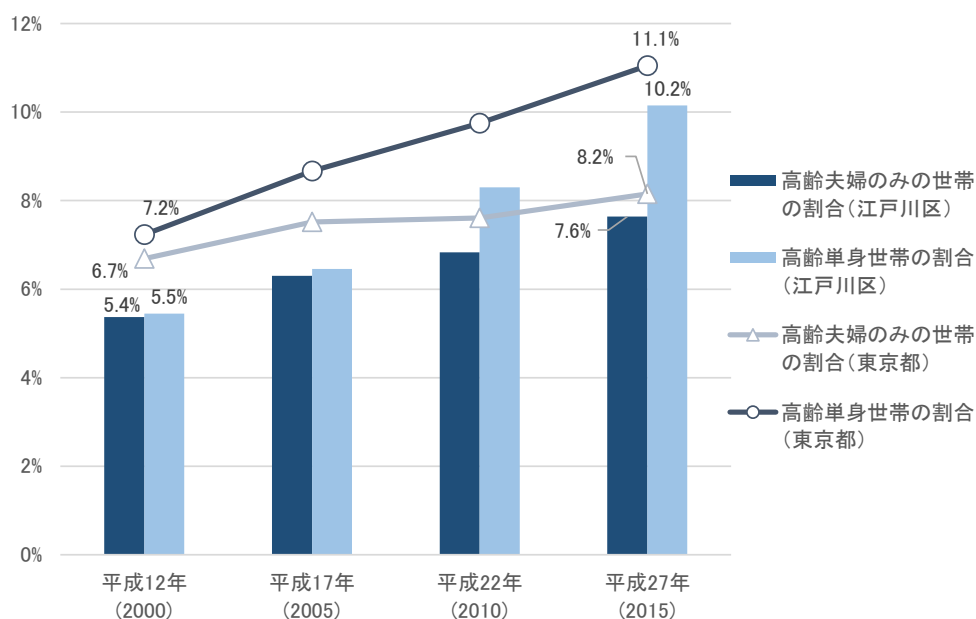
また、高齢化に伴い高齢者単身世帯(65 歳以上)の割合が東京都全体の数値は下回るものの増加しており、今後も増加すると考えられる。

図表 江戸川区の世帯類型別の転入超過数（2010 年・2015 年）



資料) 総務省「国勢調査」

図表 高齢者世帯の類型別の推移（東京都、江戸川区）



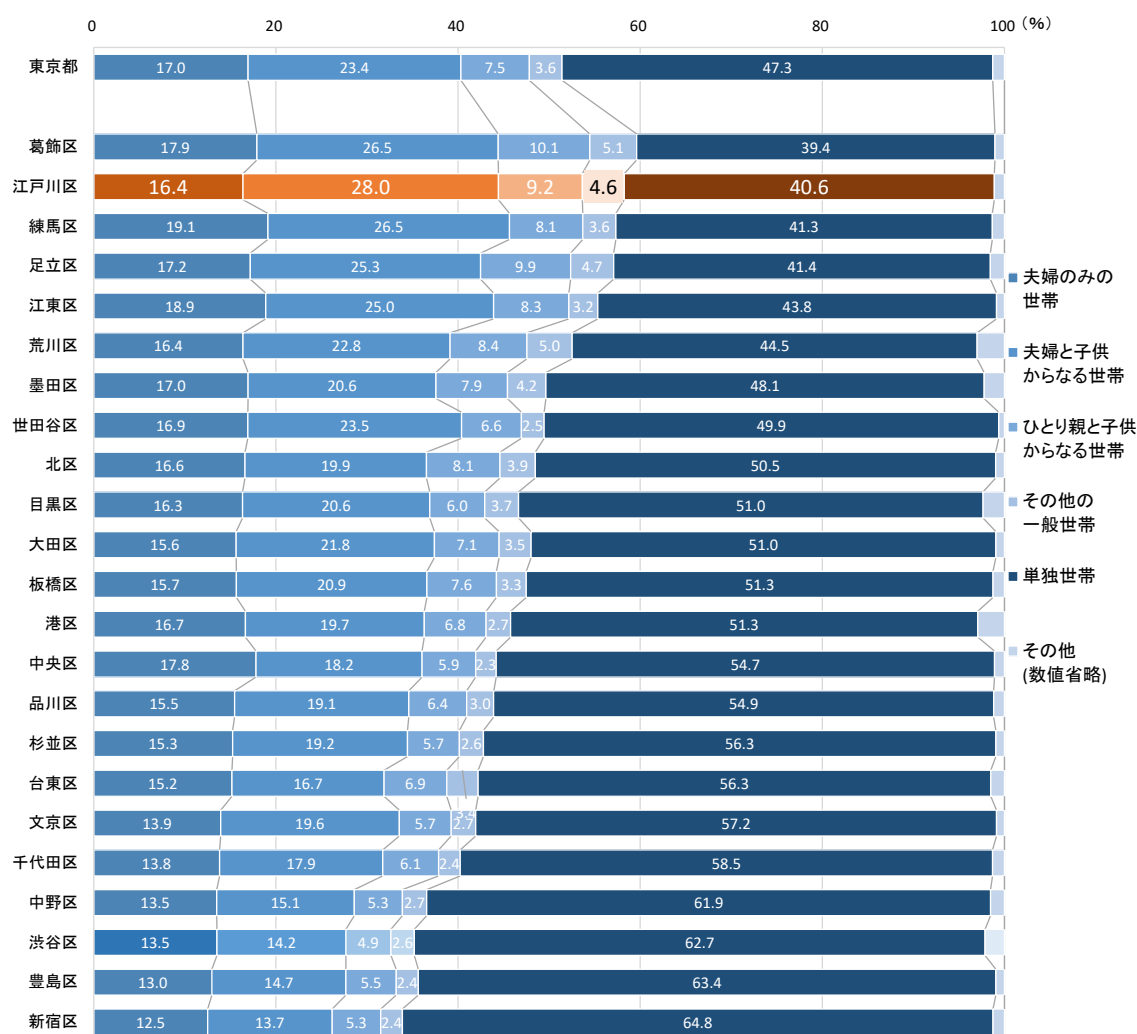
資料) 総務省「国勢調査」

注) 「高齢者夫婦のみの世帯」は夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯
「高齢者単身世帯」は 65 歳以上の単身の世帯

(3) 世帯の構成

先述のとおり、江戸川区の主要な世帯の類型は単独世帯であるが、東京都、特別区部に比べ、その割合は小さく、核家族世帯の割合が大きい。核家族世帯の中でも「夫婦と子供からなる世帯」、「ひとり親と子供からなる世帯」の割合が大きいという特徴がある。したがって、江戸川区のみで見れば単独世帯が増えているものの、都内の中では比較的ファミリー世帯が多い自治体であるといえる。

図表 東京都、特別区部の世帯構成比

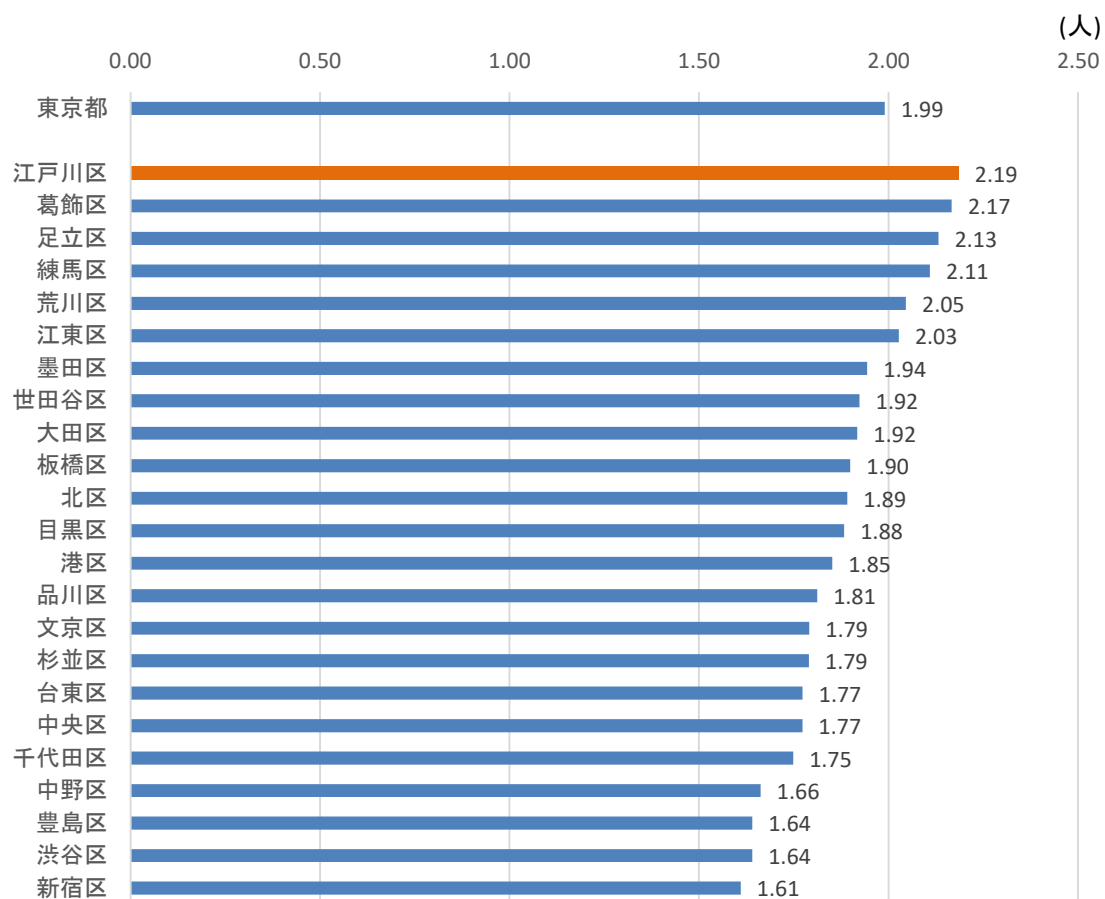


注) 並びは「単独世帯」の昇順

資料) 総務省「平成27年国勢調査」

東京都及び特別区部と比較すると、江戸川区の一般世帯の1世帯あたり人員数(2.19人)は特別区部のなかで、最も多い。

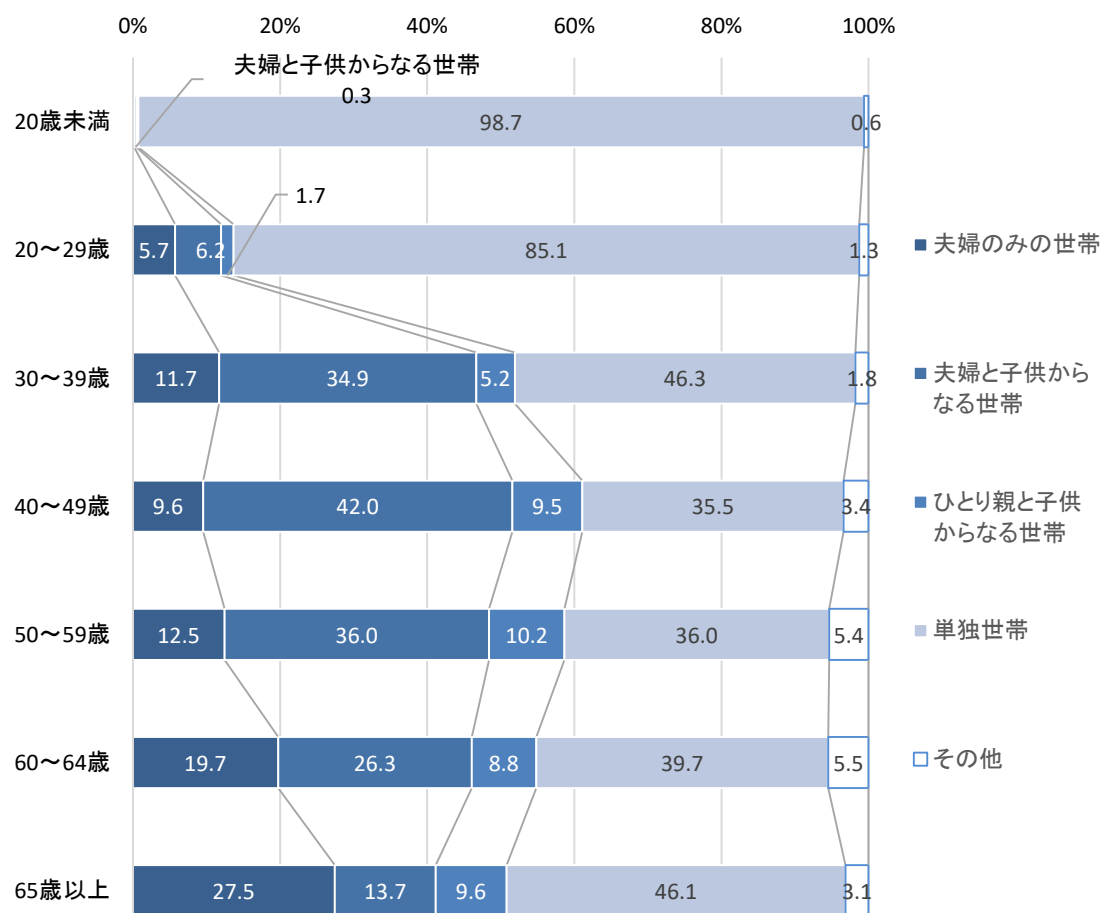
図表 東京都、特別区部の平均世帯人員数



資料)総務省「平成27年国勢調査」

年齢別に世帯類型の構成をみると、20歳代では単独世帯が大半を占めるが、30歳代からは核家族世帯が過半を占める。また、30歳代から50歳代にかけては子供がいる世帯が半数近くとなっている。

図表 江戸川区の世帯主の年齢別世帯構成



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」(2019年4月30日時点)

5. 外国人動態

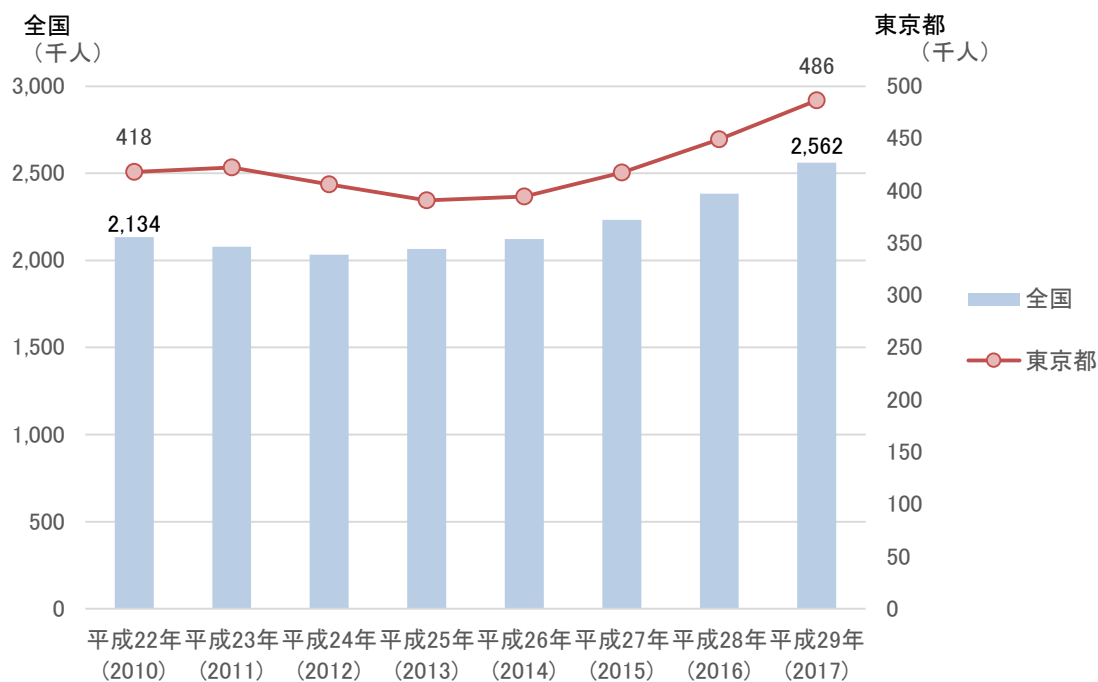
(1) 人口の推移

我が国における外国人の人口は、東日本大震災の影響を受け 2012 年に減少したものの、外国人人材の雇用が進んでいることや、留学生の増加を背景に近年は増加傾向にあり、東京都においても同様の傾向にある。国は、2019 年 4 月から外国人労働者の在留資格制度を緩和し（在留資格「特定技能」の新設）、今後 5 年間で新たに最大約 34 万人を受け入れると試算しており³、全国的に増加傾向で推移すると考えられる。

江戸川区においても年 2,000 人以上の増加が続いており、特別区内では新宿区に次いで 2 番目の外国人人口となっている（2019 年 1 月 1 日時点）。江戸川区の転入者に占める割合は年々増加しており、2018 年における転入者は 4 人に 1 人が外国人となっている。

また、近年の国籍別の人口増加率については、ミャンマー、ベトナムが高い伸びを示している。

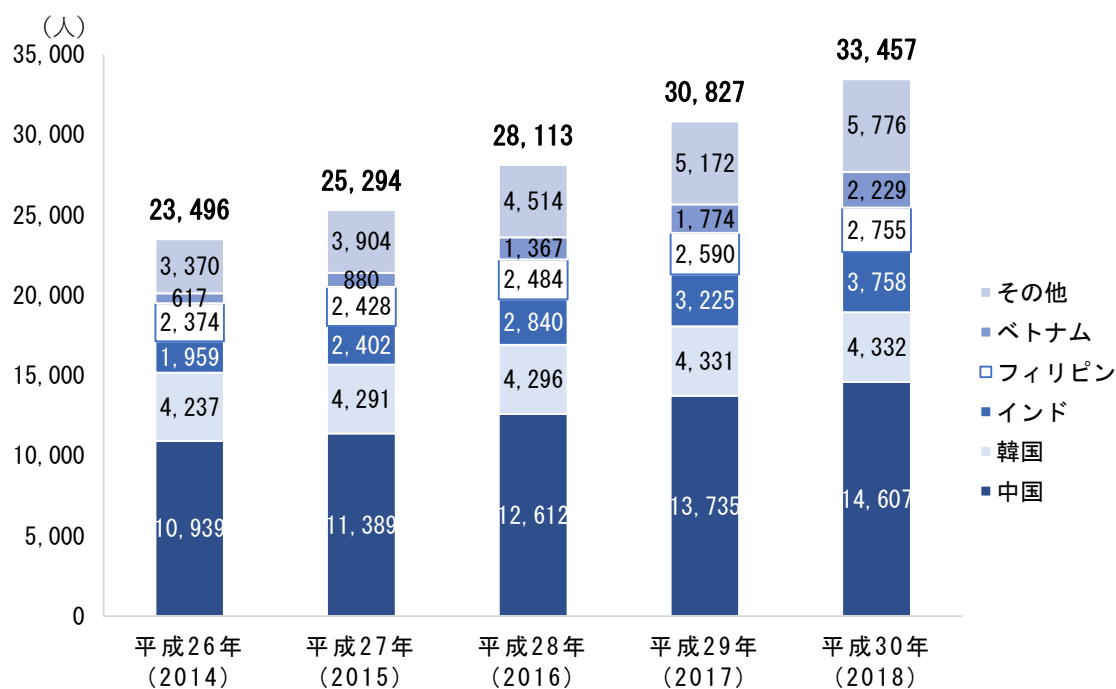
図表 全国及び東京都の外国人人口推移



資料) 法務省「在留外国人統計」、東京都の統計「外国人人口」

³ 「特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針について」（平成 30 年 12 月 25 日閣議決定）

図表 江戸川区の外国人人口の推移



資料) 江戸川区「統計江戸川」(平成30年版)

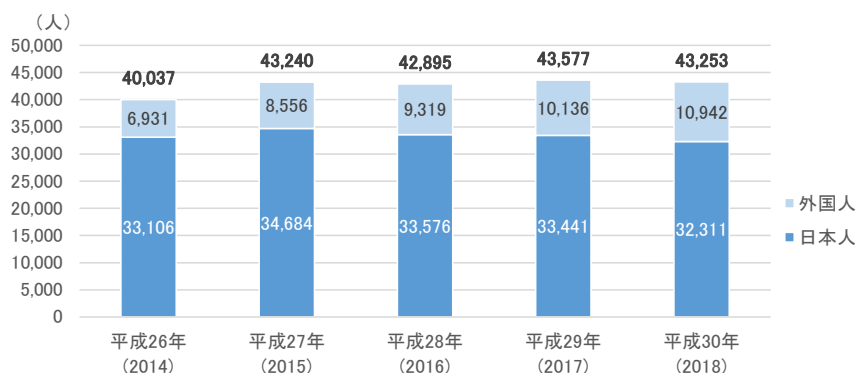
図表 特別区部の外国人人口及び割合

区名	外国人人口	外国人人口割合(対総人口)	区名	外国人人口	外国人人口割合(対総人口)
新宿区	43,068	12.4%	中野区	19,326	5.8%
江戸川区	35,710	5.1%	荒川区	19,131	8.9%
足立区	31,706	4.6%	杉並区	17,722	3.1%
豊島区	30,223	10.4%	台東区	15,433	7.7%
江東区	29,472	5.7%	品川区	13,042	3.3%
板橋区	26,759	4.7%	墨田区	12,645	4.7%
大田区	24,199	3.3%	文京区	10,808	4.9%
北区	22,621	6.4%	渋谷区	10,639	4.7%
葛飾区	21,849	4.7%	目黒区	9,102	3.3%
世田谷区	21,379	2.4%	中央区	7,651	4.7%
港区	20,057	7.8%	千代田区	2,996	4.7%
練馬区	19,653	2.7%			

注) 外国人人口順

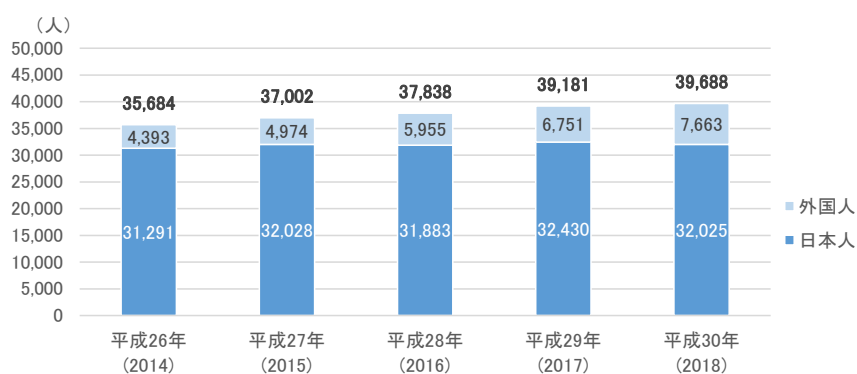
資料) 住民基本台帳人口(2019年1月1日時点)

図表 江戸川区の転入者数内訳（日本人・外国人）



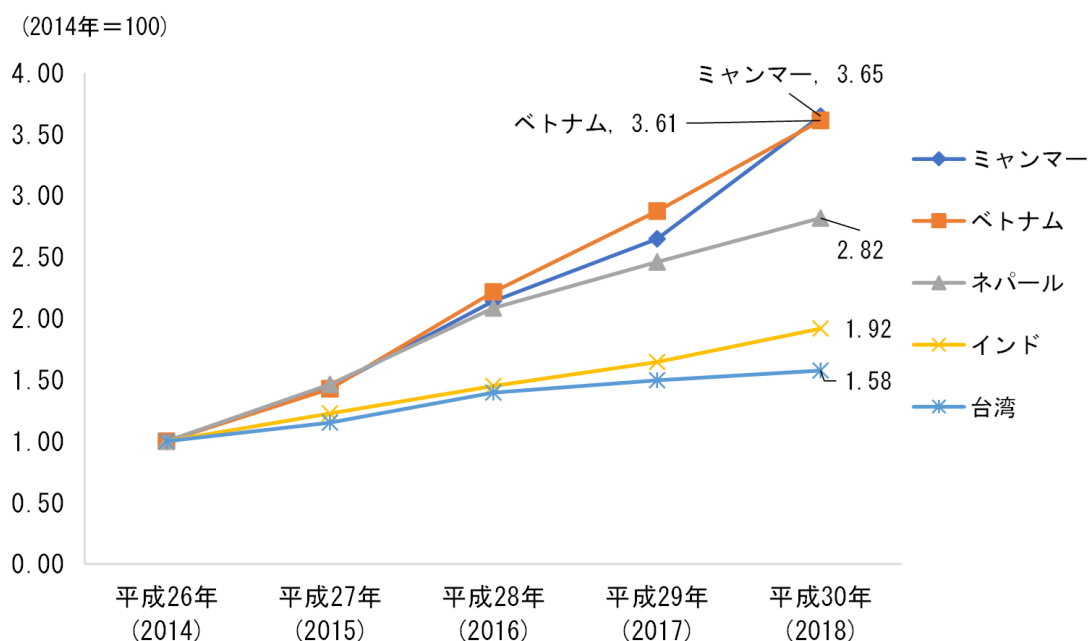
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(事務所別・全国地域別・年齢別集計)」
注) 海外からの転入を含む

図表 江戸川区の転出者数内訳（日本人・外国人）



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(事務所別・全国地域別・年齢別集計)」
注) 海外からの転入を含む

図表 江戸川区の主な外国人国籍別の人口増加率（対 2014 年比）

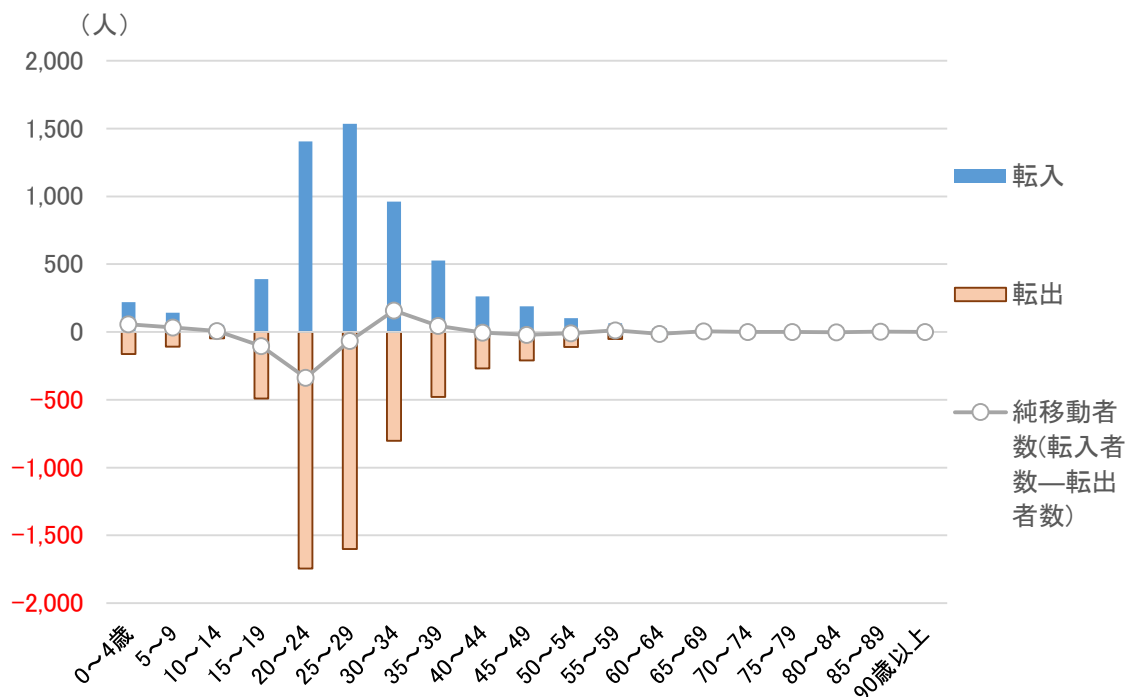


資料) 江戸川区「統計江戸川（平成30年版）」

(2) 外国人の転出入状況

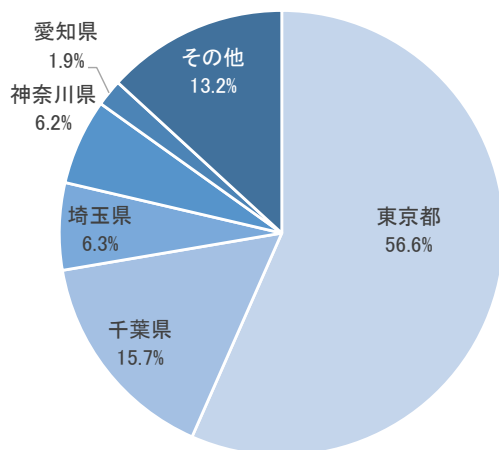
江戸川区における外国人の年齢別転出入の状況をみると、20歳代を中心に転出超過、30歳代で転入超過となっている。20歳代については就労目的入出国の他に、留学生の動向も影響していると考えられる。また転出先、転入元の都道府県については、概ね似た傾向で、それぞれ都内、千葉県、埼玉県の順に多くなっている。

図表 江戸川区の外国人の年齢別転出入状況

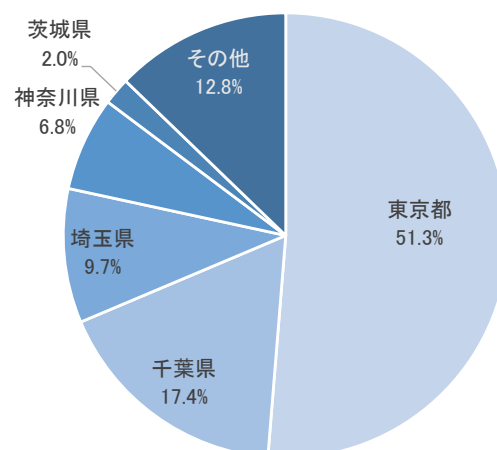


資料) 総務省「住民基本台帳移動報告」(2018年)

図表 江戸川区の外国人の移動前、移動後の住所
(移動前の国内住所地) (移動後の国内住所地)



資料) 総務省「住民基本台帳移動報告」(2018年)



資料) 総務省「住民基本台帳移動報告」(2018年)

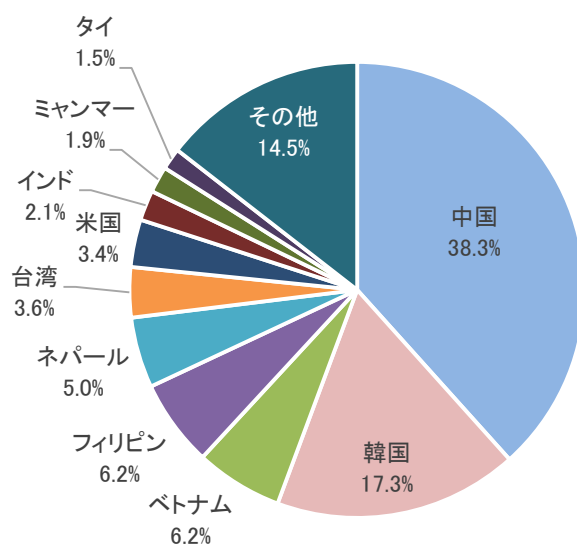
(3) 国籍と年齢の特徴

① 国籍

東京都の外国人国籍構成は中国（38.3%）が最も多く、次いで韓国（17.3%）となり両国で半数以上を占めている。

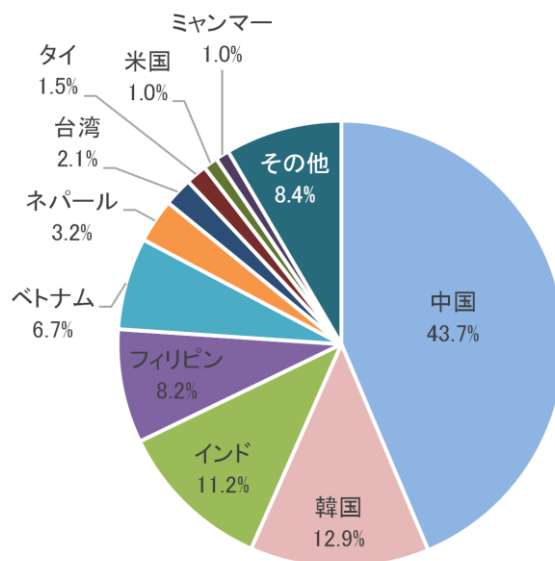
また、江戸川区における国籍構成については、東京都と同様、中国（43.7%）と韓国（12.9%）で半数以上を占めており、次いでインド（11.2%）の順となっている。

図表 東京都の外国人国籍構成比



資料) 東京都の統計「外国人人口」(平成30年1月1日時点)

図表 江戸川区の外国人の国籍構成比



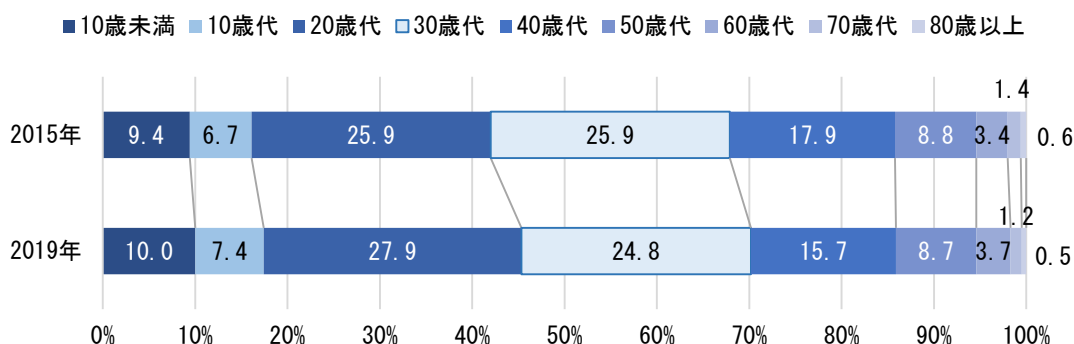
資料) 東京都の統計「外国人人口」(平成30年1月1日時点)

②年齢

年齢別人口構成については、20 歳代～30 歳代が全体の 50%を超える割合となっている。また、2015 年から 2019 年にかけての年齢別構成比に大きな変化はみられない。

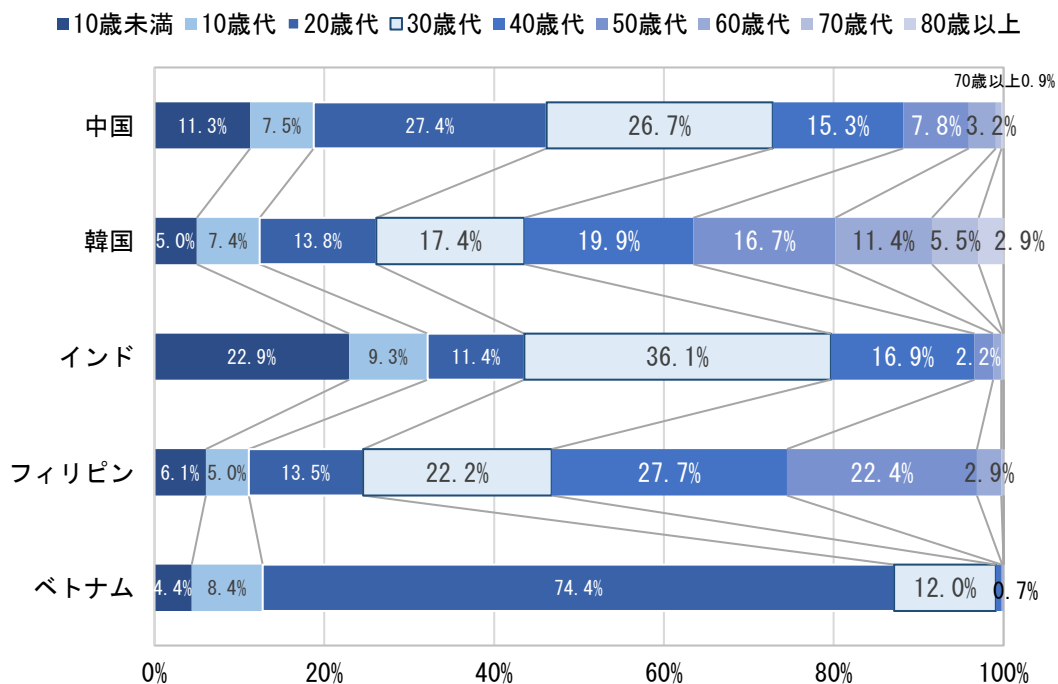
国籍別・年齢別の特徴として、中国は 20 歳代の割合が最も高く、韓国は高齢者の割合が比較的高い。また、インドは 30 歳代、フィリピンは 40 歳代の割合が最も高く、国籍により傾向が異なる。

図表 江戸川区の外国人の年齢構成比の推移（2015 年と 2019 年）



資料) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

図表 江戸川区の外国人の主な国籍別・年齢別人口構成比



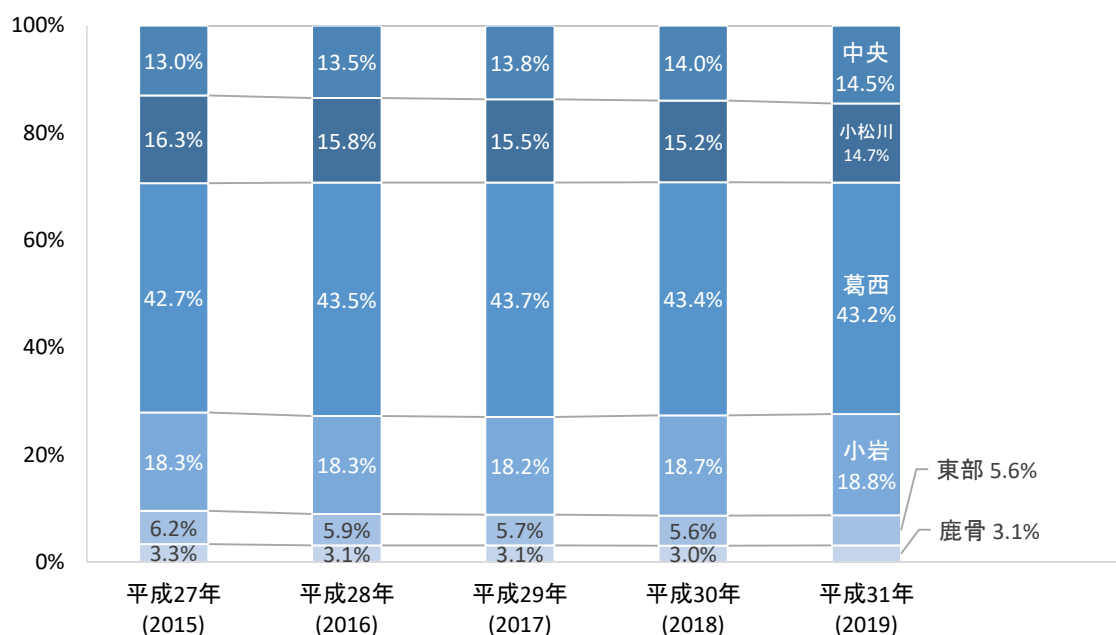
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計（事務所別・年齢別・国籍等別・男女別）」（2019年4月1日時点）

(4) 地域別分析

江戸川区6地域の中で、外国人が最も多く居住しているのは葛西地域(43.2%)で、次いで小岩地域(18.8%)となっている。この傾向は年齢別構成でも同様であり、各年齢層で葛西地域の人口が多くなっており、特に年少人口において顕著である。

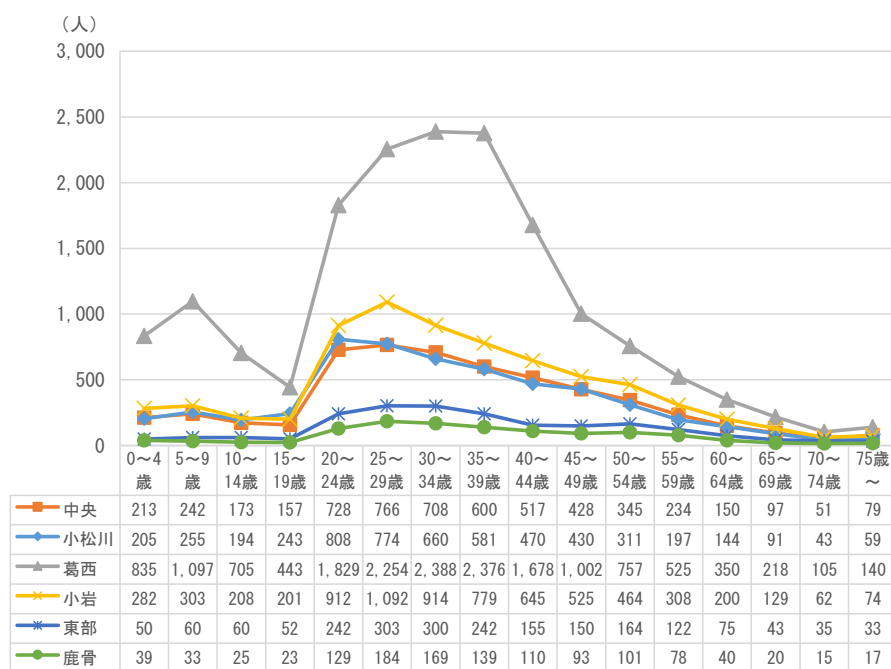
また、国籍ごとに年齢別人口に特徴がみられる。

図表 江戸川区の外国人の地域別割合の推移



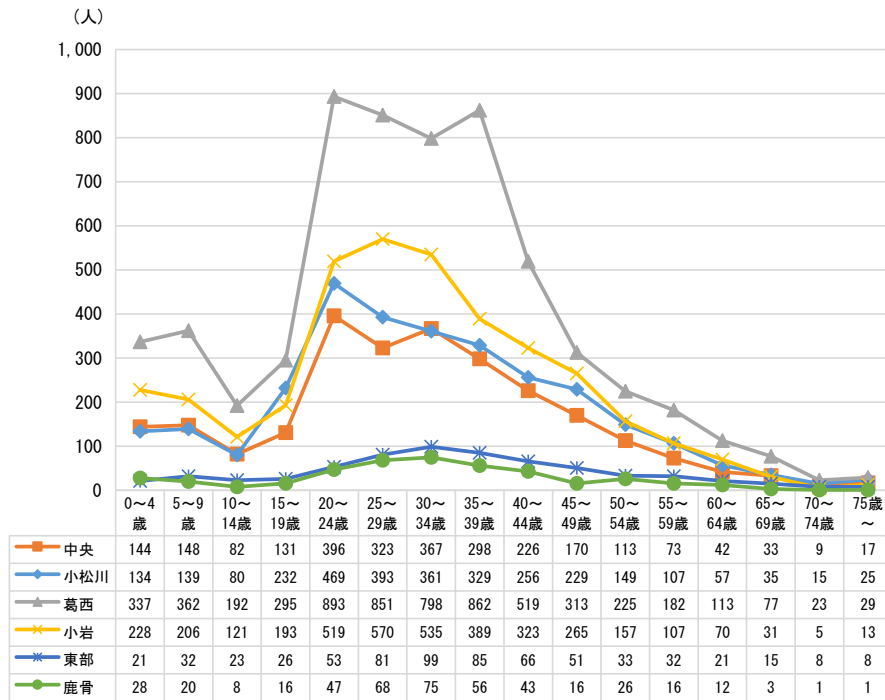
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」

図表 江戸川区の外国人の地域別年齢構成



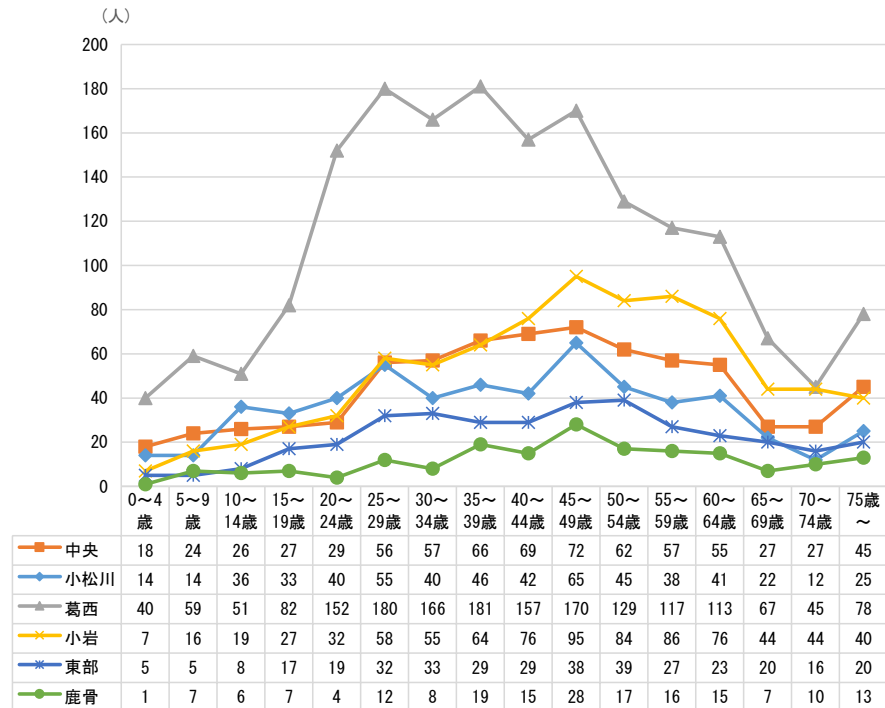
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」(令和元年)

図表 江戸川区の中国国籍の地域別及び年齢別人口



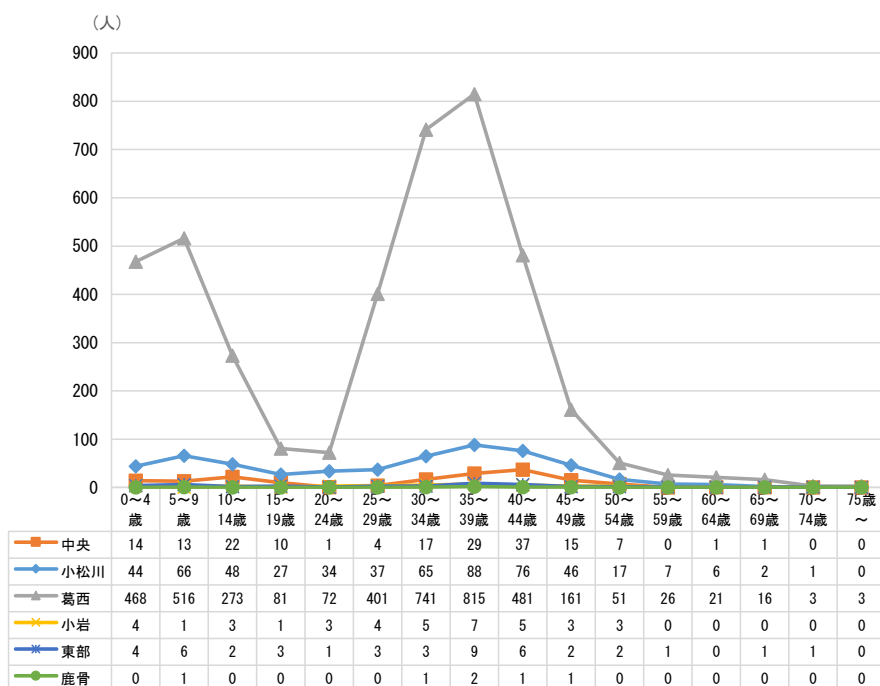
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」(令和元年)

図表 江戸川区の韓国国籍の地域別及び年齢別人口



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」(令和元年)

図表 江戸川区のインド国籍の地域別及び年齢別人口

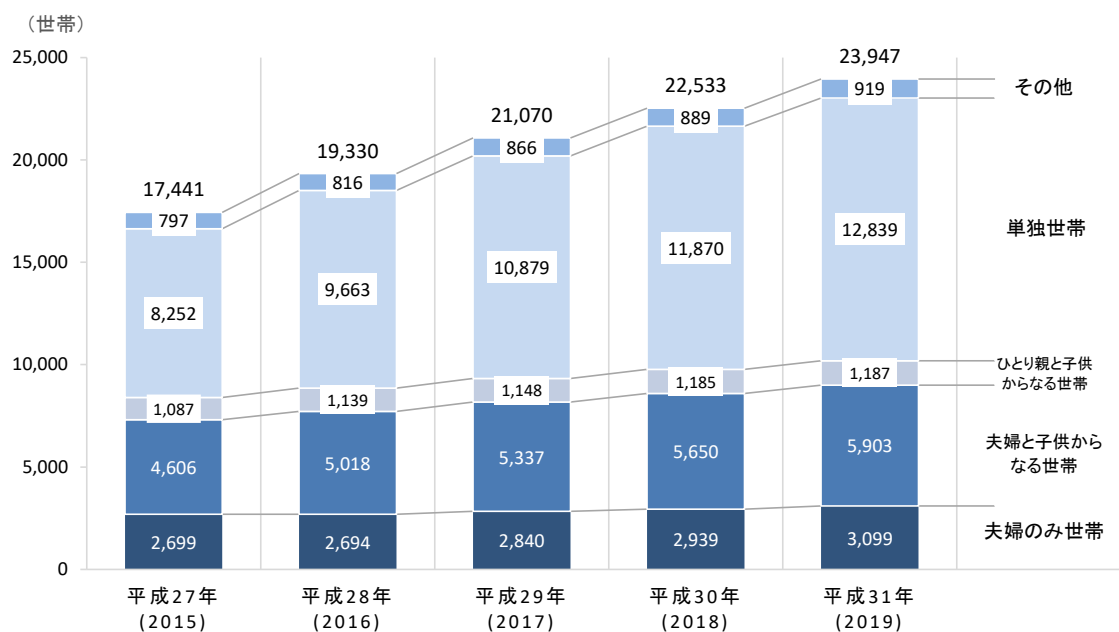


資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」(令和元年)

(5) 外国人世帯

外国人人口の増加に比例して世帯数も増加傾向にある。中でも、単独世帯の増加が顕著であり、直近5年間で約4,600世帯の増加となっている。

図表 江戸川区の外国人を含む類型別世帯数の推移

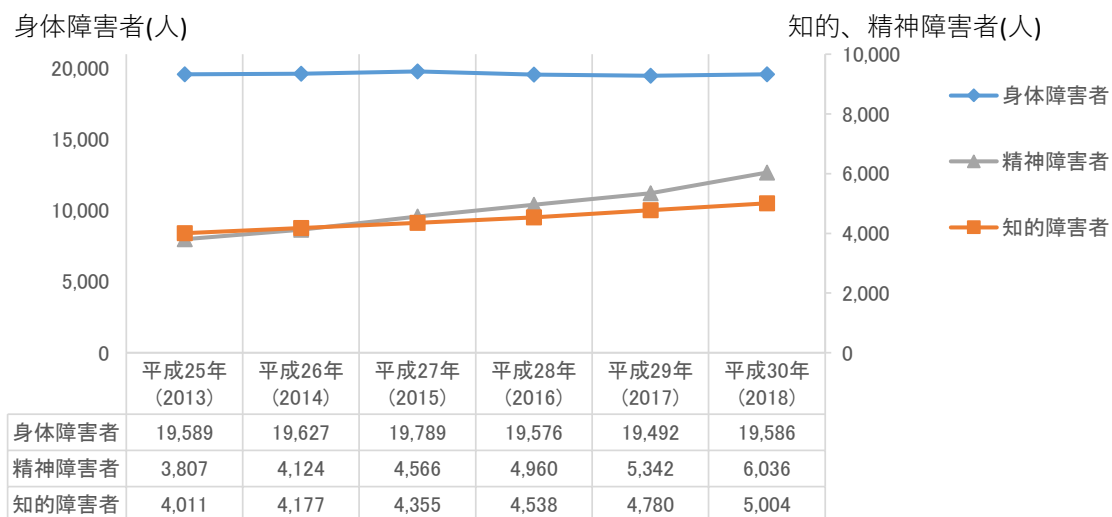


資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」
注) 混合世帯を含む

6. 障害者分析⁴

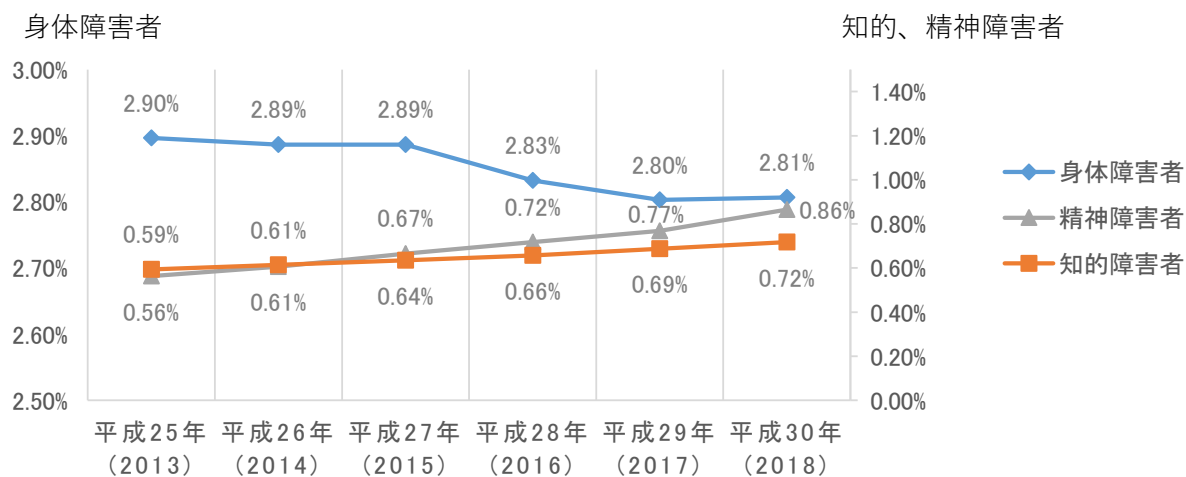
江戸川区における障害者数は増加傾向にある。人口増加に加え、医療技術・医療環境の整備・進展や、障害に関する知識・理解が進んだことにより顕在化したこと等が背景にあると考えられる。

図表 江戸川区の障害者数の推移



資料) 江戸川区資料より。いずれも 10 月 1 日現在。

図表 江戸川区における障害者対人口の推移



資料) 江戸川区資料より。いずれも 10 月 1 日現在。

⁴ 本分析における「障害者」は、身体障害者手帳、愛の手帳（知的障害者）及び精神障害者保健福祉手帳の所持者を対象とする。

7. LGBT等分析

性自認・性的指向に関しての人口動態・推計分析については、今後、公的な統計データ等が整備され、分析可能な状況に至った段階で改めて実施することとする。

Ⅲ. 地域分析

(参考) 対象地域の概要

地域別分析を行うにあたり、各地域の該当町丁目は下表のとおりである。

地域	町丁目
中央地域	中央 1～4 丁目、松島 1～4 丁目、松江 1～7 丁目、東小松川 1～4 丁目、西小松川町、大杉 1～5 丁目、西一之江 1～4 丁目、春江町 4 丁目、上一色 1～3 丁目、本一色 1～3 丁目、一之江 1～8 丁目、西瑞江 4 丁目 1・2・10～27、江戸川 4 丁目 15～25、松本 1・2 丁目、興宮町
小松川地域	小松川 1～4 丁目、平井 1～7 丁目
葛西地域	春江町 5 丁目、西瑞江 5 丁目、江戸川 5・6 丁目、一之江町、二之江町、船堀 1～7 丁目、宇喜田町、東葛西 1～9 丁目、西葛西 1～8 丁目、中葛西 1～8 丁目、南葛西 1～7 丁目、北葛西 1～5 丁目、清新町 1・2 丁目、臨海町 1～6 丁目、堀江町
小岩地域	東小岩 1～6 丁目、西小岩 1～5 丁目、南小岩 1～8 丁目、北小岩 1～8 丁目
東部地域	春江町 2・3 丁目、東瑞江 1～3 丁目、西瑞江 3 丁目・4 丁目 5～9、江戸川 1～3 丁目・4 丁目 1～14、谷河内 2 丁目、下篠崎町、篠崎町 3～6 丁目、南篠崎町 1～5 丁目、東篠崎町、東篠崎 1・2 丁目、瑞江 1～4 丁目
鹿骨地域	新堀 1・2 丁目、春江町 1 丁目、谷河内 1 丁目、鹿骨町、鹿骨 1～6 丁目、上篠崎 1～4 丁目、篠崎町 1・2・7・8 丁目、西篠崎 1・2 丁目、北篠崎 1・2 丁目、東松本 1・2 丁目

1. 地域全体の動向

(1) 総括

区内全地域で人口が増加しており、特に人口が最も多い葛西地域で直近 5 年間の増加率が最も高い。

年齢区分構成においても葛西地域は他地域に比べ年少人口に厚い人口分布があり、最も平均年齢が低い (41.49 歳)。一方、小岩地域が最も高い (45.92 歳)。

人口動態においては、中央地域及び小岩地域において自然減の局面に入っているが、その他の地域は自然増を維持している。社会増については、全地域において維持されているが、葛西地域がけん引している傾向がみられる。

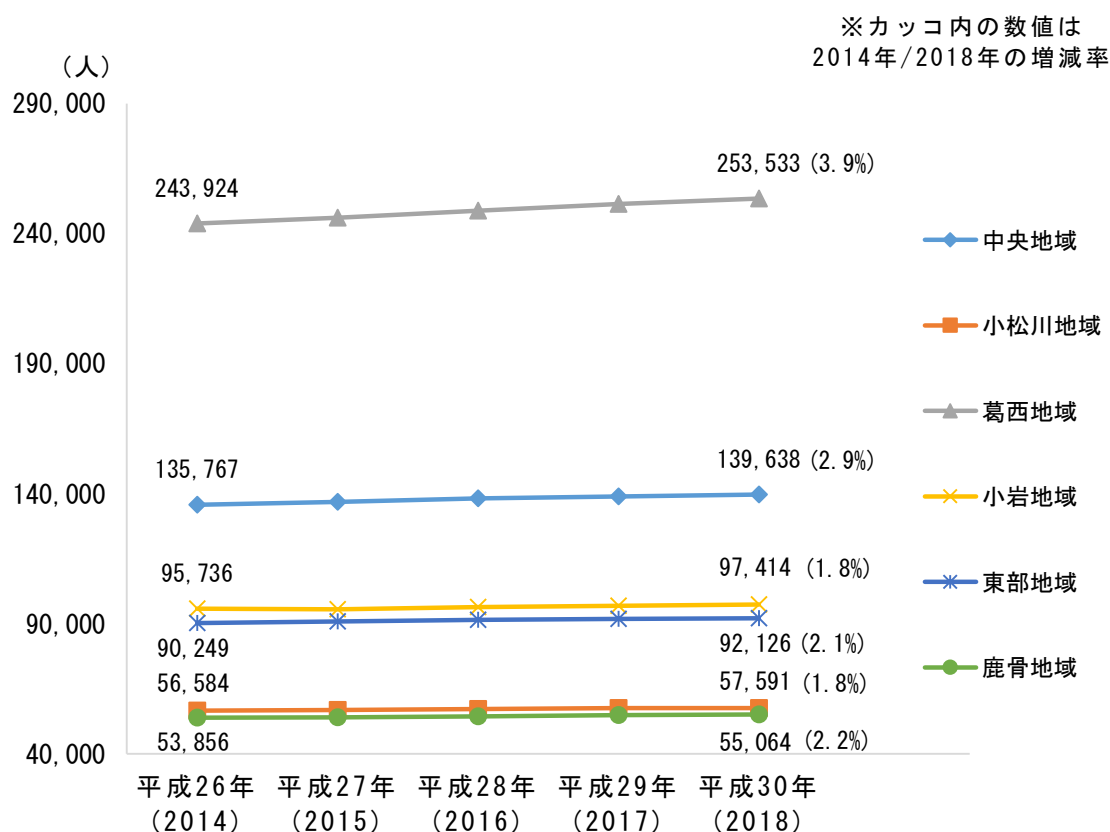
世帯状況については、全地域において増加の傾向にあるが、高齢者単身世帯の増加が顕著である。

外国人については、人口・世帯数とも葛西地域が最も多くなっている。

(2) 人口

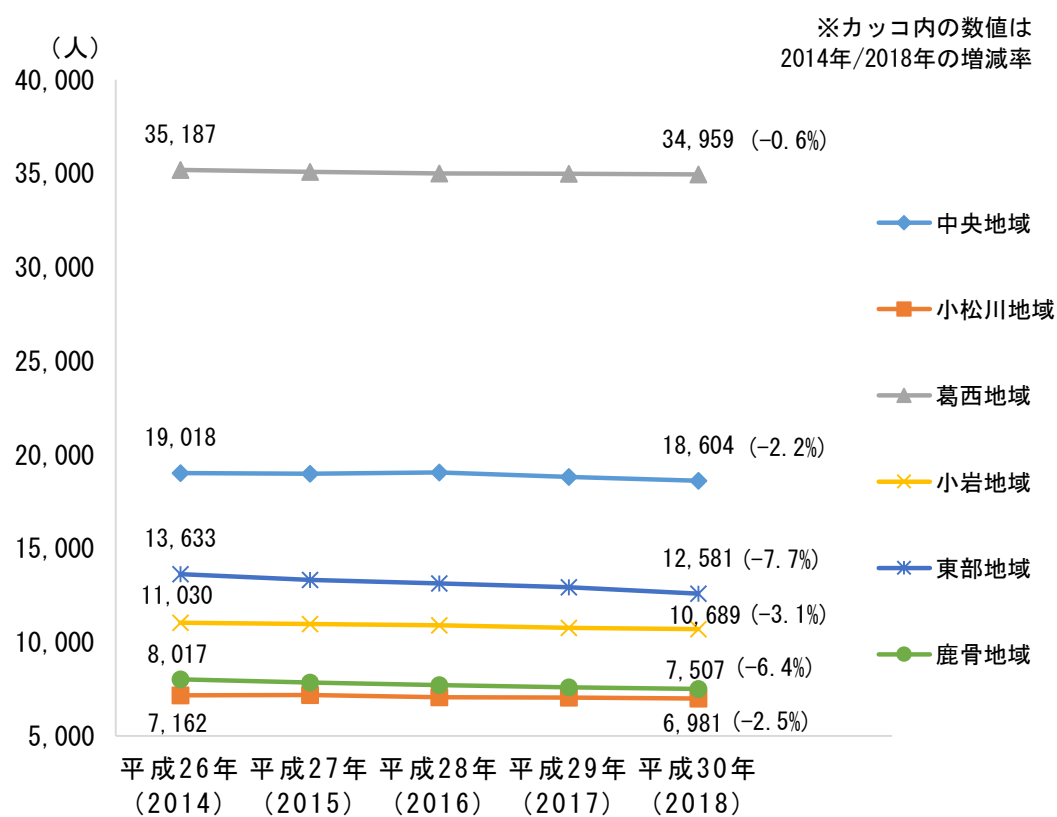
区内 6 地域の中で葛西地域が最も人口が多い。また、各地域で人口が増加傾向にあるが同地域が最も増加率が高い。年齢 3 区分の傾向について、年少人口（0～14 歳人口）は全地域で減少傾向にあり東部地域、鹿骨地域は特に減少が大きい。生産年齢人口（15～64 歳人口）は全地域において増加傾向で、東部地域、鹿骨地域は大きく増加しており、老年人口（65 歳以上人口）についても全地域で増加傾向だが、葛西地域で大きく増加している。

図表 江戸川区の地域別人口の推移



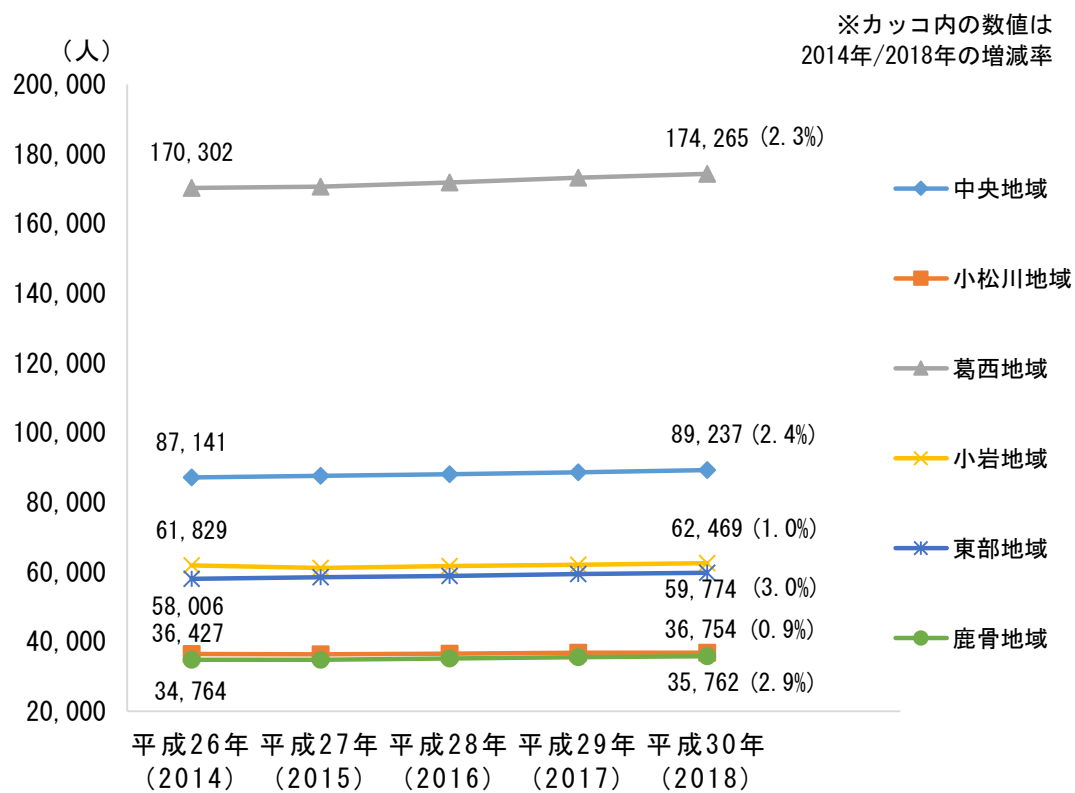
資料) 江戸川区「統計江戸川(平成30年版)」

図表 江戸川区の地域別・年少人口の推移



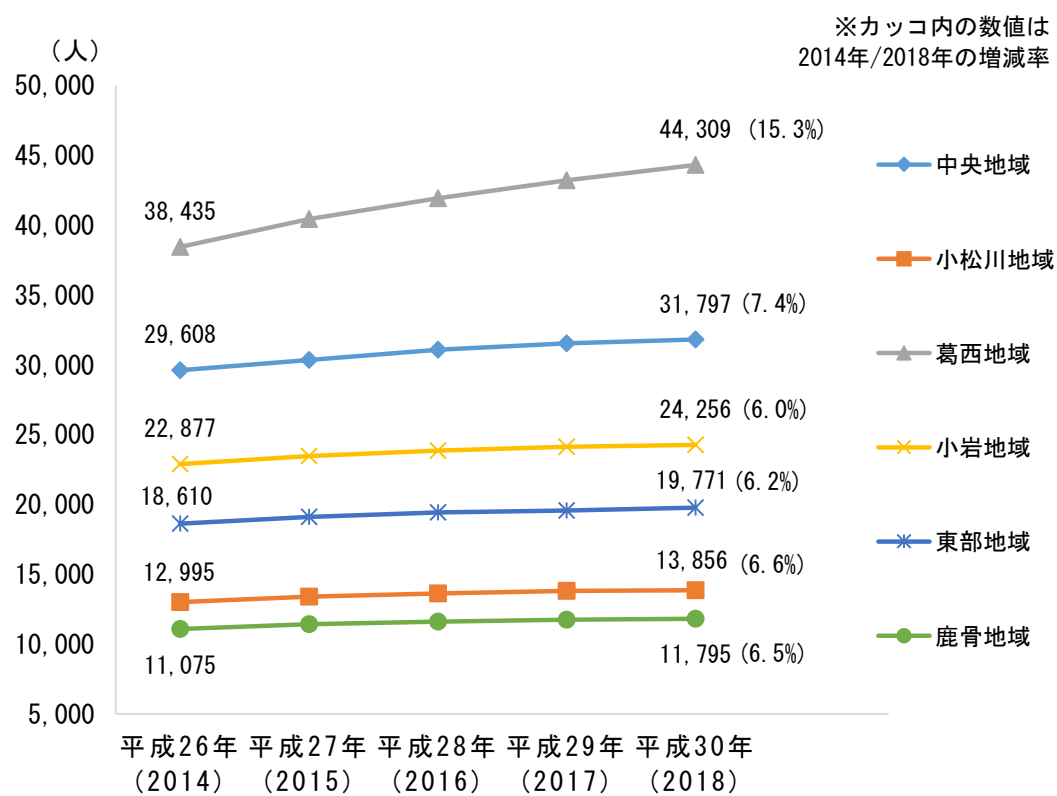
資料) 江戸川区「統計江戸川(平成30年版)」

図表 江戸川区の地域別・生産年齢人口の推移



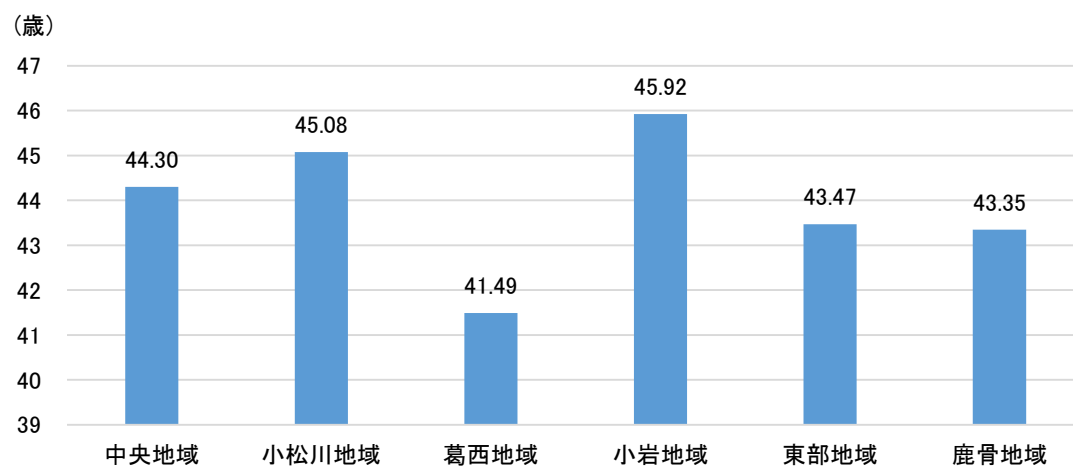
資料) 江戸川区「統計江戸川(平成30年版)」

図表 江戸川区の地域別・老年人口の推移



資料) 江戸川区「統計江戸川(平成30年版)」

図表 江戸川区の地域別平均年齢



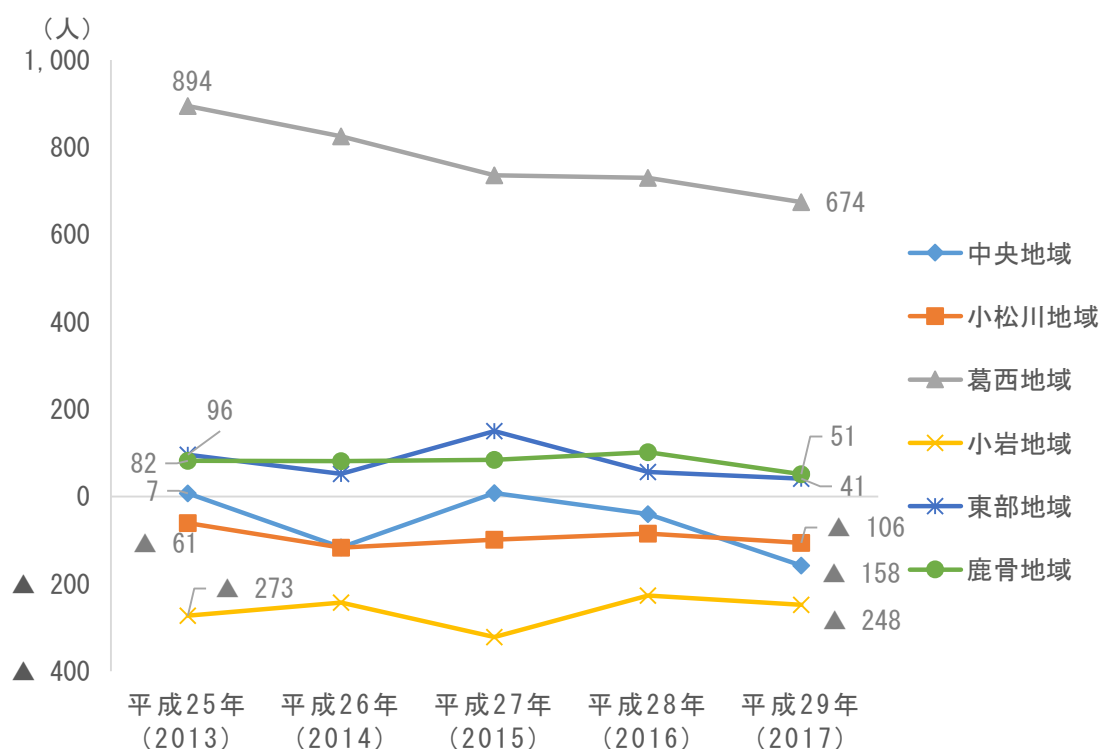
資料) 江戸川区「統計江戸川(平成30年版 1月1日時点)」

(3) 自然動態・社会動態

地域別の自然動態について、葛西地域、鹿骨地域、東部地域において減少傾向にあるものの自然増を維持している。その他の地域は自然減基調となっている。葛西地域は自然増数が他地域を大きく上回っており、同地域の自然増が区全体の自然増の維持に影響していると考えられる。

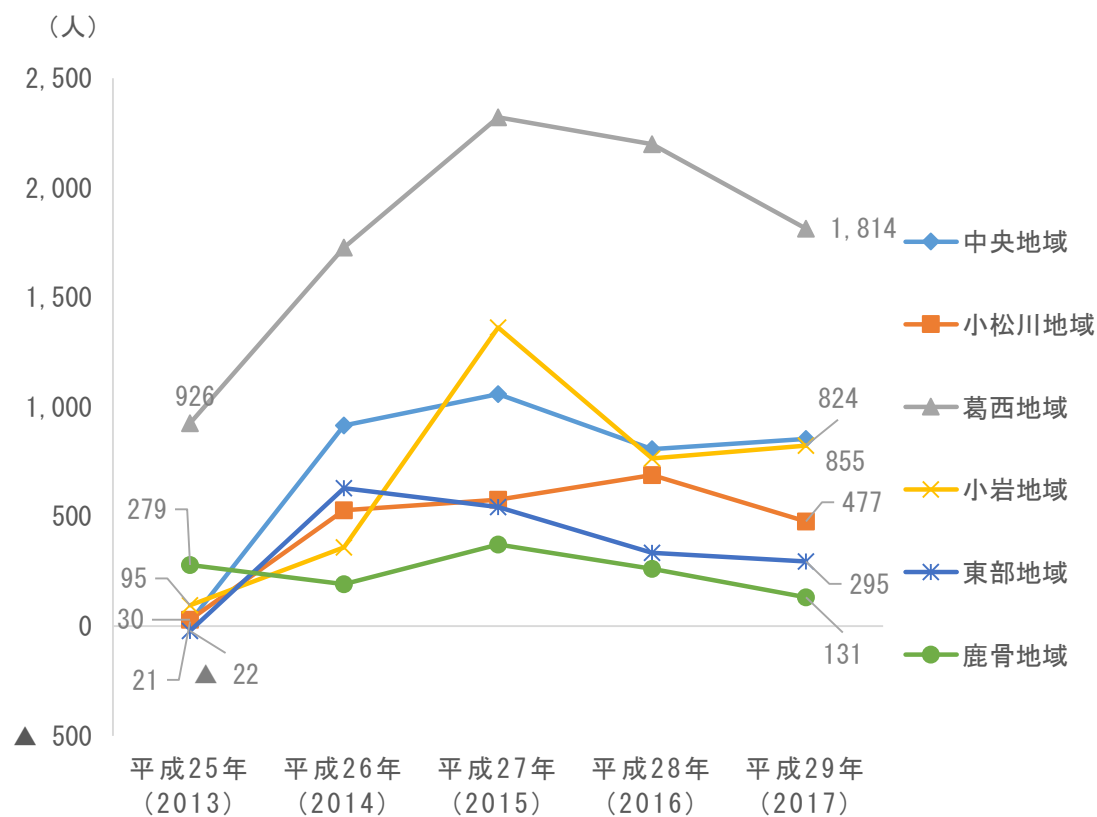
また社会動態については、全地域で社会増を維持しており、特に葛西地域の社会増が大きく、全体の伸びを大きくけん引している。

図表 江戸川区の地域別・自然増減（出生者数－死亡者数）の推移



資料) 江戸川区「統計江戸川(平成30年版)」

図表 江戸川区の地域別・社会増減（転入者数－転出者数）の推移

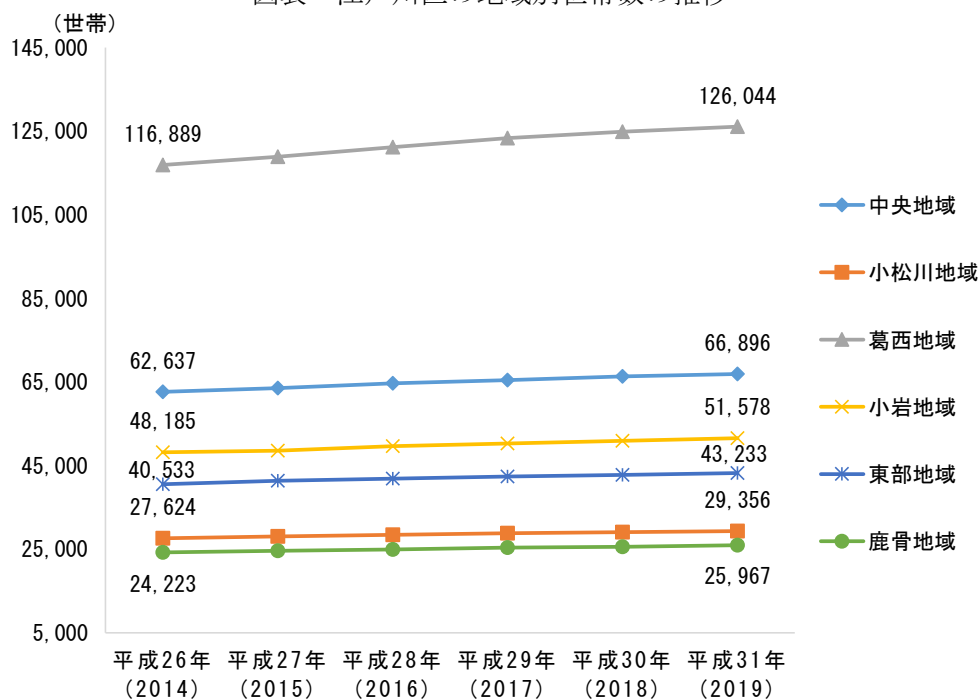


資料) 江戸川区「統計江戸川(平成30年版)」

(4) 世帯の動向

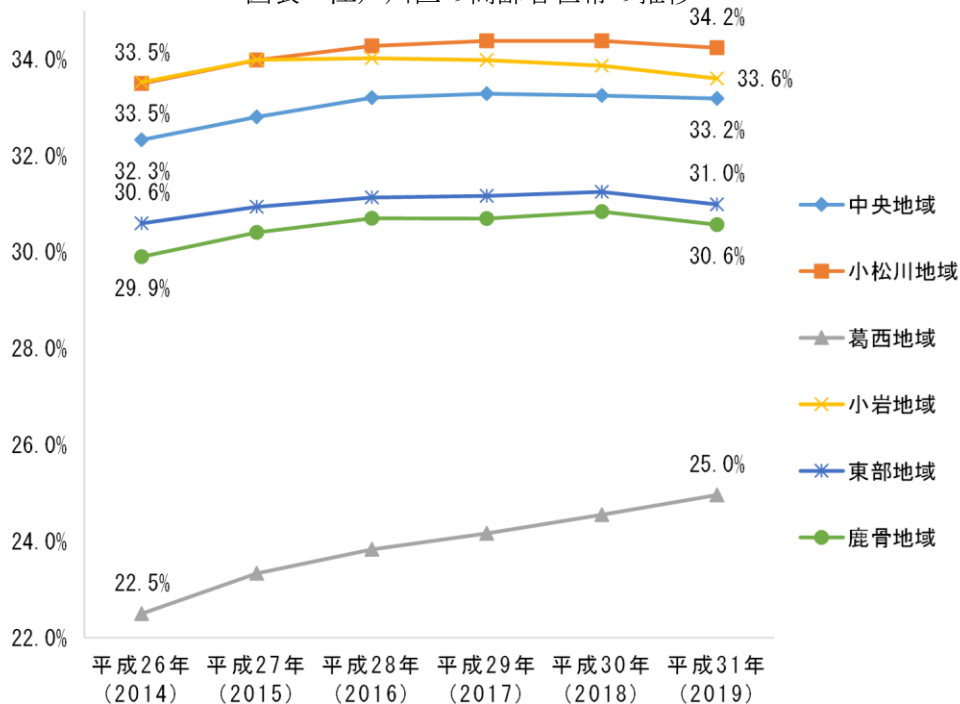
地域別の世帯数推移は、全地域で増加基調であり、中でも葛西地域の世帯数が最も多い。
世帯における地域別の特徴として、65 歳以上の世帯主割合が低い葛西地域、外国人世帯の割合が高い小松川地域があげられる。

図表 江戸川区の地域別世帯数の推移



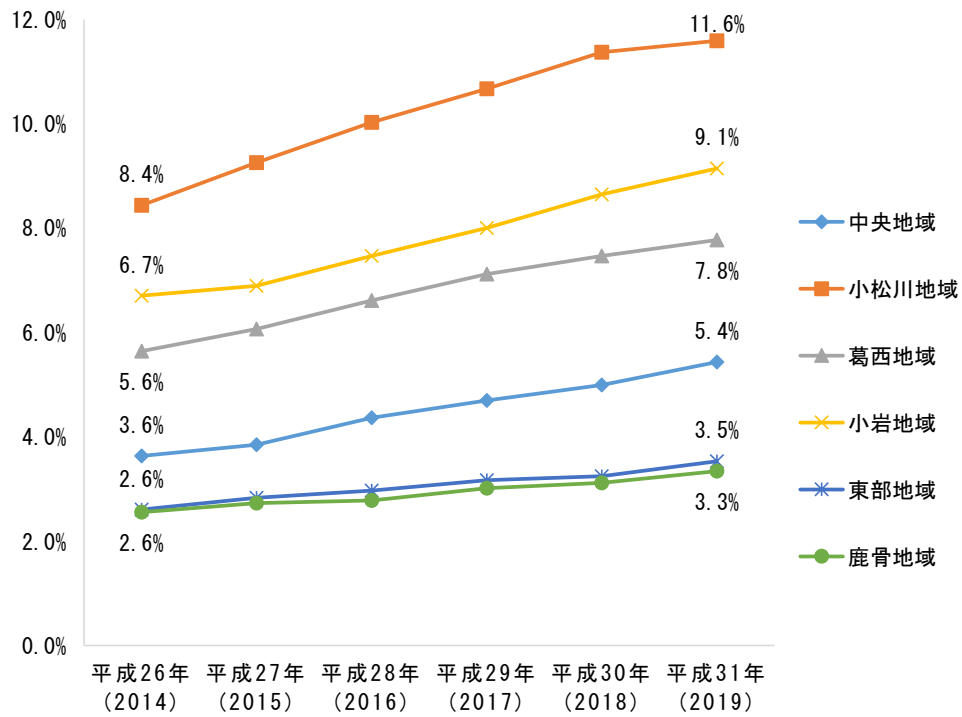
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

図表 江戸川区の高齢者世帯の推移



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

図表 江戸川区の外国人の世帯割合推移



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

2. 地域別分析

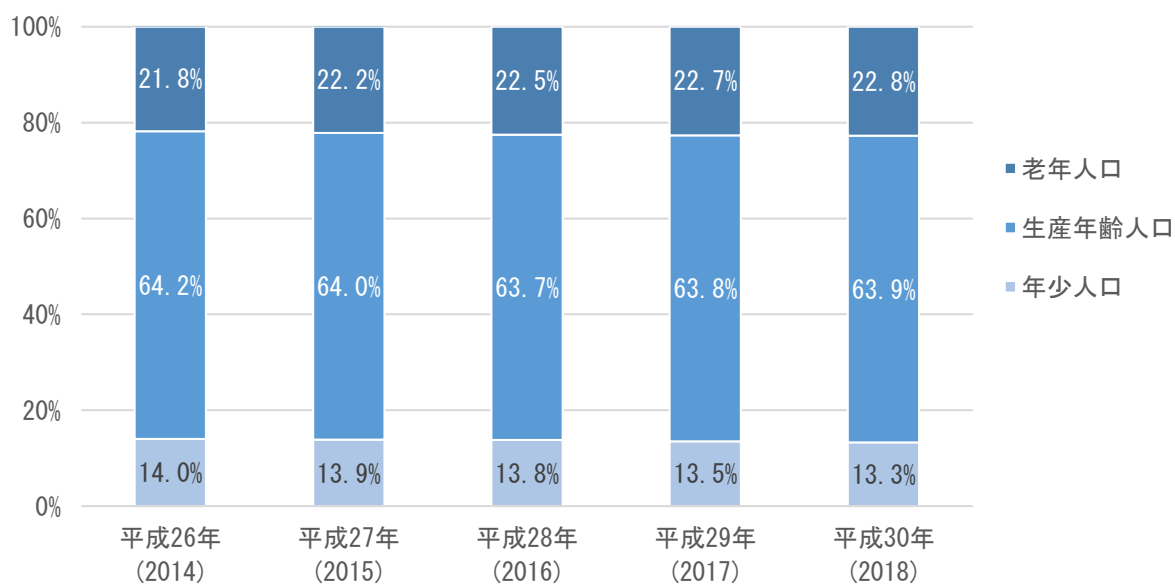
(1) 中央地域

中央地域の人口は増加傾向にあるが、2016 年以降、増加基調が縮減している。人口増加の一方、年齢 3 区分別構成では 2016 年をピークに年少人口が減少している。今後、団塊ジュニア世代（1971 年～74 年生まれの世代）の高齢化等により、高齢化が急速に高まると考えられる。また、人口の増加は社会増に支えられているが、今後自然減が拡大すると考えられることから、長期的な人口増加は見込めないと考えられる。

世帯数は、人口の増加にともない増加傾向にあり、特に割合の最も多い単独世帯が増加している。世帯主の年齢別世帯構成では学生や単身の社会人等が多い 30 歳未満で単独世帯が全体の大半を占めているが、65 歳以上でも 47.4%が単独世帯となっている。

外国人については、人口、世帯数共に増加傾向である。また、外国人国籍別人口の約半数を中国が占め、次いで韓国、フィリピンの順となっている。外国人の世帯構成については、単独世帯が最も多く近年増加傾向である。

図表 中央地域の年齢 3 区分別人口比の推移



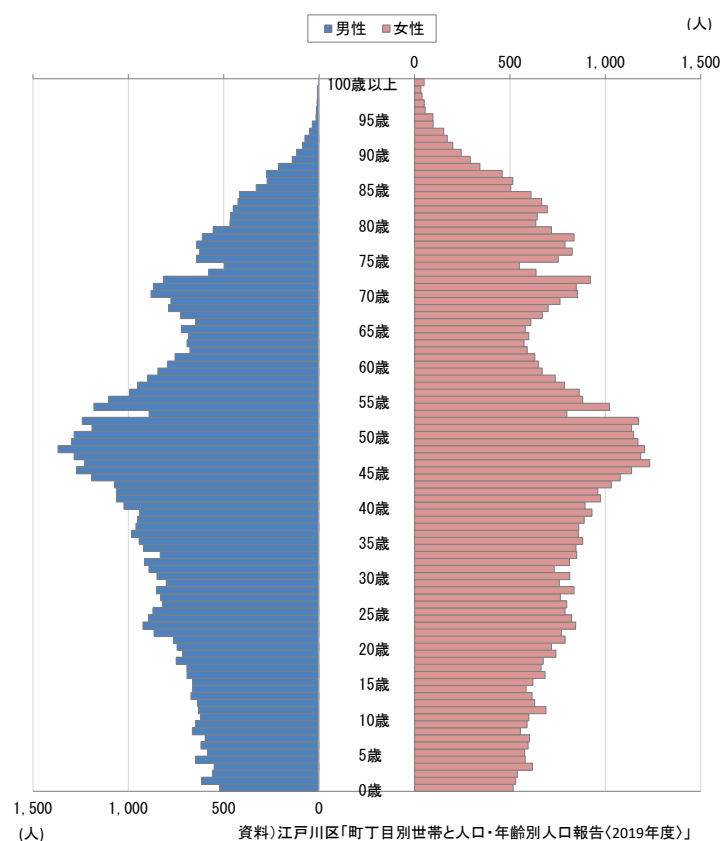
(参考)実数

単位:人

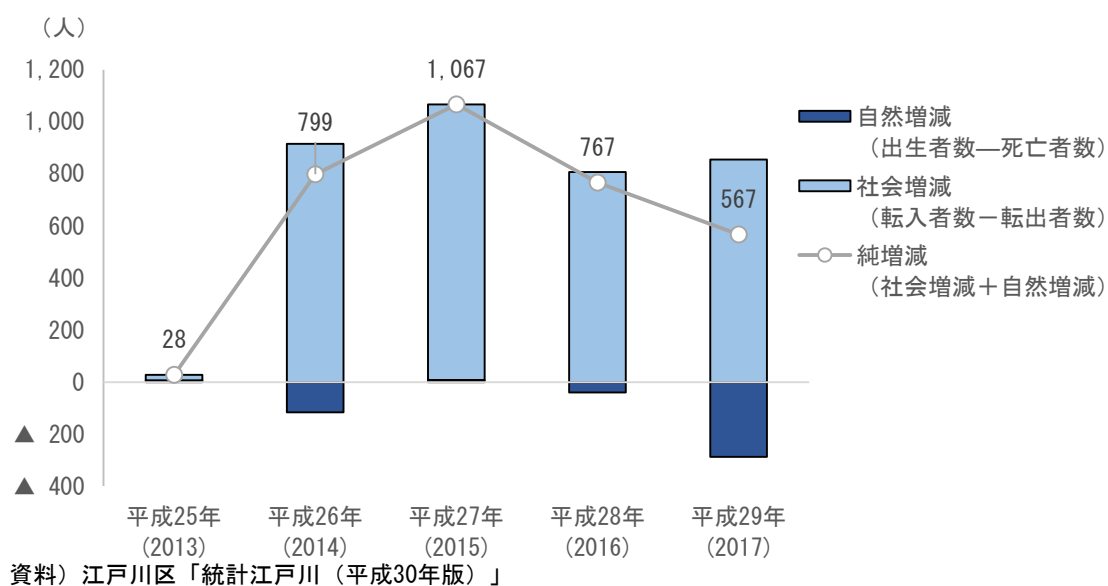
	平成 26 年 (2014)	平成 27 年 (2015)	平成 28 年 (2016)	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)
老年人口	29,608	30,337	31,079	31,530	31,797
生産年齢人口	87,141	87,569	88,027	88,566	89,237
年少人口	19,018	18,991	19,055	18,821	18,604
合計	135,767	136,897	138,161	138,917	139,638

資料) 江戸川区「統計江戸川 (平成 30 年版)」

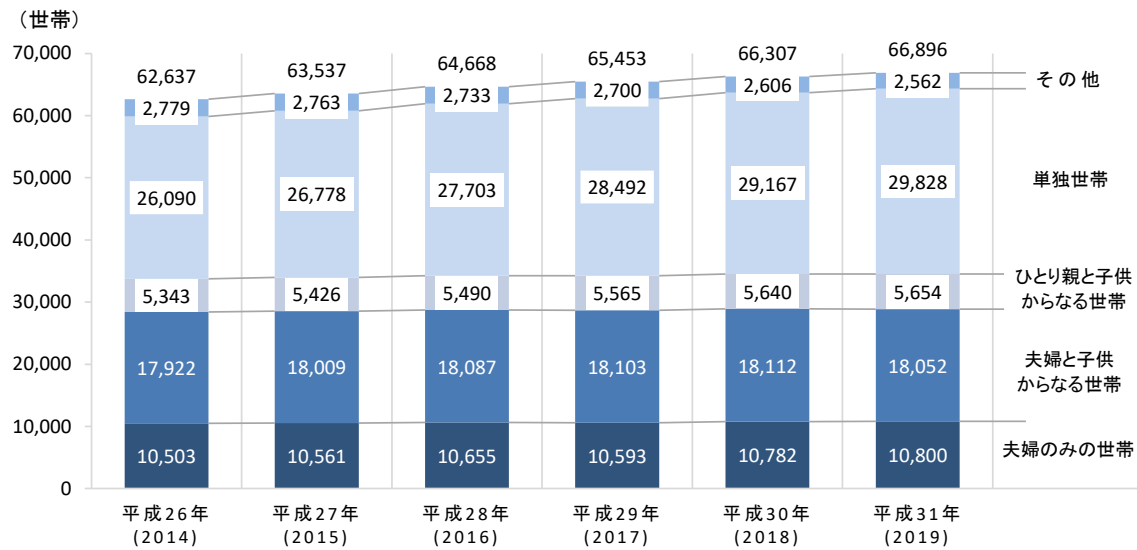
図表 中央地域の人口ピラミッド



図表 中央地域の人口動態の推移

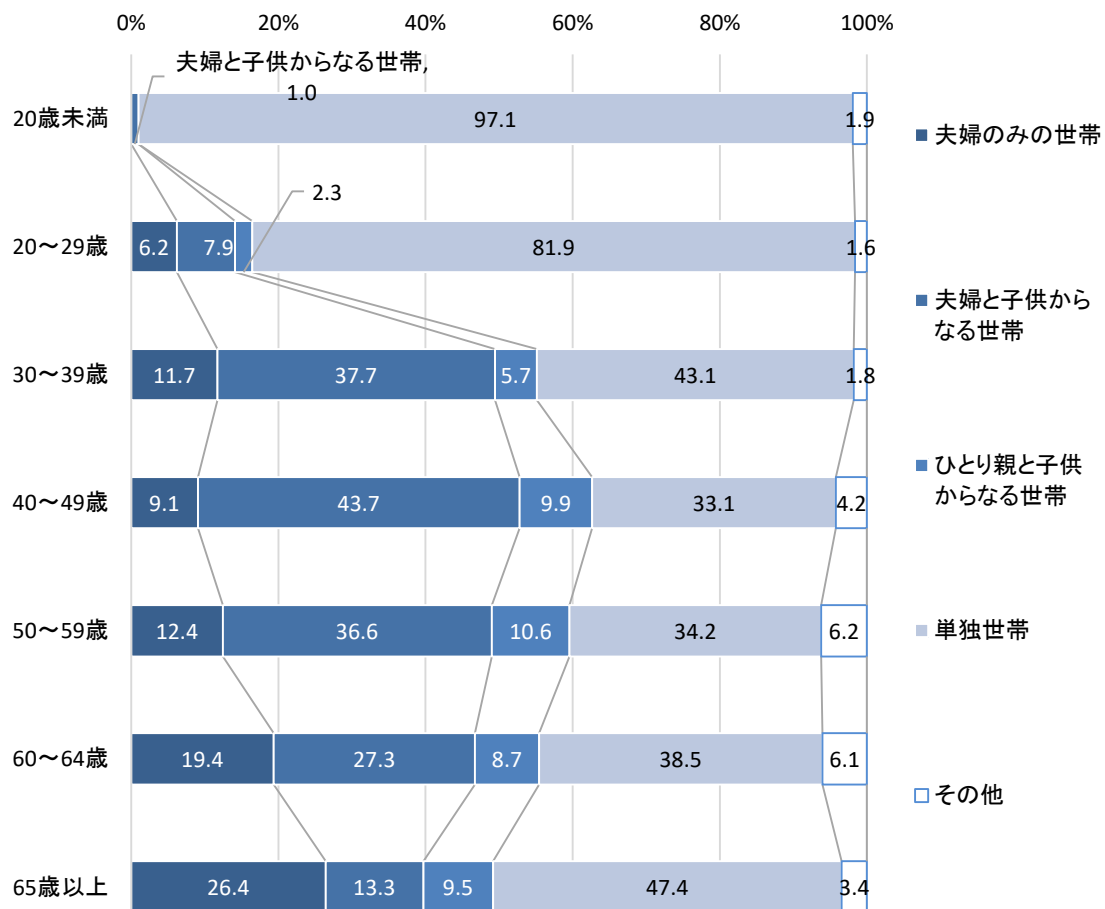


図表 中央地域の類型別世帯数の推移



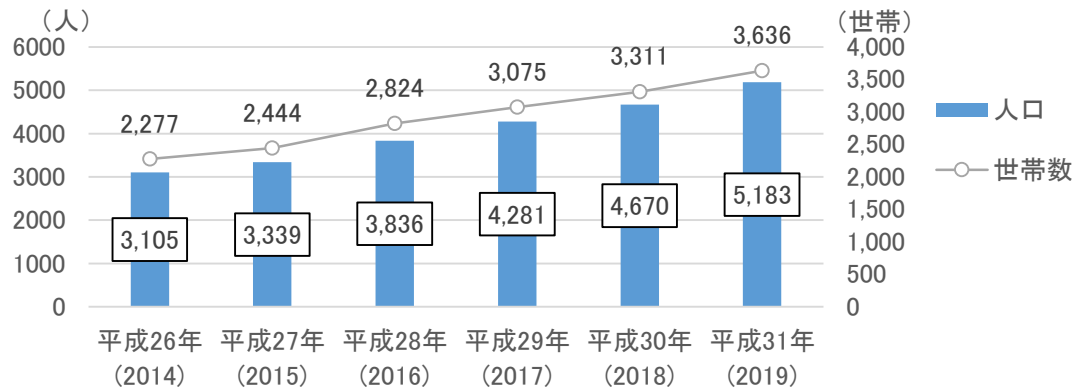
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

図表 中央地域の世帯主の年齢別世帯構成比



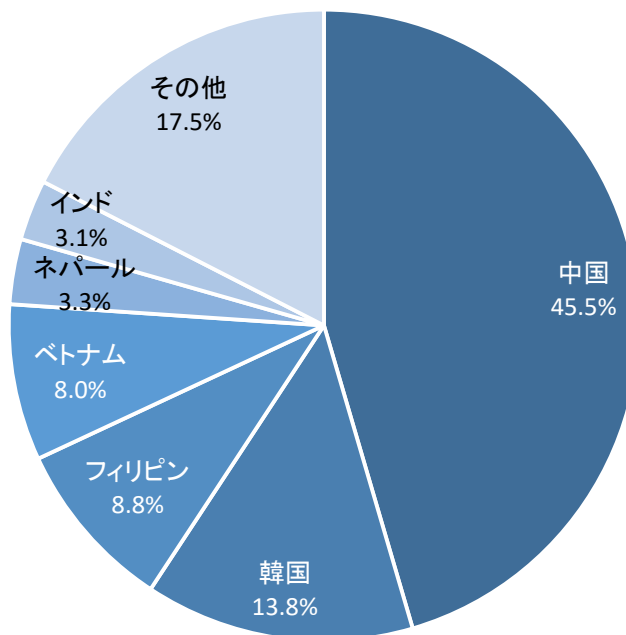
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」(2019年4月30日時点)

図表 中央地域の外国人人口と世帯数の推移



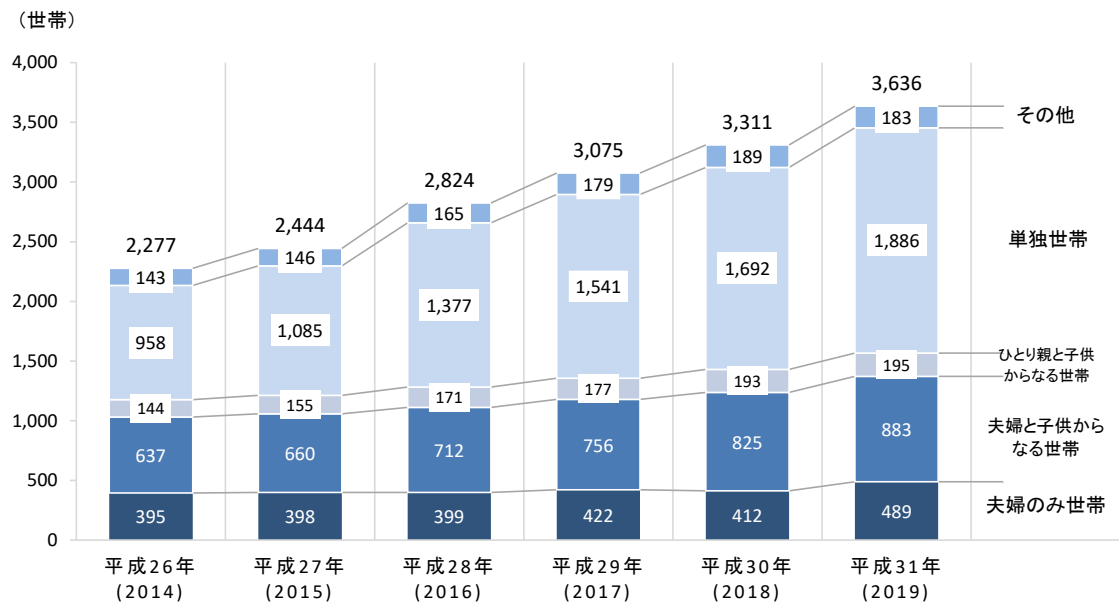
資料)江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・国籍等別・男女別及び世帯主から見た世帯構成別)」

図表 中央地域の外国人の国籍構成比



資料)江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」(2019年)

図表 中央地域の外国人を含む類型別世帯数の推移



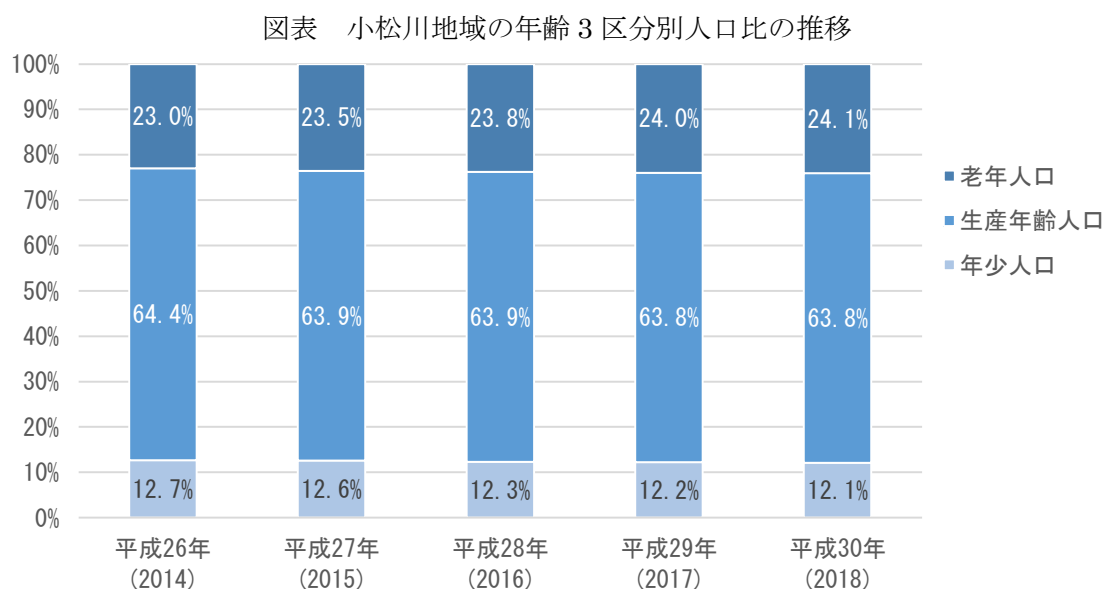
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」
注) 混合世帯を含む

(2) 小松川地域

小松川地域の人口は増加傾向にあったが、増加は縮減している。年齢3区分別人口構成比については、老年人口の割合、なかでも75歳前後の割合が比較的高く、全地域で小岩地域(24.9%)に次いで2番目に高い高齢化率(24.1%)となっている。人口動態の推移からも、社会増に支えられた傾向がみられてきたが、近年、自然減が縮小して推移している。

世帯数は、増加傾向にある。世帯構成では、最も大きい割合の単独世帯が増加している中、それ以外の世帯は2019年に減少に転じた。また単独世帯については、65歳以上の約半数が単独世帯となっている。

外国人は人口、世帯数ともに増加傾向にある。国籍別人口の半数以上を中国が占め、次いで韓国、インドの順となっている。また、世帯構成では単独世帯が最も多く近年増加傾向である。



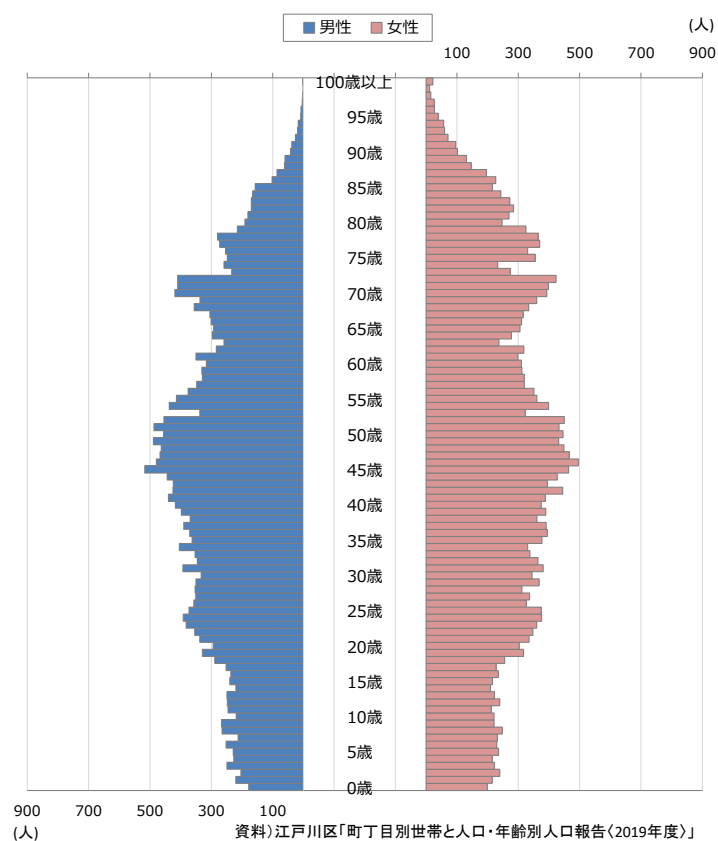
(参考)実数

単位:人

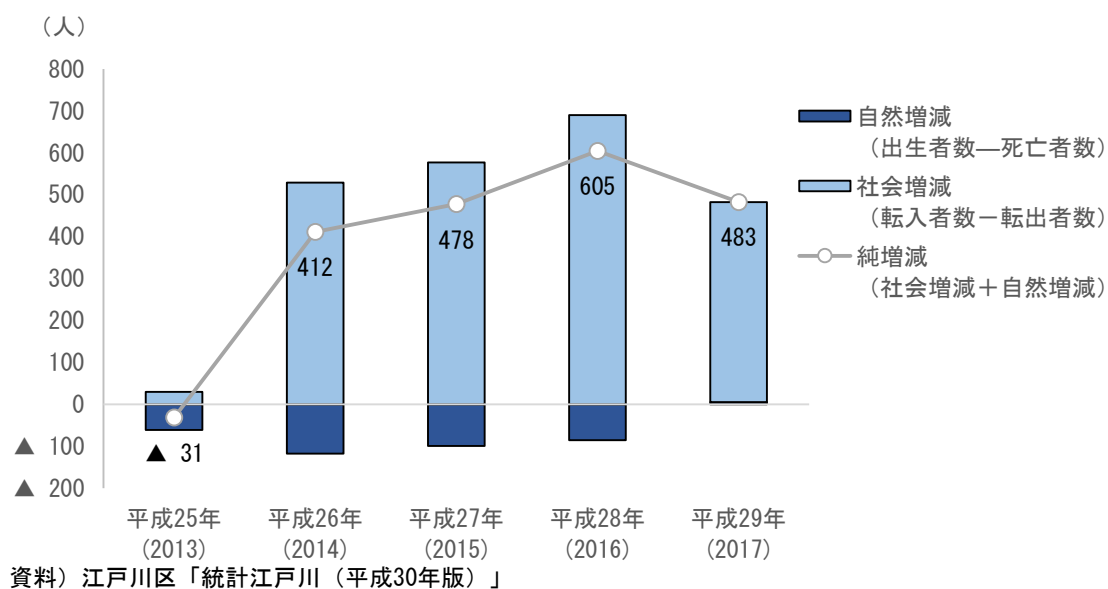
	平成 26 年 (2014)	平成 27 年 (2015)	平成 28 年 (2016)	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)
老年人口	12,995	13,376	13,610	13,797	13,856
生産年齢人口	36,427	36,316	36,524	36,764	36,754
年少人口	7,162	7,171	7,052	7,035	6,981
合計	56,584	56,863	57,186	57,596	57,591

資料) 江戸川区「統計江戸川(平成30年版)」

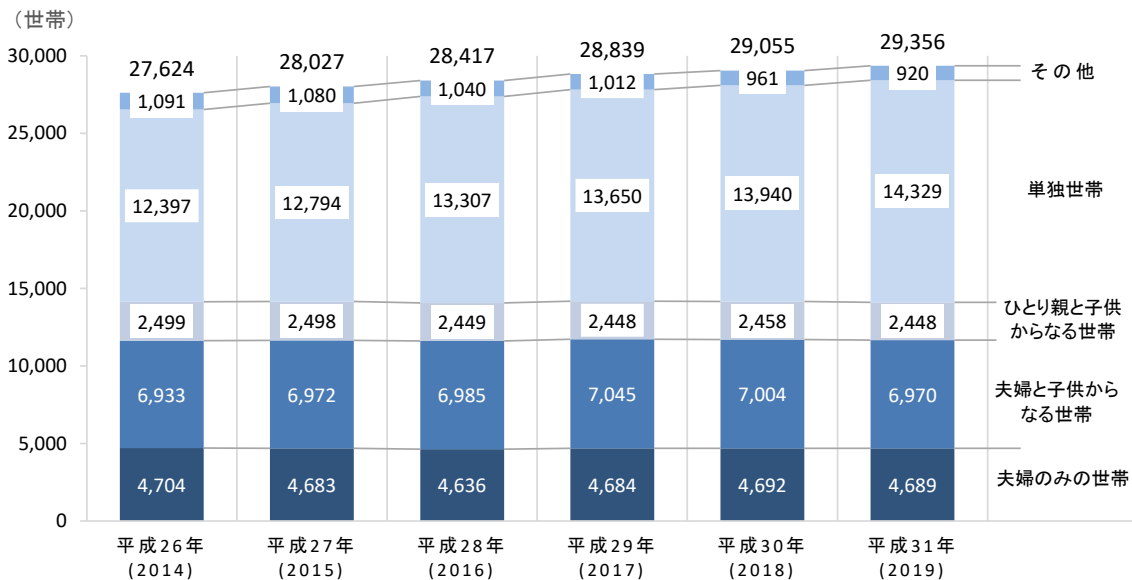
図表 小松川地域の人口ピラミッド



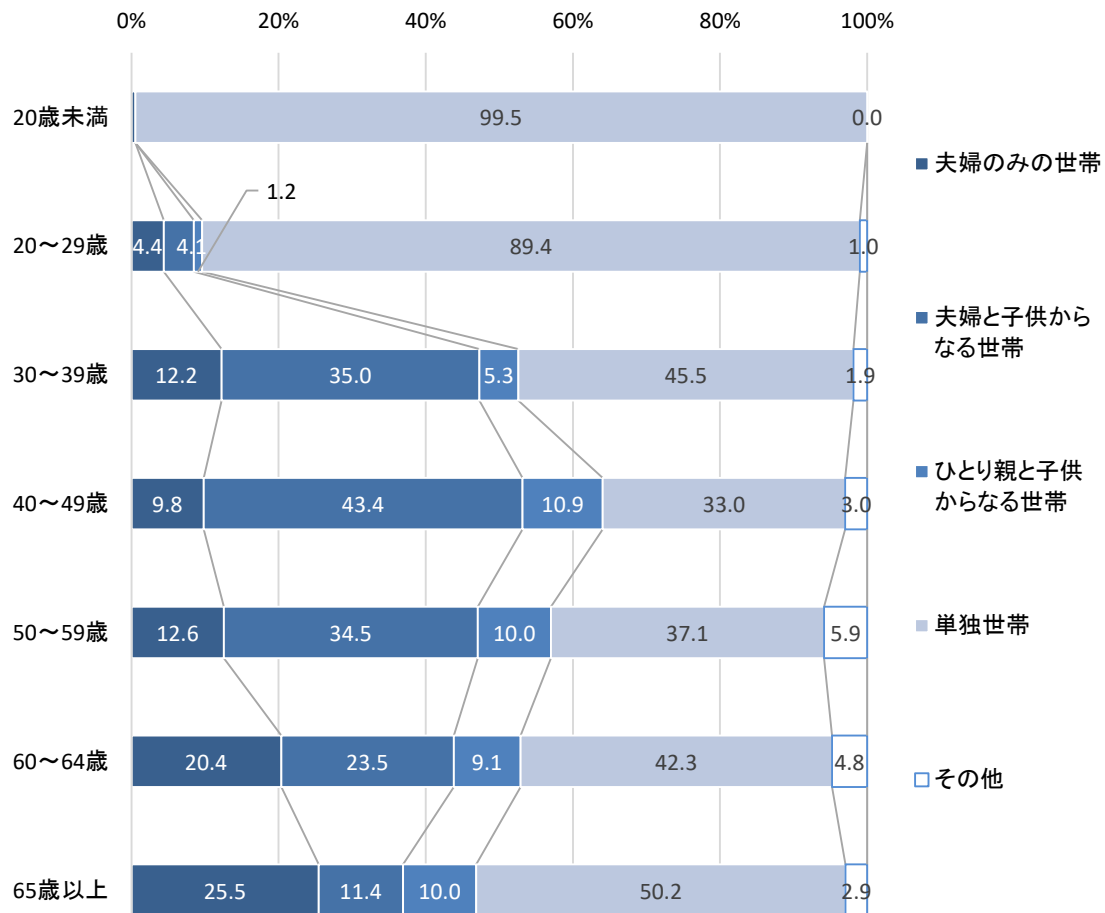
図表 小松川地域の人口動態の推移



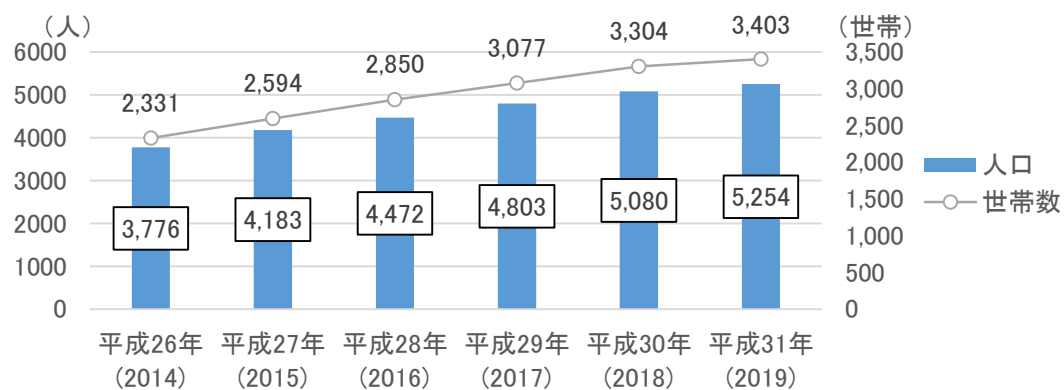
図表 小松川地域の類型別世帯数の推移



図表 小松川地域の世帯主の年齢別世帯構成比

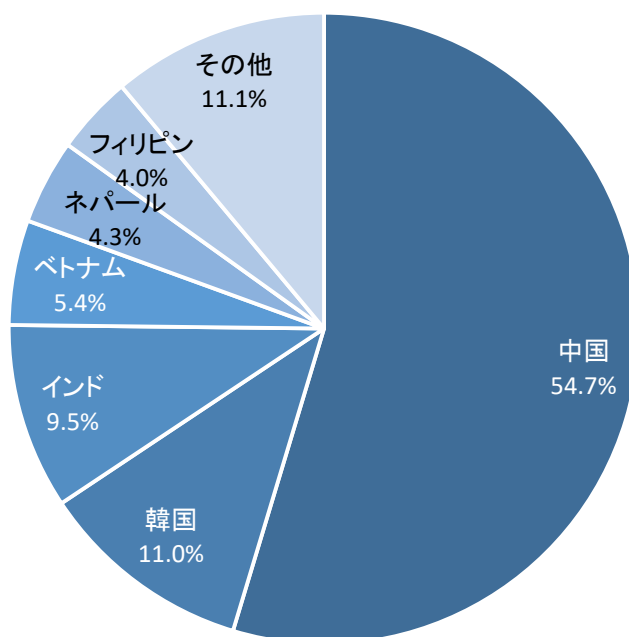


図表 小松川地域の外国人人口と世帯数の推移



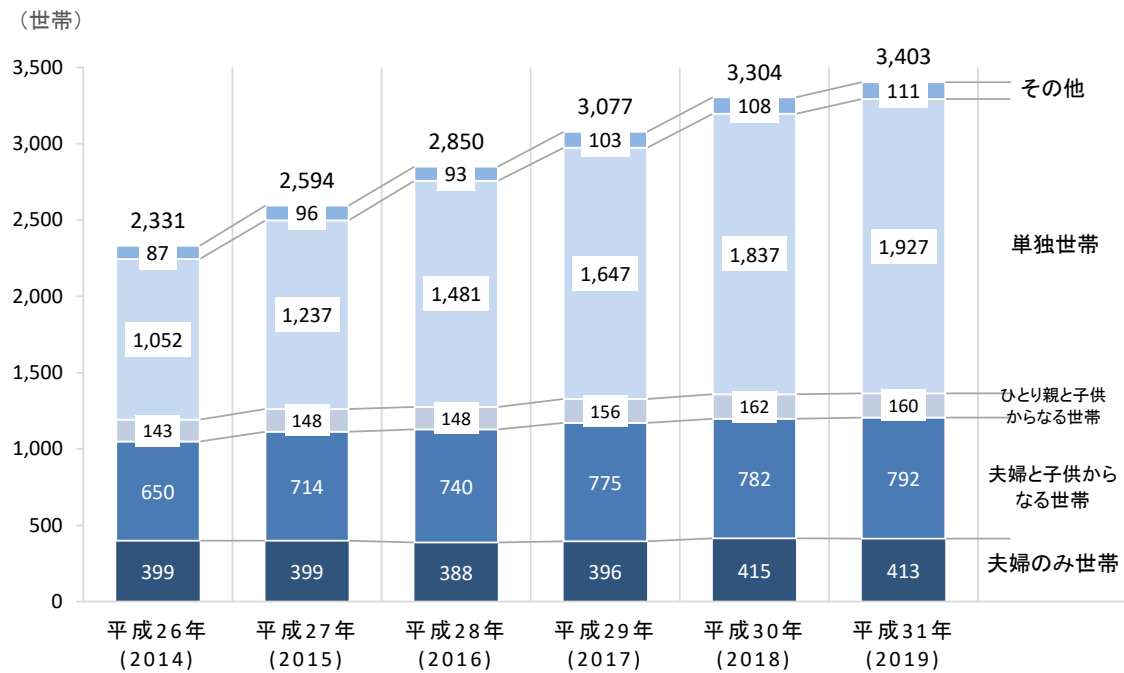
資料)江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・国籍等別・男女別及び世帯主から見た世帯構成別)」

図表 小松川地域の外国人の国籍構成比



資料)江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」(2019年)

図表 小松川地域の外国人を含む類型別世帯数の推移



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

注) 混合世帯を含む

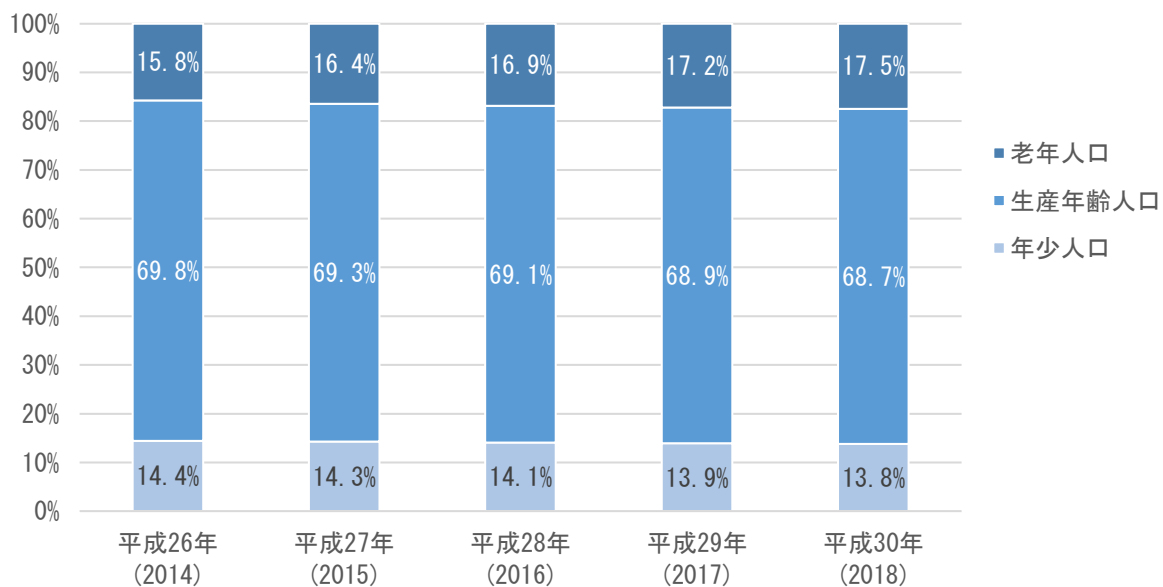
(3) 葛西地域

葛西地域は、毎年 1,000 人以上の人口増加が続く、江戸川区でも特徴的な地域である。年齢 3 区分別構成では、年少人口が多く、なかでも 10 歳未満の人口が多い。子育て世代の 30～40 歳代の人口も他地域に比べて多いが、これらの世代が高齢化した際には地域の高齢化が急速に高まると予想される。人口動態については、社会増及び自然増ともに他地域を大きく上回っており、区全体の人口の増加をけん引している。

世帯数は、人口の増加にともない増加傾向にある。世帯類型別では、世帯主別の構成は他地域と大きく変わらないが、地域全体の動向で述べたように、65 歳以上の世帯主が占める割合は最も小さく、若い世帯が多い特徴がみられる。

外国人については、人口、世帯数ともに増加傾向である。また、国籍別人口は、他地域に比べ中国の割合が低く、インドの割合が高いという特徴があり、インドの年少人口も他地域に比べて特に多い（p.41 参照）。また、他地域に比べて夫婦と子供からなる世帯も多い。

図表 葛西地域の年齢 3 区分別人口比の推移



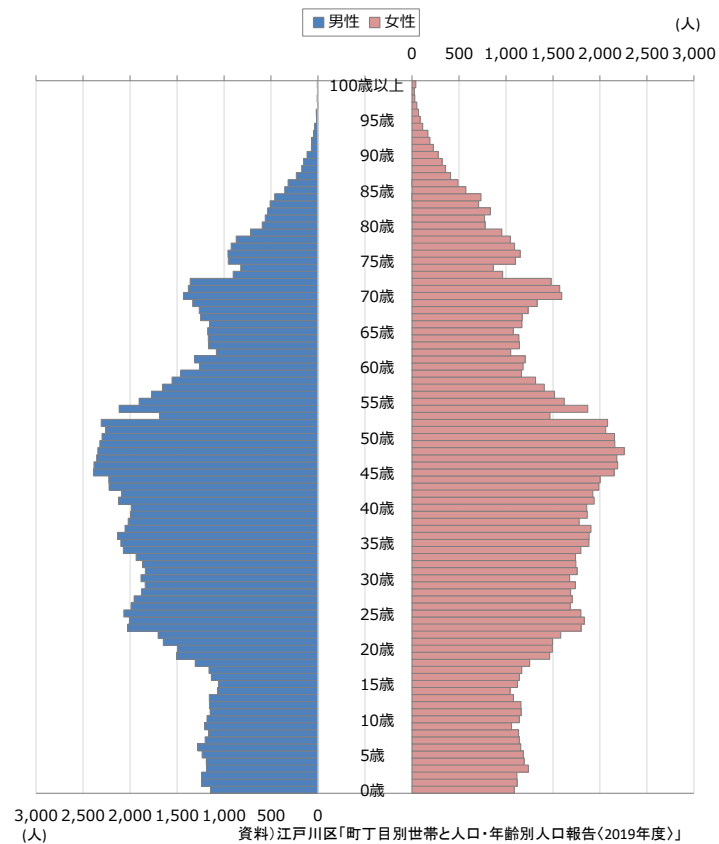
(参考) 実数

単位：人

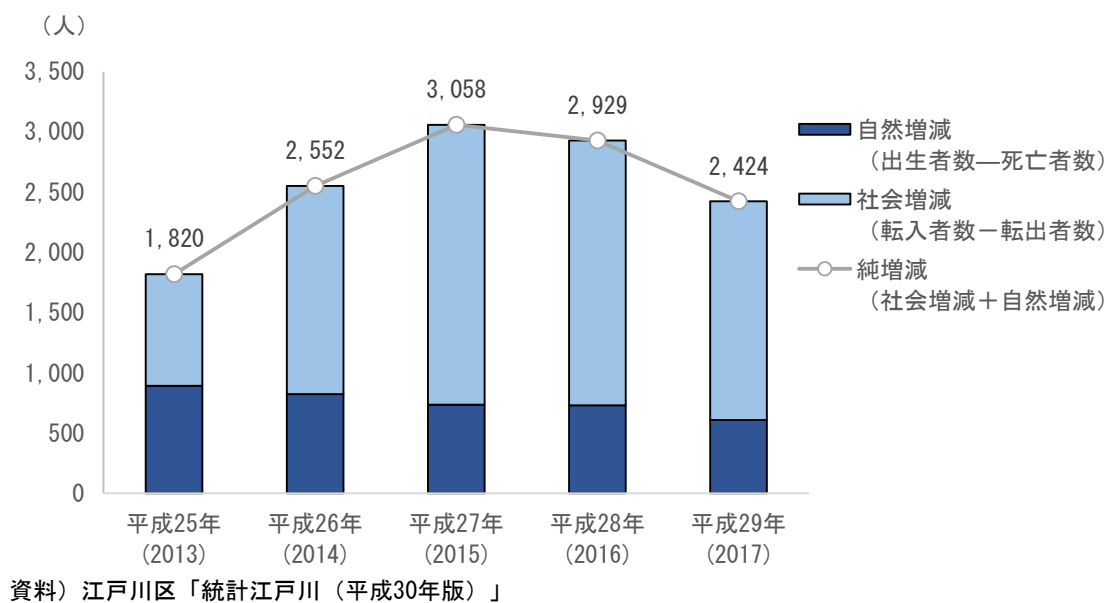
	平成 26 年 (2014)	平成 27 年 (2015)	平成 28 年 (2016)	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)
老年人口	38,435	40,430	41,924	43,195	44,309
生産年齢人口	170,302	170,600	171,842	173,175	174,265
年少人口	35,187	35,099	35,013	34,982	34,959
合計	243,924	246,129	248,779	251,352	253,533

資料) 江戸川区「統計江戸川 (平成 30 年版)」

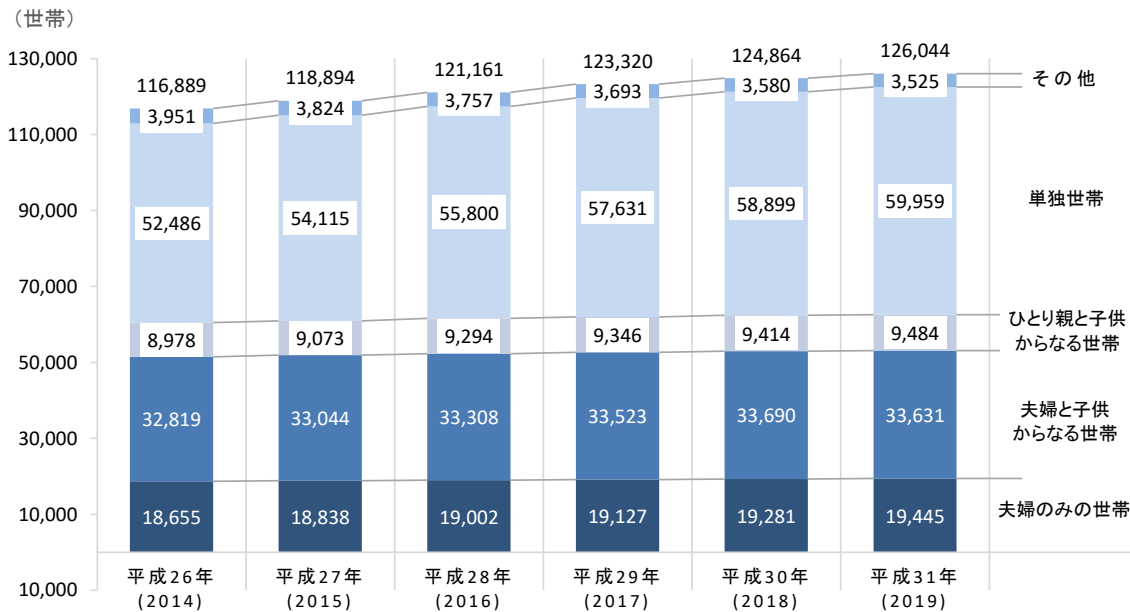
図表 葛西地域の人口ピラミッド



図表 葛西地域の人口動態の推移

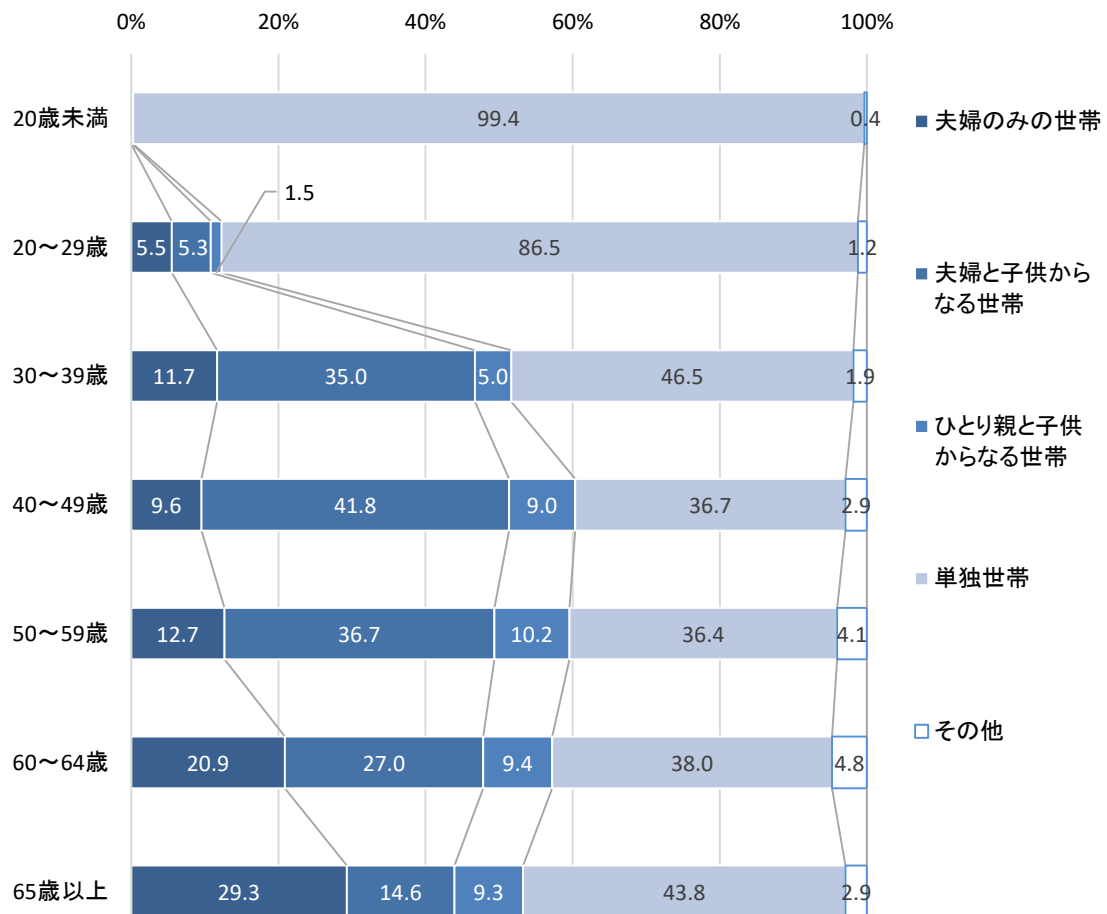


図表 葛西地域の類型別世帯数の推移



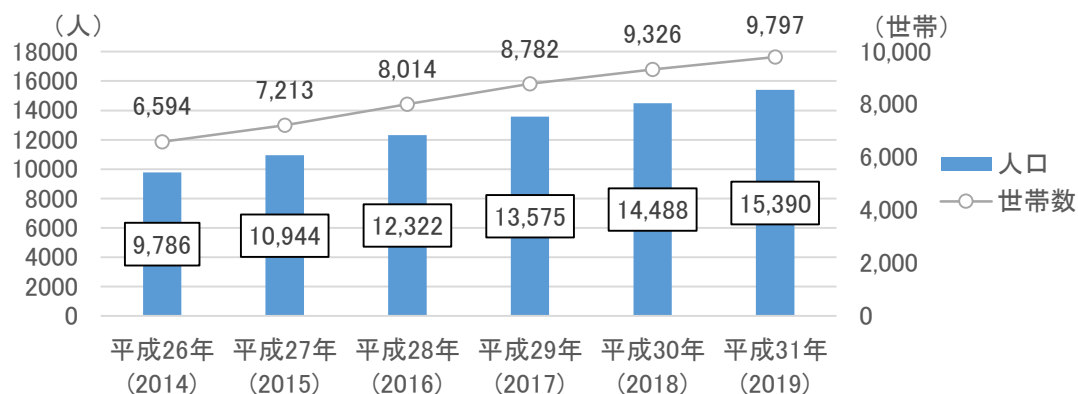
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

図表 葛西地域の世帯主の年齢別世帯構成比



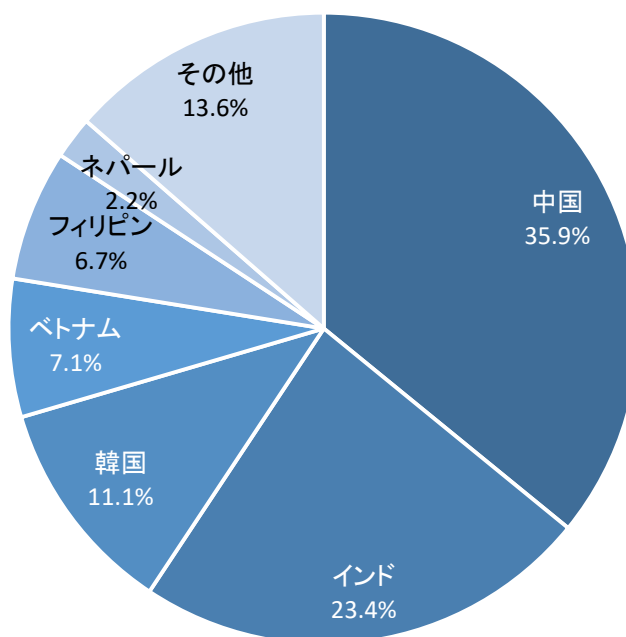
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」(2019年4月30日時点)

図表 葛西地域の外国人人口と世帯数の推移



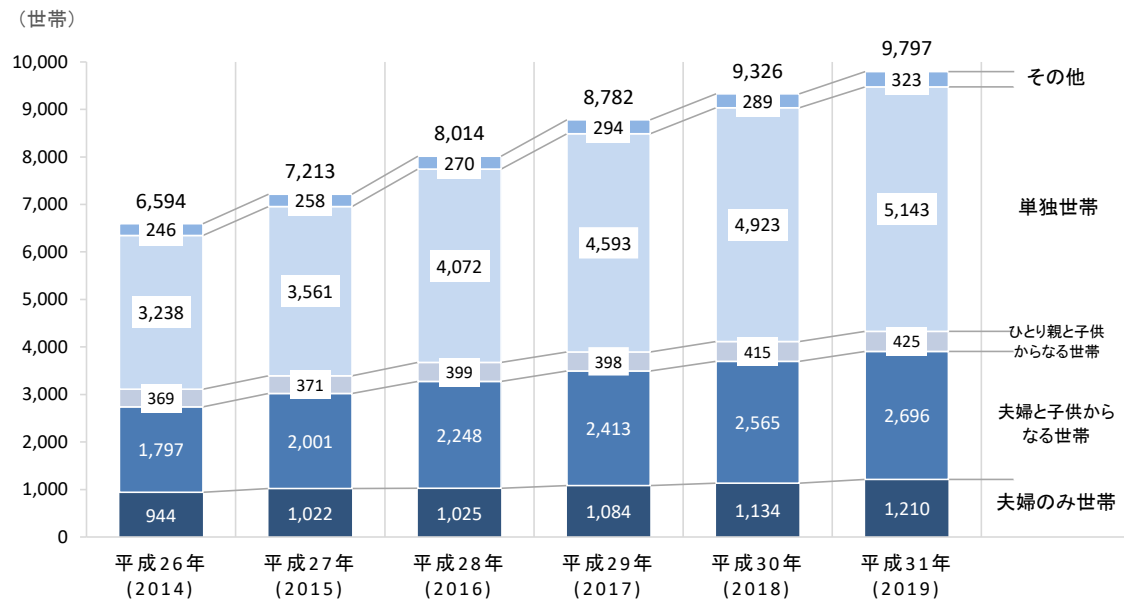
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・国籍等別・男女別及び世帯主から見た世帯構成別)」

図表 葛西地域の外国人の国籍構成比



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」(2019年)

図表 葛西地域の外国人を含む類型別世帯数の推移



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

注) 混合世帯を含む

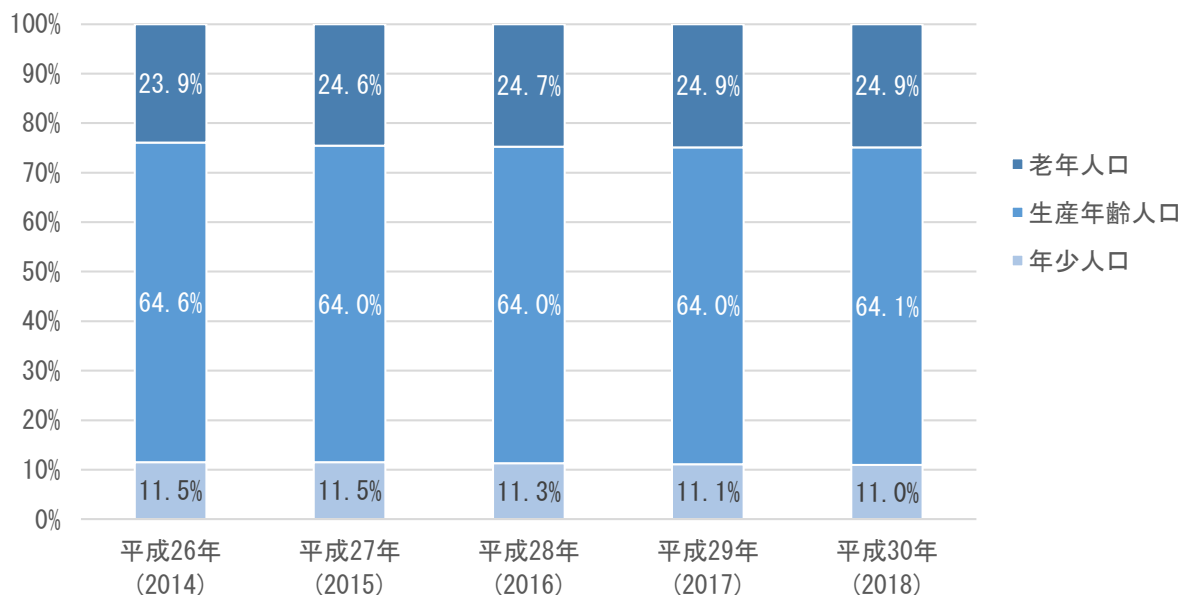
(4) 小岩地域

小岩地域は、人口が増加基調にあるが、他地域に比べて年少人口の割合が最も小さく、30歳代の人口も少ない。また、人口動態は、社会増に支えられているものの、過去5年間（2013年～2017年）で自然減が続いているのは小岩地域のみとなっている。

世帯数は人口の増加にともない増加傾向にある。世帯類型別では、最も割合の大きい単独世帯が増加している。

外国人は人口、世帯数ともに増加傾向にある。外国人国籍別人口の約半数を中国が占め、次いで韓国、フィリピンの順となっている。特に中国については、20～30歳代が葛西地域に次いで多く（p.40 参照）、これらの層の子どもと考えられる年少人口も多い。

図表 小岩地域の年齢3区分別人口比の推移



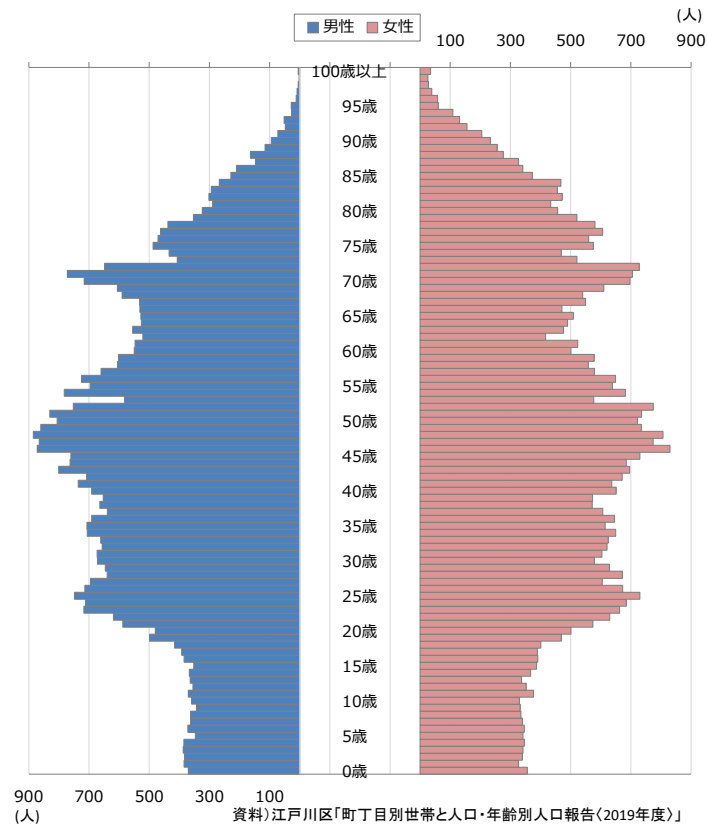
(参考) 実数

単位：人

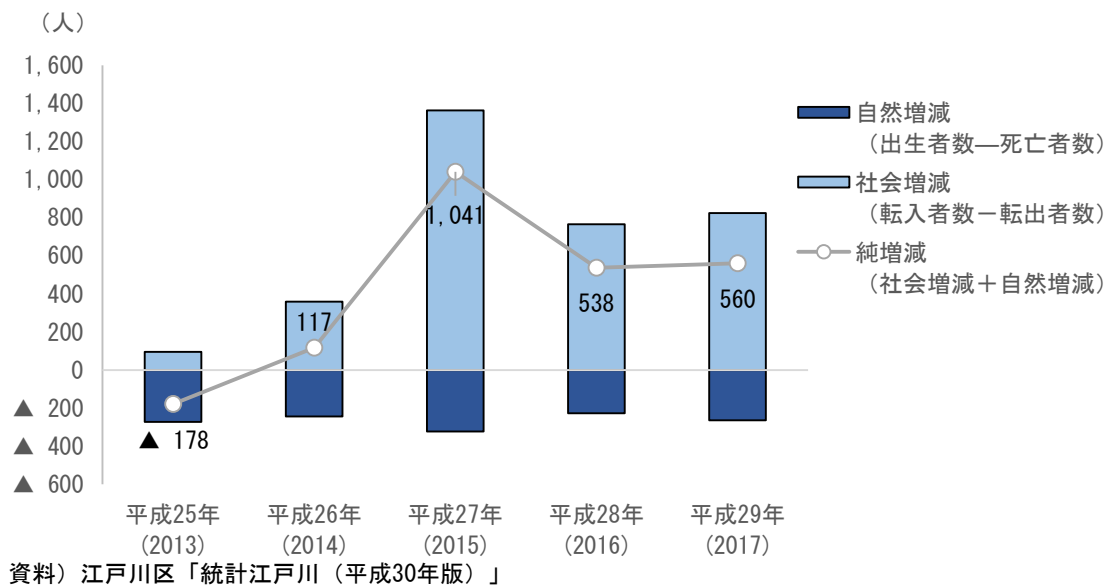
	平成 26 年 (2014)	平成 27 年 (2015)	平成 28 年 (2016)	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)
老年人口	22,877	23,449	23,843	24,130	24,256
生産年齢人口	61,829	61,096	61,672	62,050	62,469
年少人口	11,030	10,968	10,903	10,752	10,689
合計	95,736	95,513	96,418	96,932	97,414

資料) 江戸川区「統計江戸川（平成30年版）」

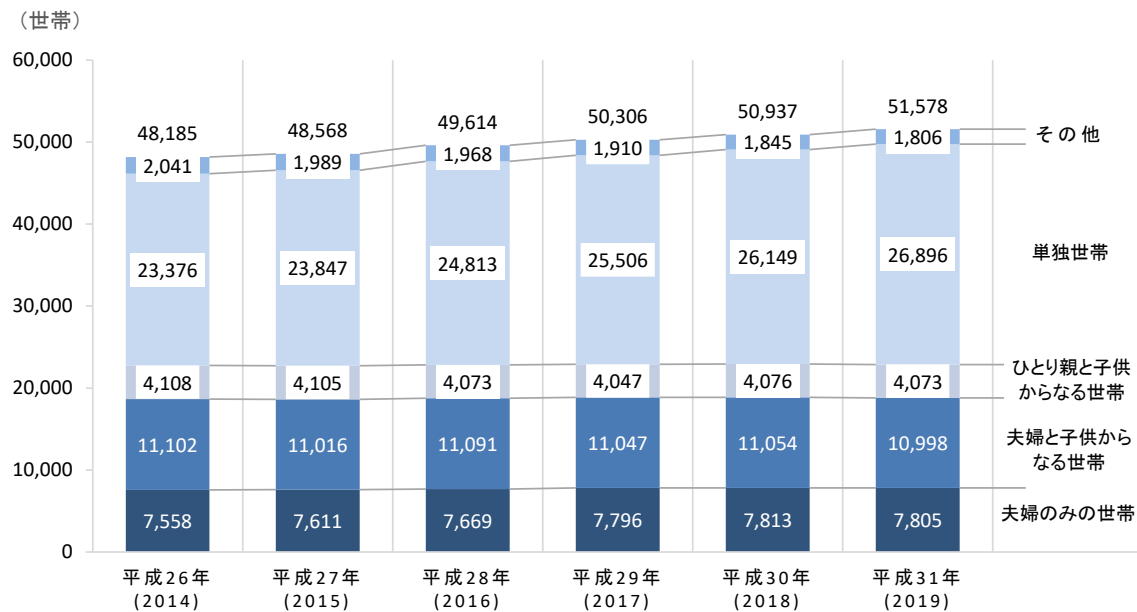
図表 小岩地域の人口ピラミッド



図表 小岩地域の人口動態の推移

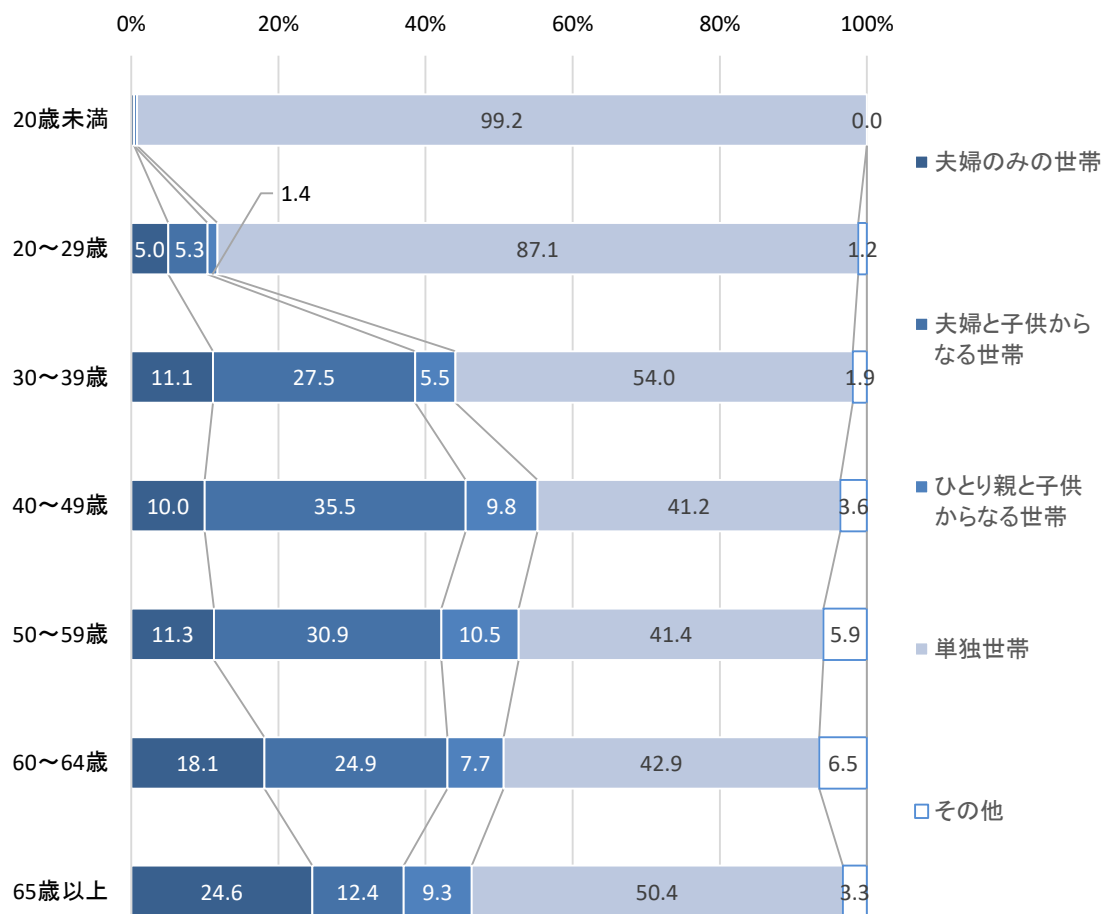


図表 小岩地域の類型別世帯数の推移



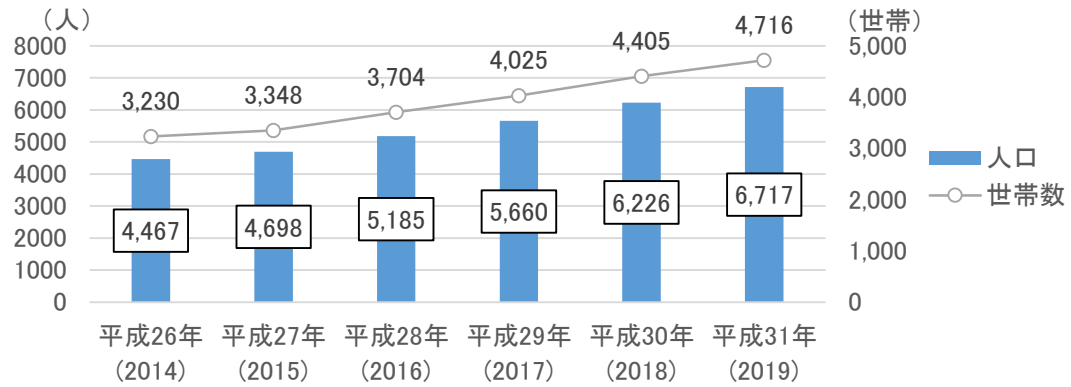
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

図表 小岩地域の世帯主の年齢別世帯構成比



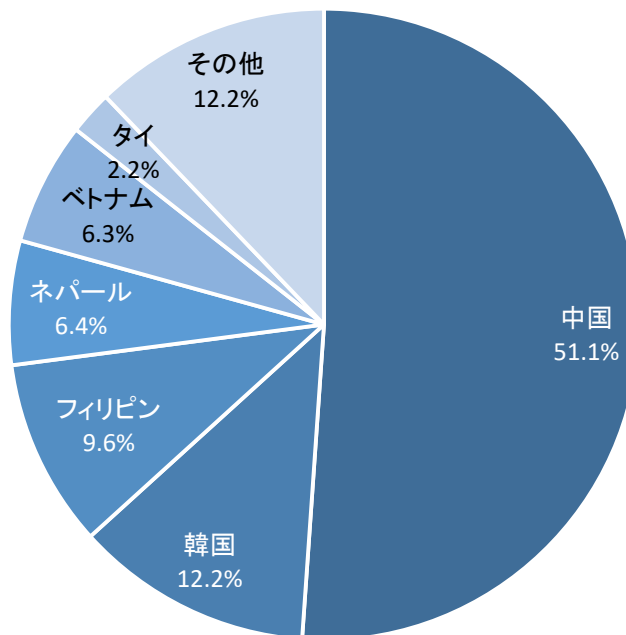
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」(2019年4月30日時点)

図表 小岩地域の外国人人口と世帯数の推移



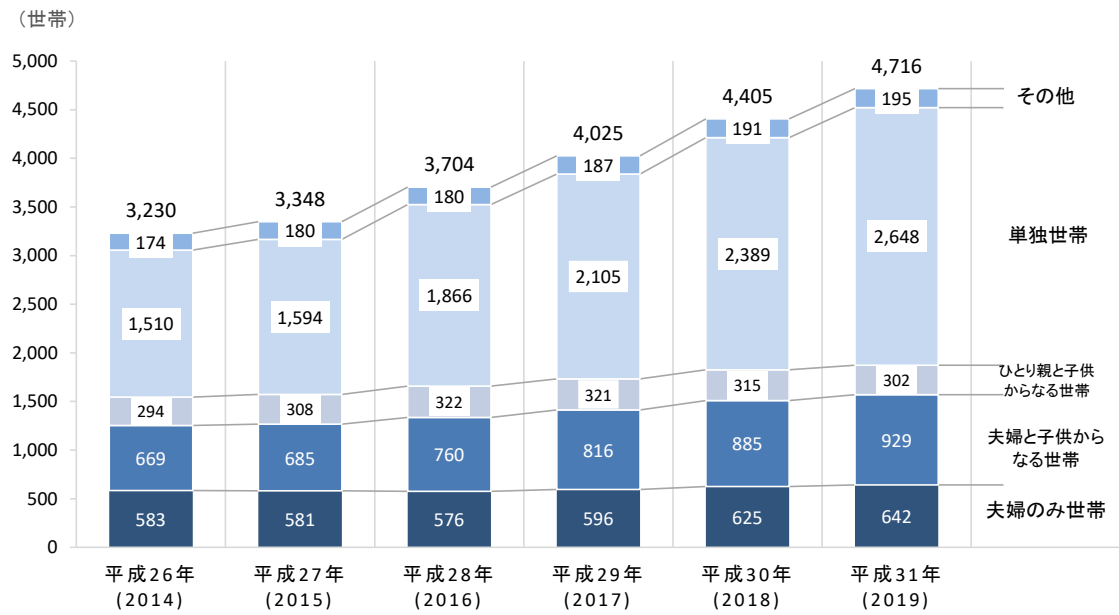
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・国籍等別・男女別及び世帯主から見た世帯構成別)」

図表 小岩地域の外国人の国籍構成比



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」(2019年)

図表 小岩地域の外国人を含む類型別世帯数の推移



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

注) 混合世帯を含む

（５）東部地域

東部地域の人口は増加の基調にある。年齢３区分別年齢構成については、他地域に比べ団塊ジュニア世代（1971年～74年生まれ）が多い特徴がある。したがって今後、高齢化率が急速に高まることが予想される。

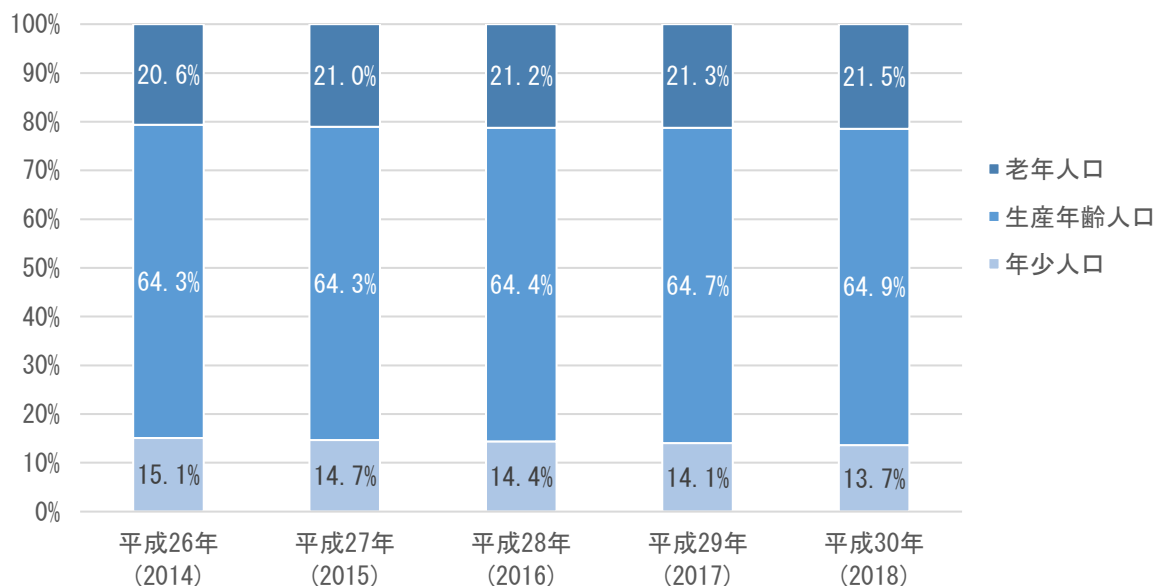
また、社会増及び自然増が続く一方、2016年、2017年は、2015年に比べ社会増減、自然増減とも大きく減少しており、他地域には見られない動態を示している。

世帯数は人口の増加にともない増加傾向にある。世帯類型別では、最も割合の大きい単独世帯が増加している。また、世帯主の年齢別世帯構成では、65歳以上の高齢者の世帯で単独世帯割合が鹿骨地域と並び比較的小さいという特徴がある。

外国人は人口、世帯数ともに増加傾向にある。国籍別の人口については、中国の割合が最も大きいものの、他地域と比較すると最も低く、他国の割合が相対的に高いため、他地域に比べ多様性がみられる。また、他地域に比べ台湾の割合が大きい。

世帯の類型では他地域同様、単独世帯が最も多くなっている。

図表 東部地域の年齢３区分別人口比の推移



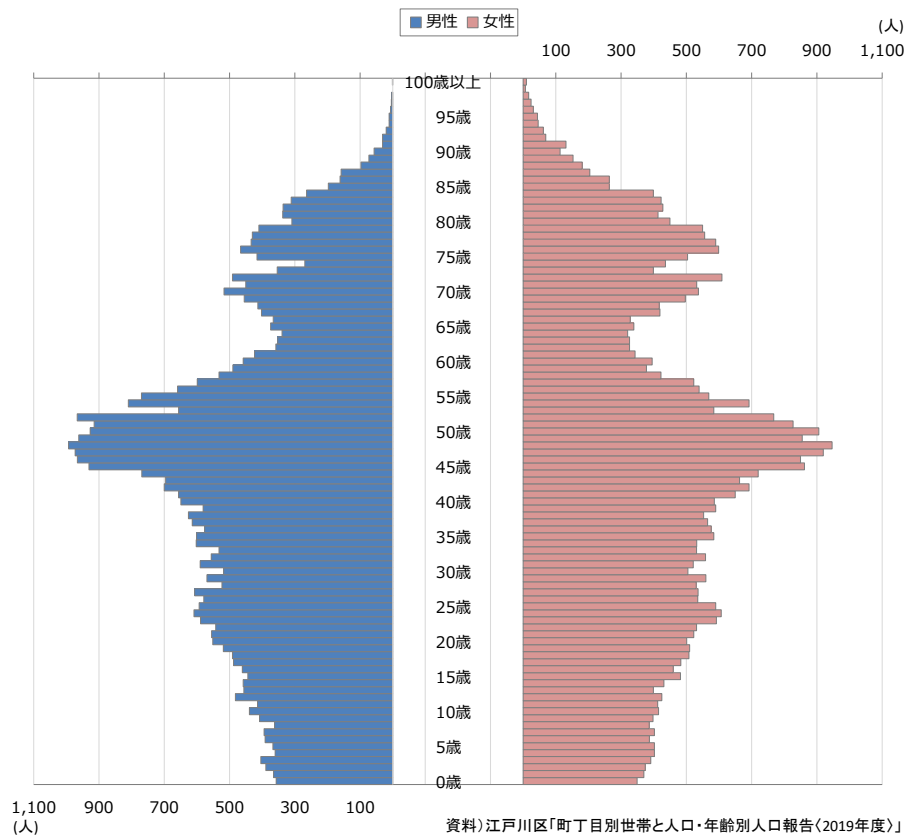
（参考）実数

単位：人

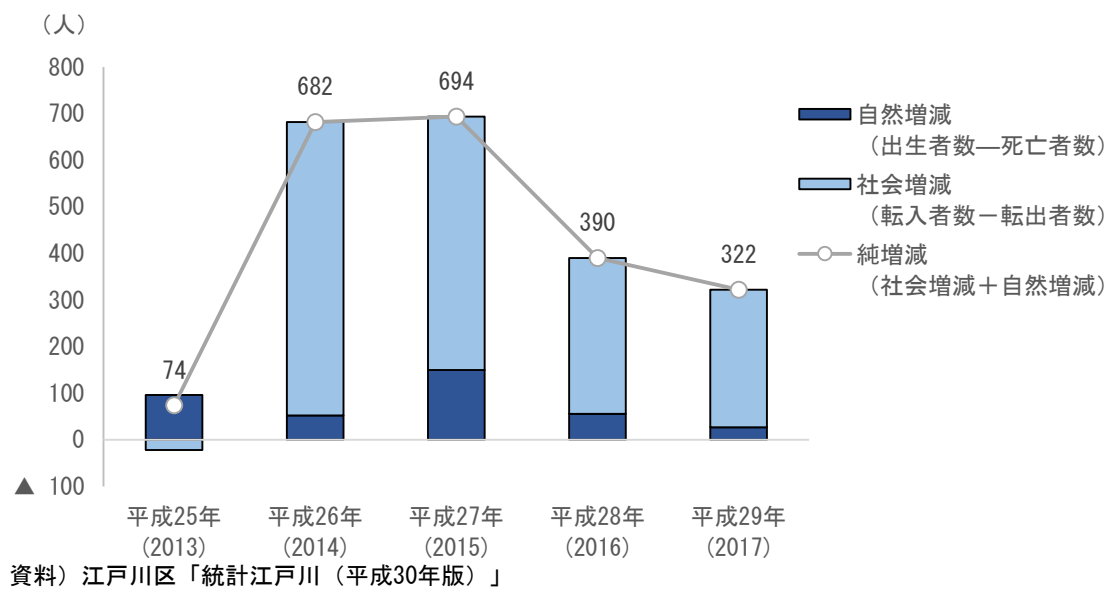
	平成 26 年 (2014)	平成 27 年 (2015)	平成 28 年 (2016)	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)
老年人口	18,610	19,094	19,430	19,551	19,771
生産年齢人口	58,006	58,437	58,871	59,418	59,774
年少人口	13,633	13,319	13,140	12,923	12,581
合計	90,249	90,850	91,441	91,892	92,126

資料）江戸川区「統計江戸川（平成30年版）」

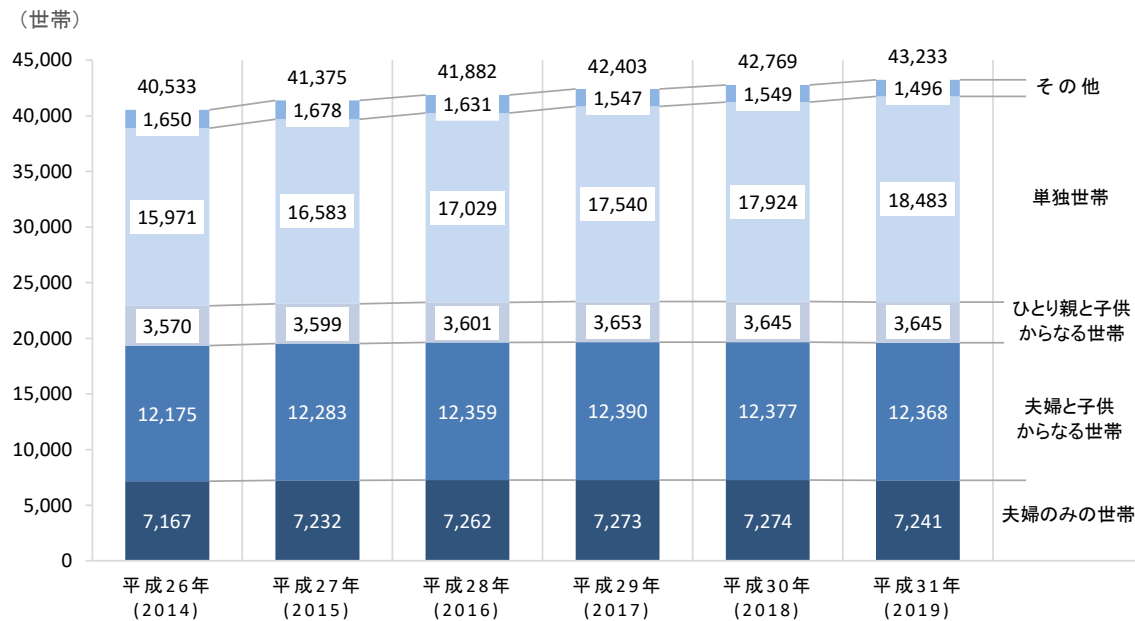
図表 東部地域の人口ピラミッド



図表 東部地域の人口動態の推移

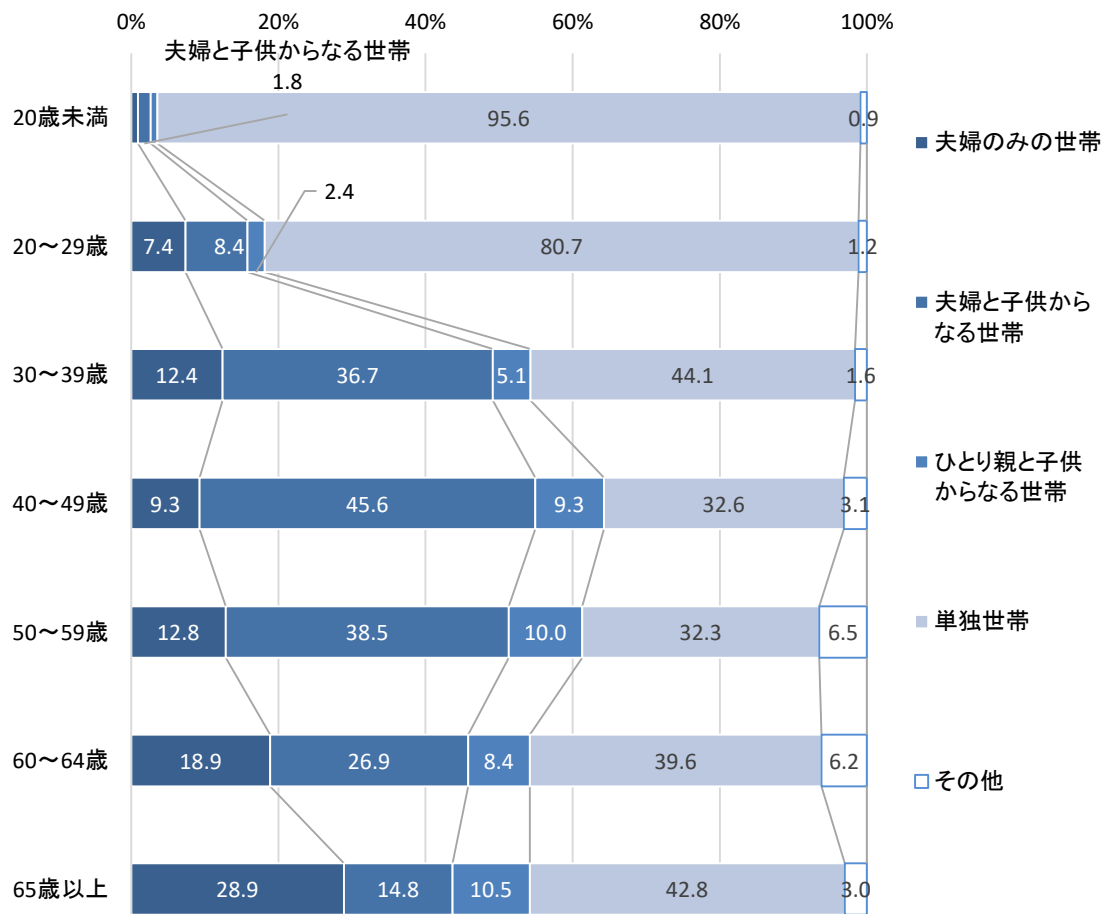


図表 東部地域の類型別世帯数の推移



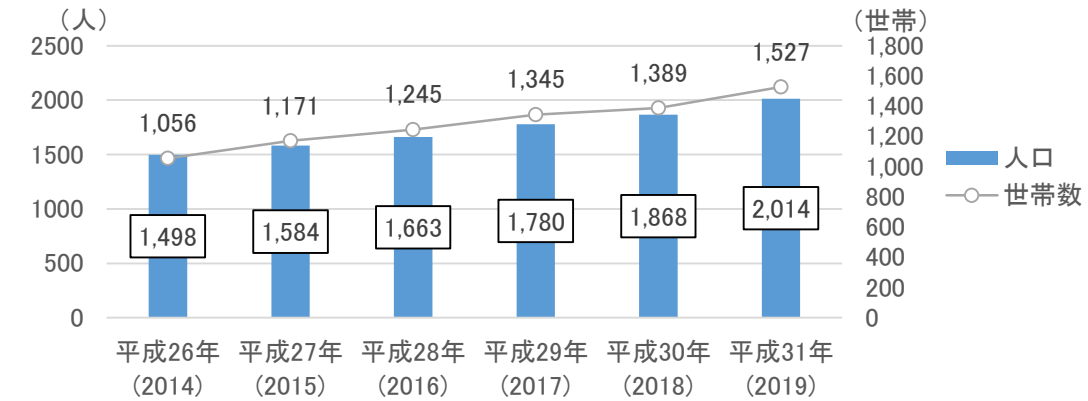
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

図表 東部地域の世帯主の年齢別世帯構成比



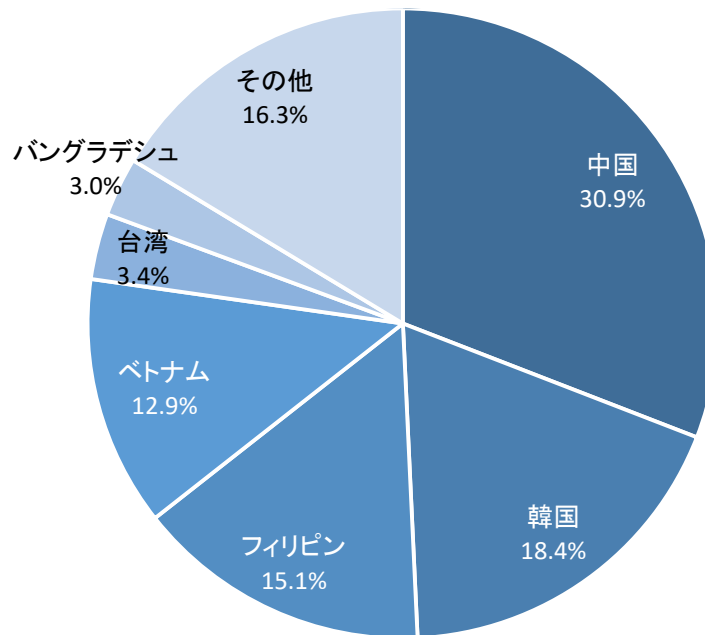
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」(2019年4月30日時点)

図表 東部地域の外国人人口と世帯数の推移



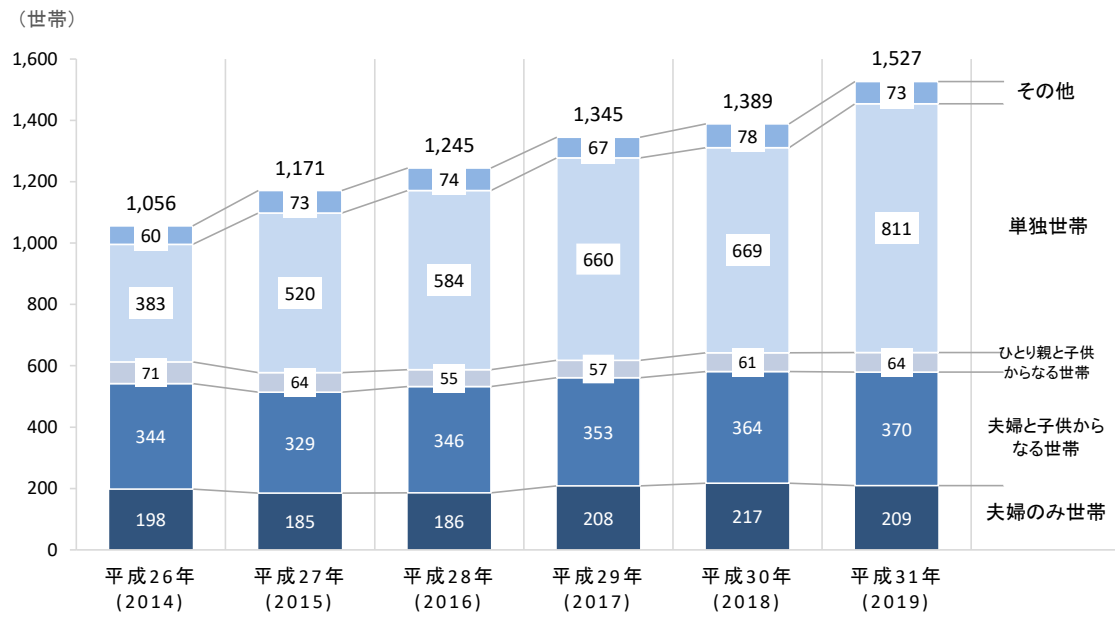
資料)江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・国籍等別・男女別及び世帯主から見た世帯構成別)」

図表 東部地域の外国人の国籍構成比



資料)江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」(2019年)

図表 東部地域の外国人を含む類型別世帯数の推移



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

注) 混合世帯を含む

（６）鹿骨地域

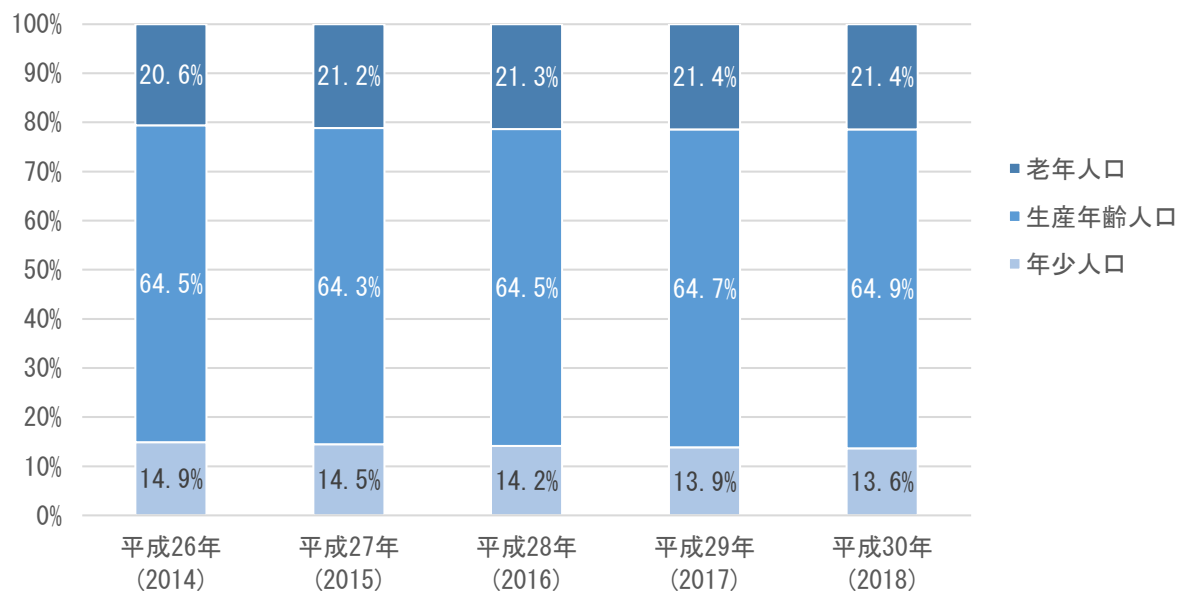
鹿骨地域は、人口増加の基調が続いている。また、年齢３区分別構成については、老年人口が比較的少なく、葛西地域（41.49 歳）に次いで平均年齢が低い（43.35 歳）（p.48 図表参照）。2017 年には社会増減、自然増減とも大きく減少しており、現在の傾向で推移した場合、社会増数がそれほど多くないことから、数年の内に人口減に転じる可能性も考えられる。

世帯数は人口の増加にともない増加傾向にある。また、世帯主の年齢別世帯構成では、65 歳以上の高齢者の単独世帯割合が東部地域と並び比較的小さいという特徴がある。

外国人は人口、世帯数ともに増加傾向にある。国籍別人口構成については、中国の割合が最も高いものの、他地域と比較すると低く、他国の割合が高くなっている。また、他地域に比べインドネシアの割合が高くなっている。

世帯の類型では他地域同様、単独世帯が最も多くなっている。

図表 鹿骨地域の年齢３区分別人口比の推移



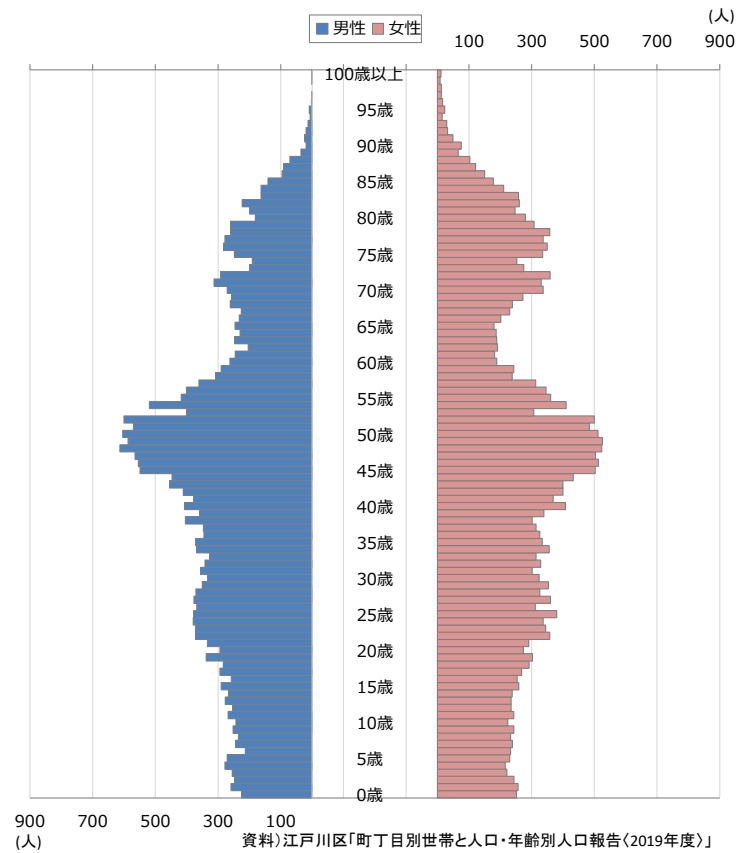
（参考）実数

単位：人

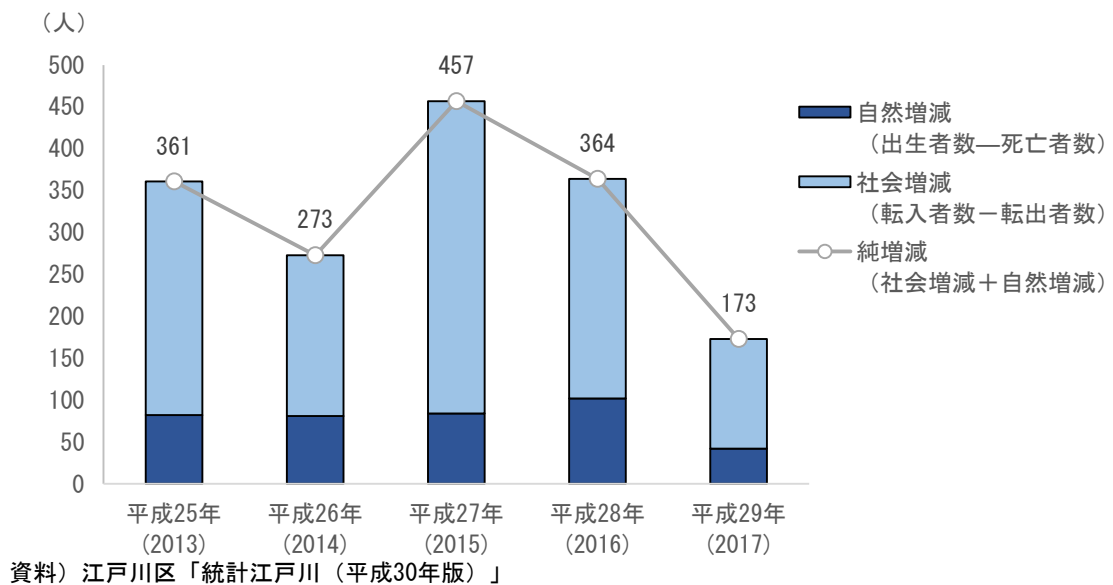
	平成 26 年 (2014)	平成 27 年 (2015)	平成 28 年 (2016)	平成 29 年 (2017)	平成 30 年 (2018)
老年人口	11,075	11,424	11,607	11,746	11,795
生産年齢人口	34,764	34,741	35,087	35,485	35,762
年少人口	8,017	7,845	7,708	7,594	7,507
合計	53,856	54,010	54,402	54,825	55,064

資料）江戸川区「統計江戸川（平成 30 年版）」

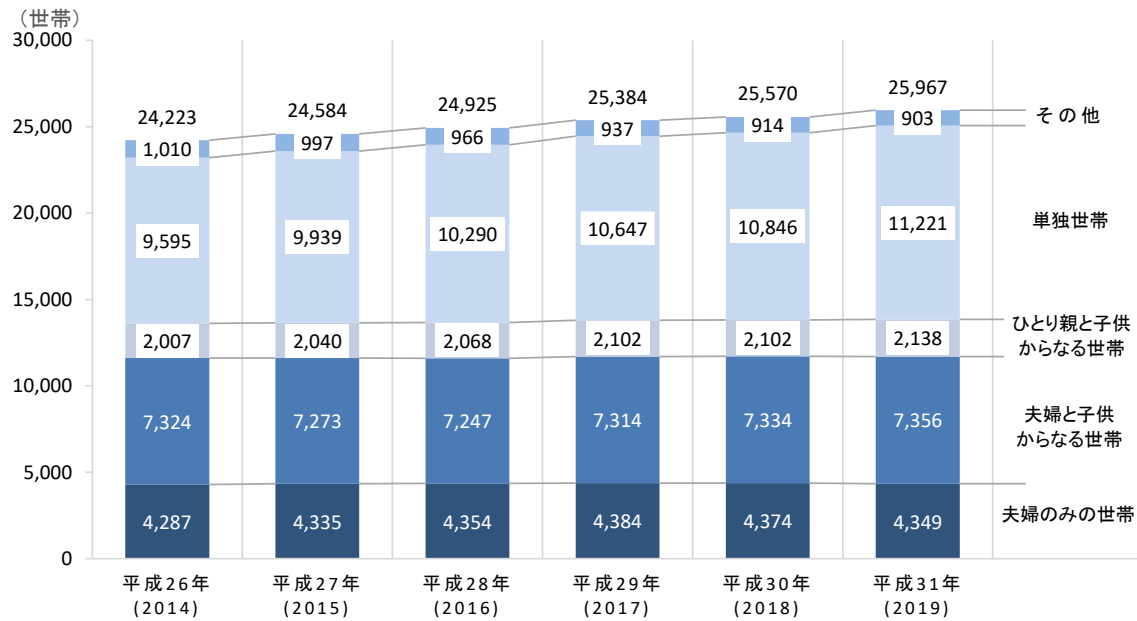
図表 鹿骨地域の人口ピラミッド



図表 鹿骨地域の人口動態の推移

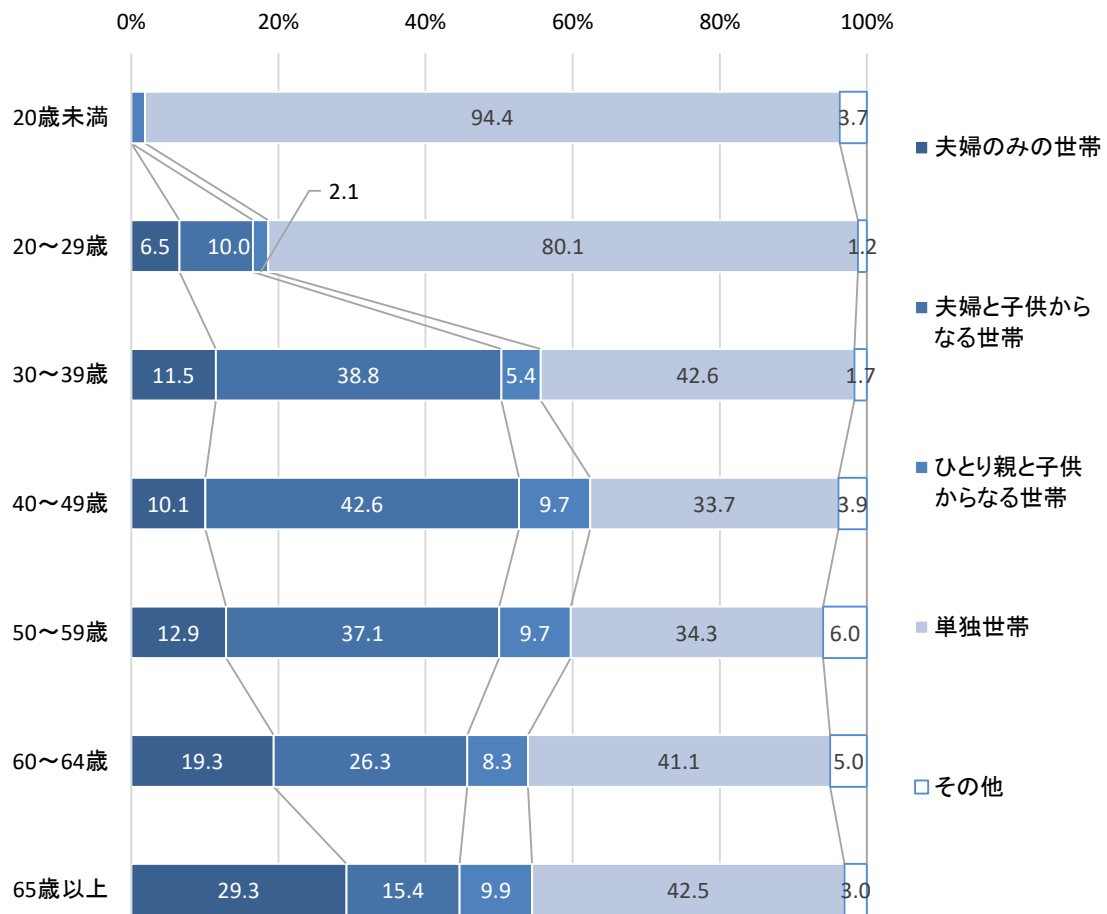


図表 鹿骨地域の類型別世帯数の推移



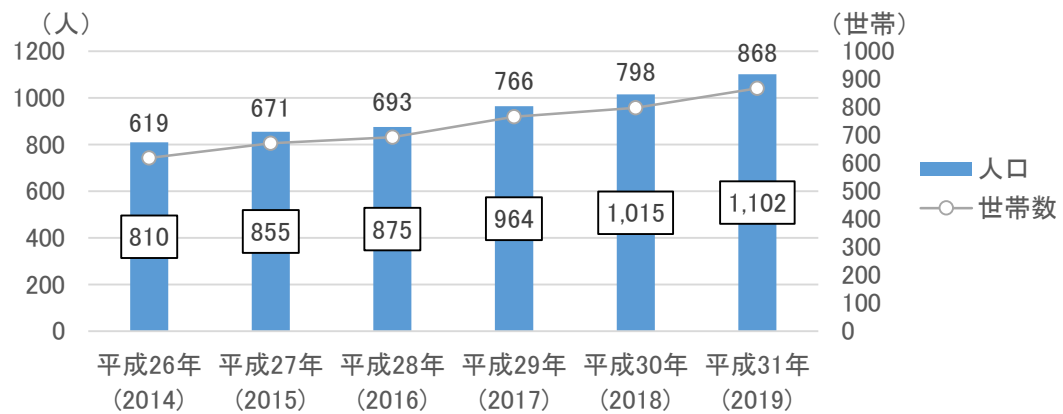
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

図表 鹿骨地域の世帯主の年齢別世帯構成比



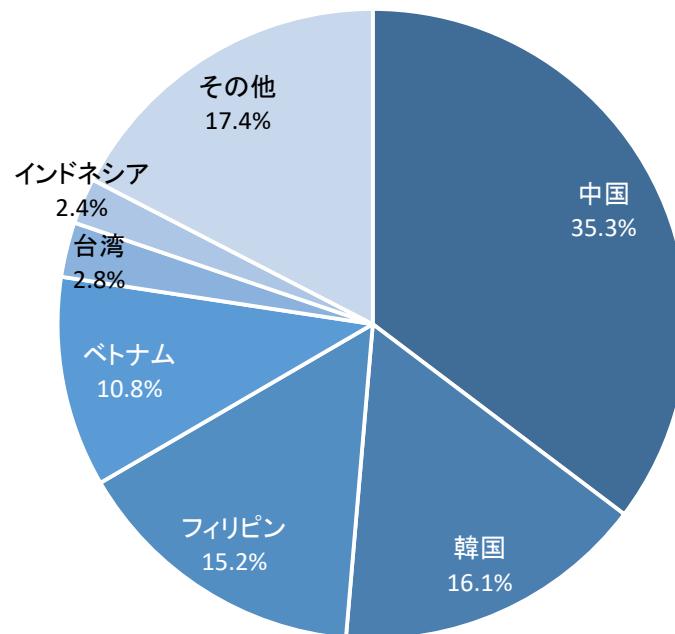
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」(2019年4月30日時点)

図表 鹿骨地域の外国人人口と世帯数の推移



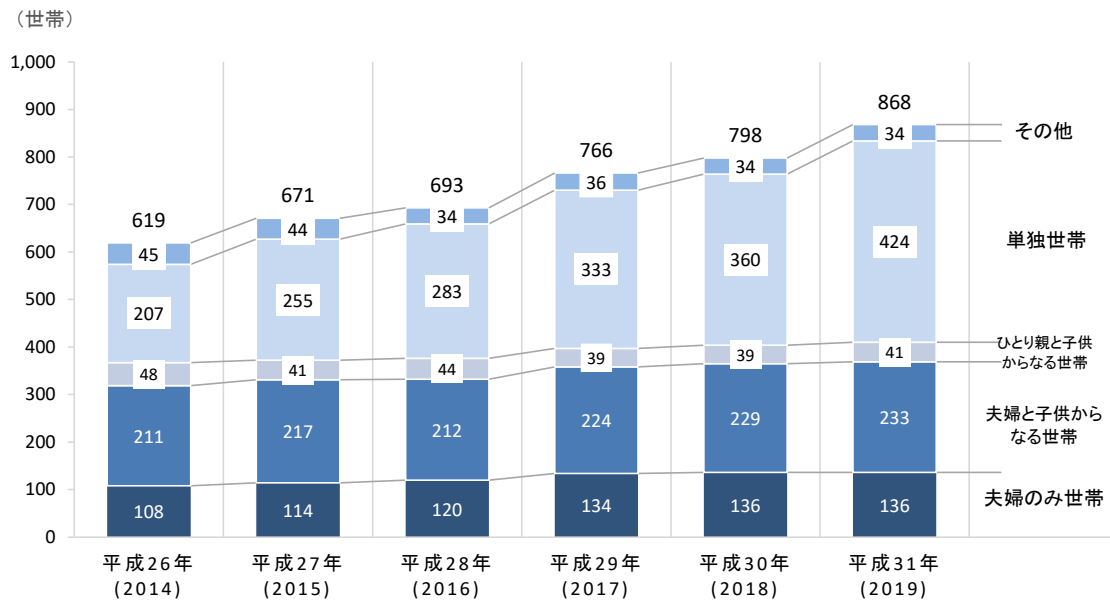
資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・国籍等別・男女別及び世帯主から見た世帯構成別)」

図表 鹿骨地域の外国人の国籍構成比



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(外国人事務所別・年齢別・国籍等別・男女別)」(2019年)

図表 鹿骨地域の外国人を含む類型別世帯数の推移



資料) 江戸川区「住民基本台帳抽出統計(世帯主から見た世帯構成別)」

注) 混合世帯を含む

第 2 部 将来人口編

I. 将来人口推計

1. 前提条件

基準人口を平成 27（2015）年 10 月 1 日時点の国勢調査人口とし、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）推計の手法に準拠したコーホート要因法⁵による将来人口推計を行った。推計期間は 2020 年から 2100 年までである。

なお、今回の推計に際して設定した主な前提である出生・死亡、移動に関する仮定は以下のとおりである。

（1）出生に関する前提

合計特殊出生率の実績値は、近年、大きな変動がなく、また社人研推計数値との乖離が大きく生じていないことから、本推計時（2019 年 11 月 1 日）の最新値である 2017 年の江戸川区合計特殊出生率（1.38）で 2020 年以降も推移すると仮定する⁶。

ただし、合計特殊出生率が上振れ・下振れした場合も想定し、参考までにそれぞれ上位推計・下位推計として推計を行う（したがって、2017 年実績に基づく合計特殊出生率 1.38 のケースは中位推計とする）。

上振れ・下振れ時の合計特殊出生率は、社人研推計に準拠することとする。すなわち、上位（下位）推計の場合は中位推計の α 倍上振れ（下振れ）するとして、社人研推計値における中位と上位（下位）の合計特殊出生率と倍率を算出した上で、上位（下位）推計の場合は、中位推計の α 倍上振れ（下振れ）するとした。

（2）死亡に関する前提

死亡については将来の生残率⁷を仮定することとなるが、これについては社人研にて公表している 2045 年までの数値を前提とする。

なお、2045 年以降の生残率が大きく変化する可能性が現段階で想定し難いことから、2045 年以降は生残率が変化しないと仮定している。

⁵ コーホートとは特定の時期に出生した集団を指し、その集団について「加齢にともなって生ずる年々の変化をその要因（死亡、出生及び人口移動）ごとに計算して将来の人口を求める方法」（社人研「日本の将来推計人口（平成 29 年推計）」、p.9）がコーホート要因法である。

⁶ 推計にあたっては、社人研推計による合計特殊出生率（5 年平均）及び女性子ども比率の比を用いて出生者数の推計を行っている。
なお、社人研の江戸川区に関する人口推計では、合計特殊出生率が 1.39 と仮定されていたが、今回の推計では推計時における最新値を使用する。

⁷ 「ある年齢 x 歳の人口が、5 年後に $x+5$ 歳になるまで死亡しない確率」（社人研「日本の地域別将来推計人口」（平成 30 年推計）、p.4。）

(3) 移動に関する前提

江戸川区への移動については、社会動態の推移から、近年は社会増で推移しているものの、その伸び率は徐々に縮減傾向にある。将来的に人口が減少することから、移動量自体も少なくなることが想定され、国が東京圏への地方からの転入超過を是正する取組の方向性にあることから、東京都及び江戸川区への地方からの転入が減少すると見込まれる。一方で、江戸川区からは近隣都市部への転出傾向がみられることから、江戸川区の移動に関する前提の方向性を転出超過と見込む。

ただし、2015 年から 2020 年の移動については、既に 2015 年から推計実施時点である 2019 年 11 月までの江戸川区の移動が実現されていることから、移動実績を踏まえ、社人研仮定値を補正した。2025 年以降は社人研仮定値を前提としている。

2. 推計結果

(1) 区全体

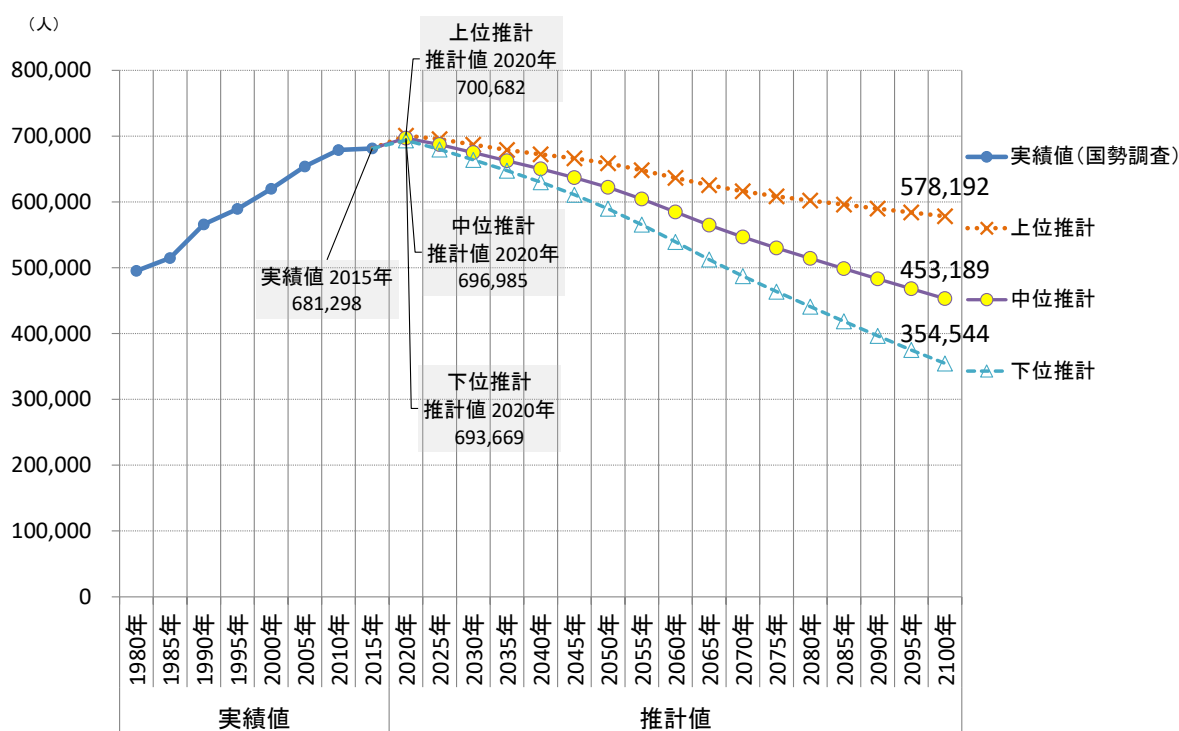
1) 将来人口の推移

江戸川区全体の将来人口は、2020年から2025年の間に約70万人と人口のピークを迎えた後、緩やかに減少する。合計特殊出生率が現状のまま推移すると仮定した中位推計では、2100年の人口が約45.3万人と、2015年人口約68.1万人から約22.8万人減少する。

合計特殊出生率の想定を変えた場合も大きな傾向は変わらないが、上振れした場合の上位推計では⁸、2100年時の人口が約57.8万人となり、2015年と比べた人口減少数は約10.3万人と、減少がやや緩和される。他方、合計特殊出生率が下振れした場合⁹の下位推計では、2100年時の人口は約35.5万人と、2015年人口の約5割まで減少が進む。

以下では、中位推計の結果を示す。

図表 江戸川区全体の将来人口の推移（上位・中位・下位推計結果）



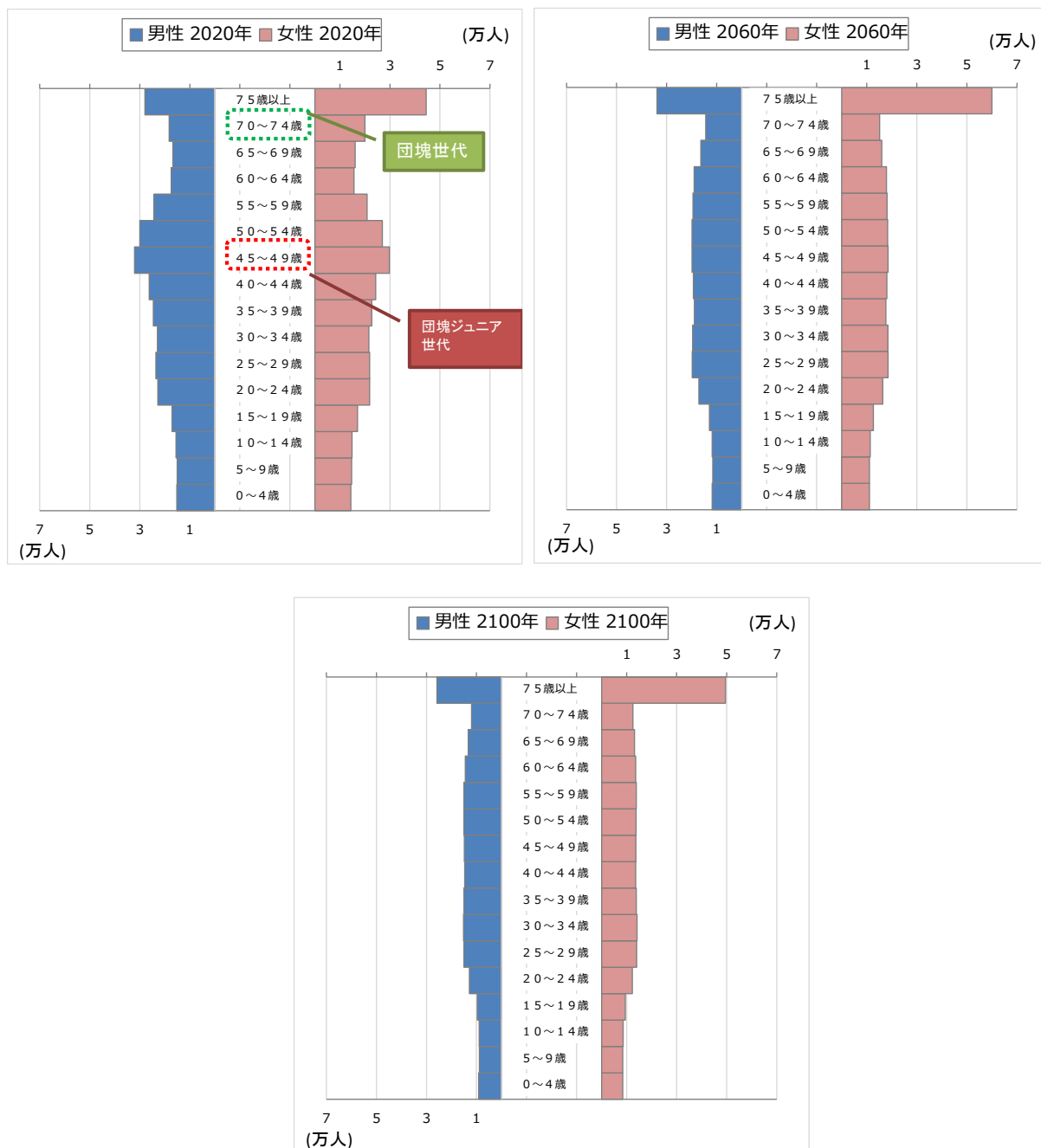
注) 実績値は総務省「平成27年国勢調査」

⁸ 社人研設定値より、1.60 前後で推移する。

⁹ 社人研設定値より、1.20 前後で推移する。

2020 年から 2025 年にかけて、人口が減少局面に転じる背景には、人口の多い団塊世代（1947 年～1949 年生まれの世代）が 75 歳以上の後期高齢者となり、自然減が一層進む点がある。また、団塊ジュニア世代（1971 年～1974 年生まれの世代）が 65 歳以上の高齢者となる 2040 年以降も、高齢化率が急激に上昇する局面に入ることが見込まれる¹⁰。

図表 江戸川区の主要年における人口ピラミッドの推移



¹⁰ 各ピラミッドに示した団塊世代、団塊ジュニア世代の年齢層には、それ以外の世代も含まれる。

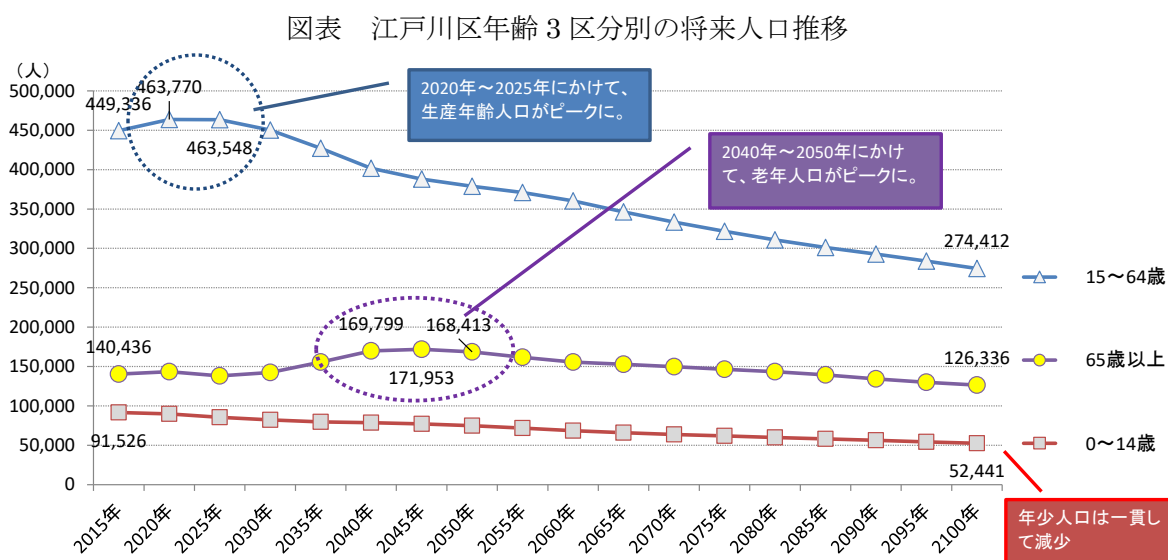
2) 年齢構成の推移

年齢3区分別に将来人口推移をみると、生産年齢人口（15歳～64歳人口）、老年人口（65歳以上人口）、年少人口（0～14歳人口）はいずれも減少する。

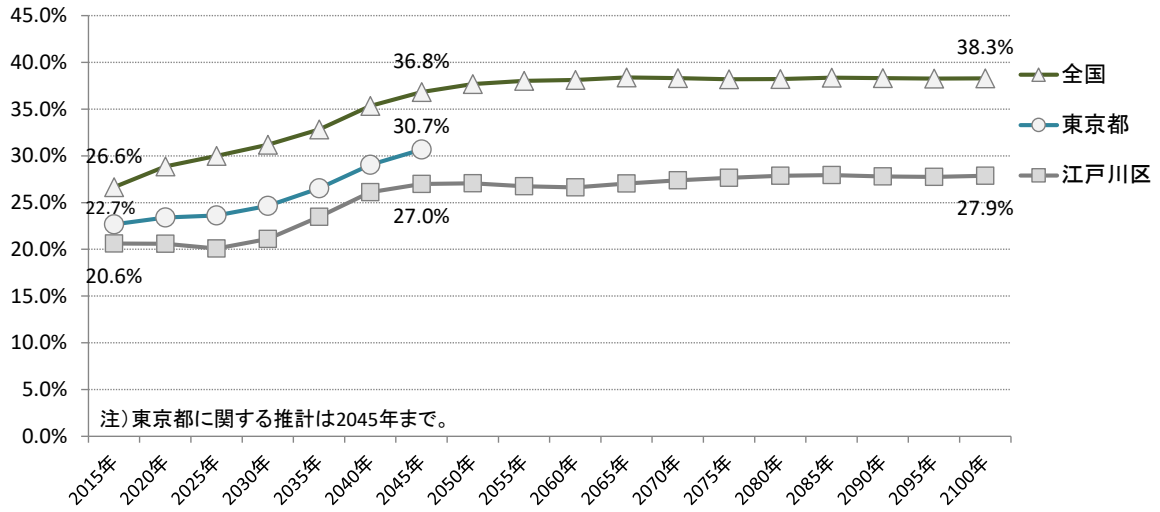
このうち、生産年齢人口（15歳～64歳人口）は総人口と同時期の2020年～2025年の間に約46.4万人とピークを迎え、その後は一貫して減少する。

一方、2015年に約14.0万人だった老年人口（65歳以上人口）は、2040年から2050年にかけて17万人前後へと増加し、高齢化率は2015年時の20.6%から2045年には27.0%まで上昇する。高齢化はその後も続き、2100年には27.9%となる。

2015年時点では高齢化率が全国や東京都を下回り、比較的若い年齢層の比率が高いことから、2020年以降、全国や東京都の高齢化率ほど高まらないものの、老年人口（65歳以上人口）一人当たりの生産年齢人口（15歳～64歳人口）は、2015年時の3.2人から、2045年以降は2.2人へと大きく落ち込むことから、生産年齢人口の負担が大きくなる。

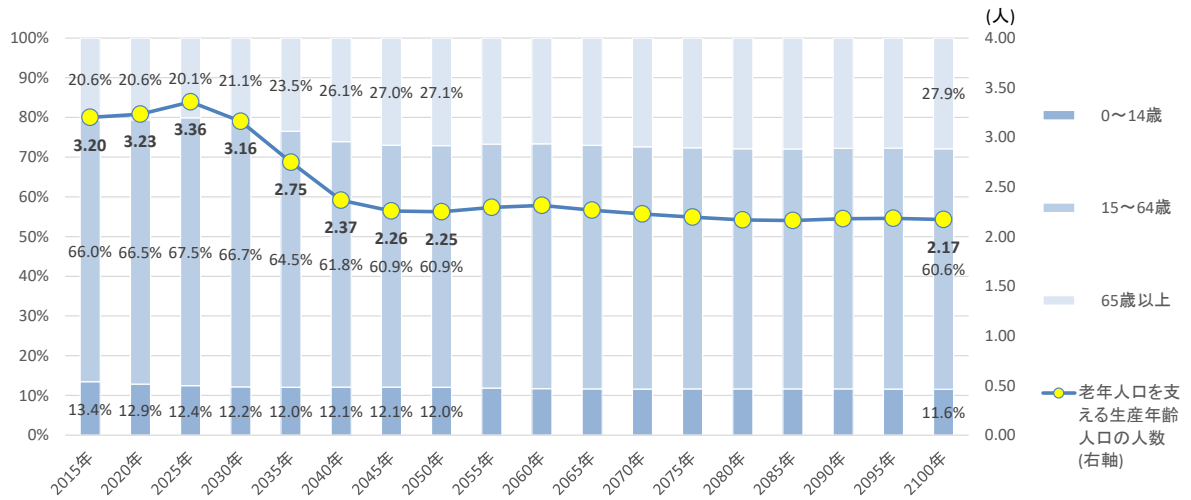


図表 全国、東京都及び江戸川区の高齢化率の比較



資料) 全国の推計は、社人研「日本の将来推計人口(平成29年推計)詳細結果表」より作成
 東京都の推計は、社人研「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」より作成

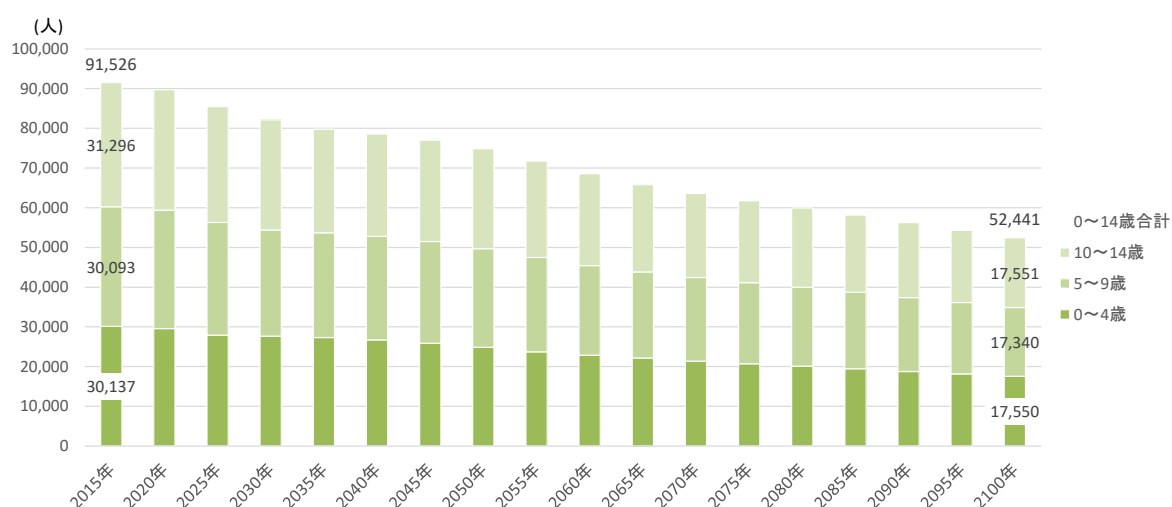
図表 江戸川区年齢3区分別の将来人口構成比の推移



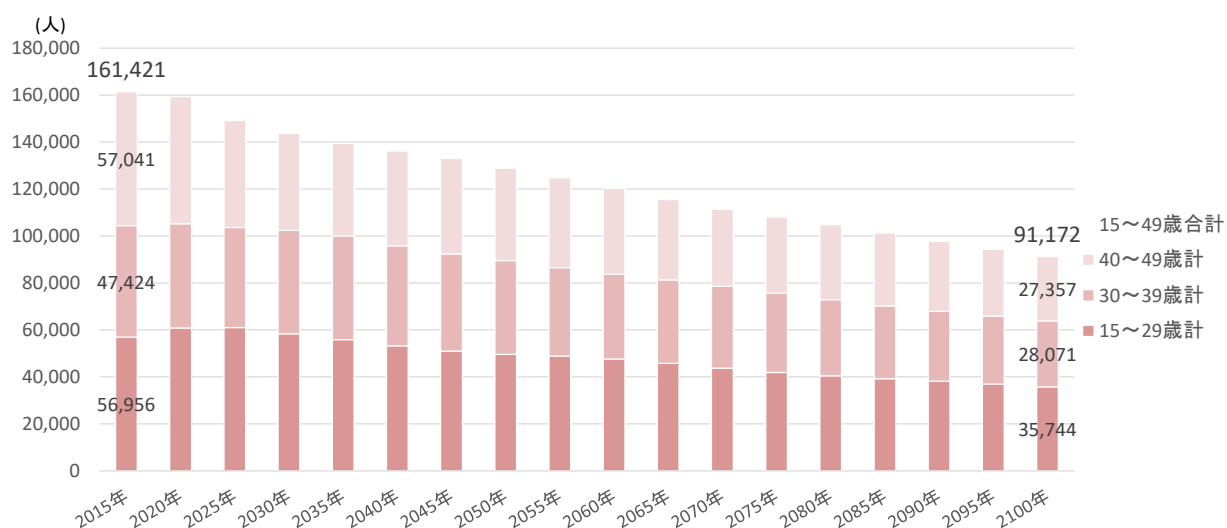
各年齢区分の推移は、以下のとおりである。

年少人口（0～14 歳人口）については、2015 年時の約 9.2 万人から 2100 年には約 5.2 万人へと一貫して減少するが、これは 0～4 歳人口、すなわち出生者数が減少し続けるためである。2015 年時に約 3.0 万人であった 0～4 歳人口は、2100 年には約 1.8 万人となる。また、背景には出生数に影響を与える女性人口の減少があげられる。江戸川区での 15～49 歳女性人口は 2015 年の約 16.1 万人から 2100 年までの間に約 7.0 万人減少し、約 9.1 万人となる。

図表 年少人口の推移

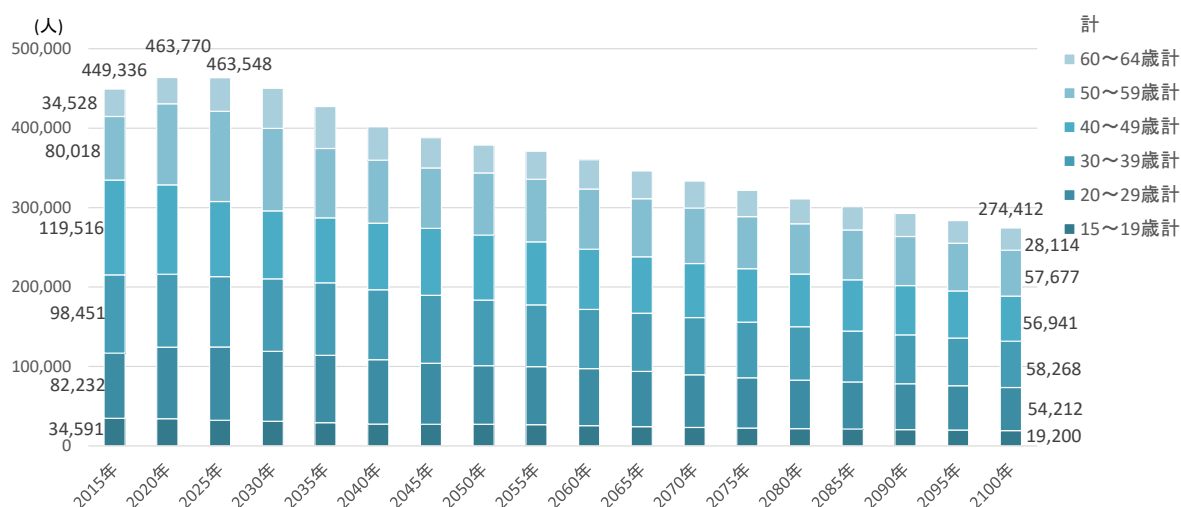


図表 女性・15 歳～49 歳人口の推移



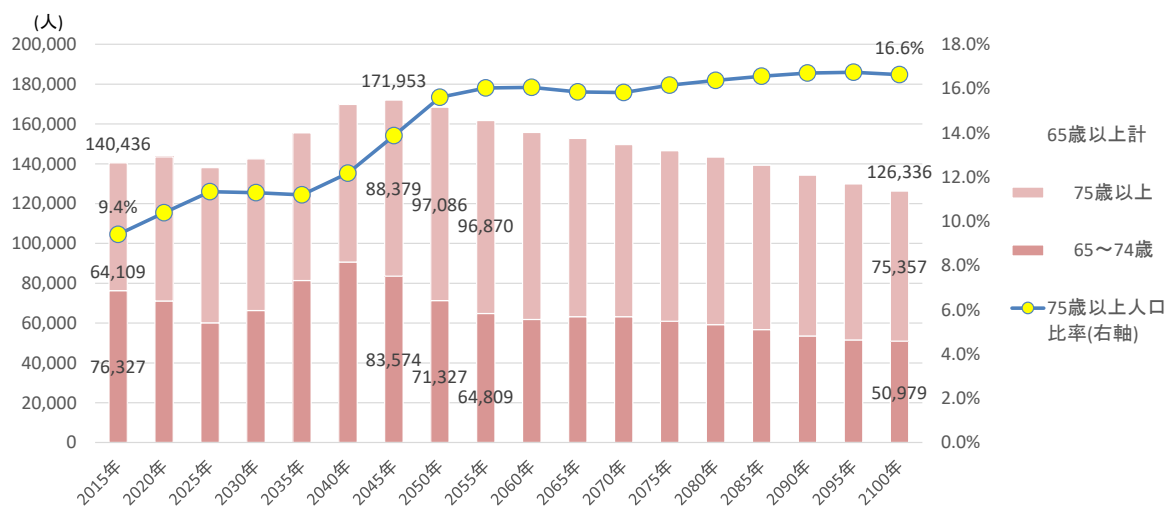
生産年齢人口（15歳～64歳人口）については、2100年にかけて、特に、20歳代～30歳代では約18.1万人（2015年）から約11.2万人（2100年）へと約6.9万人減の約4割減少し、40歳代では約12.0万人（2015年）から約5.7万人（2100年）へと約6.3万人減の約5割減少と、いずれも大きく減少していくため、これら社会経済活動の基幹となる主な担い手が不足する見込みとなる。

図表 生産年齢人口の推移



老年人口（65歳以上人口）については、2040年から2045年以降にかけて後期高齢者（75歳以上）数の増加が加速し、2050年代には、約10万人まで増加する。2055年以降は後期高齢者数も減少に転じるが、区の総人口が減少することから江戸川区総人口に占める比率は上昇し、2100年には16.6%まで高まる。

図表 老年人口の推移



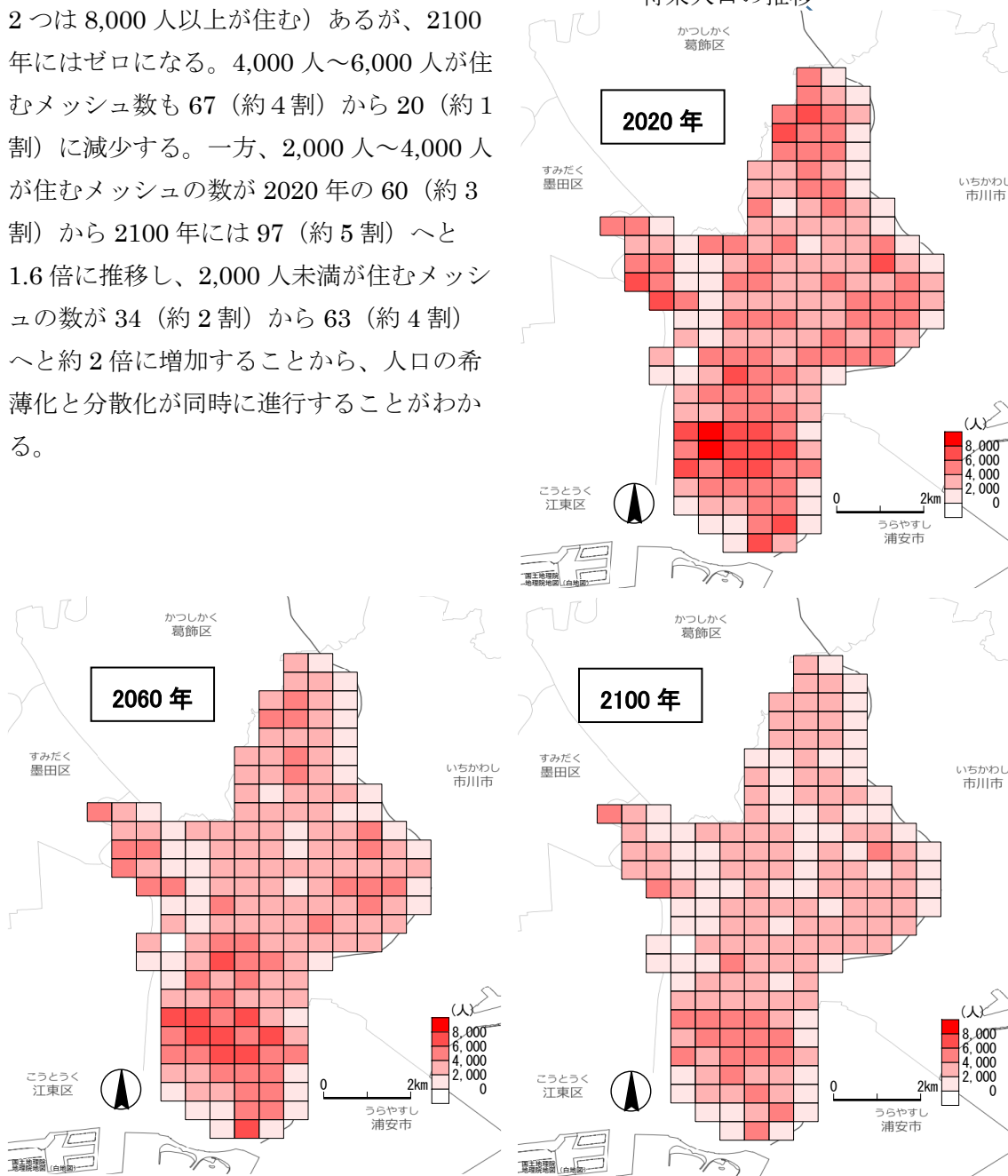
3) 地理的観点からの推移

①500メートル・メッシュ¹¹単位の推移

新中川周辺及び区の北部から中心部にかけて人口の減少が進む結果、従前の開発により人口集積が進んだ南部に人口の重心が移る。他方、2100年には、メッシュ数の変化にみえるように、北部や中央部などで人口密度が極度に低い地域が現れる。

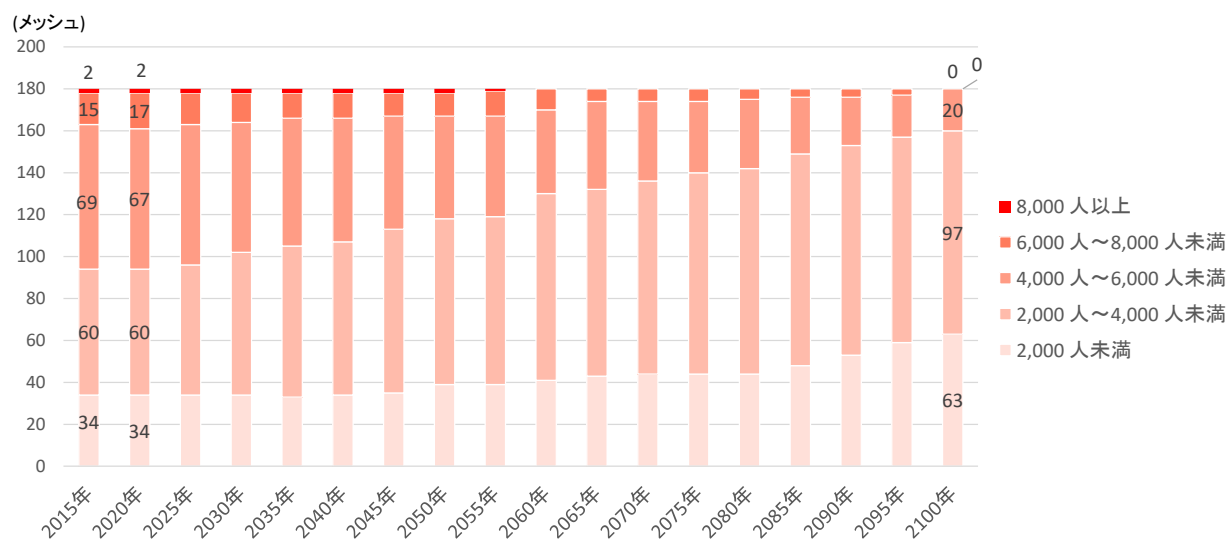
メッシュ単位の推計については、2020年に6,000人以上が住むメッシュの数は19（うち2つは8,000人以上が住む）あるが、2100年にはゼロになる。4,000人～6,000人が住むメッシュ数も67（約4割）から20（約1割）に減少する。一方、2,000人～4,000人が住むメッシュの数が2020年の60（約3割）から2100年には97（約5割）へと1.6倍に推移し、2,000人未満が住むメッシュの数が34（約2割）から63（約4割）へと約2倍に増加することから、人口の希薄化と分散化が同時に進行することがわかる。

図表 500メートル・メッシュによる将来人口の推移



¹¹ 以下の各種メッシュ図は、国土交通省「国土数値情報 500m メッシュ別将来推計人口（H30 国政局推計）」に今回の推計結果を反映させて作成した。

図表 人口規模別・500メートルメッシュ数の変化



注) メッシュ数 180

②町丁目単位の推移

ア) 人口の増減数

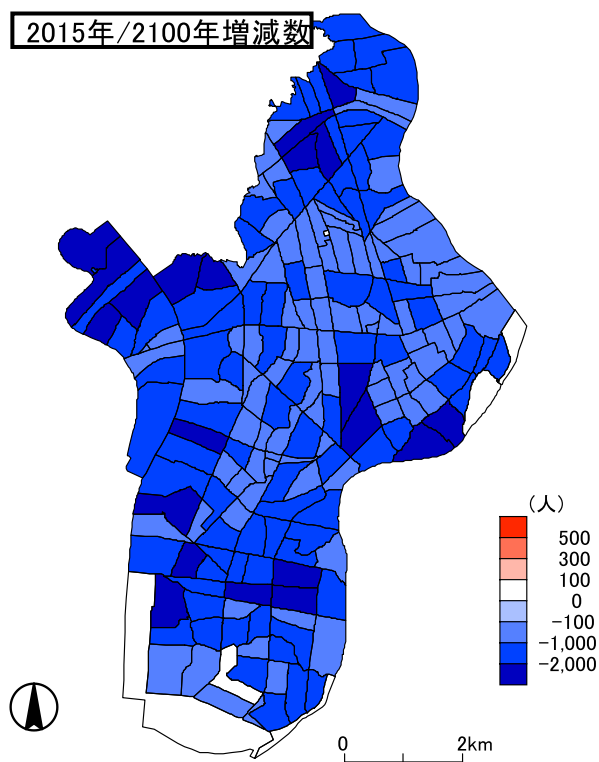
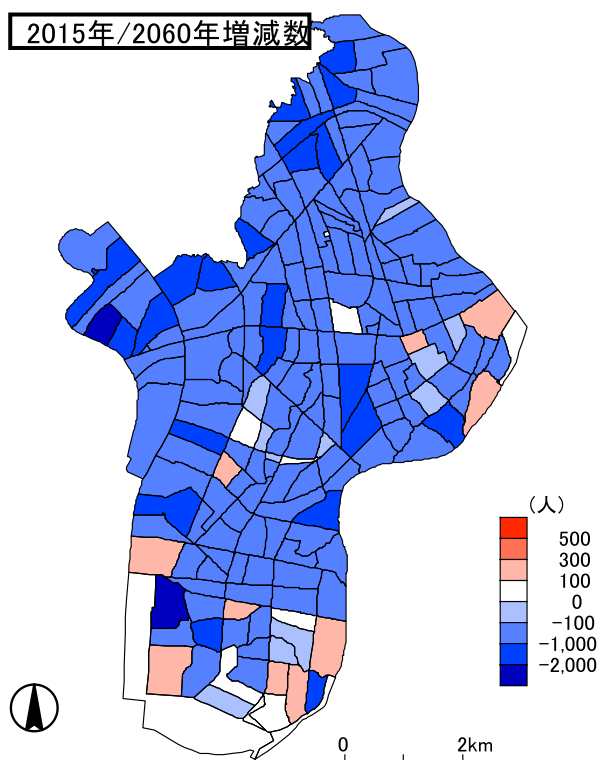
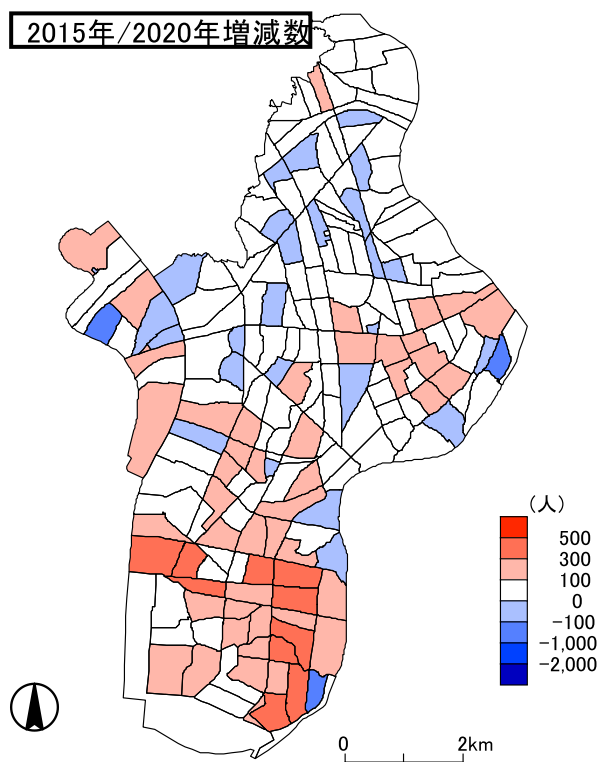
2015 年比で各町丁目単位の人口増減数を比較すると 2020 年は増減する地区が散見され、南部が増加傾向にあるのに対し、北部・中部では減少する地区がみられる。

2060 年になると、一部で増加する地区はあるものの、ほとんどが減少となる。

2015 年比で 1,000 人以上、さらに、2,000 人以上減少する地区も現れる。

2100 年には、増加する地区はなくなり、2015 年比で 1,000 人以上減少する地区が過半数を占める。

図表 対 2015 年比の町丁目別 人口増減数



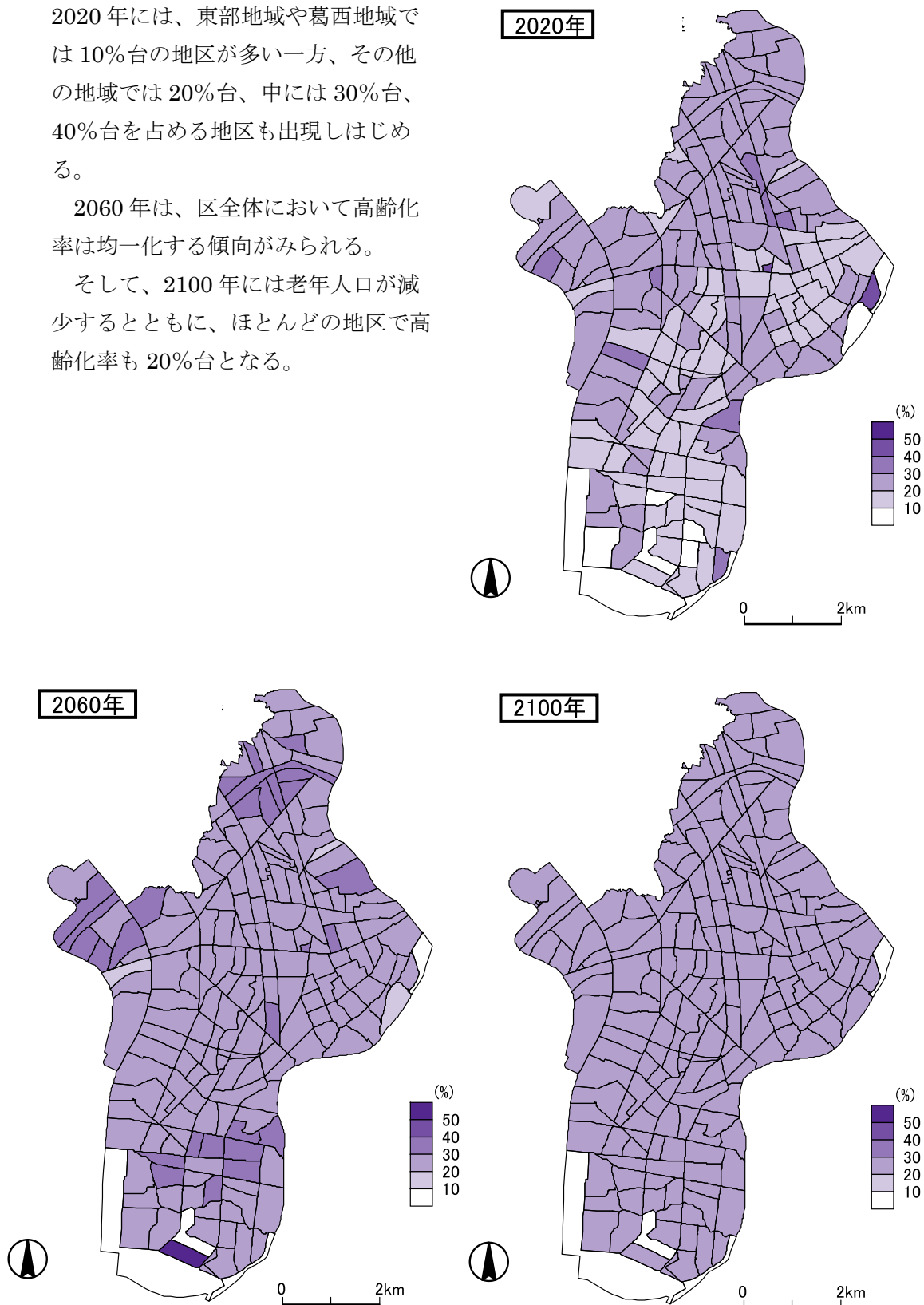
イ) 老年人口比率の推移（高齢化率）

人口に占める老年人口（65歳以上人口）の比率を町丁目単位でみると、2020年には、東部地域や葛西地域では10%台の地区が多い一方、その他の地域では20%台、中には30%台、40%台を占める地区も出現しはじめる。

2060年は、区全体において高齢化率は均一化する傾向がみられる。

そして、2100年には老年人口が減少するとともに、ほとんどの地区で高齢化率も20%台となる。

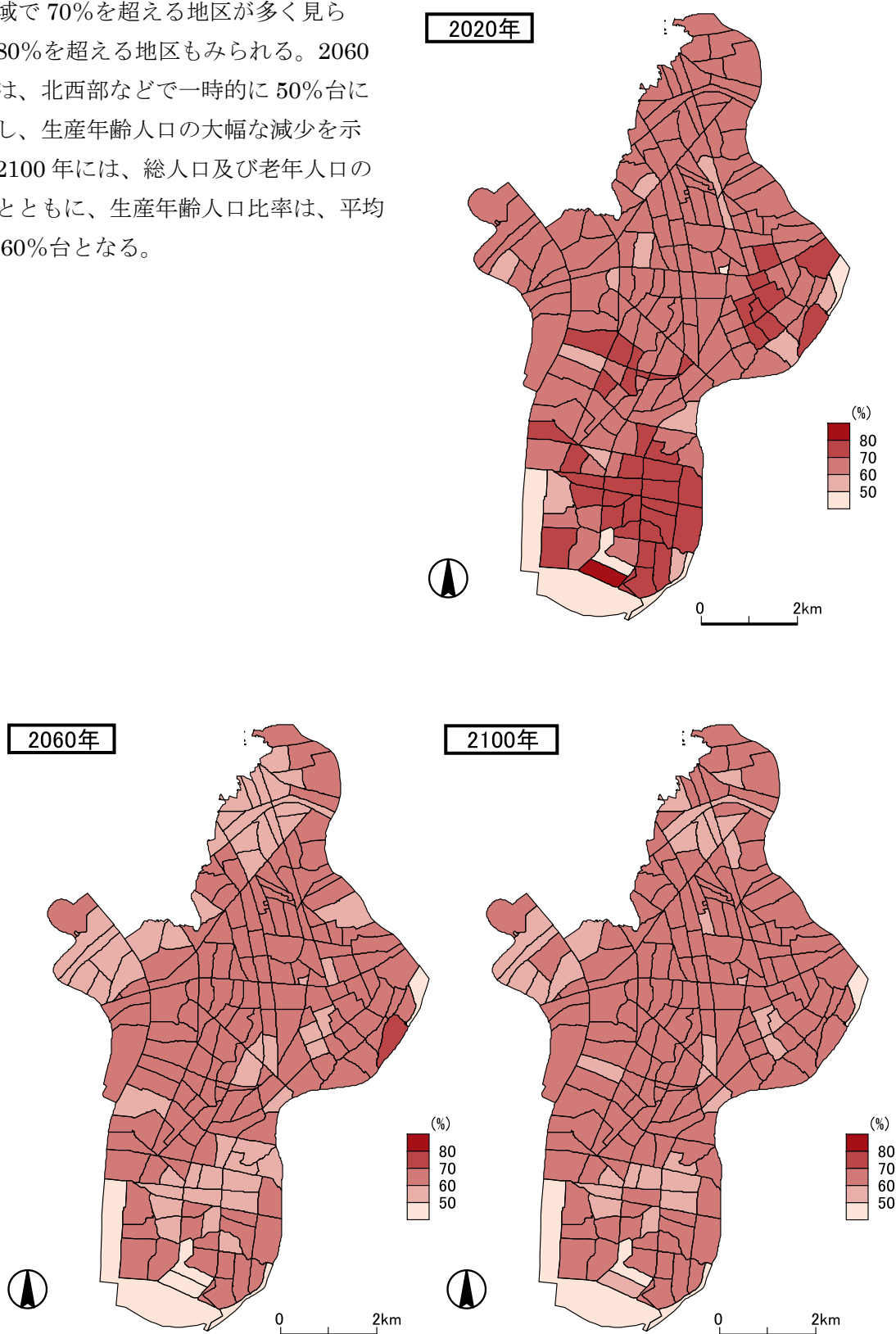
図表 老年人口比率



ウ) 生産年齢人口比率の推移

生産年齢人口（15～64歳人口）の占める比率をみると、2020年は東部地域と葛西地域で70%を超える地区が多く見られ、80%を超える地区もみられる。2060年には、北西部などで一時的に50%台に低下し、生産年齢人口の大幅な減少を示す。2100年には、総人口及び老年人口の減少とともに、生産年齢人口比率は、平均して60%台となる。

図表 生産年齢人口比率



エ) 年少人口比率の推移

年少人口（0～14歳人口）の占める比率をみると、2020年には15%以上を占める地区も散見されるものの、2060年以降は区全体で10～15%台となり、均一化する。

図表 年少人口比率

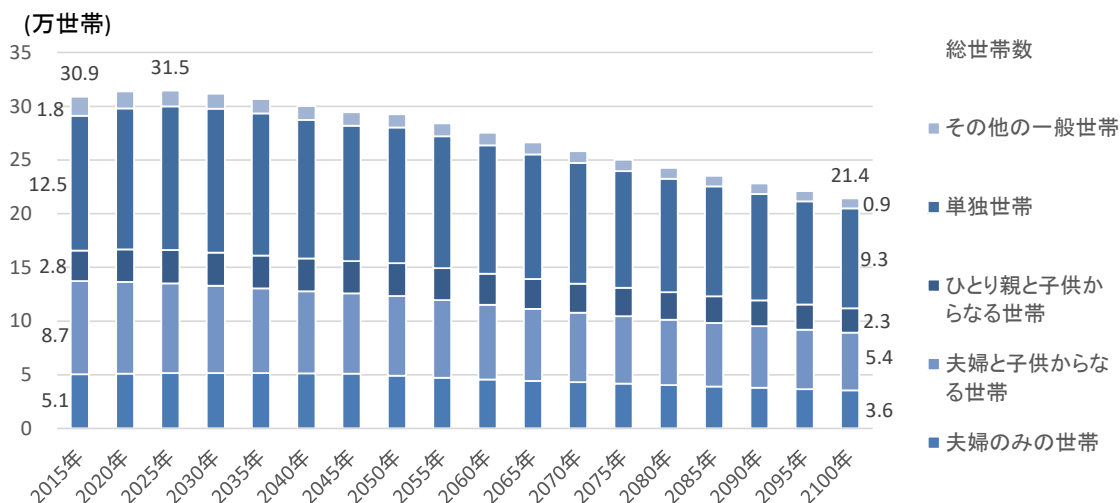


4) 世帯推計

将来人口推計の結果を用いて江戸川区の一般世帯に関する将来世帯数の推計を行った¹²。その結果、人口増加に合わせて、**2025 年**にかけて世帯数は増加した後、減少に転じる。**2015 年**時の約 30.9 万世帯から、**2100 年**には約 21.4 万世帯へと、約 9.5 万世帯（30.7%）の減少となる。世帯類型の構成は大きく変化しないが、単独世帯の構成比が 2015 年の 40.6%から 2100 年の 43.5%へと増加する。

単独世帯については、**2025 年**にピークを迎えた後、減少傾向に転じるが、うち 65 歳以上の高齢者世帯の数は **2045 年**にかけて約 4.6 万世帯まで増加する。この間、65 歳以上の高齢者世帯の、一般世帯全体に占める割合は 15.6%まで高まり、その後は 16%前後で推移することが見込まれる。

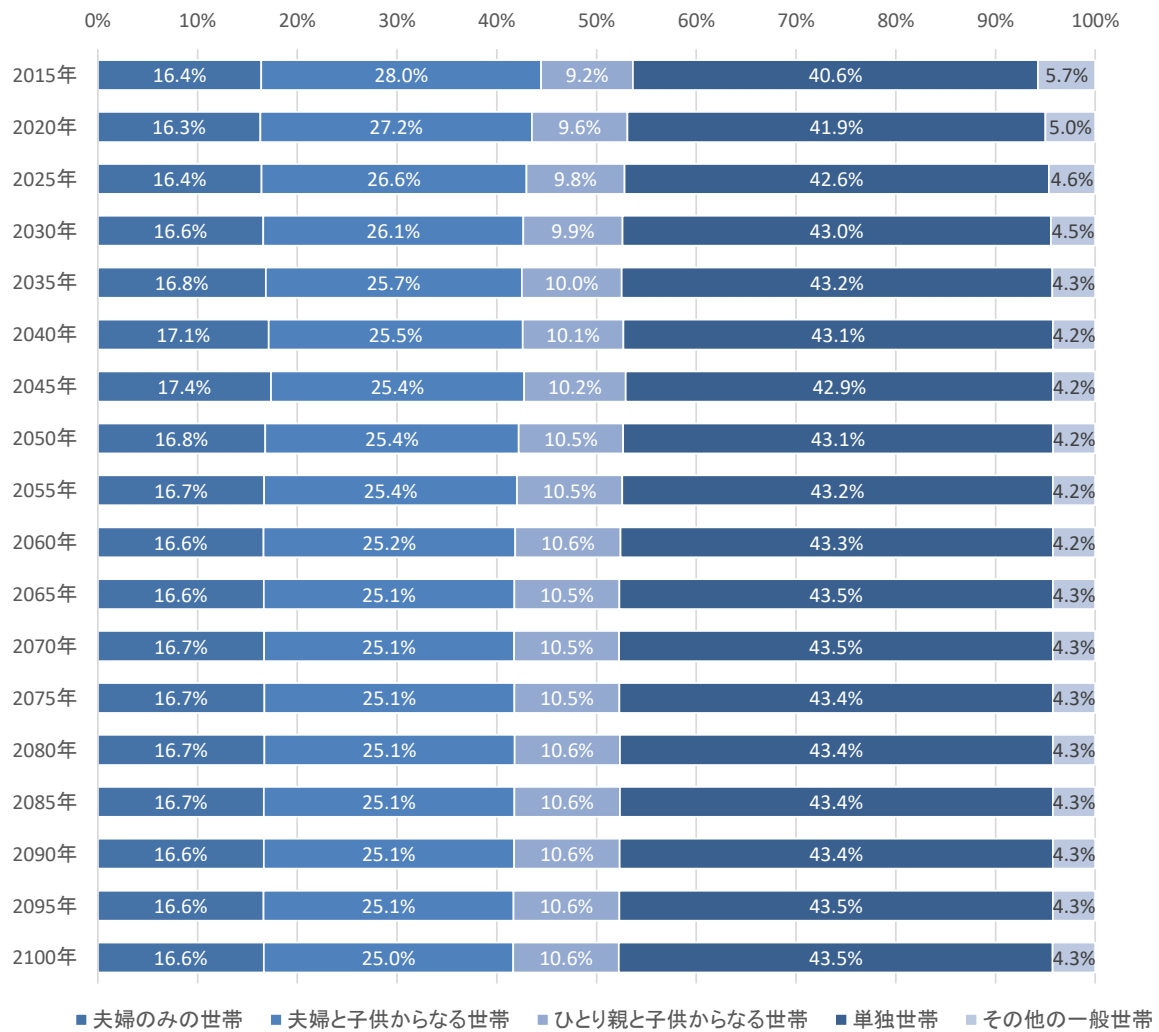
図表 江戸川区の一般世帯に関する将来世帯数の推移



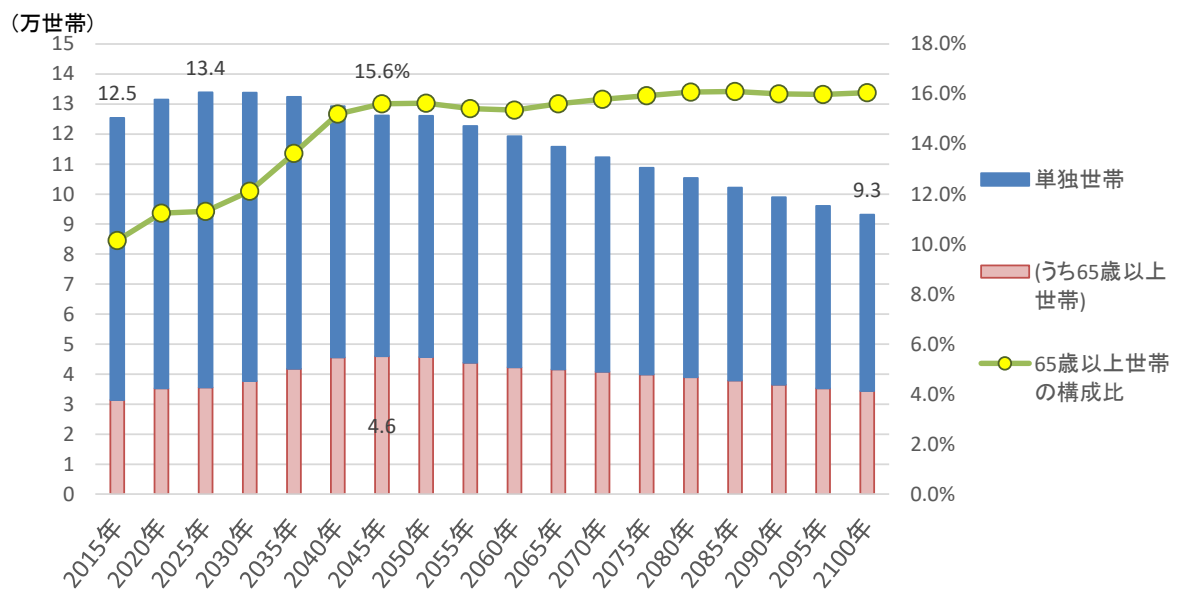
¹² 世帯主率法（世帯主数を推計することにより世帯数を導出する手法）による。社人研『日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）』（2019年推計）における世帯主の男女・年齢5歳階級別・家族類型別世帯主率を江戸川区世帯の推計用に設定した。

なお、推計期間は2020年から2100年までとし、2040年以降の世帯主構成が大きく変化する可能性が現時点で想定し難いことから、世帯主率は変化しないと仮定する。世帯数の基準時点は2015年とし、国勢調査の実績値を用いている。

図表 江戸川区の将来の世帯構成比推移



図表 江戸川区の単独世帯及び 65 歳以上単独世帯構成比の推移



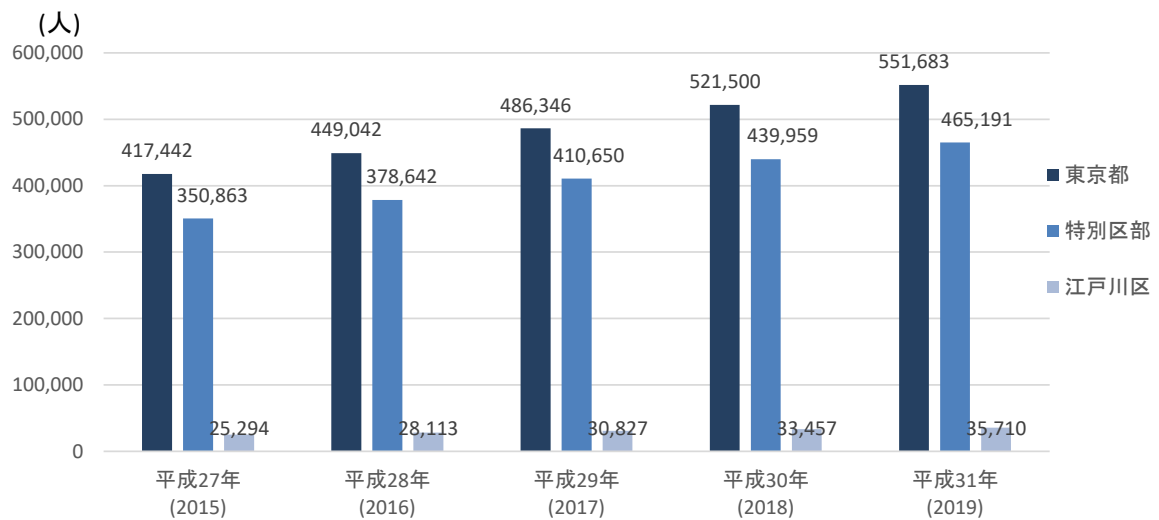
5) 外国人推計

①現況

2015 年の住民基本台帳における江戸川区の外国人人口は約 2.5 万人で、江戸川区人口の 3.7%を占める。近年における外国人人口は、江戸川区だけでなく、特別区部を中心に東京都全体で増加している。

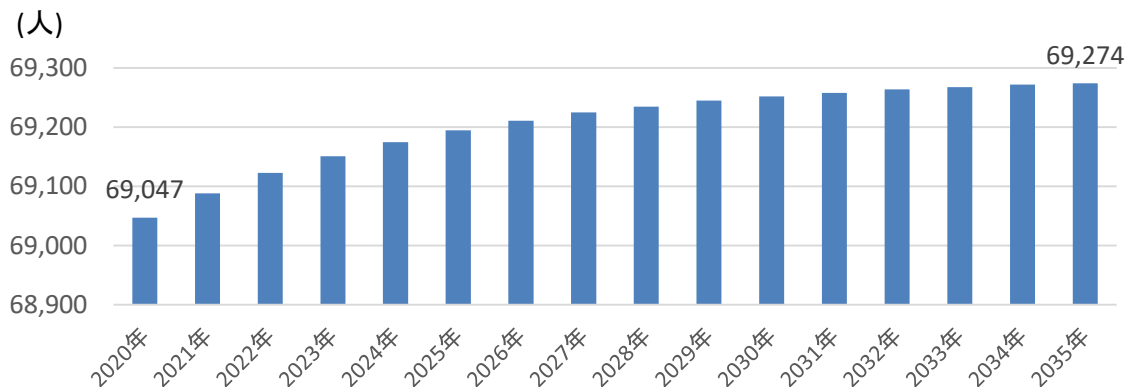
また、今後のわが国の外国人人口について、外国人入国超過の動向を推計している社人研の推計によれば（下記「わが国の外国人入国超過数の見通し」図表参照）、2020 年から 2035 年にかけて、年間約 6.9 万人の外国人が増加する推計となっている。

図表 近年の外国人人口の推移



資料) 東京都「外国人人口」

図表 わが国の外国人入国超過数の見通し



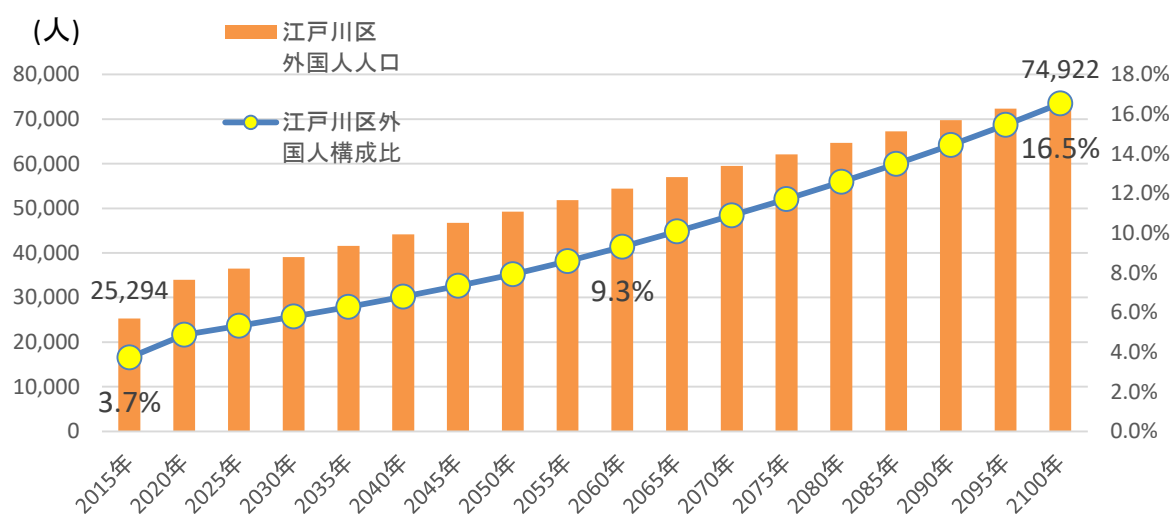
資料) 社人研「日本の将来推計人口(平成29年推計)詳細結果表」より作成

②推計結果

わが国の外国人入国超過数の実績値動向¹³と、江戸川区の外国人増加数¹⁴の間に相関があることが確認できたため¹⁵、わが国への外国人入国超過数の推計結果（社人研推計）から、江戸川区の外国人人口増加数を推計した¹⁶。

推計の結果、江戸川区の外国人人口は、2100年に約7.5万人まで増加する。また、江戸川区の総人口は2025年を過ぎると減少し始めるため、外国人構成比は加速度的に上昇を続け、2100年に16.5%まで高まる。

図表 江戸川区外国人の将来人口推計



注) 2015年の江戸川区外国人人口は住民基本台帳人口の実績値(1月1日時点)

¹³ 法務省「出入国管理統計」の外国人による出国と入国の差分を社人研が整理したもの。

¹⁴ 住民基本台帳上の外国人増減数。

¹⁵ わが国の外国人入国超過数と江戸川区の外国人住民増加数の間には強い相関があるとの仮説の下、両者の回帰分析を行い、江戸川区における外国人人口の増加数を推計した。

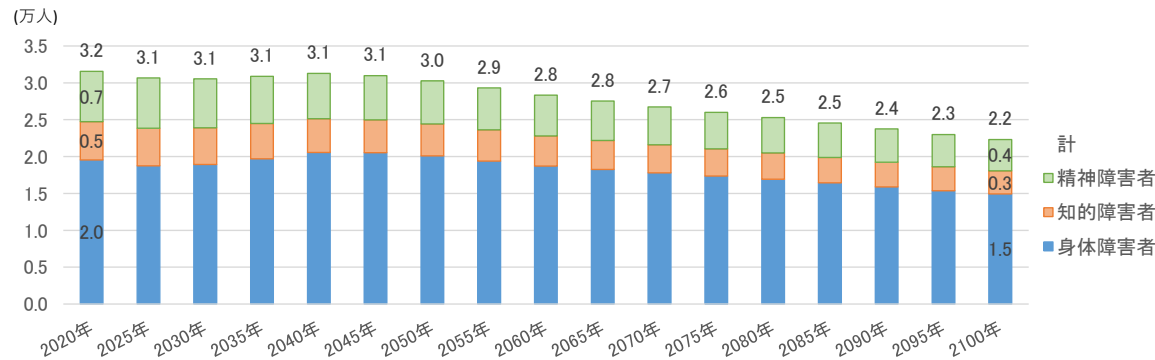
¹⁶ 社人研の外国人入国超過数に係る推計値は2035年までであり、現時点で以降の増加数を算出する制度影響が把握できない等のことから、2035年以降、増加数を一定とする。

6) 障害者推計¹⁷

現在の障害者手帳所持者数の総人口に占める割合が今後も一定で推移すると仮定して障害者数の将来推計を行った。結果、障害者数は2025年から2040年に31,277人まで増加した後、減少に転じると見込まれる。

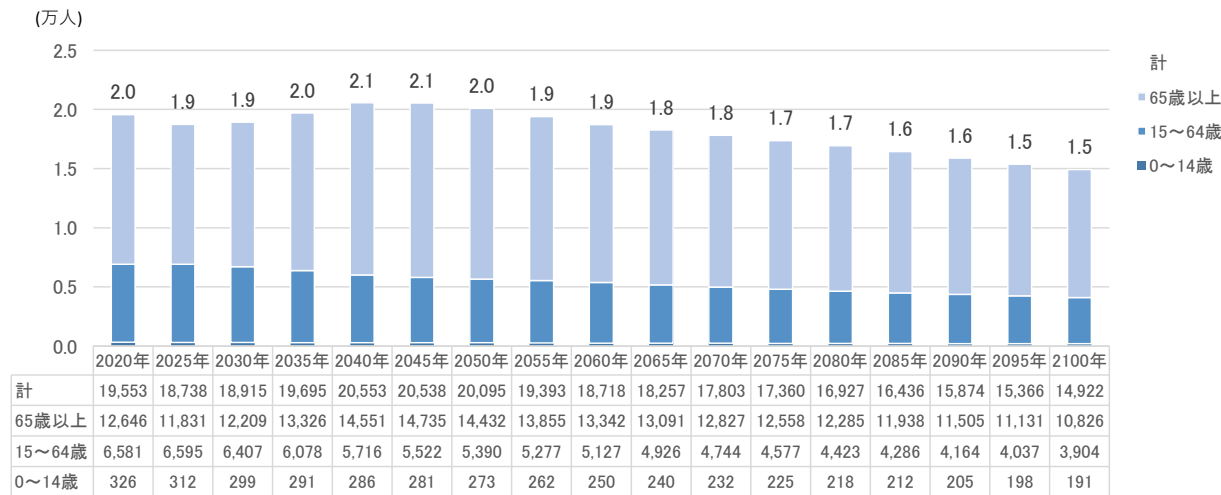
うち、身体障害者は高齢者の増加とともに増えた後、2040年以降に減少へと転じる。他方、知的障害者数は2020年の約0.5万人から2100年の約0.3万人へ、同じく精神障害者数は約0.7万人から約0.4万人へと、総人口とともに減少が見込まれる。

図表 江戸川区の障害者数の将来推計



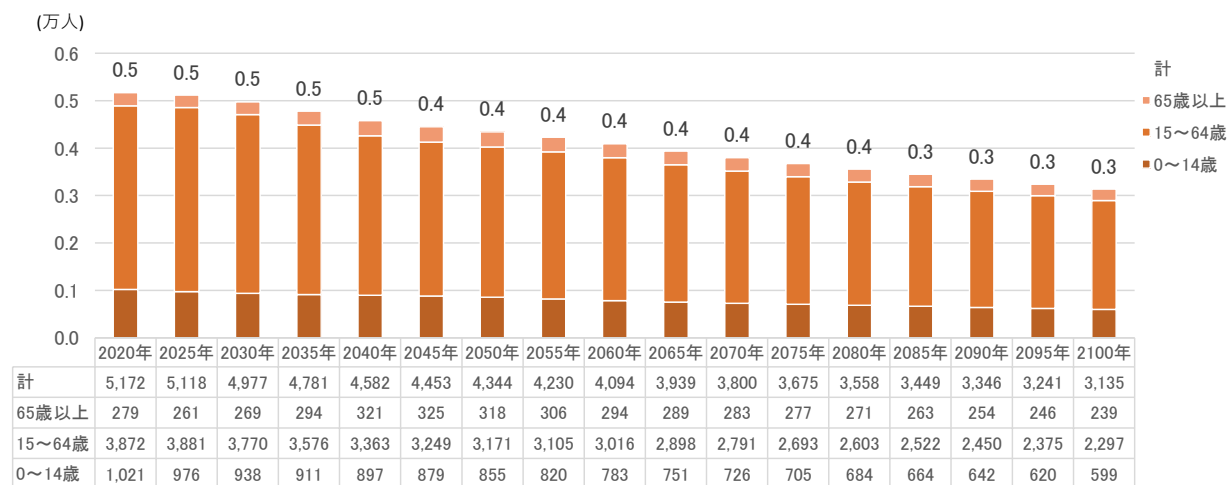
注) 身体障害者、知的障害者の2020年の数は3月1日現在の実績値(江戸川区資料より。以下、同じ)。

図表 江戸川区の年齢3区分別・身体障害者の将来推計

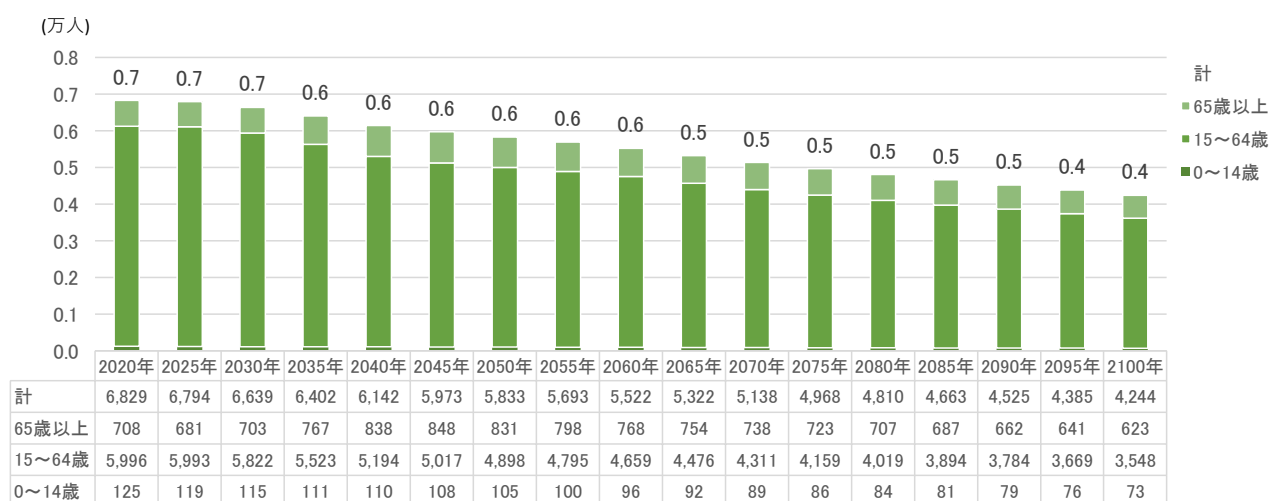


¹⁷ 第1部人口動態編 II.「6 障害者分析」と同様に、本推計は、身体障害者手帳、愛の手帳(知的障害者)及び精神障害者保健福祉手帳の所持者数を推計する。

図表 江戸川区の年齢3区分別・知的障害者の将来推計



図表 江戸川区の年齢3区分別・精神障害者の将来推計



(2) 地域別推計

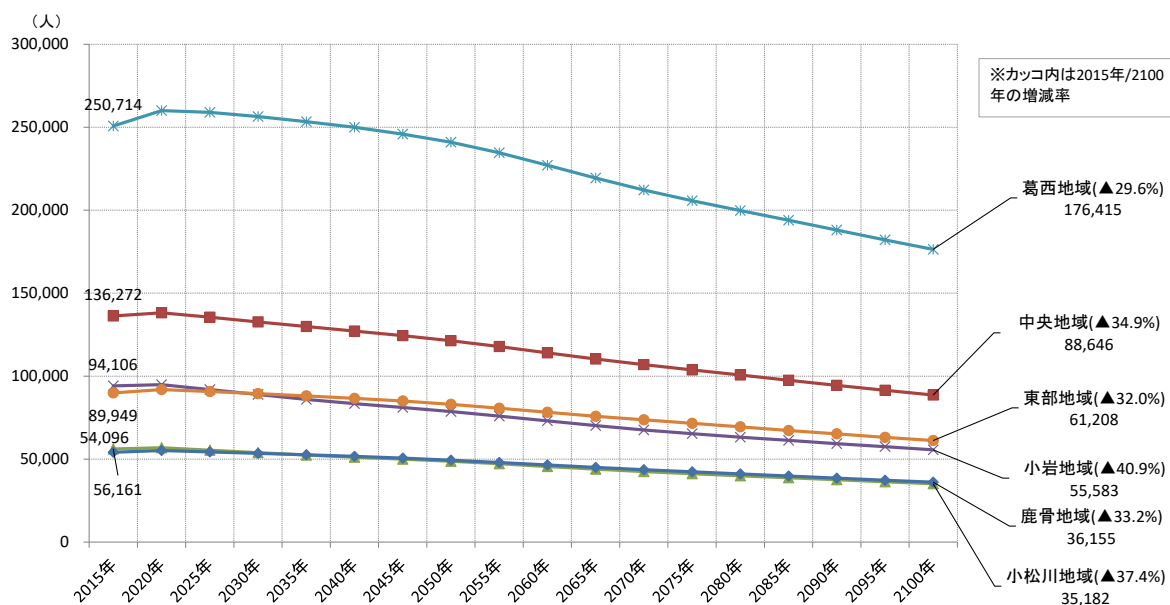
1) 地域間比較

区内各地域について将来人口の推移をみると、最も減少数が大きいのは葛西地域である。これは全人口に占める割合が大きいためであり、2015年の約25.1万人から2100年の約17.6万人へと、約7.5万人、約3割の人口が減少する。

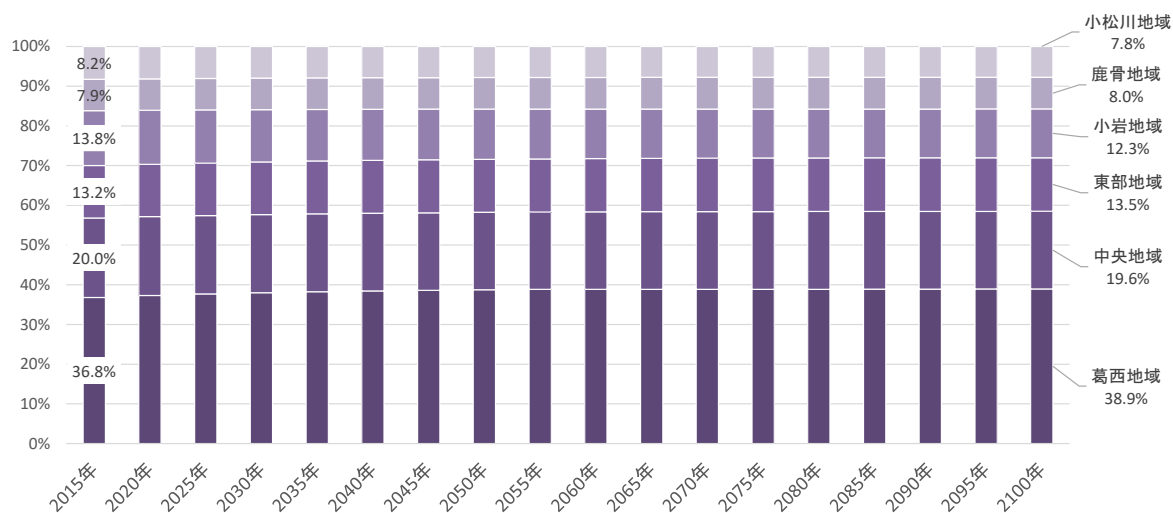
一方において、減少率でみると葛西地域は最も小さい。減少率は、葛西地域を除いて他の地域では3割を超えて減少し、減少率が最も高い地域は小岩地域である。2015年の約9.4万人から2100年の約5.6万人へと、約3.8万人、約4割の人口が減少する。

なお、推計期間を通じて、江戸川区総人口に占める各地域の人口割合に大きな変化は見られない。

図表 区内各地域の将来人口推移



図表 区内各地域の江戸川区総人口に占める構成比

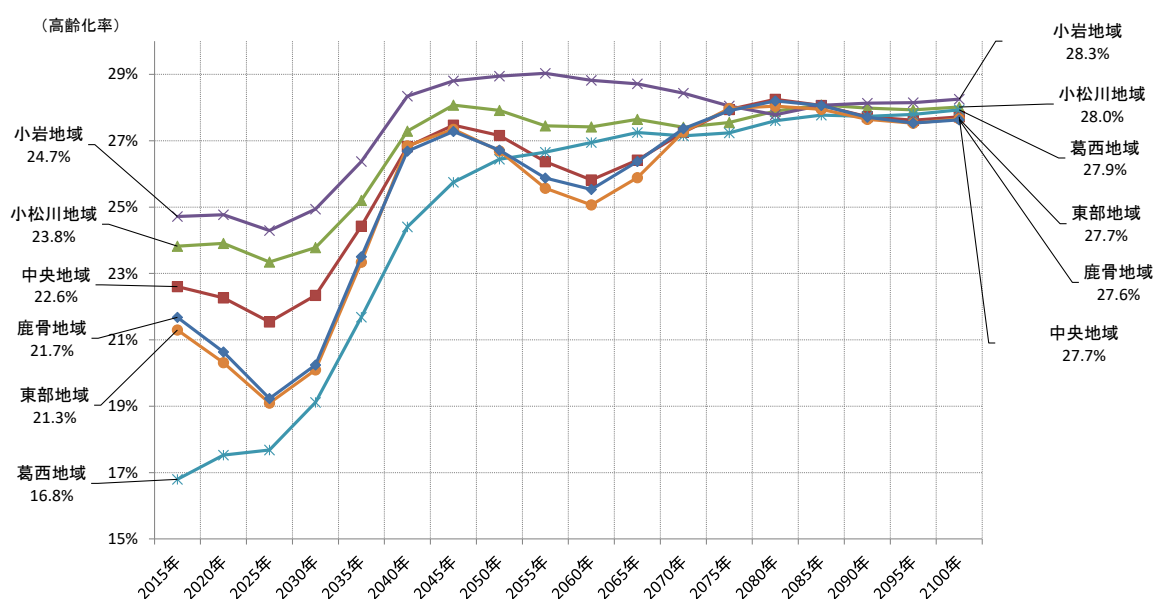


年齢構成の推移をみると、2015年時点で年齢構成が若く区内では最も高齢化率が低い葛西地域は、2015年の16.8%から2100年の27.9%へと、高齢化率が11.1ポイント高まる。

この間、団塊ジュニア世代の高齢化により死亡者数が増えるため、老年人口が減少し、区内各地域で一時的に高齢化率が25%前後まで下がるものの、全人口の減少にともない、その後は再び高齢化率が高まる。

現時点では区内各地域の高齢化率に偏在があるものの、高齢化率が低かった地域が2045年前後で高まるため、この時期、地域別の差が縮まる。2100年にはほとんど地域間の差はなくなり、年齢3区分別構成比にみる地域間の顕著な違いもみられなくなる。

図表 区内各地域の高齢化率の推移



2) 地域別推移

①中央地域

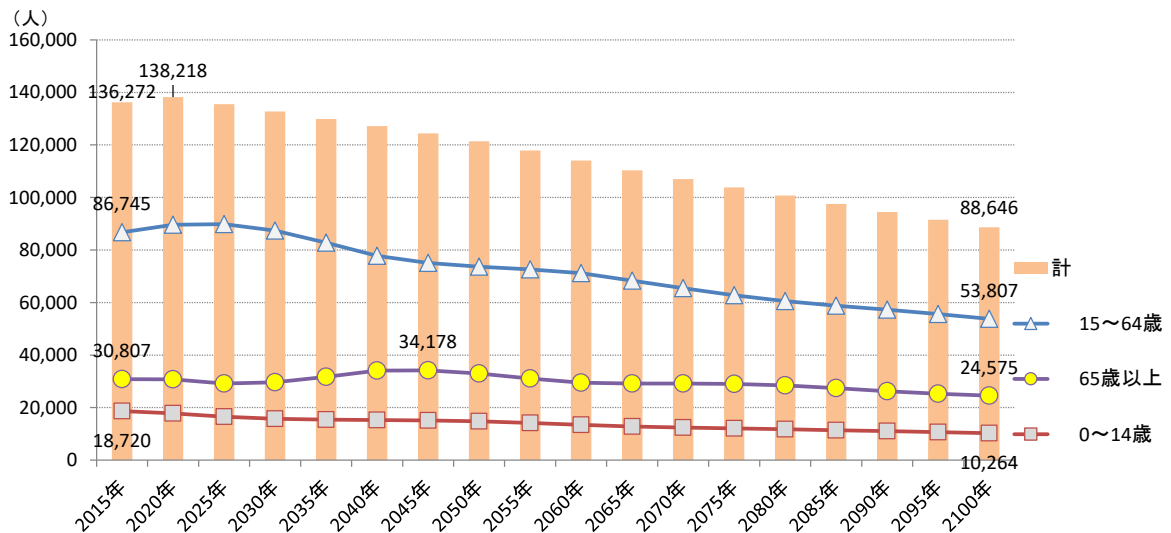
中央地域の人口は、2020年から2025年にかけて約13.8万人へと増加した後、減少に転じ、2100年時の人口は約8.9万人と、2015年時と比べ約4.8万人（34.9%）減少する。

年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳人口）は一貫して減少し、2015年時の約1.9万人から、2100年には約1万人と、ほぼ半減する。

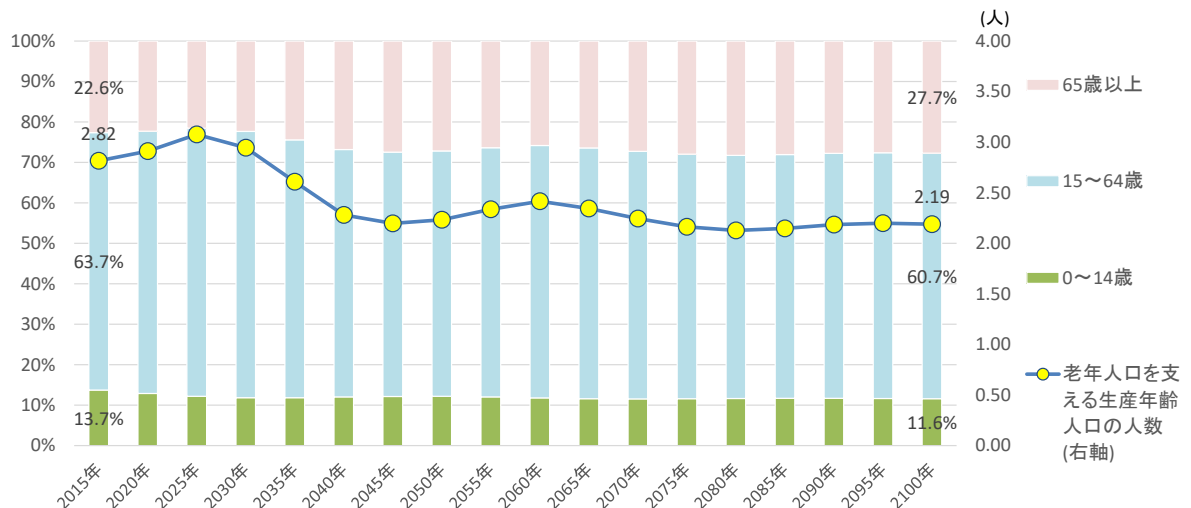
生産年齢人口（15～64歳人口）は2025年前後に約9万人へと増加した後、減少に転じ、2100年には約5.4万人となり、2015年に比べて約3.3万人減少する。

老年人口（65歳以上人口）は2015年時の約3.1万人から2045年に約3.4万人へと増加した後、減少に転じる。高齢化率は2015年時の22.6%から2100年には27.7%に上昇する。後期高齢者人口（75歳以上人口）は2050年前後に約1.9万人でピークを迎える。

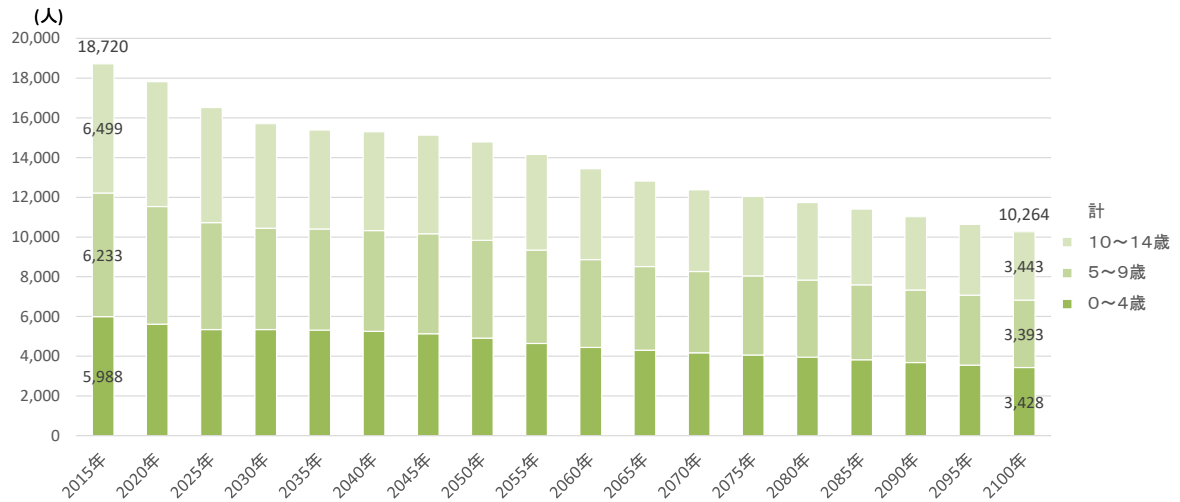
図表 中央地域の将来人口推移



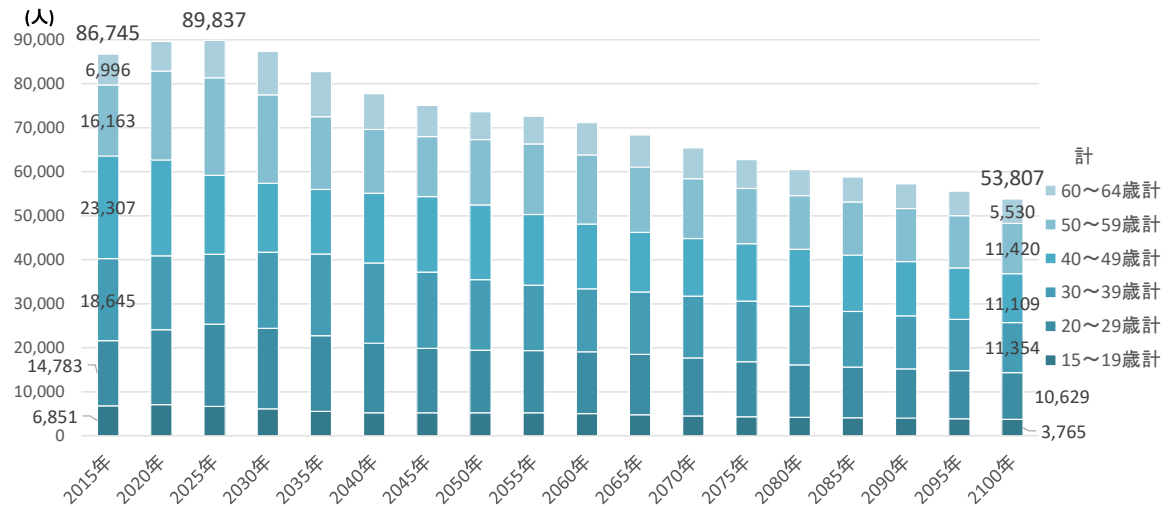
図表 中央地域の年齢構成比の推移



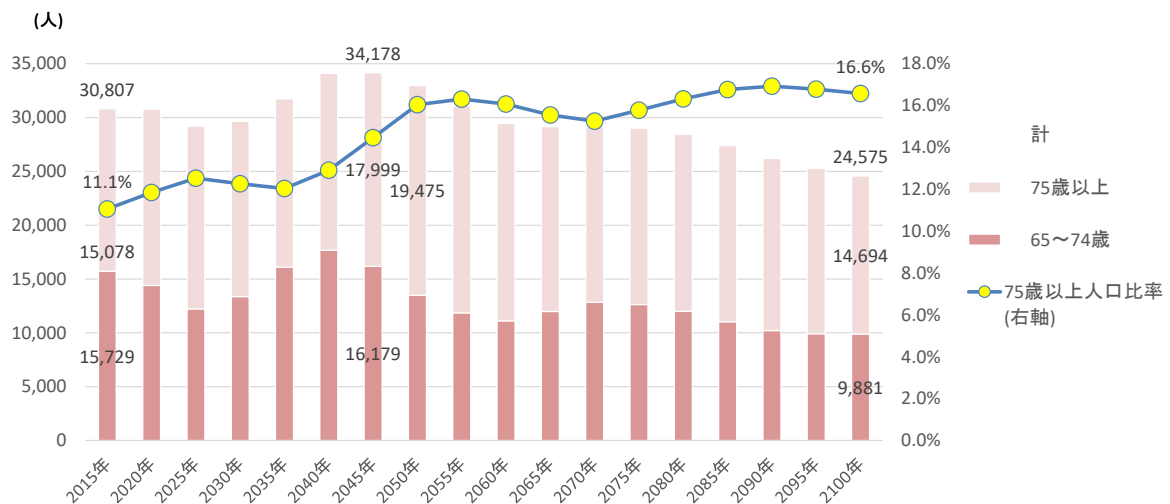
図表 中央地域の年少人口の推移



図表 中央地域の生産年齢人口の推移



図表 中央地域の老年人口の推移



②小松川地域

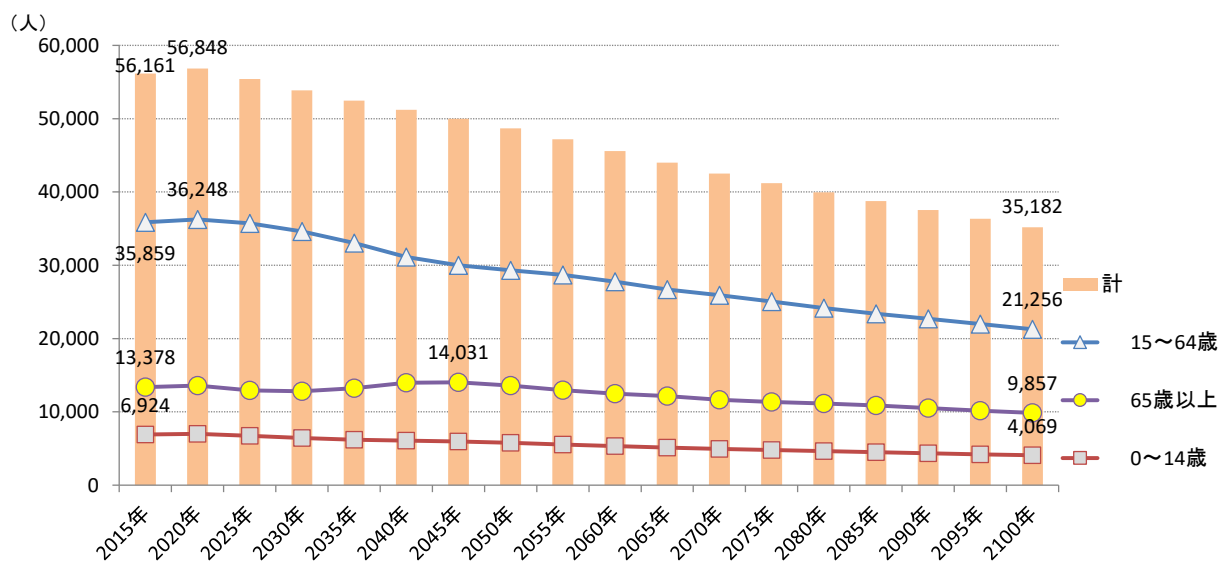
小松川地域の人口は、2020年から2025年にかけて約5.7万人へと増加した後、減少に転じ、2100年時の人口は約3.5万人と、2015年時と比べ約2.1万人、37.4%減少する。

年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳人口）は一貫して減少し、2015年時の約7千人から、2100年には約4千人へと、約3千人減少する。

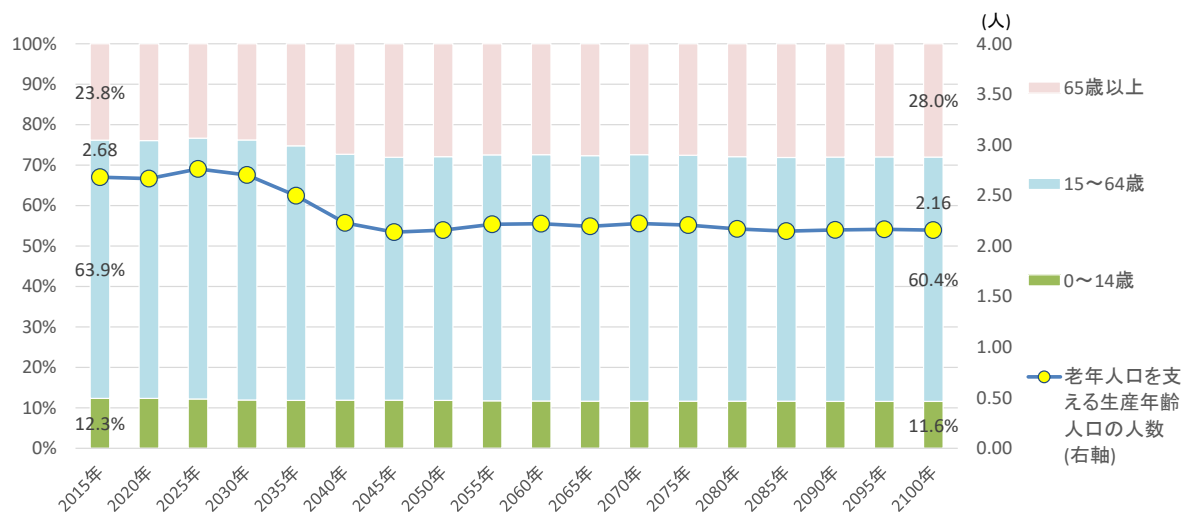
生産年齢人口（15～64歳人口）は2020年にかけて約3.6万人へと増加した後、減少に転じ、2100年には約2.1万人へと減少する。

老年人口（65歳以上人口）は2015年時の約1.3万人から2045年に約1.4万人へと増加した後、減少に転じる。高齢化率は2015年時の23.8%から2100年には28.0%に上昇する。うち、後期高齢者人口（75歳以上人口）は2050年代に約8千人でピークを迎える。

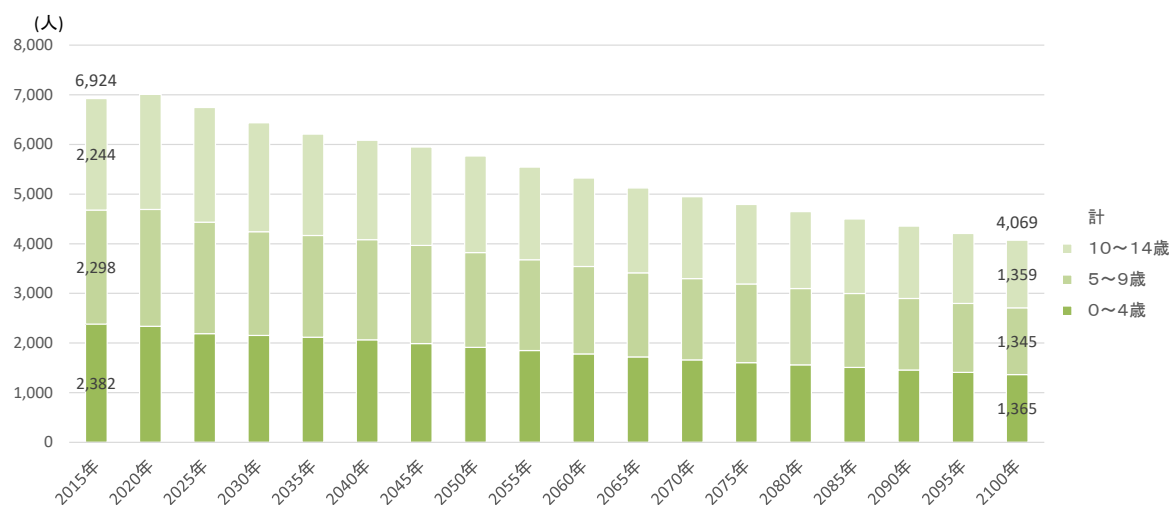
図表 小松川地域の将来人口推移



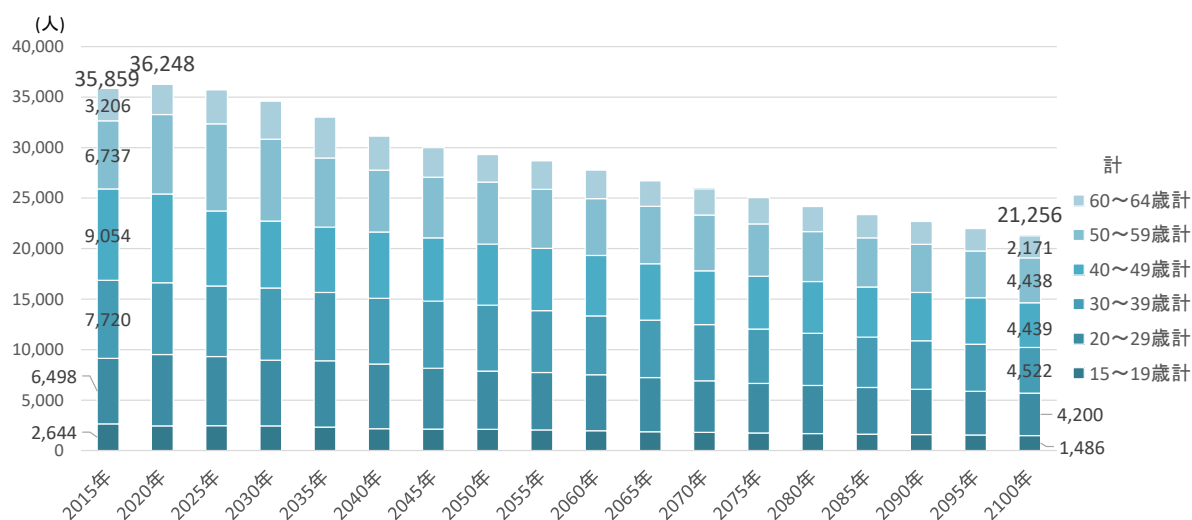
図表 小松川地域の年齢構成比の推移



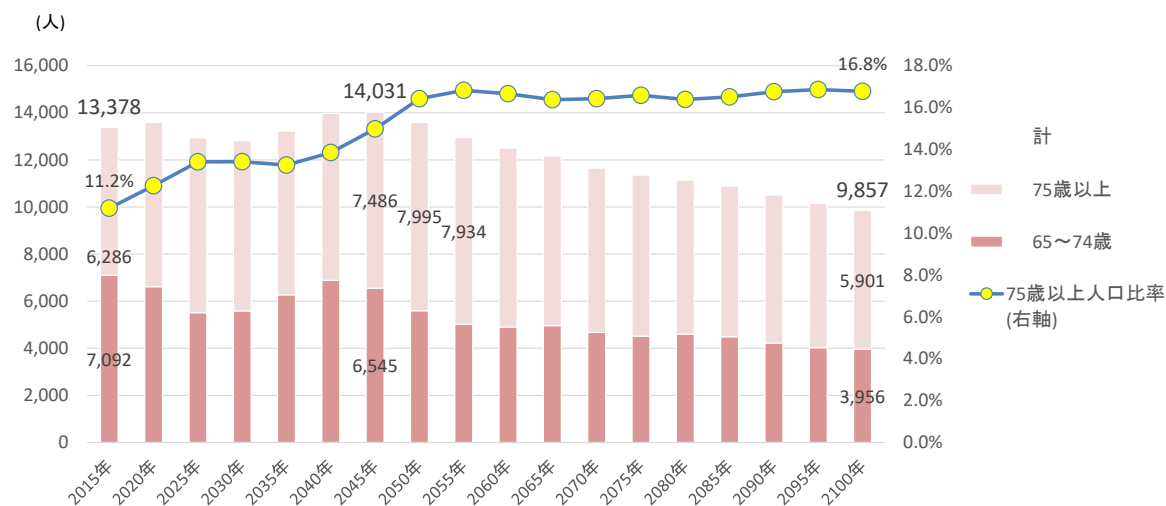
図表 小松川地域の年少人口の推移



図表 小松川地域の生産年齢人口の推移



図表 小松川地域の老年人口の推移



③葛西地域

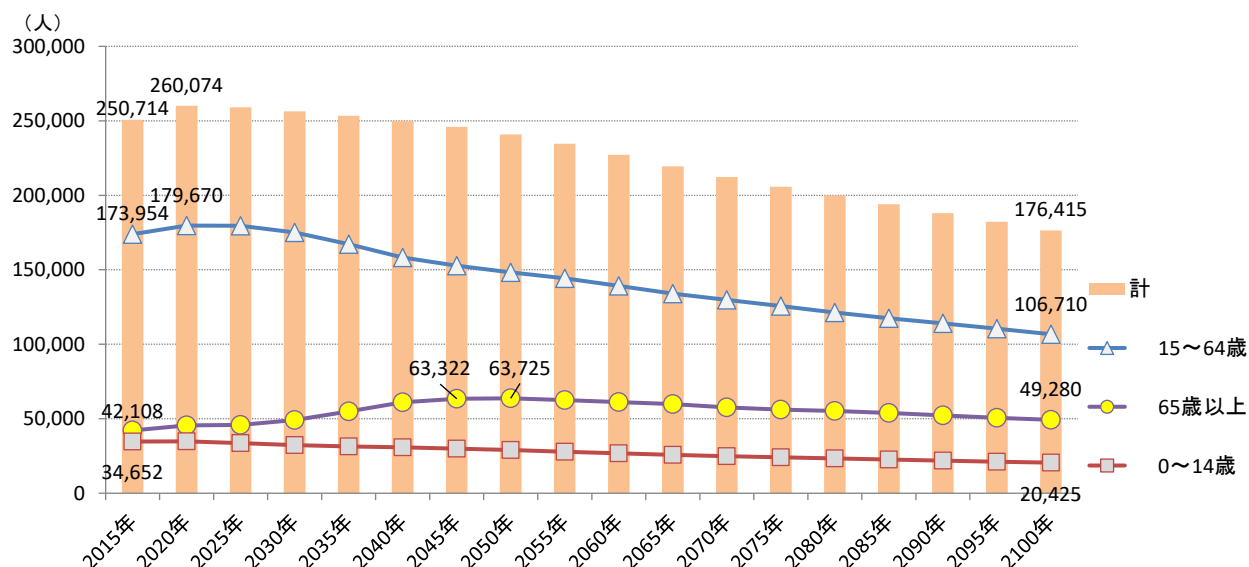
葛西地域の人口は、2020年から2025年にかけて約26万人へと増加した後、減少に転じ、2100年時の人口は約17.6万人と、2015年時と比べ約7.4万人、29.6%減少する。

年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳人口）は一貫して減少し、2015年時の約3.5万人から、2100年には約2万人と、約1.5万人減少する。

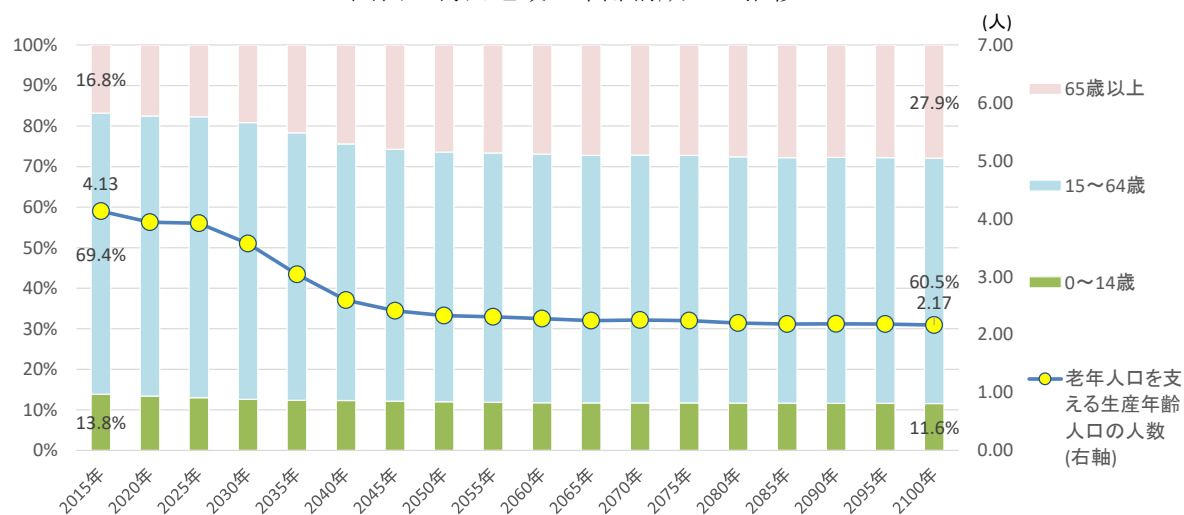
生産年齢人口（15～64歳人口）は2025年前後に約18万人へと増加した後減少に転じ、2100年には約10.7万人まで減少する。

老年人口（65歳以上人口）は2015年時の約4.2万人から2050年前後にかけて約6.4万人へと増加した後、減少に転じる。高齢化率は2015年の16.8%から2100年には27.9%に上昇する。うち、後期高齢者人口（75歳以上人口）は2055年前後に約3.6万人でピークを迎える。

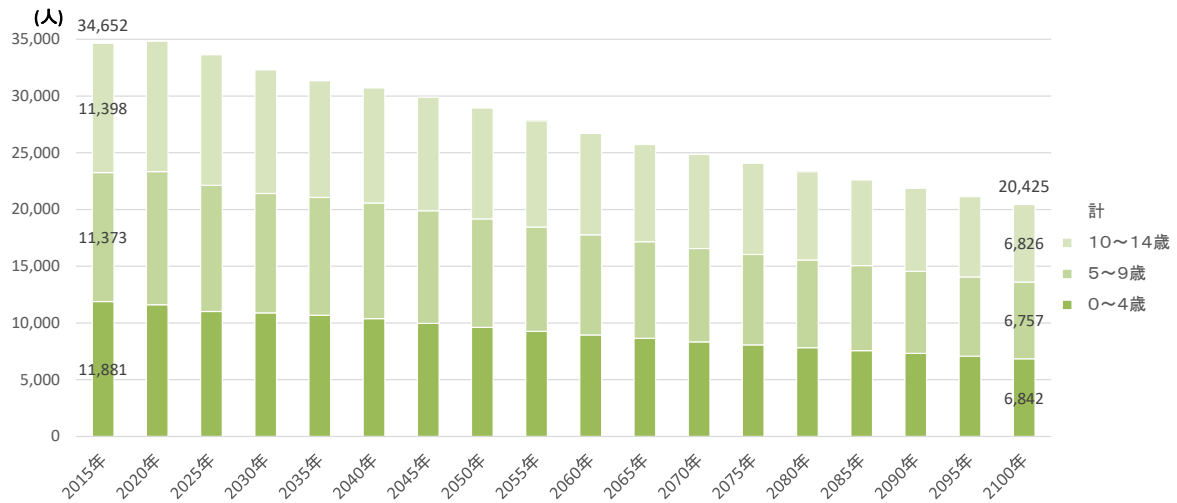
図表 葛西地域の将来人口推移



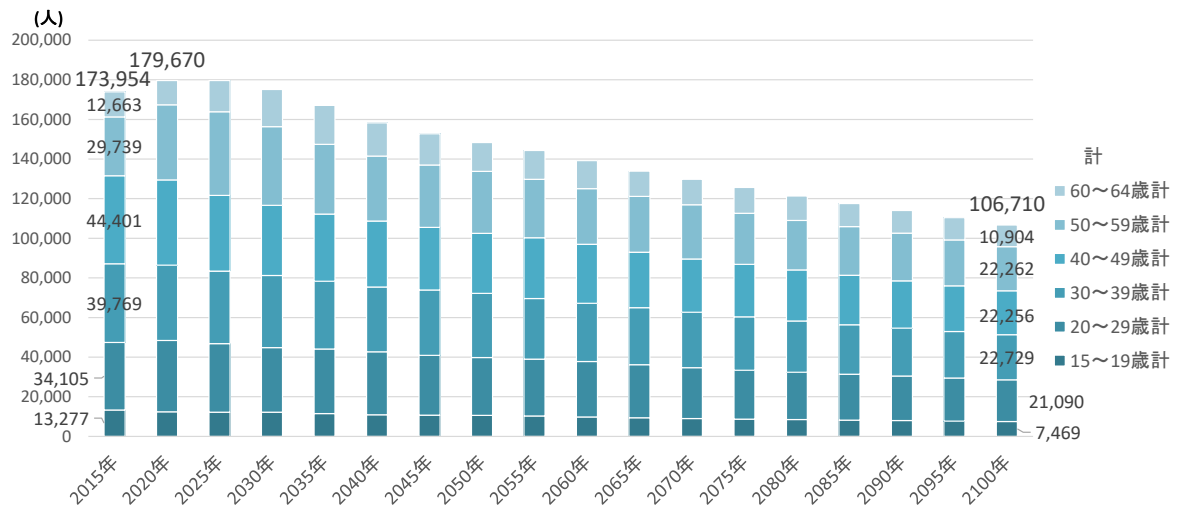
図表 葛西地域の年齢構成比の推移



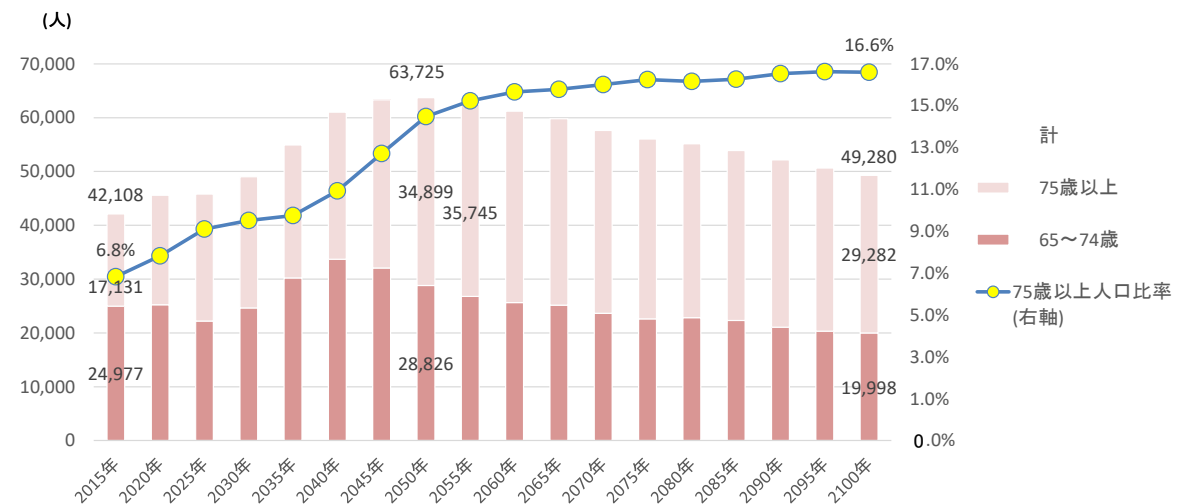
図表 葛西地域の年少人口の推移



図表 葛西地域の生産年齢人口の推移



図表 葛西地域の老年人口の推移



④小岩地域

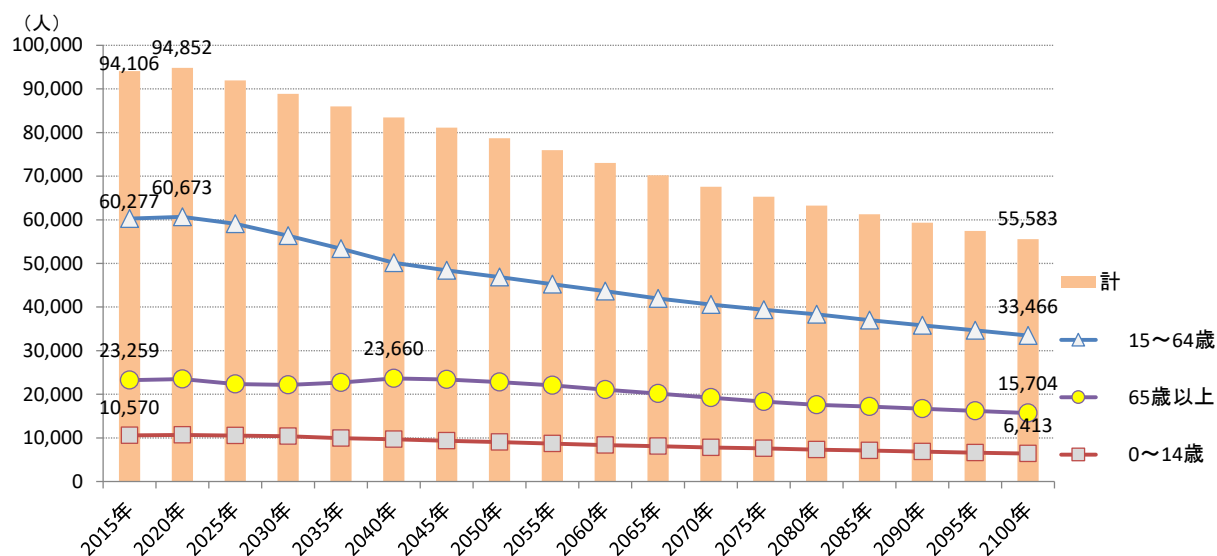
小岩地域の人口は、2020 年前後に約 9.5 万人へと増加した後、減少に転じ、2100 年の人口は約 5.6 万人と、2015 年時と比べ約 3.9 万人、40.9%減少する。

年齢 3 区分別にみると、年少人口（0～14 歳人口）は一貫して減少し、2015 年時の約 1.1 万人から、2100 年時には約 6 千人と、約 5 千人減少する。

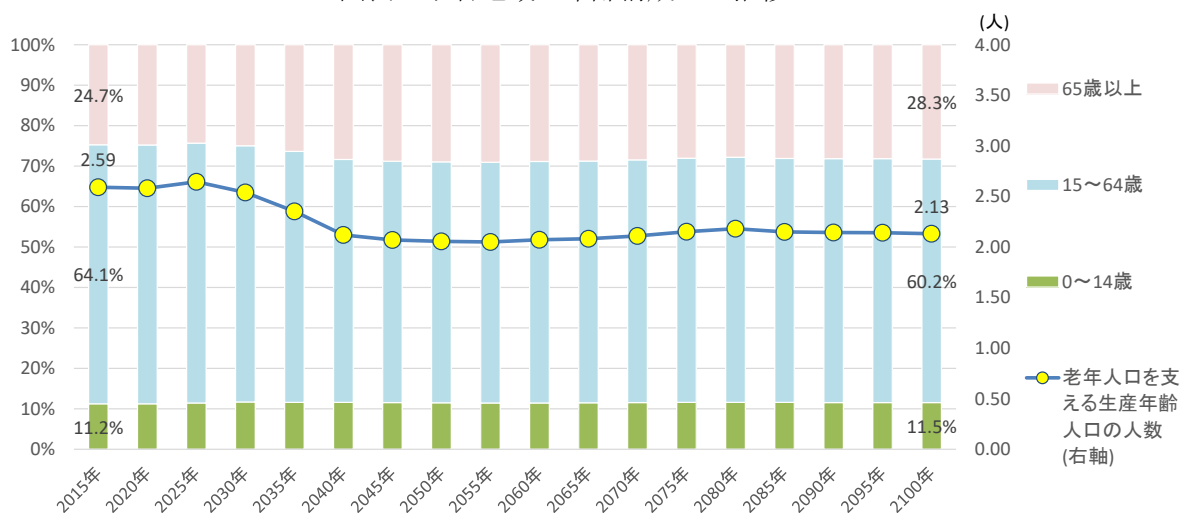
生産年齢人口（15～64 歳人口）は 2020 年前後に約 6.1 万人へと増加した後に減少に転じ、2100 年には約 3.3 万人まで減少する。

老年人口（65 歳以上人口）は 2015 年時の約 2.3 万人から 2040 年前後にかけて約 2.4 万人へとピークに達し、減少基調に転じる。高齢化率は 2015 年の 24.7%から 2100 年には 28.3%に上昇する。うち、後期高齢者（75 歳以上人口）は 2050 年前後に約 1.3 万人でピークを迎える。

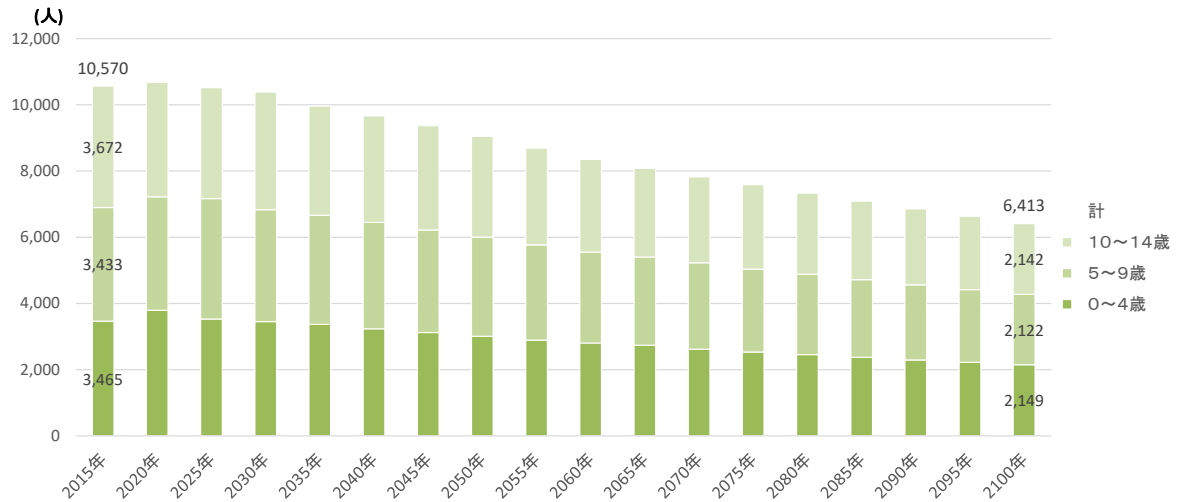
図表 小岩地域の将来人口推移



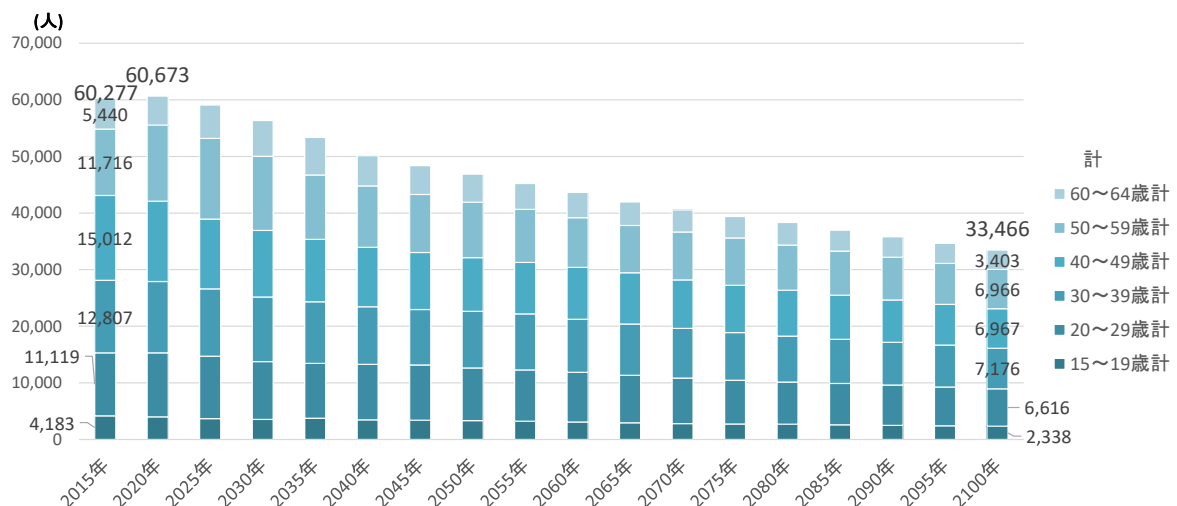
図表 小岩地域の年齢構成比の推移



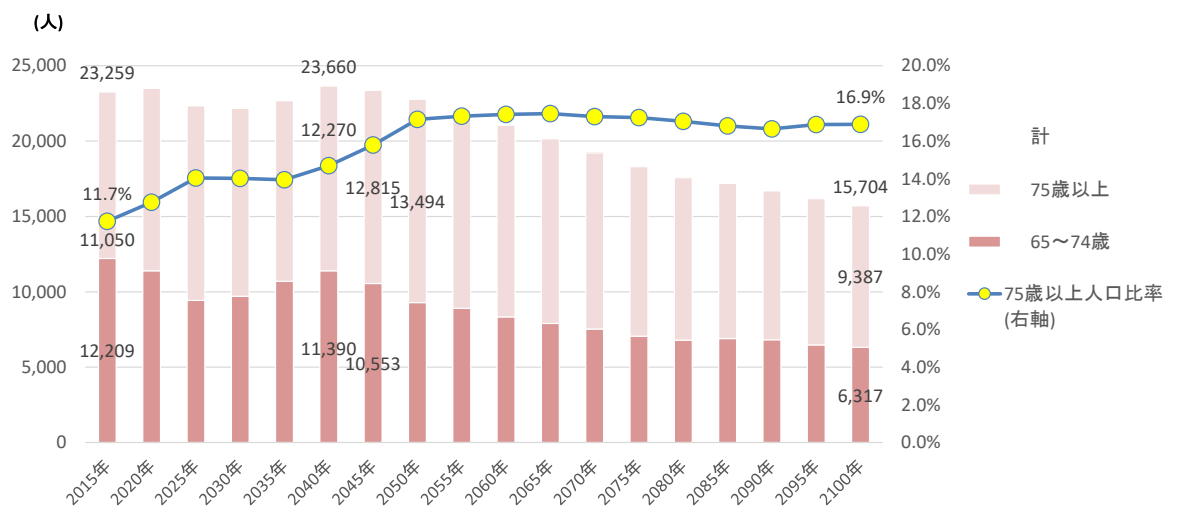
図表 小岩地域の年少人口の推移



図表 小岩地域の生産年齢人口の推移



図表 小岩地域の老年人口の推移



⑤ 東部地域

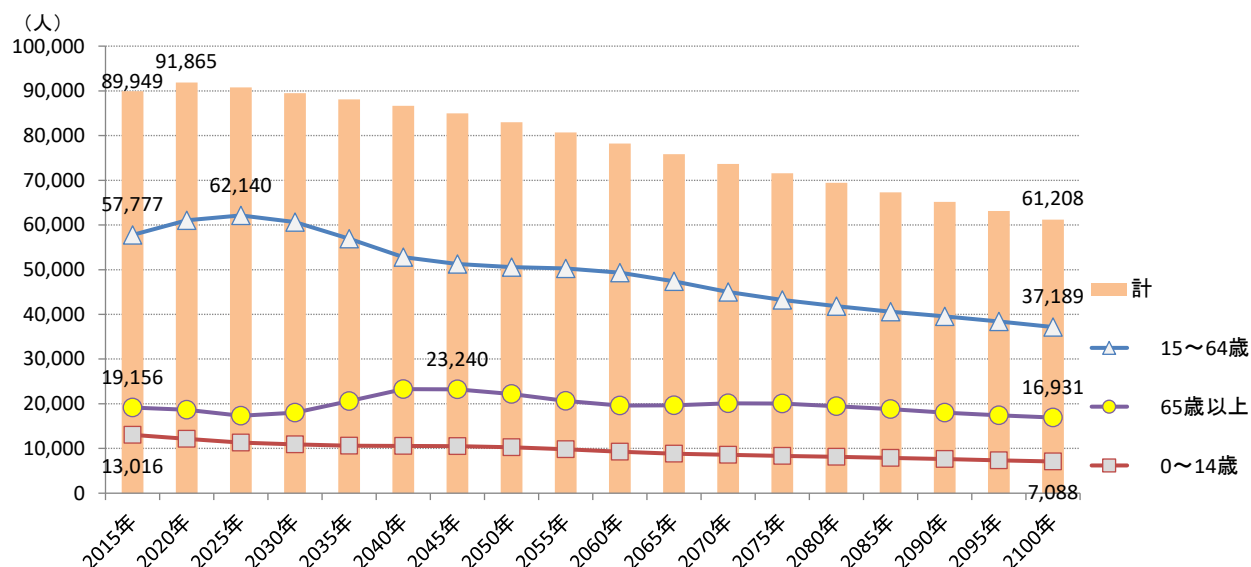
東部地域の人口は、2020 年から 2025 年にかけて約 9.2 万人へと増加した後、減少に転じ、2100 年時の人口は約 6.1 万人と、2015 年時と比べ約 2.9 万人、32.0%減少する。

年齢 3 区分別にみると、年少人口（0～14 歳人口）は一貫して減少し、2015 年時の約 1.3 万人から、2100 年には約 7 千人と、約 6 千人減少する。

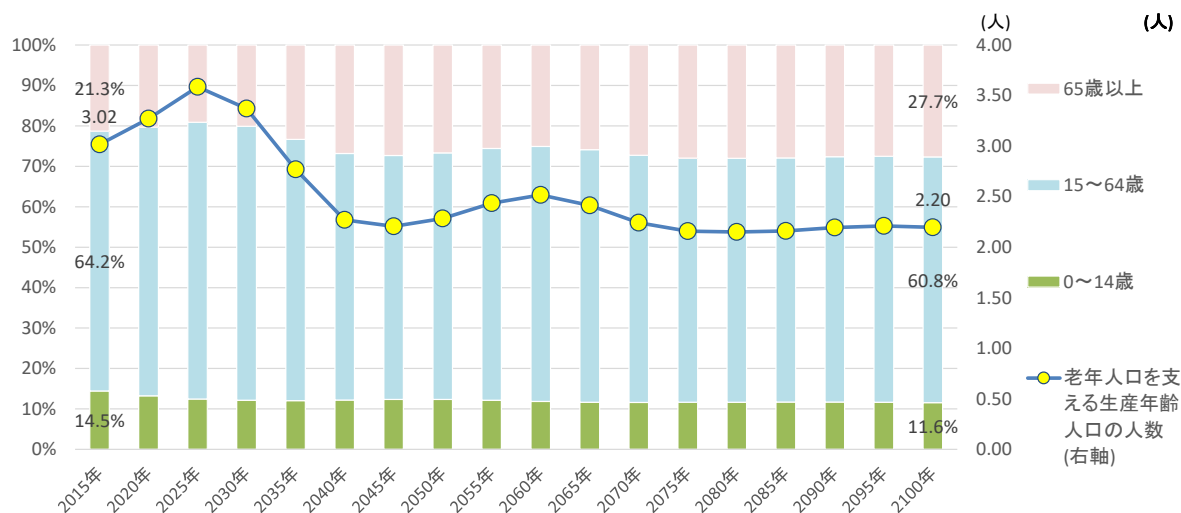
生産年齢人口（15～64 歳人口）は 2025 年前後に約 6.2 万人へと増加した後に減少に転じ、2100 年には約 3.7 万人まで減少する。

老年人口（65 歳以上人口）は 2015 年時の約 1.9 万人から 2040 年前後に約 2.3 万人へと増加した後、減少に転じる。高齢化率は 2015 年の 21.3%から 2100 年には 27.7%に上昇する。うち、後期高齢者人口（75 歳以上人口）は 2050 年前後に約 1.3 万人でピークを迎える。

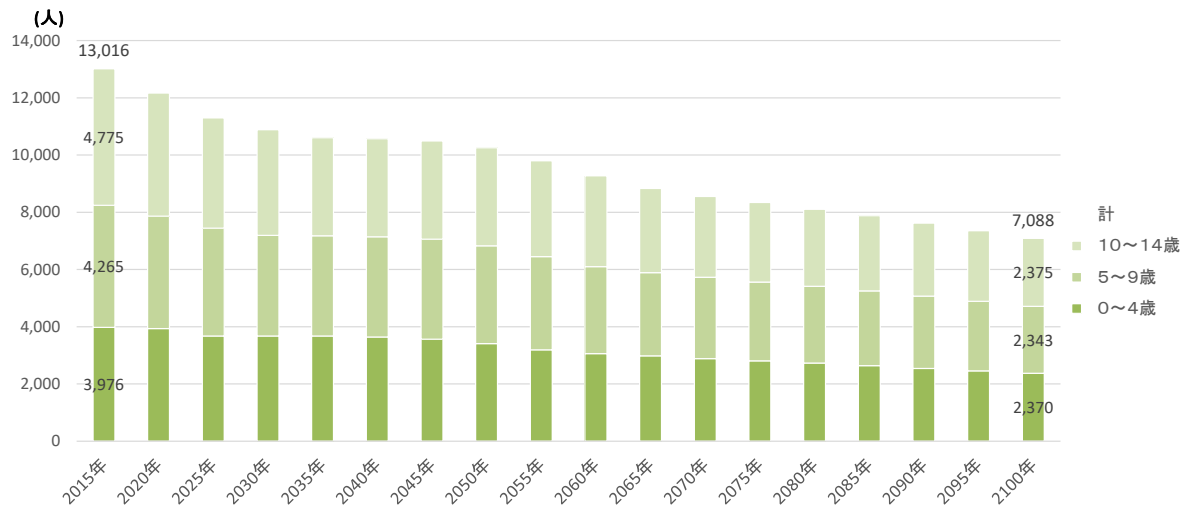
図表 東部地域の将来人口推移



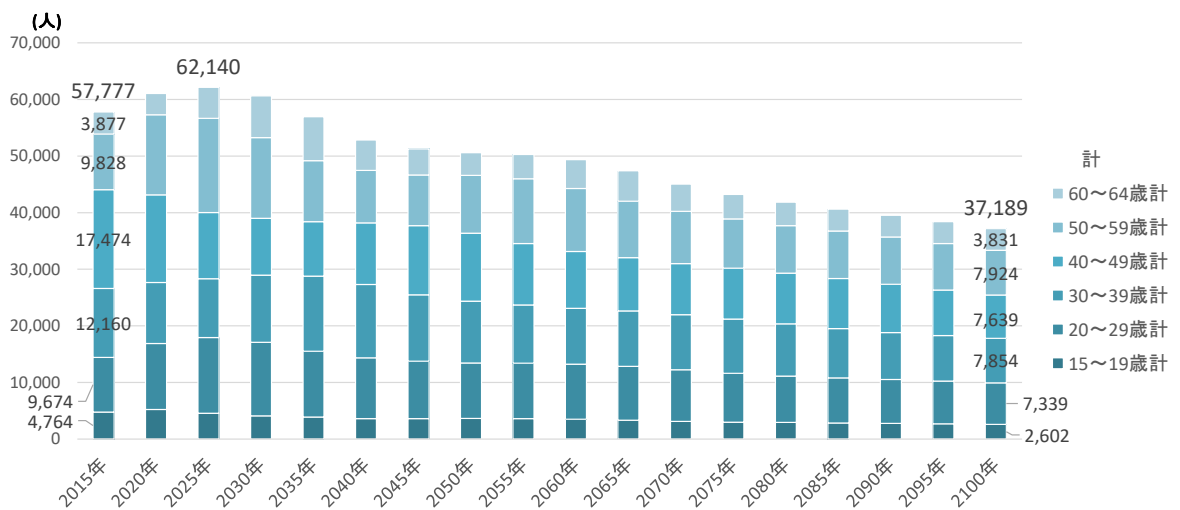
図表 東部地域の年齢構成比の推移



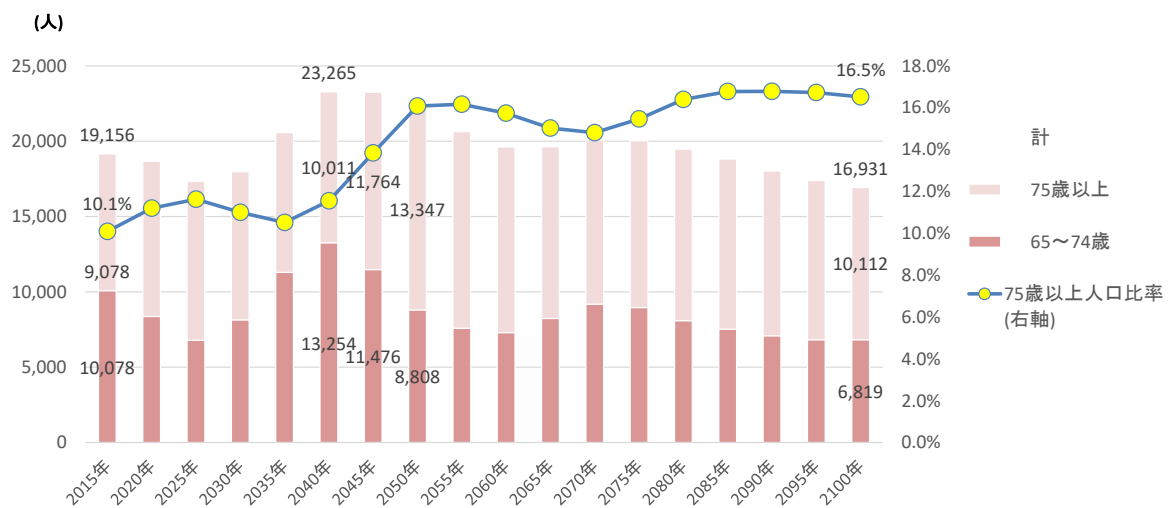
図表 東部地域の年少人口の推移



図表 東部地域の生産年齢人口の推移



図表 東部地域の老年人口の推移



⑥鹿骨地域

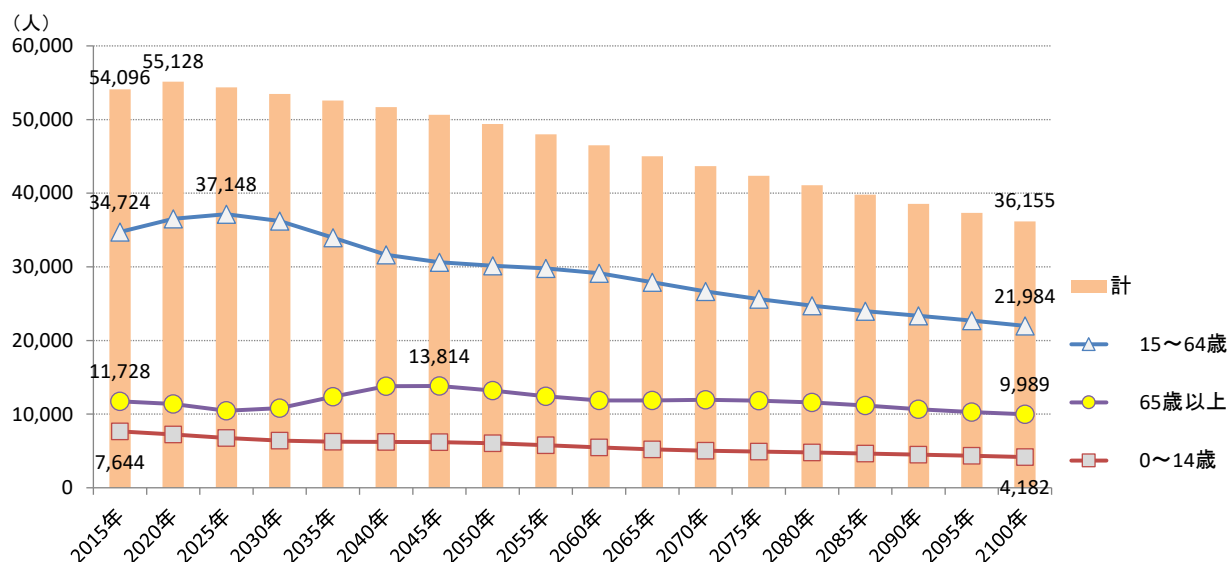
鹿骨地域の人口は、2020年から2025年にかけて約5.5万人へと増加した後、減少に転じ、2100年時の人口は約3.6万人と、2015年時と比べ約1.8万人（33.2%）減少する。

年齢3区分別にみると、年少人口（0～14歳人口）は一貫して減少し、2015年の約8千人から、2100年には約4千人と、約4千人減少する。

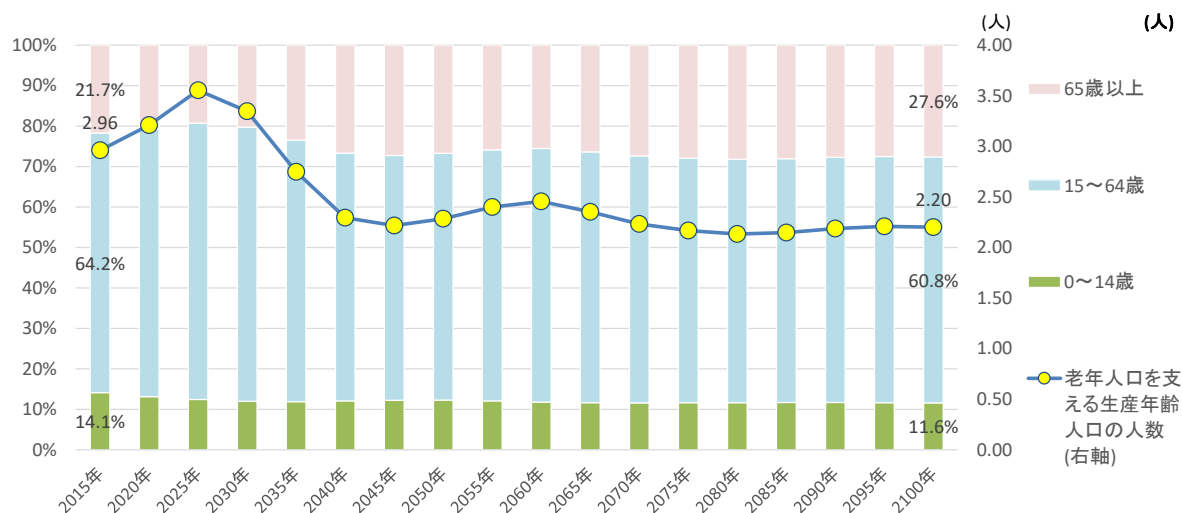
生産年齢人口（15～64歳人口）は2025年前後に約3.7万人へと増加した後減少に転じ、2100年には約2.2万人まで減少する。

老年人口（65歳以上人口）は2015年時の約1.2万人から2045年前後に約1.4万人へとピークに達した後、減少基調に転じる。高齢化率は2015年の21.7%から2100年には27.6%に上昇する。うち、後期高齢者人口（75歳以上人口）は2050年前後に約8千人でピークを迎える。

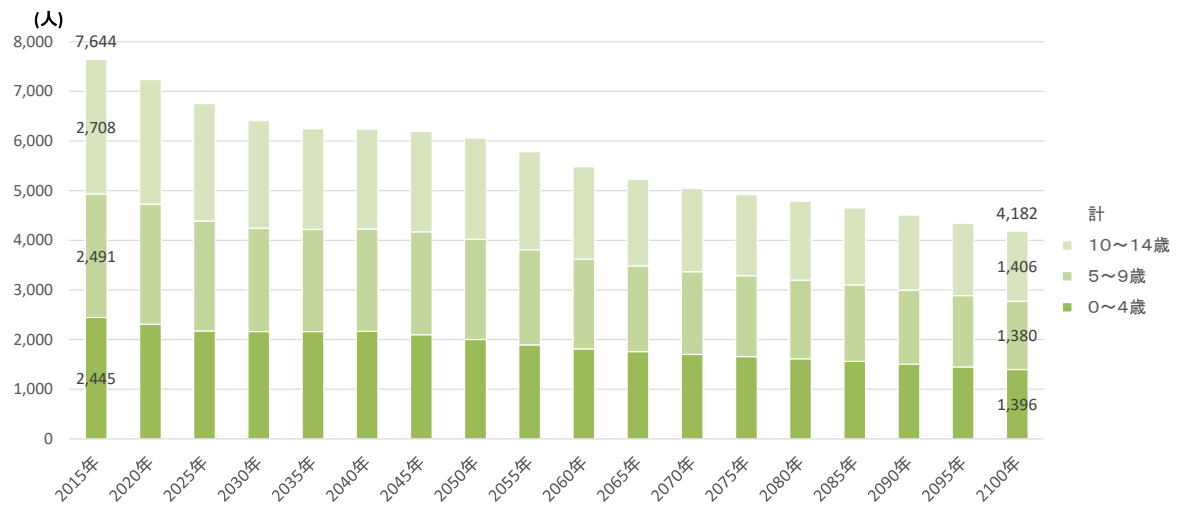
図表 鹿骨地域の将来人口推移



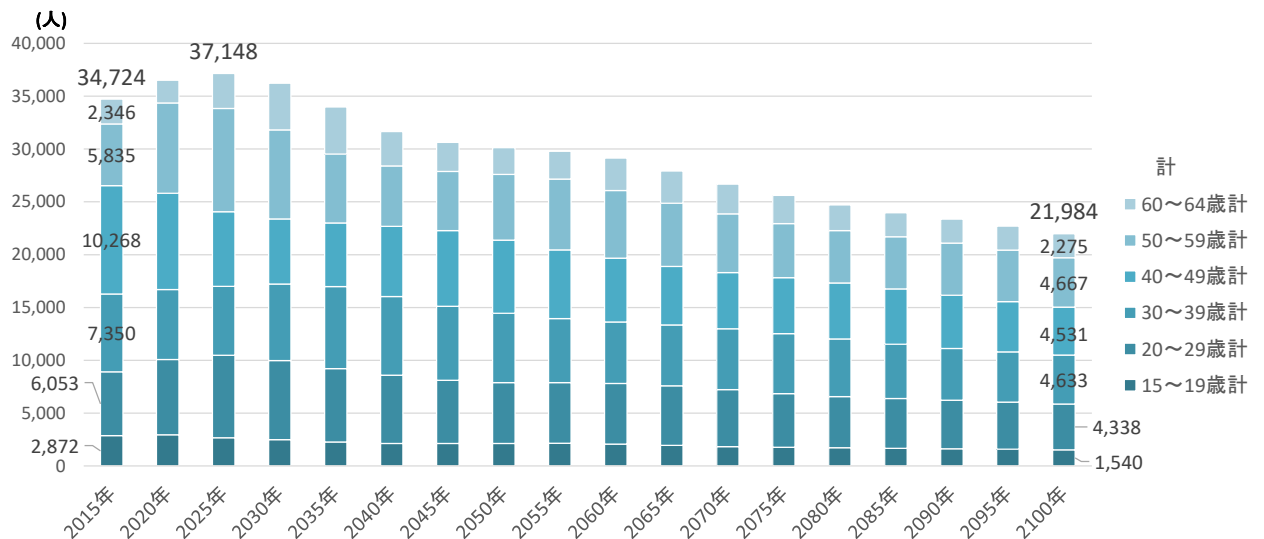
図表 鹿骨地域の年齢構成比の推移



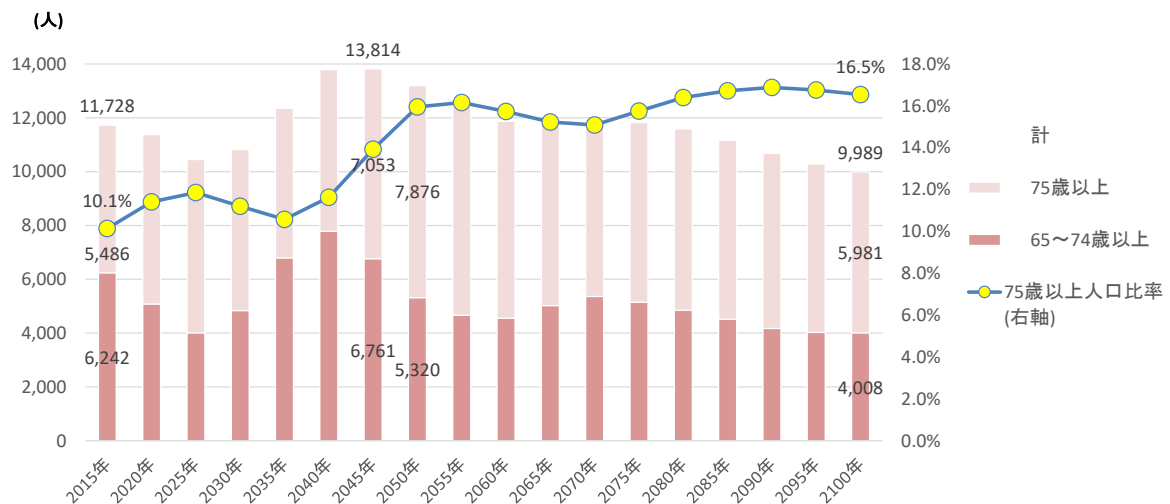
図表 鹿骨地域の年少人口の推移



図表 鹿骨地域の生産年齢人口の推移



図表 鹿骨地域の老年人口の推移



第 3 部 地域資源編

I. 分析の目的と方法

1. 分析の目的

本分析は江戸川区の地域資源を整理及び分析し、今後の区の魅力向上や創造につながる施策策定、また区の魅力を内外に発信するシティプロモーションの基礎資料とするものである。

2. 分析の方法

①統計分析

区の概況及び他自治体との統計比較により統計からみた資源を把握する。

②「江戸川区の魅力に関する意識調査」結果分析

調査結果の比較を行い、「魅力」からみた資源評価の差異と特性把握を行う（調査概要は「2.『江戸川区の魅力に関する意識調査』結果分析」を参照）。

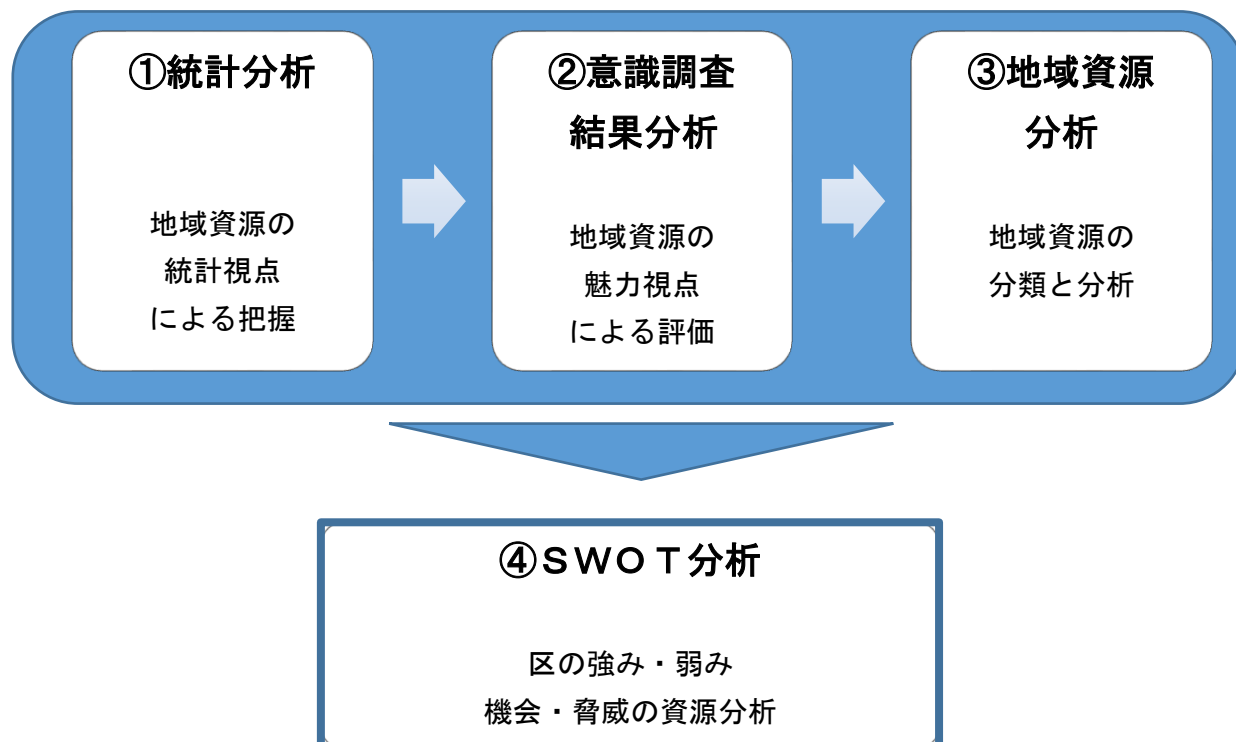
③地域資源分析

文献調査及び②を踏まえて、地域資源を分類整理及び評価分析を行う。

④SWOT分析

①～③を踏まえて、内部環境及び外部環境から区の強み、弱み、機会、脅威となる地域資源分析を行う。

図表 分析の全体像



Ⅱ. 分析結果

1. 統計データに基づく分析¹⁸

(1) 23 区比較

項目	江戸川区数値	23 区比較
土地		
面積	49.09 km ²	23 区中 4 位
人口・世帯数		
区総人口(2020 年 1 月)	700,079 人	23 区中 4 位
世帯数(2020 年 1 月)	345,833 世帯	23 区中 5 位
年齢		
平均年齢(2019 年 1 月)	43.61 歳	23 区中 5 番目に若い
公園・みどり		
公園面積(海上公園を除く) (2019 年 4 月)	3,675,029.86 m ²	23 区中 1 位
街路樹(緑道含む) (2019 年 4 月)	60,785 本	23 区中 1 位
学校		
区立小学校数(2019 年)	70 校	23 区中 1 位
農業		
小松菜の収穫量(2017 年産)	2,851 トン	23 区中 1 位
農業産出額(2017 年産)	14 億 2,500 万円	23 区中 1 位
医療費・介護保険		
後期高齢者医療制度の 1 人あたり 医療費(2016 年度確定)	886,329 円	23 区中低額 1 位
介護保険第一号被保険者 認定率 ¹⁹ (2019 年 1 月)	17.18%	23 区中低率 1 位

¹⁸ データ出典：面積、人口、世帯数、平均年齢は東京都公表資料（東京都の統計）、公園面積、小学校数は特別区協議会公表資料（特別区の統計）、小松菜収穫量、農業産出額は東京都農作物生産状況調査結果報告書

¹⁹ 第 1 号被保険者に占める要介護認定者の割合

（２）他自治体との比較分析

１）比較対象自治体

「江戸川区の魅力に関する意識調査」（「２．『江戸川区の魅力に関する意識調査』結果分析」を参照）の転入者対象調査において、「転入先として検討された上位自治体²⁰」について、統計データによる比較分析を行った。

江戸川区以外の自治体で回答数が最も多かったのは江東区であり、続いて、葛飾区、墨田区、市川市、船橋市といずれも近隣自治体が並んでいる。

図表 転入先として検討された自治体（上位自治体）

順位	検討都市	回答数
1	江東区	107
2	葛飾区	40
3	墨田区	39
4	市川市	26
5	船橋市	11
6	浦安市	9
6	足立区	9
7	大田区	8
8	台東区	6
8	荒川区	6
9	中央区	5
10	中野区	4
10	板橋区	4

²⁰ 転入者対象の同調査においては、転入アンケート「問 12」の自由回答より、転入先として江戸川区以外の自治体を検討したかどうかについて、設問項目を設けた。

2) 他自治体の比較²¹

【居住地関連】

- ・ 比較自治体との居住地関連データは概ね似た傾向である。
- ・ 江戸川区については、「可住地面積人口密度」が平均値より高く、「昼夜間人口比率」が低いという特徴がみられる。

図表 江戸川区及び他自治体の居住地関連統計

	江戸川区	東京都内							千葉県			平均値
		江東区	葛飾区	墨田区	足立区	大田区	台東区	荒川区	市川市	船橋市	浦安市	
総人口(人)	681,298	498,109	442,913	256,274	670,122	717,082	198,073	212,264	481,732	622,890	164,024	—
可住地面積 人口密度(人/km ²)	13,653	12,403	12,727	18,611	12,585	11,821	19,592	20,892	8,596	7,707	9,481	13,460.8
核家族世帯割合(%)	53.6	52.2	54.5	45.4	52.4	44.5	38.8	47.6	50.1	59.0	54.4	50.2
昼夜間人口比率(%)	82.4	122.2	84.1	108.9	90.9	96.8	153.4	91.4	82.2	84.2	96.2	99.3
他市区町村への 通勤者比率(%)	54.9	56.4	56.3	56.2	48.8	50.4	47.3	59.4	64.9	60.0	61.5	56.0
通勤時間の 中位数(分)	44.7	33.6	45.3	35.7	44.9	37.8	33.7	40.4	49.4	50.4	41.7	41.6

²¹ データは通勤時間の中位数、住宅延べ面積（2018年）、医師数（2016年）、千葉県自治体の都市公園面積（2017年）を除き、2015年時点。

データ出典：通勤時間の中位数、住宅延べ面積（住宅・土地統計調査）、住宅地平均価格（国土交通省平成27年地価公示）、都市公園面積（都内自治体は東京都、千葉県自治体は千葉県公表資料）、火災件数（都内自治体は特別区協議会、千葉県自治体は千葉県公表資料）を除き、e-stat（都道府県・市区町村のすがた）

【生活関連】

- ・ 都市公園面積²²は比較自治体の中で最も広く、強みであると考えられる。
- ・ 江戸川区の「住宅平均価格」及び「住宅延べ面積」は、都内自治体と比べると低価格で住居スペースに余裕があるが、千葉県内自治体と比べると高価格で住居スペースが狭い。そのため、子育て世代が通勤利便性に差異のない千葉県内自治体へ転出する環境要因と考えられる。
- ・ 「百貨店、総合スーパー数」、「飲食店数」も多く、他自治体を下回っており、余暇の充実や買物等の面でも魅力への評価が低い要因と考えられる。
- ・ また、「一般病院数」、「保育所数」も他自治体を下回る。

図表 江戸川区及び他自治体の生活関連統計

	江戸川区	東京都内							千葉県			平均値
		江東区	葛飾区	墨田区	足立区	大田区	台東区	荒川区	市川市	船橋市	浦安市	
住宅平均価格 (円/㎡)	308,700	392,200	286,800	372,000	269,600	472,200	718,300	382,800	200,600	140,700	260,700	345,873
住宅延べ面積 (1住宅当たり) (㎡)	67.9	61.4	69.7	59.0	67.9	62.3	61.2	65.5	69.1	78.2	71.6	66.7
百貨店、 総合スーパー数 (人口10万人 当たり)(店)	0.7	0.8	1.4	0.4	0.6	0.6	1.5	0.5	1.5	1.1	3.1	1.1
飲食店数 (人口千人当たり) (店)	3.1	4.1	4.4	7.0	3.6	4.7	15.3	4.7	3.0	3.1	3.0	5.1
一般病院数 (人口10万人 当たり)(施設)	3.2	3.4	4.3	5.5	7.2	3.8	3.5	6.6	2.3	3.1	3.0	4.2
医師数 (人口10万人 当たり)(人)	123.8	252.9	170.1	262.4	133.3	258.2	225.5	253.9	157.0	148.4	356.5	212.9
保育所数 (0～5歳人口 千人当たり)(所)	2.3	3.2	4.0	4.0	3.0	3.2	3.0	3.6	3.5	2.3	2.5	3.2
都市公園面積 (1人当たり)(㎡)	5.0	4.4	4.0	3.0	4.6	2.8	3.8	1.6	(3.72)	(3.38)	(6.53)	3.6
刑法犯認知件数 (人口10万人 当たり)(件)	1,138.9	995.6	1,025.0	1,314.2	1,035.5	933.2	2,142.6	1,123.6	1,015.7	966.8	1,184.0	1,170.5
火災件数 (人口10万人 当たり)(件)	26.9	35.1	25.1	39.4	30.6	29.1	57.6	30.6	22.0	24.7	26.2	31.6

²²千葉県自治体の都市公園面積は、市民緑地を含んでいるため参考値である。このため、都市公園面積の平均値は掲載の都内自治体の平均値である。

2. 「江戸川区の魅力に関する意識調査」結果分析

本節では、「江戸川区の魅力に関する意識調査」結果に基づいて、江戸川区への居住意向、江戸川区のイメージ、魅力に関する分析を行う。

(1) 「江戸川区の魅力に関する意識調査」概要

1) 目的

区民等の区に対する魅力やイメージなどを把握し、今後のシティプロモーション推進の基礎資料とする。

2) 調査対象と調査実施期間

①区民対象（在住外国人を除く。以下、「区民」という。）

- ・満18歳以上の区民3,000人（無作為抽出）
- ・居住年数は抽出条件に含めず
- ・2019年10月19日（土）～11月2日（土）（有効回収数1,108件、有効回収率36.9%）

②区民対象（在住外国人を除く直近転入者。以下、「転入者」という。）

- ・平成26年度以降に転入してきた満18歳以上の区民1,500人（無作為抽出）
- ・2019年11月2日（土）～11月16日（土）（有効回収数484件、有効回収率32.3%）

③区民対象（在住外国人。以下、「外国人」という。）

- ・満18歳以上の外国人1,000人（無作為抽出）
- ・2019年11月23日（土）～12月7日（土）（有効回収数187件、有効回収率18.7%）
- ・調査は7か国語（英語、中国語簡体・繁体、韓国語、フィリピン語、ベトナム語、ネパール語）で実施

④転出者対象

- ・平成26年度以降に転出した満18歳以上の転出者1,500人（無作為抽出）
- ・2019年11月2日（土）～11月16日（土）（有効回収数319件、有効回収率21.3%）

⑤調査内容

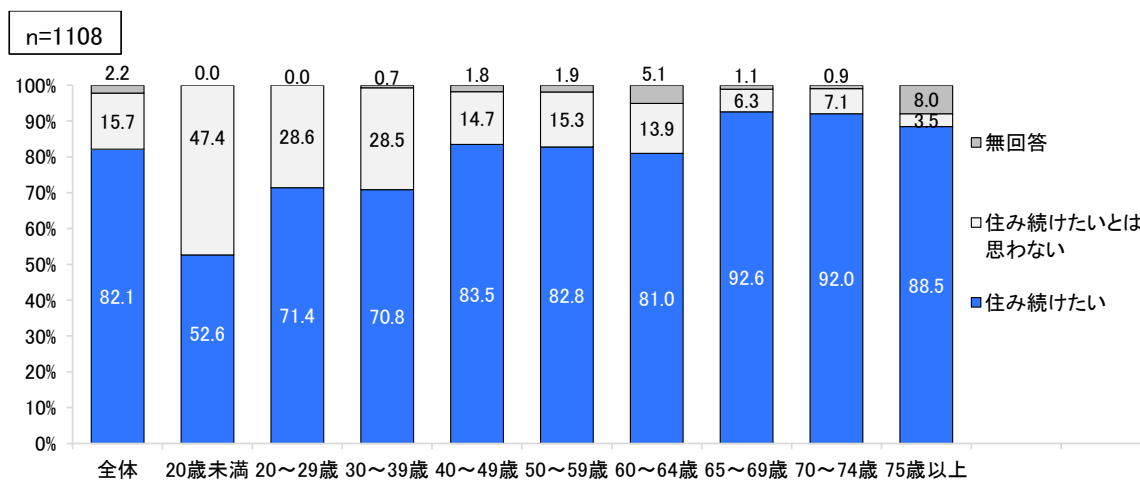
- ・居住意向、区のイメージ、区の魅力、推奨度、今後のまちづくり 等
- ・詳細は巻末の「参考資料」を参照

(2) 江戸川区への居住意向について

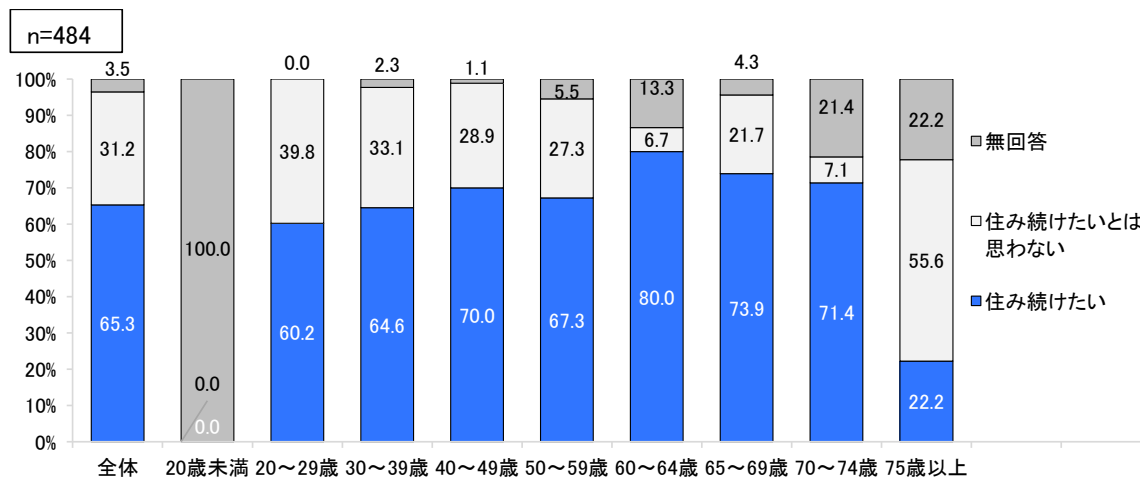
江戸川区への居住意向について、区民と転入者を比較すると「住み続けたい」という区民は約 8 割、転入者は約 6 割を超えている。

また年齢別では、「住み続けたい」という回答が区民の 40 歳代以上では 8 割を超え、65 歳以上は 9 割を超えており、年齢が上がるにつれて居住意向が高くなる傾向がある。転入者については「60～64 歳」の割合が最も高くなっている。

図表 区民の居住意向



図表 転入者の居住意向

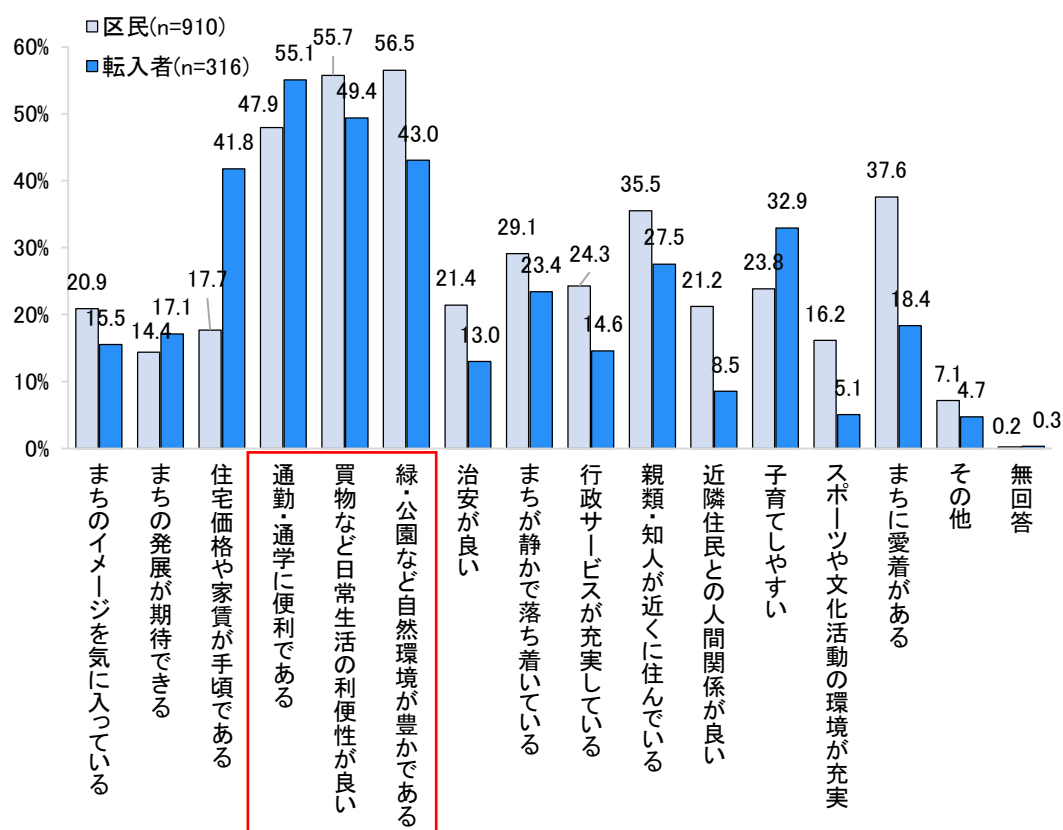


1) 住み続けたい理由

「住み続けたい理由」について、区民では「緑・公園などの自然環境の豊かさ」や「買物など日常生活の利便性」や「通勤・通学の利便性」の割合が高い。一方、転入者は「通勤・通学の利便性」、「買物など日常生活の利便性」、「緑・公園などの自然環境の豊かさ」のほか、「住宅価格や家賃が手頃」や「子育てのしやすさ」に着目していることが分かる。

区民と転入者を比べると、区民は住環境等を含めてまちに愛着を持っていることがうかがえる。

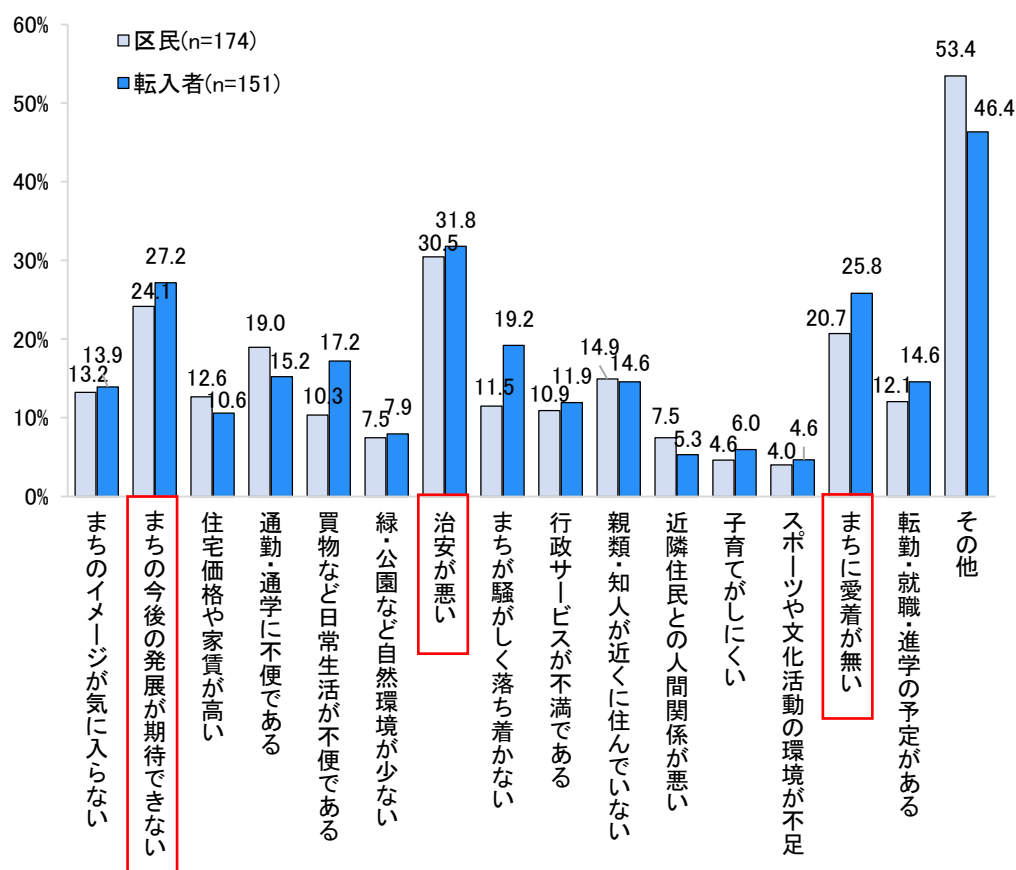
図表 区民及び転入者の「住み続けたい」理由



2) 住み続けたくない理由

「住み続けたくない理由」については、区民及び転入者ともに、「治安の悪さ」や「まちの今後の発展が期待できない」、「まちに愛着がない」の割合が高い。

図表 区民及び転入者の「住み続けたくない理由」²³



²³ 「その他」については、水害への不安に係る記述が多くみられた。

(3) 江戸川区のイメージについて

江戸川区のイメージについて、区民、転入者及び転出者のイメージを比較して区内外の差異分析を行った。

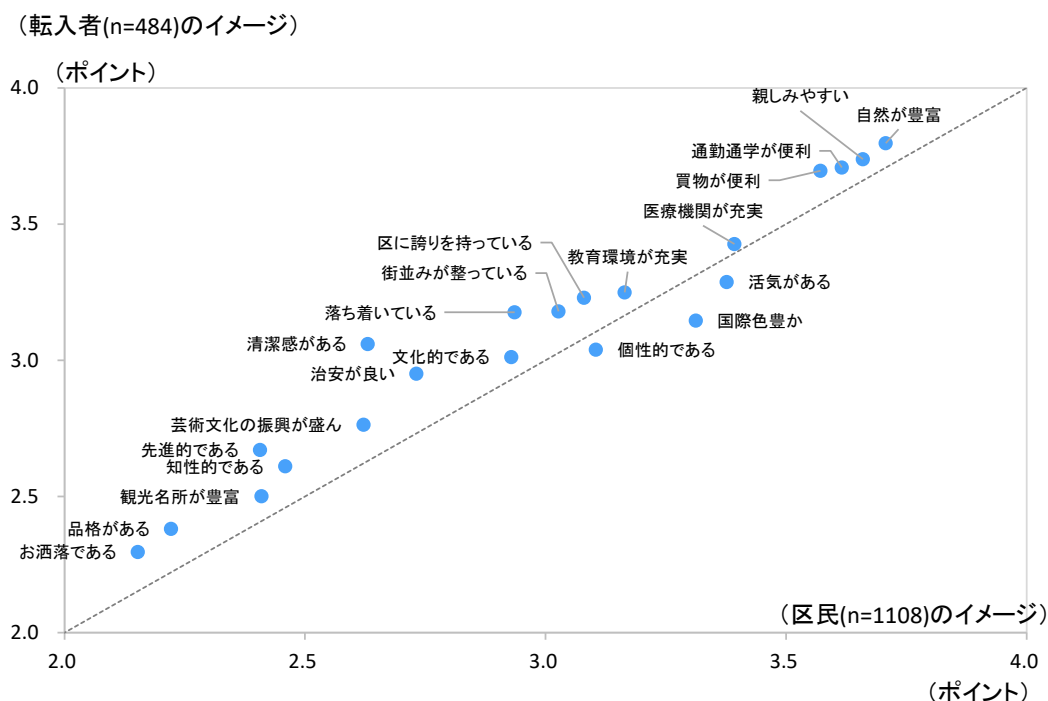
1) 区民と転入者のイメージギャップ

区民は、「自然の豊かさ」、「親しみやすさ」、「買物や通勤通学の利便性」、に対する評価が高い。一方で、「お洒落である」、「品格がある」、「観光名所が豊富」、「知性的である」、「先進的である」において評価が低い。

転入者は、区民と同様に「自然の豊かさ」等に共感を抱いており、具体的には「自然の豊かさ」や「親しみやすさ」、「買物や通勤通学の利便性」に対する評価が高い。一方で、「お洒落である」、「品格がある」、「知性的である」、「先進的である」、「観光名所が豊富」について評価が低い。

区民と転入者のイメージは、ほぼ同様の傾向となっており、大きな差異はみられない。

図表 区民と転入者の江戸川区へのイメージギャップ²⁴

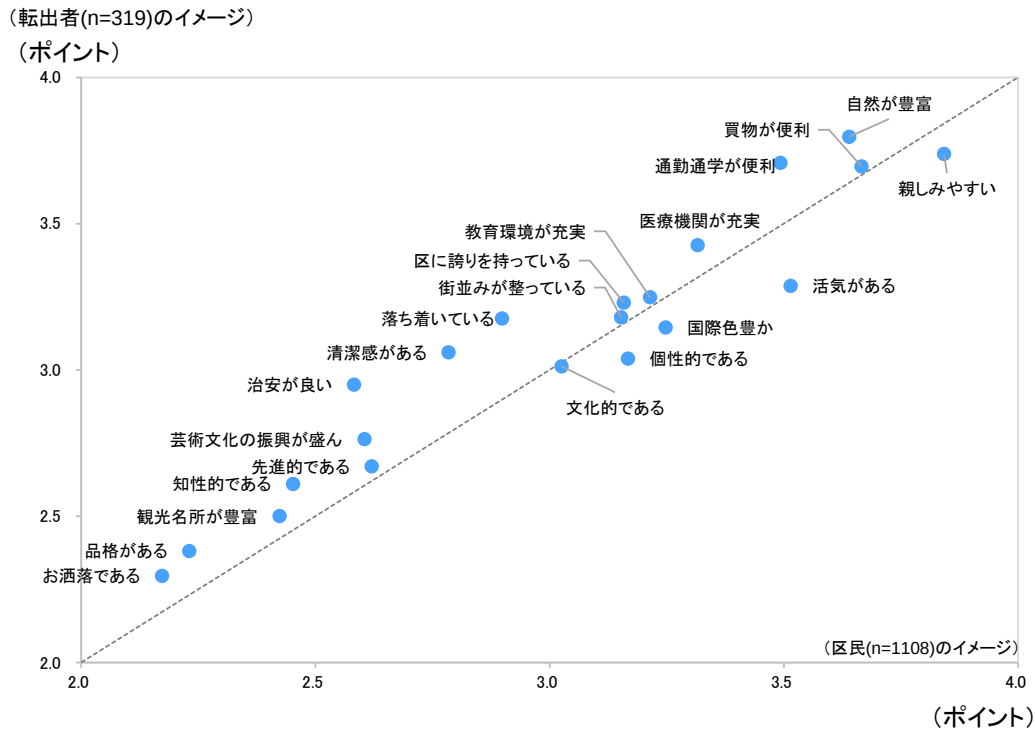


²⁴ 得られた評価（1～5の5段階）の構成比をウェイトとした加重平均値であり、ここではポイントとする。

2) 区民と転出者のイメージ比較

転出者については、区民及び転入者のイメージと同様に、「親しみやすさ」や「買物や通勤通学の利便性」、「自然の豊かさ」の評価が高い。評価の低いイメージについても、区民及び転入者と同様となっている。

図表 区民と転出者の江戸川区へのイメージギャップ



3) 江戸川区のイメージの差異について

江戸川区のイメージについては、区民、転入者及び転出者のいずれにおいても、「親しみやすさ」及び「自然の豊かさ」、「買物や通勤通学の利便性」に対する評価が高く、「お洒落である」、「品格がある」、「観光名所が豊富である」、「知的である」、「先進的である」に対する評価が低く、イメージの差異はみられない。

江戸川区のイメージについて他自治体と差別化を図るには、内外環境において評価の高い自然の豊かさと、買物や通勤通学の利便性を合わせもつ親しみやすいまちのイメージを強みとして伸ばし、お洒落で品格があり、先進性や知性、観光名所の豊かなまちのイメージを高めていく方向性が考えられる。

（４）居住・来訪の推奨理由について

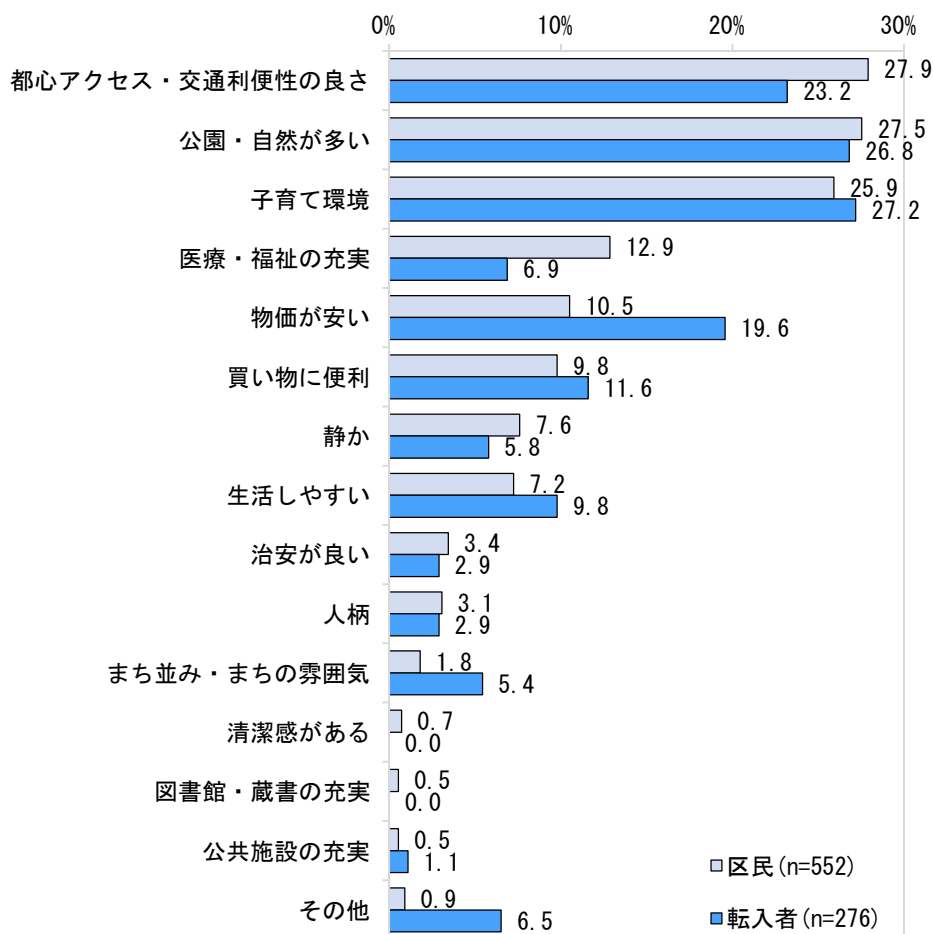
「友人・知人に江戸川区に住むことをどのくらいすすめたいか（以下居住推奨理由）」、「友人・知人に江戸川区を訪れることをどのくらいすすめたいか（以下来訪推奨理由）」について、区民、転入者及び転出者の推奨理由（自由回答）の集計を比較して、区内外の差異分析を行った。

1) 居住推奨理由について

居住推奨理由については、区民、転入者のいずれも「都心からのアクセス・交通利便の良さ」、「公園・自然が多い」、「子育て環境」の割合が高く、利便性のみでなく生活する環境としての魅力が評価されている。

また、転入者は「子育て環境」に加え、「物価が安い」、「買い物に便利」、「生活しやすい」といった生活の利便性を高める項目の割合が区民を上回っている。

図表 居住推奨理由（区民・転入者）



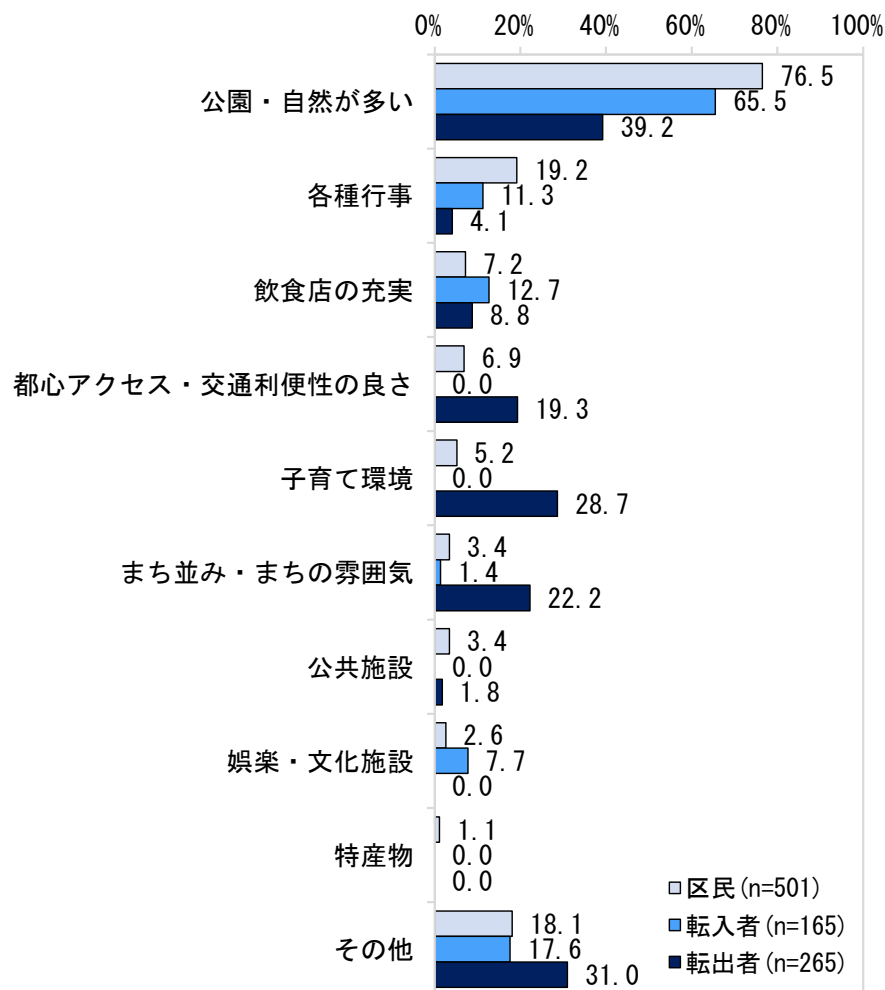
2) 来訪推奨理由について

来訪推奨理由について、区民は「公園と自然」の割合が高く、7割を超えている。「公園」に関する回答については「葛西臨海公園」が最も多い。

転入者・転出者においても、葛西臨海公園等を含めた「公園と自然」の割合が最も高くなっている。

なお、転出者は、「子育て環境」や「まち並み・まちの雰囲気」の割合が高い。

図表 来訪推奨理由（区民、転入者、転出者）



居住及び来訪推奨理由のいずれについても、比較している対象及び集計記述内容に差はあるものの、「公園・自然の豊かさ」の割合が高い。また、居住推奨の理由にはみられなかったが、来訪推奨理由として、「各種行事」、「まち並み・まちの雰囲気」の割合が高い。

(5) 江戸川区の魅力について²⁵

江戸川区の魅力について、区民、転入者及び転出者の比較により、差異分析を行った。

1) 江戸川区の魅力について

区民、転入者及び転出者は、いずれも「公園や自然環境」、「交通及び生活の利便性」についての評価が高い。区民については、「医療環境」、「福祉環境」、転入者は「暮らしている人の多様性」、また、転出者は「子育て環境」や「魅力的な商店街・店舗」について、他の対象に比べて評価が高い。

2) 江戸川区に足りない魅力について

区民、転入者及び転出者は、「魅力的な商店街や店舗」、「余暇を楽しむ施設」が不足していると捉えている。区民については、さらに「医療や福祉環境」について、転入者及び転出者は「都心へのアクセス」について、区民に比べて評価が低い傾向がみられる。

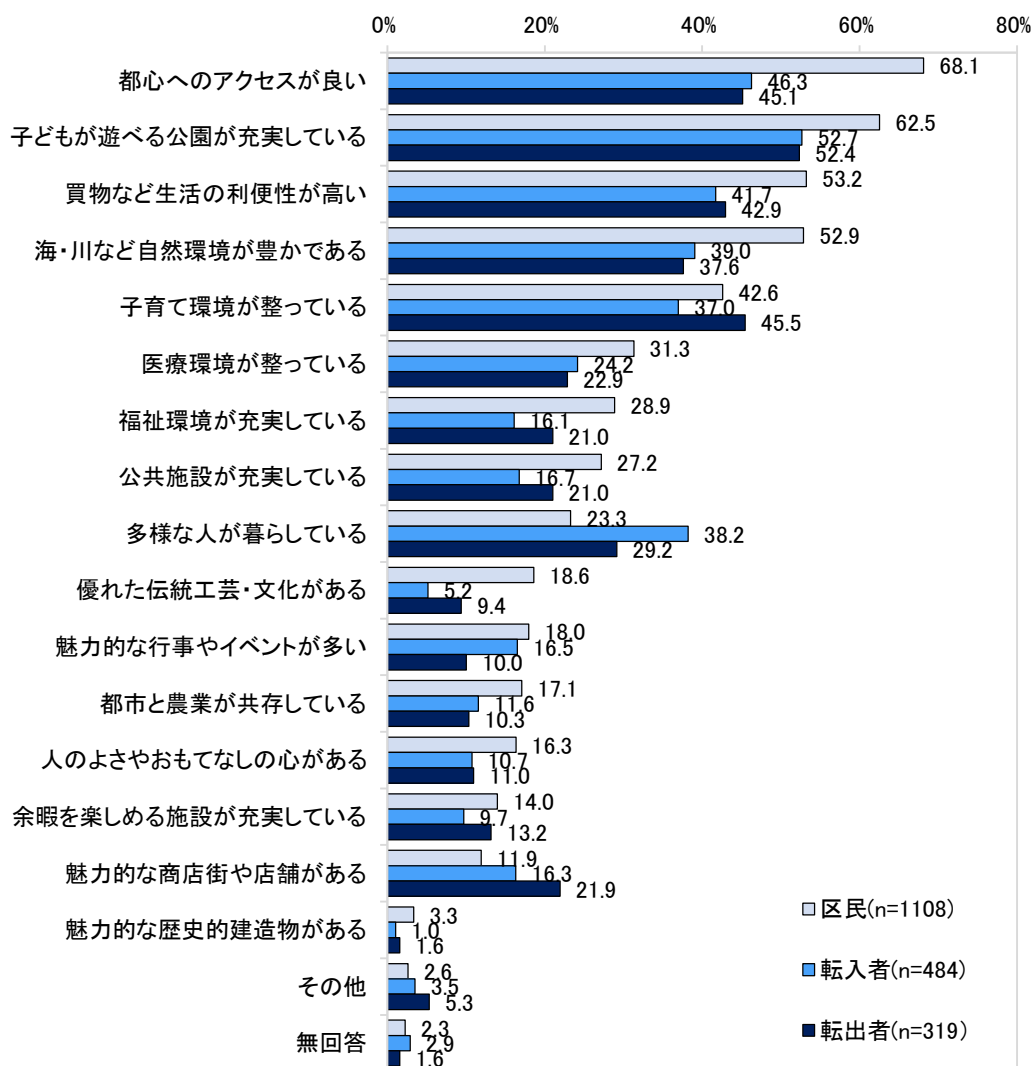
3) 年齢別の江戸川区の魅力

区民、転入者及び転出者について年齢別に区の魅力进行分析すると、40歳代未満の層においては、いずれも「子育て環境」について評価が高いことが分かる。

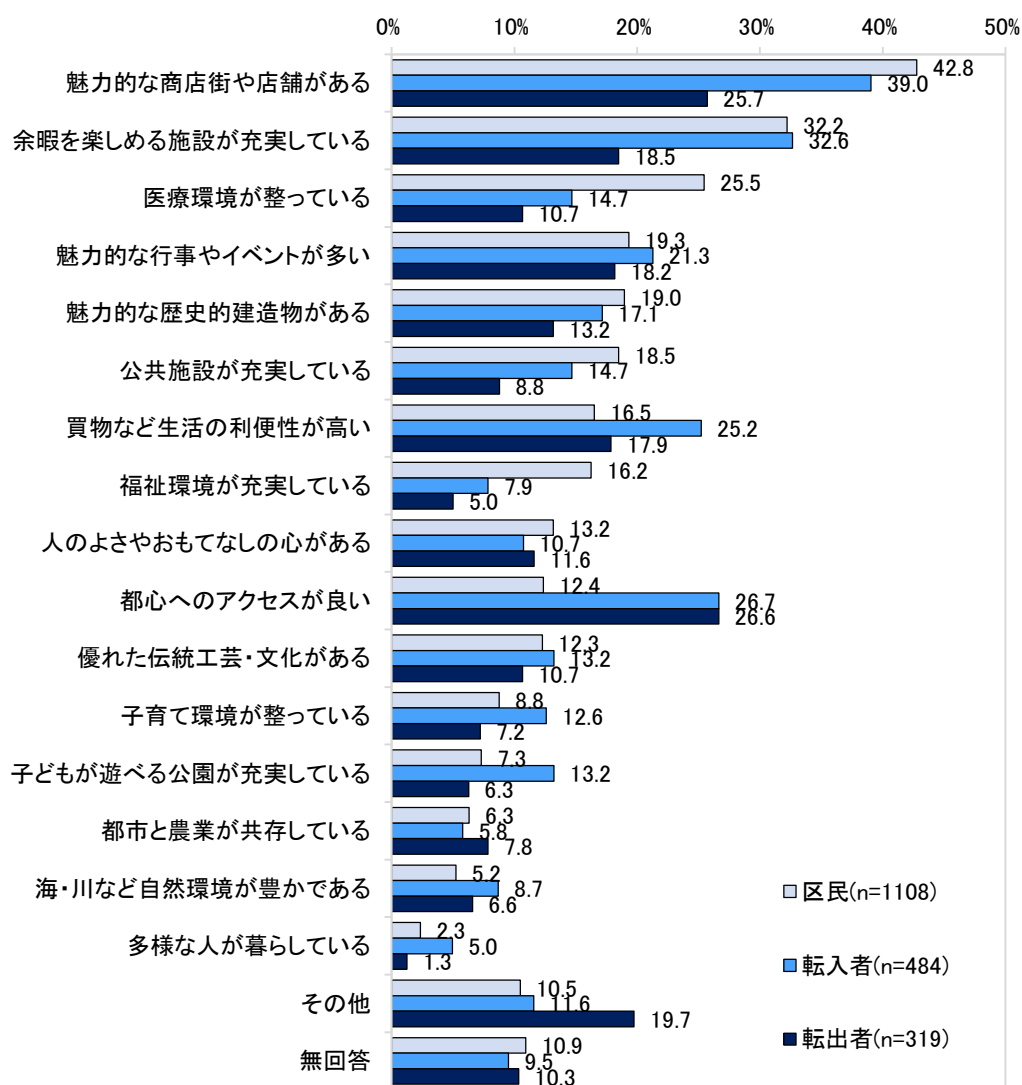
また、区民及び転出者の60歳以上を中心に「伝統工芸・文化」の魅力を高く評価する傾向があり、年齢が上がるほど評価が高くなっている。

²⁵ 「江戸川区の魅力に関する意識調査」項目の「江戸川区にどんな魅力があるか」、「江戸川区に足りない魅力とはどのようなものか」についての自由回答を集計した。

図表 江戸川区の魅力（区民・転入者・転出者）



図表 江戸川区に足りない魅力（区民・転入者・転出者）



図表 江戸川区の魅力（年齢別）

(%)

回答者	年齢	豊 海・川など自然環境が である	公園が充実している	子どもが遊べる	魅力的な歴史的 建造物がある	文化がある	優れた伝統工芸・ 文化がある	魅力的な行事や イベントが多い	余暇を楽しめる施設が 充実している	魅力的な商店街や 店舗がある	人のよさやおもてなしの 心がある	公共施設がある	公共施設がある	都市と農業が 共存している	利便性が高い	買物など生活の 利便性が高い	アクセスが良い	多様な人が 暮らしている	医療環境が 整っている	子育て環境が 整っている	福祉環境が 充実している	その他
区民	20歳未満	47.4	68.4	0.0	21.1	15.8	0.0	15.8	5.3	26.3	21.1	31.6	42.1	26.3	31.6	42.1	10.5	5.3				
	20～29歳	44.9	63.3	1.0	5.1	10.2	9.2	17.3	7.1	17.3	5.1	55.1	60.2	17.3	27.6	44.9	13.3	3.1				
	30～39歳	52.8	71.5	3.5	15.3	17.4	9.7	15.3	18.1	13.9	14.6	52.8	63.2	23.6	25.7	51.4	18.1	1.4				
	40～49歳	54.9	69.6	1.8	16.1	17.0	8.9	9.8	15.2	24.6	17.0	48.2	66.1	26.8	27.2	50.9	21.0	6.3				
	50～59歳	52.1	61.4	3.3	17.7	13.0	13.0	11.2	14.9	28.8	18.6	50.2	70.7	23.3	29.3	50.7	31.2	0.5				
	60～64歳	48.1	53.2	1.3	24.1	12.7	10.1	8.9	19.0	30.4	13.9	53.2	69.6	17.7	20.3	34.2	38.0	1.3				
	65～69歳	57.9	52.6	2.1	17.9	16.8	15.8	7.4	11.6	25.3	11.6	55.8	76.8	13.7	33.7	30.5	28.4	0.0				
	70～74歳	54.9	59.3	4.4	27.4	31.0	17.7	8.8	18.6	35.4	18.6	60.2	69.9	21.2	39.8	24.8	38.1	2.7				
	75歳以上	56.6	57.5	10.6	30.1	29.2	34.5	15.9	30.1	46.0	33.6	61.9	76.1	35.4	50.4	31.0	55.8	3.5				
転入者	20歳未満	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	20～29歳	34.4	59.1	1.1	2.2	10.8	6.5	17.2	11.8	12.9	7.5	34.4	44.1	36.6	24.7	48.4	12.9	5.4				
	30～39歳	40.6	59.4	0.0	4.6	17.1	9.7	16.6	10.3	17.1	15.4	40.6	41.7	38.9	21.1	44.0	12.0	2.9				
	40～49歳	46.7	47.8	1.1	5.6	14.4	11.1	20.0	10.0	18.9	7.8	54.4	52.2	37.8	26.7	33.3	11.1	2.2				
	50～59歳	32.7	41.8	1.8	7.3	18.2	10.9	16.4	5.5	14.5	12.7	38.2	43.6	40.0	21.8	18.2	21.8	3.6				
	60～64歳	46.7	26.7	0.0	6.7	26.7	6.7	20.0	20.0	13.3	13.3	40.0	60.0	46.7	6.7	46.7	40.0	0.0				
	65～69歳	30.4	39.1	0.0	0.0	13.0	8.7	8.7	21.7	13.0	13.0	43.5	65.2	21.7	39.1	17.4	30.4	4.3				
	70～74歳	50.0	42.9	7.1	14.3	28.6	28.6	0.0	7.1	35.7	14.3	42.9	35.7	42.9	21.4	14.3	50.0	0.0				
	75歳以上	33.3	66.7	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	22.2	11.1	33.3	66.7	55.6	44.4	22.2	33.3	22.2				
転出者	20歳未満	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0				
	20～29歳	36.1	59.0	1.6	6.6	6.6	16.4	19.7	13.1	19.7	8.2	47.5	49.2	39.3	16.4	50.8	9.8	3.3				
	30～39歳	36.1	54.6	2.8	6.5	12.0	9.3	25.9	9.3	17.6	7.4	42.6	44.4	22.2	20.4	47.2	16.7	9.3				
	40～49歳	39.4	53.0	1.5	7.6	6.1	12.1	19.7	9.1	19.7	9.1	33.3	36.4	30.3	22.7	43.9	22.7	0.0				
	50～59歳	27.5	32.5	0.0	5.0	12.5	15.0	20.0	15.0	20.0	10.0	47.5	35.0	25.0	27.5	37.5	27.5	5.0				
	60～64歳	52.9	64.7	0.0	17.6	11.8	17.6	35.3	5.9	35.3	23.5	58.8	58.8	29.4	23.5	35.3	35.3	11.8				
	65～69歳	50.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	50.0	83.3	50.0	50.0	83.3	83.3	16.7				
	70～74歳	45.5	45.5	0.0	36.4	0.0	18.2	0.0	9.1	36.4	18.2	45.5	54.5	18.2	27.3	45.5	36.4	0.0				
	75歳以上	50.0	37.5	0.0	37.5	50.0	25.0	12.5	12.5	37.5	37.5	37.5	75.0	50.0	62.5	25.0	25.0	0.0				

(各アンケートの年齢別回答者数)

(人)

年齢	区民	転入者	転出者
20歳未満	19	1	2
20～29歳	98	93	61
30～39歳	144	175	108
40～49歳	224	90	66
50～59歳	215	55	40
60～64歳	79	15	17
65～69歳	95	23	6
70～74歳	113	14	11
75歳以上	113	9	8

（６）外国人との評価差異

１）居住意向

居住意向については、外国人の約９割が「住み続けたい（以下居住継続意向）」となっており、区民（約８割）及び転入者（６割）を上回る割合となっている。

年齢別では、２０歳代の居住継続意向の割合は８割弱となっており、同年齢層の区民（約７割）及び転入者（約６割）を上回っている。

図表 今後の居住意向（居住年数別）

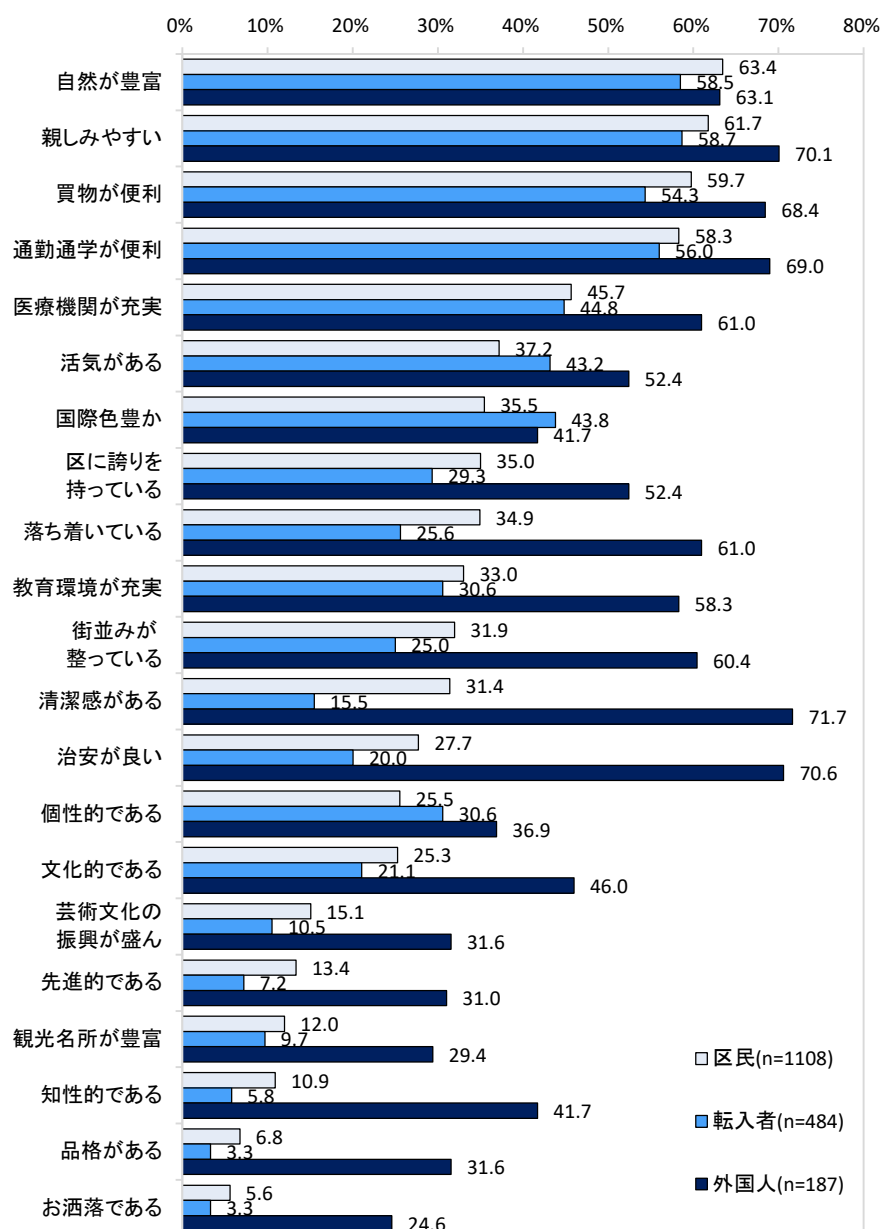
		(%)			
		回答数	住み続けたい	住み続けたい とは思わない	無回答
全体		187	90.4	8.6	1.1
年 齢	20歳未満	3	100.0	0.0	0.0
	20～29歳	42	76.2	23.8	0.0
	30～39歳	70	95.7	4.3	0.0
	40～49歳	34	94.1	5.9	0.0
	50～59歳	22	90.9	4.5	4.5
	60～64歳	3	100.0	0.0	0.0
	65～69歳	6	100.0	0.0	0.0
	70～74歳	2	100.0	0.0	0.0
	75歳以上	2	100.0	0.0	0.0

2) 江戸川区のイメージ

区民及び転入者と比較すると、江戸川区のイメージについて差異がみられるが、「親しみやすい」、「買い物が便利」等の評価は区民及び転入者同様に高い。

また、外国人は、「清潔感がある」、「治安が良い」等の評価が区民及び転入者を上回っている。

図表 江戸川区のイメージ（区民・転入者・外国人）



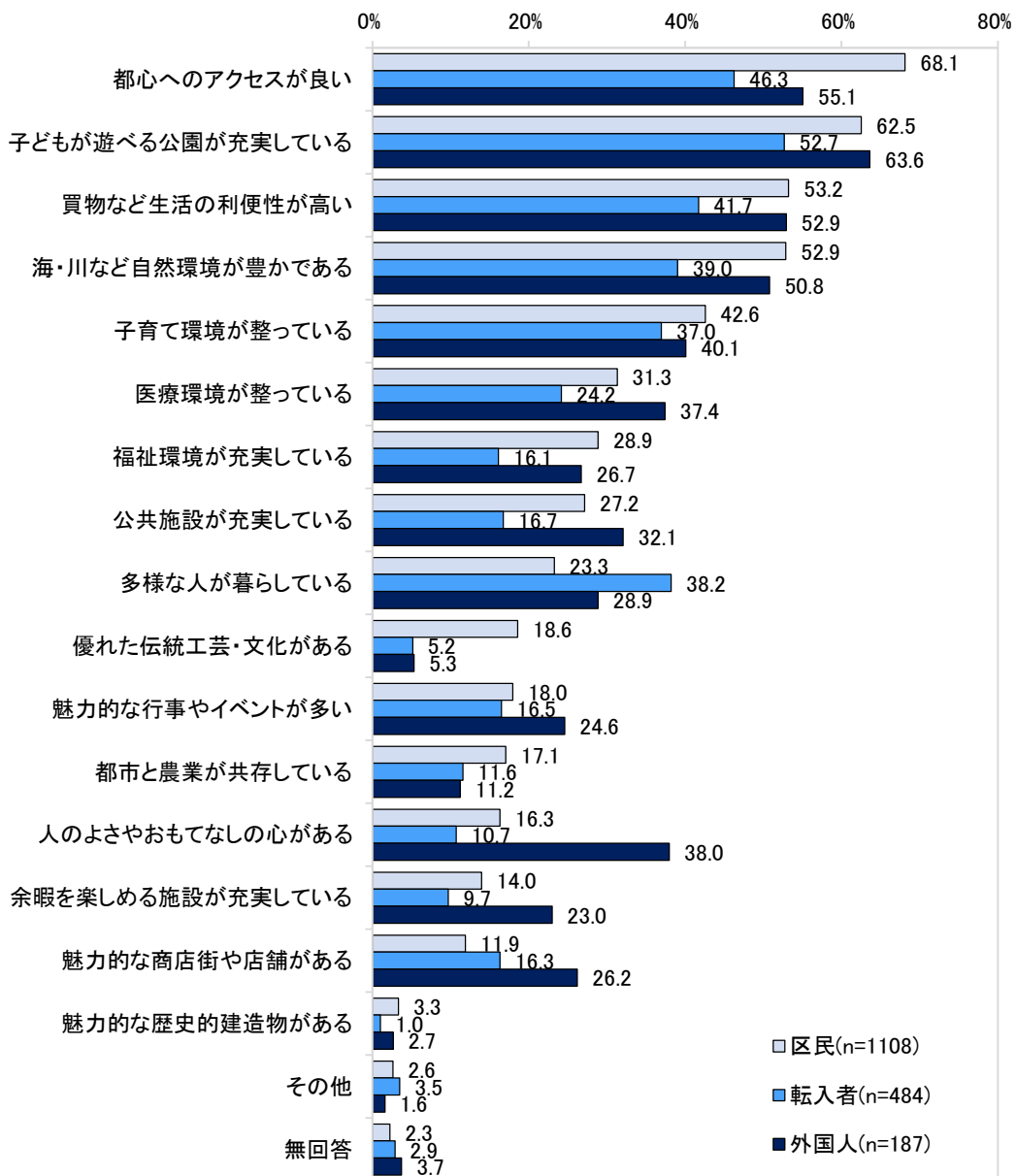
3) 江戸川区の魅力について

江戸川区の魅力については、区民及び転入者と同様に、「子どもが遊べる公園の充実」や「都心へのアクセス」、「買物など生活の利便性」、「自然環境」への評価が高い。

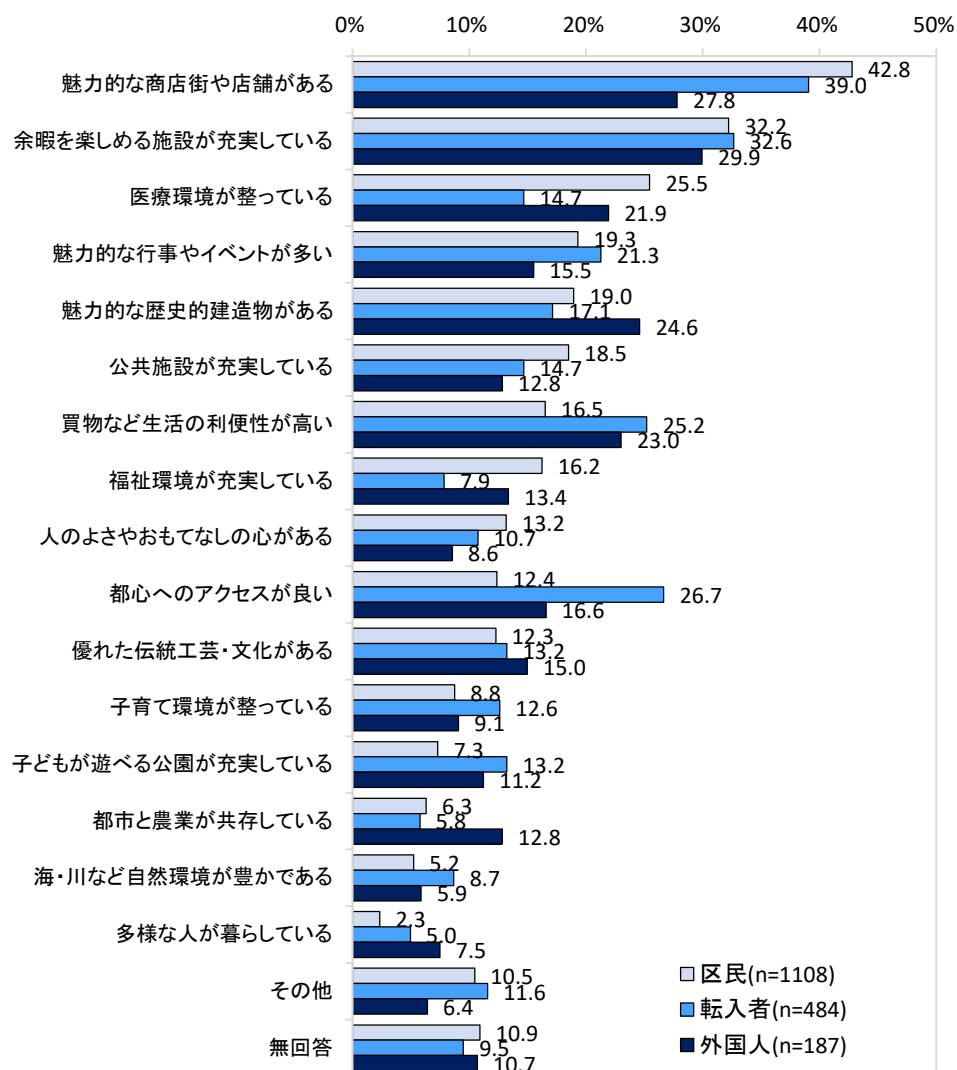
また、「人のよさやおもてなしの心がある」では区民及び転入者を大きく上回っている。

一方、「魅力的な商店街や店舗」のほか、「余暇を楽しめる施設の充実」等は、区民及び転入者と同様に不足している魅力となっている。さらに、外国人では、「魅力的な歴史的建造物」、「優れた伝統工芸・文化」等が、区民や転入者を上回って不足している魅力となっている。

図表 江戸川区の魅力（区民・転入者・外国人）



図表 江戸川区に不足している魅力（区民・転入者・外国人）



3. 地域資源分析

(1) 地域資源の定義

本分析における地域資源の定義は、「地域住民が自慢や誇りに思い、地域活性化の核の1つになり得るもの」とする。なお、本定義は、内閣府経済社会総合研究所が実施した「生活者の観点からの地域活性化調査・啓発事業一団塊の世代が再チャレンジに果たす役割についてー（平成18年度）」に基づくものであり、地域資源分類はこの定義に基づいて以下の6分類に整理した。

(2) 地域資源の状況²⁶

地域資源	資源例示		
生活	・親水公園・親水緑道 ・葛西臨海公園・海浜公園 ・葛西臨海水族園 ・地下鉄博物館 ・自然動物園 ・河川及び河川敷	・小岩菖蒲園 ・篠崎・なぎさポニーランド ・商店街 ・大型商業施設 ・インドカレーなどの多国籍料理 ・飲食店	・バーベキューができる公園 ・カヌーができる公園 ・船堀シネパル ・銭湯 等
観光	・葛西臨海公園・海浜公園 ・葛西臨海水族園 ・篠崎・なぎさポニーランド ・自然動物園 ・地下鉄博物館 ・一之江名主屋敷 ・小岩菖蒲園、菖蒲園まつり ・フラワーガーデン ・ツツジ山（なぎさ公園） ・善養寺の影向の松	・旧小松川閘門 ・新川の和船や火の見櫓 ・江戸風鈴や組子などの伝統工芸 ・江戸川花火大会 ・江戸川区民まつり ・小岩阿波おどり ・小松川・新川さくらまつり ・小岩菖蒲園まつり ・江戸川「食」文化の祭典 ・江戸川区音楽祭	・小岩あさがお市 ・金魚まつり ・雷の大般若 ・盆栽美術館 ・相撲部屋 ・タワーホール船堀 ・ひらい園蔵亭 等
子育て	・親水公園・親水緑道 ・葛西臨海公園・海浜公園 ・葛西臨海水族園 ・地下鉄博物館 ・自然動物園	・篠崎・なぎさポニーランド ・子ども未来館 ・ファミリースポーツ広場 ・総合レクリエーション公園 ・東部交通公園	・篠崎公園 ・大島小松川公園 ・図書館 ・各種子育て支援施策 ・各種健全育成事業 等
都市・産業	・充実したバス網 ・東西に走る5路線の鉄道	・成田・羽田空港への高速バス ・小松菜や金魚	・花と野菜農業 等
コミュニティ	・各地域まつり ・町会、自治会 ・下町的な雰囲気	・活躍する高齢者 ・外国人と多様な文化 ・商店街	・総合人生大学 ・幟祭り ・獅子もみ祭り 等
サービス	・タワーホール船堀 ・グリーンパレス ・各種コミュニティ会館 ・新川さくら館 ・平成庭園	・ホテルシーサイド江戸川 ・総合文化センター ・陸上競技場 ・江戸川球場 ・江戸川区スポーツランド	・江戸川区スポーツセンター ・新左近川親水公園カヌー場 ・各種高齢者向けサービス ・各種高齢者福祉施策 等

²⁶ 文献調査については、新聞記事（日経テレコン等検索）、江戸川 walker（その他観光雑誌）、えどぶら（その他区発行計画書）、RESAS、Twitter、東京都公表情報等を対象として実施した。なお、複数の性格を有する地域資源については重複して記載している。

(3) 地域資源の評価

「江戸川区の魅力に関する意識調査」の各回答項目として用意された選択肢を以下対照表のとおり分類し、魅力からみた地域資源の評価分析を行った²⁷。

図表 地域資源分析と意識調査項目分類対照表

地域資源	魅力に関する意識調査の選択肢項目
生活	自然環境 余暇を楽しめる施設 魅力的な商店街 買い物の利便性
観光	魅力的な歴史的建造物 優れた伝統工芸・文化 魅力的な行事やイベント
子育て	子どもが遊べる公園 子育て環境
都市・産業	都市と産業の共存 都心へのアクセスが良好
コミュニティ	人のよさやおもてなしの心 人々の多様性
サービス	充実した公共施設 整った医療環境 充実した福祉環境

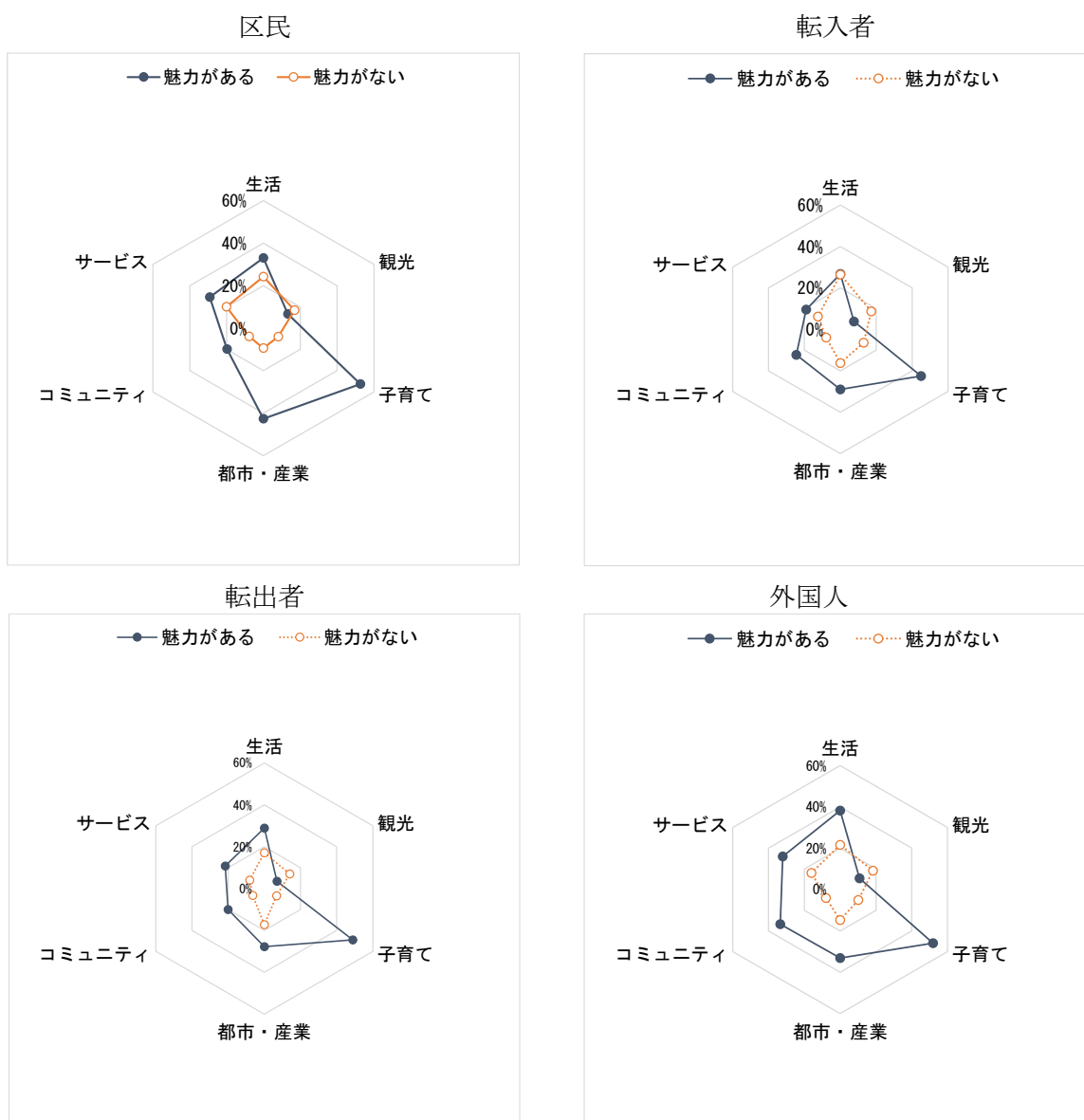
²⁷ 設問は「江戸川区にどんな魅力があると思いますか」「江戸川区にどんな魅力が足りないと思いますか」であり、回答として用意された選択肢は共通で、上記表内のとおりである。なお、転入者は転入前の、転出者は転出後の自治体との比較結果となる。

1) 魅力からみた地域資源評価²⁸

区民は、「子育て」や「都市・産業」について、評価が高い。特に「子育て」については、転入者、転出者及び外国人においても評価が高く、他自治体と比較しても区の強力な地域資源の一つと考えられる。

一方、「観光」については回答者の全対象層において評価が低いことから、魅力を向上させる必要がある資源と考えられる。

以上から江戸川区の地域資源について、子育て環境における地域資源の魅力が高いと考えられる。



²⁸各分類の値 (%) は質問項目ごとに回答割合を算出し、その平均を用いている (転入者、転出者、外国人についても同様)

（４）地域資源分析まとめ

先述のとおり、江戸川区の地域資源については、「子育て」に関する地域資源の評価が高い。これは、居住意向のみでなく、居住をすすめる理由においても同様の傾向がみられる。また、他自治体の居住経験のある転入者、転出者からの評価が高いことから、区外から評価される強力な魅力資源のひとつと考えられる。

一方で、「生活」に関する地域資源の魅力は低い結果となった。これは、「自然環境」や「生活の利便性」という居住環境に対する評価は高いものの、余暇などを充実させる環境や資源に対する評価が低いことに起因している。

また、「観光」に関する地域資源の評価も低い結果となったが、この点は「来訪推奨理由」において、娯楽・文化施設等の評価が得られなかったことと関連していると考えられる。

また、「都市・産業」としての評価が低い点について、江戸川区の交通アクセスの良さは一定の評価がされているものの、統計データ分析でも示されたとおり、比較を行った転入検討の上位自治体においても同様の交通アクセスの良さを有していたためと考えられる。

4. SWOT分析

(1) SWOTの整理

ここまでの分析を踏まえて江戸川区の強み（S）、弱み（W）、機会（O）、脅威（T）について整理すると、下表のとおりである。

強み(S)	弱み(W)
● 区民の永住意向が高い。 ● 都市公園面積の広さや街路樹の数が 23 区中 1 位を誇るほか、全国初の親水公園など、水とみどりの豊かな自然を有する。 ● 子どもが遊べる公園が多いなど、子育て環境が高く評価されている。 ● 通勤・通学や買い物などの日常生活の利便性に魅力がある。 ● 都市整備が進み、まち並みが整っている。 ● 都内他自治体と比較して住居スペースに余裕がある。 ● 下町の雰囲気がある都市イメージを有している。 ● 多様な国籍の外国人が増加し、まちに多様性が生まれている。 ● 都心から近距離に位置しながら、生産量 23 区中 1 位を誇る小松菜の生産など、農業との共存が図られている。	● 若い世代の区民の居住意向が低い。 ● 余暇などを充実させる環境や資源に対する評価が低い。 ● 治安の良さに対するイメージが低い。 ● 交通アクセスの良さは他自治体と競合している。 ● 魅力的な商店街や店舗、行事の魅力が伝わりきれていない。 ● 歴史や伝統、文化を有する地域資源が魅力を出し切れていない。 ● お洒落、品格等のまちのイメージが弱い。 ● 先進的イメージや、今後の発展性の評価が低い。
機会(O)	脅威(T)
● 訪都する日本人、外国人観光客数が増加しており、区の観光客数増加が期待される。 ● 外国人の受入拡大とともに在住外国人が増加傾向にあり、区の文化の多様化が進むと期待される。 ● 地域の文化、伝統工芸に対する関心が高まっており、区内のこれら資源を活用した集客が期待される。 ● 地方から東京への転入が縮減しながらも続いており、人口減少幅の縮小が期待される。 ● SNS、YouTube 等、様々な情報発信媒体が普及しており、区の情報や魅力を発信しやすくなっている。 ● 市民活動・市民協働が活発に行われており、区民と連携したプロモーション活動が期待される。 ● 共働き世帯の増加と共に、子育て環境の重要性が高まっており、子育て環境の強みをいかしたファミリー世帯の獲得が期待される。	● 都心部に人口が集中しつつあり、区人口の流出懸念がある。 ● 人口減少により、地域コミュニティの担い手不足、地域企業の人材不足等が懸念される。 ● 高齢化による社会保障費等の増加により、財政負担が増大する。 ● シティプロモーションにより交流人口、関係人口の獲得を目指す自治体が増えており、交流人口等の獲得に競合が生じる。 ● Uターン、Iターン等、都内の若者が地方に移住する動きがみられ、区内若者の流出懸念がある。 ● 地方創生、ふるさと納税等、地方の自治体を支援する国の支援・仕組みづくりが進められており財政基盤への影響が懸念される。

(2) 今後の取組みの方向性

SWOT 分析で明らかになった内部環境（強み、弱み）、外部環境（機会、脅威）について、これら 4 つの要素を組み合わせ、強みで機会を活かす取り組み（強み×機会）、強みで脅威を克服する取り組み（強み×脅威）、弱みを克服して機会を逃さない取り組み（弱み×機会）、弱みを克服して最悪の事態を招かない取り組み（弱み×脅威）との視点から、今後の取組みの方向性を検討し、下表のとおりとりまとめた²⁹。

強み × 機会	強み × 脅威
● 子育て環境の良さ、交通の利便性や自然環境の豊かさといった都市としての魅力を活かし、転出傾向の高い子育て世代の居住意向を高める。 ● 地域資源を市民と共に各種媒体を通じて PR し、区内地域資源の認知度向上を図り交流人口の拡大を目指す。 ● 外国人観光客に対する区内地域資源に係る情報発信を強化し、外国人観光客を獲得する。	● 豊かな自然、公園、親しみやすいイメージに加え、潜在している魅力資源を効果的に PR し、定住意向を高める。 ● 区のターゲットになりうる若い世代等に区の魅力を発信し、永住意向及び認知度向上を図る。 ● 在住外国人との交流拡大と共生を進め、地域活力の維持及び活性化を図る。
弱み × 機会	弱み × 脅威
● 地域資源を磨き上げ、訪れてみたいまちづくりを行い、交流人口を獲得する。 ● 安心して暮らせるまちづくり等、区民と共に満足度の高いまちづくりを進め、定住促進につなげる。 ● 治安の良さに対するイメージを向上させるとともに、広く共感される新たな都市イメージを創出して、交流人口の増加を目指す。	● 多様なライフスタイルを充実させる魅力を創り、転出者の流出を防止する。 ● 区への愛着・誇りを向上させ、企業や区民自らが区の広報・宣伝者となるよう、シティプロモーションを展開する。 ● 隣接自治体と協働した取組みの推進により、首都圏の魅力発信とともに区の認知度向上を図る。

²⁹ 一般的にクロス SWOT 分析と呼ばれる。

参考資料

江戸川区の魅力に関する意識調査
区民対象（在住外国人を除く）

I. 調査の概要

1. 目的

区民の区に対する魅力やイメージなどを把握し、今後のシティプロモーション推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 対象

- (1) 満 18 歳以上の区民 3,000 人
- (2) 対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出（居住年数は抽出条件に含めず）
- (3) 在住外国人を除く

3. 期間

令和元年 10 月 19 日（土）～11 月 2 日（土）

4. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、郵送により回収

5. 回収結果

- (1) 標本数 3,000 件
- (2) 有効回収数 1,108 件
- (3) 有効回収率 36.9%

6. 調査項目

- (1) 回答者の基本属性について
- (2) 今後の居住意向について
- (3) 江戸川区のイメージについて
- (4) 愛着がある・推奨したい区の魅力について
- (5) 今後のまちづくりについて

7. 報告書の見方

- (1) 図表の中の n とは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- (2) 割合は n を分母とした百分比で算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入した。
そのために、百分比の合計が 100%に満たない、または上回ることがある。
- (3) 1 人の回答者が複数回答を行う設問では、その割合の合計が 100%を上回ることがある。
- (4) 本文や図表中で語句を短縮・省略化している選択肢がある。
- (5) 質問項目によっては、その特徴をより明確に出せるように「無回答」は掲載していない。そのため、分析の n の合計が全体と一致しない場合がある。
- (6) 本文や図表中の表記では、ひとつの質問中の複数の選択肢をまとめ、あるいは任意の選択肢のみの割合を比較する手法を用いている場合がある。
- (7) 回答者の少ない項目については、比率等に誤差が生じている場合があり、結果の解釈に注意を要する。
- (8) 無効回答を除いているため、一部の設問間で数値が異なる場合がある。

Ⅱ. 調査結果

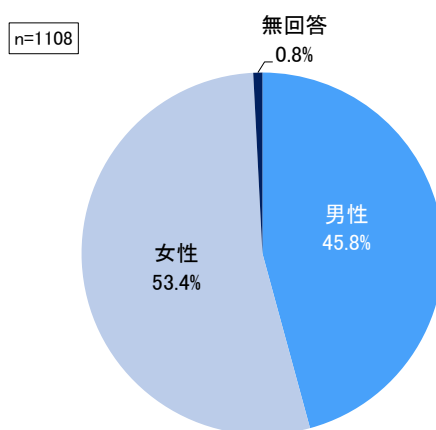
1. 回答者属性

(1) 性別

問1：あなたの性別をお知らせください。

性別は、「男性」が45.8%、「女性」が53.4%と、女性の割合がやや高い。

図表 性別



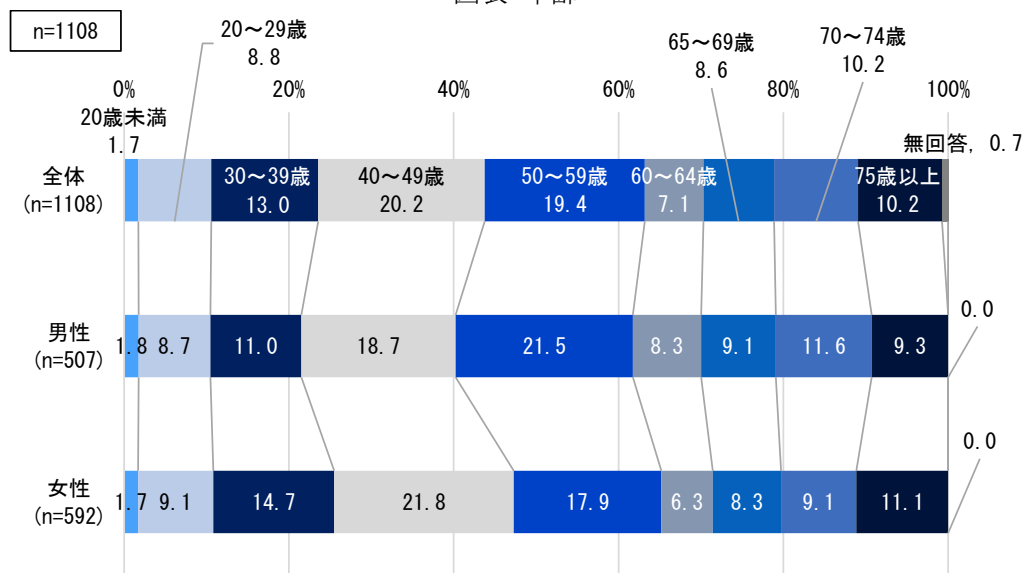
(2) 年齢

問2：あなたの年齢をお知らせください。

年齢は、「70歳以上」の割合が20.4%と最も高く、次いで「40～49歳」(20.2%)、「50～59歳」(19.4%)、「60～69歳」(15.7%)がいずれも約2割を占めている。「20～29歳」は8.8%、「30～39歳」は13.0%といずれも約1割となっている。

性別では、男性に比べて女性では「40～49歳」の割合がやや高く、男性では「50～59歳」の割合が女性を上回っている。

図表 年齢

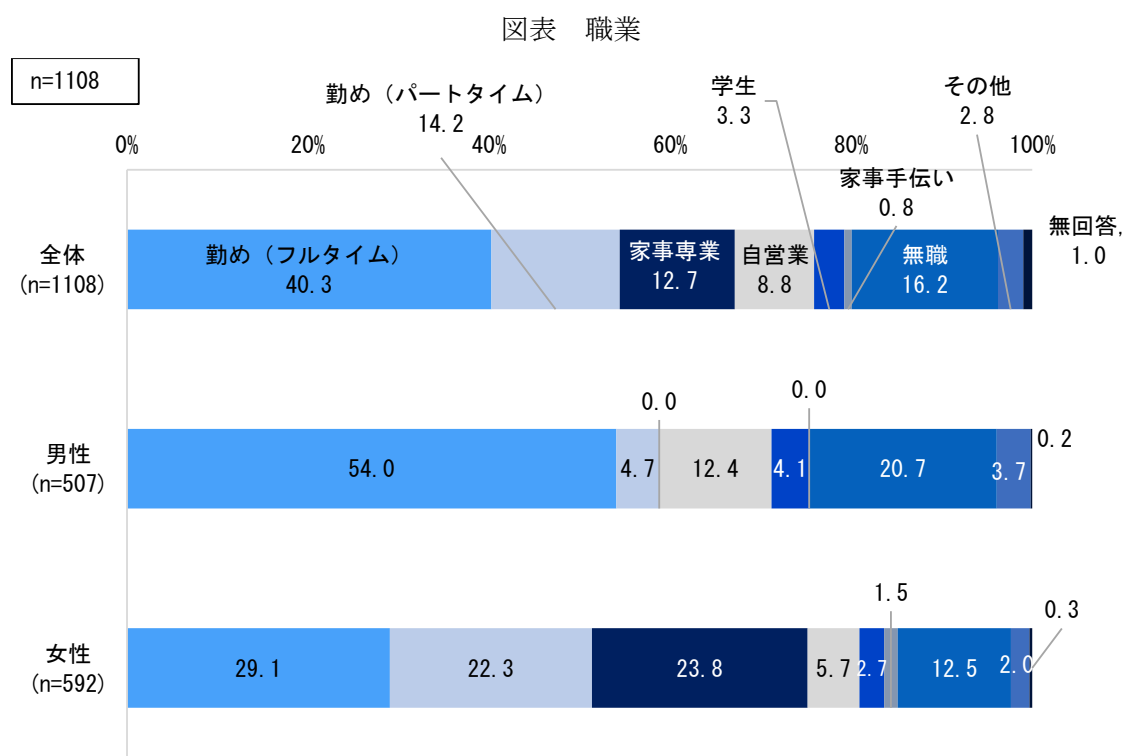


(3) 職業

問3：あなたのご職業をお知らせください。

職業については、「勤め（フルタイム）」の割合が40.3%と最も高く、次いで「勤め（パートタイム）」（14.2%）、「家事専業」（12.7%）となっている。

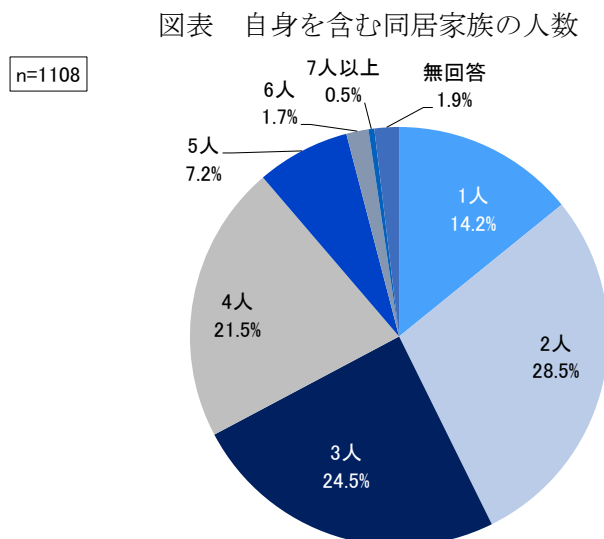
性別では、男性は女性に比べて「勤め（フルタイム）」「無職」「自営業」の割合が高く、女性は「家事専業」「勤め（パートタイム）」が男性を上回っている。



(4) 同居家族の人数

問4：一緒に暮らしているご家族の人数（ご自身を含めて）をお知らせください。

自身を含む同居家族の人数については、「2人」が28.5%と最も高く、次いで「3人」(24.5%)、「4人」(21.5%)と続き、4人以上とする回答も合わせて約3割近くある。「1人」は14.2%となっている。



性別では、男性は女性に比べて「2人」がやや高く、女性は「3人」「4人」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、20歳未満は「3人」(35.3%)と「5人」(29.4%)の割合が他の年齢を上回っている。60歳以上は「2人」の割合が他の年齢に比べて高い。また、70歳以上は「1人」の割合が他の年齢に比べて高く約2割となっている。

図表 同居家族の人数（性別・年齢別）

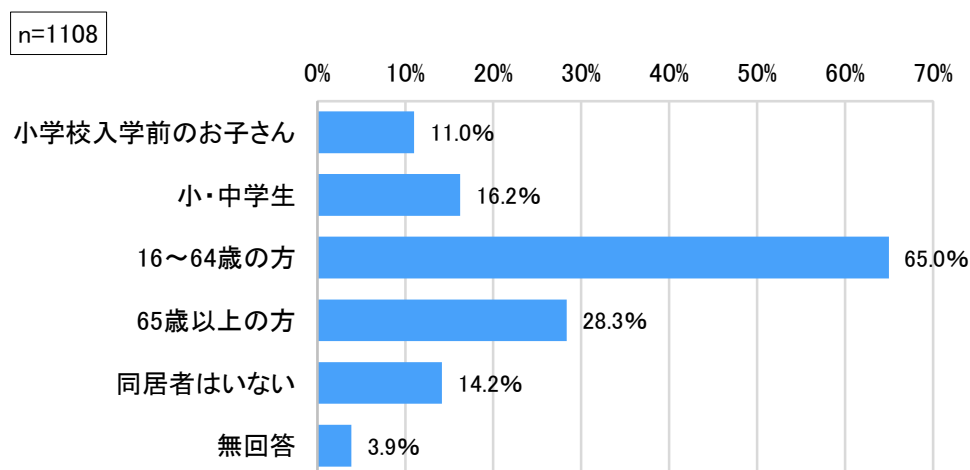
		回答数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体		1108	14.2	28.5	24.5	21.5	7.2	1.7	0.5	1.9
性別	男性	507	15.8	30.0	23.3	20.1	7.3	1.2	0.6	1.8
	女性	592	13.0	27.7	26.0	22.8	7.3	2.2	0.3	0.7
年齢	20歳未満	17	0.0	5.9	35.3	23.5	29.4	5.9	0.0	0.0
	20～29歳	97	14.4	16.5	29.9	20.6	12.4	5.2	0.0	1.0
	30～39歳	144	12.5	23.6	22.2	30.6	9.7	1.4	0.0	0.0
	40～49歳	224	8.5	18.8	29.5	33.5	7.1	0.9	1.8	0.0
	50～59歳	215	12.6	24.7	24.2	25.6	9.3	2.3	0.0	1.4
	60～64歳	79	15.2	41.8	25.3	12.7	1.3	0.0	1.3	2.5
	65～69歳	95	17.9	35.8	29.5	12.6	3.2	0.0	0.0	1.1
	70～74歳	113	22.1	48.7	15.0	8.8	2.7	0.9	0.0	1.8
	75歳以上	113	22.1	42.5	17.7	7.1	4.4	2.7	0.0	3.5

(5) 同居者について

問5：同居者（本人以外）をお知らせください。

同居者については「16～64 歳」が 65.0%と最も高く、次いで「65 歳以上」（28.3%）となっている。「小学校入学前の子」がいる回答者は 11.0%、「小・中学生」が 16.2%となっており、いずれも約 2 割に満たない。

図表 同居者（本人以外）



注)「同居者はいない」については、前問の「同居家族の人数が1人」の集計値から算出

年齢別では、「30～39 歳」は「16～64 歳」に次いで「小学校入学前の子」の割合が高く、「40～49 歳」は「16～64 歳」に次いで「小・中学生」の割合が高い。「70～74 歳」、「75 歳以上」では「65 歳以上」の割合が最も高くなっている。

同居者（年齢別）

(%)

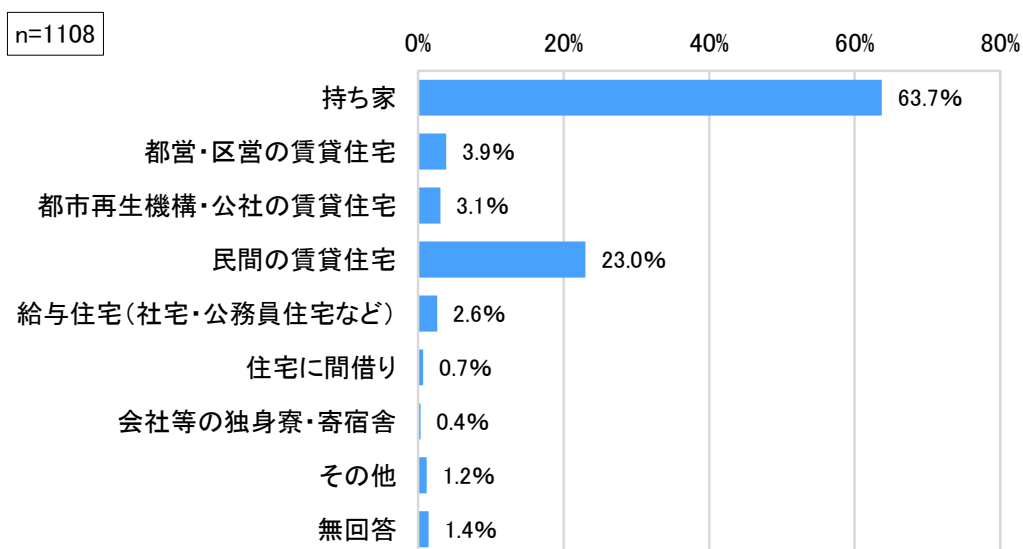
		回答数	小学校入学前 のお子さん	小・中学生	16～64歳の方	65歳以上の方	無回答
全体		1108	11.0	16.2	65.4	28.7	17.2
年 齢	20歳未満	19	0.0	26.3	100.0	15.8	0.0
	20～29歳	98	9.2	5.1	81.6	13.3	15.3
	30～39歳	144	43.8	26.4	77.1	15.3	13.2
	40～49歳	224	18.3	42.4	75.9	15.6	10.3
	50～59歳	215	1.4	11.6	74.4	24.7	14.0
	60～64歳	79	2.5	1.3	70.9	22.8	17.7
	65～69歳	95	1.1	1.1	55.8	54.7	20.0
	70～74歳	113	1.8	5.3	32.7	51.3	27.4
	75歳以上	113	0.9	3.5	34.5	56.6	28.3

(6) 住居形態

問6：現在のあなたの住居の種類をお知らせください。

住居形態については、「持ち家」が63.7%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の23.0%となっている。

図表 住居形態



年齢別では、「民間の賃貸住宅」の割合が「20～29歳」は42.9%、「30～39歳」は45.8%と他の年齢に比べて高く、40歳以降は「持ち家」が約6割を超えている。

図表 住居形態（年齢別）

(%)

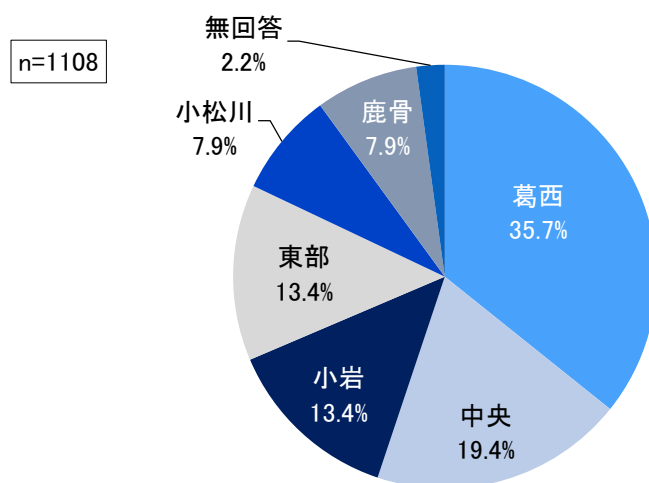
		回答数	持ち家	都営・区営の賃貸住宅	公社の賃貸住宅	都市再生機構・民間の賃貸住宅	給与住宅（社宅・公務員住宅など）	住宅に間借り	会社等の独身寮・寄宿舍	その他	無回答
全体		1108	63.7	3.9	3.1	23.0	2.6	0.7	0.4	1.2	1.4
年齢	20歳未満	19	84.2	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	98	45.9	3.1	2.0	42.9	5.1	1.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	144	39.6	3.5	2.8	45.8	6.3	1.4	0.7	0.0	0.0
	40～49歳	224	64.7	0.4	2.2	25.9	3.1	0.4	0.4	0.9	1.8
	50～59歳	215	70.2	2.3	4.7	17.7	2.3	0.9	0.0	1.4	0.5
	60～64歳	79	74.7	3.8	0.0	15.2	2.5	1.3	0.0	1.3	1.3
	65～69歳	95	73.7	9.5	6.3	7.4	1.1	1.1	1.1	0.0	0.0
	70～74歳	113	73.5	5.3	1.8	15.0	0.0	0.0	0.9	1.8	1.8
	75歳以上	113	70.8	9.7	4.4	10.6	0.0	0.0	0.0	4.4	0.0

(7) 居住地域

問7：お住まいの場所をお知らせください

居住地の地域分布は「葛西地域」が35.7%と最も高く、次いで「中央地域」(19.4%)、「小岩地域」(13.4%)、「東部地区」(同)と続く。

図表 居住地域

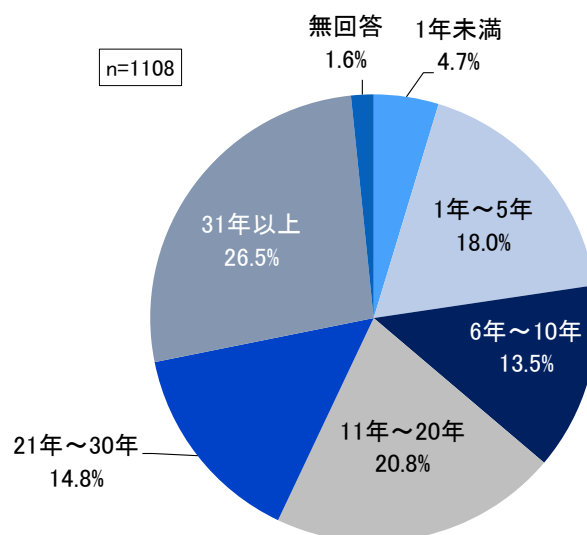


(8) 居住年数

問 8：居住年数をお知らせください。

居住年数については、「31 年以上」の割合が 26.5%と最も高く、次いで「11 年～20 年」（20.8%）と続くことから、11 年以上が合わせて約 6 割を占める。

図表 居住年数



年齢別では、20 歳未満及び「40～49 歳」は「11 年～20 年」が最も高く、「20 歳～29 歳」及び「30～39 歳」は「1 年～5 年」が他の年齢に比べて高い。

図表 居住年数（年齢別）

(%)

		回答数	1年未満	1年～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年以上	無回答
全体		1108	4.7	18.0	13.5	20.8	14.8	26.5	1.6
年齢	20歳未満	17	5.9	5.9	11.8	70.6	0.0	0.0	5.9
	20～29歳	97	11.3	30.9	14.4	19.6	22.7	0.0	1.0
	30～39歳	144	13.9	44.4	21.5	6.3	4.2	9.7	0.0
	40～49歳	224	4.9	17.4	22.8	34.8	4.5	14.7	0.9
	50～59歳	215	2.3	12.6	12.6	27.9	23.3	20.5	0.9
	60～64歳	79	0.0	15.2	8.9	19.0	26.6	29.1	1.3
	65～69歳	95	1.1	7.4	3.2	11.6	26.3	50.5	0.0
	70～74歳	113	0.9	9.7	7.1	13.3	13.3	55.8	0.0
	75歳以上	113	1.8	7.1	5.3	10.6	13.3	61.1	0.9

2. 今後の居住意向について

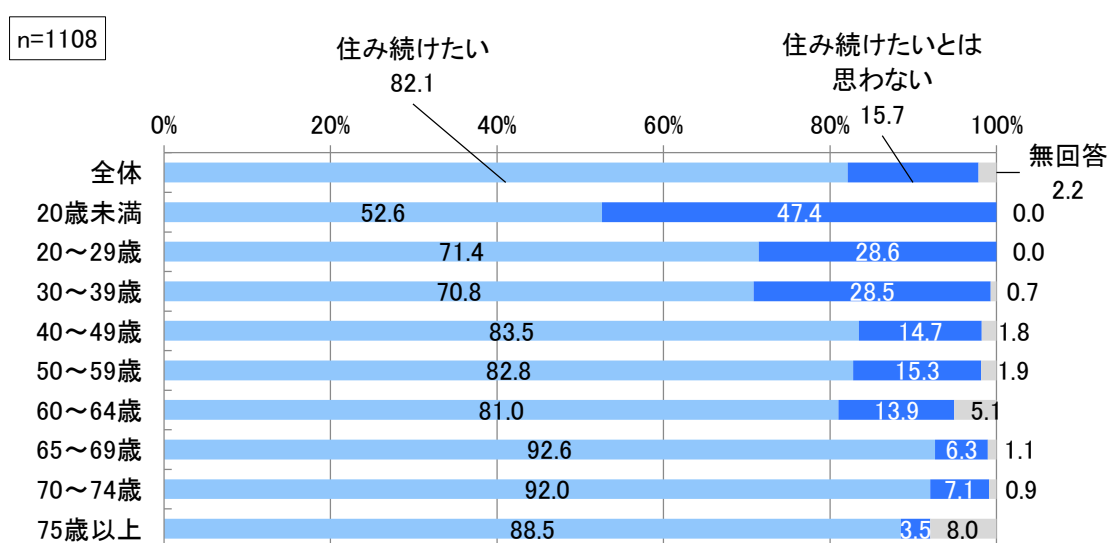
(1) 今後の居住意向について

問9：今後も江戸川区に住みたいと思いますか。

江戸川区への居住意向については、「住みたい（以下居住継続意向）」が 82.1%となっている。

年齢別では、20歳未満は居住継続意向が 52.6%と最も低い。20歳以降の年齢層では、年齢が上がるほど居住継続意向が高くなる傾向がみられるが、「20歳～29歳」（71.4%）及び「30歳～39歳」（70.8%）は約7割となっている。

図表 今後の居住意向



居住年数別では、「6年以上」は居住継続意向が 78.8%となっている。

図表 今後の居住意向（居住年数別）

(%)

居住意向 居住年数	住みたい (n=910)	住みたいとは思わない (n=174)
1年未満	4.2	6.9
1年～5年	15.7	29.3
6年～10年	13.4	12.6
11年～20年	21.2	19.5
21年～30年	15.1	15.5
31年以上	29.1	14.4
無回答	1.3	1.7

まち（地域）の推奨度別³⁰では、推奨度が高いほど居住継続意向も高い傾向にあり、推奨者の居住継続意向は96.7%となっている。

図表 今後の居留意向（まち推奨度別）

(%)

		回答数	住み続けたい	住み続けたい とは思わない	無回答
全体		1108	82.1	15.7	2.2
推 ま 奨 ち 度 の	推奨者	271	96.7	1.1	2.2
	中立者	615	85.7	12.7	1.6
	非推奨者	197	51.3	45.7	3.0

³⁰ 調査項目における「愛着がある・推奨したい区の魅力について」の「まち（地域）」、「住むこと」及び「訪れること」をどれくらい友人・知人などにおすすめしたいかの回答点数（10点～0点）により以下の3分類とした。
・推奨者（8～10点） ・中立者（5～7点） ・非推奨者（0～4点）

(2) 居住理由

1) 住みたい理由

問 10 : 【問 9 で「1. 住みたい」と回答の方】 今後も住みたい理由は何ですか。

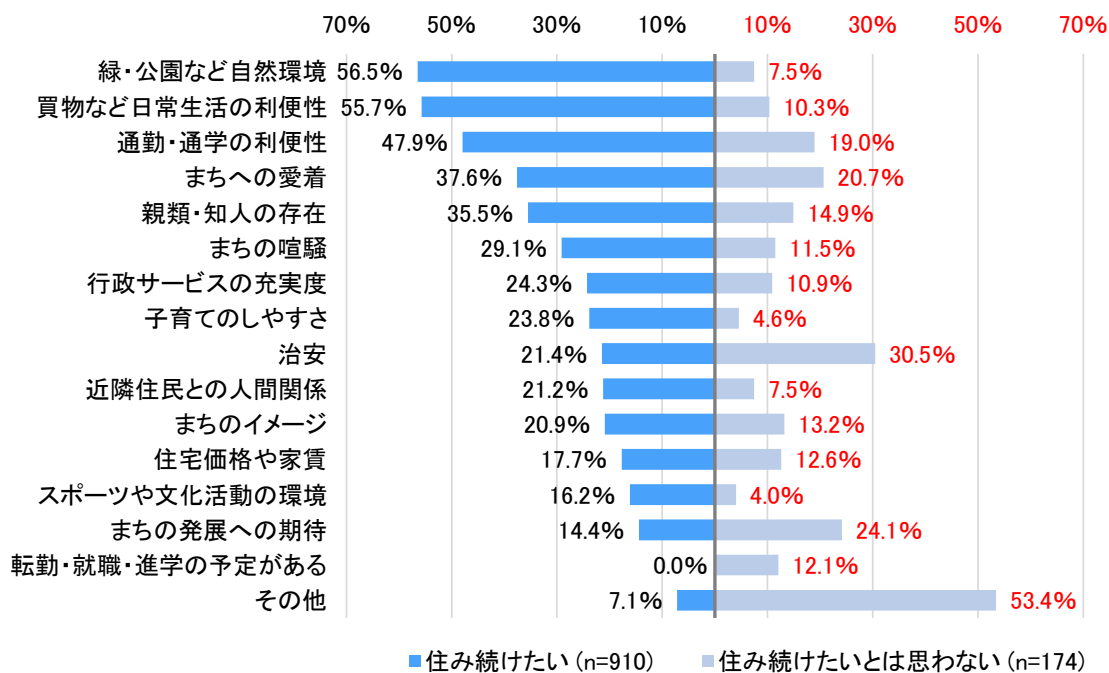
住みたい理由については、「自然環境が豊かである」が 56.5%と最も高く、次いで「買物など日常生活の利便性」(55.7%)、「通勤・通学の利便性」(47.9%)、「まちへの愛着」(37.6%) となっている。

2) 住みたくない理由

問 11 : 【問 9 で「2. 住みたくないとは思わない」と回答の方】 今後、住みたくないとは思わない理由は何ですか。

住みたくないとは思わない理由については、「治安」が 30.5%と最も高く、次いで「まちの発展への期待」(24.1%)、「まちへの愛着」(20.7%) と続く。また、「その他(自由回答)」として、「水害への不安」が多くあげられた。

図表 住みたい／住みたくない理由



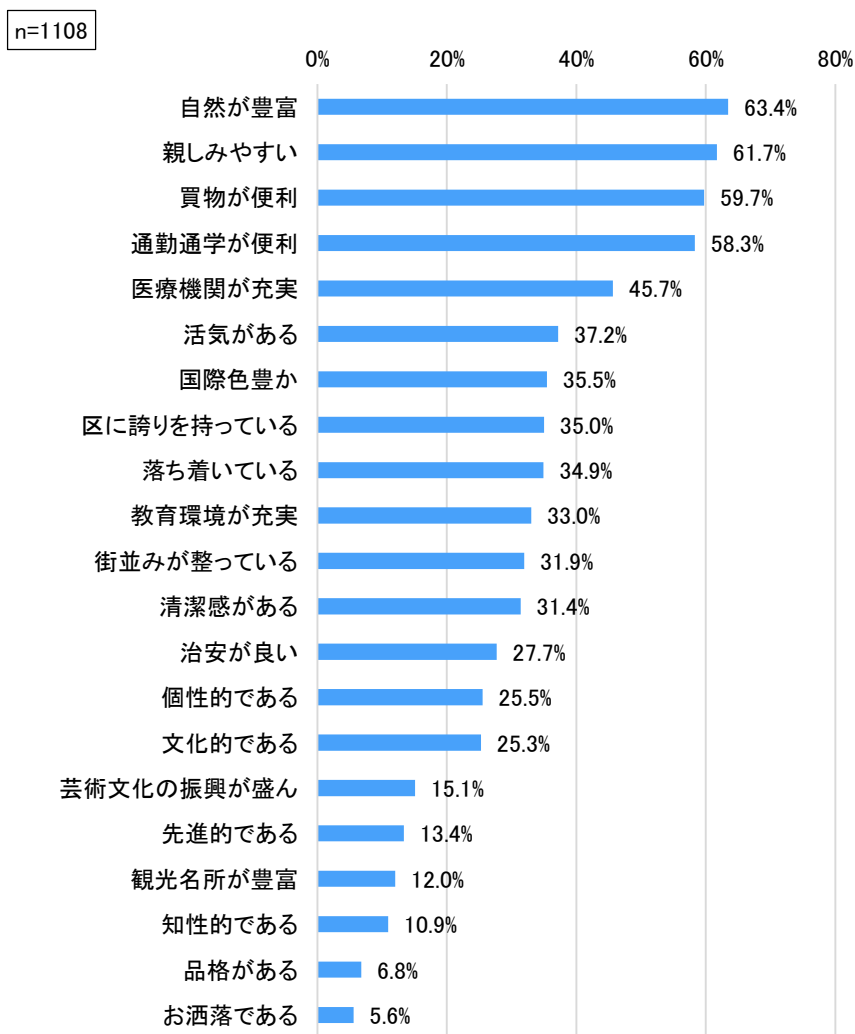
3. 江戸川区のイメージ

(1) 現在の江戸川区のイメージ

問 12：現在の江戸川区のイメージとして、あてはまる内容をそれぞれお答えください。

現在の江戸川区のイメージについては、高評価（「思う」の 4～5）の割合をみると、「自然が豊富」が 63.4%と最も高く、次いで「親しみやすい」(61.7%)、「買物が便利」(59.7%)と続く。

図表 現在の江戸川区のイメージ



年齢別では、概ね年齢が上がるほど「区に誇りを持っている」、「先進的である」「清潔感がある」、「治安が良い」等の項目の割合が高くなる傾向がみられる。一方、比較的若い世代を中心に、「知性的である」、「お洒落である」、「品格がある」、「観光名所が豊富」の割合が低い。

また、まちの推奨度別では、推奨者、中立者及び非推奨者による傾向の大きな差異はみられない。

図表 現在の区のイメージ（高評価：性別・年代別・まち推奨度別）

(%)

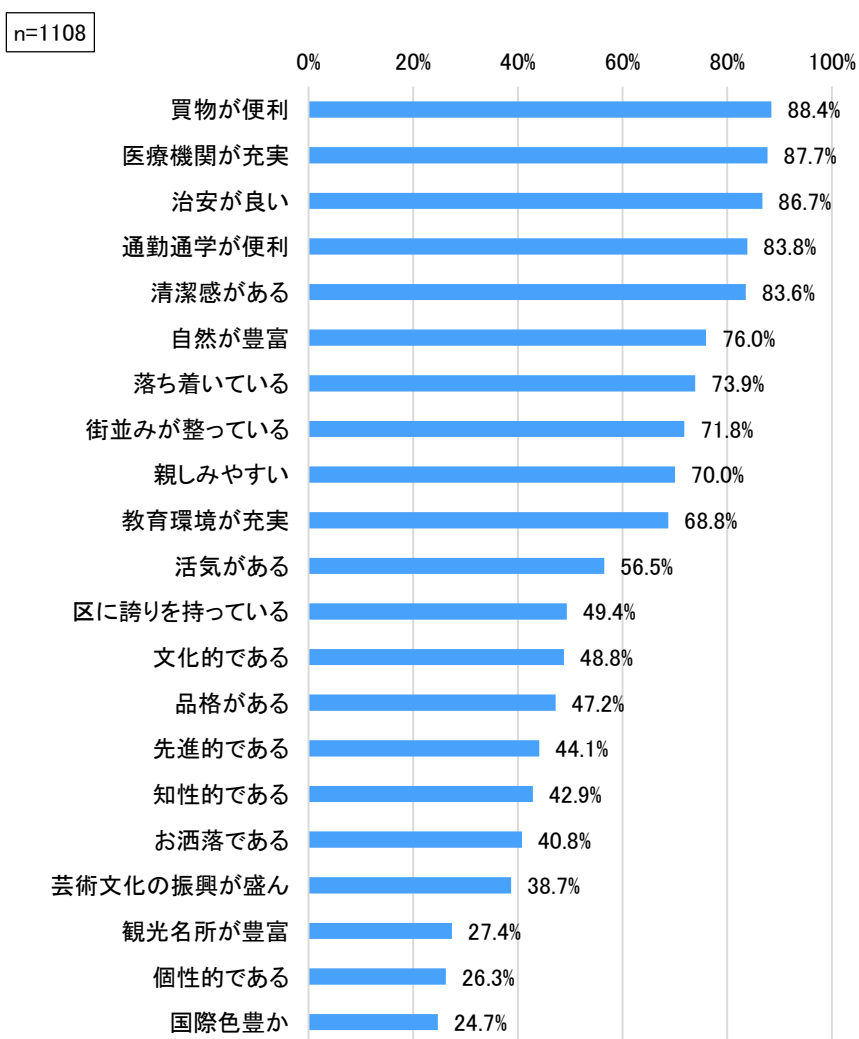
		回答数	活 気 が あ る	区 に 誇 り を 持 っ て い る	個 性 的 で あ る	文 化 的 で あ る	親 し み や す い	知 性 的 で あ る	落 ち 着 い て い る	先 進 的 で あ る	清 潔 感 が あ る	お 洒 落 で あ る	品 格 が あ る	買 物 が 便 利	通 勤 通 学 が 便 利	医 療 機 関 が 充 実	自 然 が 豊 富	教 育 環 境 が 充 実	整 っ て い る 街 並 み	治 安 が 良 い	観 光 名 所 が 豊 富	国 際 色 豊 か	芸 術 が 盛 ん の 文 化
	全体	1108	37.2	35.0	25.5	25.3	61.7	10.9	34.9	13.4	31.4	5.6	6.8	59.7	58.3	45.7	63.4	33.0	31.9	27.7	12.0	35.5	15.1
年 齢	20歳未満	19	31.6	10.5	36.8	42.1	52.6	5.3	21.1	10.5	26.3	5.3	5.3	36.8	31.6	47.4	68.4	52.6	31.6	15.8	0.0	47.4	26.3
	20～29歳	98	37.8	29.6	38.8	20.4	70.4	5.1	38.8	7.1	15.3	1.0	3.1	69.4	60.2	39.8	67.3	35.7	29.6	21.4	10.2	43.9	7.1
	30～39歳	144	38.2	25.7	34.0	21.5	69.4	8.3	27.8	9.7	25.7	1.4	3.5	57.6	59.7	43.1	68.1	29.9	27.8	20.1	3.5	43.1	9.0
	40～49歳	224	37.9	29.9	27.7	24.1	69.6	7.6	35.7	8.9	28.6	3.1	3.6	60.3	62.5	50.0	75.4	36.6	30.8	23.2	12.9	41.1	14.3
	50～59歳	215	38.1	36.7	20.9	22.8	61.4	10.2	31.2	10.7	27.0	4.7	6.5	57.2	60.9	40.9	63.3	30.7	29.8	21.4	11.6	37.2	13.0
	60～64歳	79	30.4	29.1	26.6	26.6	48.1	13.9	40.5	16.5	30.4	7.6	5.1	44.3	53.2	29.1	54.4	26.6	24.1	22.8	8.9	29.1	17.7
	65～69歳	95	28.4	40.0	16.8	30.5	49.5	14.7	31.6	15.8	42.1	6.3	7.4	58.9	56.8	46.3	52.6	35.8	36.8	32.6	16.8	28.4	15.8
	70～74歳	113	37.2	46.0	15.9	24.8	54.0	17.7	38.9	16.8	45.1	9.7	14.2	62.8	56.6	56.6	57.5	32.7	36.3	44.2	16.8	24.8	21.2
	75歳以上	113	46.0	50.4	22.1	33.6	57.5	16.8	44.2	30.1	44.2	15.0	14.2	68.1	54.0	51.3	51.3	31.0	42.5	46.9	18.6	22.1	23.0
推 ま ち の 推 奨 度	推奨者	271	63.1	67.2	36.2	46.5	85.2	28.8	57.2	30.6	55.0	16.6	18.1	74.9	77.1	68.6	84.1	62.7	57.6	49.1	25.5	46.9	27.7
	中立者	615	32.8	27.6	24.1	22.6	61.8	6.3	32.4	9.6	28.3	2.6	3.4	60.3	57.1	43.6	63.6	27.3	27.0	24.6	8.8	33.8	12.8
	非推奨者	197	16.8	11.7	16.2	6.1	31.5	1.0	14.2	2.0	9.6	0.0	1.5	37.1	38.1	20.3	36.5	12.7	13.2	7.6	3.6	27.9	5.1

(2) 理想とする住み続けたいまちのイメージ

問 13：あなたが理想とする住み続けたいまちのイメージとして、次の項目をどの程度重視しているかをそれぞれお答えください。

理想とするまちのイメージについては、高い重視度（「重視する」4～5）の割合をみると「買物が便利」が 88.4%と最も高く、次いで「医療機関が充実」（87.7%）、「治安が良い」（86.7%）と続く。

図表 理想とする住み続けたいまちのイメージ

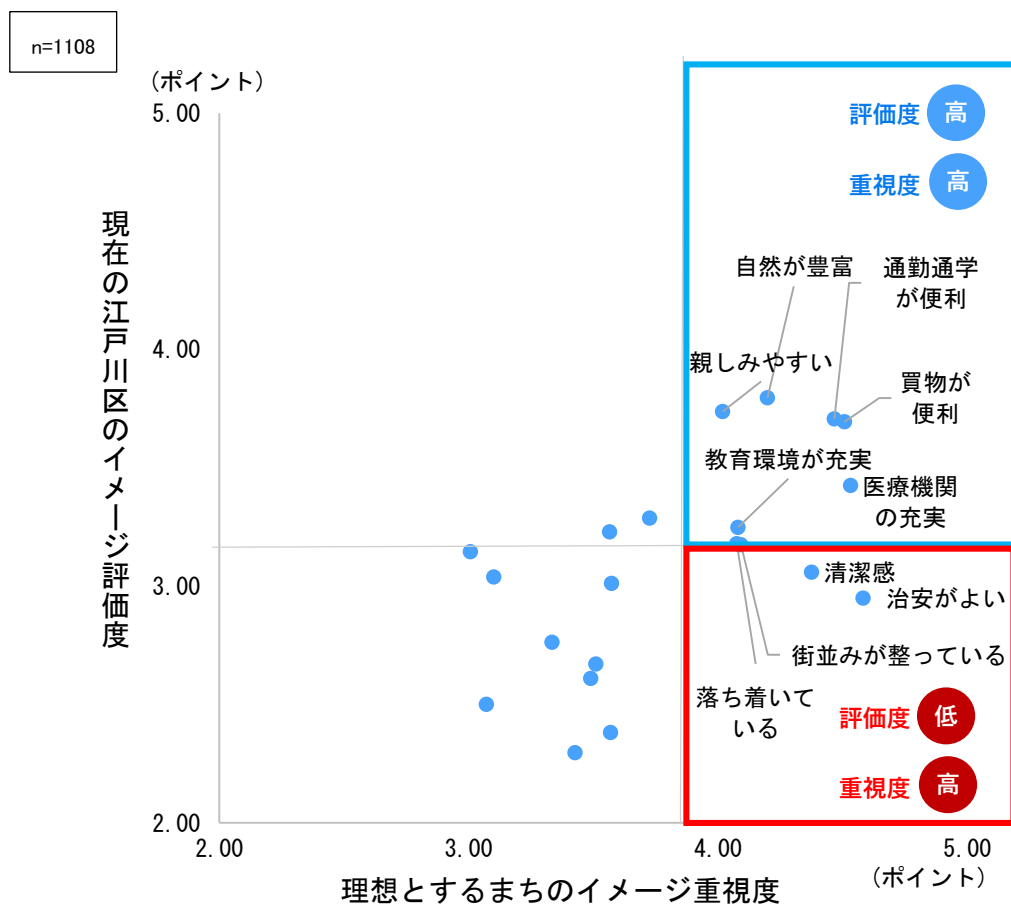


(3) 現在と理想のまちのイメージ

現在の江戸川区のイメージ評価については、「自然が豊富」、「親しみやすい」、「通勤・通学が便利」、「買い物が便利」等の評価が、理想のまちのイメージ重視度とともに高くなっている。

一方、「治安が良い」、「清潔感」については理想のまちイメージの重視度が高くなっているが、現在の江戸川区のイメージ評価度が比較して低いことから、課題のイメージととらえられる。

図表 現在の江戸川区イメージと理想とするまちイメージ³¹



³¹ ポイントはそれぞれの項目について、得られた評価（1～5の5段階）の構成比をウェイトとした加重平均値。また図表は各イメージの平均値により4象限に区切っている。

図表 現在の江戸川区イメージと理想のまちイメージとのギャップ

(ポイント)

n=1108			
	① 理想のまち イメージ	② 現在の 江戸川区の イメージ	ギャップ ①－②
治安が良い	4.58	2.95	1.63
清潔感がある	4.38	3.06	1.31
品格がある	3.57	2.38	1.19
お洒落である	3.43	2.30	1.13
医療機関が充実	4.53	3.43	1.11
落ち着いている	4.09	3.18	0.92
街並みが整っている	4.08	3.18	0.90
知性的である	3.49	2.61	0.88
先進的である	3.51	2.67	0.84
教育環境が充実	4.08	3.25	0.83
買物が便利	4.51	3.70	0.81
通勤通学が便利	4.47	3.71	0.76
芸術文化の振興が盛ん	3.33	2.76	0.57
観光名所が豊富	3.07	2.50	0.57
文化的である	3.57	3.01	0.56
活気がある	3.73	3.29	0.44
自然が豊富	4.20	3.80	0.40
区に誇りを持っている	3.57	3.23	0.34
親しみやすい	4.02	3.74	0.28
個性的である	3.10	3.04	0.06
国際色豊か	3.01	3.15	-0.14

4. 江戸川区の魅力

(1) 江戸川区の魅力

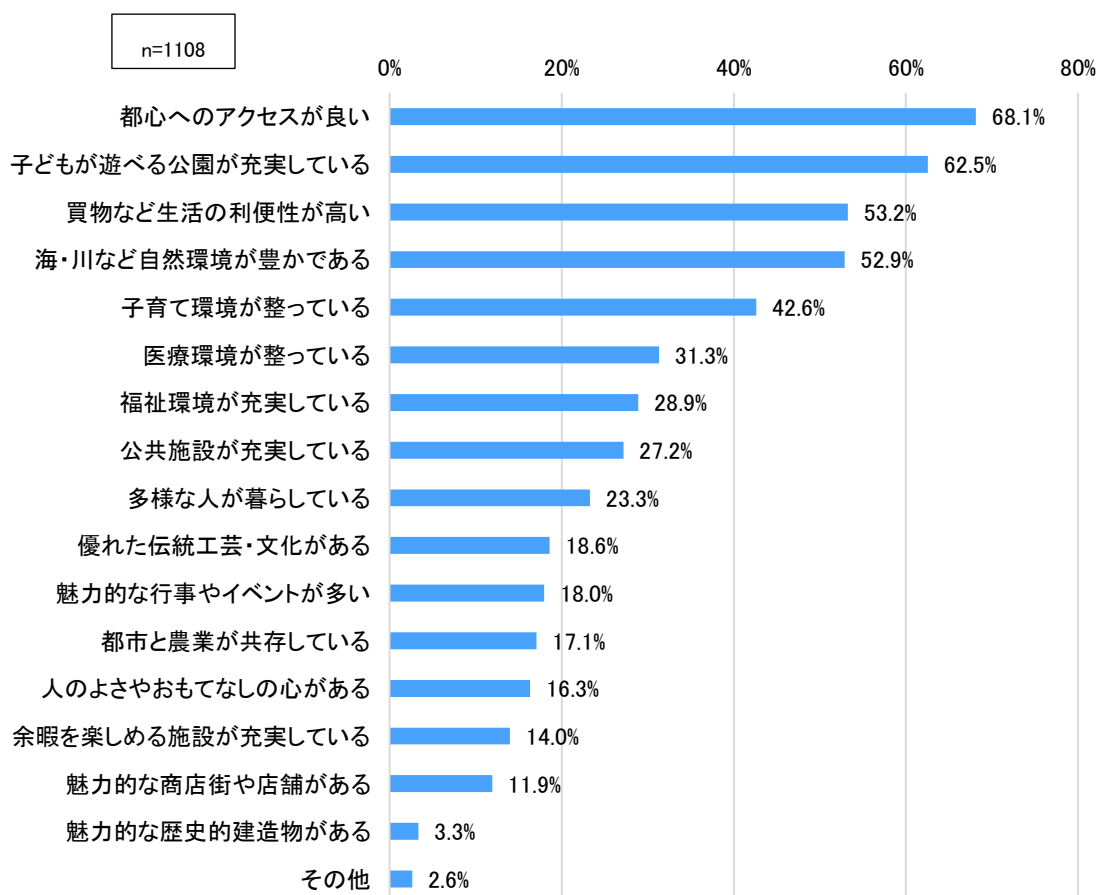
問 14：あなたは江戸川区にどんな魅力があると思いますか。

江戸川区の魅力については、「都心へのアクセス」が 68.1%と最も高く、次いで「子どもが遊べる公園が充実している」(62.5%)、「買物など生活の利便性が高い」(53.2%)、「自然環境が豊かである」(52.9%) となっている。

年齢別では、20 歳未満は、多くの項目で他の年齢層に比べて評価が低い傾向にある。また、75 歳以上は、「優れた伝統工芸・文化」「魅力的な行事やイベント」の評価が他の年齢に比べて高い。

推奨度別では、まち（地域）の推奨者及び居住推奨者はいずれも「都心へのアクセス」の割合が最も高く、次いで「子どもが遊べる公園が充実している」「買物など生活の利便性が高い」となっている。来訪推奨者は「海・川など自然環境が豊か」の割合も高くなっている。

図表 江戸川区の魅力



図表 区の魅力（年齢別・推奨度別）

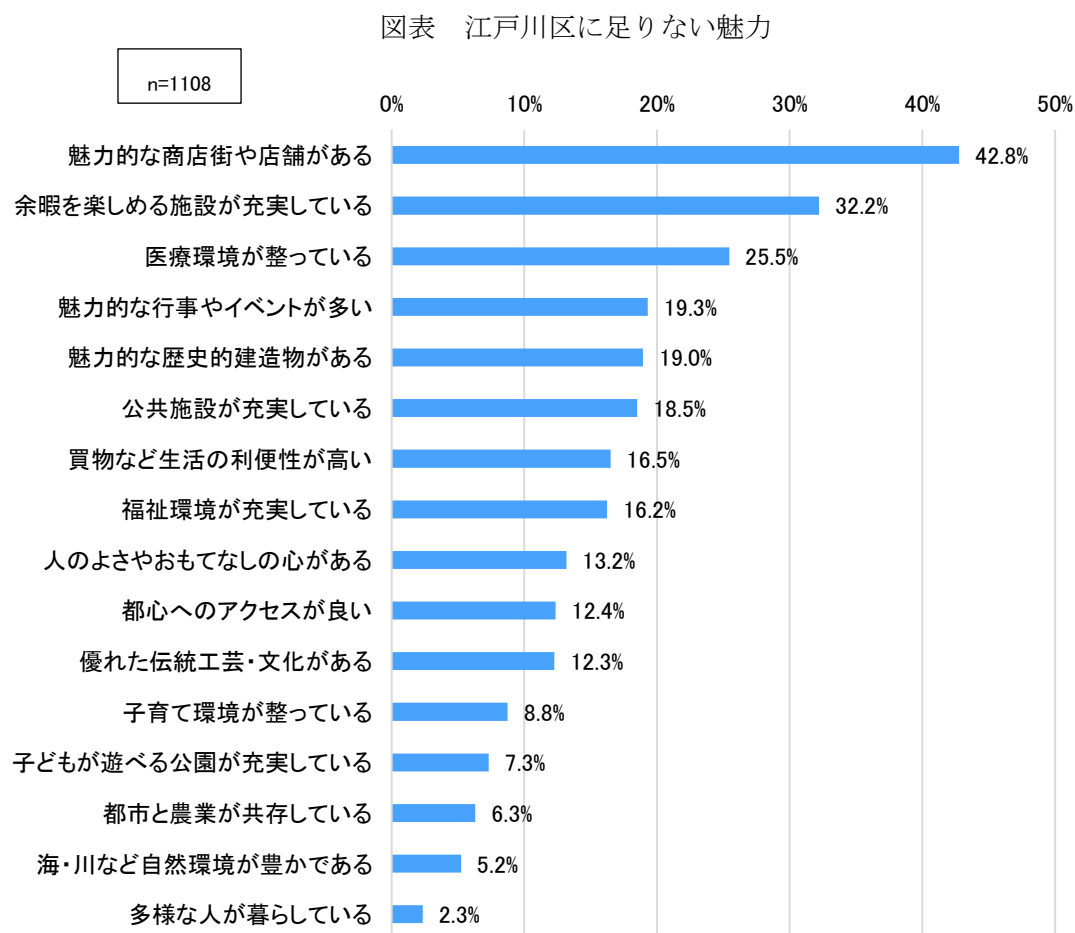
（％）

		回答数	海・川など自然環境が豊かである	子どもが遊べる公園が充実している	魅力的な歴史的建造物がある	優れた伝統工芸・文化がある	魅力的な行事やイベントが多い	余暇を楽しめる施設が充実している	魅力的な商店街や店舗がある	人のよさやおもてなしの心がある	公共施設が充実している	都市と農業が共存している	買物など生活の利便性が高い	都心へのアクセスが良い	多様な人が暮らしている	医療環境が整っている	子育て環境が整っている	福祉環境が充実している	その他	無回答
全体		1108	52.9	62.5	3.3	18.6	18.0	14.0	11.9	16.3	27.2	17.1	53.2	68.1	23.3	31.3	42.6	28.9	2.6	2.3
年齢	20歳未満	19	47.4	68.4	0.0	21.1	15.8	0.0	15.8	5.3	26.3	21.1	31.6	42.1	26.3	31.6	42.1	10.5	5.3	0.0
	20～29歳	98	44.9	63.3	1.0	5.1	10.2	9.2	17.3	7.1	17.3	5.1	55.1	60.2	17.3	27.6	44.9	13.3	3.1	0.0
	30～39歳	144	52.8	71.5	3.5	15.3	17.4	9.7	15.3	18.1	13.9	14.6	52.8	63.2	23.6	25.7	51.4	18.1	1.4	2.1
	40～49歳	224	54.9	69.6	1.8	16.1	17.0	8.9	9.8	15.2	24.6	17.0	48.2	66.1	26.8	27.2	50.9	21.0	6.3	2.2
	50～59歳	215	52.1	61.4	3.3	17.7	13.0	13.0	11.2	14.9	28.8	18.6	50.2	70.7	23.3	29.3	50.7	31.2	0.5	0.9
	60～64歳	79	48.1	53.2	1.3	24.1	12.7	10.1	8.9	19.0	30.4	13.9	53.2	69.6	17.7	20.3	34.2	38.0	1.3	2.5
	65～69歳	95	57.9	52.6	2.1	17.9	16.8	15.8	7.4	11.6	25.3	11.6	55.8	76.8	13.7	33.7	30.5	28.4	0.0	6.3
	70～74歳	113	54.9	59.3	4.4	27.4	31.0	17.7	8.8	18.6	35.4	18.6	60.2	69.9	21.2	39.8	24.8	38.1	2.7	0.9
	75歳以上	113	56.6	57.5	10.6	30.1	29.2	34.5	15.9	30.1	46.0	33.6	61.9	76.1	35.4	50.4	31.0	55.8	3.5	3.5
推奨度 まちの	推奨者	271	65.3	77.9	6.3	28.0	31.4	24.0	17.0	26.6	44.3	23.6	66.4	80.1	31.4	48.0	60.1	43.2	1.8	0.4
	中立者	615	54.8	64.1	2.9	18.2	16.4	13.0	12.4	15.3	25.2	17.2	55.4	71.4	23.7	29.6	40.7	25.9	2.4	0.3
	非推奨者	197	34.0	43.7	0.5	7.6	6.6	4.1	4.6	6.1	12.7	9.1	29.9	44.7	12.2	14.2	27.9	19.8	4.6	6.6
推奨度 居住	推奨者	259	64.5	78.4	6.6	27.8	32.4	22.8	15.4	28.6	40.9	23.9	67.2	79.5	31.3	48.3	57.5	42.9	1.9	0.8
	中立者	603	53.1	62.5	2.8	18.1	15.9	13.8	12.6	14.3	24.5	16.4	53.9	70.0	22.6	29.9	41.8	27.2	2.2	1.2
	非推奨者	212	38.7	46.2	0.9	9.4	6.6	4.7	6.6	7.1	17.0	11.3	34.4	49.5	17.5	14.2	27.8	13.7	5.2	6.1
推奨度 来訪	推奨者	178	67.4	73.6	7.9	32.6	30.3	27.5	18.0	29.8	41.6	28.7	60.1	74.7	32.0	45.5	51.1	43.3	2.8	1.7
	中立者	589	55.7	65.5	3.2	19.7	19.4	14.1	13.1	16.5	27.2	16.6	57.2	72.5	24.3	32.8	43.0	27.8	2.0	1.0
	非推奨者	294	38.1	50.0	0.7	8.2	6.8	5.1	7.8	7.8	15.6	11.2	40.8	54.8	17.7	19.0	37.1	18.4	3.7	4.8

（２）江戸川区に足りない魅力

問 15：あなたは江戸川区にどんな魅力が足りないと思いますか。

江戸川区に足りない魅力については、「魅力的な商店街や店舗」が 42.8%と最も高く、次いで「余暇を楽しめる施設の充実」（32.2%）と続いている。



年齢別では、20 歳未満は特に「余暇を楽しめる施設の充実」「魅力的な行事やイベント」「魅力的な歴史的建造物」等が他の年齢を上回っている。

推奨度別では、まち、居住及び来訪の非推奨者は「魅力的な商店街や店舗」「余暇を楽しめる施設の充実」及び「医療機関が整っている」の割合が高い。

図表 区に足りない魅力（年齢別・推奨度別）

(%)

		回答数	海・川など自然環境が豊かである	子どもが遊べる公園が充実している	魅力的な歴史的建造物がある	優れた伝統工芸・文化がある	魅力的な行事やイベントが多い	余暇を楽しめる施設が充実している	魅力的な商店街や店舗がある	人のよさやおもてなしの心がある	公共施設が充実している	都市と農業が共存している	買物など生活の利便性が高い	都心へのアクセスが良い	多様な人が暮らしている	医療環境が整っている	子育て環境が整っている	福祉環境が充実している	その他	無回答
	全体	1108	5.2	7.3	19.0	12.3	19.3	32.2	42.8	13.2	18.5	6.3	16.5	12.4	2.3	25.5	8.8	16.2	10.5	10.9
年齢	20歳未満	19	10.5	15.8	36.8	15.8	36.8	57.9	42.1	26.3	31.6	10.5	10.5	21.1	0.0	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0
	20～29歳	98	10.2	8.2	19.4	12.2	20.4	45.9	28.6	22.4	22.4	6.1	18.4	18.4	2.0	17.3	13.3	14.3	16.3	2.0
	30～39歳	144	6.9	9.7	16.7	13.2	25.0	39.6	36.8	14.6	24.3	6.9	22.9	20.1	2.8	25.7	10.4	12.5	9.0	7.6
	40～49歳	224	3.1	7.1	18.3	10.3	20.1	33.9	43.8	10.7	20.5	4.0	15.2	11.6	1.3	23.7	8.5	12.9	14.7	6.7
	50～59歳	215	4.2	6.0	16.7	10.7	22.8	33.5	45.6	10.2	17.7	3.7	15.8	8.8	0.5	27.0	3.7	13.5	14.9	7.9
	60～64歳	79	3.8	6.3	19.0	12.7	19.0	27.8	54.4	12.7	13.9	2.5	20.3	12.7	2.5	45.6	8.9	21.5	7.6	7.6
	65～69歳	95	5.3	8.4	14.7	9.5	11.6	25.3	50.5	7.4	12.6	10.5	15.8	9.5	1.1	27.4	11.6	26.3	5.3	14.7
	70～74歳	113	4.4	3.5	18.6	11.5	13.3	24.8	46.0	11.5	16.8	8.0	15.0	10.6	3.5	25.7	8.8	20.4	3.5	19.5
	75歳以上	113	6.2	8.8	28.3	20.4	13.3	19.5	38.1	17.7	14.2	10.6	12.4	8.8	8.0	20.4	10.6	21.2	3.5	28.3
推奨度のまち	推奨者	271	4.4	7.4	20.3	10.0	14.4	26.9	38.4	8.5	14.8	5.9	12.2	9.2	3.3	15.9	5.9	11.4	9.6	15.9
	中立者	615	4.6	6.7	20.0	12.8	21.6	32.5	44.1	14.0	19.2	6.8	14.1	11.9	1.8	27.0	8.3	17.6	9.6	8.6
	非推奨者	197	8.1	9.6	16.2	15.2	21.3	42.1	49.7	18.3	22.8	6.1	30.5	18.3	3.0	35.0	14.7	18.8	14.7	5.1
推奨度の居住	推奨者	259	5.0	7.3	21.6	10.8	15.8	25.9	39.4	9.3	14.3	8.1	13.1	10.0	3.9	16.2	5.4	12.0	9.7	15.8
	中立者	603	4.3	6.3	19.1	12.9	20.1	32.7	44.6	13.6	18.9	6.0	14.9	12.3	1.5	26.2	8.5	17.2	9.5	9.3
	非推奨者	212	8.5	10.4	16.5	12.7	22.2	41.0	44.8	18.9	24.1	5.7	27.4	16.5	3.3	35.4	15.1	20.3	15.1	5.2
推奨度の来訪	推奨者	178	5.6	6.2	19.7	10.7	15.7	23.6	36.0	11.2	11.8	7.9	14.0	9.6	5.1	18.0	6.7	11.2	12.4	18.5
	中立者	589	4.1	6.6	19.4	11.9	18.8	31.7	42.8	13.1	18.0	5.3	14.1	11.4	1.2	24.6	7.6	17.7	9.2	10.0
	非推奨者	294	8.2	10.2	18.7	13.9	23.8	41.2	46.6	15.6	25.9	6.5	23.8	17.3	3.1	32.0	13.3	17.3	12.6	4.8

(3) 推奨度

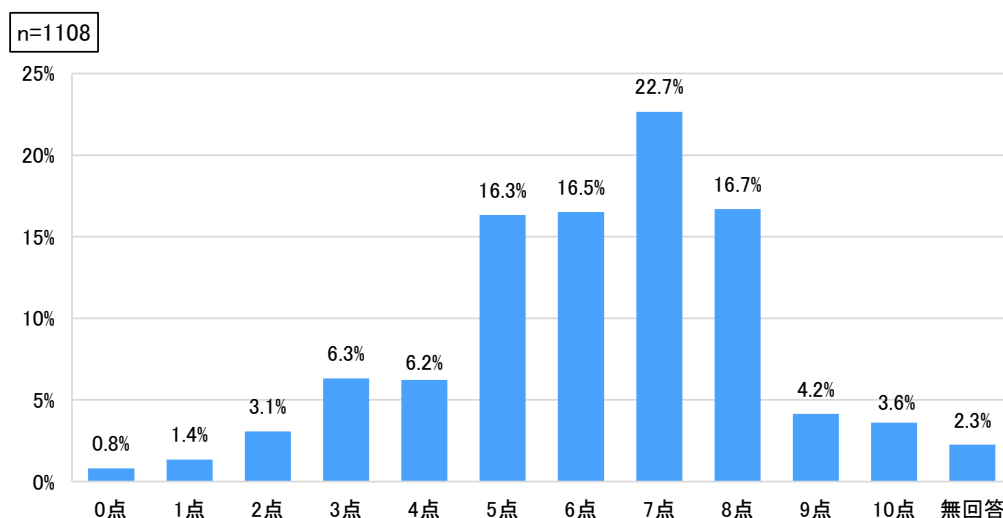
1) 「まち（地域）」の推奨度

問 16：あなたはご自身がお住まいの「まち（地域）」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。

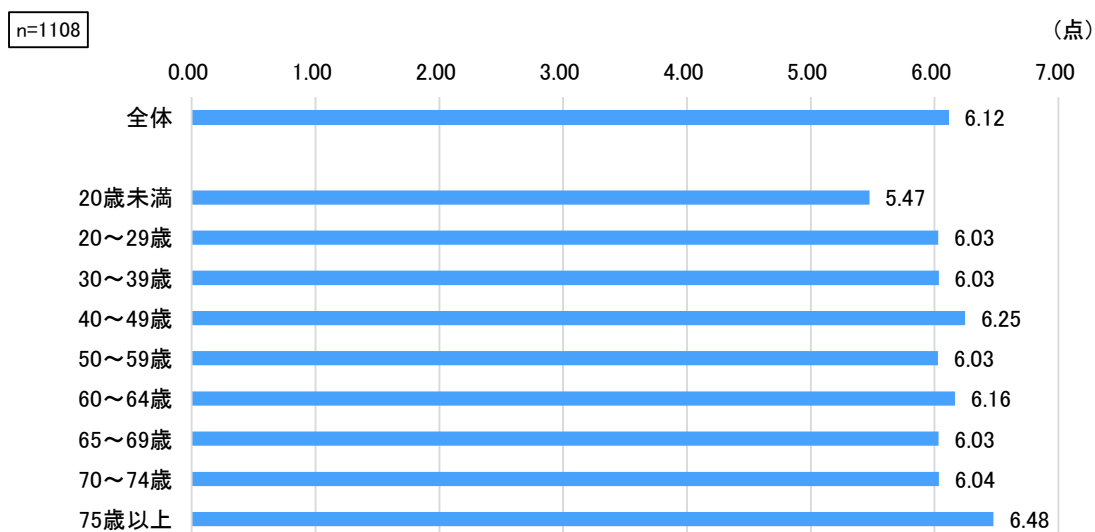
江戸川区の「まち（地域）」を友人・知人など（以下、「人」という。）にすすめたいかの推奨度については、「7 点」が 22.7%と最も高く、次いで「8 点」（16.7%）、「6 点」（16.5%）となっており、中立者（5 点～7 点）が全体の約 5 割となっている。

年齢別では、20 歳未満の推奨度の平均点は他の年齢層に比べてやや下回っている。

図表 まち（地域）の推奨度分布



図表 まち（地域）推奨度（年齢別）



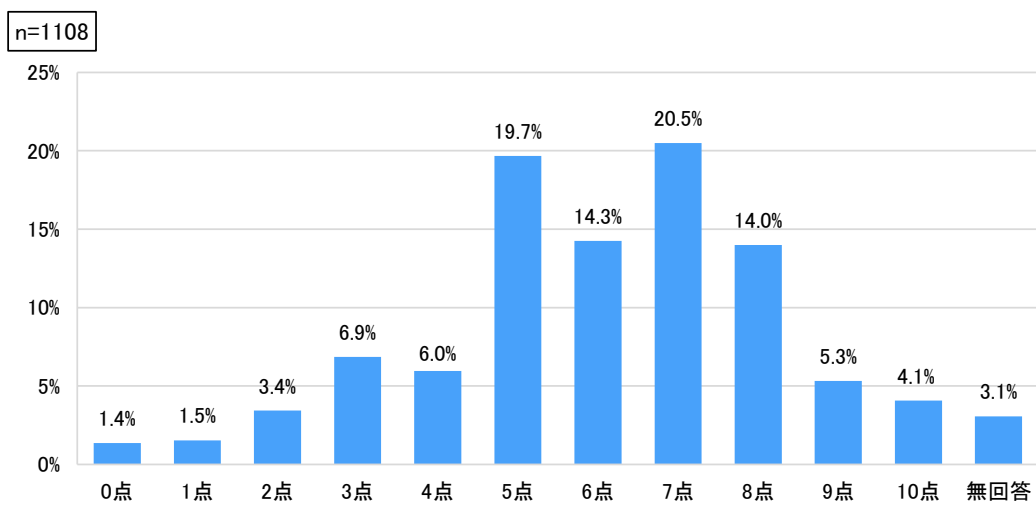
2) 居住推奨度

問 17：あなたは「江戸川区に住むこと」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。

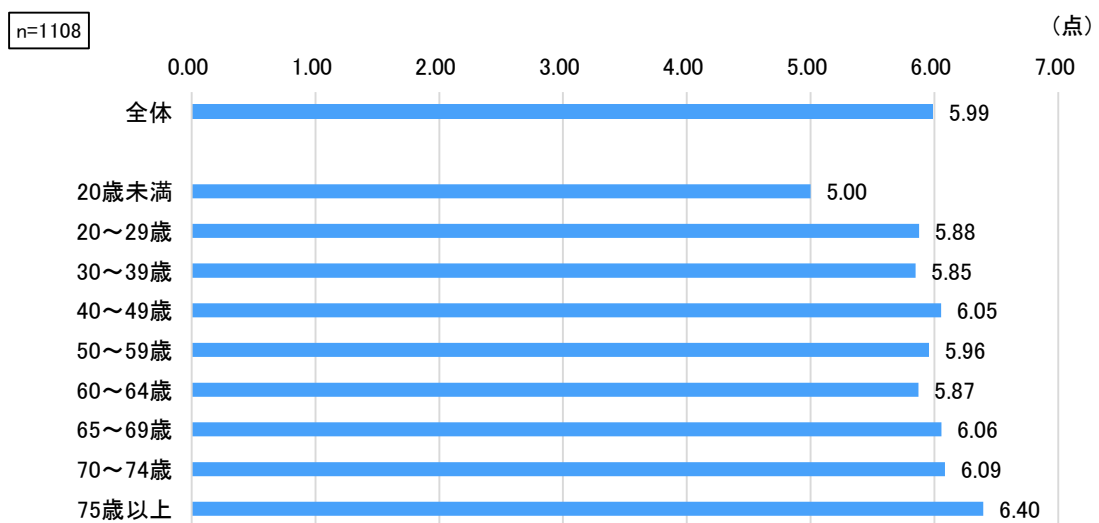
江戸川区に「住むこと（以下居住）」をどのくらい人にすすめたいかの推奨度は、「7 点」が 20.5%と最も高く、次いで「5 点」（19.7%）、「6 点」（14.3%）となっており、中立者が全体の約 5 割を上回っている。

年齢別にみると、20 歳未満の平均点がやや低い。

図表 居住推奨度分布



図表 居住推奨度（年齢別）

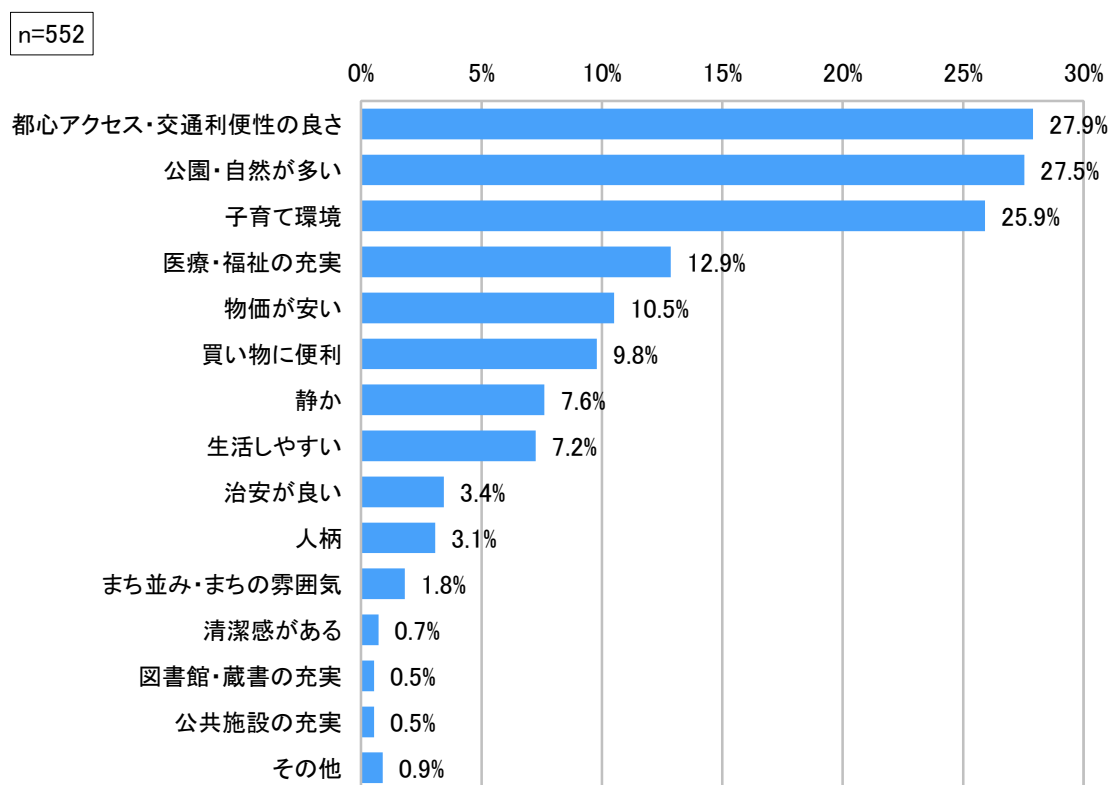


3) 居住推奨理由

問 18： こういった点をすすめたいと思いますか。(自由回答)

居住推奨理由については、「都心アクセス・交通利便性の良さ」が 27.9%と最も高く、次いで「公園・自然が多い」(27.5%)、「子育て環境」(25.9%)と続く。交通利便性、自然環境及び子育て環境が主な理由となっている。

図表 居住推奨理由



注) 自由回答結果をアフターコーディングして集計した

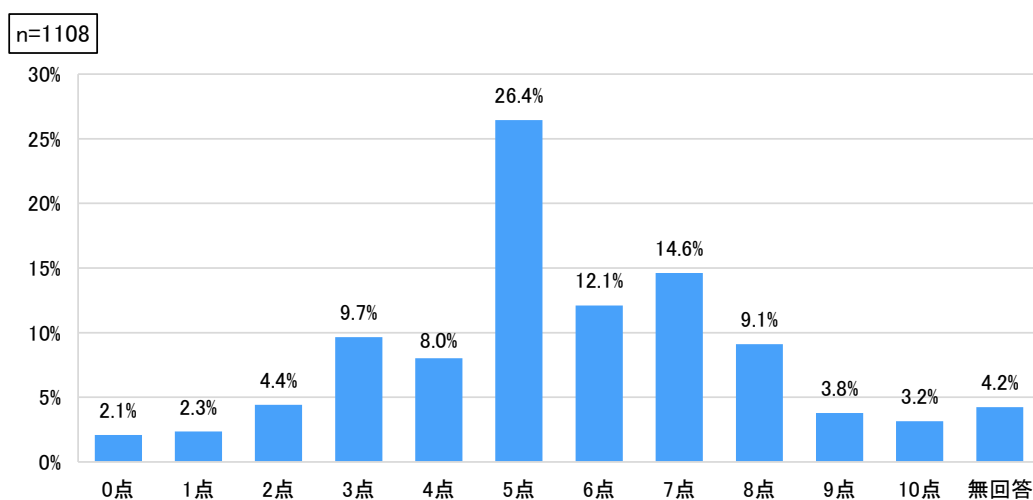
4) 来訪推奨度

**問 19：あなたは「江戸川区に訪れること」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたい
と思いますか。**

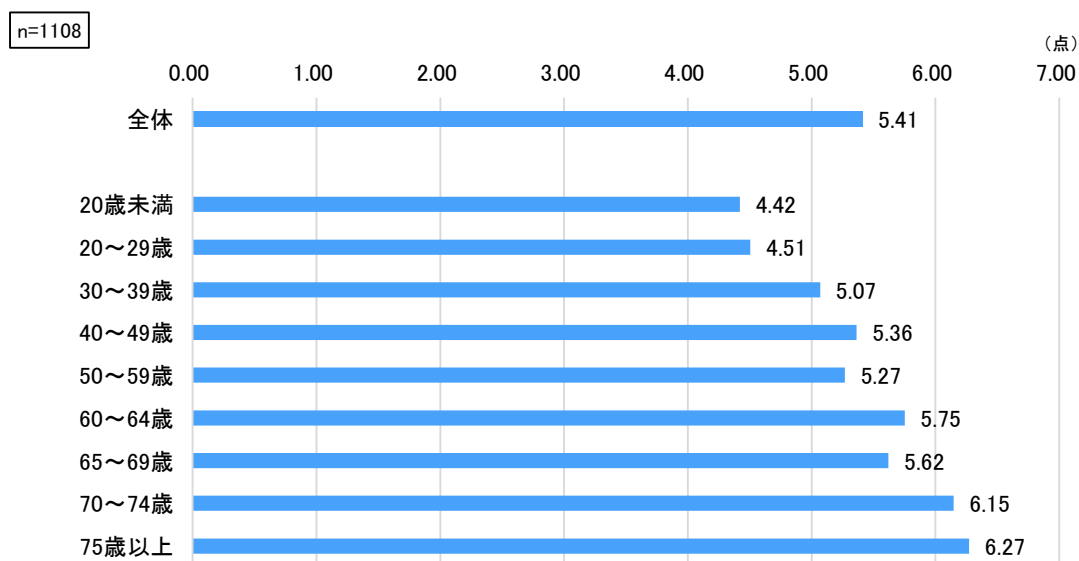
江戸川区に「訪れること（以下来訪）」を人にすすめたいかの来訪推奨度については、「5点」が26.4%と最も高く、次いで「7点」（14.6%）、「6点」（12.1%）となっており、中立者（5～7点）が全体の約5割を上回っている。

年齢別にみると、20歳未満の推奨度の平均点は他の年齢層に比べてやや下回っている。

図表 来訪推奨度分布



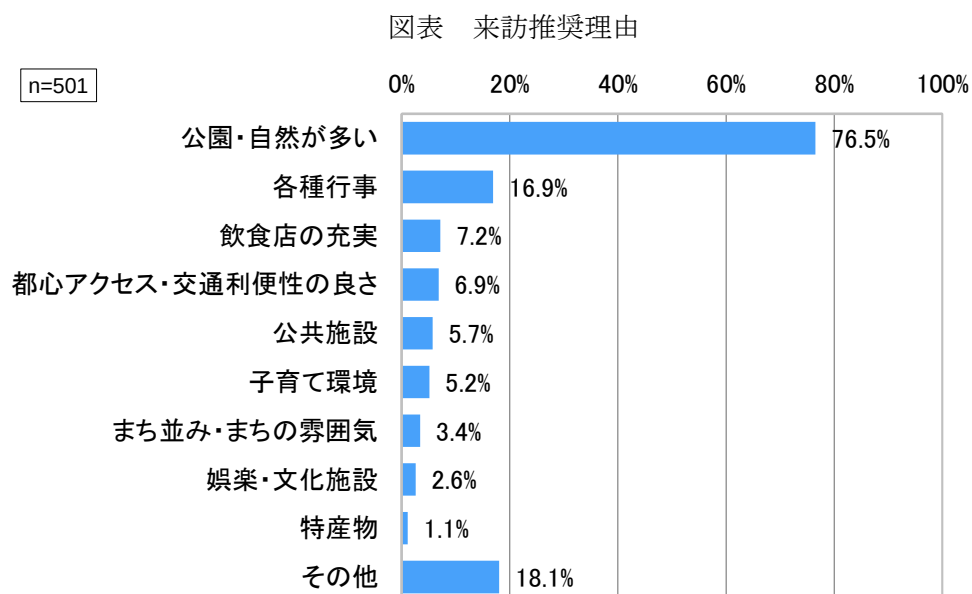
図表 来訪推奨度（年齢別）



5) 来訪推奨理由

問 20：こういった点をすすめたいと思いますか。(自由回答)

来訪推奨理由については、「公園・自然が多い」が76.5%と最も高くなっている。また、その他としては花火大会が多くあげられた。



注) 自由回答結果をアフターコーディングして集計した

5. 今後のまちづくり

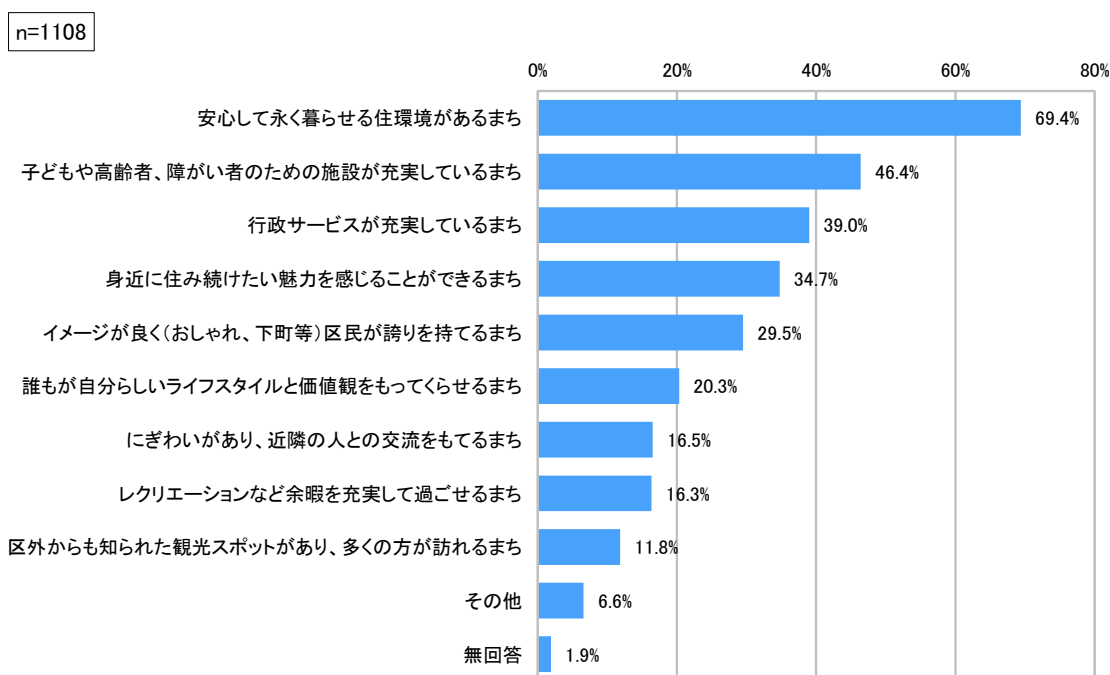
問 21：次の項目の中で、あなたが魅力に感じるまちを選んでください。

魅力に感じるまちについては、「安心して長く暮らせる住環境があるまち」が 69.4%と最も高く、次いで「子どもや高齢者、障がい者のための施設が充実しているまち」(46.4%)、「行政サービスが充実しているまち」(39.0%)、「身近に住み続けたい魅力を感じることができるまち」(34.7%)となっている。

性別では、男性が女性に比べて「レクリエーションなど余暇を充実して過ごせるまち」、「にぎわいがあり、近隣の人との交流をもてるまち」などの割合が高く、女性は「子どもや高齢者、障がい者のための施設が充実しているまち」、「誰もが自分らしいライフスタイルと価値観をもってくらせるまち」などが男性を上回っている。

年齢別では年齢が上がるにしたがって、「誰もが自分らしいライフスタイルと価値観をもってくらせるまち」「身近に住み続けたい魅力を感じることができるまち」は割合が低くなる傾向にあり、75 歳以上の割合は 20 歳代の割合に対して約 4 割となる。一方、「安心して長く暮らせる住環境があるまち」は年齢が上がるにしたがって割合が上昇する傾向にある。

図表 魅力に感じるまち



図表 魅力に感じるまち（性別・年齢別）

（％）

		回答数	区外からも知られた観光スポットがあり、多くの方が訪れるまち	イメージが良く（おしゃれ、下町等） 区民が誇りを持てるまち	レクリエーションなど余暇を 充実して過ごせるまち	にぎわいがあり、近隣の人との 交流をもてるまち	身近に住み続けたい魅力を感じることが出来るまち	誰もが自分らしいライフスタイルと 価値観をもつてくらせるまち	子どもや高齢者、障がい者の ための施設が充実しているまち	行政サービスが 充実しているまち	安心して永く暮らせる住環境が あるまち	その他	無回答
全体		1108	11.8	29.5	16.3	16.5	34.7	20.3	46.4	39.0	69.4	6.6	1.9
性別	男性	507	11.4	29.4	17.0	17.8	35.1	18.1	43.4	40.0	67.7	5.5	1.6
	女性	592	12.2	29.6	15.9	15.4	34.3	22.5	49.2	38.5	70.6	7.4	2.0
年齢	20歳未満	19	15.8	36.8	21.1	10.5	52.6	36.8	42.1	31.6	21.1	21.1	0.0
	20～29歳	98	18.4	37.8	18.4	10.2	45.9	13.3	34.7	34.7	63.3	7.1	2.0
	30～39歳	144	10.4	38.2	13.9	20.8	41.0	22.9	45.1	34.0	71.5	7.6	0.7
	40～49歳	224	12.1	29.5	15.2	19.2	32.6	21.9	42.4	38.4	75.9	9.4	0.4
	50～59歳	215	5.6	29.3	14.0	14.4	34.9	23.7	46.5	37.7	79.5	4.2	0.0
	60～64歳	79	7.6	24.1	17.7	15.2	34.2	22.8	48.1	35.4	78.5	6.3	0.0
	65～69歳	95	11.6	21.1	12.6	10.5	29.5	17.9	62.1	45.3	67.4	4.2	2.1
	70～74歳	113	13.3	27.4	21.2	25.7	33.6	16.8	45.1	46.0	53.1	7.1	2.7
	75歳以上	113	20.4	23.0	21.2	12.4	23.0	15.9	54.9	46.9	58.4	3.5	9.7

江戸川区の魅力に関する意識調査
区民対象（在住外国人を除く直近転入者）

I. 調査の概要

1. 目 的

転入してきた区民の区に対する魅力やイメージなどを把握し、今後のシティプロモーション推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 対 象

- (1) 平成 26 年度以降に転入してきた満 18 歳以上の区民 1,500 人
- (2) 対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出
- (3) 在住外国人を除く

3. 期 間

令和元年 11 月 2 日（土）～11 月 16 日（土）

4. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、郵送により回収

5. 回収結果

- (1) 標本数 1,500 件
- (2) 有効回収数 484 件
- (3) 有効回収率 32.3%

6. 調査項目

- (1) 回答者の基本属性について
- (2) 転入の経緯について
- (3) 江戸川区のイメージについて
- (4) 区の魅力について
- (5) 今後の居住意向について
- (6) 今後のまちづくりにについて

7. 報告書の見方

- (1) 図表の中の n とは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- (2) 割合は n を分母とした百分比で算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入した。
そのために、百分比の合計が 100%に満たない、または上回ることがある。
- (3) 1 人の回答者が複数回答を行う設問では、その割合の合計が 100%を上回ることがある。
- (4) 本文や図表中で語句を短縮・省略化している選択肢がある。
- (5) 質問項目によっては、その特徴をより明確に出せるように「無回答」は掲載していない。そのため、分析の n の合計が全体と一致しない場合がある。
- (6) 本文や図表中の表記では、ひとつの質問中の複数の選択肢をまとめ、あるいは任意の選択肢のみの割合を比較する手法を用いている場合がある。
- (7) 回答者の少ない項目については、比率等に誤差が生じている場合があり、結果の解釈に注意を要する。
- (8) 無効回答を除いているため、一部の設問間で数値が異なる場合がある。

Ⅱ. 調査結果

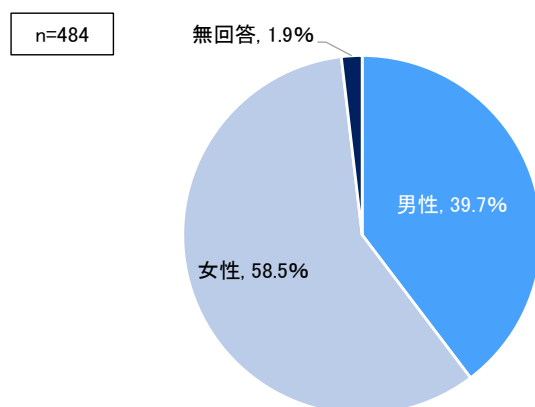
1. 回答者属性

(1) 性別

問1：あなたの性別をお知らせください。

性別は、「男性」が39.7%、「女性」が58.5%と女性の割合が男性を上回っている。

図表 性別



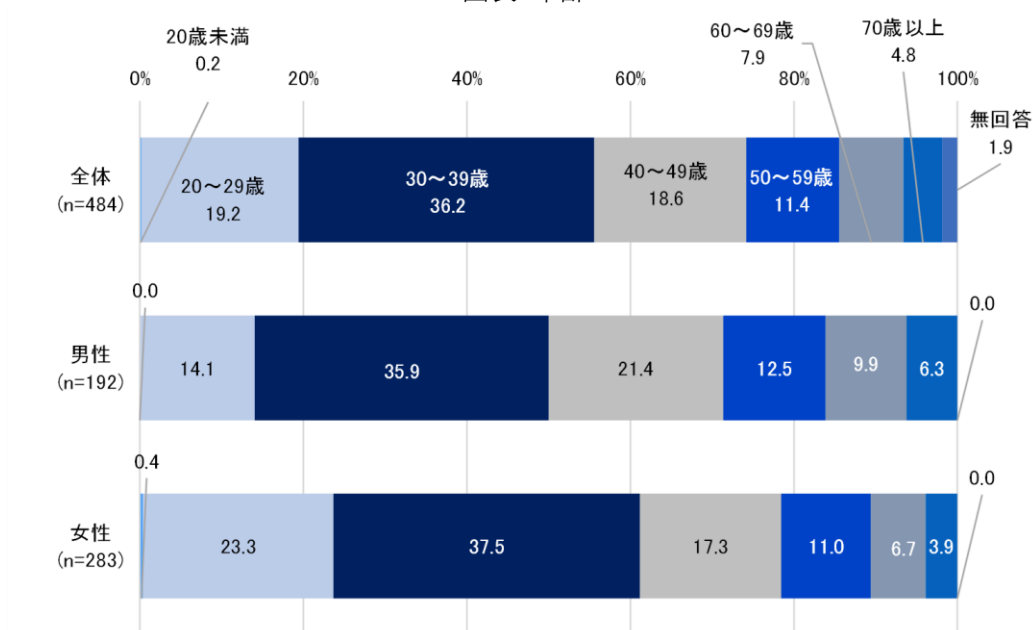
(2) 年齢

問2：あなたの年齢をお知らせください。

年齢は、「30～39歳」の割合が36.2%と最も高く、次いで「20～29歳」(19.2%)、「40～49歳」(18.6%)、「50～59歳」(11.4%)となっている。

性別では、女性「20～29歳」及び「30～39歳」の割合が男性を上回っている。

図表 年齢



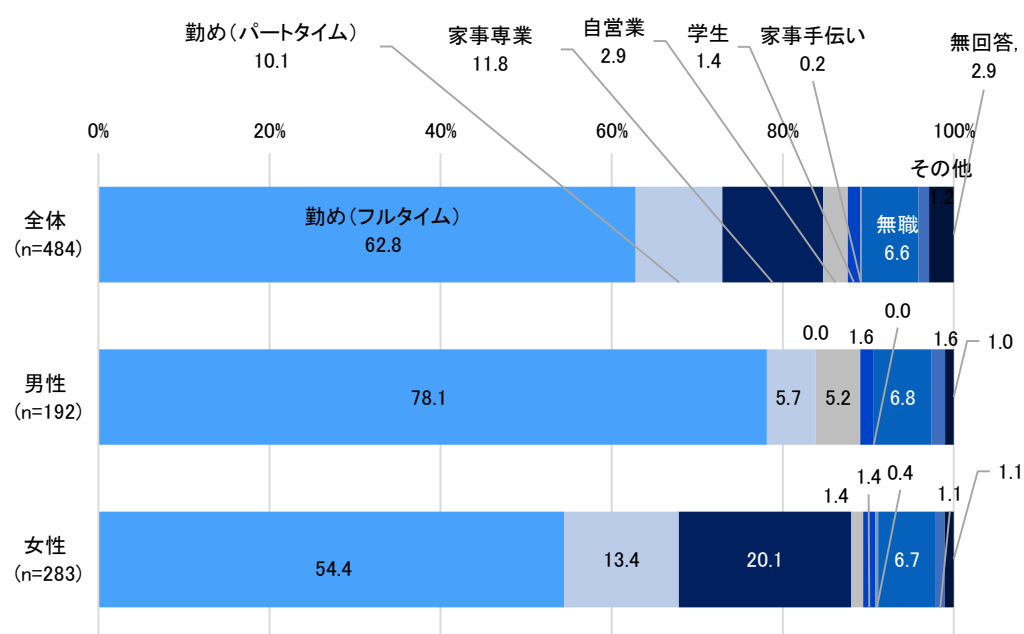
(3) 職業

問3：あなたのご職業をお知らせください。

職業については、「勤め（フルタイム）」の割合が62.8%と最も高く、次いで「家事専業」（11.8%）、「勤め（パートタイム）」（10.1%）となっている。

性別では、男性は女性に比べて「勤め（フルタイム）」「自営業」の割合が高く、女性は「家事専業」「勤め（パートタイム）」の割合が男性を上回っている。

図表 職業

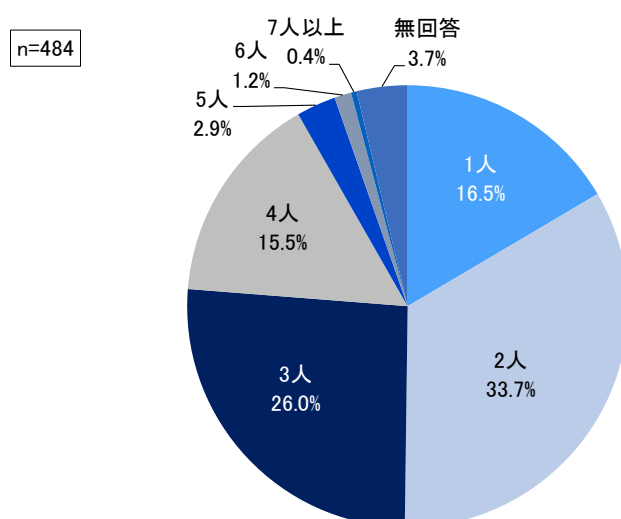


(4) 同居家族の人数

問4：一緒に暮らしているご家族の人数（ご自身を含めて）をお知らせください。

同居家族の人数は、「2 人」が 33.7%と最も高く、「3 人」(26.0%)と続き、4 人以上とする回答も合わせて約 2 割ある。「1 人」は 16.5%となっている。

図表 自身を含む同居家族の人数



性別では、男性は「1人」の割合が女性に比べて高く、女性は「2人以上5人未満」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、60歳以上の「1人」の割合が他の年齢に比べて高い。

図表 同居家族の人数（性別及び年齢別）

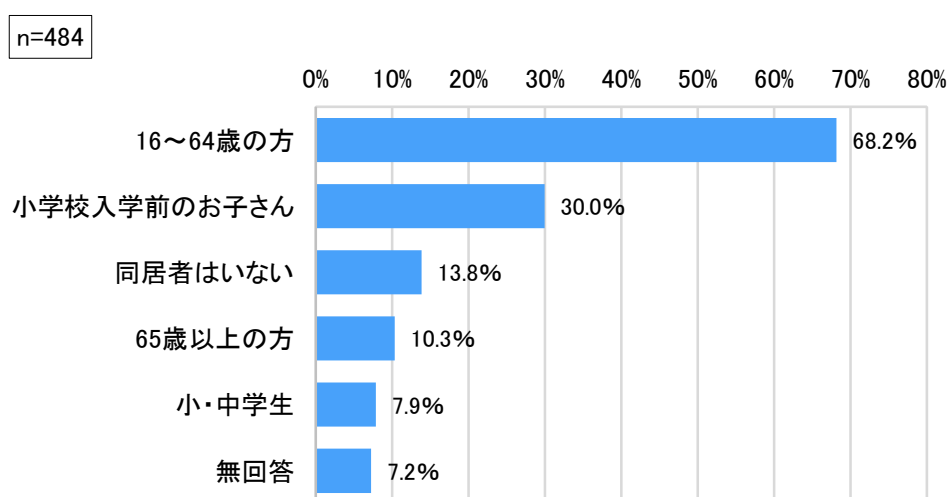
		回答数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体		484	18.2	33.7	26.0	15.5	2.9	1.2	0.4	2.1
性別	男性	192	22.4	32.3	25.5	14.1	3.1	1.6	0.5	0.5
	女性	283	15.9	35.7	27.2	17.0	2.8	1.1	0.4	0.0
年齢	20歳未満	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	93	24.7	31.2	30.1	10.8	2.2	1.1	0.0	0.0
	30～39歳	175	12.0	34.3	32.0	17.7	2.3	1.7	0.0	0.0
	40～49歳	90	11.1	36.7	28.9	22.2	1.1	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	55	23.6	36.4	18.2	10.9	9.1	1.8	0.0	0.0
	60～64歳	15	33.3	13.3	33.3	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	23	30.4	39.1	4.3	13.0	0.0	4.3	4.3	4.3
	70～74歳	14	28.6	57.1	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0
	75歳以上	9	55.6	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) 同居者について

問5：同居者（本人以外）をお知らせください。

同居者については、「16～64 歳の方」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「小学校入学前のお子さん」（30.0%）、「同居者はいない」（13.8%）、「65 歳以上の方」（10.3%）となっている。

図表 同居者（本人以外）



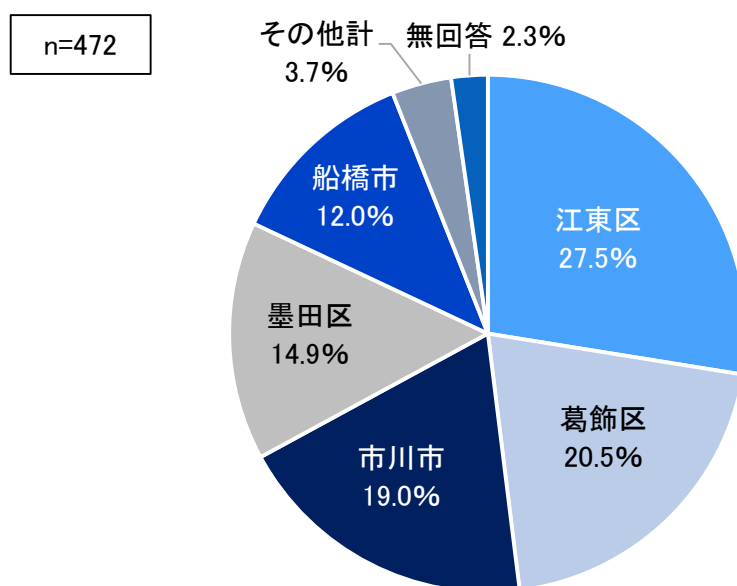
(6) 転入前の居住地

問6：転入前後のお住まいの場所をお知らせください。

転入前の居住地は「江東区」が27.5%と最も高く、次いで「葛飾区」(20.5%)「市川市」(19.0%)、「墨田区」(14.9%)となっており、約8割が隣接自治体となっている。

主な転入元別の同居家族の人数は、「墨田区」の「3人」を除き、いずれの自治体も「2人」の割合が最も高い。

図表 転入前の居住地



図表 転入元別の同居家族の人数

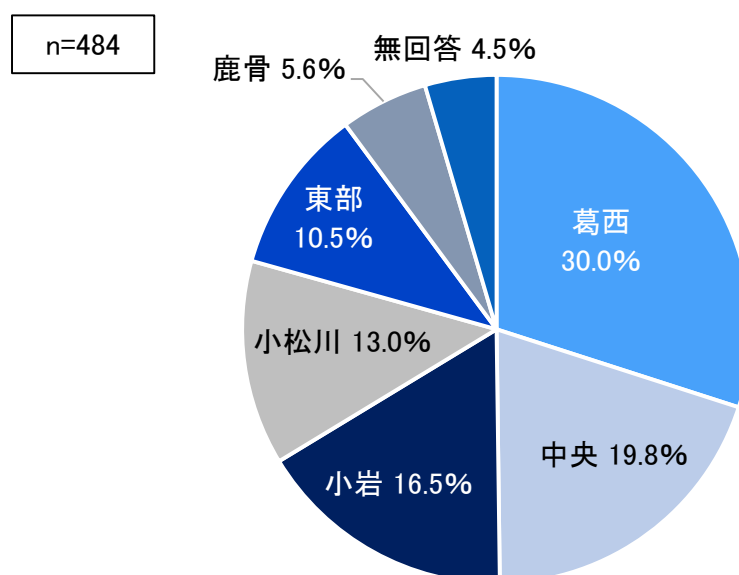
(%)

	回答数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体	484	16.5	33.7	26.0	15.5	2.9	1.2	0.4	3.7
前居住地	江東区	133	18.8	36.8	27.1	12.0	3.0	0.8	0.8
	葛飾区	99	14.1	41.4	25.3	14.1	2.0	1.0	1.0
	市川市	92	16.3	30.4	22.8	21.7	3.3	1.1	4.3
	墨田区	72	9.7	27.8	37.5	19.4	1.4	2.8	1.4
	船橋市	58	24.1	27.6	24.1	15.5	5.2	1.7	1.7
	その他	18	22.2	44.4	16.7	5.6	5.6	0.0	5.6
	無回答	12	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	75.0

(7) 転入後の居住地

転入後の居住地は、「葛西地域」が30.0%と最も高く、次いで「中央地域」(19.8%)、「小岩地域」(16.5%)と続く。

図表 転入後の居住地

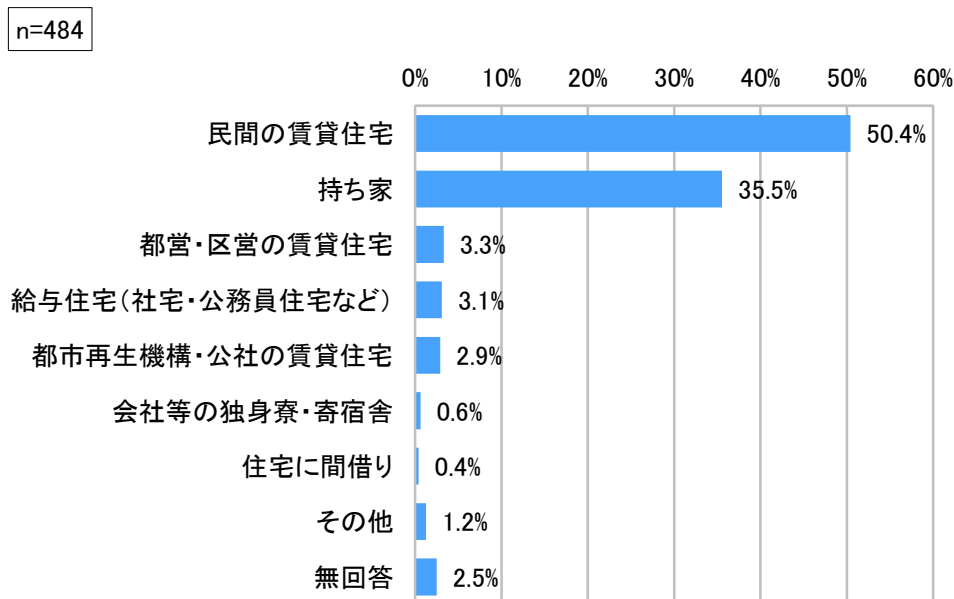


(8) 住居形態

問7：現在のあなたの住居の種類をお知らせください。

住居形態は「民間の賃貸住宅」が50.4%と最も多く、続く「持ち家」(35.5%)と合わせて全体の約8割以上を占めている。

図表 住居形態



年齢別では、「持ち家」の割合は、「60～64歳」が66.7%と最も高い。また、「民間賃貸住宅」の割合は「20～29歳」(72.0%)が他の年齢に比べて高くなっている。

図表 住居形態 (年齢別)

図表 住居形態（年齢別）

(%)

		回答数	持ち家	都営・区営の賃貸住宅	都市再生機構・公社の賃貸住宅	民間の賃貸住宅	給与住宅（社宅・公務員住宅など）	住宅に間借り	会社等の独身寮・寄宿舎	その他	無回答
	全体	484	35.5	3.3	2.9	50.4	3.1	0.4	0.6	1.2	2.5
年齢	20歳未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	93	18.3	2.2	1.1	72.0	3.2	1.1	1.1	1.1	0.0
	30～39歳	175	33.1	1.7	1.7	56.0	5.7	0.0	0.6	0.0	1.1
	40～49歳	90	54.4	4.4	1.1	36.7	1.1	0.0	0.0	1.1	1.1
	50～59歳	55	40.0	1.8	9.1	43.6	1.8	0.0	0.0	3.6	0.0
	60～64歳	15	66.7	0.0	0.0	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	23	43.5	4.3	0.0	47.8	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0
	70～74歳	14	21.4	28.6	14.3	35.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75歳以上	9	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	

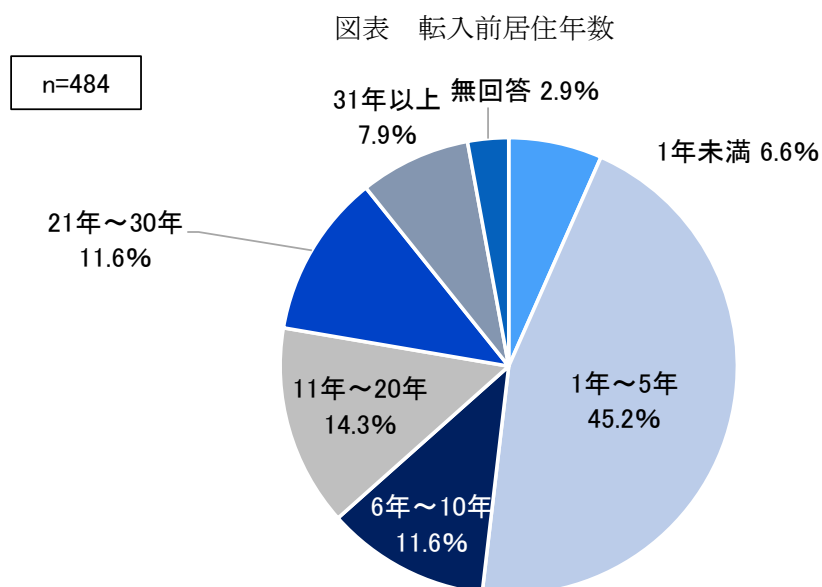
(9) 転入前の居住年数³²

問9：江戸川区に転入される前の自治体での居住年数をお知らせください。

転入前の自治体における居住年数は「1年～5年」が45.2%と最も高く、次いで「11年～20年」(14.3%)、「6年～10年」、「21年～30年」は同率11.6%となっている。

年齢別では、20歳代から40歳代では「1年～5年」が約5割となっている。50歳代以降では、「11年以上」の割合が約5割となっている。

同居者別では、同居者が「小学校入学前の子」の居住年数は、「1年～5年」が66.9%となっている。



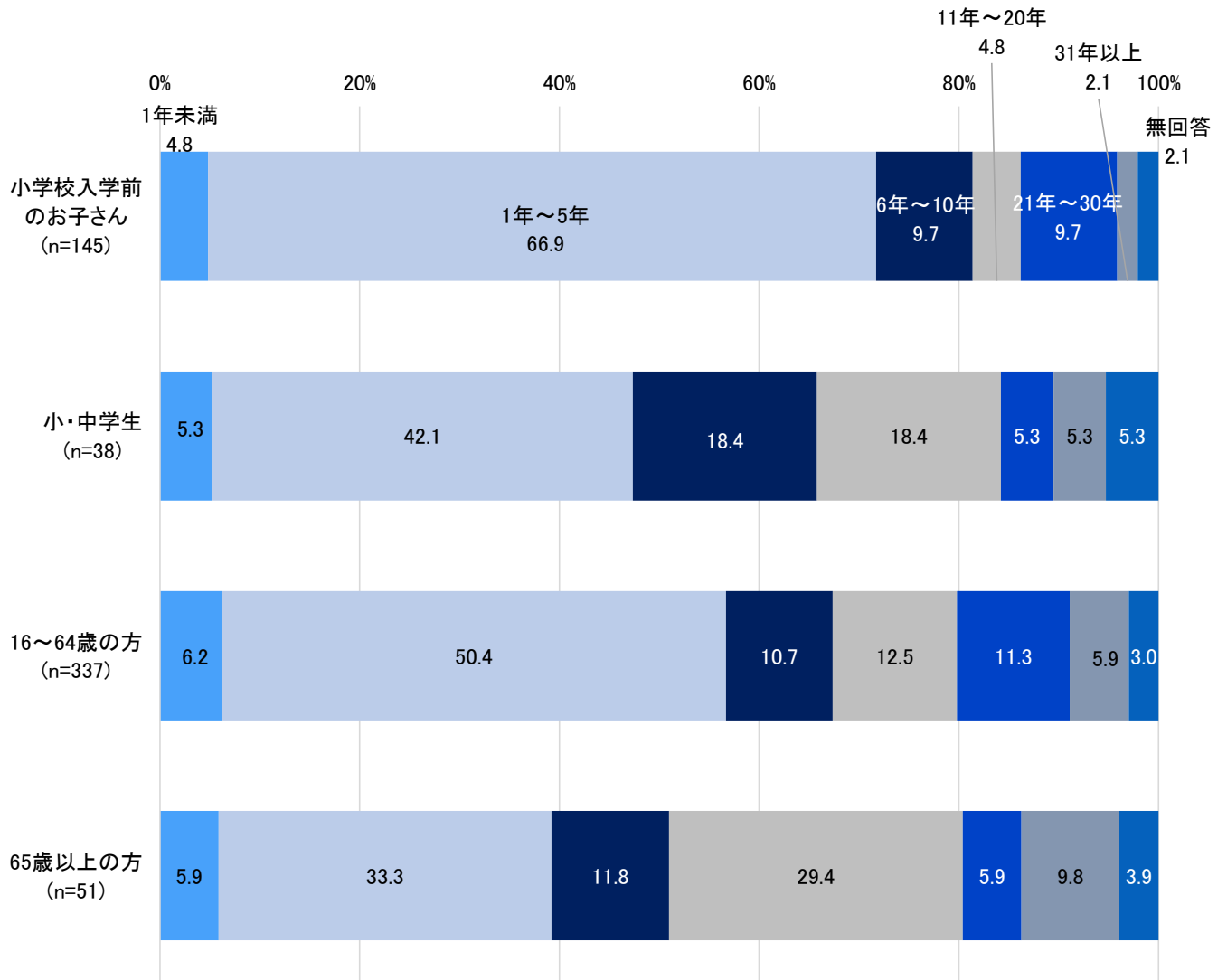
図表 転入前の居住年数（年齢別）

(%)

		回答数	1年未満	1年～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年以上	無回答
全体		484	6.6	45.2	11.6	14.3	11.6	7.9	2.9
年齢	20歳未満	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	93	10.8	49.5	5.4	12.9	19.4	0.0	2.2
	30～39歳	175	4.6	58.3	14.3	8.0	10.9	4.0	0.0
	40～49歳	90	7.8	47.8	14.4	10.0	6.7	11.1	2.2
	50～59歳	55	3.6	21.8	10.9	32.7	12.7	7.3	10.9
	60～64歳	15	6.7	20.0	13.3	20.0	13.3	26.7	0.0
	65～69歳	23	8.7	21.7	0.0	30.4	8.7	26.1	4.3
	70～74歳	14	14.3	7.1	14.3	21.4	0.0	28.6	14.3
	75歳以上	9	0.0	22.2	22.2	0.0	22.2	22.2	11.1

³² 問8の江戸川区に転入された時期に関しては特段の傾向がみられなかったため、分析を割愛している。

図表 転入前の居住年数（同居者別）



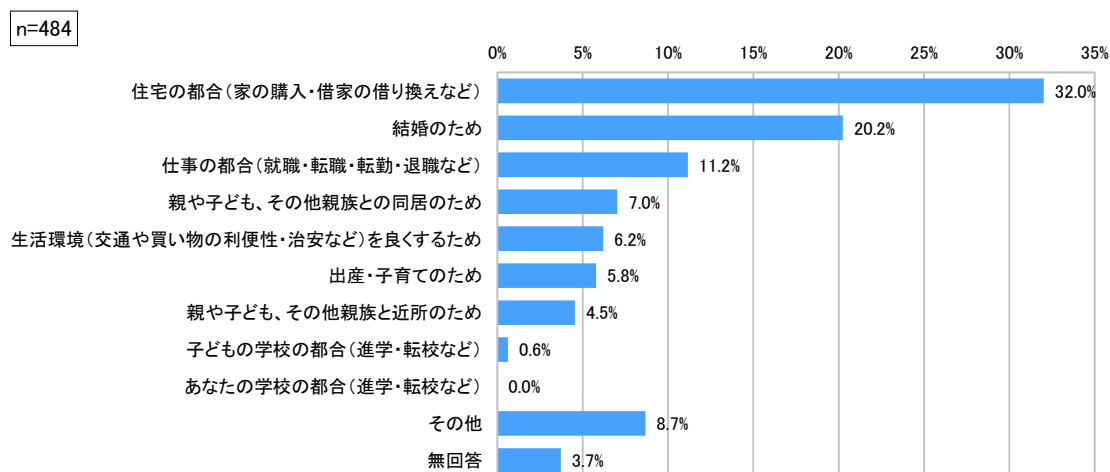
2. 転入の経緯について

(1) 転入理由

問 10：江戸川区に転入した主な理由を教えてください。

江戸川区に転入した理由については、「住宅の都合」が 32.0%と最も高く、次いで「結婚のため」(20.2%)、「仕事の都合」(11.2%)と続く。

図表 転入理由



性別では、男性は女性に比べて「仕事の都合」、「住宅の都合」及び「生活環境」の割合が高く、女性は「親や子ども、その他の親族との同居のため」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、20歳代は「結婚のため」の割合が最も高いが、その他の年齢層では「住宅の都合」の割合が最も高い。

図表 転入理由 (性別・年齢別)

(%)

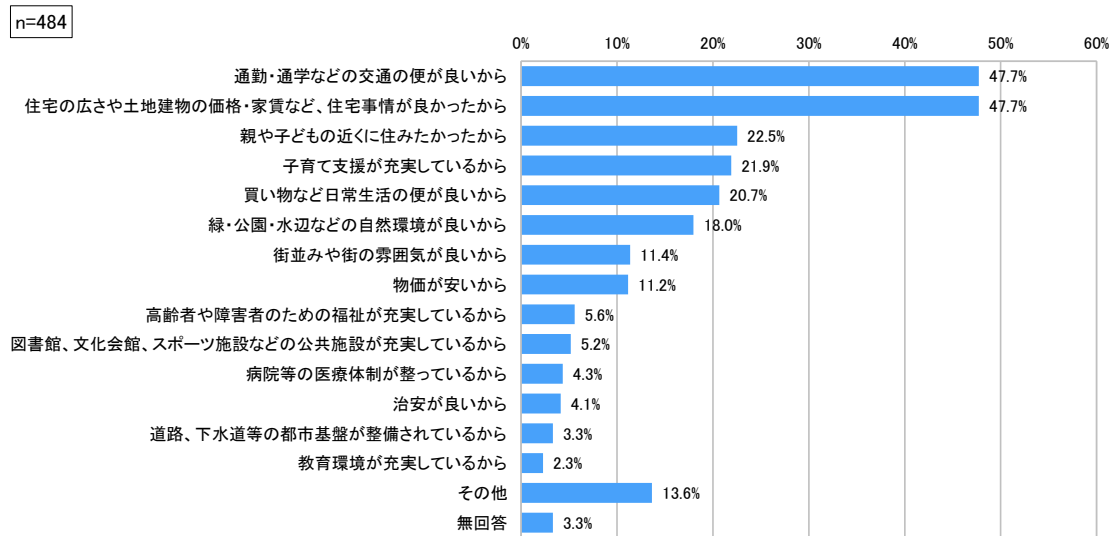
		回答数	仕事の都合 (就職・転職・転勤・退職など)	あなたの学校の都合 (進学・転校など)	子どもの学校の都合 (進学・転校など)	結婚のため	出産・子育てのため	親や子ども、その他親族との同居のため	親や子ども、その他親族と近所のため	住宅の都合 (家の購入・借家の借り換えなど)	生活環境 (交通や買い物の利便性・治安など) を良くするため	その他	無回答
全体		484	11.2	0.0	0.6	20.2	5.8	7.0	4.5	32.0	6.2	8.7	3.7
性別	男性	192	11.5	0.0	0.5	19.3	6.3	4.2	4.2	33.9	9.4	7.8	3.1
	女性	283	9.9	0.0	0.7	20.8	5.7	9.2	4.9	30.7	4.2	9.5	4.2
年齢	20歳未満	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	93	24.7	0.0	0.0	26.9	7.5	5.4	4.3	12.9	6.5	8.6	3.2
	30～39歳	175	8.0	0.0	0.0	32.6	8.6	4.0	3.4	32.6	4.6	4.0	2.3
	40～49歳	90	3.3	0.0	1.1	12.2	6.7	3.3	6.7	42.2	10.0	11.1	3.3
	50～59歳	55	9.1	0.0	3.6	5.5	0.0	14.5	5.5	38.2	3.6	14.5	5.5
	60～64歳	15	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	6.7	13.3	0.0
	65～69歳	23	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	26.1	8.7	39.1	4.3	4.3	8.7
	70～74歳	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	35.7	21.4	21.4	14.3
	75歳以上	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	33.3	0.0	33.3	11.1

(2) 転入先を選んだ理由

問 11：転入先に江戸川区を選んだ理由を教えてください。

転入先を選んだ理由については、「通勤・通学などの交通の便が良いから」が47.7%と「住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから」(47.7%)と並び、次いで「親や子どもの近くに住みたかったから」(22.5%)となっている。

図表 転入先を選んだ理由



転入元別でも、江東区及び墨田区からの転入理由は「住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから」の割合が最も高く、葛飾区、市川市及び船橋市は「通勤・通学などの交通の便が良いから」の割合が高い。

図表 転入先に江戸川区を選んだ理由（転入元別）

(%)

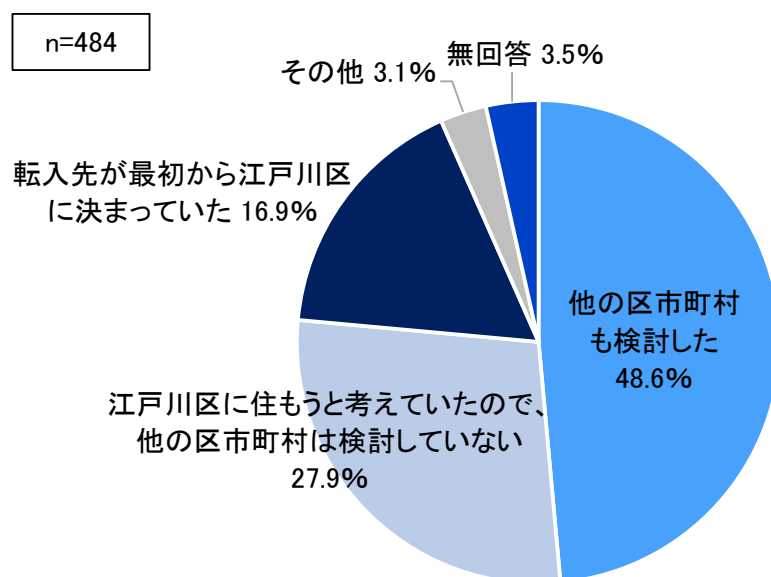
	回答数	買い物など日常生活の便が良いから	通勤・通学などの交通の便が良いから	物価が安いから	親や子どもの近くに住みたかったから	住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから	病院等の医療体制が整っているから	子育て支援が充実しているから	教育環境が充実しているから	高齢者や障害者のための福祉が充実しているから	緑・公園・水辺などの自然環境が良いから	道路、下水道等の都市基盤が整備されているから	街並みや街の雰囲気が良いから	治安が良いから	図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設が充実しているから	その他	無回答
全体	484	20.7	47.7	11.2	22.5	47.7	4.3	21.9	2.3	5.6	18.0	3.3	11.4	4.1	5.2	13.6	3.3
前居住地																	
江東区	133	20.3	39.1	21.1	24.8	52.6	2.3	19.5	2.3	5.3	18.0	1.5	9.0	3.8	3.0	13.5	1.5
葛飾区	99	19.2	48.5	9.1	24.2	44.4	4.0	21.2	0.0	7.1	14.1	3.0	9.1	4.0	9.1	14.1	4.0
市川市	92	26.1	52.2	5.4	22.8	38.0	6.5	22.8	3.3	7.6	23.9	3.3	14.1	5.4	4.3	13.0	4.3
墨田区	72	16.7	40.3	11.1	26.4	61.1	1.4	29.2	2.8	2.8	19.4	5.6	13.9	6.9	2.8	9.7	1.4
船橋市	58	24.1	65.5	5.2	19.0	46.6	10.3	22.4	5.2	3.4	19.0	6.9	15.5	0.0	6.9	17.2	5.2
その他	18	16.7	55.6	0.0	5.6	27.8	0.0	16.7	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	5.6	11.1	22.2	5.6
無回答	12	8.3	50.0	8.3	0.0	50.0	8.3	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3

(3) 転入先の検討状況

問 12：転入先として江戸川区以外の自治体を検討しましたか。

転入先の検討状況については、「他の区市町村も検討した」が48.6%と最も高く、次いで「江戸川区に住もうと考えていたので、他の区市町村は検討していない」(27.9%)、「転入先が最初から江戸川区に決まっていた」(16.9%)となっている。

図表 転入先検討状況



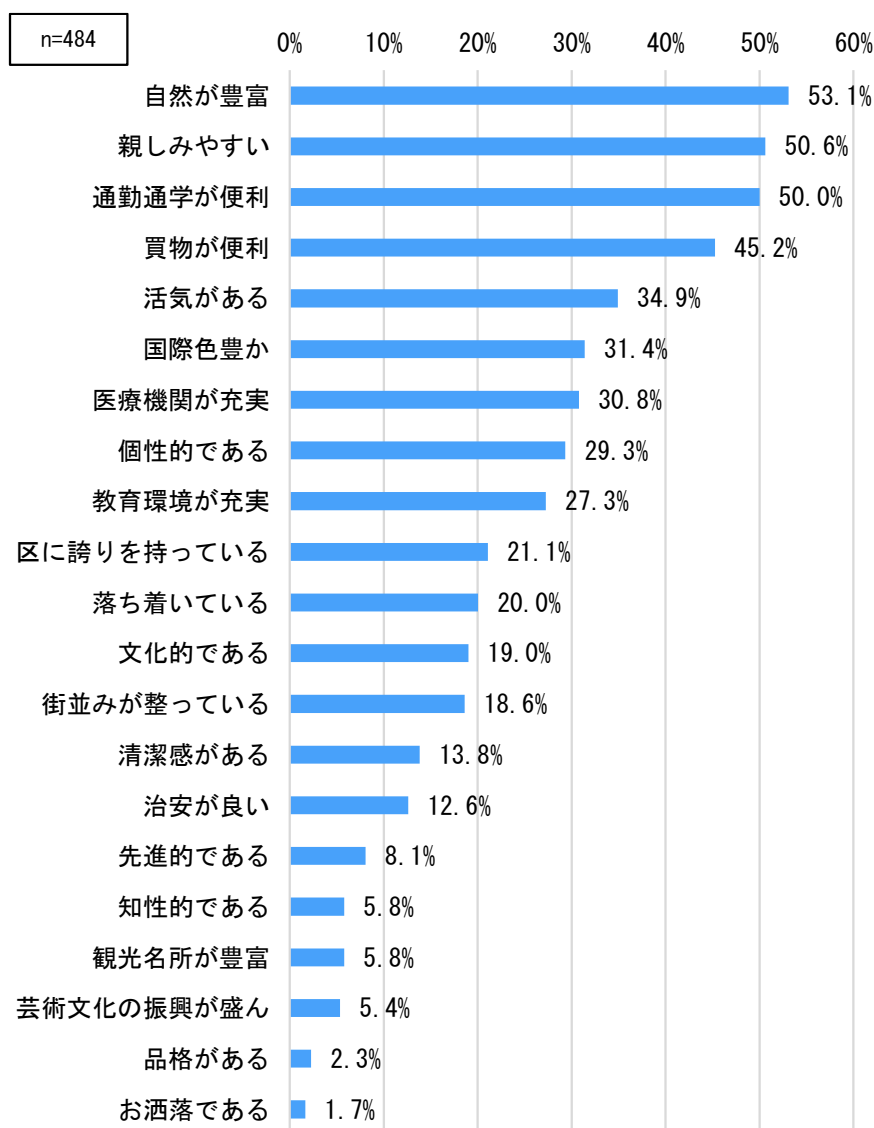
3. 江戸川区のイメージについて

(1) 転入前の江戸川区のイメージ

問 13：転入前の江戸川区のイメージとして、該当する内容をそれぞれお答えください。

高評価（「思う」の4～5）の割合をみると、「自然が豊富」が53.1%と最も高く、次いで「親しみやすい」（50.6%）、「通勤通学が便利」（50.0%）と続く。

図表 転入前の江戸川区のイメージ（高評価）



年齢別では、20 歳代から 50 歳代において、「親しみやすさ」や「自然が豊富」の割合が高い。一方、いずれの年齢階層においても、「お洒落」、「品格」の割合が低かった。

まちの推奨度別³³では、推奨者は「活気」や「親しみやすさ」、「買物や交通の利便性」、「自然が豊富」、「教育環境が充実している」等の割合が高い。

図表 転入前の江戸川区のイメージ（高評価：年齢別・推奨度別）

(%)

		回答数	活気がある	区に誇りを持つ	個性である	文化的である	親しみやすい	知性的である	落ち着いた	先進的である	清潔感がある	お洒落である	品格がある	買物が便利	通勤通学が便利	医療機関が充実	自然が豊富	教育環境が充実	街並みが整っている	治安が良い	観光名所が豊富	国際色豊か	芸術が文化の盛んな
年齢	20歳未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	93	36.6	24.7	31.2	20.4	52.7	6.5	20.4	9.7	9.7	0.0	0.0	46.2	48.4	34.4	44.1	29.0	17.2	10.8	3.2	30.1	3.2
	30～39歳	175	36.0	18.9	33.7	17.1	55.4	4.0	21.7	4.6	9.7	1.1	2.3	42.9	50.3	26.3	59.4	28.0	14.9	8.0	2.9	33.1	2.9
	40～49歳	90	37.8	17.8	28.9	20.0	51.1	4.4	16.7	7.8	13.3	1.1	2.2	50.0	61.1	33.3	63.3	30.0	21.1	13.3	8.9	37.8	3.3
	50～59歳	55	34.5	23.6	27.3	23.6	47.3	10.9	21.8	9.1	25.5	3.6	5.5	47.3	41.8	32.7	54.5	34.5	20.0	12.7	9.1	30.9	12.7
	60～64歳	15	26.7	6.7	13.3	20.0	26.7	6.7	13.3	13.3	20.0	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7	33.3	13.3	33.3	13.3	6.7	6.7	0.0
	65～69歳	23	21.7	21.7	21.7	13.0	39.1	4.3	17.4	8.7	21.7	4.3	4.3	56.5	60.9	39.1	34.8	8.7	21.7	30.4	8.7	21.7	13.0
	70～74歳	14	21.4	50.0	21.4	21.4	50.0	14.3	35.7	28.6	35.7	7.1	0.0	50.0	35.7	35.7	50.0	28.6	28.6	21.4	21.4	21.4	28.6
	75歳以上	9	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1	33.3	33.3	44.4	22.2	11.1	22.2	33.3	11.1	44.4	11.1
推奨度のまち	推奨者	93	53.8	39.8	38.7	37.6	74.2	17.2	33.3	21.5	33.3	4.3	6.5	72.0	69.9	52.7	72.0	50.5	40.9	26.9	14.0	40.9	10.8
	中立者	268	31.7	17.9	28.4	15.7	49.6	3.7	19.8	5.2	9.7	1.5	1.5	42.9	47.4	28.0	50.0	25.4	16.8	10.1	4.1	29.1	5.2
	非推奨者	110	27.3	12.7	23.6	10.9	34.5	0.9	10.0	3.6	8.2	0.0	0.0	30.0	39.1	20.0	45.5	14.5	5.5	6.4	2.7	30.0	0.9

³³ 調査項目における「区の魅力について」の「まち（地域）」、「住むこと」及び「訪れること」をどれくらい友人・知人などにおすすめしたいかの回答点数（10 点～0 点）により以下の 3 分類とした。

・推奨者（8～10 点） ・中立者（5～7 点） ・非推奨者（0～4 点）

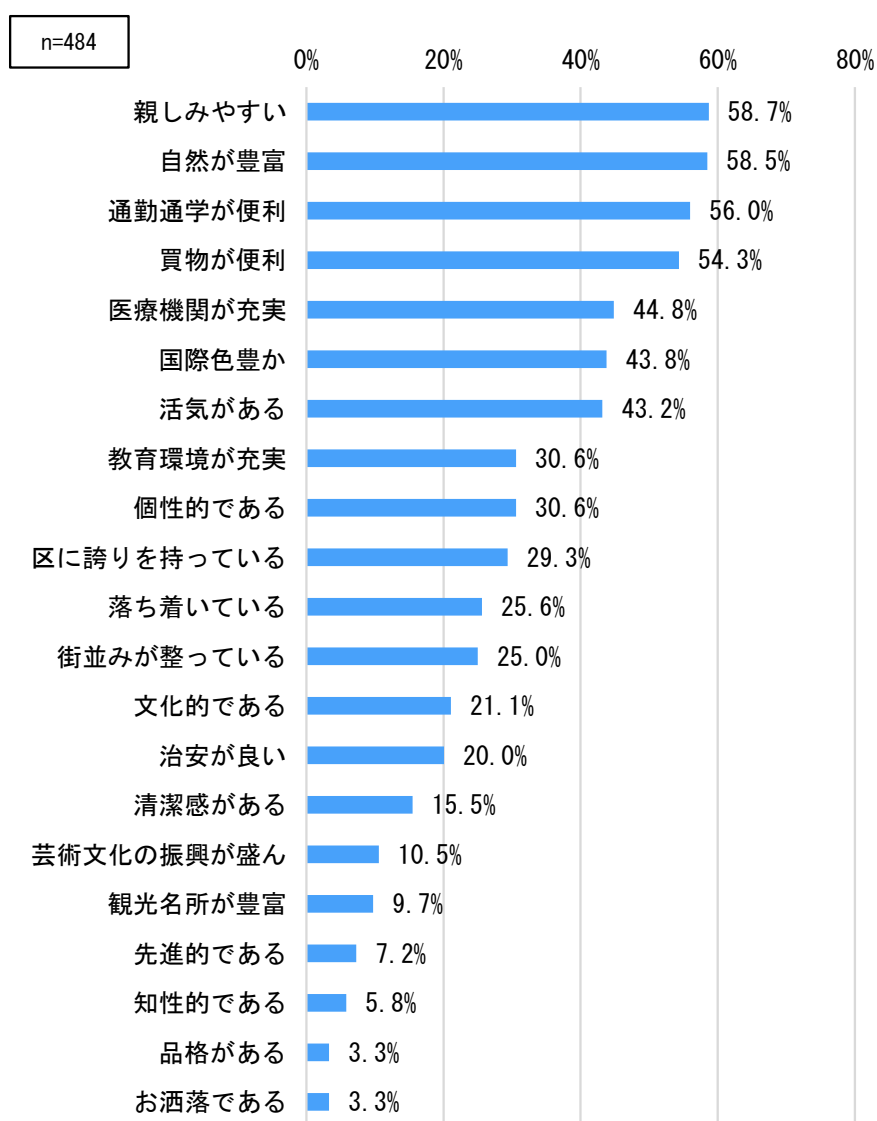
なお、推奨度別の詳細については「4.（3）推奨度」として後述する。

（２）現在の江戸川区のイメージ

問 14：現在の江戸川区のイメージとして、該当する内容をそれぞれお答えください。

現在の江戸川区のイメージについては、高評価（「思う」の 4～5）の割合をみると、「親しみやすい」が 58.7%と最も高く、次いで「自然が豊富」（58.5%）、「通勤通学が便利」（56.0%）と続く。

図表 現在の江戸川区のイメージ（高評価）



年齢別では、20 歳代から 50 歳代において、転入前と同様に「親しみやすさ」、「買物や交通の利便性」、「自然が豊富」等のイメージの割合が高い。

まちの推奨度別では、推奨者は、「親しみやすさ」、「利便性」、「自然」のほか、「活気」、「区の誇り」、「医療機関が充実」と広く割合が高い傾向がみられる。

図表 現在の江戸川区のイメージ（思う：年齢別・推奨度別） (%)

		回答数	活気がある	区に誇りを持つている	個性的である	文化的である	親しみやすい	知性的である	落ち着いたている	先進的である	清潔感がある	お洒落である	品格がある	買物が便利	通勤通学が便利	医療機関が充実	自然が豊富	教育環境が充実	街並みが整っている	治安が良い	観光名所が豊富	国際色豊か	芸術文化の振興が盛ん
年齢	20歳未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	93	41.9	25.8	33.3	19.4	63.4	7.5	25.8	9.7	12.9	1.1	1.1	55.9	53.8	53.8	52.7	36.6	20.4	14.0	8.6	41.9	6.5
	30～39歳	175	45.7	33.1	34.3	24.6	64.0	2.3	30.9	4.6	14.3	2.9	3.4	57.1	59.4	44.0	64.6	32.6	26.3	18.9	6.9	46.3	9.7
	40～49歳	90	51.1	28.9	34.4	16.7	60.0	7.8	24.4	7.8	12.2	3.3	3.3	52.2	61.1	45.6	66.7	27.8	27.8	22.2	10.0	50.0	8.9
	50～59歳	55	41.8	34.5	27.3	23.6	50.9	10.9	18.2	7.3	20.0	3.6	7.3	47.3	47.3	41.8	56.4	29.1	23.6	16.4	12.7	40.0	18.2
	60～64歳	15	20.0	6.7	6.7	6.7	46.7	0.0	20.0	0.0	26.7	6.7	0.0	53.3	33.3	20.0	46.7	33.3	33.3	20.0	26.7	40.0	6.7
	65～69歳	23	21.7	17.4	17.4	21.7	43.5	4.3	21.7	13.0	21.7	4.3	4.3	47.8	60.9	39.1	39.1	17.4	21.7	34.8	8.7	26.1	17.4
	70～74歳	14	28.6	42.9	14.3	28.6	35.7	14.3	14.3	21.4	7.1	0.0	64.3	35.7	28.6	50.0	21.4	28.6	21.4	21.4	35.7	28.6	
	75歳以上	9	55.6	22.2	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	44.4	44.4	33.3	22.2	11.1	22.2	33.3	11.1	44.4	11.1
推奨度のまち	推奨者	93	68.8	53.8	45.2	43.0	88.2	17.2	45.2	18.3	33.3	7.5	10.8	77.4	75.3	74.2	77.4	60.2	58.1	34.4	22.6	55.9	22.6
	中立者	268	42.5	28.0	29.9	18.3	60.1	3.4	24.6	6.0	13.8	2.6	1.1	55.6	55.6	42.2	58.6	29.1	20.9	19.0	7.1	43.3	9.7
	非推奨者	110	23.6	13.6	20.0	8.2	31.8	0.9	10.0	0.9	4.5	1.8	0.9	31.8	39.1	28.2	45.5	11.8	7.3	8.2	5.5	34.5	2.7

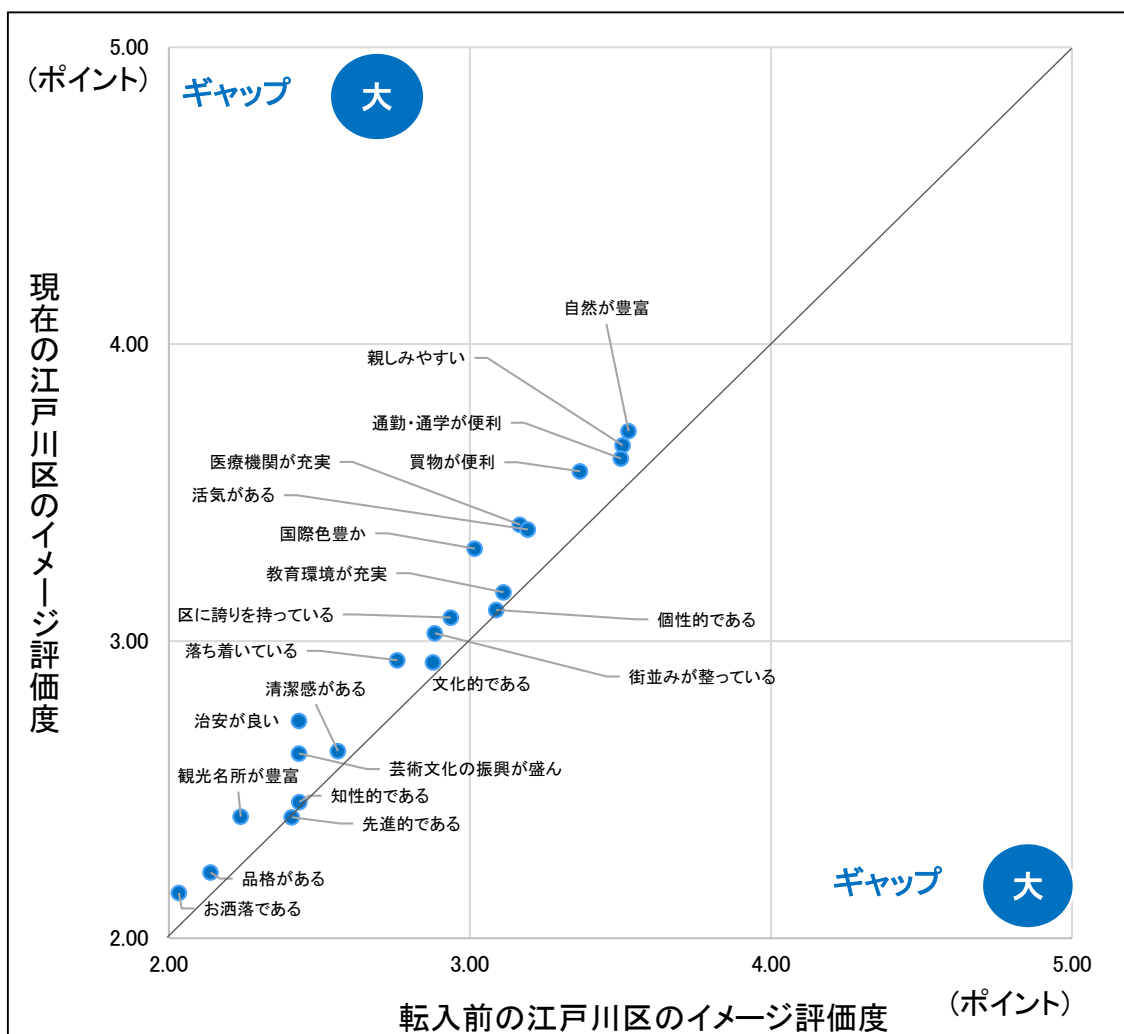
(3) 転入前と現在のイメージ

転入前の江戸川区のイメージ評価については、「自然が豊富」、「親しみやすい」、「通勤・通学が便利」の評価が現在の江戸川区のイメージの評価度とともに高くなっており、転入前後の差異はみられない。

また、「お洒落である」、「品格がある」、「観光名所が豊富」についても、転入前の評価は現在の評価と同様に低く、転入前後の差異はみられない。

なお、転入前後のイメージ評価は、「治安が良い」、「国際色豊か」等の差異が大きい。

図表 転入前と現在の江戸川区イメージとのギャップ



注) ポイントはそれぞれの項目について、得られた評価(1～5の5段階)の構成比をウェイトとした加重平均値

図表 転入前と現在の江戸川区イメージとのギャップ

(ポイント)

n=484			
	① 転入前の 江戸川区のイメージ	② 転入後の 江戸川区のイメージ	ギャップ ①－②
治安が良い	2.43	2.73	0.30
国際色豊か	3.02	3.31	0.30
医療機関が充実	3.17	3.39	0.23
買物が便利	3.37	3.57	0.21
芸術文化の振興が盛ん	2.43	2.62	0.19
活気がある	3.19	3.38	0.18
自然が豊富	3.53	3.71	0.18
落ち着いている	2.76	2.94	0.18
観光名所が豊富	2.24	2.41	0.17
親しみやすい	3.51	3.66	0.15
街並みが整っている	2.88	3.03	0.14
区に誇りを持っている	2.94	3.08	0.14
お洒落である	2.03	2.15	0.12
通勤・通学が便利	3.50	3.62	0.11
品格がある	2.14	2.22	0.08
清潔感がある	2.56	2.63	0.07
教育環境が充実	3.11	3.16	0.05
文化的である	2.88	2.93	0.05
知性的である	2.43	2.46	0.03
個性的である	3.09	3.10	0.02
先進的である	2.41	2.41	-0.00

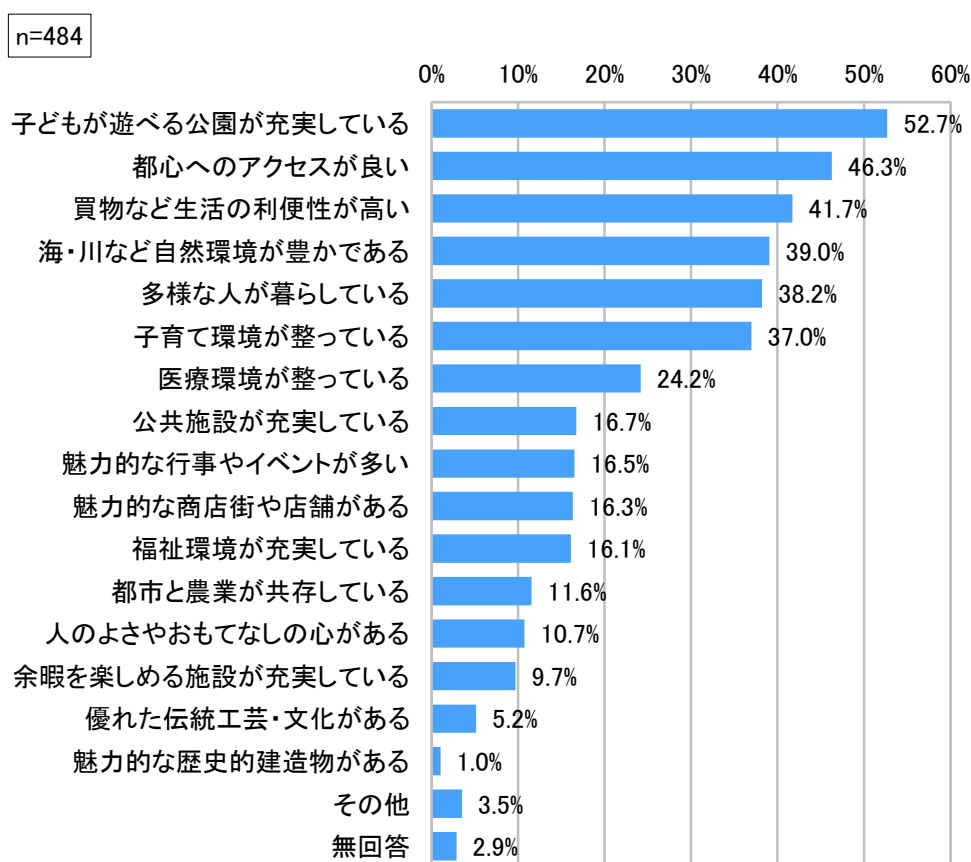
4. 江戸川区の魅力について

(1) 江戸川区の魅力

問 15：江戸川区転入前にお住まいであった市区町村に比べ、江戸川区にどんな魅力があると思いますか。

江戸川区の魅力については、「子どもが遊べる公園が充実している」が52.7%と最も高く、次いで「都心へのアクセスが良い」(46.3%)、「買物など生活の利便性が高い」(41.7%)となっている。

図表 江戸川区の魅力



年齢別では、20 歳代は、「子育て環境が整っている」の割合が他の年齢に比べて高い。
また、年齢が上がるにともなって「福祉環境が充実している」の割合が高くなる傾向にある。

推奨度別では、居住推奨者及び来訪推奨者のいずれも「子どもが遊べる公園が充実している」の割合が最も高い。

図表 区の魅力（年齢別・推奨度別）（％）

		回答数	海・川など自然環境が豊かである	子どもが遊べる公園が充実している	歴史的建造物がある	優れた伝統工芸・文化がある	魅力的な行事やイベントが多い	余暇を楽しめる施設が充実している	魅力的な商店街や店舗がある	人のよさやおもてなしの心がある	公共施設が充実している	都市と農業が共存している	買物など生活の利便性が高い	都心へのアクセスが良い	多様な人が暮らしている	医療環境が整っている	子育て環境が整っている	福祉環境が充実している	その他	無回答
年齢	20歳未満	1	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	93	34.4	59.1	1.1	2.2	10.8	6.5	17.2	11.8	12.9	7.5	34.4	44.1	36.6	24.7	48.4	12.9	5.4	1.1
	30～39歳	175	40.6	59.4	0.0	4.6	17.1	9.7	16.6	10.3	17.1	15.4	40.6	41.7	38.9	21.1	44.0	12.0	2.9	1.1
	40～49歳	90	46.7	47.8	1.1	5.6	14.4	11.1	20.0	10.0	18.9	7.8	54.4	52.2	37.8	26.7	33.3	11.1	2.2	3.3
	50～59歳	55	32.7	41.8	1.8	7.3	18.2	10.9	16.4	5.5	14.5	12.7	38.2	43.6	40.0	21.8	18.2	21.8	3.6	7.3
	60～64歳	15	46.7	26.7	0.0	6.7	26.7	6.7	20.0	20.0	13.3	13.3	40.0	60.0	46.7	6.7	46.7	40.0	0.0	0.0
	65～69歳	23	30.4	39.1	0.0	0.0	13.0	8.7	8.7	21.7	13.0	13.0	43.5	65.2	21.7	39.1	17.4	30.4	4.3	4.3
	70～74歳	14	50.0	42.9	7.1	14.3	28.6	28.6	0.0	7.1	35.7	14.3	42.9	35.7	42.9	21.4	14.3	50.0	0.0	7.1
	75歳以上	9	33.3	66.7	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	22.2	11.1	33.3	66.7	55.6	44.4	22.2	33.3	22.2	0.0
居住推奨度	推奨者	89	56.2	77.5	2.2	6.7	36.0	24.7	29.2	22.5	27.0	14.6	57.3	57.3	43.8	41.6	65.2	32.6	2.2	0.0
	中立者	273	41.4	50.9	0.7	6.2	14.3	7.3	15.4	9.5	17.9	11.7	42.9	47.3	41.0	22.0	33.7	14.7	2.6	1.1
	非推奨者	110	23.6	40.0	0.9	1.8	7.3	4.5	10.0	5.5	6.4	10.0	30.0	38.2	30.9	17.3	26.4	8.2	6.4	3.6
来訪推奨度	推奨者	65	61.5	76.9	3.1	10.8	38.5	26.2	26.2	16.9	24.6	18.5	55.4	61.5	43.1	35.4	50.8	32.3	0.0	0.0
	中立者	258	42.2	54.7	0.8	5.0	16.3	7.4	16.7	11.6	18.2	10.1	44.6	46.1	38.0	23.3	38.8	16.3	2.3	0.8
	非推奨者	147	26.5	40.8	0.7	3.4	8.2	6.8	12.2	7.5	11.6	12.2	32.7	41.5	38.8	21.8	30.6	10.2	6.8	3.4

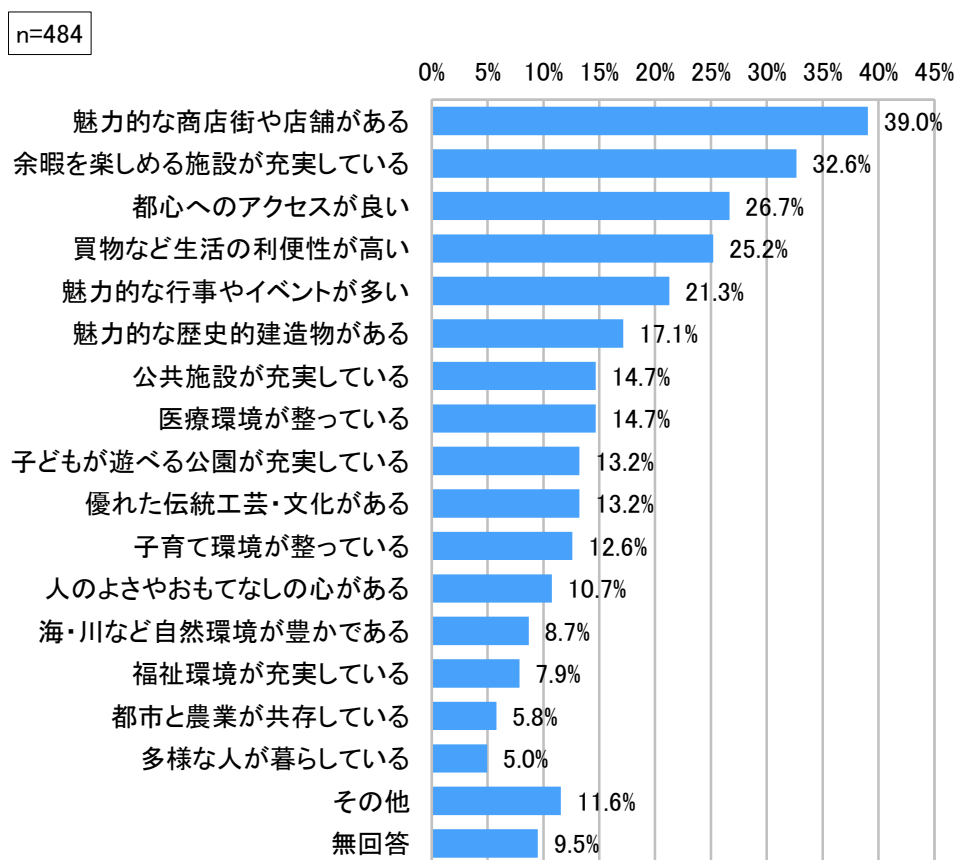
（２）江戸川区に足りない魅力

問 16：江戸川区転入前にお住まいであった市区町村に比べ、江戸川区にどんな魅力が足りないと思いますか。

江戸川区に足りない魅力については、「魅力的な商店街や店舗」が 39.0%と最も高く、次いで「余暇を楽しめる施設の充実」（32.6%）と続いている。

年齢別、推奨度別にみても同様の傾向がみられる。

図表 江戸川区に足りない魅力



図表 江戸川区に足りない魅力（年齢別・推奨度別）

(%)

		回答数	海・川など自然環境が豊かである	子どもが遊べる公園が充実している	歴史的建造物がある	優れた伝統工芸・文化がある	魅力的な行事やイベントが多い	余暇を楽しめる施設が充実している	魅力的な商店街や店舗がある	人のよさやおもてなしの心がある	公共施設が充実している	都市と農業が共存している	買物など生活の利便性が高い	都心へのアクセスが良い	多様な人が暮らしている	医療環境が整っている	子育て環境が整っている	福祉環境が充実している	その他	無回答
年齢	20歳未満	1	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	93	14.0	21.5	11.8	9.7	21.5	40.9	36.6	10.8	16.1	7.5	33.3	33.3	7.5	10.8	11.8	9.7	5.4	3.2
	30～39歳	175	5.7	12.0	18.9	15.4	24.6	38.9	43.4	12.6	17.7	5.7	26.3	26.9	2.9	13.1	16.0	5.1	14.3	5.7
	40～49歳	90	5.6	7.8	14.4	8.9	12.2	26.7	34.4	11.1	11.1	4.4	16.7	18.9	1.1	14.4	13.3	8.9	16.7	10.0
	50～59歳	55	7.3	7.3	18.2	16.4	18.2	25.5	34.5	7.3	7.3	1.8	23.6	25.5	5.5	16.4	5.5	5.5	10.9	20.0
	60～64歳	15	13.3	20.0	40.0	20.0	26.7	26.7	40.0	6.7	13.3	13.3	20.0	26.7	13.3	46.7	13.3	6.7	6.7	13.3
	65～69歳	23	8.7	13.0	17.4	13.0	21.7	17.4	30.4	8.7	13.0	4.3	17.4	17.4	4.3	13.0	13.0	4.3	13.0	21.7
	70～74歳	14	14.3	14.3	35.7	21.4	28.6	21.4	50.0	7.1	14.3	0.0	35.7	21.4	7.1	14.3	0.0	21.4	7.1	14.3
	75歳以上	9	11.1	22.2	11.1	0.0	33.3	11.1	33.3	0.0	33.3	22.2	22.2	55.6	22.2	44.4	11.1	44.4	0.0	11.1
推奨度 居住	推奨者	89	6.7	9.0	16.9	18.0	19.1	25.8	24.7	9.0	11.2	3.4	15.7	30.3	5.6	11.2	9.0	7.9	10.1	13.5
	中立者	273	9.9	13.6	17.6	11.7	21.2	32.6	43.2	9.9	13.2	5.9	25.6	24.5	4.8	11.7	10.6	6.6	10.6	7.3
	非推奨者	110	8.2	17.3	18.2	14.5	25.5	41.8	44.5	15.5	22.7	8.2	34.5	30.0	5.5	25.5	21.8	10.9	15.5	4.5
推奨度 来訪	推奨者	65	7.7	7.7	20.0	15.4	15.4	24.6	27.7	9.2	10.8	7.7	18.5	27.7	6.2	13.8	13.8	12.3	10.8	10.8
	中立者	258	10.5	12.8	17.1	13.6	21.7	30.2	39.1	10.5	11.6	5.4	24.4	27.1	3.9	12.0	8.9	6.2	8.5	8.5
	非推奨者	147	6.8	17.7	17.0	12.9	25.2	42.9	46.9	12.9	22.4	6.1	31.3	26.5	6.8	21.1	19.7	9.5	17.7	5.4

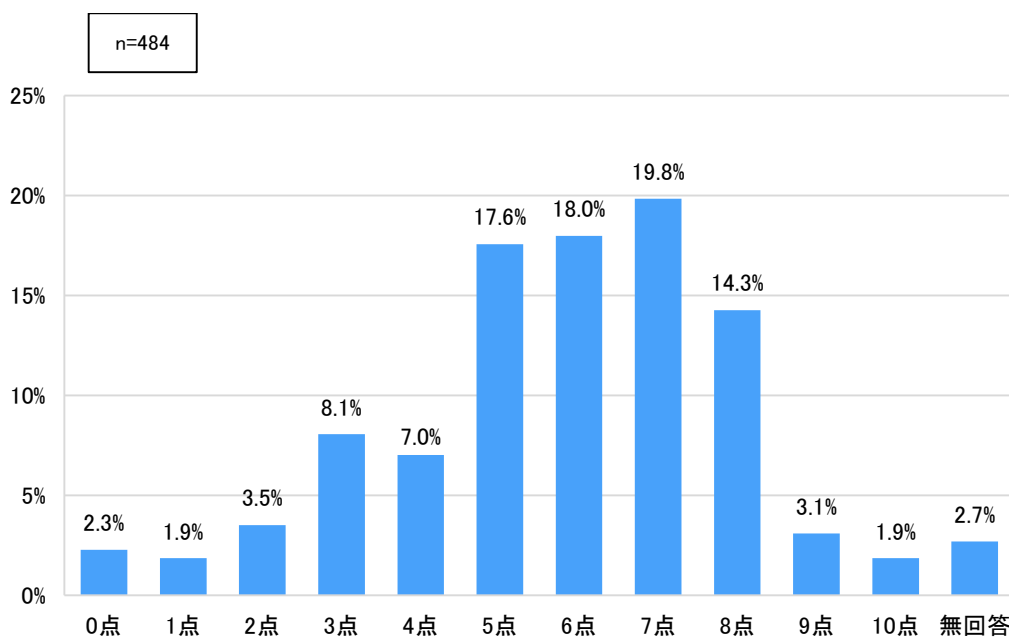
（３）推奨度

１）「まち（地域）」の推奨度

問 17：あなたはご自身がお住まいの「まち（地域）」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。

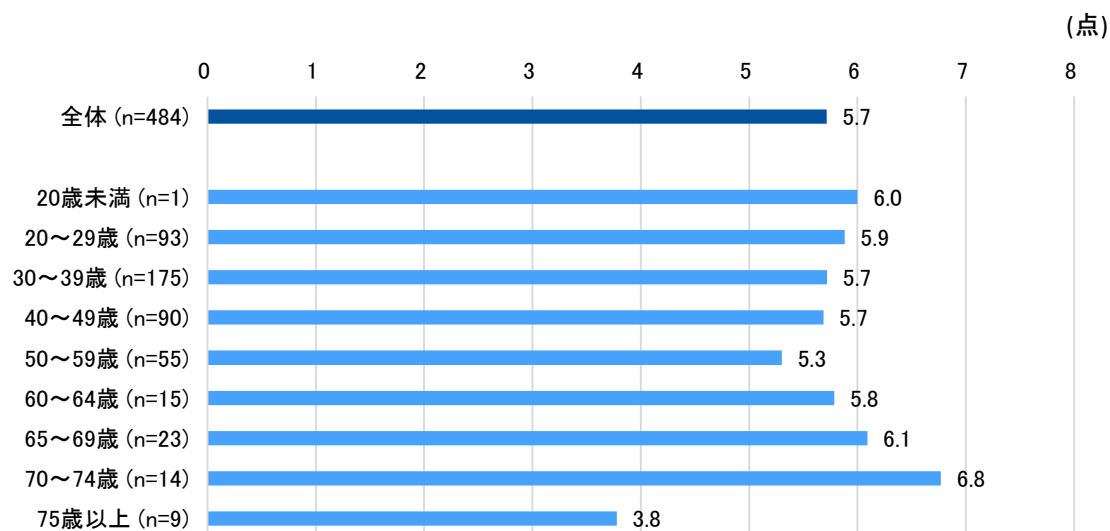
江戸川区の「まち（地域）」を友人・知人などにすすめたいかの推奨度について、「7 点」が 19.8%と最も高く、次いで「6 点」（18.0%）、「5 点」（17.6%）となっており、中立者（5 点～7 点）が全体の約 5 割となっている。

図表 まち（地域）の推奨度分布



年齢別では、20歳未満から40歳代の平均点は約6点となっている。また、50歳以降は年齢が上がるにしたがって平均点は上がる傾向がみられる。

図表 まち（地域）の推奨（年齢別）

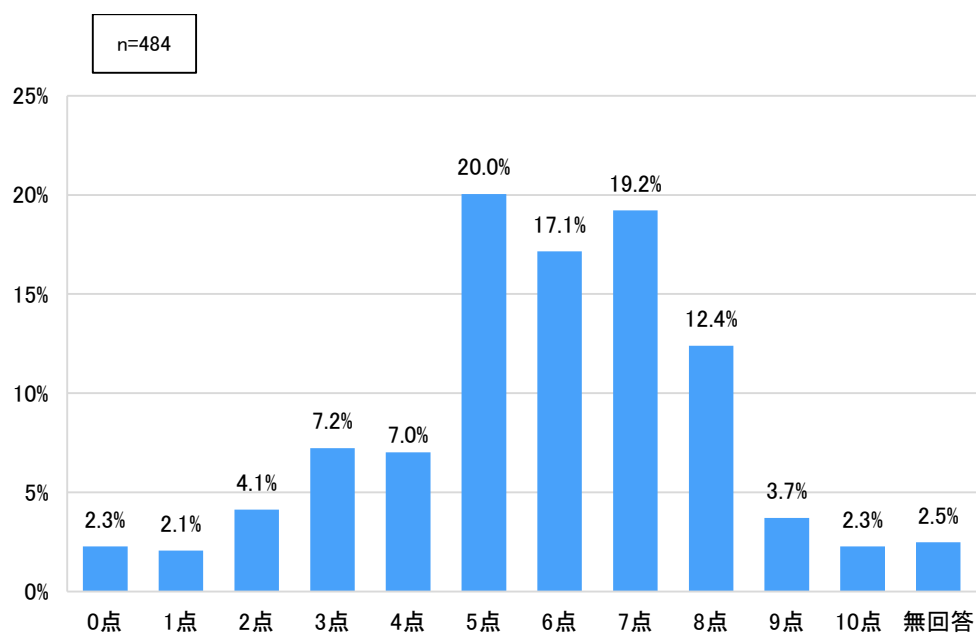


2) 居住推奨度

問 18：あなたは「江戸川区に住むこと」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。

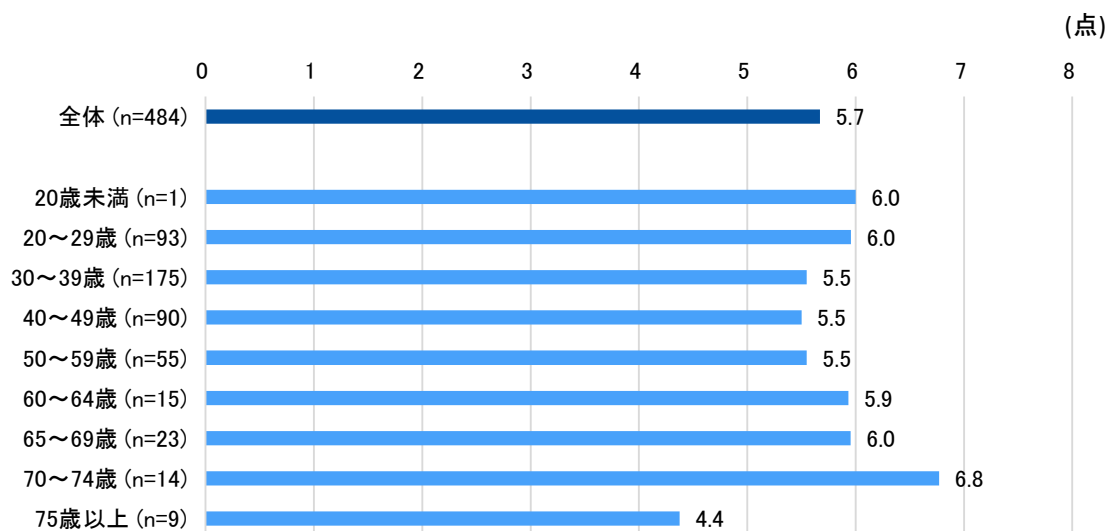
江戸川区に住むことを友人・知人などにすすめたいかの居住推奨度については、「5点」が20.0%と最も高く、次いで「7点」(19.2%)、「6点」(17.1%)、となっている。中立者(5点～7点)が全体の約6割となっている。

図表 居住推奨度分布図



年齢別では、「30 歳～59 歳」の平均点は 5.5 点と全体（5.7 点）よりも 0.2 ポイント低くなっている。

図表 居住の推奨（年齢別）

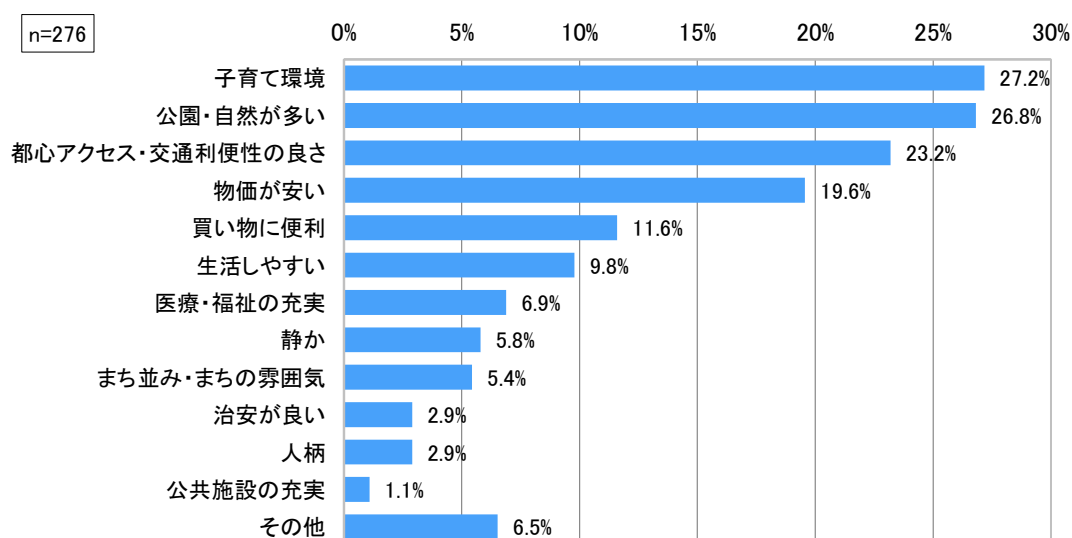


3) 居住推奨理由

問 19：どういった点をすすめたいと思いますか。（自由回答）

居住推奨理由については、「子育て環境」が 27.2%と最も高く、次いで「公園・自然が多い」（26.8%）、「都心アクセス・交通利便性の良さ」（23.2%）と続く。

図表 居住推奨理由

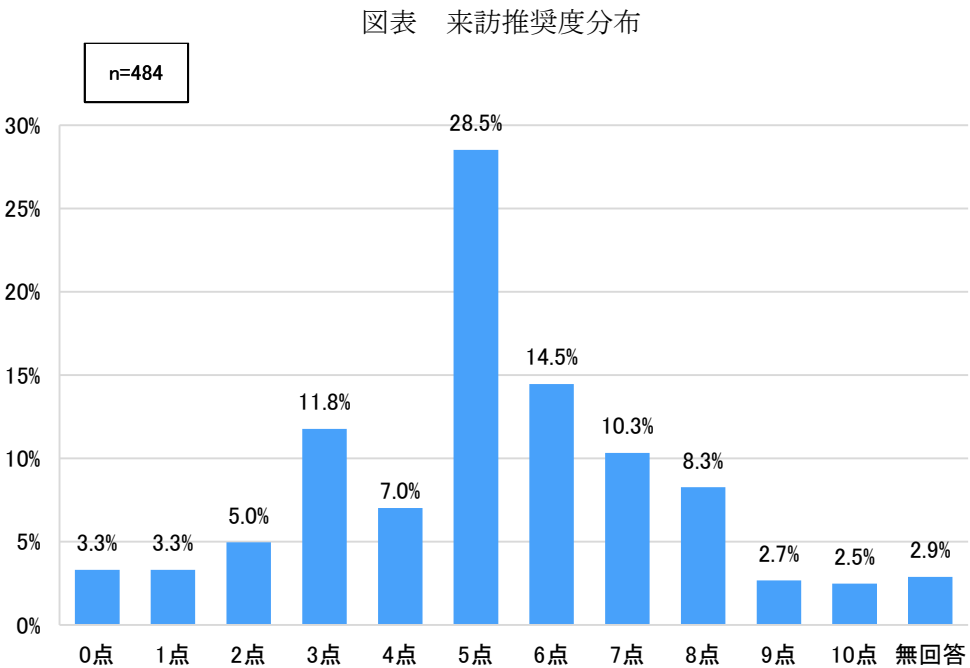


注）自由回答結果をアフターコーディングして集計した

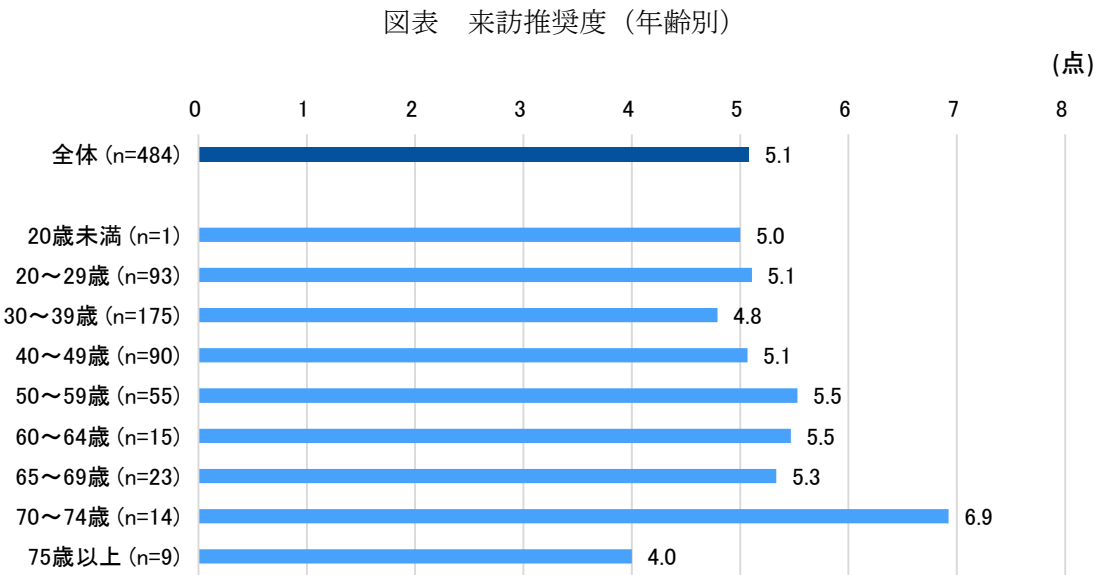
4) 来訪推奨度

問 20：あなたは「江戸川区に訪れること」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたい
と思いますか。

江戸川区に訪れることを友人・知人などにすすめたいかの来訪推奨度については、「5 点」が 28.5%と最も高く、次いで「6 点」(14.5%)、「3 点」(11.8%)となっている。中立者(5 点～7 点)が全体の約 5 割を上回っている。



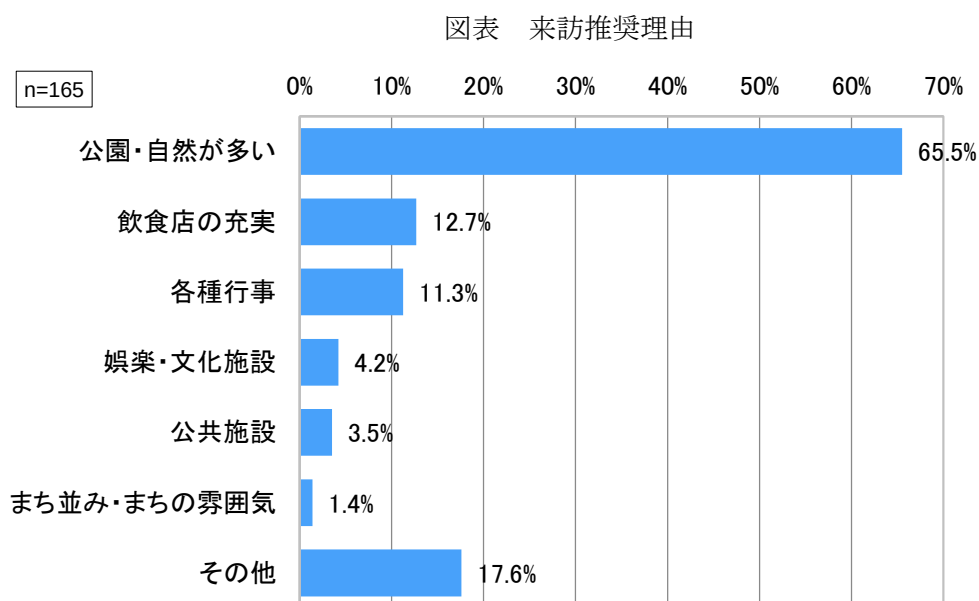
年齢別では、20 歳未満の平均点は 5.0 点、「30～39 歳」は 4.8 点となっており、全体(5.1 点)よりも低い評価となっている。



5) 来訪推奨理由

問 21： といった点をすすめたいと思いますか。(自由回答)

来訪推奨理由については、「公園・自然が多い」が 65.5%と最も高く、次いで「飲食店の充実」(12.7%)、「各種行事」(11.3%)となっている。各種行事では江戸川区花火大会が多くあげられた。



注) 自由回答結果をアフターコーディングして集計した

5. 今後の居住意向について

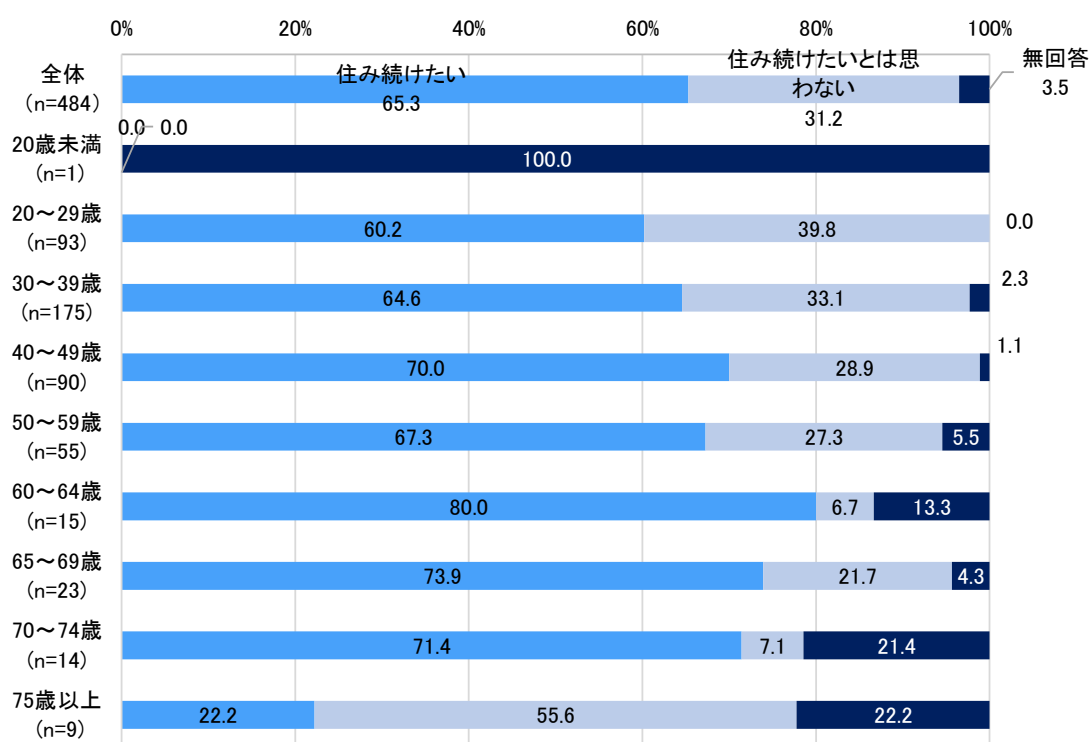
(1) 今後の居住意向

問 22：今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

江戸川区への居住意向については、「住み続けたい（以下居住継続意向）」が 65.3%となっている。

年齢別では、「60～64 歳」が 80.0%と最も高くなっている。一方で、「75 歳以上」の居住継続意向が 22.2%と最も低くなっている。

図表 今後の居住意向について



性別では、男性は女性に比べて居住継続意向の割合が高い。

居住及び来訪推奨度別では、推奨度が高いほど居住継続意向も高い傾向にあり、居住推奨者の居住継続意向は 92.1%となっており、来訪推奨者の居住継続意向（81.5%）とともに高い。

また、転入前の自治体での居住年数が1年～5年の転入者は、居住意向に大きな差異がない。

図表 今後の居住意向について（性別・推奨度別）（%）

		回答数	住み続けたい	住み続けたい とは思わない	無回答
性別	男性	192	73.4	25.0	1.6
	女性	283	59.7	35.3	4.9
居住 推奨度	推奨者	89	92.1	4.5	3.4
	中立者	273	68.5	27.5	4.0
	非推奨者	110	36.4	63.6	0.0
来訪 推奨度	推奨者	65	81.5	10.8	7.7
	中立者	258	72.1	25.2	2.7
	非推奨者	147	45.6	53.1	1.4

図表 今後の居住意向について（転入する前の自治体での居住年数別）

		（%）	
転入前 居住年数	居住意向	住み続けたい (n=316)	住み続けたい とは思わない (n=151)
1年未満		7.6	4.6
1年～5年		46.5	45.0
6年～10年		9.8	14.6
11年～20年		13.0	16.6
21年～30年		11.7	9.9
31年以上		8.2	6.6
無回答		3.2	2.6

(2) 居住理由

1) 住み続けたい理由

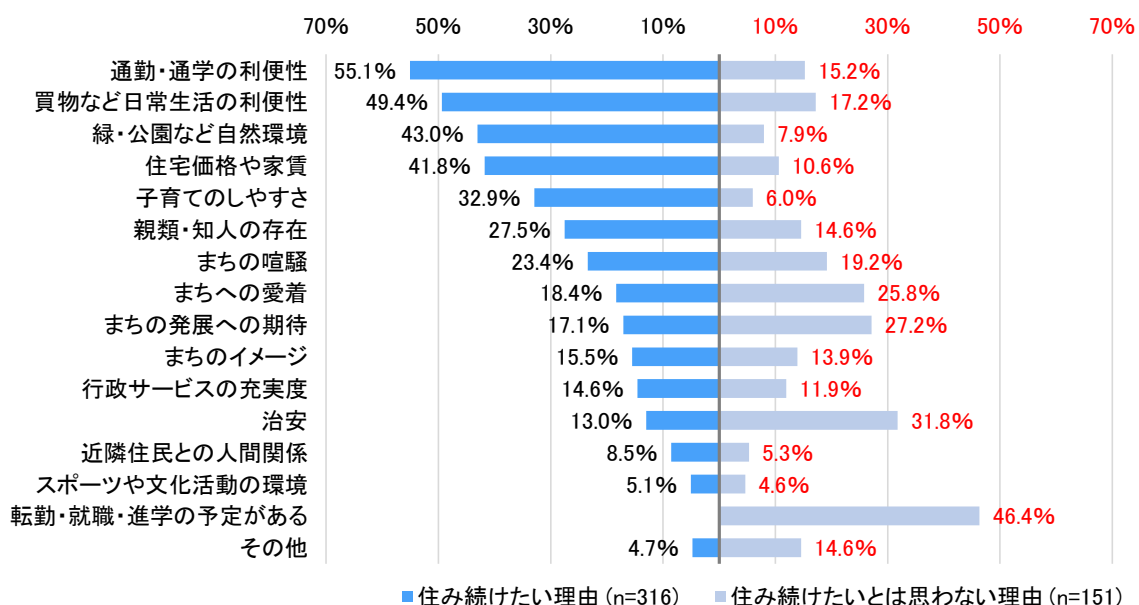
問 23：今後も住み続けたい理由は何ですか。

問 24：今後、住み続けたいとは思わない理由は何ですか。

住み続けたい理由としては、「通勤・通学に便利である」が 55.1%と最も高く、次いで「買物など日常生活の利便性が良い」(49.4%)、「緑・公園など自然環境が豊かである」(43.0%)となっている。

住み続けたいとは思わない理由については、「転勤・就職・進学の手配がある」が 46.4%と最も高く、次いで「治安」(31.8%)と続いている。また、「その他(自由回答)」として、「水害への不安」が多くあげられた。

図表 住み続けたい／住み続けたくない理由

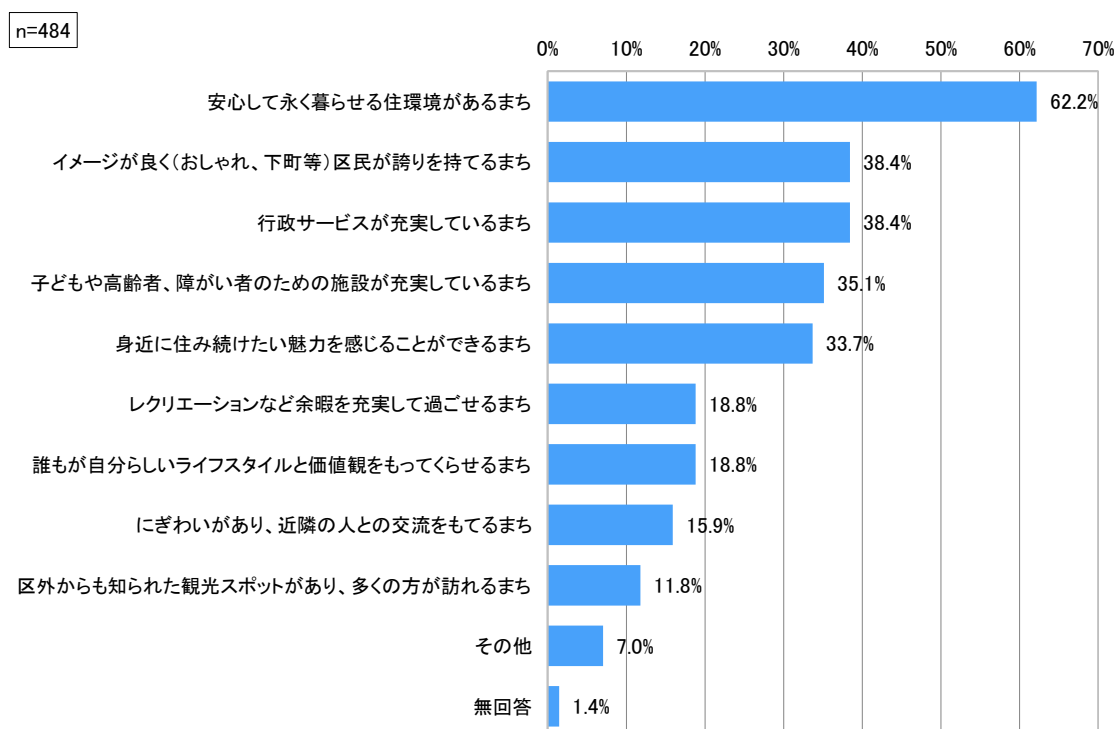


6. 今後のまちづくり

問 25：あなたが魅力を感じるまちを選んでください。

魅力を感じるまちについては、「安心して長く暮らせる住環境があるまち」が 62.2%と最も高く、次いで「イメージが良く（おしゃれ、下町等）区民が誇りを持てるまち」（38.4%）、「行政サービスが充実しているまち」（38.4%）、「子どもや高齢者、障がい者のための施設が充実しているまち」（35.1%）と続く。

図表 魅力を感じるまち



性別では、男性が女性に比べて「レクリエーションなど余暇を充実して過ごせるまち」の割合が高く、女性は「子どもや高齢者、障がい者のための施設が充実しているまち」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、20 歳代以降は「安心して長く暮らせる住環境があるまち」の割合が最も高い。また、20 歳代及び30 歳代は「イメージが良く（おしゃれ、下町等）区民が誇りを持てるまち」の割合が他の年齢を上回っている。

図表 魅力を感じるまち（性別・年齢別）

(%)

		回答数	区外からも知られた、観光スポットがあり、多くの方が訪れるまち	イメージが良く（おしゃれ、下町等）区民が誇りを持てるまち	レクリエーションなど余暇を充実して過ごせるまち	にぎわいがあり、近隣の人との交流をもてるまち	身近に住み続けたい魅力を感じることができるまち	誰もが自分らしいライフスタイルと価値観をもつてくらせるまち	子どもや高齢者、障がい者のための施設が充実しているまち	行政サービスが充実しているまち	安心して長く暮らせる住環境があるまち	その他	無回答
性別	男性	192	11.5	36.5	25.0	15.1	34.9	22.4	28.1	37.0	60.9	9.4	1.6
	女性	283	12.0	39.6	14.8	15.9	33.2	15.5	40.3	39.6	64.0	5.7	1.4
年齢	20歳未満	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	93	15.1	43.0	20.4	16.1	34.4	17.2	36.6	28.0	59.1	3.2	0.0
	30～39歳	175	10.3	42.3	21.7	19.4	34.9	16.6	34.9	44.6	61.1	10.3	0.0
	40～49歳	90	12.2	35.6	17.8	12.2	34.4	16.7	42.2	40.0	68.9	8.9	0.0
	50～59歳	55	7.3	29.1	12.7	10.9	32.7	27.3	25.5	36.4	65.5	1.8	7.3
	60～64歳	15	6.7	26.7	13.3	6.7	26.7	26.7	26.7	26.7	66.7	6.7	6.7
	65～69歳	23	8.7	34.8	13.0	17.4	43.5	21.7	39.1	47.8	65.2	4.3	4.3
	70～74歳	14	14.3	21.4	21.4	7.1	21.4	21.4	28.6	42.9	64.3	7.1	0.0
	75歳以上	9	44.4	55.6	22.2	11.1	22.2	0.0	44.4	22.2	44.4	11.1	11.1

江戸川区の魅力に関する意識調査

転出者対象

I. 調査の概要

1. 目 的

転出者の区に対する魅力やイメージなどを把握し、今後のシティプロモーション推進の基礎資料とすることを目的として実施。

2. 対 象

- (1) 平成 26 年度以降に江戸川区から転出した満 18 歳以上の方 1,500 人
- (2) 対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出

3. 期 間

令和元年 11 月 2 日（土）～11 月 16 日（土）

4. 調査方法

調査票を対象者に郵送・郵送により回収

5. 回収結果

- (1) 標本数 1,500 件
- (2) 有効回収数 319 件
- (3) 有効回収率 21.3%

6. 調査項目

- (1) 回答者の基本属性について
- (2) 転出の経緯等について
- (3) 江戸川区のイメージについて
- (4) 推奨したい区の魅力について

7. 報告書の見方

- (1) 図表の中の n とは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- (2) 割合は n を分母とした百分比で算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入した。
そのために、百分比の合計が 100%に満たない、または上回ることがある。
- (3) 1 人の回答者が複数回答を行う設問では、その割合の合計が 100%を上回ることがある。
- (4) 本文や図表中で語句を短縮・省略化している選択肢がある。
- (5) 質問項目によっては、その特徴をより明確に出せるように「無回答」は掲載していない。そのため、分析の n の合計が全体と一致しない場合がある。
- (6) 本文や図表中の表記では、ひとつの質問中の複数の選択肢をまとめ、あるいは任意の選択肢のみの割合を比較する手法を用いている場合がある。
- (7) 回答者の少ない項目については、比率等に誤差が生じている場合があり、結果の解釈に注意を要する。
- (8) 無効回答を除いているため、一部の設問間で数値が異なる場合がある。

Ⅱ. 調査結果

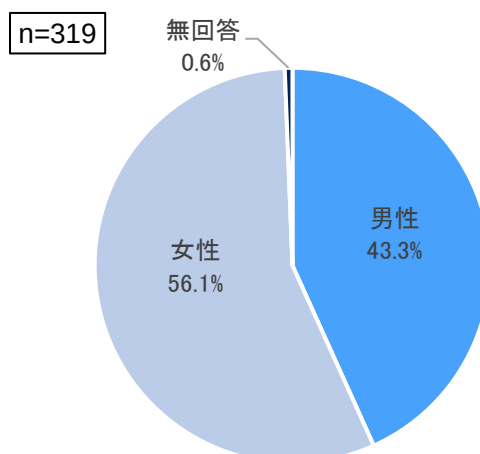
1. 回答者属性

(1) 性別

問1：あなたの性別をお知らせください。

性別は、「男性」が43.3%、「女性」が56.1%と女性の割合がやや多い。

図表 性別



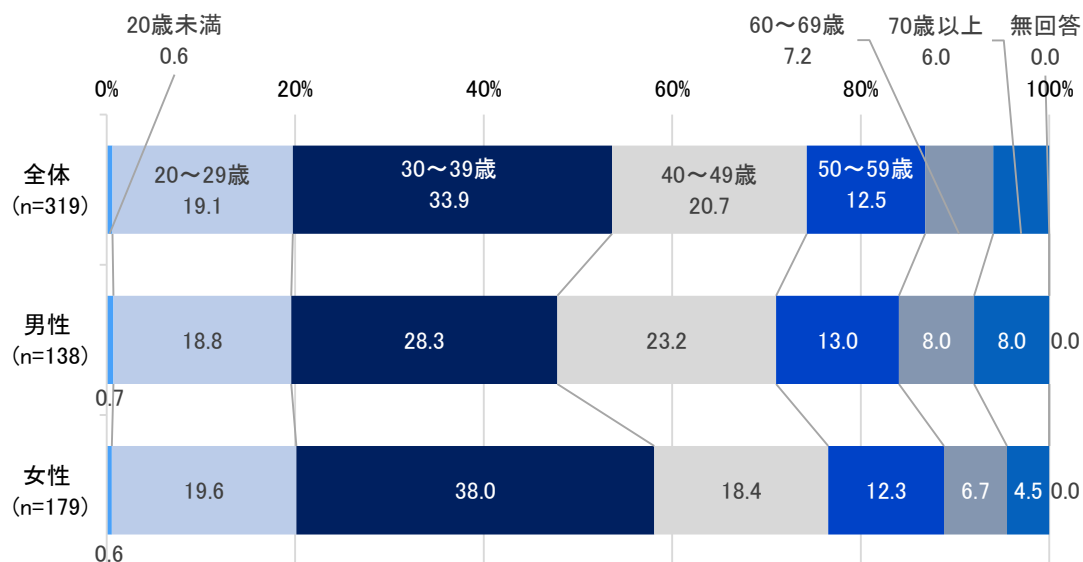
(2) 年齢

問2：あなたの年齢をお知らせください。

年齢は、「30～39歳」の割合が33.9%と最も高く、次いで「40～49歳」(20.7%)、「20～29歳」(19.1%)がいずれも約2割を占めている。「50～59歳」は12.5%と約1割となっている。

性別では、男性は女性に比べて「40～49歳」の割合がやや高く、女性は「30～39歳」の割合が男性を上回っている。

図表 年齢

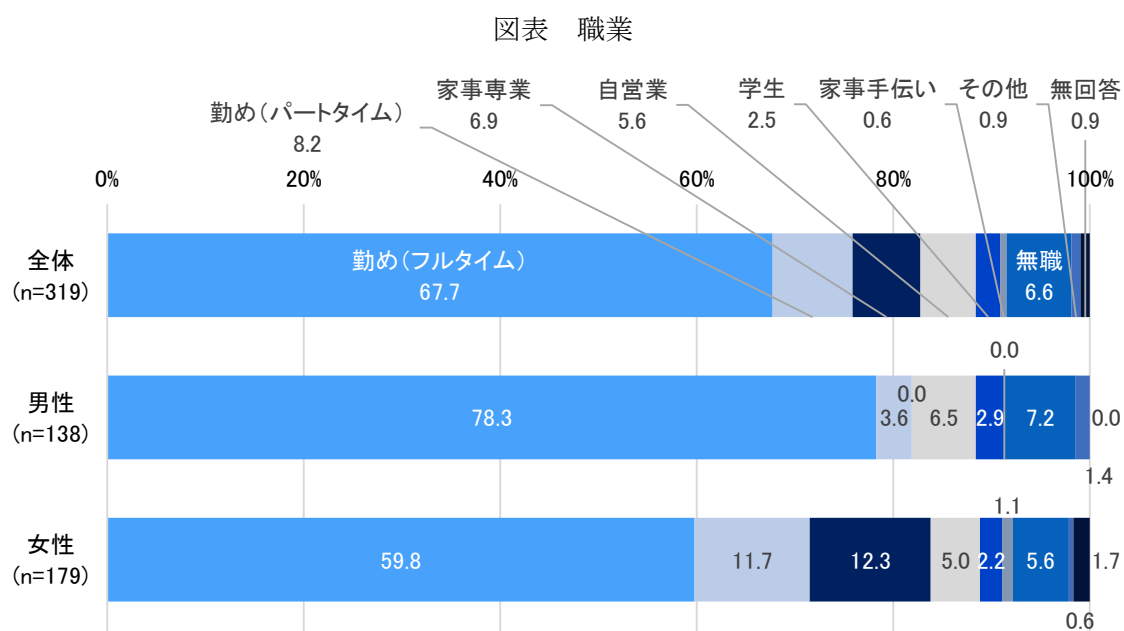


(3) 職業

問3：あなたのご職業をお知らせください。

職業は、「勤め（フルタイム）」が 67.7%と最も高く、「勤め（パートタイム）」(8.2%)、「家事専業」(6.9%) と続く。

性別では、男性は女性に比べて「勤め（フルタイム）」「自営業」「無職」の割合が特に高く、女性は「家事専業」「勤め（パートタイム）」が男性を上回っている。



(4) 同居家族の人数

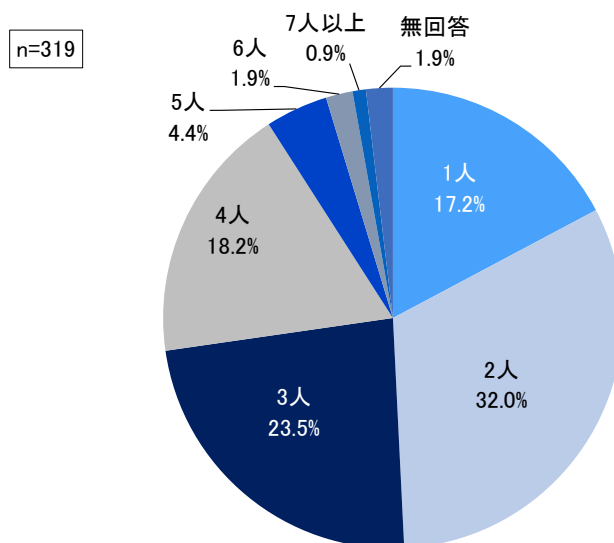
問4：一緒に暮らしているご家族の人数（ご自身を含めて）をお知らせください。

同居する家族の人数については、「2人」が32.0%と最も高く、次いで「3人」(23.5%)、「4人」(18.2%)、「1人」(17.2%)と続く。

性別では、女性の「1人～3人」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、65歳以上の約5割が「2人」となっている。

図表 自身を含む同居家族の人数



図表 同居家族の人数（性別及び年齢別）

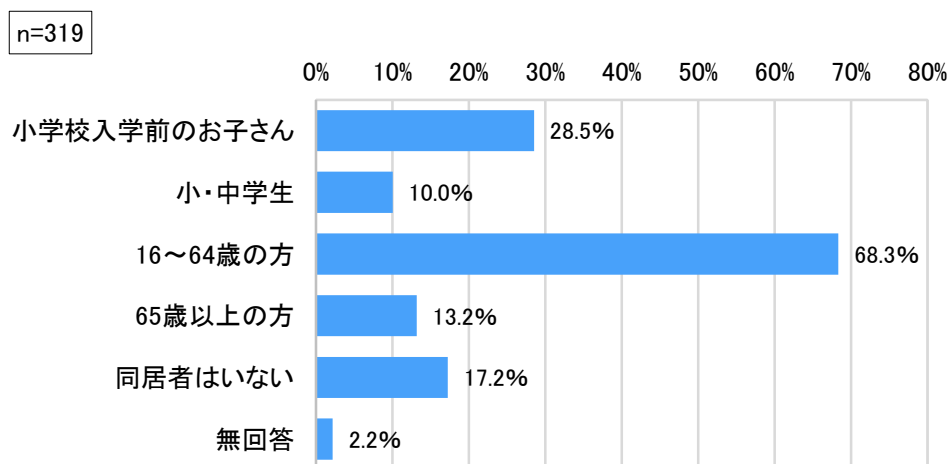
		(%)								
		回答数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体		319	17.2	32.0	23.5	18.2	4.4	1.9	0.9	1.9
性別	男性	138	15.9	28.3	21.7	21.7	4.3	2.9	1.4	3.6
	女性	179	18.4	34.6	25.1	15.1	4.5	1.1	0.6	0.6
年齢	20歳未満	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20～29歳	61	26.2	32.8	23.0	11.5	0.0	1.6	1.6	3.3
	30～39歳	108	12.0	25.0	34.3	21.3	6.5	0.0	0.9	0.0
	40～49歳	66	13.6	30.3	19.7	22.7	6.1	1.5	1.5	4.5
	50～59歳	40	12.5	40.0	12.5	22.5	7.5	2.5	0.0	2.5
	60～64歳	17	29.4	35.3	17.6	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	6	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	11	27.3	45.5	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0
	75歳以上	8	37.5	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) 同居者について

問5：同居者（本人以外）をお知らせください。

同居者については、「16～64歳」が68.3%と最も多く、次いで「小学校入学前の子」(28.5%)、「65歳以上」(13.2%)、「小・中学生」(10.0%)となっている。

図表 同居者（本人以外）



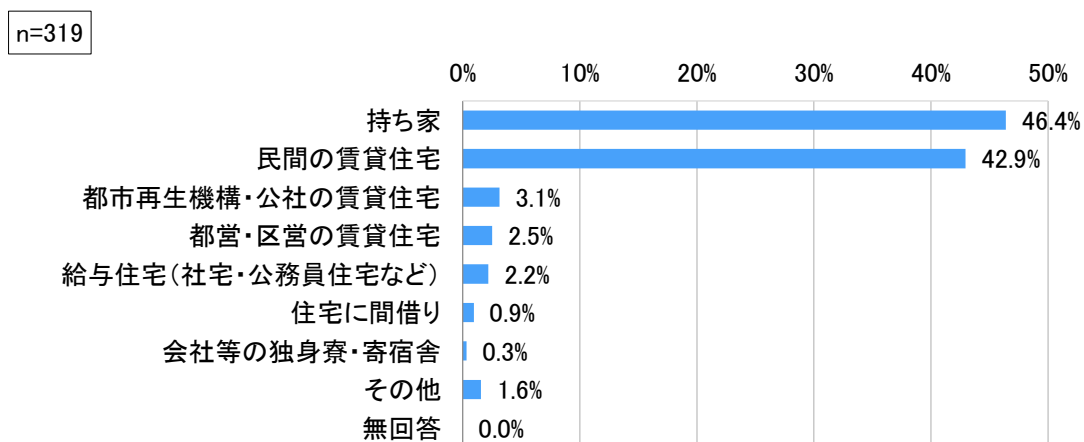
注)「同居者はいない」については、前問の「同居家族の人数が1人」の集計値から算出

(6) 住居形態

問6：現在のあなたの住居の種類をお知らせください。

住居形態は「持ち家」が46.4%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」(42.9%)となっており、合わせて全体の約9割を占めている。

図表 住居形態



年齢別では、「40～49 歳」は「持ち家」の割合が 66.7%と最も高い。また、「20～29 歳」(63.9%)と「60～64 歳」(52.9%)は「民間賃貸住宅」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

図表 住居形態（年齢別）

(%)

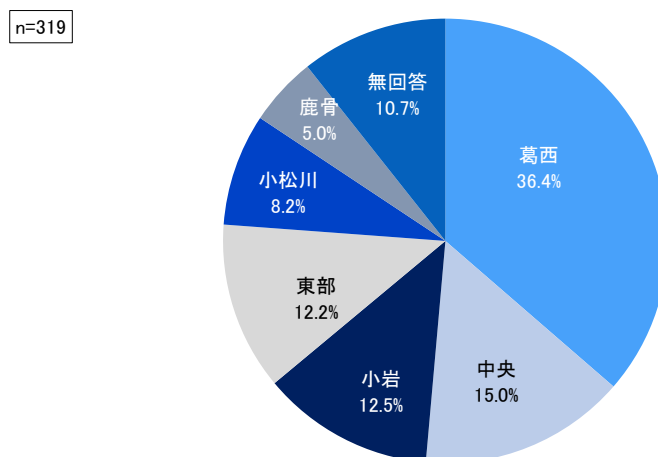
		回 答 数	持 ち 家	都 営・区 営の 賃 貸 住 宅	都 市 再 生 機 構・ 公 社 の 賃 貸 住 宅	民 間 の 賃 貸 住 宅	給 与 住 宅（社 宅・ 公 務 員 住 宅 な ど）	住 宅 に 間 借 り	会 社 等 の 独 身 寮・ 寄 宿 舎	そ の 他
	全体	319	46.4	2.5	3.1	42.9	2.2	0.9	0.3	1.6
性 別	男性	138	48.6	1.4	2.2	42.0	2.2	1.4	0.7	1.4
	女性	179	44.7	3.4	3.9	43.6	2.2	0.6	0.0	1.7
年 齢	20歳未満	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	61	24.6	1.6	1.6	63.9	6.6	1.6	0.0	0.0
	30～39歳	108	47.2	0.9	1.9	46.3	1.9	0.0	0.9	0.9
	40～49歳	66	66.7	0.0	1.5	25.8	1.5	1.5	0.0	3.0
	50～59歳	40	50.0	2.5	2.5	42.5	0.0	0.0	0.0	2.5
	60～64歳	17	35.3	0.0	11.8	52.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	6	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	11	45.5	0.0	18.2	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1
	75歳以上	8	25.0	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0

（７）転出前の居住地

問 7：転出前後のお住まいの場所をお知らせください。

転出前の居住地は、「葛西地域」が 36.4%と最も高く、次いで「中央地域」(15.0%)、「小岩地域」(12.5%) と続く。

図表 転出前の居住地

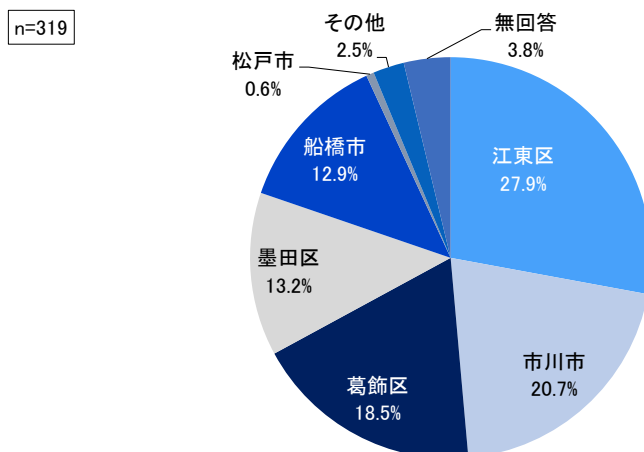


（８）転出先

転出先については、「江東区」が 27.9%と最も高く、次いで「市川市」(20.7%)、「葛飾区」(18.5%) となっており、近隣自治体が約 9 割を占める。

また、転出先別の同居家族（本人以外）の人数の割合でみると、「江東区」、「市川市」、「葛飾区」、「墨田区」については「2 人」の割合が最も高く、「船橋市」については「3 人」の割合が最も高い。

図表 転出先



図表 転出先別の同居家族の人数

(%)

		回答数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体		319	17.2	32.0	23.5	18.2	4.4	1.9	0.9	1.9
転出先	江東区	90	23.3	37.8	16.7	16.7	3.3	0.0	0.0	2.2
	市川市	66	12.1	39.4	19.7	18.2	4.5	3.0	0.0	3.0
	葛飾区	59	13.6	28.8	22.0	20.3	5.1	3.4	5.1	1.7
	墨田区	42	21.4	28.6	23.8	16.7	7.1	2.4	0.0	0.0
	船橋市	41	17.1	22.0	31.7	22.0	4.9	2.4	0.0	0.0
	松戸市	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	7	0.0	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	無回答	12	16.7	16.7	41.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

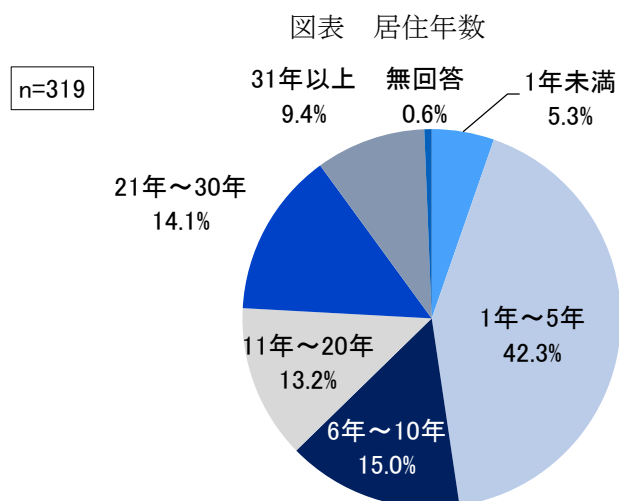
(9) 江戸川区での居住年数³⁴

問 8：江戸川区での居住年数をお知らせください。

転出前の居住年数については、「1年～5年」が42.3%と最も高く、「6年～10年」(15.0%)、「21年～30年」(14.1%)、「11年～20年」(13.2%)と続く。

年齢別では、20歳代及び30歳代では「1年～5年」が約5割となっている。「60歳～64歳」は「31年以上」が29.4%と最も高く、「70～74歳」においても「31年以上」が27.3%といずれも約3割となっている。

同居者別では、「小学校入学前の子」をもつ方の居住年数は、「1年～5年」が59.3%となっている。



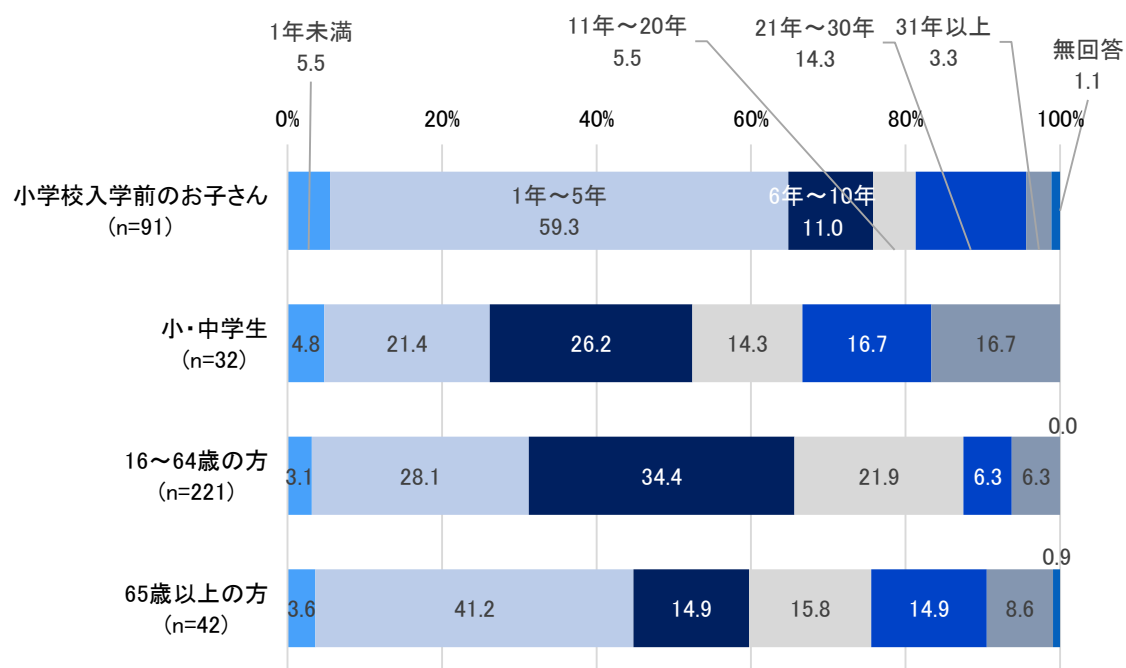
³⁴ 問 9、江戸川区からの転出時期に関しては特別傾向が見受けられなかったため、分析を割愛している。

図表 転出前の居住年数（年齢別）

(%)

	回答数	1年未満	1年～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年以上	無回答
全体	319	5.3	42.3	15.0	13.2	14.1	9.4	0.6
性別 男性	138	6.5	41.3	16.7	10.9	13.8	10.1	0.7
性別 女性	179	4.5	43.6	14.0	14.5	14.0	8.9	0.6
年齢 20歳未満	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	61	6.6	47.5	3.3	16.4	24.6	0.0	1.6
30～39歳	108	5.6	53.7	13.9	4.6	14.8	6.5	0.9
40～49歳	66	3.0	43.9	21.2	21.2	6.1	4.5	0.0
50～59歳	40	5.0	30.0	17.5	17.5	12.5	17.5	0.0
60～64歳	17	11.8	11.8	17.6	17.6	11.8	29.4	0.0
65～69歳	6	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0
70～74歳	11	0.0	18.2	18.2	18.2	18.2	27.3	0.0
75歳以上	8	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	50.0	0.0

図表 転出前の居住年数（同居者別）

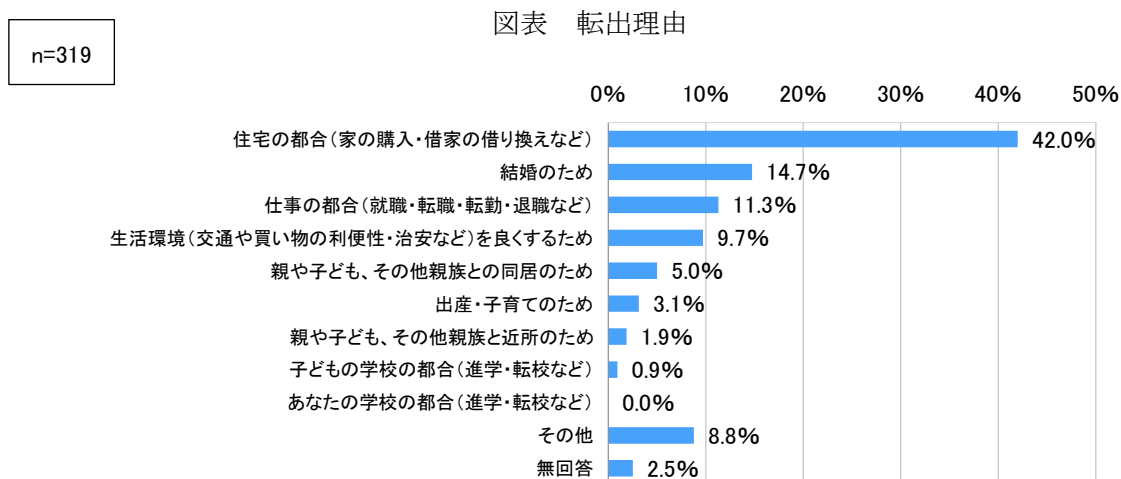


2. 転出の経緯等について

(1) 転出理由

問 10：江戸川区から転出した主な理由を教えてください。

江戸川区から転出した理由については、「住宅の都合」が 42.0%と最も高く、次いで「結婚のため」(14.7%)、「仕事の都合」(11.3%)と続く。



性別では、男性は女性に比べて「仕事の都合」、「親や子ども、その他親族との同居のため」の割合が高く、女性は「結婚のため」「出産・子育てのため」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、いずれの年齢層においても「住宅の都合」の割合が最も高い。20 歳代及び 30 歳代では「結婚のため」が約 2 割となっている。

図表 転出理由 (性別)

(%)

	回答数	仕事の都合 (就職・転職・転勤・退職など)	あなたの学校の都合 (進学・転校など)	子どもの学校の都合 (進学・転校など)	結婚のため	出産・子育てのため	親や子ども、その他親族との同居のため	親や子ども、その他親族と近所のため	住宅の都合 (家の購入・借家の借り換えなど)	生活環境 (交通や買い物の利便性・治安など) を良くするため	その他	無回答
全体	319	11.3	0.0	0.9	14.7	3.1	5.0	1.9	42.0	9.7	8.8	2.5
性別 男性	138	15.2	0.0	0.7	13.0	2.9	7.2	0.7	42.8	9.4	7.2	0.7
女性	179	8.4	0.0	1.1	15.6	3.4	3.4	2.8	41.3	10.1	10.1	3.9

図表 転出理由（年齢別）

（％）

		回答数	仕事の都合（就職・転職・転勤・退職など）	あなたの学校の都合（進学・転校など）	子どもの学校の都合（進学・転校など）	結婚のため	出産・子育てのため	親や子ども、その他親族との同居のため	親や子ども、その他親族と近所のため	住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）	生活環境（交通や買い物の利便性・治安など）を良くするため	その他	無回答
	全体	319	11.3	0.0	0.9	14.7	3.1	5.0	1.9	42.0	9.7	8.8	2.5
年齢	20歳未満	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	61	18.0	0.0	0.0	24.6	0.0	3.3	0.0	31.1	9.8	13.1	0.0
	30～39歳	108	7.4	0.0	0.9	24.1	6.5	2.8	1.9	37.0	12.0	4.6	2.8
	40～49歳	66	9.1	0.0	1.5	7.6	4.5	6.1	3.0	50.0	10.6	3.0	4.5
	50～59歳	40	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0	7.5	0.0	52.5	7.5	15.0	5.0
	60～64歳	17	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	52.9	5.9	17.6	0.0
	65～69歳	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0
	70～74歳	11	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	27.3	9.1	18.2	0.0
	75歳以上	8	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0	12.5	0.0

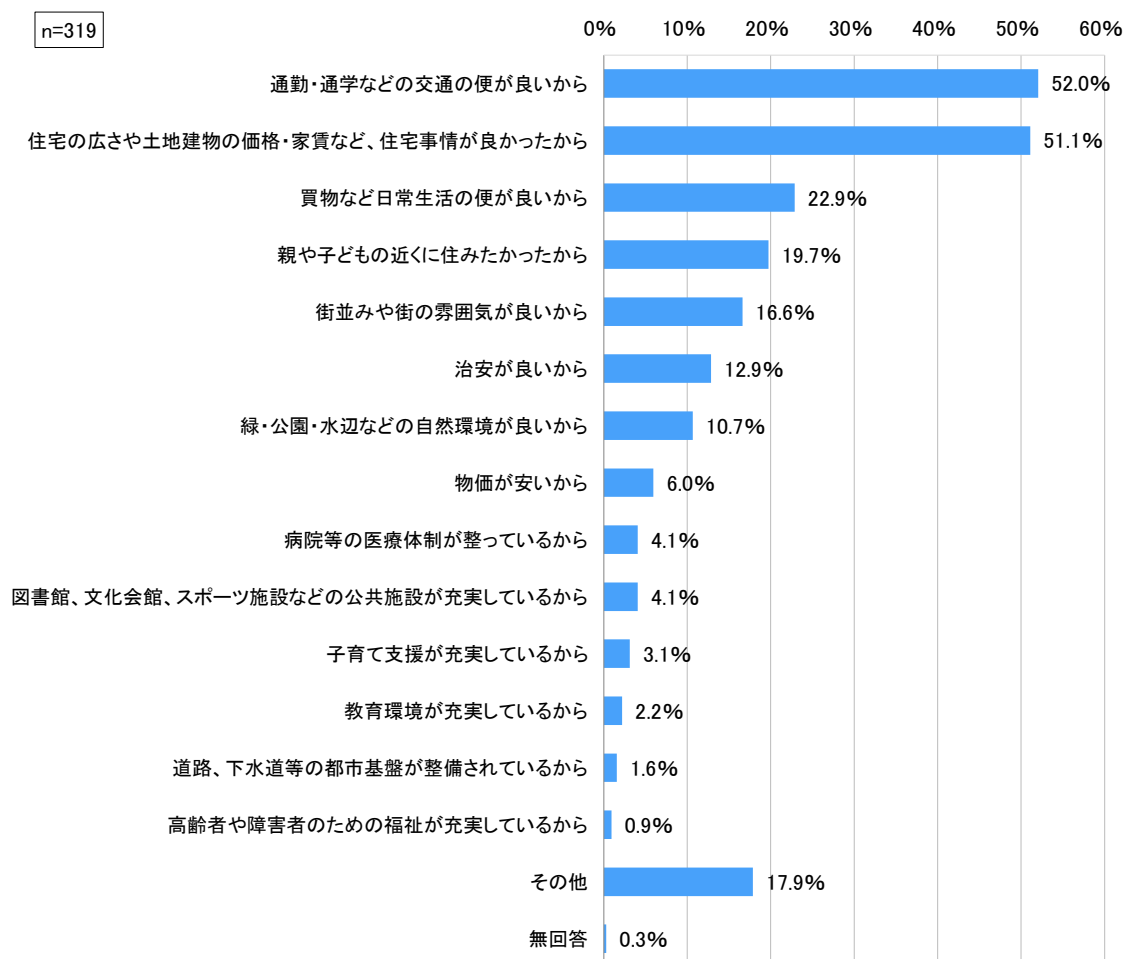
（２）転出先を選んだ理由

問 11：転出先に現在の区市町村を選んだ理由を教えてください。（選択肢）

転出先を選んだ理由については、「通勤・通学などの交通の便が良いから」が 52.0%と最も高く、次いで「住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから」（51.1%）、「買物など日常生活の便が良いから」（22.9%）となっている。

転出先別では、「江東区」、「墨田区」への転出理由は「通勤・通学などの交通の便が良いから」の割合が最も高く、「葛飾区」、「船橋市」への転出理由は「住宅の広さや土地建物の価格・家賃など住宅事情が良かったから」の割合が最も高い。

図表 転出先を選んだ理由



図表 転出先を選んだ理由（転出先別）

（％）

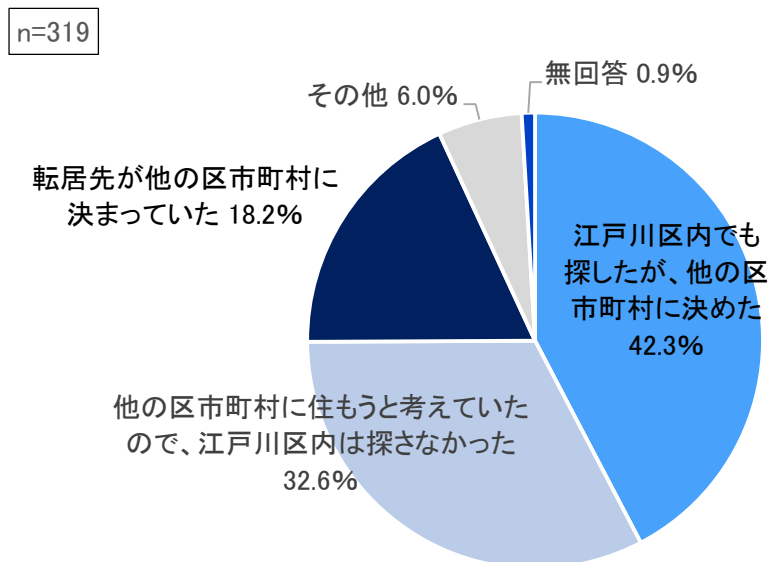
	回答数	買物など日常生活の便が良いから	通勤・通学などの交通の便が良いから	物価が安いから	親や子どもの近くに 住みたかったから	住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから	病院等の医療体制が整っているから	子育て支援が充実しているから	教育環境が充実しているから	高齢者や障害者のための福祉が充実しているから	緑・公園・水辺などの自然環境が良いから	道路、下水道等の都市基盤が整備されているから	街並みや街の雰囲気が良いから	治安が良いから	スポーツ施設などの公共施設が充実しているから	その他	無回答
全体	319	22.9	52.0	6.0	19.7	51.1	4.1	3.1	2.2	0.9	10.7	1.6	16.6	12.9	4.1	17.9	0.3
江東区	90	26.7	66.7	3.3	13.3	47.8	6.7	2.2	3.3	2.2	16.7	2.2	23.3	14.4	5.6	14.4	1.1
市川市	66	19.7	50.0	4.5	25.8	50.0	1.5	0.0	0.0	0.0	10.6	0.0	13.6	18.2	1.5	18.2	0.0
葛飾区	59	23.7	28.8	3.4	18.6	59.3	3.4	1.7	0.0	0.0	11.9	1.7	6.8	5.1	1.7	23.7	0.0
墨田区	42	23.8	69.0	0.0	21.4	33.3	0.0	7.1	2.4	0.0	2.4	2.4	21.4	9.5	7.1	19.0	0.0
船橋市	41	17.1	41.5	17.1	24.4	61.0	7.3	4.9	2.4	0.0	2.4	0.0	17.1	9.8	2.4	17.1	0.0
松戸市	2	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7	28.6	57.1	28.6	0.0	71.4	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0
無回答	12	25.0	50.0	16.7	25.0	50.0	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	25.0	8.3	16.7	0.0

（３）転出先の検討状況

問 12：転出するにあたり江戸川区内でも住まいを探されましたか。

転出先の検討状況については、「江戸川区内でも探したが、他の区市町村に決めた」が42.3％と最も高く、次いで「他の区市町村に住もうと考えていたので、江戸川区内は探さなかった」（32.6％）、「転居先が他の区市町村に決まっていた」（18.2％）となっている。

図表 転出先の検討状況



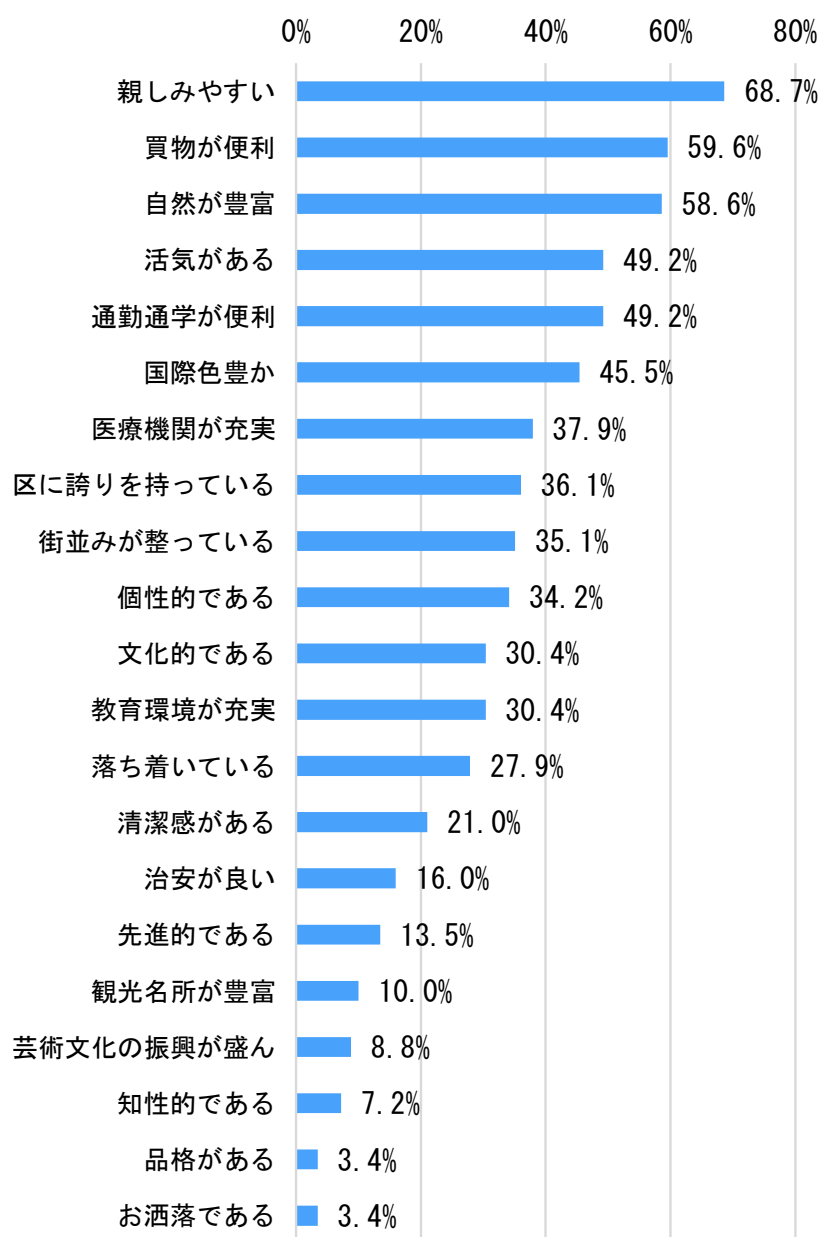
3. 江戸川区のイメージ

(1) 江戸川区のイメージ

問 13：江戸川区のイメージとして、該当する内容をそれぞれお答えください。

現在の江戸川区のイメージについては、高評価（「思う」の 4～5）の割合をみると、「親しみやすい」が 68.7%と最も高く、次いで「買物が便利」（59.6%）、「自然が豊富」（58.6%）と続く。

図表 現在の江戸川区のイメージ（高評価）



また、年齢別では、いずれの年齢層でも、「親しみやすい」、「買物が便利」、「通勤通学が便利」、「自然が豊富」の割合は高く、大きな差異はみられない。

来訪推奨度別³⁵でみると、推奨者は「親しみやすさ」や「利便性」、「自然の豊かさ」のほか、「活気がある」、「区に誇りを持っている」、「国際色が豊か」と広く割合が高い傾向がみられる。

図表 現在の江戸川区のイメージ（高評価：年齢別・推奨度別）（％）

		回答数	活気がある	区に誇りを持っている	個性的である	文化的である	親しみやすい	知性的である	落ち着いた	先進的である	清潔感がある	お洒落である	品格がある	買物が便利	通勤通学が便利	医療機関が充実	自然が豊富	教育環境が充実	整っている街並み	治安が良い	観光名所が豊富	国際色が豊か	芸術文化の振興が盛ん
	全体	319	49.2	36.1	34.2	30.4	68.7	7.2	27.9	13.5	21.0	3.4	3.4	59.6	49.2	37.9	58.6	30.4	35.1	16.0	10.0	45.5	8.8
年齢	20歳未満	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	61	42.6	31.1	42.6	31.1	65.6	0.0	24.6	1.6	6.6	0.0	1.6	62.3	52.5	36.1	54.1	24.6	26.2	1.6	6.6	55.7	8.2
	30～39歳	108	55.6	39.8	31.5	30.6	75.9	10.2	23.1	13.9	18.5	2.8	4.6	63.0	52.8	37.0	63.9	32.4	33.3	14.8	9.3	46.3	7.4
	40～49歳	66	39.4	24.2	30.3	24.2	63.6	6.1	28.8	13.6	22.7	6.1	3.0	51.5	40.9	39.4	65.2	33.3	45.5	18.2	6.1	47.0	9.1
	50～59歳	40	67.5	50.0	42.5	32.5	65.0	5.0	37.5	25.0	22.5	5.0	2.5	57.5	45.0	32.5	42.5	32.5	37.5	12.5	17.5	40.0	7.5
	60～64歳	17	35.3	41.2	29.4	23.5	70.6	5.9	29.4	17.6	41.2	5.9	5.9	70.6	58.8	52.9	58.8	23.5	23.5	41.2	11.8	41.2	5.9
	65～69歳	6	50.0	50.0	50.0	83.3	66.7	16.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	50.0	50.0	50.0	50.0	16.7	33.3	0.0	33.3	33.3
	70～74歳	11	36.4	27.3	27.3	36.4	54.5	27.3	27.3	36.4	45.5	0.0	0.0	54.5	54.5	45.5	54.5	27.3	36.4	27.3	27.3	27.3	0.0
	75歳以上	8	62.5	50.0	12.5	37.5	75.0	12.5	37.5	12.5	62.5	12.5	12.5	50.0	37.5	37.5	75.0	25.0	75.0	62.5	25.0	25.0	37.5
推奨度	推奨者	82	73.2	67.1	46.3	40.2	84.1	18.3	45.1	31.7	37.8	8.5	4.9	76.8	70.7	52.4	74.4	50.0	64.6	30.5	19.5	61.0	19.5
	中立者	156	49.4	31.4	32.1	30.8	76.9	4.5	25.6	7.7	17.9	1.3	3.2	60.9	47.4	40.4	63.5	31.4	32.1	15.4	9.0	47.4	6.4
	非推奨者	78	23.1	11.5	25.6	20.5	37.2	1.3	14.1	6.4	9.0	2.6	1.3	38.5	32.1	19.2	32.1	9.0	10.3	2.6	2.6	25.6	2.6

³⁵ 調査項目における「推奨したい区の魅力について」の「江戸川区に訪れること」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいかの回答点数（0～10点）により、以下の3分類とした。

・推奨者（8～10点） ・中立者（5～7点） ・非推奨者（0～4点）

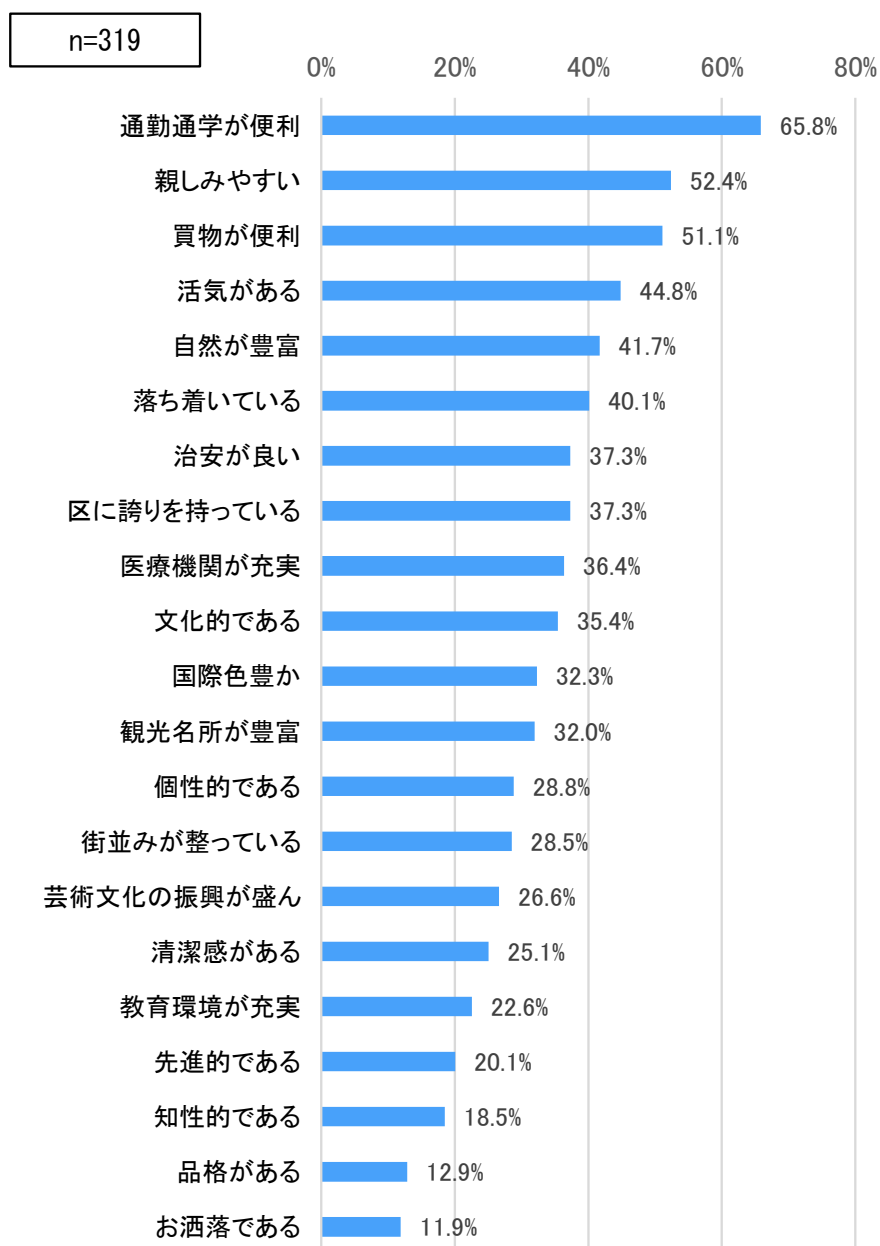
なお、推奨度別の詳細については「5. 来訪推奨度」として後述する。

(2) 転出先のまちのイメージ

問 14：あなたが現在住んでいるまちのイメージとして、該当する内容をそれぞれお答えください。

現在住んでいるまちのイメージ（以下、転出先）については、高評価（「思う」の 4～5）の割合をみると、「通勤通学が便利」が 65.8%と最も多く、次いで「親しみやすい」(52.4%)、「買物が便利」(51.1%)と続く。

図表 転出先のまちのイメージ（高評価）



(3) 江戸川区と転出先のイメージの差異

現在の江戸川区のイメージと転出先のまちのイメージについて評価度でみると、江戸川区のイメージ評価度は、「自然が豊富」、「親しみやすい」、「買物が便利」、「国際色豊か」、「活気がある」、「教育環境が充実」などが転出先のまちのイメージの評価度を上回っている。

一方、転出先のまちのイメージ評価度は主に「治安が良い」、「観光名所が豊富」、「品格がある」などが江戸川区のイメージ評価度を上回っている。

図表 江戸川区のイメージと転出先のまちのイメージとの差異

(ポイント)

n=319	① 江戸川区の イメージ	② 現在住んでいる まちのイメージ	ギャップ ①－②	
自然が豊富	3.64	3.33	0.31	
親しみやすい	3.84	3.58	0.26	
買物が便利	3.67	3.48	0.18	
国際色豊か	3.25	3.07	0.18	
活気がある	3.51	3.35	0.16	
教育環境が充実	3.21	3.09	0.12	
街並みが整っている	3.15	3.05	0.10	
個性的である	3.17	3.10	0.06	
医療機関が充実	3.32	3.32	-0.01	
区に誇りを持っている	3.16	3.26	-0.10	
先進的である	2.62	2.83	-0.21	
清潔感がある	2.78	3.01	-0.22	
文化的である	3.03	3.26	-0.24	
通勤通学が便利	3.49	3.83	-0.33	
芸術文化の振興が盛ん	2.60	2.98	-0.38	
落ち着いている	2.90	3.29	-0.39	
お洒落である	2.17	2.57	-0.40	
知性的である	2.45	2.87	-0.41	
品格がある	2.23	2.68	-0.45	
観光名所が豊富	2.42	3.00	-0.58	
治安が良い	2.58	3.23	-0.65	

注) ポイントはそれぞれの項目について、得られた評価（1～5の5段階）の構成比をウェイトとした加重平均値

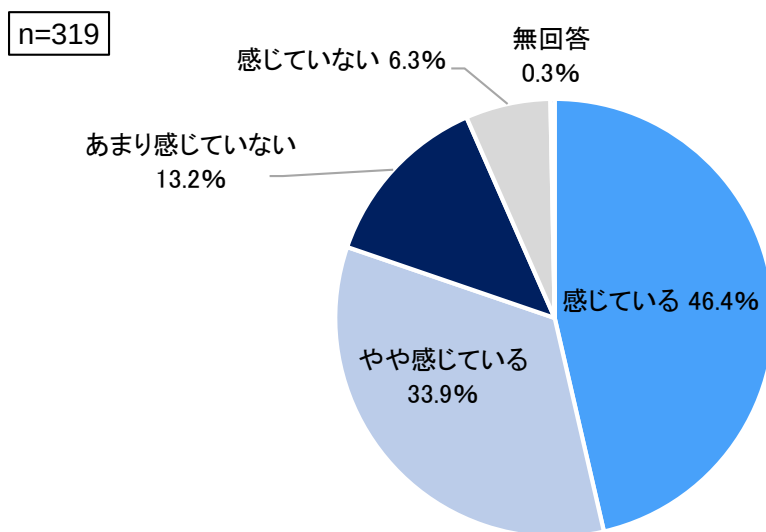
4. 江戸川区の魅力

(1) 親近感や愛着

問 15：あなたは、江戸川区に親近感や愛着を感じますか。

江戸川区への親近感や愛着については、「感じている」が 46.4%になっており、「やや感じている」(33.9%) と合わせると約 8 割となっている。

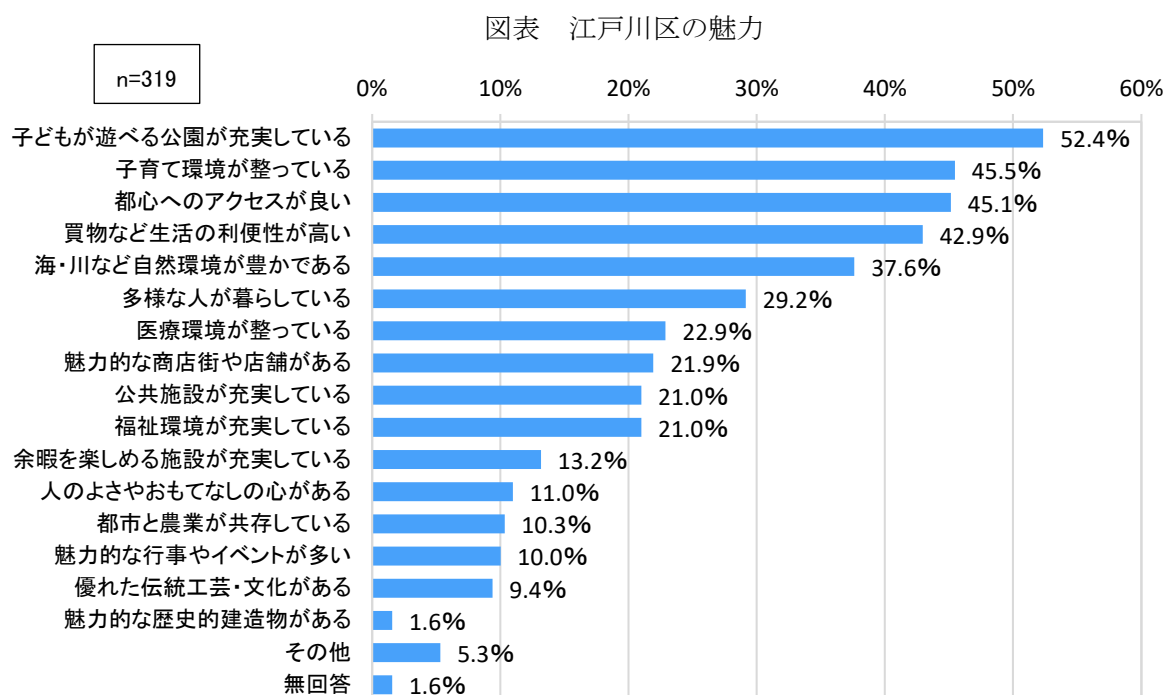
図表 江戸川区への親近感や愛着



(2) 江戸川区の魅力

問 16：転出先に比べ、あなたは江戸川区にどんな魅力があると思いますか。

江戸川区の魅力については、「子どもが遊べる公園が充実している」が 52.4%と最も高く、次いで「子育て環境が整っている」(45.5%)、「都心へのアクセスが良い」(45.1%)、「買物など生活の利便性が高い」(42.9%)となっている。



性別では、「都心へのアクセス」で10ポイントの差が生じている。

年齢別では、20歳代～40歳代において「子どもが遊べる公園が充実している」の割合が高く、60歳以上では「都心へのアクセス」、70歳以上では「優れた伝統工芸・文化」、「魅力的な行事やイベント」、「公共施設が充実している」の割合が高い。

推奨度別では、来訪推奨者は「子どもが遊べる公園が充実している」の割合が最も高く、次いで「都心へのアクセス」、「買物など生活の利便性が高い」、「子育て環境が整っている」となっている。

図表 区の魅力（性別・年齢別・推奨度別）

(%)

		回答数	海・川など自然環境が豊かである	子どもが遊べる公園が充実している	魅力的な歴史的建造物がある	優れた伝統工芸・文化がある	魅力的な行事やイベントが多い	余暇を楽しめる施設が充実している	魅力的な商店街や店舗がある	人のよさやおもてなしの心がある	公共施設が充実している	都市と農業が共存している	買物など生活の利便性が高い	都心へのアクセスが良い	多様な人が暮らしている	医療環境が整っている	子育て環境が整っている	福祉環境が充実している	その他	無回答
全体		319	37.6	52.4	1.6	9.4	10.0	13.2	21.9	11.0	21.0	10.3	42.9	45.1	29.2	22.9	45.5	21.0	5.3	1.6
性別	男性	138	37.7	51.4	1.4	8.7	8.0	15.2	23.9	8.7	18.1	11.6	46.4	51.4	28.3	25.4	42.0	15.9	2.9	2.2
	女性	179	37.4	53.1	1.7	10.1	11.7	11.7	20.7	12.8	22.9	8.9	40.2	40.2	30.2	20.7	48.0	24.6	7.3	1.1
年齢	20歳未満	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	61	36.1	59.0	1.6	6.6	6.6	16.4	19.7	13.1	19.7	8.2	47.5	49.2	39.3	16.4	50.8	9.8	3.3	0.0
	30～39歳	108	36.1	54.6	2.8	6.5	12.0	9.3	25.9	9.3	17.6	7.4	42.6	44.4	22.2	20.4	47.2	16.7	9.3	2.8
	40～49歳	66	39.4	53.0	1.5	7.6	6.1	12.1	19.7	9.1	19.7	9.1	33.3	36.4	30.3	22.7	43.9	22.7	0.0	1.5
	50～59歳	40	27.5	32.5	0.0	5.0	12.5	15.0	20.0	15.0	20.0	10.0	47.5	35.0	25.0	27.5	37.5	27.5	5.0	2.5
	60～69歳	23	52.2	65.2	0.0	21.7	8.7	13.0	30.4	8.7	34.8	17.4	56.5	65.2	34.8	30.4	47.8	47.8	13.0	0.0
	70歳以上	19	47.4	42.1	0.0	36.8	21.1	21.1	5.3	10.5	36.8	26.3	42.1	63.2	31.6	42.1	36.8	31.6	0.0	0.0
来訪推奨度	推奨者	82	43.9	73.2	3.7	15.9	23.2	24.4	32.9	18.3	45.1	17.1	64.6	65.9	40.2	41.5	64.6	43.9	7.3	0.0
	中立者	156	36.5	50.6	1.3	7.7	7.1	11.5	21.8	9.6	15.4	8.3	39.7	39.7	28.8	19.2	47.4	16.0	1.3	0.6
	非推奨者	78	32.1	34.6	0.0	6.4	2.6	3.8	11.5	6.4	7.7	6.4	28.2	34.6	17.9	11.5	23.1	7.7	10.3	5.1

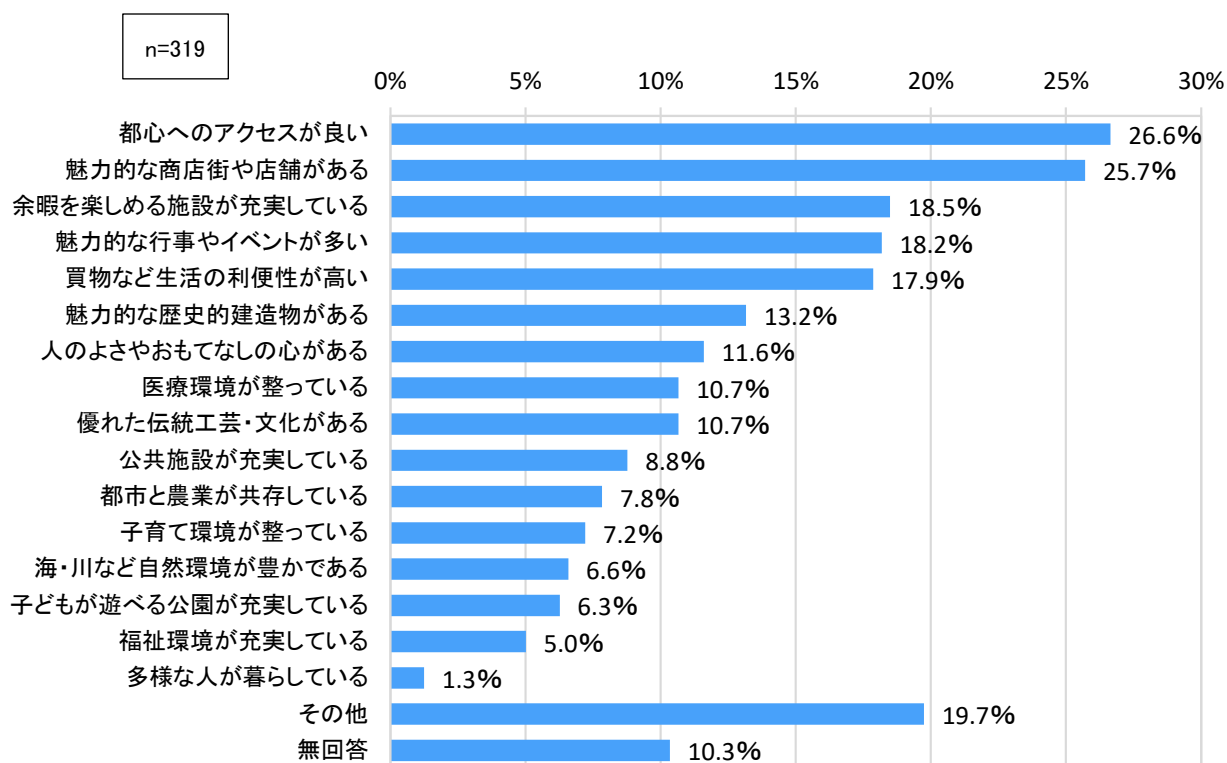
(3) 江戸川区に足りない魅力

問 17：転出先に比べ、あなたは江戸川区にどんな魅力が足りないと思いますか。

江戸川区に足りない魅力については、「都心へのアクセス」が 26.6%と最も高く、次いで「魅力的な商店街や店舗がある」(25.7%)、「余暇を楽しめる施設の充実」(18.5%)と続いている。

推奨度別では、来訪推奨者及び非推奨者のいずれも「魅力的な商店街や店舗」の割合が最も高い。

図表 江戸川区に足りない魅力



図表 江戸川区に足りない魅力（推奨度別）

(%)

		回答数	海・川など自然環境が豊かである	子どもが遊べる公園が充実している	魅力的な歴史的建造物がある	優れた伝統工芸・文化がある	魅力的な行事やイベントが多い	余暇を楽しめる施設が充実している	魅力的な商店街や店舗がある	人のよさやおもてなしの心がある	公共施設が充実している	都市と農業が共存している	買物など生活の利便性が高い	都心へのアクセスが良い	多様な人が暮らしている	医療環境が整っている	子育て環境が整っている	福祉環境が充実している	その他	無回答
全体		319	6.6	6.3	13.2	10.7	18.2	18.5	25.7	11.6	8.8	7.8	17.9	26.6	1.3	10.7	7.2	5.0	19.7	10.3
来訪推奨度	推奨者	82	7.3	4.9	11.0	11.0	13.4	9.8	20.7	7.3	8.5	9.8	8.5	18.3	0.0	11.0	2.4	4.9	28.0	17.1
	中立者	156	7.1	5.8	12.8	9.6	16.7	19.9	22.4	8.3	7.7	7.1	19.9	30.8	1.3	7.7	5.1	4.5	13.5	9.6
	非推奨者	78	3.8	7.7	16.7	11.5	25.6	24.4	38.5	23.1	11.5	7.7	21.8	28.2	2.6	16.7	15.4	6.4	24.4	5.1

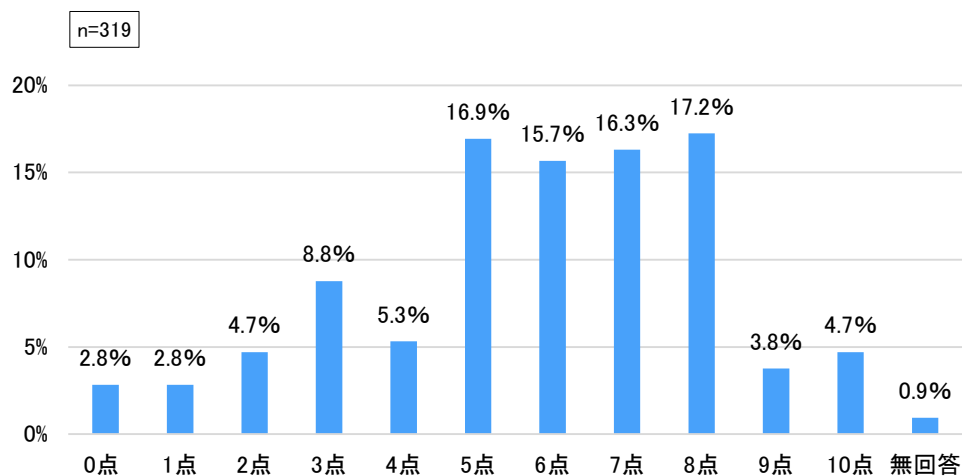
5. 来訪推奨度

問 18：あなたは「江戸川区に訪れること」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたい
と思いますか。

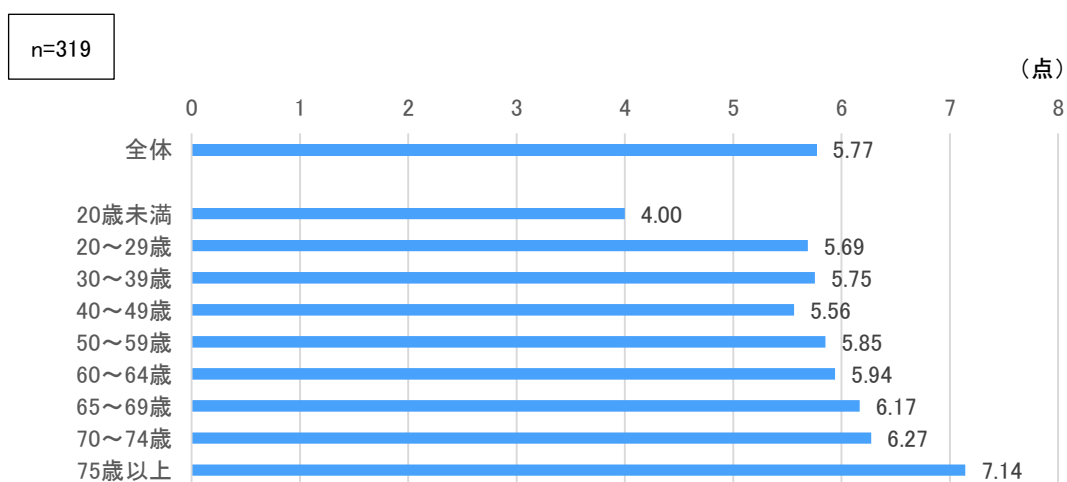
江戸川区に「訪れること」を友人・知人などにすすめたいかの来訪推奨度については、「8点」が17.2%と最も高く、次いで「5点」(16.9%)、「7点」(16.3%)となっており、来訪推奨度中位（5～7点）が全体の約5割となっている。

年齢別では、20歳未満の推奨度の平均点は他の年齢層を下回っている。

図表 来訪推奨度分布



図表 来訪推奨度（年齢別）

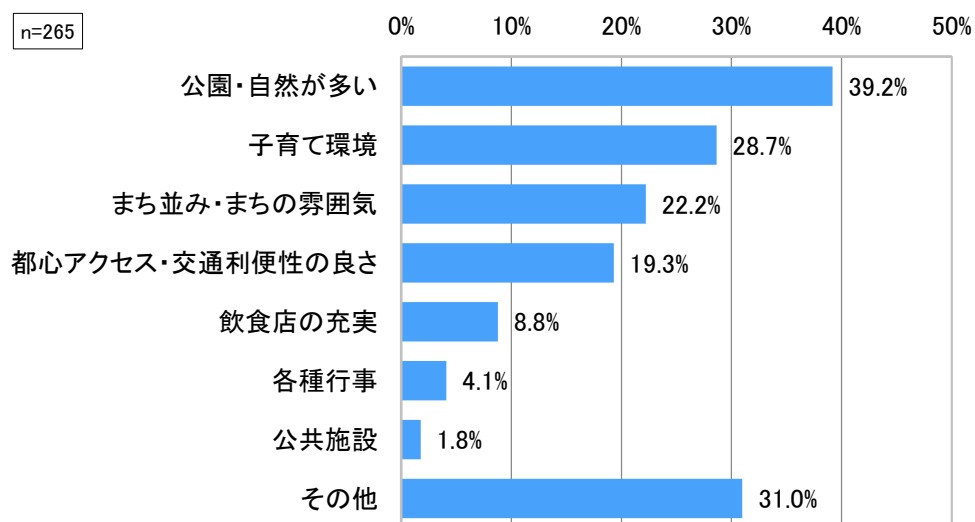


（１）来訪推奨理由

問 19： どのような点をすすめたいと思いますか。（自由回答）

来訪推奨理由については、「公園・自然」に関する回答が 39.2%と最も高く、次いで「子育て環境」に関する回答（28.7%）、「まち並み・まちの雰囲気」に関する回答（22.2%）と続く。

図表 訪問推奨理由



注）自由回答結果をアフターコーディングして集計した

江戸川区の魅力に関する意識調査

区民対象（在住外国人）

I. 調査の概要

1. 目 的

在住外国人に対し「江戸川区の魅力に関する意識調査」を実施し、区の魅力やイメージに関する意見を把握することで、今後のシティプロモーション推進の基礎資料とする。

2. 対 象

- (1) 満 18 歳以上の在住外国人 1,000 人
- (2) 対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出

3. 期 間

令和元年 11 月 23 日（土）～12 月 7 日（土）

4. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、郵送により回収。

5. 回収結果

- (1) 標本数 1,000 件
- (2) 有効回収数 187 件
- (3) 有効回収率 18.7%

6. 調査項目

- (1) 回答者の属性について
- (2) 今後の居留意向について
- (3) 江戸川区のイメージについて
- (4) 区の魅力について
- (5) 今後のまちづくりについて

7. 報告書の見方

- (1) 図表の中の n とは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- (2) 割合は n を分母とした百分比で算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入した。
そのために、百分比の合計が 100%に満たない、または上回ることがある。
- (3) 1 人の回答者が複数回答を行う設問では、その割合の合計が 100%を上回ることがある。
- (4) 本文や図表中で語句を短縮・省略化している選択肢がある。
- (5) 質問項目によっては、その特徴をより明確に出せるように「無回答」は掲載していない。そのため、分析の n の合計が全体と一致しない場合がある。
- (6) 本文や図表中の表記では、ひとつの質問中の複数の選択肢をまとめ、あるいは任意の選択肢のみの割合を比較する手法を用いている場合がある。
- (7) 回答者の少ない項目については、比率等に誤差が生じている場合があり、結果の解釈に注意を要する。
- (8) 無効回答を除いているため、一部の設問間で数値が異なる場合がある。

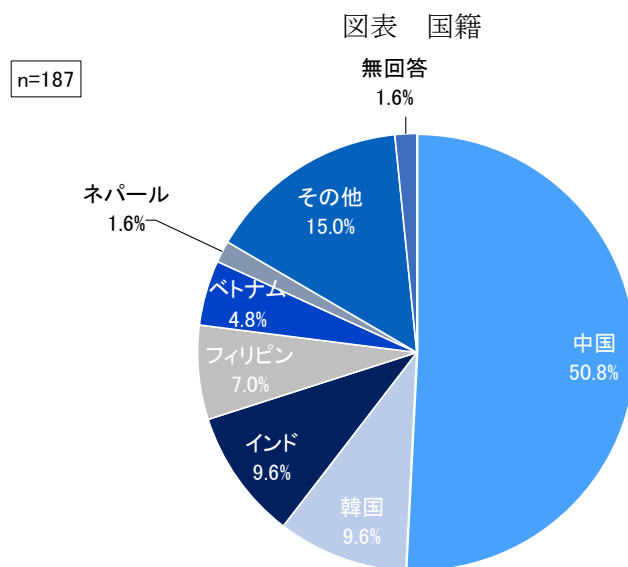
Ⅱ. 調査結果

1. 回答者属性

(1) 国籍

問1：あなたの国籍をお知らせください。

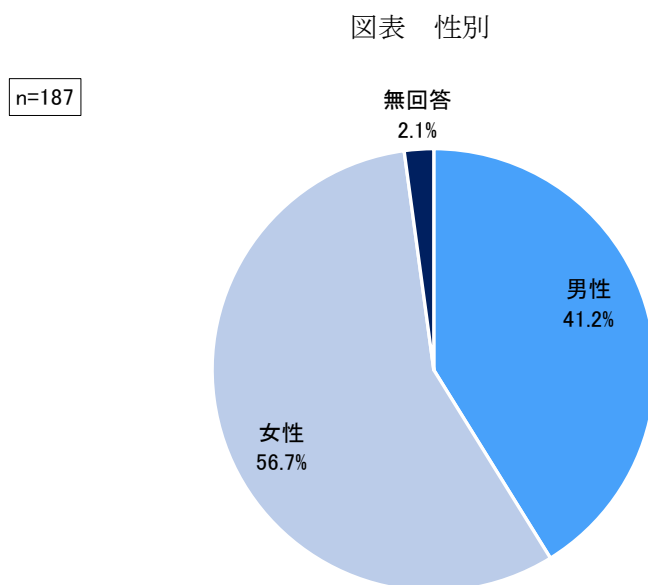
国籍は、「中国」が50.8%と最も高く、次いで、「韓国」(9.6%)、「インド」(9.6%) が同率、フィリピン、ベトナム、ネパールと続く。



(2) 性別

問2：あなたの性別をお知らせください。

性別は、「男性」が41.2%「女性」が56.7%と、女性がやや多い。

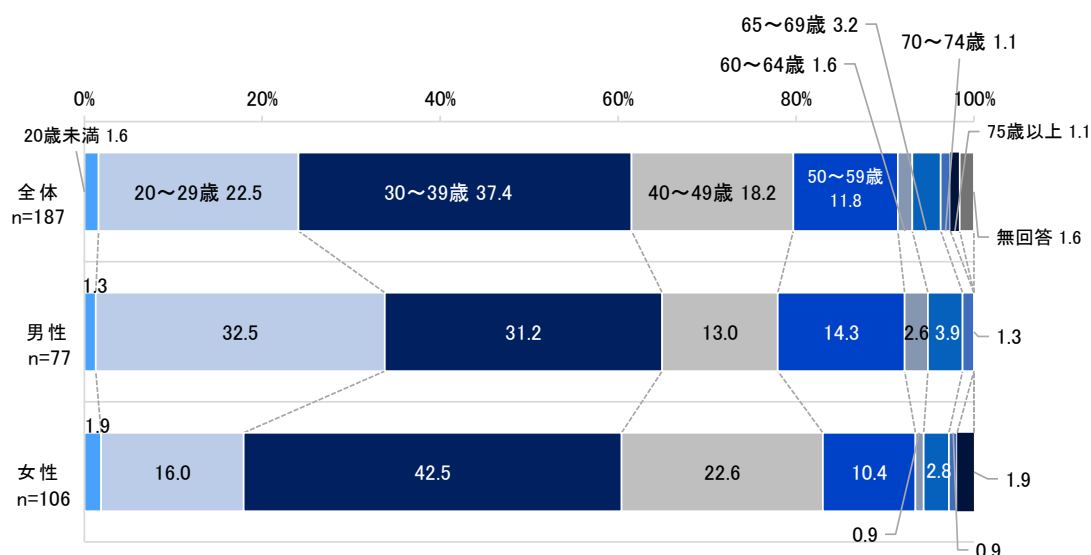


(3) 年齢

問3：あなたの年齢をお知らせください。

年齢は、「30～39歳」は37.4%と最も高く、次いで「20～29歳」(22.5%)、「40～49歳」(18.2%)となっている。

図表 年齢



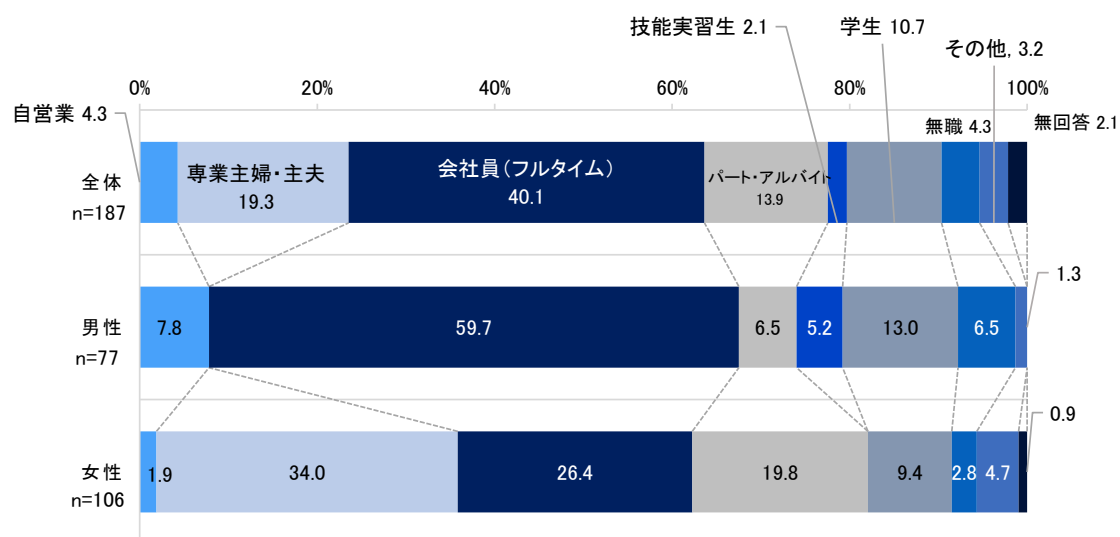
(4) 職業

問4：あなたのご職業をお知らせください。

職業は、「会社員(フルタイム)」が40.1%と最も高く、次いで「専業主婦・主夫」(19.3%)、「パート・アルバイト」(13.9%)と続く。

性別では、男性が「会社員(フルタイム)」が59.7%と最も高く、女性は「専業主婦・主夫」が34.0%と最も高い。

図表 職業

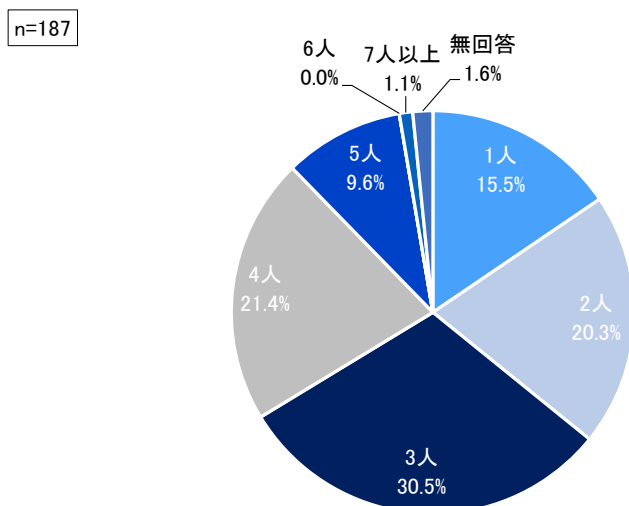


(5) 同居家族の人数

問5：一緒に暮らしているご家族の人数（ご自身を含めて）をお知らせください。

同居家族の人数については、「3人」が30.5%と最も高く、次いで「4人」（21.4%）、「2人」（20.3%）と続く。

図表 自身を含む同居家族の人数



性別では、男性は全体に比べて「2人」、「3人」の割合がやや高く、女性は「1人」、「4人」、「5人」の割合が全体を上回っている。

年齢別では、20歳代では「1人」が40.5%と他の年齢層に比べて高く、40歳代では「4人」の割合が44.1%と他の年齢層を上回っている。

図表 同居家族の人数（性別・年齢別）

(%)

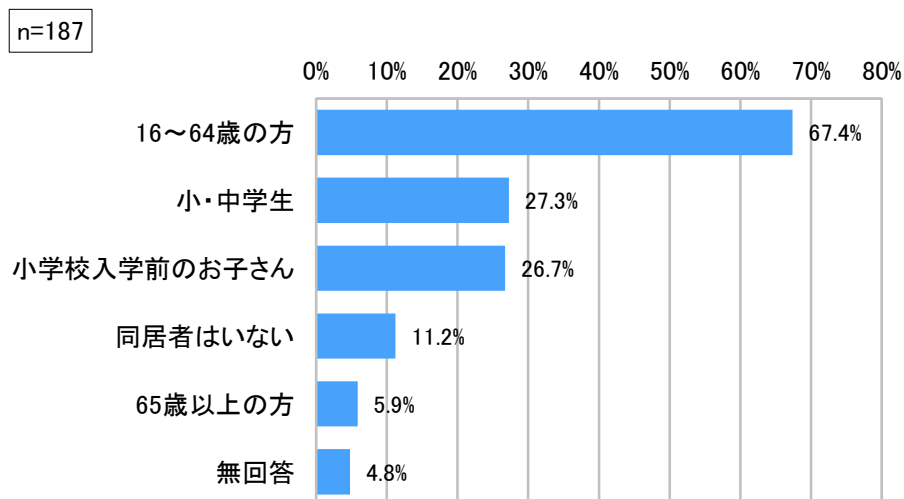
	回答数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
全体	187	15.5	20.3	30.5	21.4	9.6	0.0	1.1	1.6
性別	男性	77	13.0	23.4	35.1	18.2	7.8	0.0	2.6
	女性	106	17.9	18.9	28.3	23.6	11.3	0.0	0.0
年齢	20歳未満	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	42	40.5	28.6	21.4	2.4	4.8	0.0	2.4
	30～39歳	70	14.3	10.0	40.0	27.1	7.1	0.0	1.4
	40～49歳	34	0.0	14.7	29.4	44.1	11.8	0.0	0.0
	50～59歳	22	4.5	31.8	31.8	13.6	18.2	0.0	0.0
	60～64歳	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	6	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0
	70～74歳	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75歳以上	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

(6) 同居者について

問 6：同居者（本人以外）をお知らせください。

同居者については、「16～64 歳」が 67.4%と最も高く、全体の約 7 割を占めている。次いで、「小・中学生」（27.3%）、「小学校入学前の子」（26.7%）となっている。

図表 同居者（本人以外）



年齢別では、30 歳代は「小学校入学前の子」の割合が他の年齢層に比べて高く、40 歳代は「小・中学生」の割合が高く、いずれも 5 割を超えている。

同居者（年齢別）

(%)

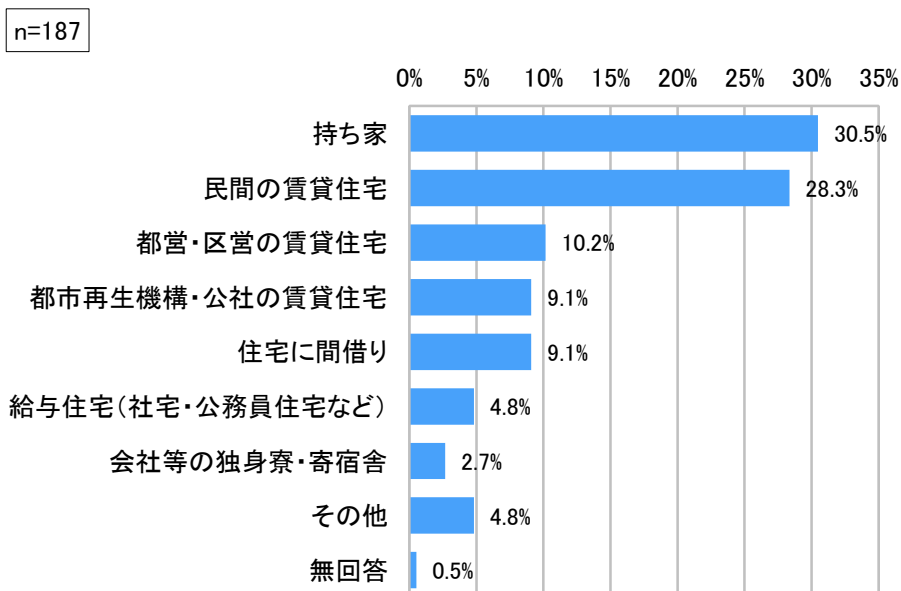
	回答数	小学校入学前のお子さん	小・中学生	16～64歳の方	65歳以上の方	同居者はいない	無回答
全体	187	26.7	27.3	67.4	5.9	11.2	4.8
年齢	20歳未満	3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20～29歳	42	16.7	0.0	69.0	2.4	2.4
	30～39歳	70	52.9	34.3	61.4	2.9	4.3
	40～49歳	34	14.7	58.8	70.6	8.8	2.9
	50～59歳	22	0.0	22.7	77.3	13.6	9.1
	60～64歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	65～69歳	6	16.7	16.7	83.3	16.7	0.0
	70～74歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	75歳以上	2	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0

(7) 住居形態

問7：現在のあなたの住居の種類をお知らせください。

住居形態については「持ち家」が30.5%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」の28.3%となっている。

図表 住居形態



年齢別では、20歳代では、「民間の賃貸住宅」の割合が、40歳代及び50歳代では、「持ち家」の割合が、他の住居形態に比べて高い。

図表 住居形態（年齢別）

(%)

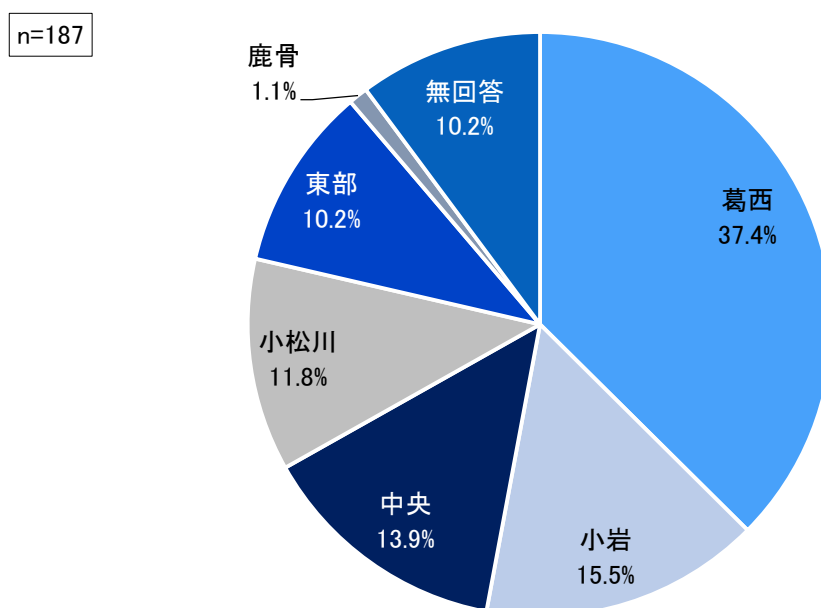
		回答数	持ち家	都営・区営 の賃貸住宅	都市再生 機構・公社 の賃貸住宅	民間の賃 貸住宅	給与住宅 (社宅・公 務員住宅 など)	住宅に間 借り	会社等の 独身寮・寄 宿舍	その他	無回答
全体		187	30.5	10.2	9.1	28.3	4.8	9.1	2.7	4.8	0.5
年齢	20歳未満	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	42	11.9	4.8	7.1	52.4	2.4	11.9	7.1	2.4	0.0
	30～39歳	70	31.4	7.1	10.0	25.7	7.1	10.0	1.4	7.1	0.0
	40～49歳	34	47.1	17.6	11.8	14.7	0.0	5.9	0.0	2.9	0.0
	50～59歳	22	40.9	22.7	9.1	13.6	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0
	60～64歳	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	6	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	70～74歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	75歳以上	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(8) 居住地域

問 8：あなたのお住まいの場所をお知らせください。

回答者の居住地域は「葛西地域」が 37.4%と最も多く、次いで「小岩地域」(15.5%)、「中央地域」(13.9%)、と続き、これらの地域で全体の約 7 割を占めている。

図表 居住地域

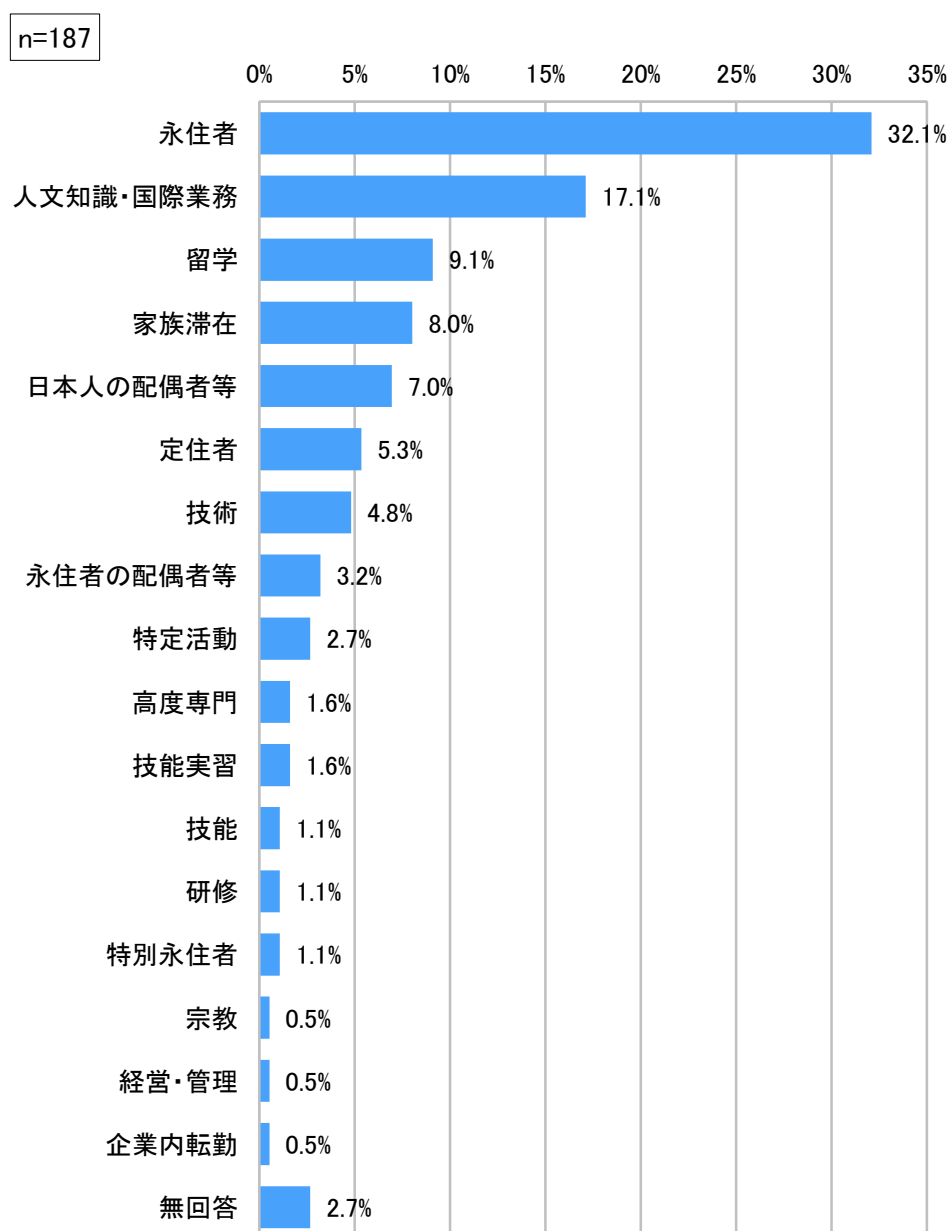


(9) 在留資格

問9：あなたの在留資格をお知らせください。

在留資格については、「永住者」が 32.1%と最も高く、次いで、「人文知識・国際業務」(17.1%)、「留学」(9.1%) と続く。

図表 在留資格の種類

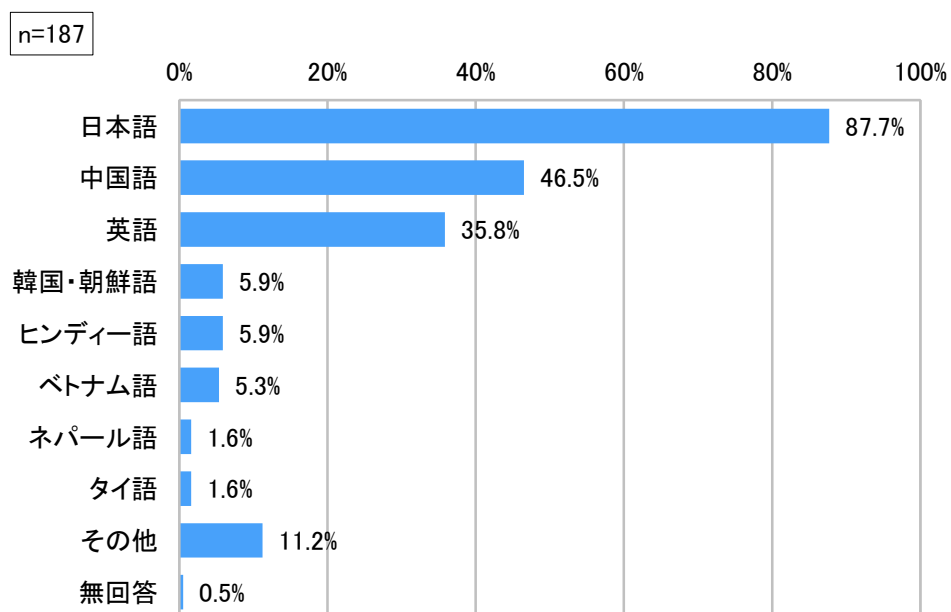


(10) 日常生活における使用言語

問 10：あなたが日常生活において使われる言葉はどれですか。

使用言語については、「日本語」が 87.7%と最も高く、次いで「中国語」(46.5%)、「英語」(35.8%)と続く。

図表 日常生活における使用言語



(11) 居住年数

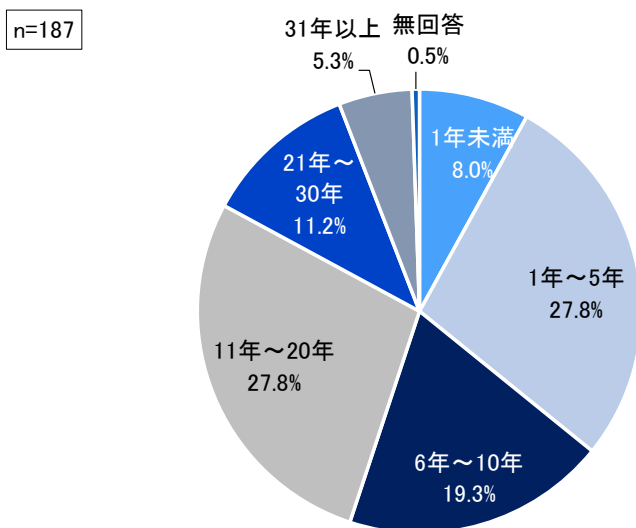
問 11：日本での居住年数をお知らせください。来日を繰り返している場合は、通算して記入してください。

問 12：江戸川区での居住年数をお知らせください。

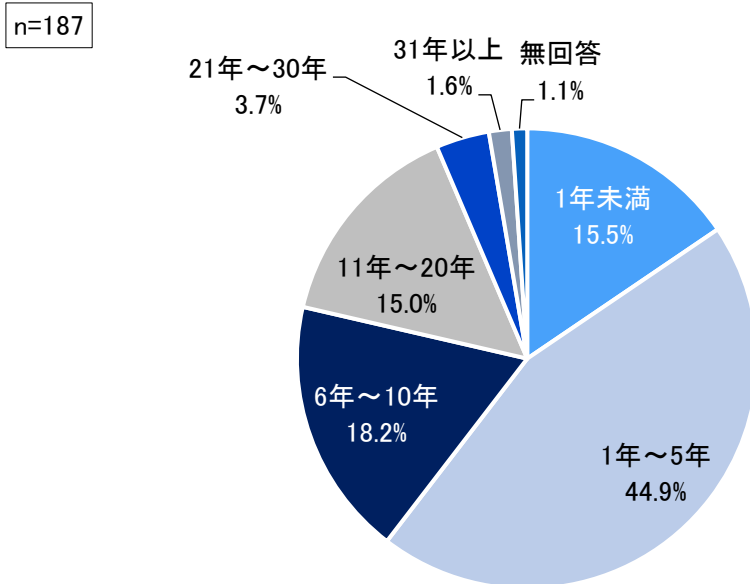
日本での居住年数については、「1年～5年」が27.8%、「11年～20年」が27.8%と同率で最も高く、あわせて5割を超えている。

江戸川区での居住年数については、同様に「1年～5年」が44.9%と最も多く、次いで「6年～10年」（18.2%）となっている。

図表 日本での居住年数



図表 江戸川区での居住年数



江戸川区での居住年数を年齢別にみると、20 歳代及び 30 歳代は「1 年～5 年」の割合が他の年齢層に比べて高く、40 歳代及び 50 歳代は、「6 年以上」の割合が高くなっている。

住居形態別にみると、いずれも「1～5 年」の割合が高い。

図表 江戸川区での居住年数（年齢別・住居形態別）

(%)

		回答数	1年未満	1年～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年以上	無回答
全体		187	15.5	44.9	18.2	15.0	3.7	1.6	1.1
年 齢	20歳未満	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	42	33.3	61.9	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	70	15.7	58.6	14.3	10.0	0.0	0.0	1.4
	40～49歳	34	2.9	23.5	35.3	38.2	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	22	0.0	18.2	31.8	18.2	27.3	4.5	0.0
	60～64歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	65～69歳	6	0.0	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0
	70～74歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	75歳以上	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
住 居 の 形 態	持ち家	57	3.5	35.1	19.3	33.3	5.3	3.5	0.0
	都営・区営の 賃貸住宅	19	0.0	42.1	26.3	15.8	15.8	0.0	0.0
	都市再生機構・ 公社の賃貸住宅	17	17.6	35.3	23.5	17.6	0.0	0.0	5.9
	民間の賃貸住宅	53	22.6	50.9	17.0	5.7	1.9	1.9	0.0
	給与住宅(社宅・ 公務員住宅など)	9	22.2	66.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	住宅に間借り	17	29.4	58.8	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社等の独身寮・ 寄宿舍	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	9	33.3	44.4	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0

2. 居住意向

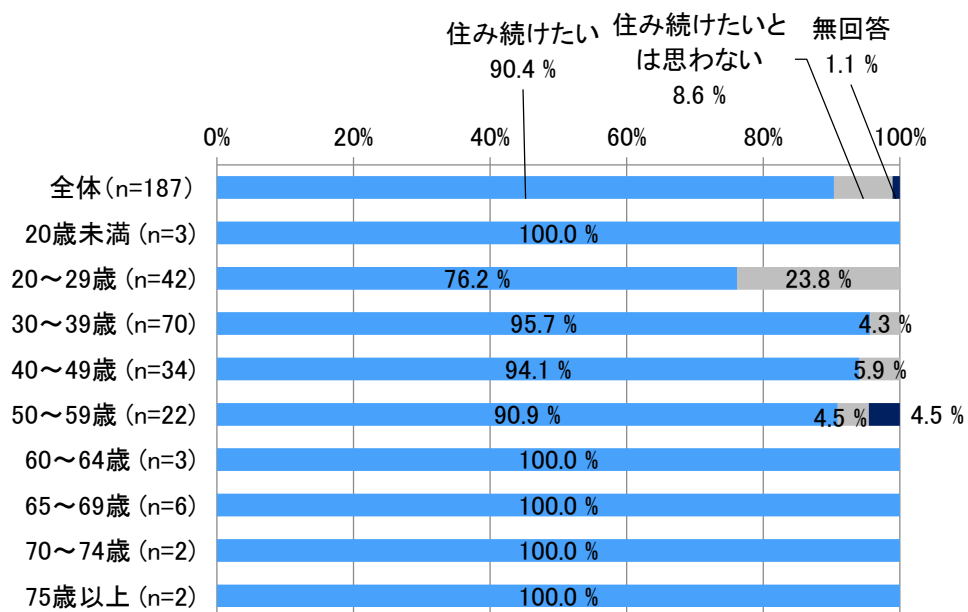
(1) 今後の居住意向について

問 13：今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。

居住意向については、「住み続けたい（以下居住継続意向）」が 90.4%となっている。

年齢別では、全体の居住継続意向が 9 割を超えているのに対し、20 歳代の居住継続意向が 76.2%と低くなっている。

図表 今後の居住意向について



居住年数別では、居住年数による大きな差異はみられない。

まち（地域）推奨度別³⁶では、推奨度が高いほど居住継続意向も高い傾向にあり、推奨者の居住継続意向は 94.7%となっている。

図表 今後の居留意向（居住年数別）

(%)

		回答数	住み続けたい	住み続けたい とは思わない	無回答
全体		187	90.4	8.6	1.1
江戸川区 年数で	1年未満	29	86.2	13.8	0.0
	1年～5年	84	88.1	11.9	0.0
	6年～10年	34	97.1	2.9	0.0
	11年～20年	28	96.4	3.6	0.0
	21年～30年	7	100.0	0.0	0.0
	31年以上	3	66.7	0.0	33.3

図表 今後の居留意向（推奨度別）

(%)

		回答数	住み続けたい	住み続けたい とは思わない	無回答
全体		187	90.4	8.6	1.1
まちの 推奨度	推奨者	95	94.7	5.3	0.0
	中立者	77	89.6	10.4	0.0
	非推奨者	9	55.6	33.3	11.1

³⁶ 調査項目における「区の魅力について」の「まち（地域）」、「住むこと」及び「訪れること」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいかの回答点数（0点～10点）により以下3分類とした。

・推奨者（8～10点）・中立者（5～7点）・非推奨者（0～4点）

なお、推奨度別の詳細については「4.（2）推奨度」として後述する。

(2) 居住理由

1) 住みたい理由

問 14 : 【問 13 で「1. 住みたい」と回答の方】 今後も住みたい理由は何ですか。

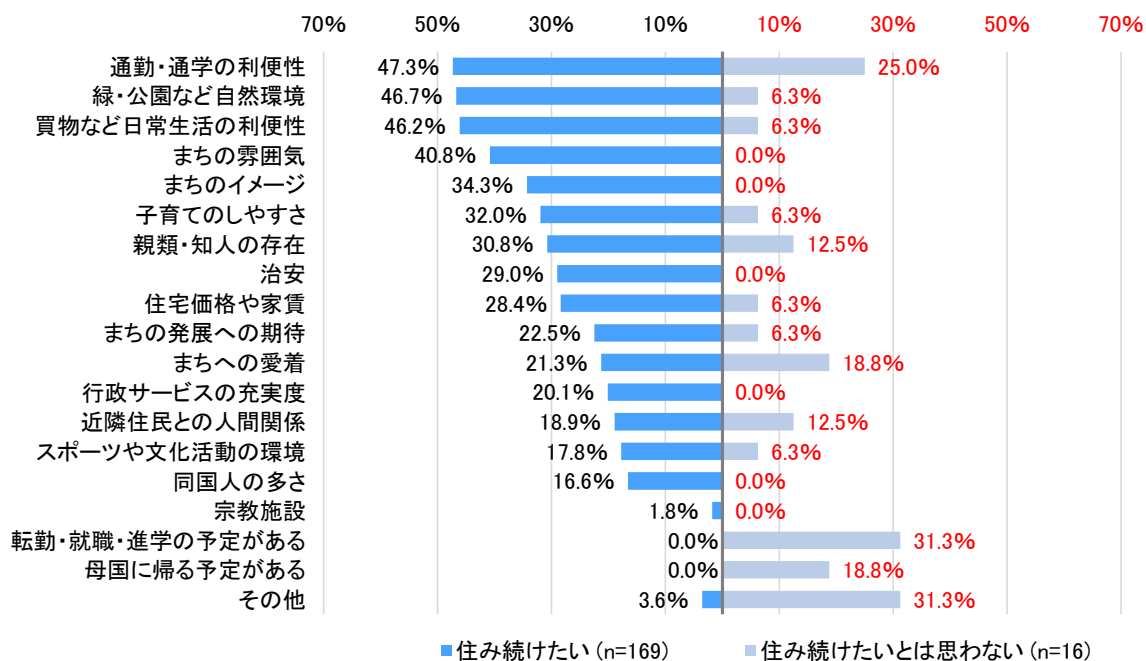
住みたい理由については、「通勤・通学に便利である」が 47.3% と最も高く、次いで「緑・公園など自然環境が豊かである」(46.7%)、「買物など日常生活の利便性が良い」(46.2%) となっている。

2) 住みたない理由

問 15 : 【問 13 で「2. 住みたないとは思わない」と回答の方】 今後、住みたないとは思わない理由は何ですか。

住みたないとは思わない理由について、「転勤・就職・進学予定がある」が 31.3% と最も高く、次いで「通勤・通学の利便性」(25.0%)、「まちへの愛着」(18.8%)、「母国に帰る予定がある」(18.8%) と続く。

図表 住みたい理由／住みたないとは思わない理由



3. 江戸川区のイメージ

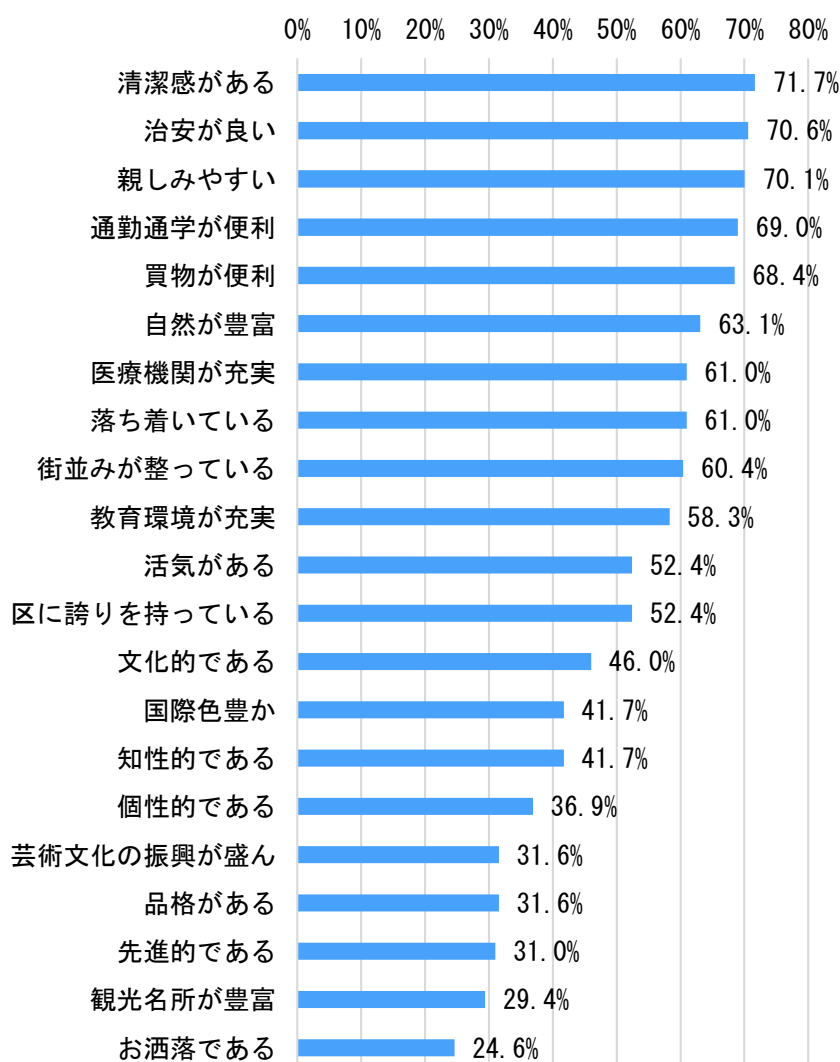
(1) 現在の江戸川区のイメージ

問 16：現在の区のイメージとして、あてはまる内容をそれぞれお答えください。

江戸川区のイメージについては、高評価（「思う」4～5点）は「清潔感がある」が71.7%と最も高く、次いで「治安が良い」（70.6%）、「親しみやすい」（70.1%）、「通勤通学が便利」（69.0%）となっている。

一方で、「お洒落である」をはじめ「観光名所が豊富」、「先進的である」、「品格がある」等の割合が低い。

図表 現在の江戸川区のイメージ



年齢別では、いずれの年齢層においても「活気がある」、「清潔感がある」、「医療機関が充実」、「教育環境が充実」の割合が高い。

また、まちの推奨度別では、推奨者は、「親しみやすさ」、「治安が良い」をはじめ、幅広い項目において割合が高くなっている。

図表 現在の江戸川区のイメージ（年齢・推奨度別） (％)

		回答数	活気がある	区に誇りを持っている	個性がある	文化的である	親しみやすい	知性的である	落ち着いた	先進的である	清潔感がある	お洒落である	品格がある	買物が便利	通勤通学が便利	医療機関が充実	自然が豊富	教育環境が充実	街並みが整っている	治安が良い	観光名所が豊富	国際色豊か	芸術が盛んの
全体		187	52.4	52.4	36.9	46.0	70.1	41.7	61.0	31.0	71.7	24.6	31.6	68.4	69.0	61.0	63.1	58.3	60.4	70.6	29.4	41.7	31.6
年齢	20歳未満	3	100.0	66.7	33.3	66.7	100.0	100.0	66.7	0.0	100.0	0.0	33.3	33.3	100.0	100.0	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
	20～29歳	42	59.5	50.0	52.4	52.4	78.6	54.8	73.8	35.7	69.0	28.6	28.6	66.7	69.0	52.4	83.3	52.4	81.0	81.0	26.2	50.0	31.0
	30～39歳	70	47.1	52.9	28.6	44.3	70.0	34.3	58.6	34.3	72.9	28.6	35.7	72.9	75.7	64.3	64.3	62.9	58.6	74.3	37.1	47.1	38.6
	40～49歳	34	47.1	47.1	26.5	38.2	64.7	29.4	47.1	20.6	64.7	14.7	29.4	55.9	58.8	55.9	44.1	50.0	41.2	58.8	14.7	35.3	20.6
	50～59歳	22	59.1	59.1	50.0	50.0	68.2	50.0	68.2	27.3	77.3	27.3	22.7	86.4	72.7	63.6	59.1	63.6	59.1	68.2	27.3	31.8	31.8
	60～64歳	3	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	66.7	0.0	66.7	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	6	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	66.7	16.7	33.3	50.0	66.7	83.3	66.7	66.7	83.3	50.0	50.0	33.3	16.7
	70～74歳	2	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75歳以上	2	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0
推奨度の	推奨者	95	65.3	72.6	46.3	58.9	82.1	54.7	63.2	44.2	84.2	34.7	44.2	73.7	78.9	74.7	69.5	71.6	69.5	81.1	40.0	52.6	42.1
	中立者	77	39.0	31.2	26.0	31.2	58.4	28.6	59.7	15.6	53.2	13.0	16.9	64.9	63.6	48.1	58.4	49.4	53.2	57.1	22.1	31.2	19.5
	非推奨者	9	44.4	11.1	22.2	33.3	44.4	11.1	33.3	11.1	88.9	0.0	11.1	44.4	33.3	33.3	44.4	11.1	44.4	66.7	0.0	22.2	11.1

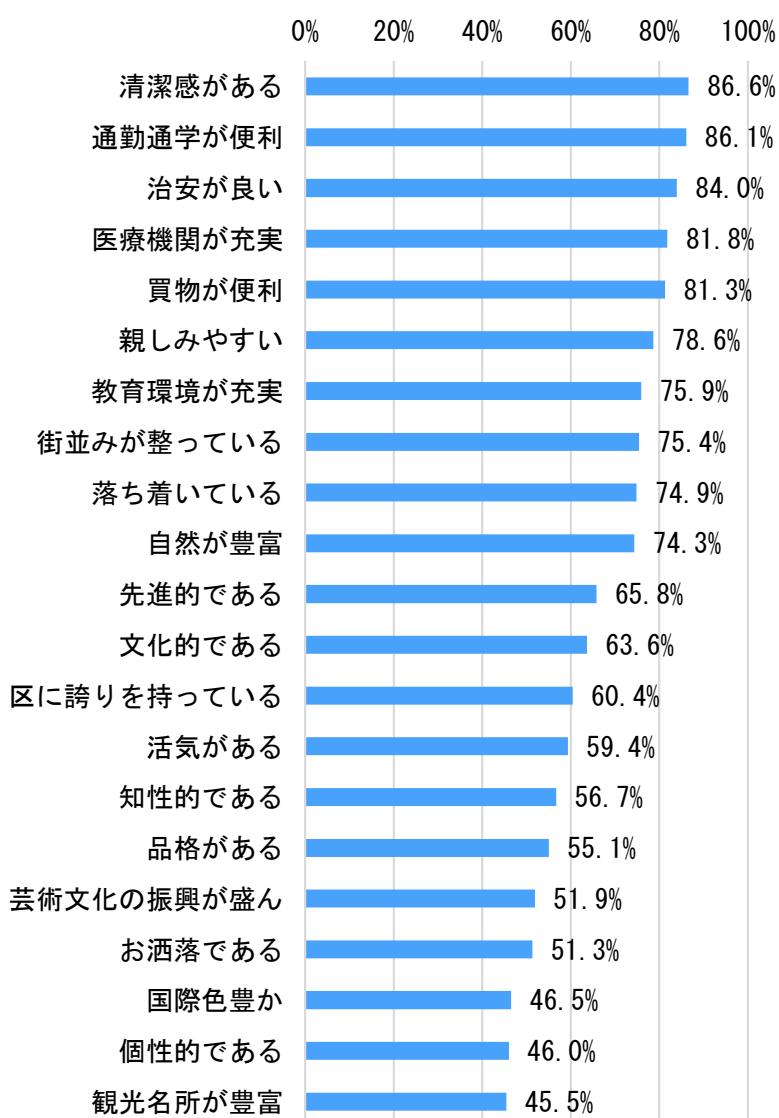
(2) 理想とするまちのイメージ

問 17：あなたが理想とする住みたいまちのイメージとして、項目ごとにどの程度重視するかをそれぞれお答えください。

理想とするまちのイメージについては、高い重視度（「重視する」4～5点）は「清潔感がある」が86.6%と最も高く、次いで「通勤通学が便利」（86.1%）、「治安が良い」（84.0%）となっている。

一方で、「観光名所が豊富」をはじめ「個性的である」、「国際色豊か」の割合が低い。

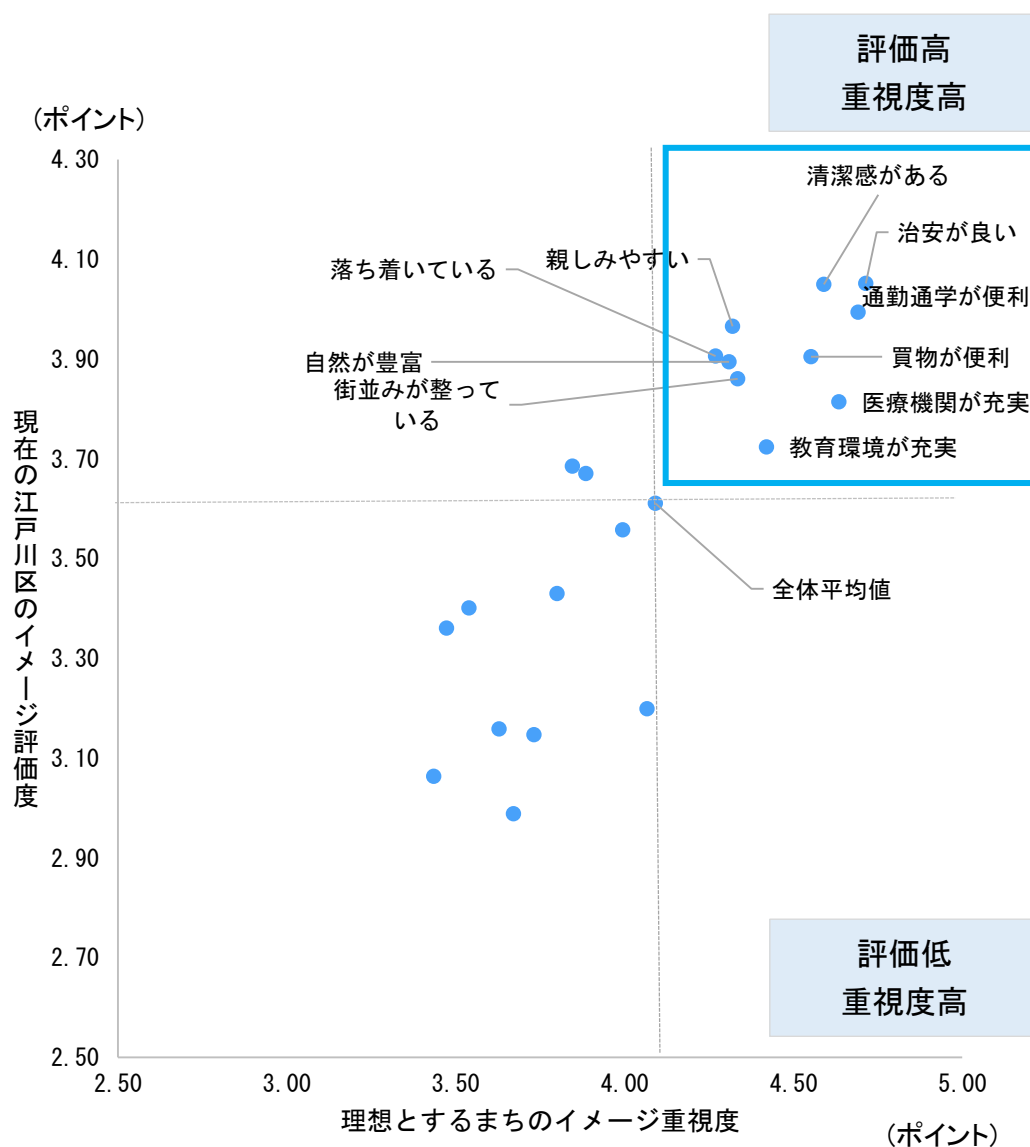
図表 理想とする住みたいまちのイメージ



(3) 現在と理想のまちのイメージ

現在の江戸川区のイメージ評価では、「治安が良い」をはじめ、「清潔感がある」、「通勤通学が便利」等の評価が高い。これらのイメージ項目は、理想のまちとしての重視度についても、高くなっていることから、現在の江戸川区の強みであると考えられる。

図表 現在の江戸川区のイメージと理想とするまちのイメージ



注) ポイントはそれぞれの項目について、得られた評価 (1～5 の 5 段階) の構成比をウェイトとした加重平均値

図表 現在の江戸川区のイメージと理想とするまちのイメージとのギャップ

(ポイント)

n=187			
	① 理想とする まちのイメージ	② 現在の 江戸川区のイメージ	ギャップ ①－②
先進的である	4.07	3.20	0.87
医療機関が充実	4.63	3.81	0.82
通勤通学が便利	4.69	3.99	0.70
教育環境が充実	4.42	3.72	0.70
お洒落である	3.67	2.99	0.68
治安が良い	4.71	4.05	0.66
買物が便利	4.55	3.91	0.65
品格がある	3.73	3.15	0.58
清潔感がある	4.59	4.05	0.54
街並みが整っている	4.34	3.86	0.47
芸術文化の振興が盛ん	3.63	3.16	0.47
文化的である	3.99	3.56	0.44
自然が豊富	4.31	3.89	0.41
観光名所が豊富	3.43	3.06	0.37
知性的である	3.80	3.43	0.37
落ち着いている	4.27	3.91	0.36
親しみやすい	4.32	3.97	0.35
活気がある	3.89	3.67	0.22
区に誇りを持っている	3.85	3.69	0.16
個性的である	3.54	3.40	0.14
国際色豊か	3.47	3.36	0.11

4. 江戸川区の魅力について

(1) 江戸川区の魅力

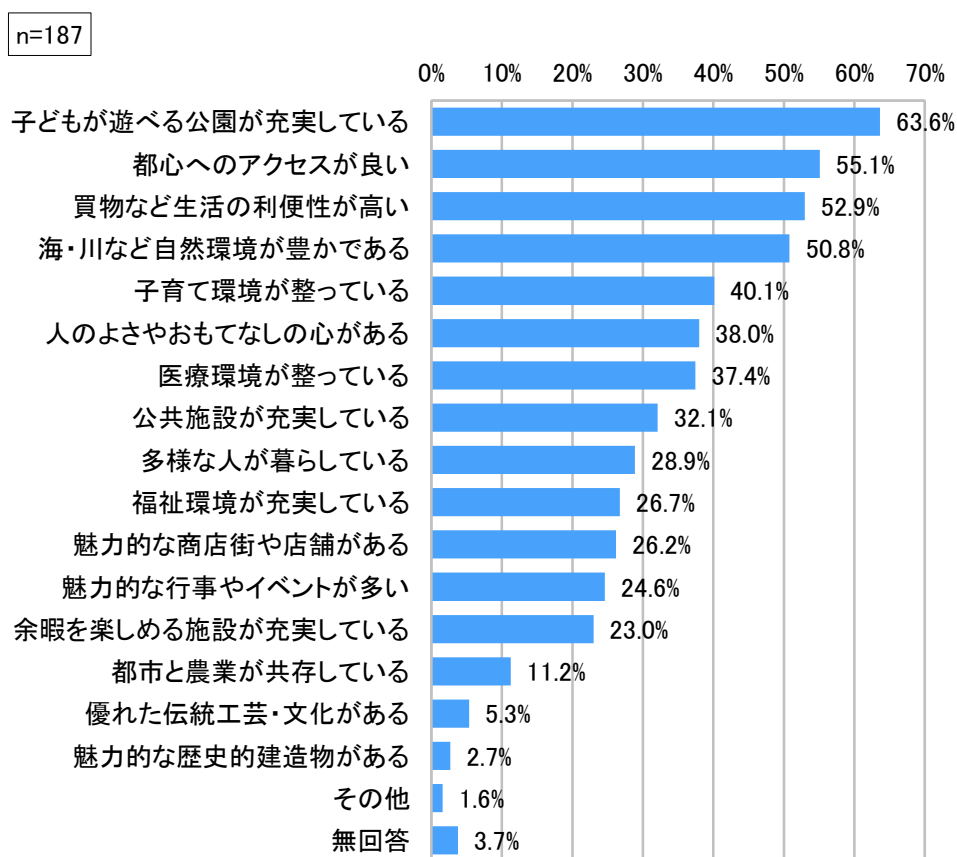
問 18：あなたは江戸川区にどんな魅力があると思いますか。

江戸川区の魅力については、「子どもが遊べる公園が充実している」が 63.6%と最も高く、次いで「都心へのアクセスが良い」(55.1%)、「買物など生活の利便性が高い」(52.9%)となっている。

年齢別では、20 歳代は「多様な人が暮らしている」、30 歳代は「子育て環境が整っている」の割合が、他の年齢層に比べて高い。

推奨度別では、推奨者は、「子どもが遊べる公園が充実している」など全体と同様の項目を評価している。

図表 江戸川区の魅力



図表 江戸川区の魅力（年齢・推奨度別）

（％）

		回答数	海・川など自然環境が豊かである	子どもが遊べる公園が充実している	歴史的建造物がある	優れた伝統工芸・文化がある	魅力的な行事やイベントが多い	余暇を楽しめる施設が充実している	魅力的な商店街や店舗がある	人のよさやおもてなしの心がある	公共施設が充実している	都市と農業が共存している	買物など生活の利便性が高い	都心へのアクセスが良い	多様な人が暮らしている	医療環境が整っている	子育て環境が整っている	福祉環境が充実している	その他	無回答
	全体	187	50.8	63.6	2.7	5.3	24.6	23.0	26.2	38.0	32.1	11.2	52.9	55.1	28.9	37.4	40.1	26.7	1.6	3.7
年齢	20歳未満	3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	42	52.4	54.8	0.0	4.8	19.0	16.7	16.7	42.9	35.7	16.7	40.5	42.9	40.5	26.2	19.0	14.3	0.0	4.8
	30～39歳	70	57.1	71.4	1.4	2.9	28.6	27.1	32.9	31.4	30.0	8.6	61.4	55.7	34.3	38.6	54.3	25.7	2.9	1.4
	40～49歳	34	41.2	64.7	2.9	5.9	20.6	17.6	23.5	35.3	26.5	2.9	44.1	58.8	17.6	38.2	44.1	29.4	0.0	2.9
	50～59歳	22	45.5	54.5	9.1	13.6	31.8	27.3	36.4	50.0	31.8	18.2	63.6	59.1	18.2	40.9	31.8	36.4	4.5	9.1
	60～64歳	3	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	66.7	100.0	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0
	65～69歳	6	50.0	50.0	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	50.0	16.7	50.0	66.7	0.0	83.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	70～74歳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	75歳以上	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0
推奨度の	推奨者	95	53.7	74.7	2.1	7.4	36.8	30.5	33.7	47.4	41.1	15.8	62.1	61.1	35.8	48.4	51.6	38.9	2.1	0.0
	中立者	77	51.9	57.1	3.9	3.9	14.3	18.2	19.5	32.5	24.7	7.8	49.4	51.9	23.4	29.9	32.5	14.3	1.3	1.3
	非推奨者	9	44.4	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2	0.0	22.2	55.6	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0

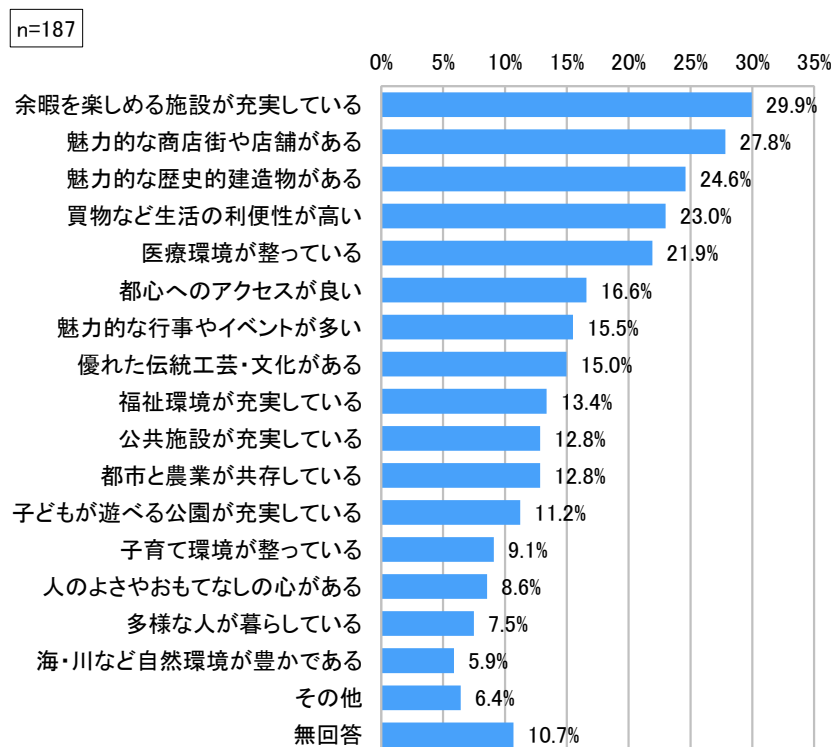
問 19：あなたは江戸川区にどんな魅力が足りないと思いますか。

江戸川区に足りない魅力については、「余暇を楽しめる施設の充実」の割合が 29.9％と最も高く、次いで「魅力的な商店や店舗」（27.8％）、「魅力的な歴史的建造物」（24.6％）となっている。

年齢別では、特に 50 歳代では「余暇を楽しめる施設」、「都市と農業の共存」、「多様な人の居住」、「福祉環境の充実」の割合が他の年齢に比べて高い。

推奨度別では、大きな差異はみられない。

図表 江戸川区に足りない魅力



図表 江戸川区に足りない魅力（年齢・推奨度別）

(%)

	回答数	海・川など自然環境が豊かである	子どもが遊べる公園が充実している	歴史的建造物がある	優れた伝統工芸・文化がある	魅力的な行事やイベントが多い	余暇を楽しめる施設が充実している	魅力的な商店街や店舗がある	人のよさやおもてなしの心がある	公共施設が充実している	都市と農業が共存している	買物など生活の利便性が高い	都心へのアクセスが良い	多様な人が暮らしている	医療環境が整っている	子育て環境が整っている	福祉環境が充実している	その他	無回答
全体	187	5.9	11.2	24.6	15.0	15.5	29.9	27.8	8.6	12.8	12.8	23.0	16.6	7.5	21.9	9.1	13.4	6.4	10.7
年齢	20歳未満	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	42	2.4	7.1	26.2	16.7	11.9	16.7	33.3	4.8	9.5	4.8	26.2	19.0	4.8	14.3	4.8	7.1	2.4
	30～39歳	70	4.3	11.4	28.6	18.6	12.9	32.9	30.0	10.0	14.3	17.1	25.7	17.1	10.0	24.3	12.9	12.9	7.1
	40～49歳	34	11.8	17.6	5.9	8.8	26.5	35.3	17.6	8.8	20.6	8.8	20.6	8.8	0.0	26.5	8.8	17.6	11.8
	50～59歳	22	9.1	18.2	36.4	18.2	18.2	40.9	27.3	13.6	4.5	31.8	13.6	18.2	18.2	31.8	13.6	27.3	9.1
	60～64歳	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	70～74歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	75歳以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
推奨度の	推奨者	95	9.5	12.6	31.6	17.9	16.8	28.4	28.4	10.5	11.6	20.0	18.9	16.8	7.4	21.1	7.4	13.7	11.6
	中立者	77	2.6	10.4	16.9	13.0	15.6	36.4	28.6	6.5	16.9	5.2	29.9	18.2	7.8	24.7	13.0	11.7	1.3
	非推奨者	9	0.0	11.1	33.3	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	33.3	0.0

(2) 推奨度

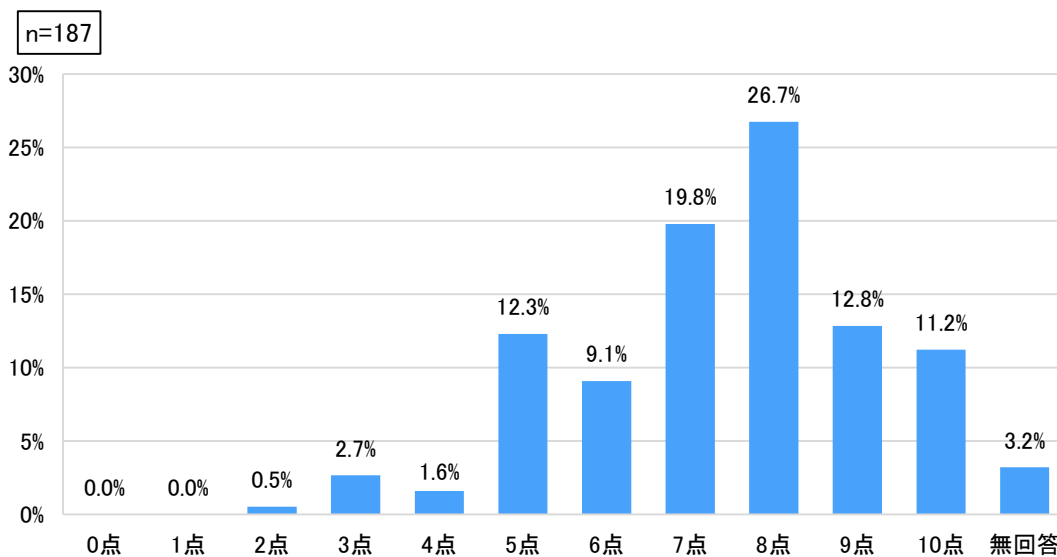
1) 「まち（地域）」の推奨度

問 20：あなた自身がお住まいの「まち（地域）」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。最もおすすめしたいを10点満点として0～10点でお答えください。

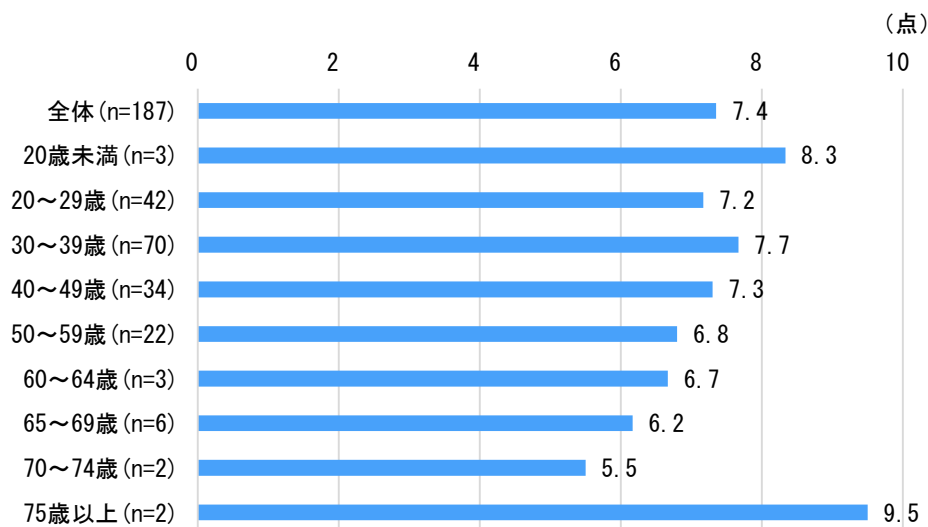
江戸川区の「まち（地域）」を友人・知人にどのくらいすすめたいかの推奨度については、「8点」が26.7%と最も高く、次いで「7点」（19.8%）、「9点」（12.8%）となっており、推奨者（8点～10点）が全体の約5割となっている。

年齢別では、75歳以上を除き、50歳代以降の推奨度平均点は全体の平均を下回っている。

図表 まち（地域）の推奨度分布



図表 まち（地域）の推奨（年齢別）



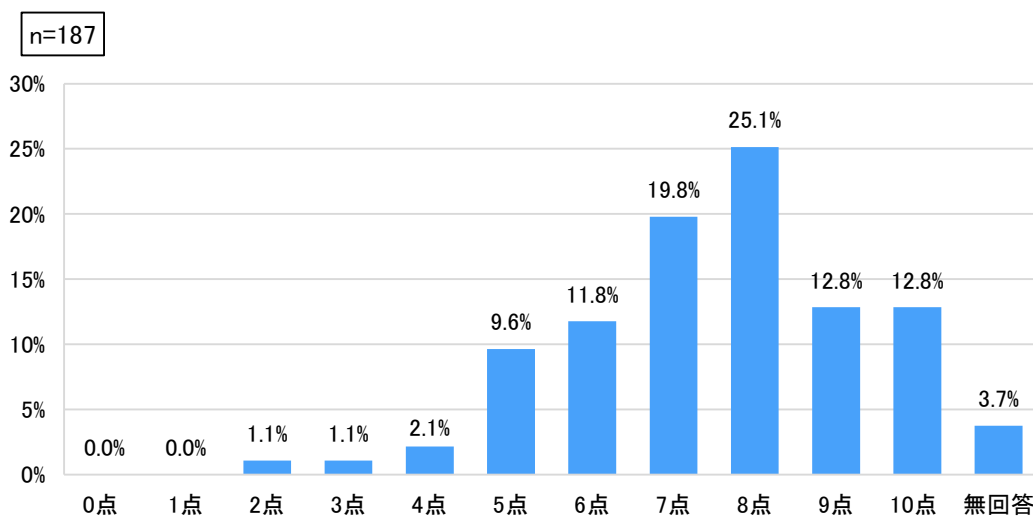
2) 居住推奨度

問 21：あなた自身が「江戸川区に住むこと」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。最もおすすめしたいを 10 点満点として 0～10 点でお答えください。

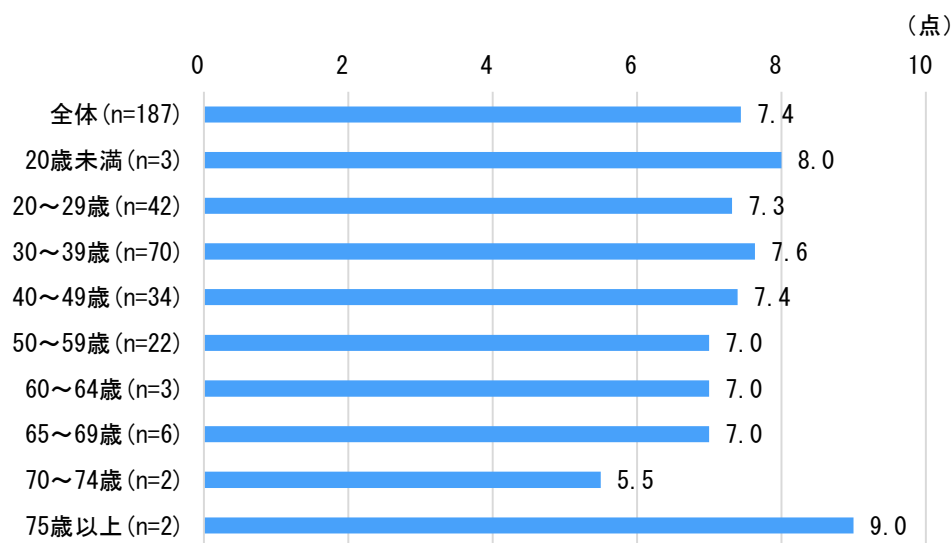
江戸川区に住むことを人にすすめたいかの推奨度については、「8 点」が 25.1%と最も高く、次いで「7 点」（19.8%）、「9 点」及び「10 点」（同率 12.8%）と続き、推奨者（8 点～10 点）が全体の約 5 割となっている。

年齢別にみても、20 歳未満～40 歳代は、他の年齢に比べて高い評価の傾向がみられる。

図表 居住推奨度分布



図表 居住推奨度（年齢別）



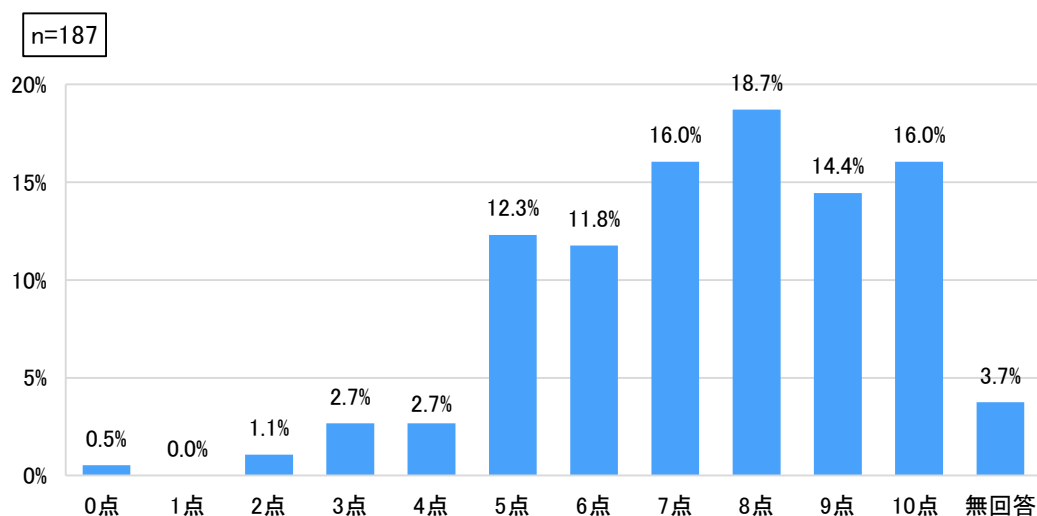
3）来訪推奨度

問 22：あなたが「江戸川区に訪れること」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。最もおすすめしたいを 10 点満点として 0～10 点でお答えください。

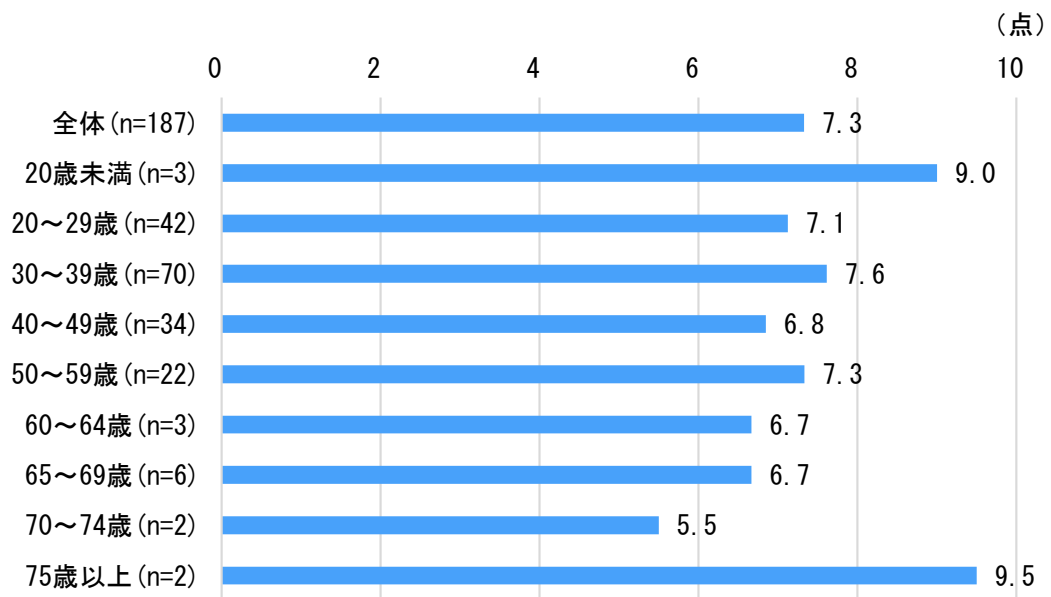
江戸川区に訪れることを人にすすめたいたかの推奨度については、「8 点」が 18.7%と最も高く、次いで「7 点」及び「10 点」（同率 16.0%）と続き、推奨者（8 点～10 点）が全体の約 5 割となっている。

年齢別でみると、「60～74 歳」の平均点は全体に比べて低い傾向がみられる。

図表 来訪推奨度分布



図表 来訪推奨度（年齢別）



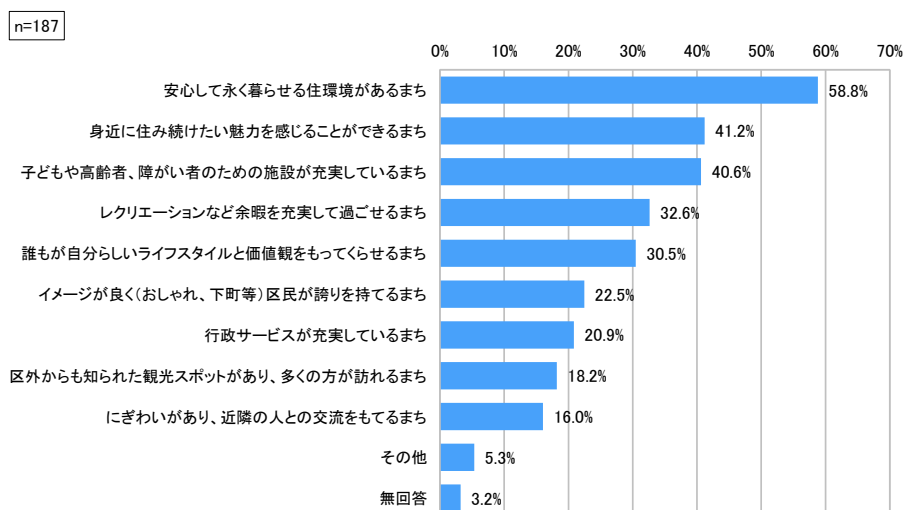
(3) 今後のまちづくり

問 23：あなたが魅力を感じるまちを選んでください。

魅力を感じるまちについては、「安心して永く暮らせる住環境があるまち」が 58.8%と最も高く、「身近に住み続けたい魅力を感じることができるまち」(41.2%)、「子どもや高齢者、障がい者のための施設が充実しているまち」(40.6%)と続く。

性別では、大きな差異はみられない。また、年齢別では、20 歳代は「誰もが自分らしいライフスタイルと価値観をもってくらせるまち」の割合が、30 歳代は「子どもや高齢者、障がい者のための施設が充実しているまち」や「レクリエーションなど余暇を充実して過ごせるまち」の割合が、50 歳代では、「身近に住み続けたい魅力を感じることができるまち」の割合が、他の年齢層に比べて高い。

図表 魅力を感じるまち



図表 魅力を感じるまち (性別・年齢別)

(%)

		回答数	区外からも知られた 観光スポットがあり、 多くの方が訪れるまち	イメージが良く (おしゃれ、下町等) 区民が誇りを持てるまち	レクリエーションなど 余暇を充実して過ごせるまち	にぎわいがあり、近隣の人 との交流をもてるまち	身近に住み続けたい魅力を 感じることが出来るまち	誰もが自分らしい ライフスタイルと価値観を もってくらせるまち	施設が充実しているための 障がい者や高齢者、 子どもや高齢者、	行政サービスが 充実しているまち	安心して永く暮らせる 住環境があるまち	その他	無回答
全体		187	18.2	22.5	32.6	16.0	41.2	30.5	40.6	20.9	58.8	5.3	3.2
性別	男性	77	15.6	23.4	39.0	15.6	41.6	33.8	39.0	16.9	66.2	5.2	0.0
	女性	106	19.8	22.6	29.2	17.0	40.6	29.2	42.5	24.5	53.8	5.7	4.7
年齢	20歳未満	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
	20～29歳	42	9.5	28.6	26.2	7.1	38.1	40.5	33.3	19.0	64.3	0.0	2.4
	30～39歳	70	14.3	18.6	44.3	25.7	41.4	34.3	52.9	24.3	55.7	5.7	0.0
	40～49歳	34	23.5	29.4	17.6	2.9	47.1	17.6	29.4	26.5	64.7	8.8	2.9
	50～59歳	22	22.7	18.2	36.4	31.8	54.5	22.7	31.8	9.1	59.1	9.1	9.1
	60～64歳	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0
	65～69歳	6	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	50.0	33.3	33.3	0.0	16.7
	70～74歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
75歳以上	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	

調査票

江戸川区の魅力に関する意識調査

調査へのご協力をお願い

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、江戸川区では、「江戸川区の魅力に関する意識調査」を実施することといたしました。この調査は、区民の皆様に区の魅力やイメージに関する意見をお聞きして、区内外の皆様にとってより魅力的な街を実現するために実施しているものです。

調査の実施にあたり、区内にお住まいの満 18 歳以上の方 3,000 人を無作為に選ばせていただきました。調査の実施は、江戸川区が委託している株式会社日本経済研究所が行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 10 月

江戸川区

－ご記入にあたってのお願い－

- 封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数で選んでください。
- 質問によっては、一部の方にのみ回答していただく場合があります。矢印に従ってお答えください。
- 「その他」を選んだ場合は()内に具体的に記入してください。

調査票の回答は、11月2日（土）までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願い申し上げます。

【調査主体】

江戸川区 経営企画部 都市戦略課推進係

〒132-8501 東京都江戸川区中央1-4-1

電話：5662-0323（直通）

【調査委託先】

株式会社日本経済研究所 地域本部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2

電話：6214-4725（直通） 担当：高崎、坂野

1 あなた自身について

問1 あなたの性別をお知らせください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお知らせください。

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 |
| 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 | 9. 75歳以上 | |

問3 あなたのご職業をお知らせください。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 自営業 | 2. 家事手伝い | 3. 勤め(フルタイム) |
| 4. 勤め(パートタイム) | 5. 家事専業 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他 () | |

問4 一緒に暮らしているご家族の人数(ご自身を含めて)をお知らせください。

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人 | 6. 6人 | 7. 7人以上 | |

問5 同居者(本人以外)をお知らせください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 小学校入学前のお子さん | 2. 小・中学生 |
| 3. 16～64歳の方 | 4. 65歳以上の方 |

問6 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 持ち家 | 2. 都営・区営の賃貸住宅 |
| 3. 都市再生機構・公社の賃貸住宅 | 4. 民間の賃貸住宅 |
| 5. 給与住宅(社宅・公務員住宅など) | 6. 住宅に間借り |
| 7. 会社等の独身寮・寄宿舍 | 8. その他 () |

問7 お住まいの場所をお知らせください。

町 名

丁目

(例)

丁目

問8 居住年数をお知らせください。(○は1つだけ)

- | | | | |
|------------|----------|-----------|------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年～5年 | 3. 6年～10年 | 4. 11年～20年 |
| 5. 21年～30年 | 6. 31年以上 | | |

2 今後の居住意向について

問9 今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 住み続けたい

2. 住み続けたいとは思わない

1. を選ばれた方は問10へお進みください。 2. を選ばれた方は問11へお進みください。

問10 “問9で「1」を選ばれた方”は、今後も住み続けたい理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. まちのイメージを気に入っている | 9. 行政サービスが充実している |
| 2. まちの発展が期待できる | 10. 親類・知人が近くに住んでいる |
| 3. 住宅価格や家賃が手頃である | 11. 近隣住民との人間関係が良い |
| 4. 通勤・通学に便利である | 12. 子育てしやすい |
| 5. 買物など日常生活の利便性が良い | 13. スポーツや文化活動の環境が充実 |
| 6. 緑・公園など自然環境が豊かである | 14. まちに愛着がある |
| 7. 治安が良い | 15. その他 |
| 8. まちが静かで落ち着いている | () |

問11 “問9で「2」を選ばれた方”は、今後、住み続けたいとは思わない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. まちのイメージが気に入らない | 9. 行政サービスが不満である |
| 2. まちの今後の発展が期待できない | 10. 親類・知人が近くに住んでいない |
| 3. 住宅価格や家賃が高い | 11. 近隣住民との人間関係が悪い |
| 4. 通勤・通学に不便である | 12. 子育てがしにくい |
| 5. 買物など日常生活が不便である | 13. スポーツや文化活動の環境が不足 |
| 6. 緑・公園など自然環境が少ない | 14. まちに愛着が無い |
| 7. 治安が悪い | 15. 転勤・就職・進学の手配がある |
| 8. まちが騒がしく落ち着かない | 16. その他 |
| | () |

3 江戸川区のイメージについて

問 12 現在の江戸川区のイメージとして、あてはまる内容をそれぞれお答えください。

	思う 思わない				
活気がある	5	4	3	2	1
区に誇りを持っている	5	4	3	2	1
個性的である	5	4	3	2	1
文化的である	5	4	3	2	1
親しみやすい	5	4	3	2	1
知性的である	5	4	3	2	1
落ち着いている	5	4	3	2	1
先進的である	5	4	3	2	1
清潔感がある	5	4	3	2	1
お洒落である	5	4	3	2	1
品格がある	5	4	3	2	1
買物が便利	5	4	3	2	1
通勤通学が便利	5	4	3	2	1
医療機関が充実	5	4	3	2	1
自然が豊富	5	4	3	2	1
教育環境が充実	5	4	3	2	1
街並みが整っている	5	4	3	2	1
治安が良い	5	4	3	2	1
観光名所が豊富	5	4	3	2	1
国際色豊か	5	4	3	2	1
芸術文化の振興が盛ん	5	4	3	2	1

問 13 あなたが理想とする住み続けたいまちのイメージとして、次の項目をどの程度重視しているかをそれぞれお答えください。

	重視する ←				→ 重視しない
活気がある	5	4	3	2	1
区に誇りを持っている	5	4	3	2	1
個性的である	5	4	3	2	1
文化的である	5	4	3	2	1
親しみやすい	5	4	3	2	1
知性的である	5	4	3	2	1
落ち着いている	5	4	3	2	1
先進的である	5	4	3	2	1
清潔感がある	5	4	3	2	1
お洒落である	5	4	3	2	1
品格がある	5	4	3	2	1
買物が便利	5	4	3	2	1
通勤通学が便利	5	4	3	2	1
医療機関が充実	5	4	3	2	1
自然が豊富	5	4	3	2	1
教育環境が充実	5	4	3	2	1
街並みが整っている	5	4	3	2	1
治安が良い	5	4	3	2	1
観光名所が豊富	5	4	3	2	1
国際色豊か	5	4	3	2	1
芸術文化の振興が盛ん	5	4	3	2	1

4 愛着がある・推奨したい区の魅力について

問 14 あなたは江戸川区にどんな魅力があると思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 海・川など自然環境が豊かである | 10. 都市と農業が共存している |
| 2. 子どもが遊べる公園が充実している | 11. 買物など生活の利便性が高い |
| 3. 魅力的な歴史的建造物がある | 12. 都心へのアクセスが良い |
| 4. 優れた伝統工芸・文化がある | 13. 多様な人が暮らしている |
| 5. 魅力的な行事やイベントが多い | 14. 医療環境が整っている |
| 6. 余暇を楽しめる施設が充実している | 15. 子育て環境が整っている |
| 7. 魅力的な商店街や店舗がある | 16. 福祉環境が充実している |
| 8. 人のよさやおもてなしの心がある | 17. その他 |
| 9. 公共施設が充実している | () |

問 15 あなたは江戸川区にどんな魅力が足りないと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 海・川など自然環境が豊かである | 10. 都市と農業が共存している |
| 2. 子どもが遊べる公園が充実している | 11. 買物など生活の利便性が高い |
| 3. 魅力的な歴史的建造物がある | 12. 都心へのアクセスが良い |
| 4. 優れた伝統工芸・文化がある | 13. 多様な人が暮らしている |
| 5. 魅力的な行事やイベントが多い | 14. 医療環境が整っている |
| 6. 余暇を楽しめる施設が充実している | 15. 子育て環境が整っている |
| 7. 魅力的な商店街や店舗がある | 16. 福祉環境が充実している |
| 8. 人のよさやおもてなしの心がある | 17. その他 |
| 9. 公共施設が充実している | () |

問 16 あなたはご自身がお住まいの「まち（地域）」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。

最もおすすめしたいを 10 点満点として 0～10 点でお答えください。

(あてはまる点数に○を 1 つだけ)

おすすめしたい ←————→ おすすめたくない

10 点	9 点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	0 点

(あてはまる点数に○を1つだけ)

[illegible]

--

(あてはまる点数に○を1つだけ)

[illegible]

--

5 今後のまちづくりについて

(○は3つまで)

1. 区外からも知られた観光スポットがあり、多くの方が訪れるまち
2. イメージが良く（おしゃれ、下町等）区民が誇りを持てるまち
3. レクリエーションなど余暇を充実して過ごせるまち
4. にぎわいがあり、近隣の人との交流をもてるまち
5. 身近に住み続けたい魅力を感じることができるまち
6. 誰もが自分らしいライフスタイルと価値観をもってくらせるまち
7. 子どもや高齢者、障がい者のための施設が充実しているまち
8. 行政サービスが充実しているまち
9. 安心して永く暮らせる住環境があるまち
10. その他（ ）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

江戸川区の魅力に関する意識調査

調査へのご協力をお願い

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、江戸川区では、「江戸川区の魅力に関する意識調査」を実施することといたしました。この調査は、江戸川区に転入された方に区の魅力やイメージに関する意見をお聞きして、区内外の皆様にとってより魅力的な街を実現するために実施しているものです。

調査の実施にあたり、平成 26 年以降江戸川区内に転入された満 18 歳以上の方 1,500 人を無作為に選ばせていただきました。調査の実施は、江戸川区が委託している株式会社日本経済研究所が行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 11 月

江戸川区

－ ご記入にあたってのお願い－

- 封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数で選んでください。
- 質問によっては、一部の方にのみ回答していただく場合があります。矢印に従ってお答えください。
- 「その他」を選んだ場合は()内に具体的に記入してください。

調査票の回答は、11月16日（土）までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願い申し上げます。

【調査主体】

江戸川区 経営企画部 都市戦略課推進係

〒132-8501 東京都江戸川区中央 1-4-1

電話：5662-0323（直通）

【調査委託先】

株式会社日本経済研究所 地域本部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-2

電話：6214-4725（直通） 担当：高崎、坂野

1 あなた自身について

問1 あなたの性別をお知らせください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお知らせください。

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 |
| 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 | 9. 75歳以上 | |

問3 あなたのご職業をお知らせください。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 自営業 | 2. 家事手伝い | 3. 勤め(フルタイム) |
| 4. 勤め(パートタイム) | 5. 家事専業 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他 () | |

問4 一緒に暮らしているご家族の人数(ご自身を含めて)をお知らせください。

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人 | 6. 6人 | 7. 7人以上 | |

問5 同居者(本人以外)をお知らせください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 小学校入学前のお子さん | 2. 小・中学生 |
| 3. 16～64歳の方 | 4. 65歳以上の方 |
| 5. 同居者はいない | |

問6 転入前後のお住まいの場所をお知らせください。

(転入前)

	都道府県		区市町村
----------------------	------	----------------------	------

(現住所)

(例) 千葉県 都道府県 市川 区市町村

江戸川区 町 名 丁目 (例) 中央 1 丁目

問7 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 持ち家 | 2. 都営・区営の賃貸住宅 |
| 3. 都市再生機構・公社の賃貸住宅 | 4. 民間の賃貸住宅 |
| 5. 給与住宅(社宅・公務員住宅など) | 6. 住宅に間借り |
| 7. 会社等の独身寮・寄宿舍 | 8. その他 () |

2 転入の経緯について

問 8 江戸川区に転入された時期をお知らせください。

平成 年 月

問 9 江戸川区に転入される前の自治体での居住年数をお知らせください。

(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------------|------------|-------------|--------------|
| 1. 1 年未満 | 2. 1 年～5 年 | 3. 6 年～10 年 | 4. 11 年～20 年 |
| 5. 21 年～30 年 | 6. 31 年以上 | | |

問 10 江戸川区に転入した主な理由を教えてください。

(○は1つだけ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 仕事の都合 (就職・転職・転勤・退職など) |
| 2. あなたの学校の都合 (進学・転校など) |
| 3. 子どもの学校の都合 (進学・転校など) |
| 4. 結婚のため |
| 5. 出産・子育てのため |
| 6. 親や子ども、その他親族との同居のため |
| 7. 親や子ども、その他親族と近所のため |
| 8. 住宅の都合 (家の購入・借家の借り換えなど) |
| 9. 生活環境 (交通や買い物の利便性・治安など) を良くするため |
| 10. その他 () |

問 11 転入先に江戸川区を選んだ理由を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 買い物など日常生活の便が良いから
2. 通勤・通学などの交通の便が良いから
3. 物価が安いから
4. 親や子どもの近くに住みたかったから
5. 住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから
6. 病院等の医療体制が整っているから
7. 子育て支援が充実しているから
8. 教育環境が充実しているから
9. 高齢者や障害者のための福祉が充実しているから
10. 緑・公園・水辺などの自然環境が良いから
11. 道路、下水道等の都市基盤が整備されているから
12. 街並みや街の雰囲気が良いから
13. 治安が良いから
14. 図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設が充実しているから
15. その他 ※()内に理由を記入願います。

()

問 12 転入先として江戸川区以外の自治体を検討しましたか。(○は1つだけ)

1. 他の区市町村も検討した。
⇒江戸川区以外に検討した区市町村 ()
2. 江戸川区に住もうと考えていたので、他の区市町村は検討していない。
3. 転入先が最初から江戸川区に決まっていた。(会社の寮や社宅が江戸川区内にあった、同居をはじめる家族の住宅が江戸川区内にあった など)
4. その他 ※()内に理由を記入願います。

()

3 江戸川区のイメージについて

問 13 転入前の江戸川区のイメージとして、該当する内容をそれぞれお答えください。

	思う 思わない				
活気がある	5	4	3	2	1
区に誇りを持っている	5	4	3	2	1
個性的である	5	4	3	2	1
文化的である	5	4	3	2	1
親しみやすい	5	4	3	2	1
知性的である	5	4	3	2	1
落ち着いている	5	4	3	2	1
先進的である	5	4	3	2	1
清潔感がある	5	4	3	2	1
お洒落である	5	4	3	2	1
品格がある	5	4	3	2	1
買物が便利	5	4	3	2	1
通勤通学が便利	5	4	3	2	1
医療機関が充実	5	4	3	2	1
自然が豊富	5	4	3	2	1
教育環境が充実	5	4	3	2	1
街並みが整っている	5	4	3	2	1
治安が良い	5	4	3	2	1
観光名所が豊富	5	4	3	2	1
国際色豊か	5	4	3	2	1
芸術文化の振興が盛ん	5	4	3	2	1

問 14 現在の江戸川区のイメージとして、該当する内容をそれぞれお答えください。

	思う  思わない				
活気がある	5	4	3	2	1
区に誇りを持っている	5	4	3	2	1
個性的である	5	4	3	2	1
文化的である	5	4	3	2	1
親しみやすい	5	4	3	2	1
知性的である	5	4	3	2	1
落ち着いている	5	4	3	2	1
先進的である	5	4	3	2	1
清潔感がある	5	4	3	2	1
お洒落である	5	4	3	2	1
品格がある	5	4	3	2	1
買物が便利	5	4	3	2	1
通勤通学が便利	5	4	3	2	1
医療機関が充実	5	4	3	2	1
自然が豊富	5	4	3	2	1
教育環境が充実	5	4	3	2	1
街並みが整っている	5	4	3	2	1
治安が良い	5	4	3	2	1
観光名所が豊富	5	4	3	2	1
国際色豊か	5	4	3	2	1
芸術文化の振興が盛ん	5	4	3	2	1

4 区の魅力について

問 15 江戸川区転入前にお住まいであった市区町村に比べ、江戸川区にどんな魅力があると思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 海・川など自然環境が豊かである | 10. 都市と農業が共存している |
| 2. 子どもが遊べる公園が充実している | 11. 買物など生活の利便性が高い |
| 3. 魅力的な歴史的建造物がある | 12. 都心へのアクセスが良い |
| 4. 優れた伝統工芸・文化がある | 13. 多様な人が暮らしている |
| 5. 魅力的な行事やイベントが多い | 14. 医療環境が整っている |
| 6. 余暇を楽しめる施設が充実している | 15. 子育て環境が整っている |
| 7. 魅力的な商店街や店舗がある | 16. 福祉環境が充実している |
| 8. 人のよさやおもてなしの心がある | 17. その他 |
| 9. 公共施設が充実している | () |

問 16 江戸川区転入前にお住まいであった市区町村に比べ、江戸川区にどんな魅力が足りないと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 海・川など自然環境が豊かである | 10. 都市と農業が共存している |
| 2. 子どもが遊べる公園が充実している | 11. 買物など生活の利便性が高い |
| 3. 魅力的な歴史的建造物がある | 12. 都心へのアクセスが良い |
| 4. 優れた伝統工芸・文化がある | 13. 多様な人が暮らしている |
| 5. 魅力的な行事やイベントが多い | 14. 医療環境が整っている |
| 6. 余暇を楽しめる施設が充実している | 15. 子育て環境が整っている |
| 7. 魅力的な商店街や店舗がある | 16. 福祉環境が充実している |
| 8. 人のよさやおもてなしの心がある | 17. その他 |
| 9. 公共施設が充実している | () |

問 17 あなたはご自身がお住まいの「まち（地域）」をどのくらい友人・知人などに
おすすめしたいと思いますか。

最もおすすめしたいを 10 点満点として 0～10 点でお答えください。

(あてはまる点数に○を 1 つだけ)

おすすめしたい ←————→ おすすめたくない

10 点	9 点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	0 点

問 18 あなたは「江戸川区に住むこと」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたい
 と思いますか。最もおすすめしたいを 10 点満点として 0～10 点でお答えください。
 （あてはまる点数に○を 1 つだけ）

おすすめしたい ←————→ おすすめたくない

10 点	9 点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	0 点

問 19 どういった点をおすすめしたいと思いますか。（自由回答）

問 20 あなたは「江戸川区に訪れること」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたい
 と思いますか。最もおすすめしたいを 10 点満点として 0～10 点でお答えください。
 （あてはまる点数に○を 1 つだけ）

おすすめしたい ←————→ おすすめたくない

10 点	9 点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	0 点

問 21 どういった点をおすすめしたいと思いますか。（自由回答）

5 今後の居留意向について

問 22 今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 住み続けたい

2. 住み続けたいとは思わない

1. を選ばれた方は問 23 へお進みください。 2. を選ばれた方は問 24 へお進みください。

問 23 “問 22 で「1」を選ばれた方”は、今後も住み続けたい理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. まちのイメージを気に入っている | 9. 行政サービスが充実している |
| 2. まちの発展が期待できる | 10. 親類・知人が近くに住んでいる |
| 3. 住宅価格や家賃が手頃である | 11. 近隣住民との人間関係が良い |
| 4. 通勤・通学に便利である | 12. 子育てしやすい |
| 5. 買物など日常生活の利便性が良い | 13. スポーツや文化活動の環境が充実 |
| 6. 緑・公園など自然環境が豊かである | 14. まちに愛着がある |
| 7. 治安が良い | 15. その他 |
| 8. まちが静かで落ち着いている | () |

問 24 “問 22 で「2」を選ばれた方”は、今後、住み続けたいとは思わない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. まちのイメージが気に入らない | 9. 行政サービスが不満である |
| 2. まちの今後の発展が期待できない | 10. 親類・知人が近くに住んでいない |
| 3. 住宅価格や家賃が高い | 11. 近隣住民との人間関係が悪い |
| 4. 通勤・通学に不便である | 12. 子育てがしにくい |
| 5. 買物など日常生活が不便である | 13. スポーツや文化活動の環境が不足 |
| 6. 緑・公園など自然環境が少ない | 14. まちに愛着が無い |
| 7. 治安が悪い | 15. 転勤・就職・進学予定がある |
| 8. まちが騒がしく落ち着かない | 16. その他 |
| | () |

6 今後のまちづくりについて

問 25 次の項目の中で、あなたが魅力に感じるまちを選んでください。
(○は3つまで)

(○は3つまで)

1. 区外からも知られた観光スポットがあり、多くの方が訪れるまち
2. イメージが良く（おしゃれ、下町等）区民が誇りを持てるまち
3. レクリエーションなど余暇を充実して過ごせるまち
4. にぎわいがあり、近隣の人との交流をもてるまち
5. 身近に住み続けたい魅力を感じることができるまち
6. 誰もが自分らしいライフスタイルと価値観をもってくらせるまち
7. 子どもや高齢者、障がい者のための施設が充実しているまち
8. 行政サービスが充実しているまち
9. 安心して永く暮らせる住環境があるまち
10. その他（ ）

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

江戸川区の魅力に関する意識調査

調査へのご協力をお願い

皆様には、日頃から江戸川区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、江戸川区では、「江戸川区の魅力に関する意識調査」を実施することといたしました。この調査は、江戸川区から転出した方に江戸川区の魅力やイメージに関する意見をお聞きして、江戸川区内外の皆様にとってより魅力的な街を実現するために実施しているものです。

調査の実施にあたり、江戸川区から転出された満 18 歳以上の方 1,500 人を無作為に選ばせていただきました。調査の実施は、江戸川区が委託している株式会社日本経済研究所が行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 11 月

江戸川区

－ご記入にあたってのお願い－

- 封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数で選んでください。
- 「その他」を選んだ場合は()内に具体的に記入してください。

調査票の回答は、11月16日（土）までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願い申し上げます。

【調査主体】

江戸川区 経営企画部 都市戦略課推進係

〒132-8501 東京都江戸川区中央 1-4-1

電話：03-5662-0323（直通）

【調査委託先】

株式会社日本経済研究所 地域本部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-2

電話：03-6214-4725（直通） 担当：高崎、坂野

1 あなた自身について

問1 あなたの性別をお知らせください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお知らせください。

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 |
| 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 | 9. 75歳以上 | |

問3 あなたのご職業をお知らせください。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 自営業 | 2. 家事手伝い | 3. 勤め(フルタイム) |
| 4. 勤め(パートタイム) | 5. 家事専業 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他 () | |

問4 一緒に暮らしているご家族の人数(ご自身を含めて)をお知らせください。

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人 | 6. 6人 | 7. 7人以上 | |

問5 同居者(本人以外)をお知らせください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 小学校入学前のお子さん | 2. 小・中学生 |
| 3. 16～64歳の方 | 4. 65歳以上の方 |

問6 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 持ち家 | 2. 都営・区営の賃貸住宅 |
| 3. 都市再生機構・公社の賃貸住宅 | 4. 民間の賃貸住宅 |
| 5. 給与住宅(社宅・公務員住宅など) | 6. 住宅に間借り |
| 7. 会社等の独身寮・寄宿舍 | 8. その他 () |

問7 転出前後のお住まいの場所をお知らせください。

(転出前)

江戸川区 町 名 丁目 (例) 中央 1 丁目

(転出後)

都道府県 区市町村
(例) 千葉 都道府県 市川 区市町村

問 8 江戸川区での居住年数をお知らせください。(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------------|------------|-------------|--------------|
| 1. 1 年未満 | 2. 1 年～5 年 | 3. 6 年～10 年 | 4. 11 年～20 年 |
| 5. 21 年～30 年 | 6. 31 年以上 | | |

問 9 江戸川区から転出された時期をお知らせください。

平成 年 月

2 転出の経緯等について

問 10 江戸川区から転出した主な理由を教えてください。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 仕事の都合（就職・転職・転勤・退職など） |
| 2. あなたの学校の都合（進学・転校など） |
| 3. 子どもの学校の都合（進学・転校など） |
| 4. 結婚のため |
| 5. 出産・子育てのため |
| 6. 親や子ども、その他親族との同居のため |
| 7. 親や子ども、その他親族と近所のため |
| 8. 住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど） |
| 9. 生活環境（交通や買い物の利便性・治安など）を良くするため |
| 10. その他 ※()内に理由を記入願います。
() |

問 11 転出先に現在の区市町村を選んだ理由を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 買い物など日常生活の便が良いから
2. 通勤・通学などの交通の便が良いから
3. 物価が安いから
4. 親や子どもの近くに住みたかったから
5. 住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから
6. 病院等の医療体制が整っているから
7. 子育て支援が充実しているから
8. 教育環境が充実しているから
9. 高齢者や障害者のための福祉が充実しているから
10. 緑・公園・水辺などの自然環境が良いから
11. 道路、下水道等の都市基盤が整備されているから
12. 街並みや街の雰囲気が良いから
13. 治安が良いから
14. 図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設が充実しているから
15. その他 ※()内に理由を記入願います。

()

問 12 転出するにあたり江戸川区内でも住まいを探されましたか。(○は1つだけ)

1. 江戸川区内でも探したが、他の区市町村に決めた
2. 他の区市町村に住もうと考えていたので、江戸川区内は探さなかった
3. 転居先が他の区市町村に決まっていた(会社の寮や社宅が江戸川区外だった、同居をはじめ家族の住宅が江戸川区外にあった など)
4. その他 ※()内に理由を記入願います。

()

3 江戸川区のイメージについて

問 13 江戸川区のイメージとして、該当する内容をそれぞれお答えください。

	思う ←————→ 思わない				
活気がある	5	4	3	2	1
区に誇りを持っている	5	4	3	2	1
個性的である	5	4	3	2	1
文化的である	5	4	3	2	1
親しみやすい	5	4	3	2	1
知性的である	5	4	3	2	1
落ち着いている	5	4	3	2	1
先進的である	5	4	3	2	1
清潔感がある	5	4	3	2	1
お洒落である	5	4	3	2	1
品格がある	5	4	3	2	1
買物が便利	5	4	3	2	1
通勤通学が便利	5	4	3	2	1
医療機関が充実	5	4	3	2	1
自然が豊富	5	4	3	2	1
教育環境が充実	5	4	3	2	1
街並みが整っている	5	4	3	2	1
治安が良い	5	4	3	2	1
観光名所が豊富	5	4	3	2	1
国際色豊か	5	4	3	2	1
芸術文化の振興が盛ん	5	4	3	2	1

問 14 あなたが現在住んでいるまちのイメージとして、該当する内容をそれぞれお答えください。

	思う  思わない				
活気がある	5	4	3	2	1
区に誇りを持っている	5	4	3	2	1
個性的である	5	4	3	2	1
文化的である	5	4	3	2	1
親しみやすい	5	4	3	2	1
知性的である	5	4	3	2	1
落ち着いている	5	4	3	2	1
先進的である	5	4	3	2	1
清潔感がある	5	4	3	2	1
お洒落である	5	4	3	2	1
品格がある	5	4	3	2	1
買物が便利	5	4	3	2	1
通勤通学が便利	5	4	3	2	1
医療機関が充実	5	4	3	2	1
自然が豊富	5	4	3	2	1
教育環境が充実	5	4	3	2	1
街並みが整っている	5	4	3	2	1
治安が良い	5	4	3	2	1
観光名所が豊富	5	4	3	2	1
国際色豊か	5	4	3	2	1
芸術文化の振興が盛ん	5	4	3	2	1

4 推奨したい区の魅力について

問 15 あなたは、江戸川区に親近感や愛着を感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 感じている | 3. あまり感じていない |
| 2. やや感じている | 4. 感じていない |

問 16 転出先に比べ、あなたは江戸川区にどんな魅力があると思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 海・川など自然環境が豊かである | 10. 都市と農業が共存している |
| 2. 子どもが遊べる公園が充実している | 11. 買物など生活の利便性が高い |
| 3. 魅力的な歴史的建造物がある | 12. 都心へのアクセスが良い |
| 4. 優れた伝統工芸・文化がある | 13. 多様な人が暮らしている |
| 5. 魅力的な行事やイベントが多い | 14. 医療環境が整っている |
| 6. 余暇を楽しめる施設が充実している | 15. 子育て環境が整っている |
| 7. 魅力的な商店街や店舗がある | 16. 福祉環境が充実している |
| 8. 人のよさやおもてなしの心がある | 17. その他 |
| 9. 公共施設が充実している | () |

問 17 転出先に比べ、あなたは江戸川区にどんな魅力が足りないと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 海・川など自然環境が豊かである | 10. 都市と農業が共存している |
| 2. 子どもが遊べる公園が充実している | 11. 買物など生活の利便性が高い |
| 3. 魅力的な歴史的建造物がある | 12. 都心へのアクセスが良い |
| 4. 優れた伝統工芸・文化がある | 13. 多様な人が暮らしている |
| 5. 魅力的な行事やイベントが多い | 14. 医療環境が整っている |
| 6. 余暇を楽しめる施設が充実している | 15. 子育て環境が整っている |
| 7. 魅力的な商店街や店舗がある | 16. 福祉環境が充実している |
| 8. 人のよさやおもてなしの心がある | 17. その他 |
| 9. 公共施設が充実している | () |

問 18 あなたは「江戸川区に訪れること」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。最もおすすめしたいを 10 点満点として 0～10 点でお答えください。

(あてはまる点数に○を 1 つだけ)

おすすめしたい ←————→ おすすめたくない

10 点	9 点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	0 点

問 19 どういった点をおすすめしたいと思いますか。(自由回答)

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

江戸川区の魅力に関する意識調査

調査へのご協力をお願い

区内に在住の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、江戸川区では、「江戸川区の魅力に関する意識調査」を実施することといたしました。この調査は、区民の皆様に区の魅力やイメージに関する意見をお聞きして、区内外の皆様にとってより魅力的な街を実現するために実施しているものです。

調査の実施にあたり、区内にお住まいの満 18 歳以上の外国籍の方から 1,000 人を無作為に選ばせていただきました。調査の実施は、江戸川区が委託している株式会社日本経済研究所が行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 11 月

江戸川区

－ ご記入にあたってのお願い－

- 封筒のあて名のご本人様がお答えください。
- 回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数で選んでください。
- 質問によっては、一部の方にのみ回答していただく場合があります。矢印に従ってお答えください。
- 「その他」を選んだ場合は()内に具体的に記入してください。

－調査票の回答は、12月7日（土）までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願い申し上げます。－

問い合わせ先

【調査主体】

江戸川区 経営企画部 都市戦略課推進係
〒132-8501 東京都江戸川区中央 1-4-1
電話：5662-0323（直通）
対応言語：日本語・英語

【調査委託先】

株式会社日本経済研究所 地域本部
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-2
電話：6214-4725（直通） 担当：高崎、坂野
対応言語：日本語・英語

1 あなた自身について

問1 あなたの国籍をお知らせください。

- | | | |
|------------|---------|---------|
| 1. 中国 | 2. 韓国 | 3. インド |
| 4. フィリピン | 5. ベトナム | 6. ネパール |
| 7. その他 () | | |

問2 あなたの性別をお知らせください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたの年齢をお知らせください。

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 |
| 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 | 9. 75歳以上 | |

問4 あなたのご職業をお知らせください。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 自営業 | 2. 専業主婦・主夫 |
| 3. 会社員(フルタイム) | 4. パート・アルバイト |
| 5. 技能実習生 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他 () |

問5 一緒に暮らしているご家族の人数(ご自身を含めて)をお知らせください。

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人 | 6. 6人 | 7. 7人以上 | |

問6 同居者(本人以外)をお知らせください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 小学校入学前のお子さん | 2. 小・中学生 |
| 3. 16～64歳の方 | 4. 65歳以上の方 |
| 5. 同居者はいない | |

問7 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 持ち家 | 2. 都営・区営の賃貸住宅 |
| 3. 都市再生機構・公社の賃貸住宅 | 4. 民間の賃貸住宅 |
| 5. 給与住宅(社宅・公務員住宅など) | 6. 住宅に間借り |
| 7. 会社等の独身寮・寄宿舎 | 8. その他 () |

問 8 あなたのお住まいの場所をお知らせください。

(現住所)

江戸川区 町 名 丁目 (例) 中央 1 丁目

問 9 あなたの在留資格をお知らせください。(○は1つだけ)

1. 外交	9. 法律・会計事務	17. 興行	25. 特別永住者
2. 公用	10. 医療	18. 技能	26. 永住者
3. 教授	11. 研究	19. 技能実習	27. 日本人の配偶者等
4. 芸術	12. 教育	20. 文化活動	28. 永住者の配偶者等
5. 宗教	13. 技術	21. 留学	29. 定住者
6. 報道	14. 人文知識・国際業務	22. 研修	
7. 高度専門	15. 企業内転勤	23. 家族滞在	
8. 経営・管理	16. 介護	24. 特定活動	

問 10 あなたが日常生活において使われる言葉はどれですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 日本語	2. 英語
3. 中国語	4. 韓国・朝鮮語
5. ベトナム語	6. ネパール語
7. タイ語	8. ヒンディー語
9. その他	

問 11 日本での居住年数をお知らせください。来日を繰り返している場合は、通算して記入してください。

(○は1つだけ)

1. 1年未満	2. 1年～5年	3. 6年～10年	4. 11年～20年
5. 21年～30年	6. 31年以上		

問 12 江戸川区での居住年数をお知らせください。

(○は1つだけ)

1. 1年未満	2. 1年～5年	3. 6年～10年	4. 11年～20年
5. 21年～30年	6. 31年以上		

2 今後の居住意向について

問 13 今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 住み続けたい

2. 住み続けたいとは思わない

1. を選ばれた方は
問 14 へお進みください。

2. を選ばれた方は
問 15 へお進みください。

問 14 “問 13 で「1」を選ばれた方”は、今後も住み続けたい理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. まちのイメージを気に入っている | 10. 親類・知人が近くに住んでいる |
| 2. まちの発展が期待できる | 11. 近隣住民との人間関係が良い |
| 3. 住宅価格や家賃が手頃である | 12. 子育てしやすい |
| 4. 通勤・通学に便利である | 13. スポーツや文化活動の環境が充実 |
| 5. 買物など日常生活の利便性が良い | 14. まちに愛着がある |
| 6. 緑・公園など自然環境が豊かである | 15. 同国人が多い |
| 7. 治安が良い | 16. 宗教施設がある |
| 8. まちが静かで落ち着いている | 17. その他 |
| 9. 行政サービスが充実している | () |

問 15 “問 13 で「2」を選ばれた方”は、今後、住み続けたいとは思わない理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. まちのイメージが気に入らない | 10. 親類・知人が近くに住んでいない |
| 2. まちの今後の発展が期待できない | 11. 近隣住民との人間関係が悪い |
| 3. 住宅価格や家賃が高い | 12. 子育てがしにくい |
| 4. 通勤・通学に不便である | 13. スポーツや文化活動の環境が不足 |
| 5. 買物など日常生活が不便である | 14. まちに愛着が無い |
| 6. 緑・公園など自然環境が少ない | 15. 転勤・就職・進学予定がある |
| 7. 治安が悪い | 16. 同国人が少ない |
| 8. まちが騒がしく落ち着かない | 17. 宗教施設がない |
| 9. 行政サービスが不満である | 18. 母国に帰る予定がある |
| | 19. その他 |
| | () |

3 江戸川区のイメージについて

問 16 現在の江戸川区のイメージとして、あてはまる内容をそれぞれお答えください。

	思う ←————→ 思わない				
活気がある	5	4	3	2	1
区に誇りを持っている	5	4	3	2	1
個性的である	5	4	3	2	1
文化的である	5	4	3	2	1
親しみやすい	5	4	3	2	1
知性的である	5	4	3	2	1
落ち着いている	5	4	3	2	1
先進的である	5	4	3	2	1
清潔感がある	5	4	3	2	1
お洒落である	5	4	3	2	1
品格がある	5	4	3	2	1
買物が便利	5	4	3	2	1
通勤通学が便利	5	4	3	2	1
医療機関が充実	5	4	3	2	1
自然が豊富	5	4	3	2	1
教育環境が充実	5	4	3	2	1
街並みが整っている	5	4	3	2	1
治安が良い	5	4	3	2	1
観光名所が豊富	5	4	3	2	1
国際色豊か	5	4	3	2	1
芸術文化の振興が盛ん	5	4	3	2	1

問 17 あなたが理想とする住みたいまちのイメージとして、次の項目をどの程度重視しているかをそれぞれお答えください。

	重視する ←  → 重視しない				
活気がある	5	4	3	2	1
区に誇りを持っている	5	4	3	2	1
個性的である	5	4	3	2	1
文化的である	5	4	3	2	1
親しみやすい	5	4	3	2	1
知性的である	5	4	3	2	1
落ち着いている	5	4	3	2	1
先進的である	5	4	3	2	1
清潔感がある	5	4	3	2	1
お洒落である	5	4	3	2	1
品格がある	5	4	3	2	1
買物が便利	5	4	3	2	1
通勤通学が便利	5	4	3	2	1
医療機関が充実	5	4	3	2	1
自然が豊富	5	4	3	2	1
教育環境が充実	5	4	3	2	1
街並みが整っている	5	4	3	2	1
治安が良い	5	4	3	2	1
観光名所が豊富	5	4	3	2	1
国際色豊か	5	4	3	2	1
芸術文化の振興が盛ん	5	4	3	2	1

4 区の魅力について

問 18 あなたは江戸川区にどんな魅力があると思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 海・川など自然環境が豊かである | 10. 都市と農業が共存している |
| 2. 子どもが遊べる公園が充実している | 11. 買物など生活の利便性が高い |
| 3. 魅力的な歴史的建造物がある | 12. 都心へのアクセスが良い |
| 4. 優れた伝統工芸・文化がある | 13. 多様な人が暮らしている |
| 5. 魅力的な行事やイベントが多い | 14. 医療環境が整っている |
| 6. 余暇を楽しめる施設が充実している | 15. 子育て環境が整っている |
| 7. 魅力的な商店街や店舗がある | 16. 福祉環境が充実している |
| 8. 人のよさやおもてなしの心がある | 17. その他 |
| 9. 公共施設が充実している | () |

問 19 あなたは江戸川区にどんな魅力が足りないと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 海・川など自然環境が豊かである | 10. 都市と農業が共存している |
| 2. 子どもが遊べる公園が充実している | 11. 買物など生活の利便性が高い |
| 3. 魅力的な歴史的建造物がある | 12. 都心へのアクセスが良い |
| 4. 優れた伝統工芸・文化がある | 13. 多様な人が暮らしている |
| 5. 魅力的な行事やイベントが多い | 14. 医療環境が整っている |
| 6. 余暇を楽しめる施設が充実している | 15. 子育て環境が整っている |
| 7. 魅力的な商店街や店舗がある | 16. 福祉環境が充実している |
| 8. 人のよさやおもてなしの心がある | 17. その他 |
| 9. 公共施設が充実している | () |

問 20 あなたはご自身がお住まいの「まち（地域）」をどのくらい友人・知人などに
おすすめしたいと思いますか。

最もおすすめしたいを 10 点満点として 0～10 点でお答えください。

(あてはまる点数に○を 1 つだけ)

おすすめしたい ←————→ おすすめたくない

10 点	9 点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	0 点

問 21 あなたは「江戸川区に住むこと」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。最もおすすめしたいを 10 点満点として 0～10 点でお答えください。

(あてはまる点数に○を 1 つだけ)

おすすめしたい ←————→ おすすめたくない

10 点	9 点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	0 点

問 22 あなたは「江戸川区に訪れること」をどのくらい友人・知人などにおすすめしたいと思いますか。最もおすすめしたいを 10 点満点として 0～10 点でお答えください。

(あてはまる点数に○を 1 つだけ)

おすすめしたい ←————→ おすすめたくない

10 点	9 点	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点	0 点

5 今後のまちづくりについて

問 23 次の項目の中で、あなたが魅力を感じるまちを選んでください。

(○は 3 つまで)

1. 区外からも知られた観光スポットがあり、多くの方が訪れるまち
2. イメージが良く（おしゃれ、下町等）区民が誇りを持てるまち
3. レクリエーションなど余暇を充実して過ごせるまち
4. にぎわいがあり、近隣の人との交流をもてるまち
5. 身近に住み続けたい魅力を感じることができるまち
6. 誰もが自分らしいライフスタイルと価値観をもてくらせるまち
7. 子どもや高齢者、障がい者のための施設が充実しているまち
8. 行政サービスが充実しているまち
9. 安心して永く暮らせる住環境があるまち
10. その他 ()

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

施策策定のための人口等基礎分析

令和 2 年 3 月発行

編集・発行 江戸川区経営企画部都市戦略課
〒132-8501 東京都江戸川区中央 1 丁目 4 番 1 号
電話 03-5662-0323(直通)